RM MODELS ARCHIVE

レイルマガジン3月号増刊　第29巻第4号　2012年3月1日発行

鉄道模型

日本型Nゲージ新製品オールカタログ

Nゲージ大図鑑 2012

永久保存版！
全411アイテム掲載

作ってみよう、レイアウト！

鉄道ホビダスで
選べる、買える！
ホビダスナンバーでラクラクショッピング！

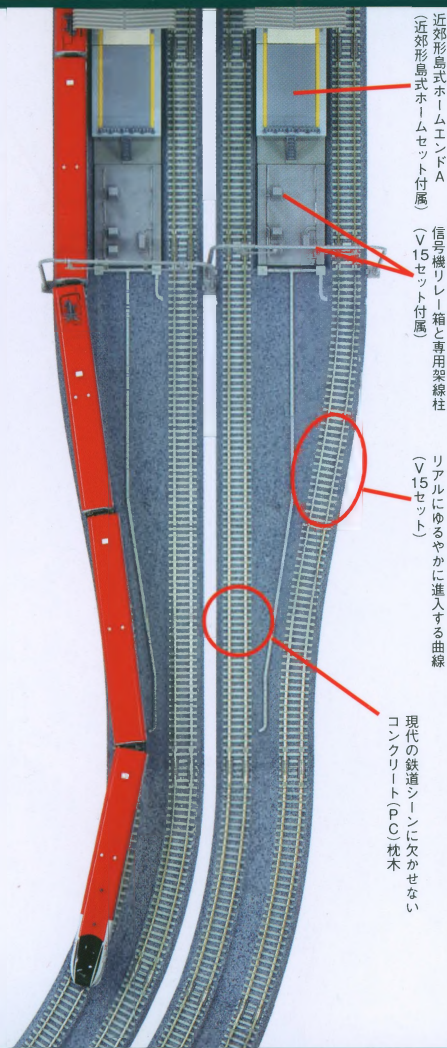
KATO
PRECISION RAILROAD MODELS
UNITRACK

複線線路で運転を楽しもう！

今、売れてます！

N

まず、運転をしよう！

細密な車両に引けをとらないリアルな形状と発展性で車両ファンにも大人気のKATOの複線線路システム

近郊形島式ホームエンドA（近郊形島式ホームセット付属）

信号機リレー箱と専用架線柱（V15セット付属）

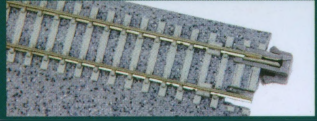
リアルにゆるやかに進入する曲線（V15セット）

現代の鉄道シーンに欠かせないコンクリート（PC）枕木

ふたりですれちがい運転が楽しめる

■運転の楽しみが大きく広がります！

実感的な形状・間隔のコンクリート(PC)枕木

■新形車両にベストマッチ！

曲線線路はカント付

■曲線区間で車体がリアルに傾く！

直線区間からゆるやかにカント（傾斜）をつけていく複線アプローチ線路を使用することにより、少しずつ車両が傾いていく実にリアルな走行シーンを再現できます。

ホームと駅舎を設置して出発／停車を楽しもう！ N

- ●近郊形島式ホームセット …………23-120 ¥3,465
- ●近郊形対向式ホームセット ………23-121 ¥3,465
- ●近郊形橋上駅舎 …………………23-122 ¥4,830
- ●近郊形橋上駅舎拡張セット ………23-123 ¥2,625

*右記4製品を組み合わせた作例

*この他に延長用、グレードアップ用の製品もあります。

架線柱設置でリアルな運転。複々線には4線式がベストマッチ！ N

品番	品名	入数	価格
23-061	複線ワイド架線柱	(10本入)	¥840
23-062	複線ワイドアーチ架線柱	(10本入)	¥1,260
23-063	複線ワイドラーメン架線柱	(6本入)	¥1,575
23-064	4線式ワイド架線柱	(10本入)	¥1,575

スタートはここから！ 複線線路Vセットシリーズ N

V11 複線線路セット　複線線路はここからスタート！
(R414/381) 20-870 ¥8,820
●基本プラン寸法：2335×1261mm

V12 複線線路立体交差セット　立体交差で運転
(R414/381) 20-871 ¥18,060
※このセットだけでは運転できません。

V13 複線高架線路セット　複線高架線路を
(R414/381) 20-872 ¥15,330
●基本プラン寸法：1864×872mm

V14 内側複線線路セット　V11よりひとまわり小さな複線エンドレス
(R315/282) 20-873 ¥8,400
●基本プラン寸法：1997×1005mm

V15 複線駅構内線路セット　複線線路プランに駅を設置
20-874 ¥4,515
※このセットだけでは運転できません。

V16 外側複線線路セット　V11とあわせてリアルな複々線エンドレスに
(R480/447) 20-876 ¥9,975
●基本プラン寸法：2560×1432mm

複々線の運転を手軽に楽しめる基本プラン！

V11+V16+V15×2
+近郊形橋上駅舎
+近郊形橋上駅舎拡張セット
+近郊形島式ホームセット×2
+4線式ワイド架線柱×2箱

新形車両が次々と発着する現代的な鉄道シーンを複々線で再現！

大都市幹線で見られる迫力ある複々線4列車同時走行を楽しもう！

迫力！

V11内容　V16内容　V15内容

プラン寸法 3195×1413mm
プラン合計金額 ¥45,360（駅・架線柱を含む）

*別売の単品線路（単線　複線）や関連アイテムでレイアウトプランを大きく拡大・発展させることができます。*車両やパワーパック、プラットホーム、架線柱などはセットに含まれていません（別売品）。*複線で運転する場合はパワーパックが2台（複々線では4台）必要です。

ユニトラック新アイテム続々！ 複線線路と組み合わせてもっと楽しく運転しよう N

電動Y字ポイント2番 New

20-222
●電動Y字ポイント2番 EP481-15Y ¥2,520

間隔66mmに拡幅した複線間に挟んで折返し線や留置線、通過線を設置、複線線路の運転に変化を付けてくれます。

■複線間折返し線プラン例　左下プラン図の赤枠内に収まります。

使用線路（各1）
- 電動Y字ポイント2番
- 電動ポイント4番（左）
- 直線186mm
- V15複線駅構内線路セット
- 電動ポイント4番（右）
- 車止め線路C

*名称の前の囲みの色は上図での線路の色に該当します。

プラン合計金額 ¥14,217（製品の販売単位金額の合計）

自動踏切S New

20-652 ❶　❷ 20-653　❸ 20-654 全長1m

リアルな動作の遮断機・警報機・警報音

複線化に対応（3複線=6線まで線増可）

❶自動踏切S 基本セット ¥18,900
線路長124mm。センサー線路2本付属

❷自動踏切S 複線化セット ¥6,825
線路長124mm。センサー線路2本付属

❸センサー線路用延長ケーブル ¥840

運転にはパワーパックを　N/HO

複線なら2台、複々線なら4台のパワーパックが運転に必要です！

22-012 出力1A
▲パワーパック スタンダードS
（日本国内100V専用） ¥4,725

22-013 出力2A
▲パワーパック ハイパーD
（日本国内100V専用） ¥15,225

長編成や室内灯フル装備の列車には高出力2AのパワーパックハイパーDを N

夜行列車や地下鉄の情景を別売オプションの室内灯で好演出

●11-211 LED室内灯クリア（1両分入） ¥756
●11-212 LED室内灯クリア6両分入 ¥3,780

欲しいものを探すなら
KATO
Nゲージ・HOゲージ
鉄道模型
カタログ2012
25-000 ¥1,575

運転を思う存分楽しむなら
運転を楽しもう！
Nゲージ鉄道模型
ユニトラックガイドブック
25-011 ¥1,260

KATO Nゲージ車両のラインナップなら
KATO
Nゲージアーカイブス
25-050 ¥1,890

KATO
株式会社 関水金属
〒161-0031 東京都新宿区西落合1-30-15

製品の詳細はホームページをご覧ください！
KATO 鉄道模型 検索
www.katomodels.com
・KATO 製品情報
・ユニトラム情報
・ジオタウンドットコム
・イベント情報 など

*20-870の数字は品番を表します。*各掲載製品の仕様・価格などは予告なく変更することもあります。*各掲載製品の表示価格は消費税（5%）込の標準価格です。*製品の詳細についてはKATO鉄道模型カタログやKATOホームページをご覧ください。*万一品切の際はご容赦ください。

デスクトップに凝縮した

フラワー長井線の世界

情景製作の“いろは”で再現する思い出のシーン

MODELING,MAKING PHOTO&TEXT：
森田益也（アトリエ森爺）
PHOTO：羽田　洋

Nゲージのジオラマやレイアウトを製作する場合、場所、時間、作り方、再現したい要素が多すぎるなど、様々な理由から少し構えてしまうように感じる方も多いのではないでしょうか？でも、もっと気楽に、自分のできる範囲でレイアウトの製作を楽しんでみませんか？

机の上でも遊べるスペースに（600×450mm）自分の再現したい情景を凝縮させた作例を紹介します。レイアウトのサイズの選定から順番に製作方法を解説していきますので、できない作業は後回しにしてでも、少しずつ製作していけばきっと満足のいくレイアウトがあなたのものになるはずです。

▲フラワー長井線の西大塚駅をイメージしたシーン。駅前には観光で訪れた団体客が記念撮影をするのか整列中。

◀沿線にある南陽市の熊野神社のイメージ。駅から神社への賑わいを感じる。

●サイズを決める

一般的な家庭で、レイアウトを置けそうな場所を考えると、机や家具などの上でしょうか、それらに展示可能なサイズを考えました。決めたサイズは450×600ｍｍ、工作にかかる手間を考えても手頃なサイズでしょう。今回は以前購入していた講談社の「鉄道模型少年時代」のベースがぴったりだったので、これを使用しました。もちろんこの付録がなくてもホームセンターなどで購入したボードやスタイロフォームを使えば十分再現可能です。

▲長井市内に流れる水路。舟運が活発だったころの名残。絵になる情景を写真に記録しておくのも製作の良い資料。

▲南陽市のさくらんぼ園。気温の高い夏場はビニールハウスも骨組みだけとなる。そのあたりを再現すれば、意外な季節感も演出。

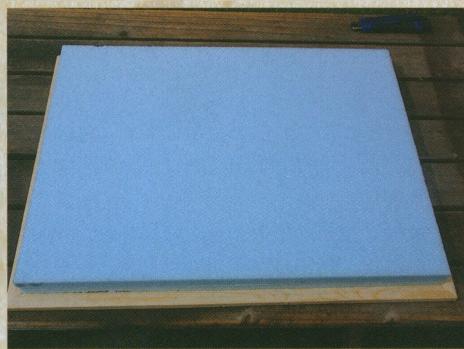
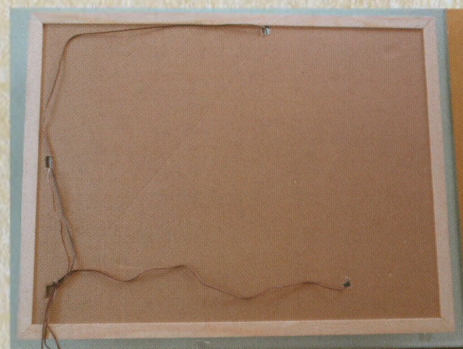
●テーマを考える

レイアウトで再現したい情景は、思い出の場所や、自分の住んでいる町であったり、旅先の風景であったりすることと思います。大まかな地域やテーマを決め、再現したい場所を箇条書きにしました。

このレイアウトでは山形鉄道　フラワー長井線をテーマとし沿線4都市のポイントとなる風景を下記のように選びました。

■南陽市
熊野大社
さくらんぼ栽培のビニールハウス
■川西町
西大塚駅の木造駅舎
■長井市
水路のある歴史的な街並み
商店街
■白鷹町
最上川
最上川橋梁

散策的にノートとカメラを持って現地調査に向かいました。たとえば建物がどのように建っているか、屋根の色や材質、密集度合や、草木なども写真に記録して、製作に活かすとその地域らしさが出せるかもしれません。また、小さな建物は、撮影した写真をもとに自作できるという楽しみもあります。作例では「コイン精米機」を自作できました。そのほか、市販の列車展望ビデオやDVDも沿線風景の参考になりました。

▲用意したスタイロフォームとコルクボード。今回のコルクボードは100円ショップで購入したもの。

▲スタイロフォームをコルクボードの縁の内側に収まるように切り出し、貼り合わせる。

▲D.C.フィーダーや建物照明用の配線を裏側へ通すため、この時点でボードに穴をあけておく。

●レイアウトボードの製作

今回の作例では一部雑誌の付録をベースとして使っていますが、もちろんお店で手に入るものでレイアウトのベースは作れます。レイアウトの一番下の台は、このサイズなら全体を支えられるコルクボードを使用します。そして地形の高低差の再現は、切ったり、削ったりが楽にできる建材用のスタイロフォームを使えば簡単にベースができます。どちらもホームセンターなどで手に入ります。

河川や起伏のある地形を再現する場合には、スタイロフォームを部分的にカットしたり何層かに重ねたりして、高低差を出します。

河川を再現する場合は、コルクボードの縁をマスキングして、コルク表面を青色のスプレーで塗装、乾燥したら川の部分をカットしたスタイロフォームをボードに載せ、その後のシーナリー作業に続きます。また、線路へ給電するフィーダーを設置しておくのもこのタイミングで、ベースに千枚通しやカッターナイフで穴を開け、コードがレイアウトの地面を通るようにしておきます。建物用照明も同様の作業で、このタイミングで地面に穴を開けておきます。

レイアウトで時間を再現する

レイアウトの風景は、季節やその日、一日の何時頃かという設定をすると、説得力のある情景へとなってくれます。例えば枯れ木と花の咲く木が並んでいたり、紅葉の木々と雪山が混在していたり、コートを着た人の隣に半袖の人が立っているなどは季節感が統一されていないシーンとして見る人に不自然な印象を与えてしまいます。

また、畑で休憩する農家の人がいる一方で、ラッシュ時のように通勤客たちがたくさん歩いているなども不自然で、時間設定が不十分な証拠です。休息する人がいるとすれば、昼ごろから15時ごろ、街をゆく人たちはやや穏やかな様子で、都市部を除くと、道路を行き交う車もまばらといったところでしょうか。レイアウトに季節と時間を決めるのもまた。リアルな情景への一歩です。

▲畑で休憩する農家の人がいる時間は昼から15時ごろか？

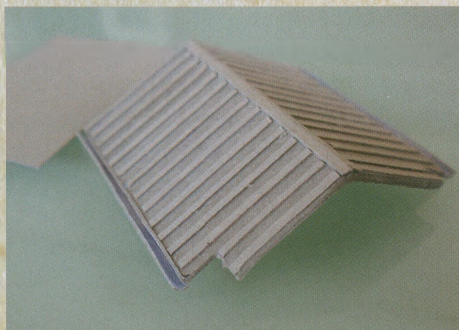
●線路のプランとストラクチャーの加工

線路のプランは、20m級の気動車が走行可能な単線エンドレスとしました。ポイントは後々のメンテナンスや、情景としてスムーズな走行を優先させるためにも配置しませんでした。

ストラクチャーも実物に近いものを配置したいので既製品に少し手を加えてみました。ここではトミーテックのジオコレ第3弾Rの「菓子屋」と「パン屋」の加工とプラットホームの自作、鉄橋の加工を紹介します。

●菓子屋の加工

フラワー長井線沿線は雪の多い地域なので、瓦屋根の建物はほとんどなく、雪のスベリやすいトタン屋根が一般的です。

モデルでも「菓子屋」の瓦屋根をトタン屋根に変えました。紙厚t1.0の厚紙に瓦屋根の部品をあてててケガキ、同寸法に切り出します。同じく厚紙から幅1㎜に細く切り出した部材を、屋根本体に木工用ボンドで貼り付け、塗装を施しトタン屋根の完成です。

「菓子屋」の壁の色は黒っぽい色ですので塗装でイメージを変えます。マスキングテープで窓やドア、看板を覆い、アイボリーのカラースプレーで塗装しました。うっすらと下地の黒色が透けウェザリングをしたような仕上がりになります。店舗部分には、グリーンマックスのストラクチャーキットの余剰パーツを使用しました。

看板は、デジカメで撮影した店舗の看板を写真用紙に家庭用プリンターで印刷して貼り付けました。

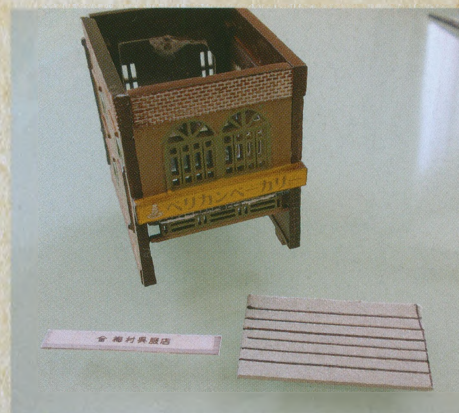
何年も建っている建物ですから汚れも出てきます。ここでは建物のウェザリングにもチャレンジしました。使用するのはタミヤのウェザリングマスターです。ペースト状になったパステルをブラシやスポンジに移し汚したいところに塗ります、ちょうど化粧のファンデーションと同じ要領なので、女性でも手際よくできるかもしれません。建物全面、屋根に塗って完成です。

▲厚紙で組んだトタン屋根。写真は塗装を施す前。

▲窓廻りにマスキングを施してから塗装をする。

▲タミヤのウェザリングマスター。化粧のファンデーションに似た要領で"汚し"を施す。

●パン屋の加工

私が幼かった頃によく見られたタイプの建物で、個人的に好みなのですが、洋風の姿を一般的な建物へ変えてみます。t1.0の厚紙で2階窓部分を覆います。切り出した厚紙表面には、ボールペンで筆跡が残るくらいの強い力で等間隔に線を引いて壁面材を表現します。この壁面の縁を囲う部品を厚紙から作り貼り合わせ、アイボリーのカラースプレーで塗装します。店舗部分の表現には、デジカメで撮影した実物の店先の画像を印刷したものを現物合わせで切り出し接着します。奥行が出るように折り曲げ立体感を出しました。最後にタミヤのウェザリングマスターで黒い水垢が窓から垂れて、くたびれてきた建物の様子を再現してみました。

▲切り出した厚紙にボールペンで引いたすじで壁面材を再現。これで2階の窓を塞ぐ。

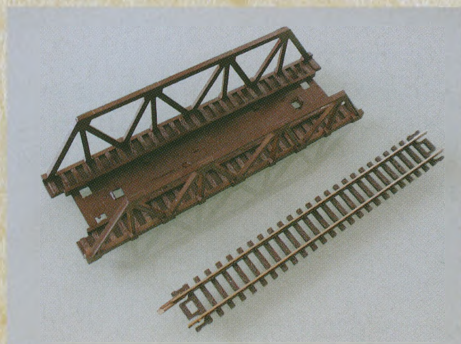
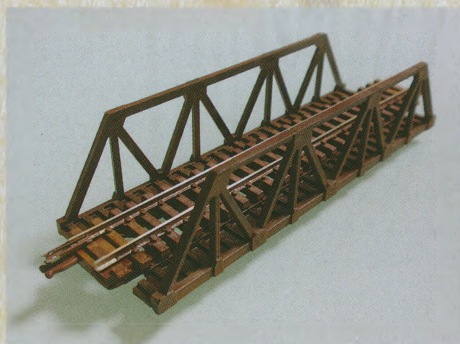
▲現地調査で撮影した画像(建物正面、横、裏)を写真用紙に印刷、箱組みして製作したコイン精米機。

◀製品に手を加えて作った2棟の店舗。世に二つとないオリジナルの雰囲気が再現できた。

●プラットホームの製作

プラットホームは木質成型板のMDF材と、厚紙で自作しました。MDF材を配置すべきホームのサイズに糸ノコでカットし、2枚を貼り合わせ厚みを出します。接着の隙間は深灰色のグレインペイントで2〜3回塗装を繰り返せば隙間が埋まります。ホーム上面はt1.0の厚紙をMDF材より一廻り大きくカットして、MDF材に貼り付け乗車側の縁石部分の質感を変えるため、この部分を緩くマスキング（厚紙を剥がしてしまわぬように）して、それ以外のアスファルト部分をグレインペイントで重ね塗りします。乾いたらウェザリングマスターの茶色と黒で、ホーム上面に"汚し"を入れて終了です。

▲プラットホーム上面になる厚紙にウェザリングしたところ。上端の明るいグレーの部分が質感を変えた縁石部分。

▲レイアウト上に埋め込まれたプラットホーム。ホーム側面もグレインペイントによる"ナシ肌"状に仕上げている。

▲アトラスのワーレントラス橋からレール部分を外し、レール枕木の両端からトラス部分を切断する。

▲TOMIXのデッキガーダーの線路部分を切断し、ワーレントラス部と接着した状態。

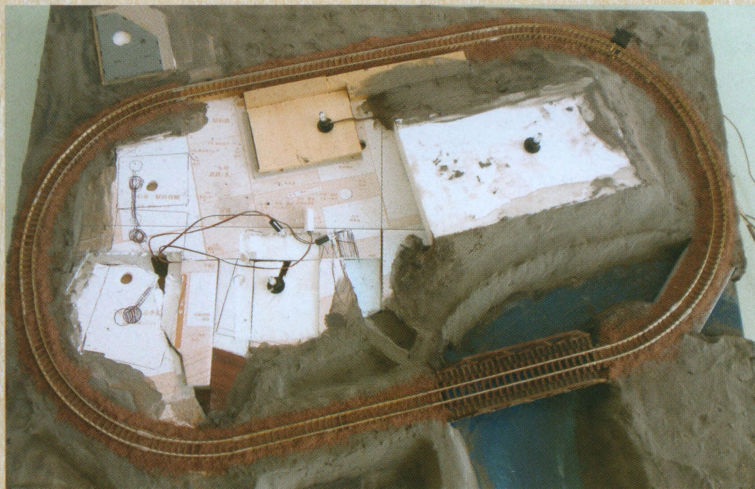
▲接着面が少なく強度に不安があるので、裏面にもプラ板などで接着補強。

●鉄橋の加工

山形鉄道フラワー長井線の最上川橋梁は、東海道本線に木曽川橋梁として使われていたものを1921年に移設、現役最古級の鉄道橋と伝えられています。実物はトラス橋なのですが、このレイアウトではスペースの都合から、長いトラス橋の設置が困難です。そこでアメリカ・アトラス製のワーレントラス橋を使うことにしました。しかし、レールの高さがTOMIXのものと合わず、段差が脱線の原因になったのでTOMIXのデッキガーダー橋の下部をカットし、トラス部分と接着することにしました。ワーレントラスの犬走りにあたる部分と、枕木のキワをカットします。次に、TOMIXのデッキガーダー橋を糸ノコでカットして、切断面をヤスリで整えプラ用接着剤で接着しました。レールをマスキングして塗装をし直しウェザリングしたら完了です。

西大塚駅に到着したフラワー長井線のYR-880形。
車輌製作：井上 翼

●線路への塗装と固定

山形鉄道をはじめローカル線の線路の道床は鉄粉で赤茶色に染まっています。一方、国内のメーカーのNゲージ道床付線路は2社のものともバラストがグレーの成型です。今回はTOMIXのファイントラックを使いますが、やはり雰囲気が違ってしまうので、線路をツヤ消し赤茶色のカラースプレーで塗装しました。フィーダーを接続する部分はマスキングします。乾燥後レール表面を耐水ペーパー（1000番クラス）で磨き、試運転をして、問題がなかったらベースボードに線路を接着します。

◀線路を固定し、黒色紙粘土で地形全体を均し、バラストを撒いたばかりの状態。

●地形の整地

再びベースとなる地面に戻ります。台地や築堤を作る場所にスタイロフォームやスチレンボードを必要な大きさに切り出し、木工用ボンドで接着、地形のかさ上げをします。これが固まったら黒色の軽量紙粘土を表面に大まかに付けて行きます。

この黒色軽量紙粘土の特徴は、軽く硬化後のカッターナイフなどでの加工にも優れます。柔らかいうちは、水にも溶けるので伸ばしやすく、また黒色なので、パウダーやバラストの間から地面の下地の色が透けて見えてしまっても目立たず、また黒色が透けることで表面のカラーパウダーの色を落ちついたものに見せる効果もあり、さらには100円ショップでも手に入るおススメの材料です。

この紙粘土を木工用ボンド水溶液を含ませた平筆でゴシゴシと溶かしながら伸ばし、ボード全体を覆うほどに施し、台地や築堤のつながりを緩やかな勾配へと補正していきます。

●バラスト散布

レールを固定し、フィーダーの配線をボードに開けた穴に通して裏側に出します。建物照明用の配線も同様です。ボード裏側の配線は、この後の加工で断線などしないように養生テープやマスキングテープなどで覆うように止めておきます。

表面の話に戻ります。山形鉄道の道床は薄いので、作例ではバラスト散布前に黒色の紙粘土を線路の両脇に伸ばすように付け、地面と線路の道床の差を緩やかなものとしました。そして、バラスト散布をします。レールの内側は控えめに、フィーダー上は通電不良や故障の原因となるので散布しません。適量を散布したら乾いた筆で整え、中性洗剤を薄く溶かした水溶液を霧吹きで線路上に吹き、水分をバラストになじませ、スポイトで木工用ボンド水溶液をジワリジワリと浸み込ませていきます。

▲レールの内側にバラストが溜まってしまっているので、乾いた筆でならす。

▲バラストが整った状態。この後木工用ボンドの水溶液を染み込ませて行く。

◀線路内に草の生えた様子も再現。

▲レイアウト全体にパウダーやターフを撒いた様子。川の土手の轍が効果的だ。

●カラーパウダーとターフの散布

下地の紙粘土やバラストが乾燥したら、カラーパウダーとターフなど草や芝を再現する材料を散布します。撒く順番は、土色、草色、そしてターフ、短い繊維状のスタティックグラスフロック（共にウッドランドシーニックス製）を散布し、再び木工用ボンド水溶液で固着させます。ターフやパウダーは非常にリアルな仕上げが特徴ですが、使いすぎると逆効果になりますので、少しずつ散布しながら適量を見出すのがベストです。

パウダーは茶、緑とも明暗の2色を使用し、日なたは明るいパウダー、日陰になる個所は暗いパウダーなど使い分けると効果的です。線路の一部は草に覆われている所もありますので、線路上にも一部パウダーを散布しています。

▲深みある水の流れが再現された最上川部分。流れの速い川は波の向きで上流、下流の意識も必要。

●河川の表現

　レイアウトの限られたスペースに、いかに最上川を再現するかが考えどころとなりました。川岸や石の配置で川幅が決まりますので何度も検討しました。

　川の水流の表現は、ベースの段階であらかじめ青色のカラースプレーで塗装しておきました。

　河川が蛇行する場所のカーブの外側は河原がないので、ゴツゴツした大粒の石を配置しました。石は金魚の水槽用の砂利から、やや大きく角ばったものを選びました。一方、カーブの内側は、河原が発達する場所なので、ライトグレーのバラストを散布しました。川のカーブから、向かって右奥への川幅はスペースの関係と遠近法の効果を狙って狭くし、鉄橋のかかるあたりから手前は川幅を広くして、最上川の雄大さを少しでも表現することにしました。

　ここで使った石は木工用ボンド水溶液を浸透させて固定しました。河原が固まったら水の流れを再現します。水の表現にはグレインペイントアクアシリーズのブラックを使用しました。収縮も少なく、有機溶剤系の臭気もないので、おススメめです。

　筆塗りは、筆ムラが表面に残ってしまうので、アイスクリームのヘラを加工して塗布しました。薄く、何度も重ね塗りをして、最後に川岸との隙間を筆でタッチアップして仕上げます。

▲下地を青く塗った川底にグレインペイントアクアシリーズのブラックをヘラで塗っていく。

▲グレインペイントを川全体に塗った状態、乾くと黒い透明になり水面に深さを与える。

●水田の表現

　あぜの部分は緑のパウダーを散布した上にスタティックグラスフロックとターフを散布しました。

　穂の青々とした水田は真夏の設定です。ホームセンターで売っている繊維の細かい人工芝のマットを購入、ハサミで繊維を適宜カットすれば、夏の稲の出来上がりです。これをツヤ消しフラットブラウンに塗った水田の底面に接着し、水の表現として、KATOリアリスティックウォーターを流し込みます。この時、稲に掛かってしまわないように厚紙を漏斗のように使って流すとうまくいきます。

　また、水田がボードの端に掛かってしまい途中で水面が切れてしまう場合は、ボード端の境界に木工用ボンドを盛って乾かし、その後リアリスティックウォーターを流し込むと、ボード端からの流出を止められます。

▲水田の端には木工用ボンドをまず盛って乾かす。

▲乾いたら、リアルスティックウォーターを流し込む。人工芝も青田の穂になっている。

●畑の製作

駅舎の向こうには畑を再現しました。この駅がフラワー長井線の西大塚をモチーフとしていて、実際に駅の向こう側が畑だからです。

畑はお手軽に表現できる津川洋行の「花畑シート　畑・生け垣シリーズ」を使用します。そのままですと、土色が明るいので接着後にブラウンミックスのパウダーを散布し、ならしたら同時にシートの端の隙間もパウダーで埋めます。畑の周りは雑草に覆われていることが多いので、カラーパウダーだけでなく、ターフも散布しました。最後に木工用ボンド水溶液をスポイトで染み込ませパウダーを固定します。

▲畑の土の色が明る過ぎるそのままの状態。

▲カラーパウダーやターフで落ち着かせた土の色合い。境目がなくなり周囲にもなじんでいる。

●果樹園のビニールハウス

長井線沿線ならではの風景としてさくらんぼ畑のビニールハウスを再現します。夏の頃のビニールハウスはビニールが撤去され、骨組みだけが残されているのがよく見られる光景です。これはホームセンターで売っているφ0.5ほどの針金で製作しました。ハウスに収まる、さくらんぼの木を囲う大きさです。組立は、非常に曲がりやすく、もろかったので、発泡スチロールに差し込む形で仮に設置してゴム系接着剤で組み立てました。さくらんぼの木は、ジオコレの情景コレクション「サクラ」の枝を短くカットして、緑のフォーリッジを接着して製作しています。

▲沿線、南陽市のさくらんぼ園。夏場は十分暖かいのでハウスのビニールは外される。

▲細くて柔らかい針金なので製作中の形状維持が難しいため、発砲スチロールに差し込んで製作。

◀完成したさくらんぼ園のハウスの骨組。さくらんぼの木はジオコレの樹木「サクラ」の木をベースに緑のフォーリッジを接着。

▲模造紙で作った道路の型紙。これを厚紙に貼り合わせ、道路の材料を切り出す。

▲道路の中心に埋め込んである融雪装置部分に、水の吹き出し口をガンダムマーカーで点を打つように再現。

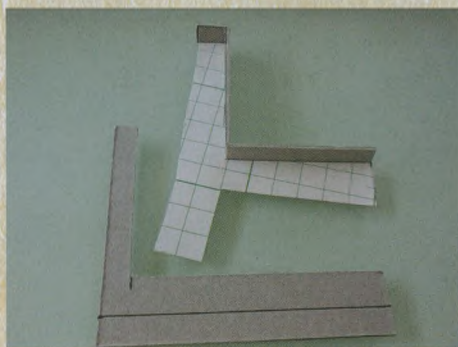
●道路の製作

道路にもｔ1.0の厚紙を使用しました。まずボード上に模造紙を敷き、使用する建物を配置して、空いている空間を道路とし、鉛筆で建物のベースの縁をなぞり、道路の型紙を作ります。その型紙を厚紙に貼り合わせ切り出しました。フラワー長井線沿線は雪の多い地域で、市街地の道路には散水で雪を解かす融雪設備が道路中心に埋設されています。雪国らしくその融雪装置も再現します。カットした厚紙の融雪装置と側溝の部分に適度な幅のマスキングテープを軽く貼り、画材屋などで手に入る水性グレインペイントの深灰色を塗ります。ムラがなくなるまで太い筆で丁寧に重ね塗りをし、乾いたらマスキングを剥がし、今度は細い筆を使って水性グレインペイントの浅灰色で融雪施設と側溝の部分を塗装します。乾燥したら、ガンダムマーカーの極細茶色で約10㎜おきに点を打つように融雪の吹出し口を再現して道路の完成です。ウェザリングマスターで錆色と黒を上手く混ぜながら表面を仕上げます。パウダー散布などの際に道路が汚れてしまうのを防ぐため、最後の仕上げの段階で道路を接着しました。

●水路の製作

沿線都市、長井市の市内には、その昔、最上川からの舟運を引き込むため張り巡らされた水路が多く残っており、非常に綺麗です。これを再現しようと思いましたが、レイアウトで水路を製作するとなると、狭い幅の掘割を作るため、ベースボードに掘り込み加工など、あとからの加工は大変です。そこで、ベースボードの加工なしで手軽に水路を再現してみました。

材料には工作用紙（水路の底を再現）と、t1.0の厚紙（側壁を再現）とグレインペイントの浅灰色と、グレインペイント・アクアシリーズのブラックです。水路を作る場所に模造紙などを当てて、鉛筆でなぞり型紙を作り、その大きさに合わせ工作用紙を切り出します。次にt1.0の厚紙を10㎜程の太さに切り出して、工作用紙の縁に立てる形で水路の側壁単独で組みます。水路の底になる工作用紙と、側壁になる厚紙をグレインペイントの浅灰色で塗装した後、水路底にグレインペイントアクアシリーズのブラックを塗装し、乾いたら底面と側壁を接着して完了です。道路との交差部分は、道路自体の厚紙の厚さで段差が生じ、ちょうど下をくぐるような雰囲気になります。

▲深さのない作りの水路のため、道路との高低差が心配されたが、道路の材料の厚みの分、若干水面が低いようにできた。

▲水路の材料を組み立てる。側面に貼る厚紙が水路の壁面。

▲赤い屋根の商家の脇で、道路の下をくぐり、青い屋根の裏で再び地表に出て、最上川に流れ込む水路。

●ミニネイチャーによる草花

最後に、立体的な生え方で重宝する「ミニネイチャー」を使用して草花と茂みを再現します。あまり使いすぎるとくどくなるので、「少なすぎるかな？」と感じる程度がリアルに仕上がるようです。最上川の土手、河原、畑や水田のあぜなどにも植え込んでいます。

▶パウダーで色を付けると俄然リアルな草花ができる「ミニネイチャー」。

▲改めてレイアウト全体を見ると450×600㎜のボードに多くの情景やドラマが隠されていることに気がつく。

●人形の配置

レイアウトのテーマ、山形鉄道フラワー長井線は、この路線を軸に町々を結びます。同時に列車は乗客を運ぶ形で、人と人をつなぎ、人と人とが出会い、絆を育んでいくのだと思います。そんな人と人とのつながりや、人生ドラマを長井線のレールと沿線風景のなか、人形を配置することで再現しました。

昼下がりの長井市内には、下校中の学生、商店街をそぞろ歩きに家へ向かう部活帰りの高校生のカップルや友人同士を配置しました。

南陽市の熊野大社を再現した神社では、課外授業の小学生と引率の先生を配置したり、合格祈願に訪れた親子を配置しています。空地の廃車体で遊ぶ兄弟。コイン精米所にコメを持ち込む農家の人など、人形の配置すべてにストーリーを持たせました。そうすることでレイアウトの上が賑やかで、悲喜交々のストーリーが起こっていそうな気がしてくるから不思議です。

▶熊野神社では神社の由来や歴史を課外授業中。小学生に説明中なのは先生？神主さん？

▶放置されているオート三輪は小さな子供にとっての格好の遊び道具。

▶コイン精米所には精米に来た農家の人が。トラックの荷台では一息つく人も。

下校時間、学生がそぞろ歩きで駅へ向かう。踏切が下がり列車が発車していく。古い街並みに日々の営みが息づいている。

最上川の奥にはこんな味わいのあるコンクリート橋も。トラス橋に負けず劣らず年代物の感じだ。

▲建物の照明によって、夜間もまた違った雰囲気で楽しめる。郷愁を誘うシーンだ。

●照明について

各建物の中に照明を設置しました。建物の内側にアルミホイルで光漏れを防いだ上でLEDに貼り付け、ベースボードの製作時に開けておいた穴に配線を通し、裏側にケーブルを逃がしています。

●最終仕上げ

全体が乾燥したら、レールを1000番クラスの耐水ペーパーで磨き、レールクリーナーで製作中に付いたパウダーやボンドを落とし、列車の試運転をしました。走行中建物や木に接触しないように、建物や樹木はこの後まで接着していません。後からの修正は困難なためです。試運転で問題なかったら、建物や樹木を接着し、踏切なども接着します。まだ残るベースの隙間をパウダーやターフで埋めて、木工用ボンド水溶液で固着します。その後、道路を接着していきます。最後に自販機や、街灯、小物類を接着して大まかな作業は終了です。

以上で、山形鉄道フラワー長井線のミニレイアウトが完成です。この記事を見て、同じようにデスクトップサイズのレイアウトにチャレンジする人が増えれば幸いです。作りたい情景を一つ一つ記録し、これを整理して、ベースボードに製作していけば、必ず満足のいくレイアウトができると思います。ぜひ、レイアウト製作を楽しんでください。

山形鉄道はこんな路線！

山形鉄道フラワー長井線は山形新幹線赤湯駅から荒砥駅までの全長30.5kmの第3セクター路線です。近年では映画『スゥイングガールズ』の舞台になったことで知られますが、途中、羽前成田、西大塚、宮内駅では昔ながらの木造駅舎が現役で使われています。今回紹介したこのレイアウトは、山形鉄道のイベントなので随時展示中です。本誌発売直後の2月4日（土）、5（日）にも羽前成田駅で展示予定です。興味のある方はぜひ、山形鉄道に足を運んでみてください！！

山形鉄道URL：
http://www.flower-liner.jp/

▲レイアウトでも再現された木造駅舎の西大塚駅。

▲イベントでのレイアウト展示の様子。

屋根裏に出現した大都会

活き活きした「街」の情景を作ろう

MODELING：松本吉之
TEXT：RMM
PHOTO：青柳　明 (RMM)

最近になって、大手メーカーより本格的なＮゲージ用路面電車軌道システムの発売が相次いでいますが、皆さんはどのように活用されていますか？　やはり路面電車が似合う情景と言えば、ビルが建ち並ぶ大都会。限られたスペースで広がりのある都会の情景を作るのにはコツがありそうです。ここではそんな実例をご覧に入れます。

▶屋根裏部屋に構築したＮゲージ路面レイアウト。設置高さは立った人の胸のあたりと、けっこう高い位置にあります。スペースは幅約1m、奥行きは約2m（そのうち情景が設置されているのはやはり約1m）。見る位置はこの角度からに限られています。が、それは決してデメリットではなく、効果的な情景を生み出すメリットでもあるのです…。

▲TOMIXのワイドトラムレールと、トミーテックのバス走行システムを組み込んだプラン。線路配置自体は比較的単純で、複線エンドレスを8の字型にクロスさせたもの。渡り線や分岐・引き込み線はありませんが、運転は自動運転に任せ、情景に動きを持たせてそれを眺めるというコンセプト。左手のビル壁面には、小型ディスプレイが組み込まれていて、USBメモリー経由で好きな画像・動画を流すことができます。バス会社の選択や、マリンタワーが背景に見えることから、作者が横浜在住とわかります。

▲高架駅をバックに、S字カーブを描く路面軌道。長大な「グリーンムーバー」はやはりS字カーブで身をくねらせて走らせると良いものです。

▲作者のご本業は石材店経営ということで、お仕事柄お寺には一家言あります。道路から一段凹んだ門や、お墓の位置関係なども極めて説得力がある感じ。本堂の後ろは木ではなく竹が植えられています。

▲柱部分を建築中のビルに見立てています。最近スタジオ ミドなどからこうした情景に使えるパーツが発売されていますが、ただ使うだけでなく、例えば地面に敷かれた鉄板のリアルな配置加減など、見習いたいテクがいっぱい。

▲さんけいのペーパー製情景パーツを使った路上物産展。人形の配置なども、一人一人がその場所にいる理由・ドラマを考えつつ置いてあげると、情景が盛り上がるのです。

▲巨大な家電量販店のビルをバックに、ちょっと秋葉原っぽい街並みが構築されています。看板の効果が都会らしさを演出していることに改めて気づかされます。

路面電車レイアウトは今まさに旬！手頃なストラクチャー工作から始めてみよう！

▲店頭の照明の色が一定時間ごとに変化する仕組みを組み込んでいます。これによって、静止している情景に時間の流れが生まれる効果があります。

▲クロス部分は自動制御されており、一方の電車がセンサーを踏むともう一方の電車が自動で停止し、通過後に再び走り出す仕組み

RM MODELSが独立創刊されるまで、鉄道模型の記事はレイル・マガジン誌に同居していました。その時代の名物連載が『鉄道模型考古学』。16番（1:80／16.5mmゲージ、俗にHOゲージとも呼ばれます）の鉄道模型車輌について、古くからあるものから現代の製品まで、その移り変わりを詳細に解説した記事です。その筆者が横浜市にお住まいの松本さん。その松本さんが、なぜNゲージのレイアウトを作ったのでしょうか？

実はバリバリの車輌派と思われがちな松本さんですが、根っからの情景派でもあり、またスケールにこだわらない柔軟な発想の持ち主でもあります。数年前に新築されたご自宅の屋根裏に、細長いけれどかなりの面積のレイアウトスペースを確保。ここに、大はGスケール（1:22.5／45mm）、Oスケール（1:48／32mm、19mm、16.5mm）から小はN（1:150／9mm）、Zスケール（1:220／6.5mm）まで、あらゆるサイズのレールが敷き詰められているのです。まさに鉄道模型ファンの夢の空間で、まだ未完成の部分も多いのですが、その中でこのNゲージの路面レイアウトは完成度の高い部分。これだけのレイアウト、一体どのくらいの工作期間で作られたと思いますか？　答えはなんとたった1ヶ月！　その証拠に、割と発売されて間もないクロスレールが使われていますよね。松本さん曰く、「これだけ市販ストラクチャーが充実していれば、誰でもできますよ」とのこと。ですが、よく見れば見慣れないストラクチャー、売られているはずのない大型のストラクチャーも目につきます。これらは筆者自身のコラムにある通り、ネットから手に入るペーパー製ストラクチャーを組んだもの。さらに照明や人形、ミニカーの効果的な配置により活き活きした街の様子が再現されているというわけです。

屋根裏部屋の隅っこですから、このレイアウトは実は一定の角度からしか見ることができません。しかしそれは逆手に取れば、見える部分だけに精力を注ぎ込み、見る人をミニチュアの世界に引きずり込めるというのを意味します。実はストラクチャーも線路も、「置いているだけ」で固定はされておらず、気分に応じて変化を楽しむことも可能。さらに奥側についてはどうせ見えない地面は作らず、ビルを無造作に置くだけで、効果的な広がり

▲ぽっかり穴が開いたようにできた空き地に工事現場を再現し、わざと向こうが透けて見えるようにしました。高架駅の向こうにそびえるのはアオシマの立体駐車場。巨大すぎてなかなか使うのが難しいストラクチャーですが、奥側のデッドスペースを有効に活用しているのです。手前右手ビルの屋上に、自作した携帯電話用アンテナが設置されているのにも注目。

■ペーパーストラクチャーで構築する大都会

TEXT：松本吉之

小学生の頃　夏休みの宿題の展示で都市模型を展示したところ、それなりに一生懸命作ったアクセサリーが次々となくなっていきました。それを見て思ったことは、つまみたくなるような身近なものをリアルにモデル化した小物は、人がものすごく興味を示すんだなということです

時は流れ…現在では、この点でNゲージストラクチャーの発展は目を見張るものがあります。安価で完成している小物が豊富で、さらに深く追求する姿勢のメーカーも次々に登場しているため、UFOキャッチャーやプリクラそして走るバスまでが入手できる時代になっています。組立技術を必要とするストラクチャーは置くだけでよくなり、誰でも楽しく良いものが作れる時代、これが鉄道模型の本来のあり方だと思います。

ただし、それだけに同じような風景になりやすく、作品として差別化を目指すには、組立以外の所で個性を出す必要があります。そこでトラムレイアウトを作るにあたり、以下のことに気を遣いました。基本的には市販のビルを置いただけですが…

○運転者の目に対し縦に走る（自分に向かってくる）路線
○幅の広い道路
○緑の粉をまかない都市レイアウト
○看板へのこだわり
○良くできた自動車を選んで配置
○紙の大きな建物
○携帯アンテナ
○自動運転
○液晶映像パネルの建物への組み込み
○駅の効果音
○ LED照明
…などです。

今回目指したのは現代の都市なのですが、大手メーカーは“なつかしい昭和”路線を重視していて大都市を形成するにはビルのバリエーションが案外足りないことがわかりました。そこで頼りになるのが個人メーカーのペーパーキットです。

大手の市販ペーパーストラクチャーには、レーザーカットを駆使してプラ製品をしのぐものを目指すものもありますが、ここで紹介するのはネットなどで手に入る個人メーカーの型紙タイプのものです。どれも個性があり、配置した時の効果を考えた、用途に目的がある建物がたくさんあります。安価に簡単に都市を表現するためとか、プラではとてもできない超大型の建造物をデフォルメせず表現したり、あるいはプラ製品では様々な用途に使ってもらうためどうしても雑居ビル的になりやすい建物に対し、一目で何屋さんだかわかる“そう見えるのは気のせいシリーズ”まで積極的に作ってくれています。型紙をデータ集として出したり、裏打ちのスチレンボードまで含めたトータルキットにしてあったり売

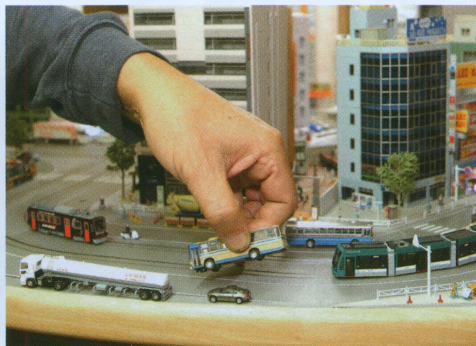
鉄道模型

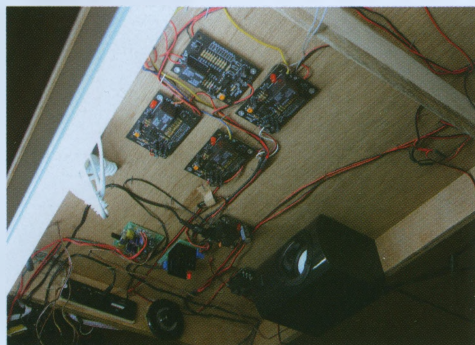
Nゲージ大図鑑2012

『RM MODELS』が一年間にお伝えしたＮゲージ新製品の数々をカタログスタイルにするというのが「Ｎゲージ大図鑑」のコンセプト。鉄道車輌はもとより、パーツ、レール、制御機器、ストラクチャーや小物、そのほかお役だち製品まで、"新製品情報に強い"RM　MODELSが総力をもってお送りするＮゲージ年鑑カタログです。

巻頭では１：150のレイアウト作品をワイドに掲載。レイアウトを楽しむモデラーの情景表現をたっぷりと紹介します。また、もはや１：150スケールの世界では定番化しつつあるコレクタブルアイテムも、建物や自動車、建機まで残さず紹介。毎度要チェックのメーカー担当者インタビューでは、製品の成り立ちや開発秘話、苦労話、そして今後の計画などをお届けします。まるごと一冊Ｎゲージの最前線情報を、あなたのホビーライフにお役立てください。

（RM MODELS　編集部）

▲ビル類はいずれも仮設で、配置転換やメンテナンスも可能。作者が顔を出しているのはメンテナスピットで、下部からもぐり込んで行くところ。

▲バス走行システムも組み込んでおり、路面電車との並走やすれ違いも楽しめます。ただ、バスが走る道路には、他の動かないミニカーは置けなくなってしまうので注意です。

▲コントローラーは路盤下に設置されていますが、普段は自動運転で手放しで楽しんでいるとのことです。

▲路盤の裏に設置された各種電子基板。市販のエレキットという商品を活用し、自動運転の制御や駅アナウンスのサウンドなどを行なっています。

▲電車の手前にある丸いものがCDSセンサーで、これを電車が踏むと相手方の電車を止める仕組みです。

▲トミーテックの「技MIX」シリーズのヘリコプター（1:144スケール）の飛行アクションも楽しめるようになっています。民間機の発売を熱望！

が生まれているのです。手を抜く場所は手を抜き、力を注ぐ場所に集中。これがレイアウトを完成させるコツなのかもしれません。

さて、複線の8の字プランということは、列車同士がクロス部分で衝突する危険があります。ましてや一人で運転を楽しむ場合、2列車を同時に運転するのはどうしても無理。そこで自動運転システムを導入し、片側のエンドレスにセンサーを設置、これを感知すると相手方車輌を止める信号を出すような制御を行なっています。クロス部分でちゃんと止まって相手が行き過ぎるのを待つ様子は、自動運転ならではの見ていて飽きない楽しみとなっています。

大から小まで様々な鉄道模型を楽しんでいる松本さん。大きな模型があるならNは物足りないのでは…などと心配してしまいますが、「大きな模型を走らせた後にNゲージを見ると、ああやっぱりこっちもいいなぁと思うんですよ」とのこと。やっぱり根っからの鉄道模型好きでらっしゃるのでした。

▲こちらは床面に設置されているアメリカ型Oスケールのレイアウト。迫力のサウンドシステムが楽しめますが、「NにもOにも、やっぱりそのゲージでしか楽しめない魅力があるんですよね！」とのこと。

り方は様々ですが、どれも作ってみなければ批評してはならない！と言えるほどクォリティの高いものばかりです。ただし建物自体のディテールは最小限度であり、それを補うため趣向を凝らして印刷表現を施しています。たとえばビルのガラスに写る景色などです。この特殊性のためプラ製ビルと共存できないだろうとか、背景程度にしか使えないだろうとか先入観があると思いますが、完成させてレイアウトに置いたことのある人なら、それはヤボだよと言うでしょう。それどころかペーパーだけで都市を造ってやろうとまで考えるはずです。

その魅力のひとつに、ビルであっても間口が広い、というのがあります。「ペーパーストラクチャー」ブランドの建物を例にすると、「ベストカメラ」の建物の場合、間口を大きく開けて、そこにカラフルな商品棚を並べています。また広告看板をビルの壁面に大きく貼ったりしています。私はこの方法に触発されてデータが古くて使えなくなった秋葉紹介本などの店舗紹介写真や広告を切り抜き、プラ製ビルに貼ってみました。

このサイトは無料でダウンロードできるデータがありますから、チャレンジしてみてください。ただしサイトで勧められている通り、印刷は上質の紙でお願いします。工作上の注意点として、スチレンペーパーを裏打ちで貼る場合、薄い紙のため、指で圧力を加えたり重しを載せて乾燥させたりすると接着剤（木工ボンド）が表面に染み出して変色してしまうことがあるので、反ってもいいですからそのままそっと乾燥させてください。

背景となる部分にも、かなりのスペースにペーパービルを置いてみましたが、その効果が出ていれば幸いです。

ストラクチャー以外は一般的なトラムレールと走行用バス道路の併設、地面は色紙を貼っただけです。車輌や自動車の置き換えを楽しむことが多いため、架線は柱共々省略してしまいました。

コントローラーは古いTOMIXのものを使っているように見えますが、これはケースが気に入ったからで、中身は「マイコンキットドットコム」というブランドのMK502可変電源キット基板を入れています。トミーテックの動力でも無理なくコントロールできるようにボリュームを1KΩに、基板に1つだけある固定抵抗を120Ωに取り替えました。秋月電子のPWMコントロールキットも人気が高いですね。

●ペーパー製ストラクチャーのサイト●

・ペーパーストラクチャー
http://paperstructure.web.fc2.com/
・ペーパーハウス
http://www.geocities.jp/mintomo55/

CONTENTS

※本書は、月刊 RM　MODELS 187 号（2011 年 1 月 21 日発売）から 198 号（2011 年 12 月 21 日発売）までの NEW　MODEL 欄から日本型 N ゲージ新製品項目を抜粋、再構成したものです。当編集部が把握している限り全てのアイテムを収録しております。

※説明文など基本的に掲載当時のものに最低限の手を加えたものですので、入手状況や予定品状況など、現状とは食い違うことがあります。

※紹介している製品の中には、既に市場在庫の全くないもの、あるいは入手ルートが途絶えているものも含まれます。これは短期的な買い物ガイドとしてだけでなく、資料性ある読み物として末永くお手元に置いていただきたいという方針によるものですので、あらかじめご了承ください。

※掲載は基本的に各種カテゴリー別に、主にプラ製量産モデルの「ベーシック編」とコアなファン層向けモデルの「エキスパート編」に分類の上で、形式順に並べておりますが（エキスパート編はメーカー別掲載）、一部誌面の都合で前後しておりますのでご注意ください。

※価格は特記ない限り税込（5%）です。

2011~2012

Nゲージ新製品最新トレンド

各メーカー入魂のコンセプトの元に生まれた名モデルたち

TEXT：RMM　PHOTO：羽田　洋

KATO

●東京メトロ銀座線01系・有楽町線・副都心線10000系

これまでどちらかと言えば私鉄車輌の製品化には慎重だったKATO。ましてや、同一会社の別系列が、同一年に製品化されたことなど一度もなかった。それがここに来ていきなりの「東京メトロシリーズ」の展開。銀座線01系と、有楽町線・副都心線10000系がわずか数ヶ月の間を置いて登場。この後千代田線16000系まで控えているという。この展開は地下鉄ならではの遊び方の提案まで視野に入れているのだろうか。今はまだ未知数。トンネルの先の光明を期待したい。

TOMIX

● EF63（1次型・青色）
● 189系〈あさま〉

1997年の長野新幹線開業と、それに伴う信越本線・横川～軽井沢間の廃止。「碓氷峠のシェルパ」として35年、すべての列車をエスコートしたEF63が永久に体を休めたその時期、Nゲージ界では空前の「碓氷峠ブーム」が巻き起こっていた。ブームの主役はTOMIXのEF63。時代を超越したハイクオリティモデルとして君臨した。

時は流れて2011年。現代のクオリティにアップグレードされたロクサンが帰ってきた。しかもあの時誰もが夢見た「TOMIXの189系」を引き連れて。耳を近づければあの強烈なブロアー音まで蘇ってきそうだ。

MICRO ACE

●京成　新 AE 形「スカイライナー」

「遠い・不便」と言われ続けた新東京国際空港＝成田空港。空港輸送を担う京成電鉄の切り札は、系列の北総鉄道を延伸し、直線的に空港へ直結できる「成田スカイアクセス」の建設だった。それが実現した2010年、三代目の「スカイライナー」として新AE形が登場。在来線最高速タイの160km/hを誇るこの最新特急車のNゲージ化に名乗りを挙げたのは他でもないマイクロエースだった。前二代の「スカイライナー」をラインナップに持つ実績が、電鉄にも認められたのだろう。2012年初頭の大ヒットアイテムとなったのである。

A Train in the Scenes

RMM誌面を飾った名シーンから

Nゲージはレイアウトづくりのゲージと言われるように、場所をとらない1:150の小スケールは情景工作を身近なものとしてくれます。その小さな箱庭の中では、工夫次第で小さなスペースにも無限の広がりを持たせ、様々な物語を紡ぎ出すことが可能。精巧なNゲージ車輌も、ふさわしい情景をバックにしてこそ真価を発揮するものです。ここではこの1年間、RM MODELSの誌面を飾った数々の情景カットから、名シーンを抜粋してお贈りしましょう。

PHOTO：青柳 明(RMM)、羽田 洋、根本貫史(RMM)

※本記事の写真は、RMM掲載の『NEW　MODEL　PREMIUM』及び特集からの再録です。
※車輌製作、ジオラマ製作のクレジットは、再録につき割愛させていただきました。
※写真中の車輌は、一部加工・色入れなどを施してあり、製品状態ではないものも含みます。

東京メトロ銀座線01系

戦前の香りを残したノスタルジックな銀座線に、
革命児として颯爽とデビューした銀色ボディのアルミカー。
清新さはなお色褪せないが、気づけば三十路に手が届く。
変貌を遂げる渋谷駅とともに、交代の時期は刻一刻と迫る。〔KATO製品〕

GREENMAX

●公団住宅
●東京モノレール 1000 形

グリーンマックスは 2011 年も活発な製品展開を行なったが、その中でも特異な印象を残したスマッシュヒットが「公団住宅」だった。意外にも同社では初の完成ストラクチャー。懐かしい昭和テイストが存分に発揮されたスタイル。何より嬉しかったのは、同社が「情景心」を忘れていなかったということ。そしてもう一つ。フジミ模型とのコラボで東京モノレールも準備中。走らない「ストラクチャー」としての展開だが、それでも十分だと思う。なぜなら、天空を横切るコンクリートレールの先が、僕らにははっきり見えているから…。

※写真は試作品です。

E5系〈はやぶさ〉

名門〈はやぶさ〉の名を頂く、東の次世代新幹線。
足の速さもサービスの質もワンランク上、「常盤グリーン」がギラリと光る。
予期せぬ災禍に一度は歩みを止めつつも、
その運ぶべき夢はまだまだ、潰えてはいない。〔KATO製品〕

C61 20

北のシロクニが火を落としてから幾星霜、
堂々たるハドソンの雄姿が、再び平成の世に蘇った。
黒光りする力強い体躯は、特急牽引機の貫禄十分。
デコイチ、シゴナナに伍して東の鉄路を駆ける。〔マイクロエース製品〕

Train in the Scenes

京急600形

ふっくら丸みを帯びた、優しくも精悍な面構え。
平成の新たな「京急マスク」は、この形式から始まった。
自慢のツイングルシートは封印されても、俊足は依然として健在。
三浦へ、東京へ、千葉へ、疾風のごとく飛び回る。〔グリーンマックス製品〕

京王3000系

草色の電車ばかりだった井の頭線を、
パステルカラーに染め上げた「ステンプラカー」。
七色のマスクを次代に託して、
古老は勇退、第二の職場へ散っていった。〔マイクロエース製品〕

381系〈しなの〉
今や博物館入りする年齢の381系にも、
バリバリの新車時代があった。
日本初の振り子特急として、軽やかに腰を揺らし
緑深き木曽路を駆け抜けたあの頃……
〔KATO製品〕

201系
国鉄入魂の「省エネ電車」201系。
以前は中央快速線と中央・総武緩行線で、
2色の201系の競演が見られた。
カナリア色の緩行線の編成には、ときおり
珍しい試作車の姿を見つける楽しみもあった。
〔トミーテック製品〕

キハ40(烏山線)
2011年、烏山線の開業88周年の節目に、
キハ40が気動車一般色ツートンで出場した。
JR東海にも現れて話題を呼んだこの塗装は、
本来キハ40には存在しなかったもの。
フリーランスを地で行く感じがおもしろい。
〔マイクロエース製品〕

パノラマライナー・サザンクロス

その存在自体が「規格外」のジョイフルトレイン。
生まれも色々なら、辿る運命も様々である。
「サザンクロス」も、九州を代表する豪華列車として
華々しく登場しながら、わずか7年でその生涯を閉じた。〔マイクロエース製品〕

キハ65〈だいせん〉

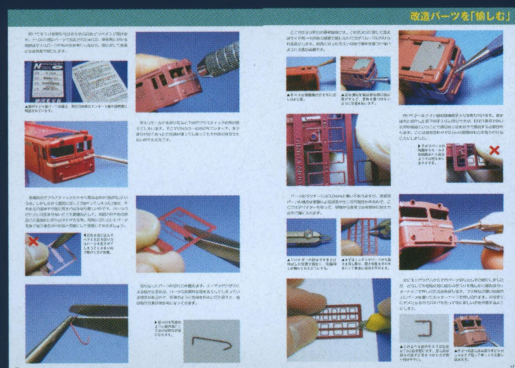
観光特急用に改造され「エーデル」の名を享けたキハ65は、
いつしか大阪〜山陰間の夜行急行仕業に使われるようになった。
夜の仕事では、せっかくの特大ガラスの展望席も
持て余し気味であったろう。〔マイクロエース製品〕

ノスタルジックビュートレイン

知る人ぞ知るローカル線・五能線を広く認知させた「ノスビュー」。
その活躍は1996年を最後に終わりを告げ、
後を継いだ「リゾートしらかみ」にも世代交代の時期が訪れた。
'90年代という時代も、少しずつ確実に、
追憶の彼方へと遠ざかりつつある。〔TOMIX製品〕

RM MODELS ARCHIVE

NゲージGU（グレードアップ）パーツ完全マニュアル 電気機関車編

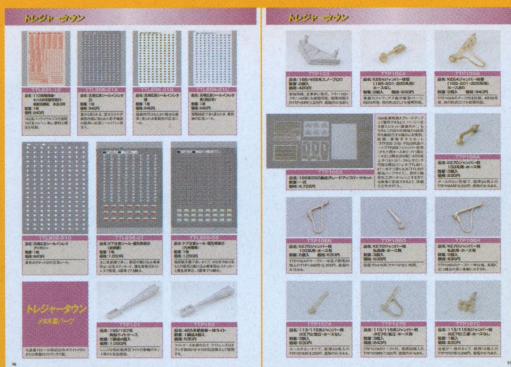
Nゲージのディテールアップ加工は楽しいもの。ちょっとした工夫で、既製品とは見違える見ごたえある「作品」に仕上げることができます。とはいえ、初心者にとってはパーツの取り付け方ひとつにしても、具体的にどうやるのかわからなかったり、失敗したらどうしようと悩んでなかなか手が動かなかったり…。そんなお悩みを解決する新シリーズ『NゲージGUパーツ完全マニュアル』が誕生です。その第一弾は人気の電気機関車を取り上げます。工作の実際を、豊富なメイキング写真でわかりやすく解説し、さらに作例も豊富に収録。さらに市販パーツの写真入りカタログまで掲載していますので、もうパーツ購入に悩むこともありません！

●B5判 全108頁
定価：1,600円〈税込〉
ホビダスNo. 52054212 好評発売中！

RM MODELS ARCHIVE

Nゲージ・アフターパーツ完全マニュアル 国鉄新性能電車編 PART1

Nゲージ工作ファン必見の「パーツ完全マニュアル」シリーズ。好評発売中の「電気機関車編」に続き、今度は人気の国鉄型電車（101系以降のいわゆる新性能電車）を取り上げます。PART1となる今回は、「初めてのグレードアップ工作指南」をはじめとする読み物記事に加え、銀河モデル、トレジャータウンをはじめとする8社のパーツ類を総合的な写真入りリストで紹介します。

●B5判 全104頁
定価：1,600円〈税込〉
ホビダスNo. 52069697 好評発売中！

NEKO PUBLISHING CO.,LTD. 株式会社ネコ・パブリッシング　〒153-8545 東京都目黒区下目黒2-23-18 目黒山手通ビル
電話 048-449-6031（受注＆カスタマーセンター） http://www.neko.co.jp/

STOP PRESS Nゲージ

最新製品情報ダイジェスト

このコーナーでは「Nゲージ大図鑑2012」収録対象期間の後となる2011年12月から2012年1月までに発売された最新Nゲージモデルをダイジェストとして紹介します。なお各製品の詳細情報は『RM MODELS』199号をご覧ください。

（特記以外は塗装済完成品。価格は税込です。）

TEXT：RMM
PHOTO：青柳　明（RMM）・羽田　洋

◀〔KATO〕
C62 3（北海道型）

★札幌～函館間を結んだ急行〈ニセコ〉をはじめ、北海道・函館本線の旅客列車牽引に活躍した蒸気機関車。現役終盤期の姿を製品化。13,125円。

▶〔TOMIX〕EF63　1次型・青色

★信越本線横川～軽井沢間の勾配区間（碓氷峠）で補機として活躍した電気機関車がTOMIXよりリニューアル再登場。2輌セット：14,910円。

 52060482

▲〔ワールド工芸〕秋田中央交通デワ3000

★秋田県の八郎潟駅から3.8kmの路線を営業していた秋田中央交通線で使われた電動貨車。完成品は青色とツートンの2種を用意。キット：6,500円、塗装済完成品・青色：24,150円、ツートン：26,250円。

52064751（青）　52064752（ツートン）

▲〔ワールド工芸〕25t貨車移動機

★L字型の車体が特徴的な2軸機関車を模型化。小型モーターを内蔵しており自走可能。キット：9,975円、塗装済完成品：25,725円。

52060476（キット）　52068129（完成品）

▲〔ワールド工芸〕ED22

★1輌が青森県の弘南鉄道で除雪用として今なお現役の凸型電気機関車。ボールドウィン・ウェスチングハウス製の小さな車体をプロポーション良好に再現。キット：13,650円、塗装済完成品：28,350円。

52068128（完成品）

■塗装変更（在来小窓）車

■グレードアップ車

▲〔TOMIX〕189系〈あさま〉／〈あさま〉グレードアップ車

52060483（ノーマル基本）　52060928（グレードアップ車基本）
52060484（ノーマル増結）

★1997年まで上野～長野・直江津間にて運転されていた在来線特急〈あさま〉用の189系電車。グレードアップ工事または塗装変更のみが施された1990年代初頭からのスタイルをそれぞれ模型化。5輌基本セット：各19,950円、2輌増結セット：各6,195円。

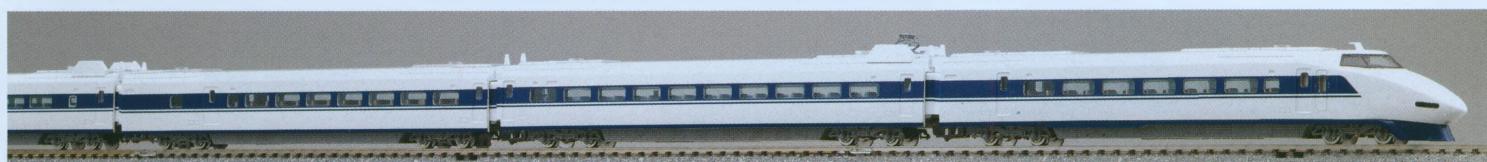
▲〔グリーンマックス〕211系5000番代

★JR東海名古屋・静岡地区の普通列車に充当されている211系電車。模型は既発売の3輌編成にサハを加え、クハ210は便所付きの5300番代となっている。4輌セット（M付）：18,900円、4輌セット（Mなし）：16,380円。

52053893（M付）
52053894（Mなし）

▲〔TOMIX〕455／475系

★1965年に登場した交直両用急行形電車。近年のTOMIX製品に見られる標準的な仕様に合わせたリニューアル発売品。3輌基本セット：14,700円、2輌増結セット：7,140円。ほか車輌単品発売あり。

▲〔TOMIX〕100系 山陽新幹線「K編成・復活塗装」

★2012年に引退を迎える東海道・山陽新幹線初のフルモデルチェンジ車・100系。〈こだま〉用6連口のうち、2010年に登場時の塗装に復元された姿を再現。6輌セット：18,480円。 52060481

▲〔TOMIX〕JR東海 923形新幹線電気軌道総合試験車「ドクターイエロー」

★時に"幸せを呼ぶ黄色い新幹線"とも呼ばれる、おなじみの検測車923形。しばらく市場流通が途絶えていたTOMIX製品がリニューアル再登場。基本3輌セット：10,395円、増結4輌セット：10,395円。

▶〔TOMIX〕ベーシックセットSD ドクターイエロー

★入門用「ベーシックセットSD」にドクターイエローをセットしたもの。上記の923形「ドクターイエロー」の基本セットと同じラインナップの923－1（1号車）、923－2（2号車）、923－7（7号車）の3輌を収録。16,800円。

52067538（SD）
52054614（基本） 52054617（増結）

※写真は組立見本。

▲〔α-model〕115系0・800番代

★111系初期車の未塗装キットシリーズ発売以来、要望の高かった115系初期車の各タイプが発売。下廻りやパンタはKATO・TOMIX製の113・115系製品から流用する。ボディキット（2輌入）：各3,885円。

▲〔マイクロエース〕京成 新AE形「スカイライナー」

★2010年7月に開業した上野～成田空港間を結ぶ成田スカイアクセス線にて活躍中の新鋭スカイライナー。製品はメタリックブルーのラメも細かに美しい塗装を再現。8輌セット：23,800円。

▲〔マイクロエース〕伊豆急100系 1000系冷房車

★かつて伊豆急の主力車輌であった100系・1000系を、夏季輸送のため編成全車に冷房搭載車を集めた編成の設定で製品化。7輌セット：27,300円。

▲〔グリーンマックス〕近鉄21020系「アーバンライナーnext」

★2002年にデビューした近鉄「アーバンライナー」シリーズの最新形式。モデルでは緩い凹面を持つ前面のフォルムラインを明確に捉え、曲面一枚ガラスと窓廻りの黒色塗装を美しく仕上げる。3輌基本セット：15,750円、3輌増結セット：11,550円。

▲〔KATO〕東京メトロ 10000 系

★東京メトロ有楽町・副都心線向けに作られた、大きな曲面で構成された前面が特徴の東京メトロ新系列車のひとつ。模型は全体にカッチリとした印象の質感に仕上がっている。6 輌基本セット：16,800 円、4 輌増結セット：8,400 円。 52065138（基本） 52065142（増結）

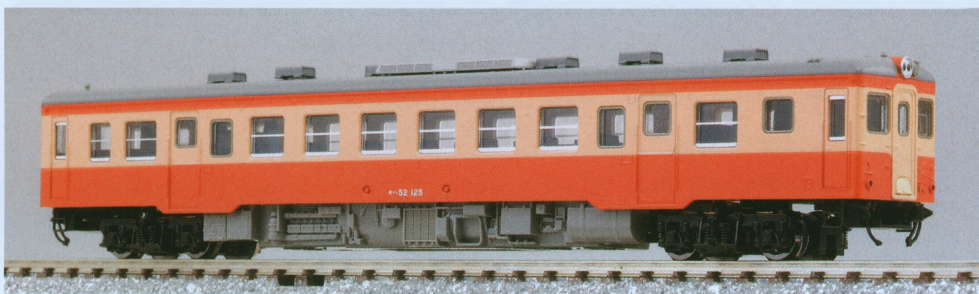
▶〔MODEMO〕豊橋鉄道 モ 784「日本通運号」

★豊橋鉄道豊橋市内線用の電車、モ 780 形の広告ラッピングバージョン。鮮やかな黄色地に日通トラックの写真やロゴなど精緻に印刷。7,770 円。 52070237

▲〔TOMIX〕キハ 48 形 500 番代（五能線色）

★ JR 東日本の五能線で使われている、白地にブルーの帯を配したキハ 48 の、塗装変更当初・非冷房時代を 2 輌セットで発売。11,340 円。 52066032

▲〔マイクロエース〕キハ 48 〈リゾートしらかみ〉青池編成

★ JR 東日本の五能線方面への観光用車輌として 1997 年に登場した改造気動車。モデルでは 2006 年からの姿である 3 輌編成を再現。15,645 円。 52062750

▲〔TOMIX〕いすみ鉄道　キハ 52　125

★ JR 西日本の大糸線からの引退後、2011 年から千葉県のいすみ鉄道で観光列車用として運転が始まり話題となっているキハ 52　125 がハイグレード仕様でモデル化。7,560 円。 52060485

▲〔TOMIX〕ベーシックセット SD ブルートレイン

★パワーユニットと線路を同梱した、購入後すぐに走らせられる「ベーシックセット SD」に、根強い人気を誇る九州行きブルートレイン「EF66 + 24 系 25 形」が追加。15,750 円。 52067537

◀▲〔KATO〕急行〈ニセコ〉

★ C62 などが牽引していた時代の急行〈ニセコ〉編成を再現可能な客車セット。6 輌基本セット：12,600 円、6 輌増結セット：12,600 円。

▶〔TOMIX〕JR 貨物 コキ 107（W18F コンテナ搭載）

★次世代の主力コンテナ車とされるコキ 107 に、側方両開きコンテナ W18F を組み合わせたバリエーション。2 輌セット：3,990 円。

蒸気機関車 STEAM LOCOMOTIVES

今回も着実に広がった蒸気機関車ラインナップ。各社とも近年、各地で活躍している動態保存の特定ナンバー機を既製品のバリエーションとした展開や、その現役時代の姿を再現したモデルもありました。一方、今や伝説となってしまった名機、名コンビを改めて模型の世界で楽しもうと、現代の技術の粋を結集し新設計、新機構によって作られたモデルなど、各社、最も高い技術によって作られている分野でもあります。

ベーシック編

9600 (49654・後藤寺機関区) 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52047548

★マイクロエースの「キューロク」に新バリエーションが追加。プロトタイプは北九州で運炭に従事した49654（1920年川崎製）。キャブ裾点検窓付の九州タイプ＋デフなしという形態。
★九州タイプは1999年に49618として発売されているが、今回はテンダー形態が既存の「北海道重装備」などと同じほか、ランボードは白線入り。
★黒染車輪など、近年同社の仕様に準じ、細部印刷・着色もより充実。
★重連用アーノルトカプラー付属。

〔価格〕
●塗装済完成品：11,550円

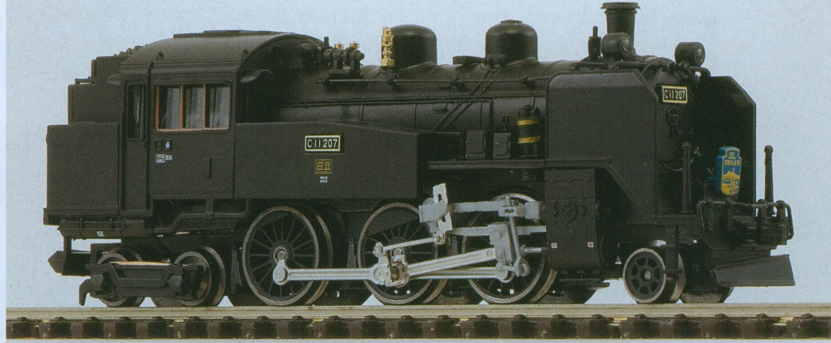
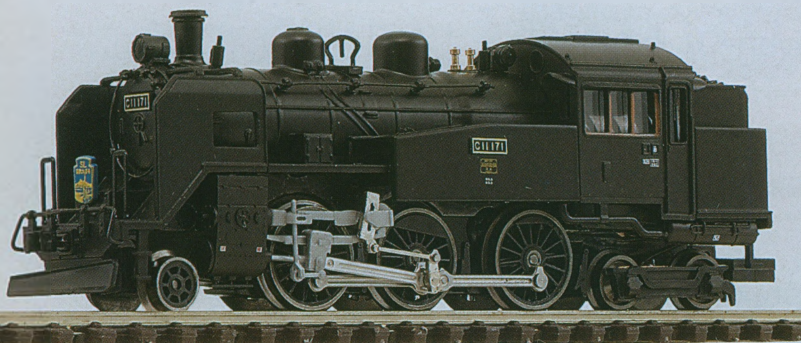
C11 171/207 〈SL函館大沼号〉 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053298（171号機）
52053296（207号機）

★JR北海道管内各地でのイベント・臨時列車に活躍する復活蒸機、C11。マイクロエースから2種がリニューアル再発売。
★実車は1999～2000年に相次いで復活。〈SLすずらん〉〈SLニセコ〉などを牽引し、近年は〈SL函館大沼号〉にも活躍中。
★近年の同社製蒸機同様、動力が改良され、窓枠や窓ガラス、銘板、細部の色入れも充実。先に発売された〈SLすずらん号〉客車牽引にもマッチする。
★今回より171号機はヘッドライトの表現が改良されより正確な形状となり、また前面手スリが実車通り「コの字」型となった。207号機は特徴の2灯ライトを前後ともに再現。双方とも前頭ヘッドライトは点灯する。
★今回は〈SL函館大沼号〉と機関車ごとにナンバープレートを記した〈すずらん号〉のヘッドマークが付属、また煙突には火の粉止めを装備。発電機部品は従来品より大型となり、JR無線アンテナが装備される。

〔価格〕
●塗装済完成品：各11,025円

■171号機

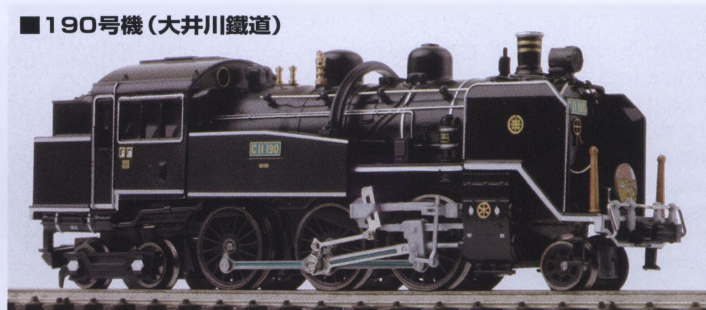
■207号機

C11 304(戦時型)／190(大井川鐵道・復活)〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52038490（304号機）
52038491（190号機）

★マイクロエースのC11に、久々のニューバリエーションが2種登場。
★304号機は戦時設計の四次型で、カマボコ型ドームが特徴。モデルは当初木製だったデフを鋼製とした後、1960年代初頭・茅ヶ崎機関区仕様。飾り気のない黒一色の装い。
★190号機は大井川鐵道の動態保存機。製品は2003年の復活時、お召機に準じた装飾が行なわれた姿で、ツヤあり塗装と各部の銀帯、金属無地の手スリなどはお召機そのもの。デフに入った社紋と「大井川」のヘッドマークが私鉄を主張する。後部妻板は埋込型尾灯、漏斗状の通気口（別パーツ）付の専用品。
★両者とも動力ユニットを改良、ヘッドライト形状改善や細部印刷・色入れの追加などで現行水準に合わせた仕様とされている。
★重連用アーノルトカプラー付属。

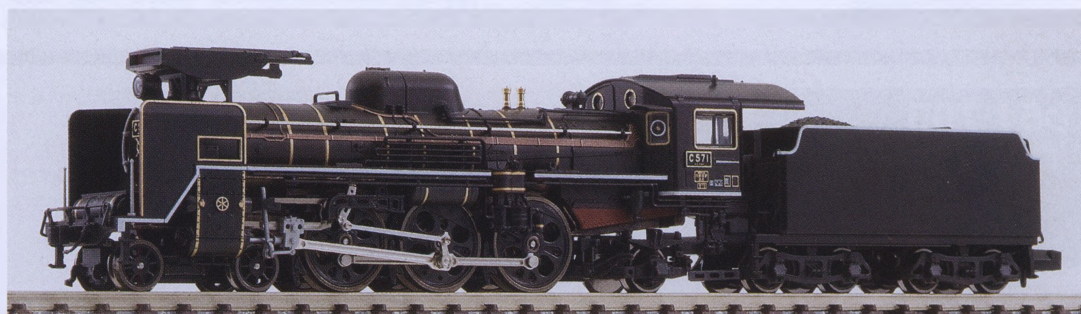
〔価格〕
●塗装済完成品：各11,025円

■304号機（戦時型）

■190号機（大井川鐵道）

C57 1〈やまぐち〉号〔TOMIX〕

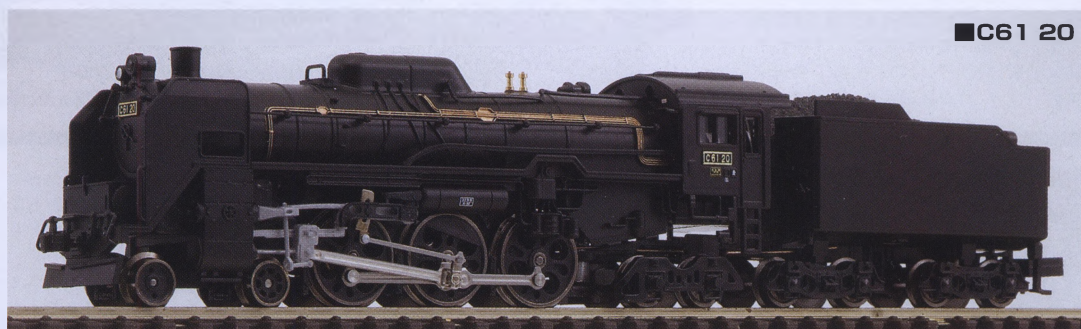
鉄道ホビダスはこちらから！
52037536

★以前135号機が発売されたTOMIXのC57に、動態保存機〈やまぐち〉号仕様が登場。
★実車は1937年川崎製。関東・東北で活躍ののち、1979年から山口線での保存運転を開始、現在も活躍している。
★同じ一次型ながら北海道仕様の135号機とは差異が多く、標準デフや開放キャブ、重油タンク・鋳鋼製台車装備のテンダーなど多くの部分を新規製作。集煙装置は脱着式で、外しての使用も可能。
★JR化後の最近の仕様で、かつてのお召牽引時を思わせる金線・白線入りの派手な装い。銀のハンドレールは金属線を使用、空気作用管は銅色で塗り分けている。
★ナンバーは黒地（ユーザー取付）。ATS車上子、重連用カプラー、前部標識灯といった別パーツのほか、〈やまぐち〉号の印刷済ヘッドマークももちろん付属。

〔価格〕
●塗装済完成品：18,690円

C61 20 東北型重装備／C60 7東北型〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52038486（C60 7）

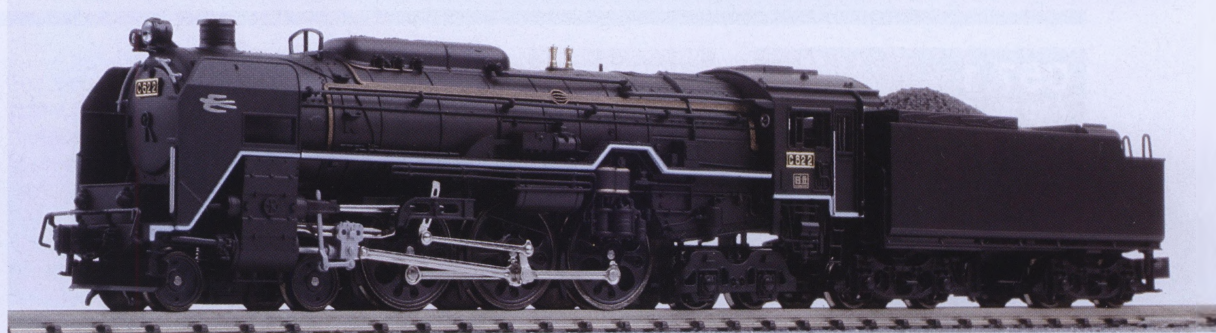
★マイクロエースより東北特急にゆかりの深いハドソン蒸機2種がリニューアル。
★実車のC61 20は戦後D51ボイラーを流用して製造された旅客用機関車。東北本線で〈はつかり〉などの優等列車の牽引にあたり、電化の進展により日豊本線へ移り1973年に引退、以後伊勢崎市内の公園で保存されてきたが、一昨年より修復が開始され、昨年6月に復活したばかり。C60 7はC59の従台車を2軸化し軸重を軽減した地方幹線用旅客蒸機。C61とともに〈はつかり〉の牽引にあたった。
★両製品とも以前発売されたものをベースに動力ユニットの改良がなされ、補助灯と後部ライトに銀色が入り、空気作用管にも銅色が追加され、検査標記や区名札が印刷される。C61では先輪形状が変更されている。
★ヘッドライトは点灯。双方とも〈はつかり〉のヘッドマークと重連用アーノルトカプラーが付属している。

〔価格〕
●塗装済完成品：各11,025円

■C61 20

■C60 7

C62 2
(北海道型)
〔KATO〕

★1970年代の蒸機終焉期、函館本線の急行〈ニセコ〉牽引で絶大な人気を誇ったC62 2の北海道時代の姿が満を持して登場。
★実車は1947年に登場した、国鉄最大最強の旅客用蒸気機関車。2号機は東海道時代にデフレクターへツバメマークを取り付け1956年の北海道転属後は、山線と通称される函館本線小樽〜長万部間で優等列車の重連牽引にも使用され、その勇壮さは注目を集めた。現在も梅小路で動態保存され、姿が見られる。
★製品は1970年代〈ニセコ〉牽引時代の北海道重装備仕様。デフのツバメマークはもちろんタブレットキャッチャー、スノープラウ、重油タンクなどのディテールを余すところなく再現。キャブ下の配管類も精緻で、キャブ内のバックプレートも表現される。
★今回より動力装置をリニューアル。スローから高速域まで滑らかな走行に加え、重連運転に向けた構造となり、往年の山線での雄姿も存分に楽しめるようになった。
★交換用ナックルカプラー、重連用スノープラウ、夏姿用の前部交換ステップが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品：13,125円

D51 706
(門鉄デフ・JNRマーク)
〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52044564

★マイクロエースのD51に、また新顔が加わった。
★706号機は1942年日立製。広島第二機関区から長門(当初は正明市)機関区へ転じた中国地方のカマだが、本州の所属ながら「門鉄デフ」こと小倉工場式デフ(K-7タイプ)が装備され、加えてJNRマークが入れられたことで後年は異彩を放つ存在であった。
★既に多くのラインナップを持つ同社のD51だが、門鉄デフ機は初めて。ランボード側面は白塗りで、JNRマークとともに存在感を強調する。煙突は火の粉止め付。
★改良型動力ユニット装備。細部着色・印刷など、基本的にはここ数年のD51改良品・バリエーション製品の水準に揃えた仕上がり。
★重連用アーノルトカプラー付属。

〔価格〕
●塗装済完成品：11,550円

ポケットライン
チビロコセット
メルヘンの国のSL列車
〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52070002

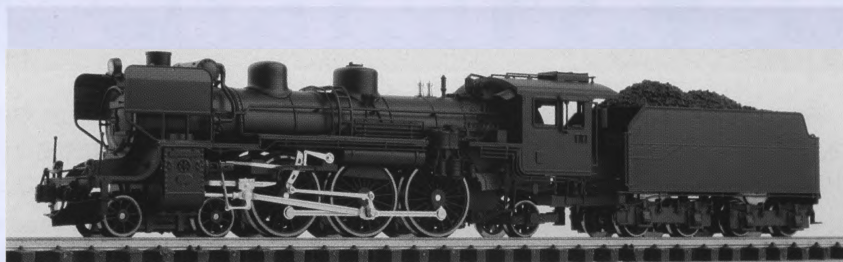
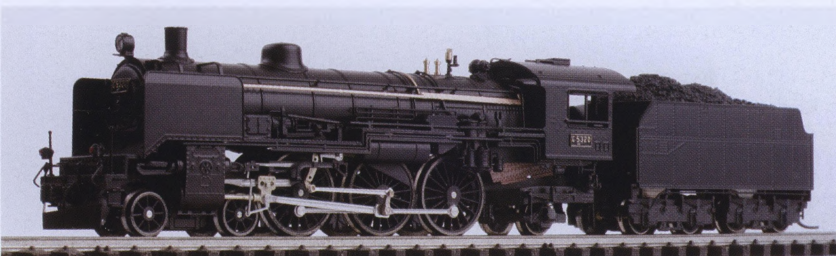
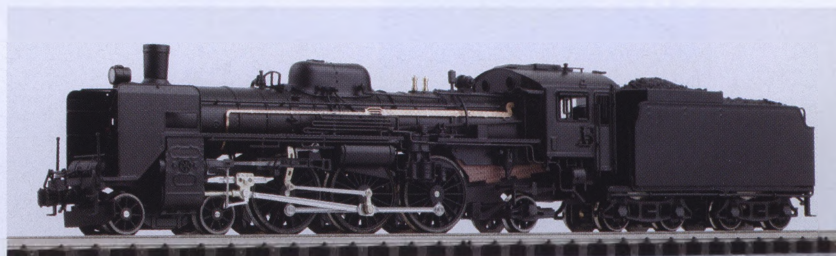
★再び活発な展開を見せるKATOポケットラインシリーズチビロコセットに新色が登場。
★「メルヘンの国のSL列車」と題し、欧州風のシックな色彩でまとめた3輌セット。保存鉄道や遊園地のアトラクションの雰囲気だ。似た配色の「オリエントエクスプレス'88」と並べてみたりしても楽しそうだ。
★紙パッケージ入り。ユニトラム・ユニトラックコンパクトの曲線にも対応、小さなレイアウトで楽しめる。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌セット：4,725円

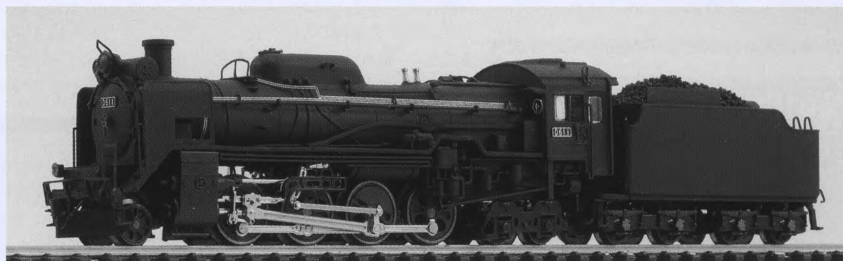
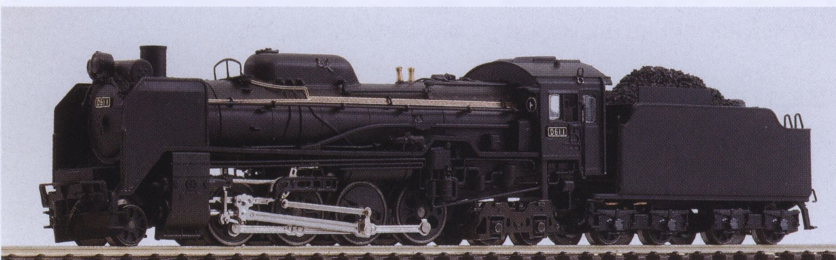
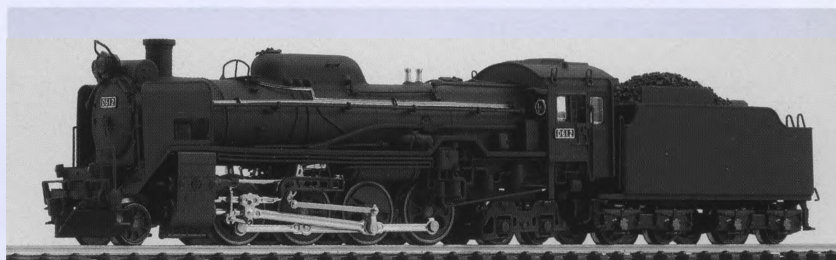
〔セット内容〕
■チビロコ＋チビ客車(M)＋チビ客車

エキスパート編

●ワールド工芸

毎年品質向上とバリエーション展開に気を抜かないワールド工芸。昨年の蒸機ではC51およびC55 三次型のバリエーション展開、そして待望の完全新製品である標準型C53が発売された。

▲**C51（271・274号機）** 同社C51のバリエーション。今回のプロトタイプは、テンダーが「12-17型」で、煙突が化粧煙突から普通のパイプ型とされたタイプ。キット：各29,925円、塗装済完成品（274号機）：79,800円

▲**C53** 昭和初期の東海道・山陽本線で独特な3シリンダーを響かせ活躍。数々の優等列車の先頭に立った同機の機械美と堂々としたプロポーションを再現。プロトタイプは初期型1 ～ 42号機。キット（デフなし・デフ付）：各31,500円

▲**C55 3次型（北海道密閉キャブ）** リニューアルが行なわれている同社のC55。このプロトタイプは製造時より標準型として登場した三次型（41号機～）。密閉キャブを持った北海道仕様。キット：31,500円、塗装済完成品（47・50号機）：各81,900円

●リアル・ライン

これまでディテールフルなD51を数多く発売してきたリアル・ラインから、D51の派生形式であるD61が初めての製品化となった。モデルは従来のD51同様、ファインスケールを目指した細密な仕上がりで、限定ナンバーや活躍時期を重視した製品構成となっているのも同様である。

▲**D61 1（深川機関区晩年タイプ）** 本来の活躍の地である北海道に渡り、切詰デフ耐寒仕様のテールライトなどの標準的な北海道仕様となった姿。塗装済完成品：29,400円

▲**D61 1（中津川機関区・新製時標準デフ）** D51から改造直後、試験のため中津川区に配属された当時のスタイル。標準仕様のデフに加え、出場直後でツヤのある塗装とされている。塗装済完成品：29,400円

▲**D61 2（深川機関区現役時代）** 羽幌線を中心に活躍していた時代のスタイルで、標準仕様のテールライトや前照灯のつらら切りなどが特徴。1号機よりキャブ上部の吊り金具が多い。塗装済完成品：29,400円

●ポポンデッタ

鉄道模型店ポポンデッタが運営する、東京・有楽町の鉄道カフェ「Cafe＆Bar STEAM LOCOMOTIVE」のコンセプトイメージのSL列車のNゲージモデルが登場した。小型蒸機と2軸無蓋貨車＋2軸客車による小編成、製造を担当する関水／KATOのポケットラインシリーズ「チビロコ」セットと「チビ凸」の無蓋車を組み合わせ、成型色、塗装・印刷を変えたもの。販売は「Cafe＆Bar STEAM LOCOMOTIVE」とポポンデッタ各店。

▲**SLコーヒー列車セット** ベースはKATO「チビロコ」セットと無蓋車によるバリエーション。元々プロポーションの良い「チビロコ」。独立した世界観の鉄道としても楽しめそうだ。動力は客車に搭載。塗装済完成品（3輌セット）：4,980円

電気機関車 ELECTRIC LOCOMOTIVES

根強い人気を持つ電気機関車。2011年は旧型電機が新規・リニューアル問わず発売されたほか、国鉄新性能電機も現行水準でのリニューアル・完全新規製品の登場が目立ちました。また実車でも話題をさらったJR東日本の〈北斗星〉〈カシオペア〉用のEF510が各社よりこぞって発売され、機関車ファンにとってもJR以降の新型機を手に入れる契機になったのではないでしょうか。

ベーシック編

ED16 〔KATO〕

★"赤ホキ"ことホキ2500とよくマッチし、晩年は昭和初期の風情を色濃く残した瀟洒なスタイルに人気のあったD型電機ED16がKATOより製品化。
★実車は1931年登場。当初は上越線や中央線などの勾配線区で使用され、戦後は阪和線で急行〈くろしお〉牽引にも活躍。晩年は立川機関区に集結し青梅〜南武線での石灰石列車牽引にて1983年まで活躍した。
★製品は昭和40年代以降の姿とされ、前面窓はHゴム支持、避雷器も晩年のもの。外板の縦帯とリベットを精緻に再現。前述の避雷器ならびにホイッスル・信号炎管は別パーツを取付済。
★付属ナンバープレートは3・10・16・18号機で、それぞれに対応した川崎・三菱・日立のメーカーズプレートが付属。
★ヘッドライト点灯。運転台はシースルー表現。小型ながらフライホイール付動力を装備し、長編成の牽引にも適する。

〔価格〕
●塗装済完成品：6,825円

ED16 1 立川機関区 改良品／EF12 16 スノープロウ付 高崎機関区 〔マイクロエース〕

★2001〜2002年に発売されたデッキ付貨物機2種が、晩年の姿として再リリース。
★EF12は1941年、EF10の出力強化型として登場。登場時は東海道線で重量貨物運用に従事したが、晩年は新鶴見および高崎に配属され首都圏各線および上越・両毛・吾妻線などの貨物運用にあたった。
★ED16は1931年に登場の貨物用D型電機。登場時は上越・中央線の勾配区間の運用にあたり、戦後は一時阪和線でも客貨両用に活躍。晩年は全車立川機関区に集中配置され青梅・五日市・南武線の貨物輸送を担った。
★製品では晩年仕様として、EF12には先台車にスノープラウを別パーツで追加し寒冷地対応の姿に。ED16には運転台後部の窓にタブレット保護棒を印刷表現している。
★そのほか細部標記などの印刷も追加。ホイッスル・導線・パンタ摺り板などにはメタリック塗装で金属地の表現が施される。

〔価格〕
●塗装済完成品：各8,295円

■EF12 16

■ED16 1

EF10 24 4次型 豊橋機関区／35 7次型 東京機関区 〔マイクロエース〕

★マイクロエースから既発売のEF10にバリエーションが登場。
★実車は旅客用EF53をベースに1934年に登場した戦前製の貨物用直流電機。車体形状からヒサシ付の前期（1〜16号機）、丸型の中期（17〜24号機）、角型の後期（25〜41号機）に大別される。
★製品は四次型24号機と七次型35号機がプロトタイプで、24号機は丸型車体の中期型。門司機関区所属時代に関門トンネル内での海水による腐食対策でステンレス車体に更新されている。台車は特異な形状の鋳鋼製台車を履く。以前から無塗装銀色の姿で製品化されているが、今回は茶色に塗装された晩年の豊橋機関区時代（飯田線用）とされている。
★35号機は角型の車体を持つ後期型で、台車は一般的な棒台枠台車。24号機同様門司機関区時代にステンレス車体となったが、改造当初から茶色に塗装されていた。屋上に常磐無線アンテナを装備した東京機関区時代（1965〜1977年）の姿を再現している。
★製品仕様は前回とほぼ同様でナンバー取付済、各種標記も製造・改造銘板や区名札に至るまで印刷済とされている。

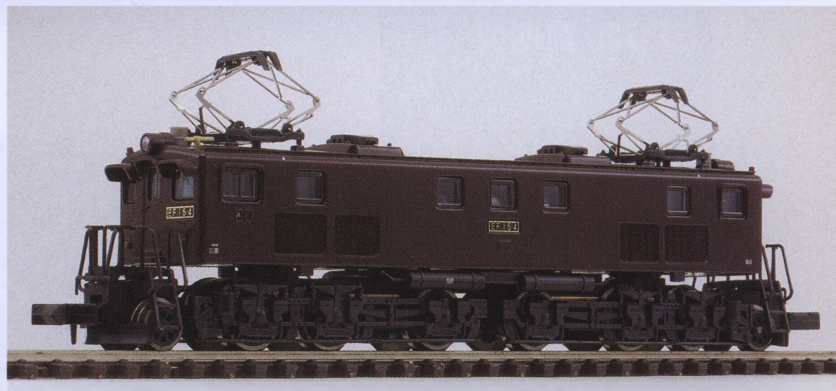
〔価格〕
●塗装済完成品：各7,665円

■24号機

■35号機

EF15 4（八王子機関区）〔マイクロエース〕

★マイクロエースのEF15に、新たなバリエーションとして最晩年八王子機関区に所属し首都圏各線で活躍した初期型が登場。
★実車は1947年製造。初期は福島に配属され、板谷峠の勾配対策でEF16に改造。EF64の投入により撤退後は勾配装備を撤去しEF15に復元、1980年まで首都圏で活躍した。既発売のトキ21100＋トキ21500「コイル鋼管号」との組み合わせにも好適なほか、首都圏各地の貨物列車に広く使用できる。
★製品は貫通扉上の増設ヒサシ、スノープラウなど一部の寒冷地装備が残るEF15復元後の姿。初期車ゆえの少ない側面窓の数、狭い助士席側窓を再現している。
★ヘッドライト点灯、エンド・検査標記などは印刷済。

〔価格〕
●塗装済完成品：9,345円

ED61／ED62〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52049088（ED61）
52049089（ED62）

★TOMIXのED61・62が、新仕様となってカムバック。
★1997年発売の旧製品も充分現在のレベルに近いものだったが、今回品では先のED75・79同様のフライホイール付動力を採用。運転台もシースルーとなった。
★ディテール面でも解放テコの追加（別パーツ取付済）、前面手スリ・信号炎管・ホイッスル別パーツ化（ユーザー取付）で細密化。前面ステップ縁には銀色印刷が入る。
★ナンバー・メーカーズプレートは選択式で、ED61が1・7・9・12、ED62が3・4・6・17号機。ヘッドライトは常点灯対応、交換用TNカプラーも付属する。
★ミニカーブレール通過可能。

〔価格〕
●塗装済完成品
ED61：6,510円
ED62：6,615円

■ED61

■ED62

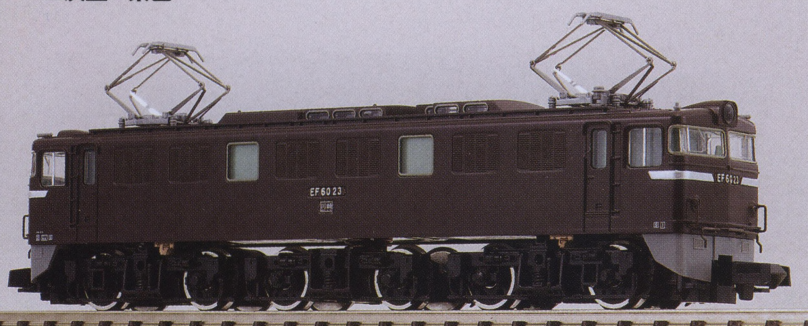
EF60 2次型／EF60 2次型・茶色／EF60 19・復活国鉄色〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52060427（2次型）
52060429（2次型・茶色）
52060426（19号機）

★TOMIXから、同社では初製品化となるEF60が3種のラインナップで登場。
★プロトタイプは駆動方式をクイル式から吊掛式へ変更、車体長が500mm伸びた二次型。国鉄時代は主に貨物牽引に活躍、多くはJR化を待たず廃車されたが、ジョイフルトレイン牽引用としてJR東日本に継承された19号機が現存する。製品では国鉄時代の茶色・青色、JR仕様の19号機の3種を用意。
★EF65より続く新仕様のTOMIX直流機の最新作で、スケール通りの車体長での製品化。茶・青はボックス輪芯、グレーHゴム、白熱灯一灯の前灯、内バメ式尾灯という装備。
★19号機は相方の客車「やすらぎ」廃車後の2008年に一般色へ戻された姿。一体圧延車輪、黒Hゴム・黒色屋根、2灯シールドビーム化された前灯、外バメ式尾灯など時代に伴う変化を細かに再現、スノープラウを装備。なお、車輪は各車とも銀色メッキ仕上げ。
★付属の選択式ナンバーは青・茶が23・37・42・46、19号機は19・15・24・38号機。
★手スリ、ホイッスルはユーザー取付。交換用TNカプラーの他、19号機のみ無線アンテナとその取付治具も付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
青・茶色：各6,510円
19号機：6,720円

■二次型

二次型・茶色

■19号機

EF62 前期型 〔KATO〉

鉄道ホビダスはこちらから！
52043136

★KATOから初登場となるEF62が発売された。
★同機は首都圏と信州および北陸地域を結ぶ信越本線の難所、横川～軽井沢間の碓氷峠の補機であるEF63に協調運転でき、かつ信越本線の全線に渡って走破のできる性能を併せ持つ機関車として1962年に登場したもので、3軸台車やFRPの屋上カバーなど随所に工夫の凝らされた特徴が見られる。
★モデルでは小判型台座のテールライトや引き違い式の運転台側面窓、フィンタイプの側面空気取入口、避雷器位置など前期型の特徴を再現。
★また同機ならではの特徴としてFRP屋根部に荷重を掛けないよう桁を渡されたパンタ取付部や、前面ステップのステンレス表現などが再現されている。
★そのほか運転台はシースルー化し、ディテールを再現。動力にはフライホイール搭載、ヘッドライト点灯。
★付属ナンバープレートは7・11・20・23号機が入り交換用ナックルカプラーも付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品：7,350円

EF63（2次型） 〔KATO〉

鉄道ホビダスはこちらから！
51710533

★碓氷峠の「シェルパ」として今でも伝説的に語られ人気のある電機、EF63がKATOから再登場となった。
★登場したのは2008年製品化の二次型。特徴となる改良点はライト基板。これはテールライト点灯用の特殊な回路構成のため、製品状態では同社「パワーパック ハイパーD」での運転ができないという不具合が見つかったが、その対策を行なった基板が載せられている新仕様。
★そのほか2エンド側に双頭連結器や、ジャンパ栓など再現された外観の特徴や付属品は不変。
★従来品の一・二次型も、ホビーセンターカトー発売の基板（3057G／EF63ライトユニットD　525円）への交換で、「パワーパック ハイパーD」対応可能。
★いずれにせよ、こだわりのシーンを行く同機牽引の列車など「パワーパック ハイパーD」で楽しもうとしていた向きも多いと思われただけに歓迎されるだろう。

〔価格〕
●塗装済完成品：7,875円

EF64 5次車／37・茶 〔TOMIX〉

鉄道ホビダスはこちらから！
52040380（5次車）
52040381（37号機・茶）

★TOMIXのEF64 0番代に新規バリエーション五次型2種が追加。
★実車は前面通風口のある前期型のうち前面ステップの幅が狭くなった五次車。電気暖房（EG）装備車であり、JR東日本に継承後ATS-P機器搭載に関連して外はめ式テールライトに改められている。37号機はイベントなどに使用するため2003年に茶色塗装とされており、2009年より1年間〈あけぼの〉牽引にも活躍した。
★プロトタイプはJR化後の姿であり双方とも黒Hゴム。青塗装はJRマーク印刷済となっている。
★製品はこれまでに発売されたEF64 0番代各種に準じフライホイール動力を採用。前面手スリはユーザー取付の別パーツ。解放テコは出荷状態で取付済。銀色車輪を使用し、車輪輪心は近年の実車に基づき一体プレート型がはめ込まれている。
★ヘッドライトON／OFF機構装備。TNカプラーが付属する。選択式ナンバーは双方とも37・38・39・42号機が付属。

〔価格〕
●塗装済完成品：各6,720円

■5次車

■37号機・茶

EF64 1000番代 広島更新色タイプ 〔ラウンドハウス〕

★ラウンドハウスから、EF64 1000番代の少数派カラー・広島更新色仕様が発売。
★実物は2006～2007年にかけ、広島車両所で更新された1046・1047・1049号機（当時岡山配置）に採用された塗装で、高崎区配置の更新機とは異なる独自の塗り分け。現在は3輌とも愛知区に転じ、東海・東日本地区にも姿を見せるようになった。
★製品はKATO発売のJR貨物更新機ベースの色替え品。そのため屋上ディテールが一部実車と異なり「タイプ」を名乗るが、塗装はくっきり美しく雰囲気は充分。実車3機分のナンバープレートが付属している。

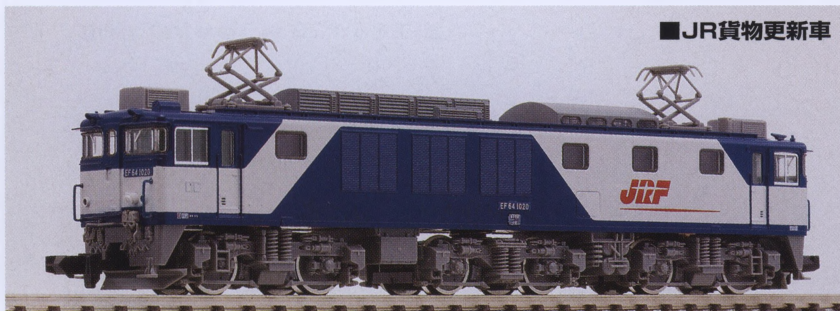
〔価格〕
●塗装済完成品：7,350円

EF64 1000番代（1001・茶色／JR貨物更新車）〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053799（1001号機・茶色）
52053800（JR貨物更新車）

★「さよなら北陸」セットにて完全新規で登場したTOMIXのEF64 1000番代が単品で登場。まずは塗色変更機2種が発売された。
★「1001号機・茶色」は1987年、高崎地区のイベント列車、EF55の補機などに充てるためぶどう色＋白帯とされたもの。側面は〈北陸〉セットと異なり電暖表示灯付。
★「JR貨物更新車」は白の斜めストライプが入る高崎機関区配置機の塗装。電暖表示灯は撤去、屋上にはクーラーが載り、GPSアンテナは別付部品で同梱。ナンバーは1004・1009・1020・1022号機をセット。
★2種とも一部屋上機器・手スリ等の別付パーツのほか、交換用TNカプラーが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品：各7,140円

■JR貨物更新車

■1001号機・茶色

EF64 1031（長岡車両センター）〔KATO〕

★KATOのEF64 1000番代に、特定番号機として長岡配置の1031号機が登場。
★実車は双頭連結器装備のナンバー。モデルではEF63同様、切替・連結可能な双頭カプラーを装備（出荷時は片側双頭・片側アーノルト、交換用部品各1個入）し、改造された復心装置やジャンパー栓、切り欠かれたスカートも再現される。
★実車に合わせHゴムは黒、JRマークは小さめ。屋上は黒塗りで、抵抗器廻りのみ銀色。ナンバー・銘板は印刷済となる。
★前面手スリやジャンパー栓、一部屋上機器はユーザー取付。
★〈あけぼの〉〈北陸〉のヘッドマーク付属。同時再生産の〈あけぼの〉の牽引もさながら、連結器を生かした電車の回送なども面白い。

〔価格〕
●塗装済完成品：7,035円

EF65 0番代（100・114 JR貨物仕様）〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52028460

★EF65 0番代最後の活躍の場として注目を集めた岡山機関区の2輌の0番代をプロトタイプにした限定品。
★まず国鉄色の100号機は0番代の中でもJR化後、早くから下枠交差型パンタグラフを装備し注目を集めた機関車。屋上モニターは青色でパンタ下部分屋根は灰色。
★114号機は広島工場施工の更新色の中でも当初に塗られた、車体上部をライトブルー、中部をミディアムブルー、下部をライトグレーとした、3色で構成された更新色を最後まで維持した0番代。前面ガラス中心間は黒色、屋上はモニター、下枠交差パンタ下部までライトブルーの姿を再現。また台車はグレー成型。
★どちらも車番印刷済、Hゴムは黒色、解放テコは取付済。
★付属品には専用ＴＮカプラー、前面手スリ、GPSアンテナが入り、外箱に専用パッケージがあてがわれる。

〔価格〕
●塗装済完成品
2輌セット：13,650円

■100号機

■114号機

EF65 123「ゆうゆうサロン岡山」／ED76 78「パノラマライナー・サザンクロス」〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52047545（EF65）
52047546（ED76）

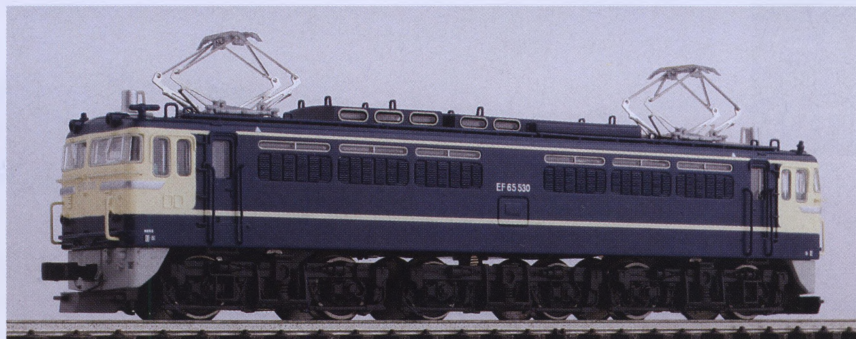
★別項で紹介のジョイフルトレイン2編成と併せ、その指定牽引機として塗装変更された機関車2種が発売。
★EF65 123は「ゆうゆうサロン岡山」牽引用として1986年に指定。2002年の廃車まで専用塗色で活躍した。製品は客車と同じく塗装変更後の姿（オレンジ一色）。2006年のマイクロエース10周年記念セットにて発売済だが全検標記が異なり、動力はフライホイール搭載。
★ED76 78は「パノラマライナー・サザンクロス」登場時に牽引機に指定、客車の引退を見届けて1994年に廃車となった。本塗色は2004年に発売済だが、今回は前面飾り帯が塗り潰された晩年の姿。このほか屋上のガイシや配管が銀色となり、フライホイール付動力となっている。
★各機とも、牽引客車に応じた印刷済ヘッドマークが付属。

▲付属の各ヘッドマーク

〔価格〕
●塗装済完成品
EF65ゆうゆうサロン色：8,190円
ED76サザンクロス色　：7,665円

■ED76 78「パノラマライナー・サザンクロス」

■EF65 123 ゆうゆうサロン岡山

EF65 530〈富士〉牽引機〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
51977941

★寝台特急〈富士〉の東京～下関間で先頭に立った牽引機が登場。
★EF65 500番代（P型）は0番代をベースに寝台客車に合わせたブレーキ装置と、「特急色」と呼ばれる塗色で、九州行きブルトレの黄金時代の機関車として人気を集めた。
★モデルの時代設定は1970年代の東京機関区所属時代とし、発売中の24系〈富士〉牽引に合わせ同列車のヘッドマークが付属する。
★フライホイール付き動力採用、全軸集電など、一層滑らかな走行が約束される。
★1エンド側がダミーカプラーのため、交換用のアーノルトカプラーが入る。

〔価格〕
●塗装済完成品：8,190円

EF65 1000番代（前期型／前期型JR貨物更新車）〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52049091（前期型）
52052121（前期型JR貨物更新車）

★2007年から新仕様で展開中のTOMIX・EF65PF型に、PS17形パンタの前期型2種が追加。
★プロトタイプは2種とも、前面通風口付・内バメ式尾灯で、かつステップ幅が縮小された顔を持つ三次車。スカートはKE59形ジャンパー栓付。また、屋上ランボードは後期型各製品より低くなっている。
★無印の「前期型」は1984年頃の姿で、灰色Hゴム・屋上黒塗装、前面ツララ切り上面は青色。スノープラウ付。国鉄時代の設定のため無線アンテナは付属しない。付属ナンバーは1031・1032・1038・1039号機。
★「前期型・JR貨物更新車」は、上部の青色が一色となった2色更新色。無線アンテナ・GPSアンテナが付属する。ナンバーは1034・1035・1036・1037号機。

〔価格〕
●塗装済完成品
前期型　　　　：6,615円
JR貨物更新車：6,825円

■JR貨物更新車

■前期型

EF65 1000番代後期型 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52046416

▲付属ヘッドマーク。

★KATOからブルトレブームの立役者、EF65 1000番代後期型が完全新規金型で登場。
★実車は1000番代の中で1976年以降に製造された後期型とされ、プロトタイプは1978年に500番代P型を置き換える形で大部分が東京機関区に配置されたグループ。スノープラウ、ホイッスルカバーは配置直後に外され、外バメ式テールライト、下枠交差型パンタ、ブロック式ナンバープレートの姿で長らく九州行きブルトレの先頭に立ち活躍した。
★モデルでは従来品よりも短いスケール通りの車体長を実現。動力は軽量かつ長編成に適したものとなった。側面採光窓およびモニター窓ははめ込式ガラスとなり、運転台の計器類も再現されている。
★屋上塗装は登場当初の青塗装で表現され、信号炎管とホイッスル、避雷器、解放テコ、重連用ジャンパ栓受けは別パーツで取付済。連結器下部にはATS車上子保護板が再現されている。
★ナンバーは1093・1095・1100・1103号機の選択式。〈さくら〉〈みずほ〉のクイックヘッドマーク、交換用ナックルカプラーが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品：7,350円

ED75 759仙台機関区／ED79 13青函運転所 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52044295（ED75）
52044296（ED79）

★マイクロエースよりED75のバリエーション2種が追加。
★実車のED75 759は残り少ないJR東日本所属の現役機で仙台車両センターに所属。工臨や回送、イベント列車などにも活躍している。ED79 13はED75 700番代後期車より改造された青函トンネル用機関車で回生ブレーキを装備。現在はJR北海道函館運転所青函派出所に所属し、特急仕業を中心に旅客列車に活躍中。
★製品は既発売の同型機に準じ、ED75 759は黒Hゴム化された姿を再現。ED79 13は2エンド側がシングルアームパンタに換装される前の、前後下枠交差型パンタで、前面のHゴムが一時期、左右で色が違っていた姿を再現。
★今回より側面の電気暖房表示灯が作り分けられ、ED75 759は中期型の縦長のもの、ED79 13は後期型の小型のものとしている。解放テコも別パーツによる表現。
★ヘッドライト点灯。ED79 13には快速〈海峡〉のヘッドマークが付属している。

▶ED79に付属のヘッドマーク。

〔価格〕
●塗装済完成品：各7,140円

■ED75 759

■ED79 13

ED79（シングルアームパンタ） 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52024355

★TOMIXのED79に、国鉄型の車体とミスマッチなシングルアームパンタ車が登場。
★実車は2010年から交換を開始。シングルアームパンタは函館方のみに搭載され、青森方は下枠交差型のまま残っている。
★モデルは既存のED79 0番代をベースに、2エンド側パンタをシングルアームのPS79に変更したもの。また下枠交差型パンタも、従来品とはシュー形状を違えている。
★〈北斗星〉〈カシオペア〉〈はまなす〉のヘッドマークが付属。選択式ナンバーは既にシングルアーム化済の7・13・18・20号機。

〔価格〕
●塗装済完成品：6,825円

▲付属のヘッドマーク。

ED79 50番代

〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52059210

★青函トンネル内の貨物牽引用にJR移行後に新製増備されたED79 50番代がTOMIXより初登場。
★実車は1989年にJR貨物が製造した番代で、国鉄時代にED75より改造された0番代とは塗装以外にも前面窓の傾斜、つらら切りが追加されている。
★製品は最近のTOMIX・ED75系列に準じた構成。フライホイール搭載の定評のある走行性能とともに、輪芯パーツは一体圧延車輪を再現したもので軽快感あるグレーの足廻りを引き締める。運転台側面窓下部の切り抜きのJRマークは立体感あるもので扉の赤色と大きなエンド標記とともに良いアクセントとなる。
★ナンバープレート、前面手スリ、信号炎管などがユーザー取付パーツとなる。交換用TNカプラー、GPSアンテナが付属している。

〔価格〕
●塗装済完成品：6,930円

EF81〈トワイライトエクスプレス〉

〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52059546

★〈トワイライトエクスプレス〉専用機として客車に合わせた塗装のEF81がKATOから新登場。
★以前ラウンドハウスで発売のものとは別物で、下欄の300番代同様の新型動力、金属線の屋上配管、別パーツの手スリ・解放テコ付といった新仕様。ナンバーは選択式（103・104・113・114号機）。
★銀の細帯が入ったリニューアル塗装。車体色は明るめの表現。
★カプラーはアーノルト標準装備（交換用ナックルカプラー付）。
★前灯点灯。ヘッドマーク付属。

〔価格〕
●塗装済完成品：7,560円

EF81 300番代

〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52046417

★KATOからEF81の新バリエーション、ステンレスボディの300番代が新規品で登場。
★実車は1973年、関門トンネルの通過列車の増加に対応して登場。EF81をベースにステンレスボディと防錆対策を施した交直流電機で、国鉄時代は重連非対応のため主に旅客列車の牽引にあたった。
★車体は完全新規で車体コルゲートが細密に表現される一方、より細やかで輝度が高い銀塗装が金属の実感味を増している。動力ユニットもリニューアルされ、運転台は淡緑色で計器類も再現されている。
★1978年頃の303号機を基準に再現され、重連化改造以前の姿としている。屋上高圧配線の一部は金属で再現され、緑色成型のプラ製ガイシと一体で表現。パンタのガイシも緑成型の別部品が奢られる。誘導員手スリと解放テコも別パーツで、連結器下部はATS車上子保護板も再現されている。
★ナンバーは301・302・303・304号機の選択式。そのほかの付属品は〈富士〉〈さくら〉〈はやぶさ〉のクイックヘッドマーク、交換用ナックルカプラー。

〔価格〕
●塗装済完成品：7,560円

▲付属ヘッドマーク。

EF81 300番代(ローズピンク塗装タイプ)〔ラウンドハウス〕

▲付属のヘッドマーク。

★KATO製EF81 300番代に、ラウンドハウスブランドの色替えバリエーションが登場。
★関門トンネル用のステンレス車体を持つ300番代は無塗装の銀色が本来の姿だが、301・302号機は1978年より常磐線(内郷機関区)へ転属した際に一般機同様のローズピンク塗装がなされ、貨物・ブルトレ牽引にあたった。後に関門用として復帰後も塗装を剥離することなく使用されている。
★製品は両機の国鉄時代がプロトタイプ。塗色変更品のため、車体のコルゲート端部形状が303～のタイプであることと、常磐無線アンテナがないことから「タイプ」とされている。屋上ガイシは通常機と同じ白色。
★屋上導線の一部金属線使用および改良型動力、クイックヘッドマーク装備などは、最近発売のEF81改良製品群と同様。
★301～304号機のナンバー、交換用ナックルカプラー、〈ゆうづる〉ヘッドマーク付。

〔価格〕
●塗装済完成品：8,295円

JR貨物 EF510 0番代〔KATO〕

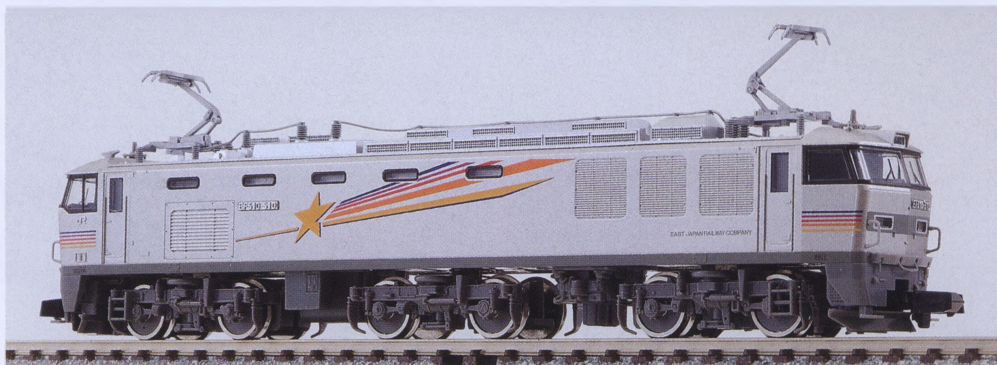
鉄道ホビダスはこちらから！
52052487

★KATOのEF510 0番代(量産機)が、動力を新仕様に刷新して再登場。
★今回採用の動力ユニットはEF510 500番代〈北斗星・カシオペア〉色の製品化に際して採用された高出力型で、それ以前の製品である0番代にも新たに波及したもの。
★外観は従来と変わりなく、付属ナンバーは10・14・18・20号機の選択式、交換用ナックルカプラー(標準はアーノルト)が付属。

〔価格〕
●塗装済完成品：7,140円

JR東日本 EF510 500番代〈北斗星〉/〈カシオペア〉〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52024353(北斗星)
52024354(カシオペア)

★新世代の特急牽引機・EF510 500番代がTOMIXからも2色同時に登場。
★同番代は人気機種だけに各社から発売済で、競合は避けられないといったところ。ヘッドマーク掛けやスカートのディテール、ナンバーの位置など、0番代との差異は本製品でもしっかり作り分け。前面手スリ・信号炎管・列車無線アンテナ・ホイッスルカバーは別付パーツとなる。
★塗装・印刷は2種とも良好な仕上がり。切り抜き文字のJRマークはモールド＋着色で表現、良いアクセントになっている。
★北斗星色は503・504・507・508、カシオペア色は509・510・514・515号機のナンバーが付属。ヘッドマークはいずれも〈北斗星〉〈カシオペア〉各1点入。連結器はアーノルトで、交換用の密自連型TNカプラー付。

〔価格〕
●塗装済完成品：各7,140円

▲両製品付属のヘッドマーク

JR東日本 EF510 500番代（カシオペア色）

〔KATO〕

★KATOのEF510 500番代に〈カシオペア〉塗装機が追加。
★当該色のEF510は509・510号機。銀色の塗装は高品質のもので、帯色の印刷もまた精緻、電機のイメージを覆す銀色の体躯を再現。
★クイックヘッドマークは〈北斗星〉、〈カシオペア〉の2種、実機2輌分の選択式ナンバー付。
★同時にE26系客車も刷新。機関車込みの4輌セットが基本セットとなった。

〔価格〕
●塗装済完成品：7,350円

JR東日本 EF510 501 ブルートレイン牽引機

〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52014602

★2010年、〈北斗星〉〈カシオペア〉牽引機としてデビューしたEF510 500番代が、マイクロエースからも製品化。
★実車はEF81に代わる交直流機でJR貨物の0番代をベースに、ブルートレインに合わせた設計としたもの。客車に合わせた青色基調にスピード感ある流星マークが目新しい。
★製品は〈北斗星〉色のトップナンバー501号機。0番代と比べ、アンテナ増設やヘッドマーク掛け、スカートの形態など前面廻りを中心に変更が見られる。
★その他の仕様は0番代同様。〈北斗星〉〈カシオペア〉のヘッドマークが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品：7,875円

チビ凸セット いなかの街の貨物列車（青）

〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52052477

★KATOポケットラインシリーズのチビ凸セットにカラーバリエーションが登場。
★私鉄の小型車や路面電車をデフォルメしたフリーランスであるこのシリーズは2010年、パンタグラフや塗装がリニューアルされ好評を博したもの。
★最も人気のあったこのセットでは新たに機関車を青色とし、前作同様、架空の社紋とナンバーが印刷されている。パンタグラフは折畳み可能のPS16Bタイプで屋上のグレーの塗装によって、まとまり良く仕上がっている。
★前作から引き続き黒成型の無蓋車2輌と好ましい編成が組まれる。

〔価格〕
●塗装済完成品・3輌セット：3,150円

〔セット内容〕
■チビ凸（M）＋トム＋トムフ

エキスパート編

●ワールド工芸

いつもながらの渋い題材が光るワールド工芸。近年話題の車輌を題材に展開し、繊細さと組みやすさを両立させた素材と構成でキットを主体に完成品も発売している。

▲EF53 前期／後期型戦後タイプ（埋込テールライト） ワールド工芸のEF53に、新バリエーション。今回は前期型・後期型のそれぞれのテールライトが車体埋め込み型に移設されたタイプとしての登場。ホワイトメタルを使用していた抵抗器屋根部が真鍮板に変更されるなど、改良が行なわれている。キット：各17,325円、塗装済完成品：各39,900円

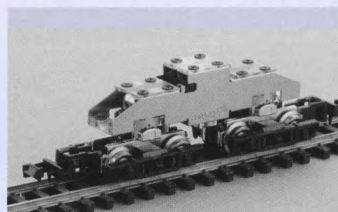
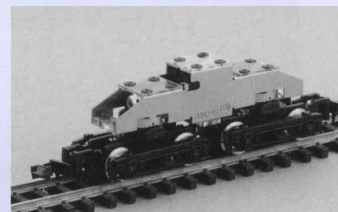
▲上信電鉄デキ1 動力機構を刷新して久々に再登場となった上信の主、デキ1。実車はドイツ製のフォルムが光る。キットは部品の配置でデキ1～3の作り分けが可能。キット：12,600円、塗装済完成品：26,250円

▲上信電鉄デキ1 原形 最大の相違点は、輸入当時に装備していた大型のパンタ。洋白製の本体枠と既製品パンタの台座及びシューを組み合わせこのスタイルを再現。キット：13,125円、塗装済完成品：26,250円

●アルナイン

「とて簡」シリーズを着実に充実させているアルナイン／アルモデル。今回は独自設計の動力ユニットの登場によって、今まで困難だった細身のボンネット車体も可能となった。今回では栗原電鉄ED20を思わせる凸電をリリース。

▶銚子電鉄デキ3（ポール仕様） 銚子のマスコット的存在のデキ3。集電装置ガポールだった時代の姿が追加。新規パーツであるポールは、かっちりとしたエッチング部品で再現される。キット：5,985円、塗装済完成品：14,700円

▲とて簡【SP】凸型の機関車 今回の注目は、同社開発の完成済動力ユニット「アルパワー／アルボギー」を指定とした新しいシリーズ展開で、キャブ付近まで細身のボンネットを再現できるとともに、大柄の台車がどっしりと落ちついて、下廻りのデフォルメ感のない雰囲気を再現できるのが嬉しい。キット：1,980円

▲アルボギー 30A（日車D型） 独自設計の動力ユニットで、細身の車体への装着も可能。台車付き：3,990円

▲アルボギー 30A（DT13） こちらも同様、細身の車体への装着も可能。台車付き：3,990円

メーカー担当者に聞く…!

2011、メーカー別モデル・オブ・ザ・イヤー KATO編

昨年のD51 498同様、年末の蒸機新製品として話題をさらったC62北海道形や、〈トワイライトエクスプレス〉のような王道的ラインナップのほかに、東京メトロシリーズやKOKUDENの名のもとに復活した103系といった、従来とは異なる展開も見せた2011年のKATO。例年とはひと味違う企画の経緯や今後の展望について、企画担当のSさんと広報担当のKさんに語っていただきました。　まとめ:鈴木重幸

N-gauge Informationの投票による2011 KATO製品ベスト5

(コメント:編集部)

第1位　C62 2 北海道形
…東海道形につづくバリエーション的な位置づけではありますが、動力は早くも完全に刷新され、より良いものを目指すストイックな姿勢が感じられました。また3号機とのゴールデンコンビがKATO製品では初めて再現できるとあって、熱狂的に歓迎されたようです。

第2位　東京メトロ銀座線01系
…新たにスタートした地下鉄シリーズの第一弾。16m級という独特なディメンションゆえにすべてが新規開発となった力作で、「地下鉄は売れない」というジンクスも完全に払拭されたように思います。新たに発売となったLED室内灯クリアも好評でした。

第3位　24系寝台特急〈トワイライトエクスプレス〉
…近年活発なブルトレ製品の新作で、長年他社製品の独擅場だったトワイライトに果敢に進出。1輌ごとに個性ある編成のため、金型も多く必要となりますが、それだけに見ごたえあるモデルとなっていました。専用機EF81トワイライトエクスプレス色も安定した仕上がりでした。

第4位　E5系新幹線〈はやぶさ〉
…実車の営業運転開始とほぼ同時に発売という、これ以上ないタイムリーな製品展開が驚きでした。プロポーションも塗装も素晴らしい仕上がりで、特に光沢気味で塗られたメタリックグリーンの美しさにしびれました。デリケートな機構の採用を見送り、万人に扱いやすいモデルとなっていたのも評価できると思います。

第5位　東京メトロ有楽町線・副都心線10000系
…01系と合わせ、メトロ車が2系列もランクイン。いかにこれまでKATOからの発売が待たれていたかがうかがえます。屋上配管を別パーツで再現するなど、すっきりした外観の中に見どころを盛り込む方針が見られました。

KATOが考える2011新製品ベスト6

(順位なし、掲載順は不同)

- ○E5系新幹線〈はやぶさ〉
- ○C62 2、3号機 北海道形+急行〈ニセコ〉
- ○東京メトロ01系銀座線・10000系有楽町線・副都心線
- ○EF81+24系寝台特急〈トワイライトエクスプレス〉
- ○チビ電チキンラーメン号
- ○103系KOKUDEN

再び進化を遂げたC62

RMM:今回も編集部からはNゲージ情報サイトN-Gauge Information(http://ngi.blog.eonet.jp/、以下NGIと記述)が年末企画として集計した人気ランキングの結果をご用意しましたが、ご覧の通りC62 2号機が1位で、3号機もベスト10にランクインという結果となりました。

K:やはりC62はEF58とともに商品として「強い」ですね。それだけ多くのファンに愛されている車輌ということなのでしょう。

S:私どもとしては2号機と3号機、〈ニセコ〉客車を含めてひとつの製品という考え方なのですが、2号機と3号機を比べた場合、どうしても2号機の方が特徴が明確で人気があるのは明らかですから、そういう意味では3号機は製品の立ち位置として難しい部分がありますね。ただ、実売数では2号機と3号機でさほど違いはありませんでした。

K:〈ニセコ〉を実体験している世代はほぼ50代から上ですが、3号機はJR化後に復活運転しているので、より若い世代にも馴染みがあるせいかもしれません。

RMM:以前の東海道形から3年しか経っていませんが、動力は早くもリニューアルされました。

S:当社のC62としては3代目ということになりますが、やはりD51 498でコアレスモーターを使ってあそこまでの形に進化したわけですから、C62が古いままというわけにはいかないだろう、ということですね。それと、モーターなどにどうしても個体差があって、同じ製品であってもなかなかスピードが揃わないものなのですが、コアレスモーターにはそれを吸収して協調する特性があるのです。C62の北海道形では〈ニセコ〉の重連は欠かせませんから、コアレスモーターの新動力を採用する積極的な意味があるわけです。

K:コアレスモーターは従来の磁石式モーターとの相性も良いですね。今度「オリエントエクスプレス'88」の再生産に合わせてD51 498のオリエント仕様を出しますが、同時に再生産するEF58 61との重連もできますよ。

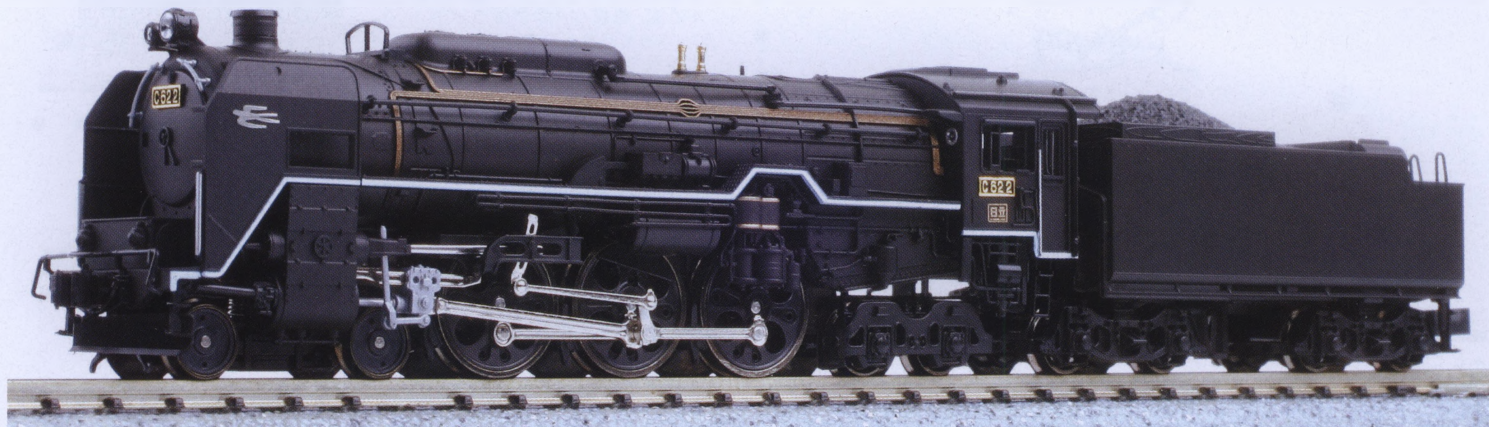
RMM:動力機構としては、D51 498と同じ「動軸に最大のウェイトが懸かる」という、重量バランスの最適化で牽引力を出す方式ですよね。

S:はい、フライホイールが2個になったのを含めて同じです。ただし、D51ではモーターが動軸の後ろだったのに対して今回は前側なのでD51とは向きが逆になりまして、精密なコアレスモーターというのは正回転と逆回転がはっきりしているので、ウォームをD51とは逆に切って、前進時が逆回転になるようにしてあるんですよ。

RMM:ディテール表現や塗装も大変リアルに感じられますが。

S:設計担当は実機の現役時代を知らない若い世代ですが、我々おじさん世代の要望に応えて(笑)よくやってくれまして、最終的には逆に「ココとココはやるがココの部分だけはコストの関係で2号機と3号機の違いを作り分けられない」というレベルまで煮詰めることができました。塗装に関しては、北海道形特有の赤みがかったというか、埃っぽい感じの色を新たに作って現役時代の再現を試みました。

被災者の心の支えにもなったE5系

K:E5系は、NGIの集計では第4位ですが、心情的には別格の存在なんです。実車の営業運転開始

▲昨年のD51 498同様、蒸機製品の新アイテムとして圧倒的な支持を得たC62北海道形。

に合わせて発売、ということだったのですが、ご存知の通り直後に震災で沿線の東北地方が大きな被害に遭われまして。

RMM:路線や車輌そのものも被災しましたからね。

K:はたしてこのタイミングで世に送り出してよいものなのかと、社内でも非常に葛藤がありました。最終的に社長判断でGOサインが出たのですが、蓋を開けてみると輸送手段もままならない中、地元の販売店さんから「郵便局の局止めでいいから送ってくれ」とか、直接被災されたユーザーの方から「避難所生活で走らせることはできないが眺めるだけでも、と直接送って欲しい」というご要望までいただきました。こういった状況で少しでもお客様の心の励みになるんだ、といった体験は初めてでしたから、個人的にも思い入れの強い製品になりましたね。

S:社内でも重く受け止められていると思いますよ。その後も従来の新幹線と比べても異例なくらい、ずっと売れ続けている状況でして、基本、増結A、増結Bの3セットでフル編成になる製品構成なのですが、いずれかのセットが代わる代わるほぼ毎月再生産を行なっていることになります。

RMM:以前の新幹線製品に比べて、先頭部の連結機構などがシンプルな構造になりましたよね。

S:E4系などの先頭部連結機構やN700系の中間部連結機構は、編成として組み上げればそれは素晴らしいものになりますが、新幹線の場合は年少のお客様も多いですから、こういった複雑で扱いの難しい構造は製品の性質上どうなのか、ということで見直しになりました。

K:しかしこれが結論ということではなく、当社の技術がさらに向上すれば、リアルさと扱いやすさを両立した機構にチャレンジしたいですね。

RMM:車体のメタリックグリーンの塗装がまた、非常に美しいですよね。

S:塗装についてはC62のところでも出ましたが、製造・生産部門が近年非常に研究を重ねていまして、自信を持っている部分ですね。印刷物やネットの写真では違和感を感じるお客様でも、実際の製品を見て「ああ、本物と同じ色だ!」と納得されるようですね。

K:それと、この製品の特長はもうひとつ、走りがすごくいいんですよ。昨夏に松屋銀座の鉄道模型ショウで、会期中の6日間フルにレイアウトをデモ走行させたのですが、全くノートラブルで走り切りました。

RMM:あれはずっと同じ編成だったんですか、それはスゴいですね! やはりサスペンション機構などが効いてバランスの良い走りを実現しているということでしょうか。

S:追従性の良さが安定した集電につながり、カーボンの発生を抑える、という効果はあると思います。一般のお客様が数百時間というタフな走らせ方をするということはなかなかないでしょうし、メーカーによっても考え方は様々でしょうが、当社ではモーターや駆動部品といったものでも単なる消耗品とは考えてはいません。一生モノとして、末永く遊んでいただきたいというポリシーですね。

チャレンジングな東京メトロシリーズ

RMM:昨年の企画として最もインパクトが大きかったものといえば東京メトロシリーズだったと思います。01系と10000系、それから4月予定の16000系と1年の間に3アイテムという矢継ぎ早な展開ですが、遊び方の提案というところまで視野に入れておられるのでしょうか。

K:まだそこまでの段階ではないというか、こういった新しいジャンルはある程度アイテムが面的に揃った段階で、初めて本当の需要が見えてくるという要素があるので、まだその初期段階にあるのが正直なところですね。

RMM:つまり、早めにラインナップを揃えておいてデータ収集という意味もあるわけですね。

K:どうしても地域性があるものですから、ブルートレインのように全国的に売れるものではありませんが、東京の地上を走るJR車輌をこれだけ揃えておきながら、同じ基幹交通で利用者も非常に多い地下鉄をやらない理由もないだろうと。

S:第3弾として千代田線の16000系を計画しましたが、東京メトロの路線の中では東西線と千代田線は特に人気が高いようです。

RMM:両路線ともJRに乗り入れていますしね。加えて千代田線は小田急にも乗り入れていますから、手持ちの車輌と並べて遊びたいという人は多いのではないでしょうか。

S:銀座線と丸ノ内線は例外ですが、東京の地下鉄はほとんど乗り入れで他社の車輌と並びますし、地上区間も走りますからね。

▲E5系は震災復興への支援的な製品になったことで、メーカー的にも格別の存在になったという。

▲KATOからというだけでなく、製品化自体が衝撃的だった東京メトロ銀座線01系。

K:今度の16000系がひとつの試金石というのはあります。市場の反応次第では、ユニトラムのような、さらに一歩進んだ展開も考えられるでしょうね。

RMM:銀座線01系と同時に発売されたLED室内灯クリアも反響が大きかったようですが。

S:毎月再生産してもすぐに倉庫から消えていく状況で、こんなに室内灯が売れているというのはこれまでなかったですね。一体どうしちゃったんだろうかと。

RMM:やはり同時発売が地下鉄なのでこれは必須だろうと取り付けてみて、新製品の魅力に気が付いたというタイミングの良さはあるのではないでしょうか。

K:それで、今まで室内灯を使っていたお客様が、新しく買った車輌だけでなく従来品を取り付けていた車輌にもさかのぼって交換しているようです。RMMでも特集されていましたが、今の鉄道模型の流れとして、光と音の要素が求められているというのはあるのではないでしょうか。

RMM:従来品に比べて随分明るくなりましたが、具体的にはどのような改良がなされているのでしょうか。

K:今の技術からみると基本設計が古くなったということでイチから見直しまして、プリズムの形状を変えたのがまず大きいですね。材質そのものもより透明度の高いものを使っています。

RMM:まさに「クリア」なわけですね。

K:従来品に比べて輝度は60%アップしましたし、何よりも均一に光るようになりました。

S:光源がLEDになって耐熱の必要もなくなってきたので、プリズムとの距離を近づけたり、耐熱材を兼ねていたアルミ箔もなくなったりしたので、取付も簡単になりましたね。

現行のブルートレインを網羅

RMM:ここ数年力を入れておられるブルートレインシリーズの新作として〈トワイライトエクスプレス〉が出ましたね。

S:これは他社が長年手がけてらっしゃるアイテムですから、差別化という点で正直当社から出してどのくらい受け入れられるだろうかという不安要素はありましたが、やはり現在の寝台特急として東日本の〈北斗星〉〈カシオペア〉とともに外せない存在だろうということで製品化に踏み切りました。

RMM:5月に出た〈富士〉はブルトレブーム世代にとっては直球ど真ん中だったと思うのですが、今回のランキングには入っていませんね。

▲ポケットラインの新作「チキンラーメン号」。愛らしい出で立ちは一般女性にも人気だったそう。

S:〈富士〉も好評ではあったのですが、やはりこのシリーズに関しては現役強し、ですね。

RMM:3月予定の〈日本海〉も残念ながら同時期に実物が廃止されてしまいますし、これで現行の寝台特急はすべて製品化ということになりますね。

S:逆にすべて製品化できてしまうという状況に寂しさを感じてしまいますけれどもね。

女性受けしたチキンラーメン号

RMM:御社のランキングに入っているチビ電チキンラーメン号ですが、こういったキャラクターものもこれまでにない展開ですよね。

K:これは各地で走っている、広告塗装の路面電車がモチーフになっています。一昨年にリニューアルして好評だったポケットラインを、さらにキャラクターものとして発展させたという流れですね。売れ方については面白い話がありまして、当社の社内でも女性の購入者が非常に多かったとか、旦那様のつき合いで模型店に来られた奥様が「私はこれが欲しい」と言って買っていかれた、というような話も多く聞きます。当社製品で一般女性にここまで反響があったのは恐らく初めてでしょうね。反面、バリバリの工作派の方もよく買っていかれるそうです。人間の趣味嗜好というのはひとつの方向だけを向いているわけではないんですね。

RMM:確かに、リアルとか精密であるのとは別の次元で、非常に魅力を感じるアイテムですよね。

S:もちろんキャラクターの力というのは大きいのですが、これが商品のマスコットではなくて、独立した知名度の高いキャラクターだと、完全にキャラクター商品そのものになってしまいますね。商品の宣伝キャラクターが描かれた車輌を基に模型化という点で、リアルさと遊びのバランスがよく保たれたということではないでしょうか。

RMM:版権ものということで、そのあたりのご苦労はありますか?

S:企画が立ち上がったのは1年以上前だったのですが、食品会社さんから「実は今、キャラクターのモデルチェンジを計画しているのでそれまで待って欲しい」という話があって発売が延びた経緯があります。もとより車輌がフリーランスなので実在しないモノなのですが、車輌は実在しなくてもキャラクターデザインは本物というのが、幅広い層の方に楽しんでいただけた要因かと考えています。

リーズナブルな価格での展開

RMM:年末に発売された「KOKUDEN」も話題を呼びましたが、これは元を正せば半世紀近く前から続く製品で、御社のなかでも過去の存在だったと思うのですが、こうしてパッケージをリニューアルして再発売された経緯は?

K:最近はレンタルレイアウトが普及していますが、そういうところで年少者の方が遊ぶのに「自分の車輌を持っていない」という話をよく聞きます。当社のベストセレクション基本セットも車輌数を少なくして価格を抑えているのですが、年少者向けにはもう一段安い価格設定の製品が必要ではないかということで、以前からあった103系を最小単位の3輌セットで出すことになりました。

RMM:ライトこそ点灯しませんが、高性能の動力が付いてこの安さですからね。本誌の最新号(RMM199号)でも「鉄道模型節約大作戦!」という特集を組みまして、その中でもこの「KOKUDEN」を大きく取り上げさせていただいています。それにしても、製品自体が古いにも関わらず、全体の印象把握などは今もって素晴らしいものがありますよね。

S:ディテールなども、側面の窓サッシなどは、現在ならばホットスタンプで比較的単純に表現するところですが、この頃はすべてモールドですから逆に繊細にできている部分もあります。

K:昔の人は本当に良いモノを作りましたよねえ。

RMM:反響はいかがですか?

K:年少者向けというこちらの思惑とは違って、「懐かしい! 俺はコレでNゲージを始めたんだ!」といってベテランユーザーの方がかなり買われたようです。このあたりは出してみないとわからない、という部分ですね。逆に今のお子さんはやはり「銀色の電車の方がイイ!」という声が多いようです。

RMM:例えば、最新のE233系をライト点灯機構を省略して安く供給する、ということはできませんか?

S:それはそれで、省略するための金型を新しく設計して起こさなければならないので、やはり古い製品でないとここまで安価な供給は難しい、というジレンマがありますね。

K:しかしこういう不況のご時世ですから、こういったリーズナブルな路線は継続していきます。近々には第2弾として、これも昔のキハ20系を「LOCAL-SEN」と銘打って、さらにお安い2輌セットで出します。他にも年末に改良再生産した115系1000番台のような、昔ながらの「少しずつ買い足していける」単品発売の製品も充実させたいですね。

線路・ストラクチャーもますます充実

RMM:せっかくの機会ですので、線路やストラクチャー関係のお話も伺いましょう。

K:複線線路に追加した、V15セット(複線駅構内線路)はおかげさまで大変好評でした。これは複線間隔の片側が開いて、間に島式ホームを入れるためのものですが、曲線の間に直線を挟んでいるのがミソで、実物でよく見るS字を切ってホームに進入する様子を再現するという演出です。線路だけ見てもなかなか伝わらない意図ですが、模型ショウなどでデモ走行させるとお客様が感心して眺めていますね。

S:同じく新製品のY字(2番)ポイントについても、皆さんまずローカル駅の分岐を連想されますが、V15セットと合わせて、広がった複線の間に折り返し線が設定できるという使い方も意図しています。

RMM:ユニトラムにも待望のポイントが予定されていますね。

S:これでようやく、当初の構想通りの発展的なプランが作れるようになりますし、その先も運転を楽しんでいただくための企画を用意しています。

RMM:直近の新製品では、自動踏切Sが発表になりましたが、旧製品との違いを。

S:赤外線による車輌検知システムの検証に十分に時間をかけましたので、信頼性の高い製品ができました。

K:警報音が4種類から選べるようになりました。現在、ホームページで動画を公開していますのでぜひご覧になってください。また、複線化セットを使って最大3複線(6線)まで増設や、ポイントを分岐した先にセンサーを設置して使えるなど、機能の多彩なことも楽しんでいただけると思います。

S:車輌検知の方法も従来の方式から赤外線検知に変えて、信頼性を向上したほかDCC対応になっています。また、コントロールボックスを廃して直接ACアダプターによる電源供給になり、外観では現在の目からは不自然な警手小屋も姿を消しました。このようにシステム的には全くの別物になっていて、増設用の線路などは見た目は似ていても旧製品との混用はできませんので、その点はご注意ください。

RMM:蒸機ファン待望のアイテムとして、ターンテーブルが予定されていますね。

S:ユニトラック規格のためベースの厚さに制約がありますから、プロトタイプは下路式のものになります。今までは海外製品を利用して日本型と違う外観をガマンしたり、実物にはない形状を構造上の制約とあきらめられたりと何かとガマンを強いられたターンテーブルですが、あらゆる面でNゲージとして最高の製品をと考えますので、ご期待ください。転車台を所定の位置にピッタリ止めるための機構を現在開発中ですので、もうしばらくお待ちください。

RMM:車輌とともにそれを活躍させる舞台も着々と整いつつあるということで楽しみですね。本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。

▶「KOKUDEN」として華麗なる復活を遂げた旧103系。今後もリーズナブルな路線は継続させていくという。

ディーゼル機関車 DIESEL LOCOMOTIVES

相次ぐ客貨車列車の廃止や路線の電化、さらにはお家芸であった除雪作業でさえも、機械扱いのモーターカーに取って代わられるなど、年々厳しい状況が続くディーゼル機関車。その中でも汎用性が買われて現在でも多くが活躍しているDE10やその派生形式が、今回は多く製品化されており、多彩なバリエーションを楽しむことができるようになりました。

ベーシック編

DD14 305+315 重連 前方投雪型 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52044563

★2005年に発売されたマイクロエース製DD14 が、一部仕様を変更しての再登場。
★前回と同じく、背向重連での除雪作業を想定したM+Tセットだが、今回製品ではロータリーヘッドの投雪口を回転式とし、従来の左右に加え前方投雪も可能とした姿を再現（モデルの投雪口も可動）。ウィング部のゼブラ塗りが廃された近年の仕様。
★機関車本体は2輌ともキャブ側窓がアルミサッシ+Hゴム窓で、前回発売の3号機茶色仕様に近い形態。側面デッキ手スリは305号機がキャブ付近のみ、315号機が全長に渡るタイプ。区名札は前者が秋田、後者が新庄で印刷済となっている。

〔価格〕
●塗装済完成品
2輌セット
：16,800円

〔セット内容〕
■DD14 305（M）+DD14 315

DD53 1 新庄機関区／2 改造後 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
51974412（改造後）

★その特殊な形態が人気だったDD53が満を持してマイクロエースから登場。
★DD53はロータリー除雪機関車として1965年に登場。除雪用としては珍しく機関車本体は箱型のボディを持ち、ほかの除雪機関車同様に、冬場以外は旅客・貨物列車の牽引に当たることができるよう設計されたが、晩年はもっぱら除雪のみで活躍した。最晩年にはイベント列車の牽引などにも活躍したが現在は全車引退している。
★モデルではロータリーの操作室が投雪口よりも前部にある姿とした1号機と、後年、投雪で沿線の建物を破損してしまわないよう、投雪口より操作室を後部とし、細かな操作を可能とした2号機の2種を用意。
★どちらもロータリーヘッドの複雑な構造は圧巻の出来、また機関車本体との独特な連結部も再現されている。
★ロータリーヘッドと機関車本体はそれぞれ専用ドローバーでの連結だが、夏季の列車の牽引用にアーノルトカプラーにも交換でき、一般の運用を再現することも可能。

〔価格〕
●塗装済完成品：各10,290円

■1号機

■2号機

DE11 1／DE11 1901タイプ（宇都宮機関区）

〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52044312（1号機）
52044311（1901号機）

★DE10とウリ二つの外観を持ちながら、入換専用機として裏方に徹したDE11がNゲージ初のプラ量産品で登場。
★実車はDE10を基にした重入換専用機で、SGや重連総括機能が省略されている。
★製品の1号機は1967年登場の0番代で、ジャンパー栓受・ホース受、タブレットキャッチャーのない上廻りを再現。貨物ヤードが廃止され入換そのものが激減した国鉄末期の晩年仕様とされている。
★1901号機は1974年製の低騒音試作車で、屋上のクーラーに電子笛、ボンネットの張り出した手スリが目立つ。端部手スリや台車も1号機と作り分けているが、ボンネット本体やランボードは共用で「タイプ」とされている。
★いずれもヘッドライト点灯（1号機のみ消灯可）。側面ラジエーターカバーは暗い色調で塗り分け、ウェザリング風の効果を演出。細部の色入れ・印刷も充実している。

【価格】
●塗装済完成品：各7,140円

■1号機

■1901号機タイプ

DD54 2 1次型タイプ・エアフィルター・手スリ増設後／16 3次型登場時

〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52017890（2号機）
52017891（16号機）

★KATOに続いてマイクロエースからもDD54が登場。
★実車はエンジンや変速機に当時の西ドイツの技術を導入した亜幹線用ディーゼル機。1966年の登場以来6次に渡って40輌が製造され山陰地区で活躍したが、初期故障や、その後のトラブルに悩まされた。当時の国鉄の標準化政策もあって早々にDD51へ置き換えられ、1978年までに全車引退と、短い生涯に幕を閉じた。
★今回製品は2号機と16号機の2種で、このうち2号機は試作一次型（1～3号機）に属し、窓上にある前照灯が外観上最大の特徴。量産機より角度の大きい前面窓部の傾斜は再現していないため「タイプ」と称している。プロトタイプは標識灯内側にも誘導員手スリが増設され、側面2エンド寄SG搭載部のエアーフィルターが塞がれる以前の姿。
★一方の16号機は三次型に属する量産機で、前照灯は窓下に下りて標識灯と一体にケーシングされている。3次型以降は当初から前面内側の手スリが取り付けられ、SG搭載部のエアフィルターがなくなっている。製品はこの他、屋上の煙道などの形状も2号機と作り分け。
★共通の仕様として前面手スリと解放テコは別パーツとされており、その他手スリや車体継目のゴム部分にも色差し。動力はフライホイール付で、ヘッドライトはLEDにて点灯する。

【価格】
●塗装済完成品：各7,875円

■2号機

■16号機

DD54 初期型（お召機）

〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52037558

★薄幸の箱型DL、DD54。既出のブルトレ牽引機に続き、お召機がKATOから登場。
★プロトタイプは1968年福井国体時のお召牽引にあたった1・3号機。初期型の特徴である窓上前灯、後退角の強い金属枠の前面窓、3次型と異なるエアフィルターの数やスカートのエアホースコックを作り分けている。
★お召機ならではの色差し・磨き出しも品良く表現（カプラー・解放テコは銀色成型）、ツヤありの塗装と相まって高級感あるモデルとなっている。日章旗はナンバー取付部に代わりに装着する印刷済パーツが1個付属。ナンバー自体は1・3号機の選択式となる。

【価格】
●塗装済完成品：7,875円

DE10 1000番代（国鉄／JR貨物新更新車）〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52042448（国鉄）
52042640（更新車）

★TOMIXのロングセラー製品のひとつであるDE10が、完全新規品となって再登場。
★モデルは国鉄時代からの塗装と、ボディ上部を朱色、下部をグレーとした近年、貨物駅でよく見られるJR貨物新更新車の2種。
★基本的な仕様は、運転台窓には旋回窓、台車にはスノープラウの付く寒冷地仕様。国鉄色ではキャブ側面にタブレットキャッチャーが付き、ボンネットつなぎゴムは省略することなくグレーで表現される。更新車はJR貨物仙台総合鉄道部所属機をプロトタイプとし、タブレットキャッチャーは付かない。
★機能面では動輪全軸駆動、フライホイール付き動力ユニット採用、常点灯基板搭載。ミニカーブレール対応。
★付属ナンバープレートは国鉄色が1029・1030・1032・1035。更新車では1120・1181・1198・1539。交換用TNカプラー、ホイッスル、無線アンテナも付属する。

【価格】
●塗装済完成品
国鉄　：6,825円
JR貨物新更新車：7,140円

■国鉄

■JR貨物更新車

DE10 1131「パノラマライナー・サザンクロス」〔マイクロエース〕

★一時期JR九州を代表するジョイフルトレインだった「パノラマライナー・サザンクロス」その指定牽引機として塗装変更されたDE10がマイクロエースから客車と同時発売。
★真紅の車体に精悍なロゴが特徴的。同じく指定牽引機として塗装変更されていたED76は客車の引退とともに廃車となったが、当機は客車廃車後に一般色に戻された上で2001年まで使用された。
★牽引客車に応じた印刷済ヘッドマークが付属。

【価格】
●塗装済完成品：7,140円

DE10 1692（濃紺色）〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053301

★別項で紹介のC11とともに、JR北海道管内でのSL列車の後部補機やイベント列車に活躍する濃紺色のDE10をモデル化。
★実車は、C11復活運転用の旧型客車が濃紺色に塗られたのに合わせ、2001年に同色に塗装変更。函館運輸所を拠点に〈SLすずらん号〉や同〈函館大沼号〉などの列車で縁の下の力持ち的活躍を見せる。
★製品は寒冷地仕様の塗装変更。光源の具合で黒色にも紺色にも見える微妙な色合いをうまく再現。また手スリやランボードは白色塗装で沈みがちな車体にメリハリを与える。キャブ側面にはタブレット保護板が残り、年代設定は2000年代中期とされている。
★無線アンテナにはヘッドライトON／OFF機構があり、補機での運転時には消灯できる。

【価格】
●塗装済完成品：7,140円

DD51 1805 佐倉機関区ラストナンバー〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52017899

★国鉄ディーゼル機関車の主力として約650輌も製造された同機。その最終生産機である1805号機をモデル化。
★実車は貨物専用のSGを搭載していない800番代にグループ分けされ、付番上1800番代へ飛び番とされた。
★動力はフライホイール付き動力を採用。
★時代設定は新製当初の佐倉機関区所属時代とし、同社発売のタキ40000の牽引機としてベストマッチする。

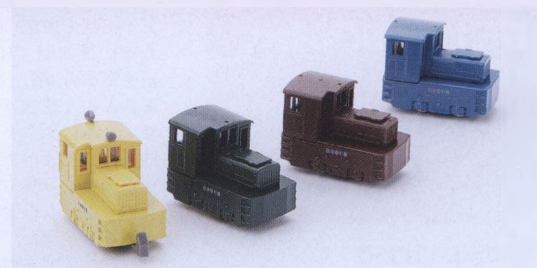
【価格】
●塗装済完成品：7,875円

日本牽引車製造 7t入換機関車

〔津川洋行〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52038289（塗装済）
52038290（未塗装）

4色のカラーバリエーション

★銚子電鉄デキ3に続く津川洋行の小型動力車として、さらに小さな入換機が登場。
★実車は全国各地の工場構内や貨物ヤードの入換、小運転などで活躍した。足廻りは鋳鋼台枠で、小さなキャブとボンネットが載る古風なスタイル。実例では銚子のヤマサ醤油工場で入換機として活躍。
★モデルはキャブに小型4.5Vモーターを縦置きし自走可能。ホワイトメタル一体の台枠がウェイトを兼ね、実車通り貨車数輌を牽く牽引力を持つ。カプラーは貨車側のアーノルトカプラーを下から引っ掛けるフック式で、ダミーのライトとともにユーザー取付。
★ヤマサ醤油の実機と同じ黄色に加え、緑、茶、青、未塗装版を用意。自由型としても使いやすい。同地で活躍した銚電デキ3との競演も楽しみたいところだ。

【価格】
●塗装済完成品（4色）：各7,140円
●未塗装完成品：6,615円

エキスパート編

●ワールド工芸

近年開発した小型モーター動力を用い、小型車輌の製品化に積極的に取り組んでいるワールド工芸。以前なら動力化は困難だった私鉄の機関車など小型機関車を製品化。ディーゼルでは貨物用小型移動機のモデルを順次リリースしている。

▶国鉄20t貨車移動機　制式機関車よりも小型の「入換機」として、全国の側線や専用線で活躍した、国鉄時代の貨物の情景には欠かせない名脇役。w-612小型モーターをデッキ部分に縦置きし、首尾よく動力化。排気管やキャブのJNRマークなど、細部にもぬかりが無い。キット：7,000円、塗装済完成品：24,675円

電車(JNR/JR) ELECTRIC CARS (JNR/JR)

現代の鉄道輸送の主力である「電車」ですが、一昨年から昨年初頭にかけて相次いで延伸された東北新幹線（八戸〜新青森間）と九州新幹線（博多〜新八代間）で新製・増備されたE5系、N700系7000・8000番代もこのカテゴリーに含まれます。新幹線の延伸と同時に、モデルの世界もそれを追いかけるように列車編成、形式が充実してきています。一方で特定の地方のみで走る、短編成の形式にも近年目が向けられ、小さなレイアウトに好適の車輌が入手しやすくなってきました。

ベーシック編

クモユニ81＋クモハ60(大糸線)／クモニ83100＋クモハ54100(飯田線)〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52057829（大糸）

★2007年に発売されたマイクロエースの大糸・飯田線旧国が、新たなセットで再登場。
★前回は大糸が6輌、飯田線が4輌セットで、戦前型3扉車（全車800mm窓の40系出身車）のみの編成だったが、今回は80系一族の郵便荷物車クモユニ81、またはそれを全室荷物車化したクモニ83100番代が入るのが目新しい（2009年に湘南色で製品化されたクモユニ81のカラーバリエーション）。
★戦前型3扉車では、飯田線は前回同様の車種でナンバー違い。大糸線は前回なかったクハ55を含み、全車普通屋根・グロベンのオールロングシート編成。基本の金型は不変ながら、形式ごとの座席の違い、別パーツを多用した表情の作り分けで各車の個性が楽しめる。
★いずれも動力は旅客車、クモユニ（クモニ）の双方に含まれる2M構成。サボステッカー付属。前面運行灯にはあらかじめ白が入れられるようになった。

〔価格〕
●塗装済完成品
5輌セット：各25,725円

〔セット内容〕
■大糸：クモユニ81003(M)＋クハ55041＋クモハ60022＋サハ57400＋クモハ60113(M)
■飯田：クモニ83103(M)＋クハニ67903＋クモハ54112＋クモハ54111(M)＋クハ68414

▲左からクモハ60113、クモハ60022、クモユニ81003

▶左からクモニ83103、クハニ67903、クハ68414

■クモユニ81＋クモハ60（大糸線）

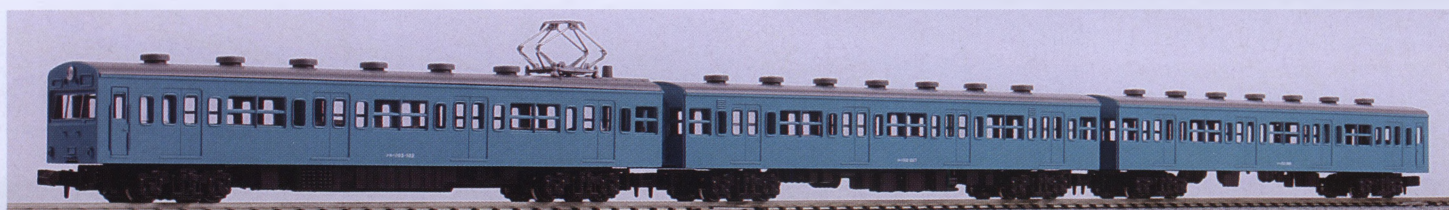
■クモニ83100＋クモハ54100（飯田線）

103系「KOKUDEN」〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52065149（オレンジ）
52065150（ウグイス）
52065151（カナリア）
52065152（エメラルドグリーン）

★KATOの103系一般型が、コンパクトな3輌セットで発売。Nゲージ黎明期、実車がまだ最新鋭だった1966年の製品化以来45年の歴史を持つ超長寿アイテムだ。
★モデルの仕様は前回生産時を踏襲、台車・動力ユニット、パンタグラフは高運転台車と共通品を使用。カプラーは先頭部を含めすべてアーノルト。
★初リリース時の雰囲気を残す車体は側面非はめ込み窓、色差しもない素朴さだが、的確な印象把握は近年の製品に決して劣らないもの。シンプルなつくりで素性がよいだけに、加工ベースとしての可能性も高い。
★パッケージは紙箱にブリスターパッケージの形態で、新製車の最小編成である3連（鶴見線、阪和線羽衣支線などに存在）。ブルー、オレンジ、ウグイス、カナリア、エメラルドグリーンの基本5色が用意される。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌セット：各4,725円

〔セット内容〕※各色共通
■クハ103-566＋モハ102-227＋クモハ103-102（M）

103系 岡山色（低運転台）／瀬戸内色（低運転台・高運転台）〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52027636（岡山色）
52027633（瀬戸内色）

★西日本地域の103系各仕様をリリースするグリーンマックスから、山陽本線のローカルで活躍した3タイプが登場した。
★ラインナップされるのは、岡山地区で活躍したマスカットグリーンに白帯の低運転台と、広島地区のクリーム色に青帯の「瀬戸内色」の低運転台車、それに近年JR東日本から転籍した高運転台車の各4輌セット。側面は全車ともユニット窓、銀色サッシ、戸袋窓埋め車。中間妻面窓は残されているが、高運転台車のみ、JR東日本で施工された妻面窓埋めが施された姿。
★低運転台車は1990年代中頃に、大阪都市圏から相次いで転属したもの。現在は引退期を迎えており、岡山地区では既になく、広島地区でわずかな編成を残すのみ。
★製品は塗装済キットで、ボディは一体、はめ込み窓ガラスにはサッシの銀色、前面窓のワイパー、Hゴムは黒色印刷が入る、他のグリーンマックス塗装済キットと同様のスタイル。
★車番はインレタによる選択式。方向幕用ステッカーが付属する。

〔価格〕
●塗装済キット
4輌トータルセット：各12,600円

〔セット内容〕※全種共通
■クハ103＋モハ103（M）＋モハ102＋クハ103

■岡山色

■瀬戸内色の高運転台（奥）と低運転台

103系1500番代（国鉄色／JR九州色）〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52044313（国鉄色）
52044314（JR九州色）

★異色の九州向け103系、1500番代。マイクロエース製品に新バリエーション。
★前回品（2007年）同様、国鉄色の6輌貫通編成、JR九州色の3＋3分割改造編成が用意されるが、国鉄色はJR化直後の姿とし、灰色のスカートと赤いJRマーク、無線アンテナを追加。ワイパーは根元にカバーの付いた現行の形態で厳密には実車と異なるが、細かな箇所なので気にはならない。
★JR色は前回の初代塗装とは違って、車体裾部のメタリックダークグレーが廃され303系に近くなった2代目塗装。床下機器は国鉄色と共用のMG付のため、SIV化前の2005年頃の仕様と謳われている。
★フライホイール搭載、LED前尾灯装備の近年標準的な仕様。それぞれ異なるステッカーのほか、JR色には分割部の交換用ダミーカプラー（標準はアーノルト）が付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
国鉄色6輌セット　：20,370円
JR九州色6輌セット：21,000円

〔セット内容〕
■国鉄色：クハ103-1507＋モハ103-1507＋モハ102-1507（M）＋モハ103-1508＋モハ102-1508＋クハ103-1508
■JR九州色：クハ103-1511＋モハ103-1511＋クモハ102-1511＋クモハ103-1512＋モハ102-1512（M）＋クハ103-1512

■国鉄色

■JR九州色

201系 京葉線（シングルアームパンタ）〔KATO〕

★首都圏最後の201系となった京葉線車。KATO製品が晩年仕様で再リリース。
★三鷹電車区から転入しスカイブルーとなった京葉線仕様は、2002年に特別企画品として発売済。今回品はそれをベースに、パンタのシングルアーム（PS35C）化、方向幕のデザイン変更（前面が黒地、側面が紅白地）という実車の変化を反映したもの。
★印刷済の車番は京葉車両センター52（6連）＋K2（4連）編成に変更。その他の仕様は前回と特に変更なく、セット構成も不変。

〔価格〕
●塗装済完成品
10輌セット：20,370円

〔セット内容〕
■クハ200-110＋モハ200-224＋モハ201-224＋モハ200-223（M）＋モハ201-223＋クハ201-110＋クハ200-109＋モハ200-222＋モハ201-222＋クハ201-109

205系 京葉線「最終編成」〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52046507(基本)
52046508(増結)

★E233系への置き換えで、ついに営業運転から退いてしまった京葉線の205系。同線初投入となった曲線的デザインのFRP製前面を持つ編成の晩年の姿としたモデルが登場。
★実車は1990年の同線全通時に投入され、前面形状を変更し、同系初の赤14号のラインカラーを採用。長駆、外房・内房線に直通のため110km/h運転対応のブレーキ装備を持つ。
★プロトタイプは2011年現在の京葉車両センター所属の「ケヨ10」編成で、E233系5000番代が増備される中で、最後まで活躍を続けていたもの。
★モデルでは4号車のサハ205への弱冷房車標記の印刷をはじめ、車番変更、付属の方向幕・標記シールの現行仕様への変更、黒メッキ車輪の採用などが既製品との相違点。
★そのほかは従来品と同様で、無線アンテナ、信号炎管、避雷器はユーザー取付となる。

〔価格〕
●塗装済完成品
基本6輛セット:13,650円
増結4輛セット:6,825円

〔セット内容〕
■基本:クハ204-117+モハ204-319+モハ205-319+モハ204-318(M)+モハ205-318+クハ205-117
■増結:サハ205-195+サハ205-194+モハ204-317+モハ205-317

JR東日本 209系500番代(武蔵野線)〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52049270

★先ごろ武蔵野線に投入された209系500番代がKATOからも登場した。
★先頭車の前面下部にはデジタルATCのセンサーが再現されているほか、現行の姿である強化型スカート装備となっている。前面ガラスは上部に遮光表現がなされ運転室はシースルー。ヘッドライトケースも的確な造型となっている。先頭車の開閉化改造窓はモールドで表現され、車体標記は印刷済で細部まで充実し、全体に繊細に再現されている。
★床板はDCCフレンドリー仕様で、中間連結部にはKATOカプラー伸縮密連形を採用。無線アンテナ・信号炎管はユーザー取付。前面・側面方向幕シールが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
8輛セット:18,900円

〔セット内容〕
■クハ209-515+モハ209-529+モハ208-529+サハ209-558+サハ209-557+モハ209-530(M)+モハ208-530+クハ208-515

JR東日本 E231系500番代(山手線) サハE231-4600・600〔TOMIX〕

■サハE231-4600

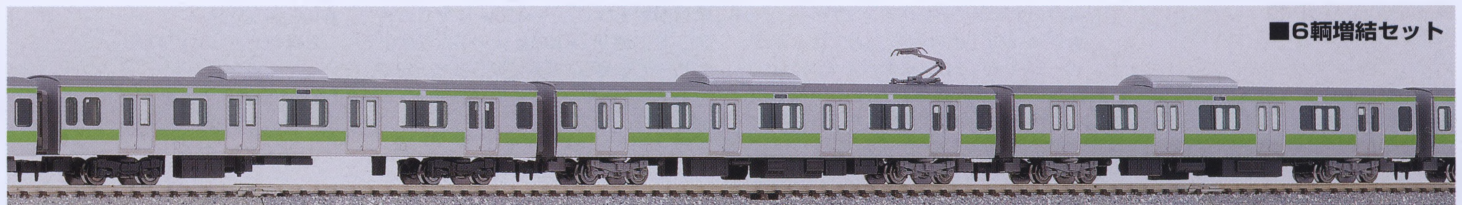
■サハE231-600

鉄道ホビダスはこちらから!
52030787(2輛)
52030798(6輛)

★山手線のホームドア設置に合わせ、10・7号車の6扉車が4扉車へ差し替わった、E231系500番代の最新の姿を再現できるモデルがTOMIXからも登場した。
★実車は7号車のサハE231-600番代が在来のE231-500番代に準じた外観なのに対して、10号車のサハE231-4600番代は台車やドア窓がE233系に準じているほか、前位側の側扉位置が通常よりも車体中央側にあって窓配置も変則的。
★実車の台車は床下機器と同じ濃グレーで落成しているが、製品ではサハE231-600番代は従来製品に合わせたライトグレーとされている。
★この2輛のみのセットは既発売の3輛増結セットBに含まれる6扉車サハE230-500番代の置換用として限定品での発売。
★レギュラー品はモハユニット2組(動力なし)と組み合わせた6輛増結セットC(実車の2, 3, 7〜10号車に相当)となる。3輛基本セット、2輛増結セットAと合わせて置換後のオール4扉フル編成が再現できる。
★両セット共車番・標記のインレタが付属する他、増結セットCには基本セットの先頭車で印刷済の行先表示を変えるための前面ガラスとシールが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
限定2輛セット :3,990円
6輛増結セットC:13,440円

〔セット内容〕
■2輛セット:サハE231-4600・サハE231-600
■6輛セット:サハE231-4600+モハE231-500+モハE230-500+サハE231-600・モハE231-500+モハE230-500

■6輛増結セット

スターターセット E231系山手線 〔KATO〕

★KATOの入門用スターターセットに、山手線で活躍するE231系500番代をセットしたものが限定品として登場。
★車輌は、通勤路線の証とも言えた6扉車（サハE230）と動力車（モハE231）を含めた4輌。通常品同様の車番で、将来の増結にも通常品の増結セットが問題なく使用でき、段階的なステップアップを約束。
★線路はエンドレス基本セットM1同様の構成で、ついついスピードを出しすぎな初心者にも安心の緩めのカーブ、半径315mmを使用。レイアウト展開時寸法は1337mm×677mm。パワーパックは余裕のある1A出力のスタンダードSが付属。別売拡張セットと組み合わせてユーザーの好み通りに発展できる。

〔価格〕
●17,325円

〔セット内容〕
■車輌：クハE230-550・モハE231-649（M）・サハE230-600・クハE231-550
■レール：S248×4、S62×1、R315-45×8、S124×1、踏切線路124×1、フィーダー線路62
■制御器ほか：パワーパックスタンダードS×1セット、リレーラー×1（ユニジョイナーはずし付）、クイックスタートガイド（説明書）

JR東日本 209系500番代 武蔵野線／総武線／京浜東北線 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52044829（武蔵野）
52044830（総武）
52044831（サハ）
52044832（京浜東北）

★首都圏各線区で活躍する209系500番代のバリエーションが、TOMIXより一部をリニューアルのうえ発売。
★実車は1998年、在来の209系の機器を使用しながらも車体幅を拡幅し居住性を向上させた車輌として登場。当初は中央・総武緩行線に投入されたが情勢の変化により一部が他線区に転出し、改造を加えられながら運用を続けている。
★製品は総武線・京浜東北線・武蔵野線の3種を用意。クハは開閉化された窓枠が印刷で表現され、動力はフライホイール化。実車が現存する総武線と武蔵野線は近年施工された強化型スカート装備となっている。全仕様ともシングルアームパンタ搭載、またセット形態も変更され、総武線は基本6輌セットに単品サハを組み込む形となり、武蔵野線と京浜東北線はフル編成のセットのみとなっている。
★避雷器・無線アンテナ・信号炎管は従来通りユーザー取付。車番インレタと前面方向幕シールが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
武蔵野線8輌セット　：21,840円
総武線6輌セット　：17,640円
サハ209-500総武線：1,785円
京浜東北線10輌セット（限定品）
：24,990円

〔セット内容〕
■武蔵野：クハ209-500＋モハ209-500＋モハ208-500＋サハ209-500＋サハ209-500＋モハ209-500（M）＋モハ208-500＋クハ208-500
■総武：クハ209-500＋モハ209-500＋モハ208-500＋モハ209-500（M）＋モハ208-500＋クハ208-500
■京浜東北：クハ209-500＋サハ209-500＋モハ209-500＋モハ208-500＋サハ209-500＋サハ209-500＋サハ209-500＋モハ209-500（M）＋モハ208-500＋クハ208-500

■武蔵野線

■総武線

■京浜東北線

JR東日本 山手線 サハE231-600／4600番代 ホームドア対応車 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52040699

■サハE231-4600番代

■サハE231-600番代

★山手線の全車4扉化に向け登場した、異色の中間車が製品化。
★実車は山手線のホームドア導入計画の一環として、6扉車置換のため2010年に登場。京浜東北線E233系の同線走行を考慮し、扉位置を揃えるためのもので、特に4600番代はTc車に揃えた変則的な扉配置が特徴。
★製品は既発売のE231系500番代の7・10号車を取り替えるもので、前述の扉配置をはじめ、E233系に準じた台車・ドア形状（4600番代のみ）や屋上のビードを再現。車番は現行基本・増結セットに合わせた東京総合車両センター550編成とされている。
★模型としての仕様は既存製品に準ずる。他セット同様の行先表示ステッカー付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
2輌セット：3,150円

〔セット内容〕
■サハE231-650・サハE231-4650

JR東日本 E231系800番代（改良品）

〔マイクロエース〕

★2009年にリリースされたマイクロエースのE231系800番代が改良再生産。
★中央・総武線～地下鉄東西線直通のため、E231系では唯一2,800mm狭幅車体の800番代。最近は他番代・他系列と同様、スカートを後退角付の強化型に交換している。
★改良品では、旧製品のメリハリ薄かった前面を改良。カッチリとした精悍な面構えとなったほか、スカートは現行の強化型に変更。波打車輪も採用している。
★編成番号など、恒例と言える細部標記印刷も追加されている。行先シール付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
基本6輌セット：24,675円
増結4輌セット：13,755円

〔セット内容〕
■基本セット：クハE231-802＋モハE231-805＋モハE230-805（M）＋モハE231-806＋モハE230-806＋クハE230-802
■増結セット：モハE231-804＋モハE230-804＋サハE231-803＋サハE231-804

JR東日本 E233系5000番代 京葉線

〔KATO〕

★赤いE233系、京葉線仕様の5000番代がKATOからも製品化された。
★2010年の登場以来増備の続く同番代だが、今回製品はその中でも、10輌貫通編成より少し遅れて登場した6＋4輌分割編成がプロトタイプ。201系が使われていた成東・勝浦行き分割運用に充てられている。
★モデルの設定は552編成（6連）＋F52編成（4連）。6連がM付の基本セット、4連がMなしの増結セットで、ライトは基本セットが両側（併結側の6号車は消灯可）、増結セットは片側（10号車）のみ装備。
★帯色の赤は落ち着いた色調。5000番代の特徴であるクハE232屋上のWiMAXアンテナももちろん再現されている。
★行先は「快速　東京」を印刷・取付済、交換用「快速　勝浦／成東」（前面のみ）付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌基本セット：16,800円
4輌増結セット：9,450円

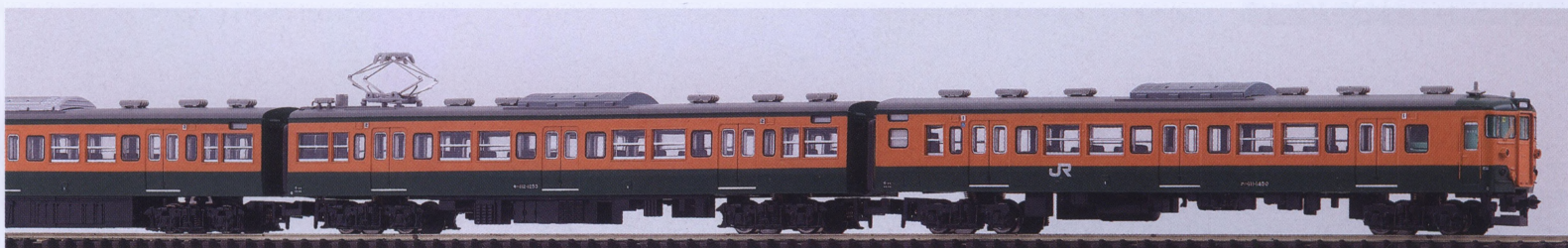
〔セット内容〕
■基本：クハE232-5022＋モハE232-5222＋モハE233-5222（M）＋モハE232-5022＋モハE233-5022＋クハE233-5522
■増結：クハE232-5502＋モハE232-5602＋モハE233-5602＋クハE233-5022

113系0・1000番代（湘南色）幕張電車区S62編成

〔マイクロエース〕

★幕張車両センターの113系リバイバル湘南色車、S62編成が製品化。
★当編成はかつて大船区・国府津区に在籍したユニットサッシ＋シートピッチ非拡大車で組まれた6連。2009年、転入時のスカ色から湘南色に塗り替えられ、同じく湘南色となった117編成とともに通常運用のほかイベント列車などにも活躍。2011年5月に廃車された。
★製品は既存の0・1000番代ユニットサッシ車を基に、金属支持のドア窓や黒Hゴム、AU75形クーラーのタイプ違い、号車札や各種標記を実車に即して再現。
★モハ112では、補助電源がMGからSIV化された床下機器を再現。両先頭車で番代が異なり、タイホン位置や窓配置に差があるのも見どころ。
★房総各線用の行先ステッカーが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット
：20,370円

〔セット内容〕
■クハ111-1450＋モハ112-1253＋モハ113-1253（M）＋モハ112-1254＋モハ113-1254＋クハ111-249

113系1000番代 初期型分散冷房車(スカ色)／115系0・800番代 分散冷房車(湘南色)

〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52014884（113系）

★マイクロエースから、JR東日本の改造冷房車を象徴するAU712形クーラー搭載の近郊型電車が2種リリース。
★製品化されたのは113系1000番代初期車で組まれた幕張電車区51編成、低屋根車モハ114-800番代を含む小山電車区の115系Y823編成。全車非ユニットサッシ、先頭車は前面強化の補強板が塗装された姿。
★車体は新規製作で、印象把握はかなり向上。前面のジャンパ栓はアンチクライマー部を別体として作り分け、Hゴム色や方向幕の有無も車輌ごとに細かく再現。115系のドア手掛けは印刷表現となる。
★ハイライトとなる屋上は、インバータの配管を別パーツとして強めに表現。クーラー脇のランボードも塗り分けられて賑やかだ。
★前・尾灯点灯（消灯可）、フライホイール搭載。それぞれ専用の行先ステッカー付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
113系6輌セット：20,370円
115系4輌セット：15,960円

〔セット内容〕
■113系：クハ111-1006＋モハ113-1011＋モハ112-1011（M）＋モハ113-1012＋モハ112-1012＋クハ111-1306
■115系：クハ115-203＋モハ115-99＋モハ114-823（M）＋クハ115-204

■113系1000番代

■115系0・800番代

113系1500番代（横須賀色）

〔TOMIX〕

左からサロ110-1200、サロ124

鉄道ホビダスはこちらから！
52030799（基本A）
52030800（基本B）
52030804（サロ）

★横須賀・総武快速線用のシートピッチ拡大車、113系1500番代。TOMIX製品がリニューアル再登場となった。
★クハは新規金型とし、ヘッドライト・タイホンの位置を上昇、1500番代独特の表情が再現された。
★足廻りはフライホイール付動力、新集電機構・黒染車輪を採用。先頭部にはTNカプラー（SP）を標準装備し、併結運転に対応。
★国鉄時代の設定とし、Hゴムは灰色。基本A・B＋増結×2で最長の15連となる。なお、無線アンテナ・JRマークも付属し、民営化後の姿とすることもできる。
★4号車の差替用に、2階建車サロ124も引き続きラインナップ。
★車番インレタ（増結セット除く）、前面幕ステッカー（基本セットA・B）付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌基本セットA：19,950円
4輌基本セットB：14,700円
2輌増結セット　：3,780円
サロ124　　　　：2,100円

〔セット内容〕
■基本A：クハ111-1500＋サハ111-1500＋サロ110-1200＋サロ110-1200＋モハ113-1500＋モハ112-1500（M）＋クハ111-1600
■基本B：クハ111-1500＋モハ113-1500＋モハ112-1500（M）＋クハ111-1600
■増結：モハ113-1500＋モハ112-1500

113系2000番代（横須賀色）

〔KATO〕

★KATOの113系に新バリエーション。
★プロトタイプは東海道線から千葉ローカルに転じ、スカ色となった2000番代車。具体的には幕張区のマリ103編成としている。
★近年出現したバージョンのため、黒HゴムでJRマーク入り、無線アンテナ付の現代的な装い。「千マリ」の所属標記や乗務員扉手掛けも印刷表現されている。
★車体は現行115系に準じ、ライト廻りが改良されたもの。湘南色同様の紙箱入りで、廉価なのは大きな魅力だ。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット：8,400円

〔セット内容〕
■クハ111-2159＋モハ113-2074＋モハ112-2074（M）＋クハ111-2043

115系1000番代（湘南色／湘南色・冷房準備車）〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52060433（基本A）
52060434（基本B）
52060435（増結）
52060432（冷房準備）

★TOMIXのロングセラー、115系1000番代の基本形とも言える湘南色がリニューアル。
★冷房車は灰色Hゴム・黒床下と従来同様プレーンな姿だが、先頭部TNカプラー（SP）標準装備、フライホイール付動力、LEDヘッド・テールライトといった仕様に刷新。オーソドックスなプロトタイプだけに、各自でアレンジを加えるにも恰好な存在だ。
★今回は、長野・新潟地区に投入され碓氷峠越えにも活躍した冷房準備車も同時発売。以前から地域色では製品化していた形態で、国鉄〜民営化初期の再現に好適。パンタは狭小トンネル対応のPS23を搭載。
★セット構成は冷房車が東北・高崎線を意識した7連（基本A）・4連（同B／増結）で最大15連に対応、冷房準備車は信越本線等の3連。クモハは冷房準備車セット、サハは冷房車基本セットAにのみ含まれる。
★動力付セット3種はブックケース、冷房車増結セットは紙箱（基本Bケースの空き分に収納できる）。共通品の前面表示ステッカー、車番インレタ（白JRマーク入り）、無線アンテナ（穴開けユーザー対応）付。

〔価格〕
●塗装済完成品
基本セットA（7輛）：19,950円
基本セットB（4輛）：14,700円
増結セット（4輛）　：10,815円
冷房準備車（3輛）　：13,125円

〔セット内容〕
■基本A：クハ115-1100＋モハ115-1000＋モハ114-1000（M）＋サハ115-1000＋モハ115-1000＋モハ114-1000＋クハ115-1000
■基本B／増結：クハ115-1100＋モハ115-1000＋モハ114-1000（基本Bの場合M）＋クハ115-1000
■冷房準備：クモハ115-1000＋モハ114-1000（M）＋クハ115-1000

■基本セットA・B

■冷房準備車

115系1000番代（長野色）〔TOMIX〕

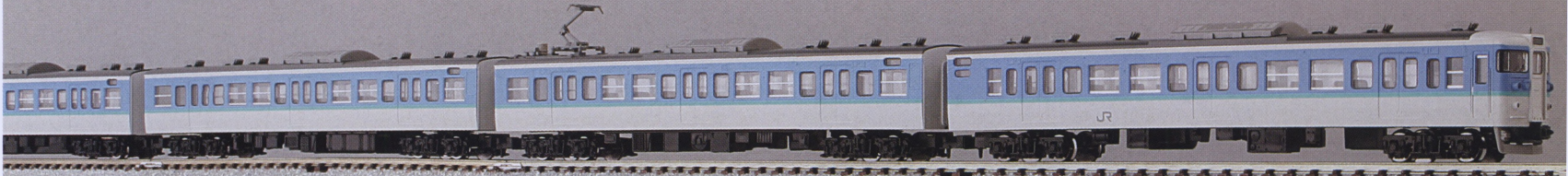
鉄道ホビダスはこちらから！
52044827（3輛）
52044828（C編成）

★TOMIXの115系長野色が改良を加え再リリース。
★3輛セットは従来通りの構成だが、新集電システムの採用、フライホイール搭載、黒色車輪化といった足廻りの改良が施された。
★また今回は新たに、6輛貫通で両端がクハの「C編成」もラインナップ。パンタも3連のPS23に対し、近年の仕様としてシングルアーム（PS35D）を搭載している。
★前・尾灯はLEDで点灯（常点灯対応、前灯は電球色）。編成端のみTNカプラー（密連形・SP）を装備する。
★選択式車番インレタ・前面幕ステッカー付属。一部屋上機器はユーザー取付となる。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輛セット　　　：13,440円
C編成6輛セット：18,690円

〔セット内容〕
■3輛セット：クモハ115-1000＋モハ114-1000（M）＋クハ115-1000
■6輛セット：クハ115-1100＋モハ115-1000＋モハ114-1000（M）＋モハ115-1000＋モハ114-1000＋クハ115-1000

■3輛セット

■C編成6輛セット

115系1000番代（湘南色）／クモニ143

〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52062308（クモニ143）

★同じくロングセラーのKATO製115系1000番代もリニューアル発売された。
★基本的には先に各地域色製品などで行なわれた新仕様化を波及させたもので、ヘッドライト・タイホンを車体と別体化、側面の雪切室ルーバーや半自動ドア用の手掛け・案内板を車体にモールド、屋上には別体のホイッスルを追加。パンタグラフもより精密なPS16Bタイプとなっている。側面Hゴム色も以前の銀から実感的なグレーに変更。
★115系各形式に加え、以前から編成のスパイス的にラインナップされていたクモニ143も再生産。従来通りスカートは台車マウント、カプラーは両側アーノルト。ヘッド・テールライトは後位側のみ点灯する。
★車番・標記印刷済。所属標記は115系が「高シマ」、クモニ143が「長ナノ」。
★こちらはセットはなくすべて単品での発売で、意図する編成を無駄なく組めるのが強み。なお、115系先頭車の前頭部はダミーカプラー装備で、併結対応化には別売の増結用台車を利用する。

〔価格〕
●塗装済完成品
クモハ115-1000／クハ115-1000／クハ115-1100　：各1,785円
モハ115-1000／サハ115-1000　：各1,155円
モハ114-1000（M）：3,780円
モハ114-1000　：1,260円
クモニ143　：1,995円

■クモハ115-1000

■モハ114-1000

■クモニ143

■クハ115-1000

■クハ115-1100

■モハ115-1000

■サハ115-1000

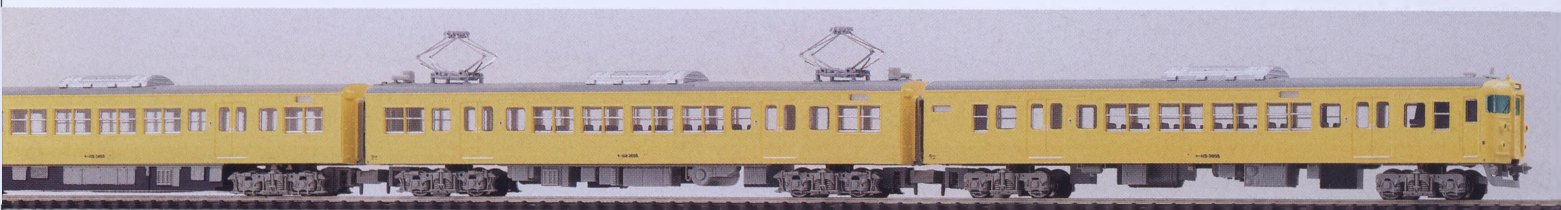
115系3000番代 30N更新車 濃黄色

〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52038467

★マイクロエースからJR西日本の中国地域色の濃黄色を纏った車輌が登場した。
★115系3000番代は1982年に広島～下関間の列車本数増発とローカル運用に残っていた153系の置換用として登場。走行装置は115系ながら車内設備は117系と同等のもので、接客水準向上を果たした。
★モデルの基本ディテールは2004年以降行なわれた「30N延命工事」による更新後のもので、前面ガラスの交換、屋上通風器撤去、床下グレー化、2個パンタ化が行なわれた姿。
★一色の塗装では目立ってしまいがちなプロポーションの崩れもなく、整然と並んだ側面窓や東海型の前面など、納得の仕上がり。
★熱線吸収ガラスに変更された前面ガラスは薄い青色ガラスが再現され、客室ドア取っ手には銀を色差し、ドア開閉スイッチも印刷済。
★動力はフライホイール搭載、ヘッド・テールライト点灯でON／OFFスイッチが付く。
★付属品には先頭交換用ボディマウント伸縮式アーノルトカプラーと方向幕シールが入る。

〔価格〕
●塗装済完成品
４輌セット：15,960円

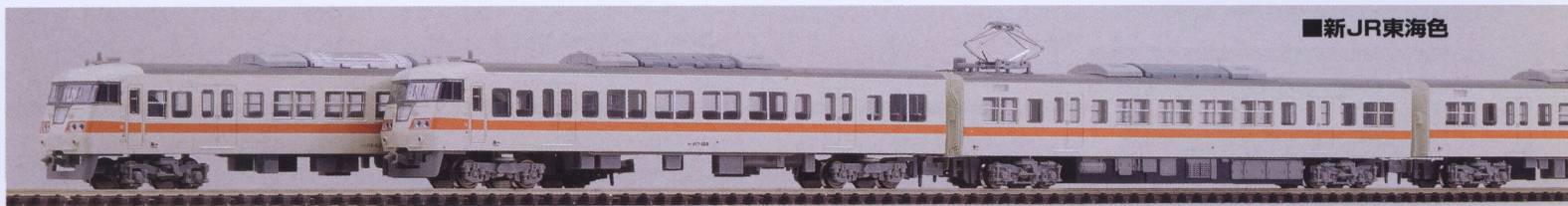
〔セット内容〕
■クハ115-3105＋モハ115-3005（M）＋モハ114-3005＋クハ115-3005

117系0・100番代 新JR東海色／リバイバル国鉄色 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52022592（新JR東海色）
52022593（リバイバル）

★JR東海のローカル運用で健脚を示す117系が、マイクロエースから2種類発売。
★「新JR東海色」はオレンジ帯1本の現行塗装。車種構成は前回品（2006年）同様だが、新たにフライホイールを搭載。屋上・床下の色差しにも変化が見られる。
★「リバイバル国鉄色」は2009年に原色化されたS11編成。グレー床下のミスマッチさが楽しい。製品は色替えバリエーションだが、上記東海色セットとは組成が異なる。
★車番・標記は印刷済。両セット共通の種別幕・行先ステッカーが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット：各15,960円

〔セット内容〕
■東海色：クハ117-105＋モハ117-44（M）＋モハ116-44＋クハ116-22
■国鉄色：クハ117-25＋モハ117-49（M）＋モハ116-49＋クハ116-206

■新JR東海色

■リバイバル国鉄色

117系 中国地域色 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52043144

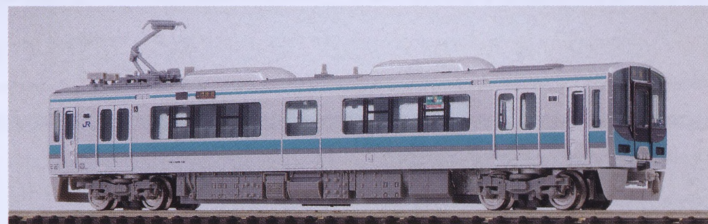
★ 2009 年より鋼製通勤・近郊型車に対し塗装変更が開始された JR 西日本の新地域色。濃黄色の車体色の中国地域色となった 117 系が KATO からラインナップされた。
★プロトタイプは岡山電車区所属の E05 編成で、岡山〜福山間の快速〈サンライナー〉をはじめとする岡山地区のローカル列車に運用されるもの。
★前面愛称幕は〈サンライナー〉を印刷済とし、付属の標記・方向幕シールもそれに合わせたもの。そのほか先頭車屋上の無線アンテナ、信号炎管が付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
4 輌セット：11,550 円

〔セット内容〕
■クハ 116-17 ＋モハ 116-34 ＋モハ 117-34（M）＋クハ 117-17

JR西日本 125系（2・3次車） 〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52052413（2次車2輌）
52052405（3次車M）
52052411（3次車T）

★ JR 西日本のローカル線用新鋭 1M 電車、125 系にバリエーション展開。
★今回発売となったのは、2004 年の加古川線電化用に製造された 2 次車、2006 年に敦賀まで直流化された北陸本線・湖西線に投入された 3 次車。製品化済の小浜線用 1 次車と比べ、外観では前面手スリの追加、スカートの強化(長尺化)、窓ガラスの色調がグレー→グリーンとなったのが主な相違点。
★製品では上記の変更点を再現するほか、車番を印刷済化、細かな屋上機器も取付済に。2 輌セットと単品を用意、実車の運用形態に即しセットが 2 次車、単品が 3 次車とされている。セットのうち M 車はダブルパンタ車。3 次車の車番は M 付がクモハ 125-13、M なしがクモハ 125-18。
★前・尾灯標準装備だが 2 次車の中間連結部のみ別売（6515 ／ライトユニット O：2 個入 1,890 円、室内灯併用不可）。連結器は小浜線車の TN からドローバーとなった。
★行先・細部標記等のステッカー付。

〔価格〕
●塗装済完成品
2 次車 2 輌セット：13,650 円
3 次車（M付）　：8,925 円
3 次車（T車）　：6,195 円

〔セット内容〕
■ 2 次車：クモハ 125-12（M）＋クモハ 125-9

JR東日本 E127系100番代（1パンタ編成）〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52056827

★2010年に発売されたKATOの大糸線用E127系100番代に、1パンタ仕様が追加。
★前回品はクハの運転台側に霜取り用パンタの付く姿だったが、今回はこれがないプレーンなもの。全12本中、前期6編成がこの仕様となる（製品の標記はA2編成）。
★動力ユニットは2パンタ編成同様、連結運転時の同調性を考慮したトラクションタイヤなしの片台車駆動。ヘッド・テールライトON／OFF機構装備、DCCフレンドリー。
★行先表示は「信濃大町」を印刷済。種別表示は製品状態では「普通」だが、付属パーツで「ワンマン」にも対応。
★ダブルパンタ編成と組み合わせ、変化ある編成を楽しみたい。

〔価格〕
●2輌セット：7,875円

〔セット内容〕
■クモハE127-102（M）＋クハE126-102

211系5000番代〔グリーンマックス／CROSS POINT〕

■2輌編成

鉄道ホビダスはこちらから！
52053877（2輌M車）
52053878（2輌T車）
52053890（3輌M車）
52053894（3輌T車）

★GMから、今まで完成品に恵まれなかった211系のJR東海仕様・5000番代が発売。
★実車は民営化後の1988～91年に投入された都市圏用のオールロングシート車。国鉄時代の0番代と比べ助士席側前面窓の拡大、インバータクーラー（AU711）化など多くのマイナーチェンジが見られ、2～4輌の短編成を基本に静岡・名古屋地区で活躍する。
★製品は既存の板状キットとはまったく別物の完全新規品で、シングルアームパンタ、スカートにATS-PT保護板付の現行仕様。側面行先窓は2種のサイズがあるため、モールドはなく印刷およびシール貼付で表現する。全体にあっさりした成型をもつ。
★前・尾灯は完成品では標準装備（M車以外消灯可）、キットではオプション（L-14204：2個入1,890円）。先頭部のみTNカプラー対応（一部セットを除きドローバーも付属）。いずれも行先シール、前面幌パーツ付属。
★まずはGMから2・3連の完成品（車番印刷済）、CROSS POINTから3・4連の塗装済キット（車番インレタ付）が発売。追って4連完成品、2連キットも発売される。

〔価格〕
●塗装済完成品
2輌（M付）　：12,915円（GM）
2輌（Mなし）：10,290円（GM）
3輌（M付）　：16,275円（GM）
3輌（Mなし）：13,650円（GM）
●塗装済キット
3輌トータルセット（M付）
：13,230円（CP）
3輌基本セット（Mなし）
：10,605円（CP）
4輌トータルセット（M付）
：15,960円（CP）
4輌基本セット（Mなし）
：13,335円（CP）

〔セット内容〕
■2輌M付／Mなし：クモハ211-6001（M）／6005＋クハ210-5049／5053
■3輌M付／Mなし：クモハ211-5004（M）／5016＋モハ210-5004／5016＋クハ210-5004／5016
■4輌：クモハ211-5000（M付の場合M）＋モハ210-5000＋サハ211-5000＋クハ210-5300 ※3輌セットはCP版も同様の車種構成

■3輌編成

JR東日本 215系（2次車）〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52047556（基本）
52047559（増結）

★2002年発売のマイクロエース製215系のうち、2次車がリニューアル再登場。
★製品は多数派の2次車のうち、トップを切って登場したNL2編成の車番。2002年に〈ホリデー快速ビューやまなし〉として発売の際は10輌フルセットだったが、今回は基本6＋増結4の構成に改められた。
★今回から全車に波打車輪を採用、先頭車床下機器に標記を追加。車体側もJRマークなど細部印刷の追加・改良が行なわれ、塗装の色合いも多少変わったようだ。
★特定の列車名は冠されず、行先ステッカーは〈ホリデー快速ビューやまなし〉〈湘南ライナー〉〈おはようライナー新宿〉が付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌基本セット：24,675円
4輌増結セット：13,755円

〔セット内容〕
■基本：クモハ215-2＋モハ214-2（M）＋サハ215-201＋サロ214-2・モハ214-102＋クモハ215-102
■増結：サロ215-2＋サハ214-4＋サハ214-3＋サハ215-101

JR東日本 E217系 横須賀線・総武線（新塗装）〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52030327（基本）
52030566（増結A）
52030567（増結B）
52030568（付属）

★KATOのE217系に新バリエーション。
★プロトタイプは2007年度登場の更新車。制御装置の交換などに合わせ、車体の帯色やパターンが変更された。加えて本製品では、交換が進む強化スカートも再現している。
★製品は発売済の未更新車に上記の変更点を反映させたもので、セット構成も不変。更新されたモハ車床下のパーツは新規製作。
★帯色は鮮やかめで未更新車との違いを強調。双方の併結も楽しんでみたい。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌基本セット　：11,550円
4輌増結セットA：8,505円
3輌増結セットB：4,410円
付属編成セット　：13,545円

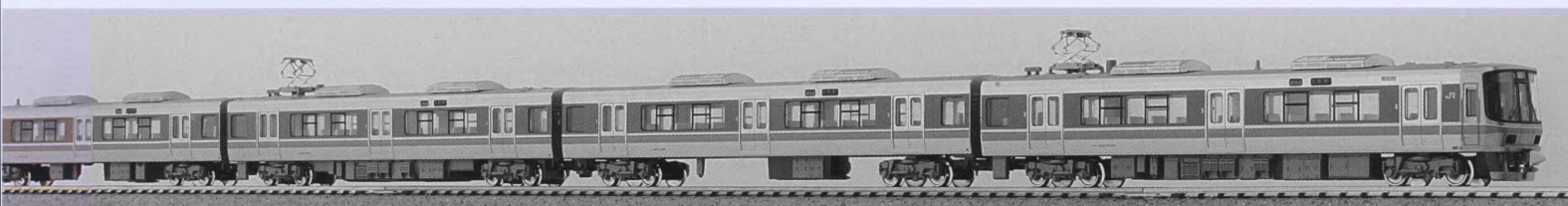
〔セット内容〕
■基本：クハE216-2067＋モハE217-2091（M）＋サロE216-46＋クハE217-46
■増結A：モハE216-2091＋サロE217-46＋モハE216-1046＋モハE217-46
■増結B：サハE217-2092＋サハE217-2091＋サハE217-46
■付属：クハE216-2007＋モハE216-2052＋モハE217-2052（M）＋クハE217-2026

JR西日本 223系2000番代（2次車）「新快速」〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52037578

★KATOの223系2000番代に、新たな構成のセットが追加。
★製品は今まで8輌セットのみだった熱線吸収ガラス装備の2次車を4輌セットとしたもの。既存の2次車8輌セット、1次車4輌セットと合わせ、より柔軟な遊び方が可能になった。車番は網干総合車両所V36編成のもの、行先は「新快速 姫路」を印刷・取付済。行先変更は別売パーツで対応。
★「ベストセレクション」シリーズ扱いで、紙箱入り。連結器カバー、優先座席ステッカーが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット：13,650円

〔セット内容〕
■クハ222-2058＋モハ223-2153（M）＋サハ223-2136＋クモハ223-2058

JR西日本 225系0番代「新快速」〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52052482

★関西アーバンネットワークの基幹である「新快速」。その最新鋭225系0番代がKATOよりモデル化。
★実車は2010年より製造。車体構造見直しにより安全性が強化されたほか、動力車比率も全電動車となるなど新機軸が盛り込まれている。またバリアフリーの向上も図られている。
★製品は網干総合車両所所属車とされ、運転席位置の高いフォルムを巧く再現。ステンレス部分と帯色は塗装で精緻に表現、窓ガラスは薄緑色に着色。ドアスイッチ・車番などの各部標記は細やかに印刷される。フライホイール動力・サスペンション機構・スナップ台車・DCCフレンドリーなど機構部は近年のKATO製品定番仕様。
★前面と側面の種別・行先表示には「新快速」「姫路」が印刷済。また、優先席表示シール付属。
★ヘッドライトON／OFFスイッチ装備。先頭部はKATOカプラー伸縮密連形を装備のため他系列との併結も再現可能。

〔価格〕
●塗装済完成品
8輌セット：19,740円

〔セット内容〕
■クモハ224-4＋モハ225-308＋モハ224-16＋モハ224-15＋モハ225-507（M）＋モハ224-14＋モハ224-13＋クモハ225-4

419系（国鉄色）〔マイクロエース〕

★2011年ついに引退した"食パン電車"こと419系。2005年発売の旧塗装仕様が改良発売。
★今回の改良点は、動力ユニットがその後発売の新塗装3輌セット（2007年）に準じたフライホイール付の新仕様となった点。
★プロトタイプは登場時の赤2号＋白帯（実車ではクリーム10号）、JNRマーク入りの装いで、組成、車番も含め前回品と同様。
★新塗装セット（基本3輌・増結3輌）も同時に再生産されている（こちらは当初から新動力のため純粋な再生産）。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット：21,525円

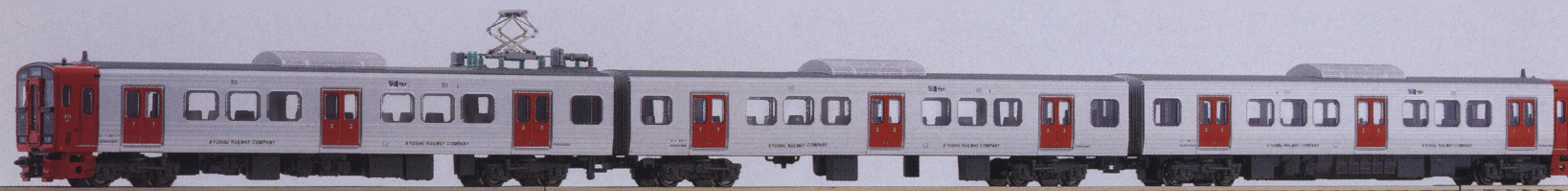
〔セット内容〕
■クハ419-6＋モハ418-10（M）＋クモハ419-10＋クハ419-2＋モハ418-12＋クモハ419-12

JR九州 813系200番代〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52049258

★都市近郊輸送からローカル運用まで広範囲に活躍する813系がKATOより登場。
★実車は1994年、国鉄時代からの車輌を置き換えるとともに乗客需要に柔軟に対応できる車輌として登場。JR九州初のVVVFインバータ制御車輌で、細かい番代分けがなされ、JR九州近郊型の中で一大グループを築いている。
★製品は200番代の3輌セット。KATOの定評のある細やかな銀塗装でステンレス車体を再現している。実車でステップを廃止するために採用した低床面車体を表現するため、模型も他車種と比べて床面を低くしている。運転台部分は定番のシースルー構造を採用。
★側面の方向幕には「快速区間 大牟田ー小倉／門司港」を印刷済。前面行先表示は「門司港」が標準装備だが付属パーツの「大牟田」に交換可能。
★ヘッドライトON／OFF機構装備。非動力の増結セットは用意されない。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌セット：12,075円

〔セット内容〕
■クハ813-223＋サハ813-223＋クモハ813-223（M）

JR九州 813系200番代（福北ゆたか線）〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52052481

★前項で紹介の813系200番代のカラーバリエーション、福北ゆたか線用が登場。
★この仕様は前頭鋼製部分が銀塗装へ変更され客扉の赤塗装が省略され、各部のロゴも同線用に変更。博多～直方間で活躍している。
★製品は銀塗装に変更された前頭部鋼製部分と車体ステンレス部分の質感差を塗装で巧みに表現。車番は直方運輸センター所属RG228編成のものとなっている。
★低い車体高、シースルーの運転台、複数編成併結運転を考慮しトラクションゴムタイヤのない動力車輪など、一般色と同様。
★側面の方向幕には「ワンマン 博多」を印刷済。前面行先表示は「博多」が標準装備だが付属パーツの「直方」に交換可能。
★ヘッド・テールライトON／OFFスイッチ装備。先頭部はKATOカプラー伸縮密連型。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌セット：12,075円

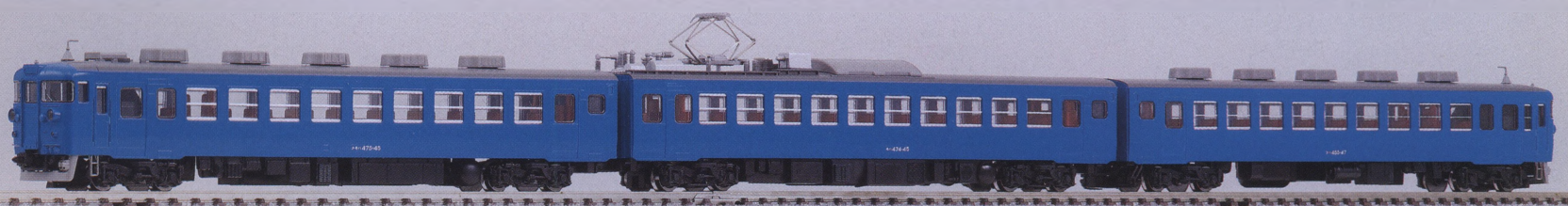
〔セット内容〕
■クハ813-228＋サハ813-228＋クモハ813-228（M）

475系(北陸本線・青色)
〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52030786

★一色化が進むJR西日本の国鉄型車輌。北陸地域の青一色塗装がTOMIXから製品化。
★実物では従来の白+青帯に代わり2010年に登場。米原・近江塩津〜直江津間のローカル運用で在来塗装に交じって活躍する。
★本製品では塗色変更に加え、特徴的な円筒型カバー付のホイッスルを新規製作(ユーザー取付)。屋根は九州色と同じくベンチレーター撤去仕様。前面種別幕の埋め込みは、既発売の旧塗装同様塗り潰しで表現。
★連結器はTNカプラー(SP)に刷新。車番インレタ、印刷済ヘッドマークが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌セット:14,700円

〔セット内容〕
■クハ455+モハ474(M)+クモハ475

183系〈まいづる〉/〈たんば〉/福知山電車区・クハ183-801
〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52030767(まいづる)
52030768(たんば)
52030769(クハ183-801セット)

★287系の登場で退役が迫る福知山区の183系。TOMIX製品がリニューアル再登場。
★〈まいづる〉〈たんば〉は今回、フライホイール・TNカプラー(SP)装備に刷新。また特急マークは銀、普通車の座席は全車赤となり、クモハの前面塗り分けも前回と異なる。両者とも表題列車の愛称幕を取付済、交換用に〈はしだて〉が付属。車番はインレタ式。
★合わせて限定品「福知山電車区・クハ183-801」セットも発売。上記2製品を合わせた格好だが、A41+C35の特定編成で車番も印刷済。簡易貫通構造のクハ183-801が目玉で、他にも中間に入るクモハ・クハの前面塗り分けが通常品と異なる。愛称幕は〈たんば〉〈まいづる〉を装備、交換用に〈はしだて〉〈文殊〉〈きのさき〉〈北近畿〉が付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
〈まいづる〉3輌セット:15,540円
〈たんば〉4輌セット　:18,270円
福知山電車区・クハ183-801セット(7輌)　:30,450円

〔セット内容〕
■〈まいづる〉:クモハ183-200+モハ182-200(M)+クハ183-700
■〈たんば〉:クロ183-2700+モハ182-700(M)+モハ183-800+クハ183-200
■クハ183-801セット:クロ183-2701+モハ182-702(M)+モハ183-806+クハ183-206+クモハ183-205+モハ182-205+クハ183-801

■〈まいづる〉セット

■〈たんば〉セット

■福知山電車区・クハ183-801セット

185系0番代〈踊り子〉新塗装 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52059571（基本）
52059573（増結）
52059572（付属）

★KATOの185系〈踊り子〉新塗装（1999年登場のブロックパターン塗色）が、実車の変化を捉えてマイナーチェンジ。
★今回製品のポイントは、近年JR東日本で形式を問わず工事の進んでいる強化スカートの再現。従来より天地が広く、鼻筋の通ったガッチリしたスカートとなった。形態は編成両側で作り分けられている。
★車番も基本・増結セットは田町区A5編成、付属編成セットはC5編成に変更。
★その他仕様は従来品同様で、トレインマーク変換装置は〈踊り子〉〈はまかいじ〉〈湘南ライナー〉〈普通〉を装備する。

〔価格〕
●塗装済完成品
8輌基本セット：16,485円
2輌増結セット：2,678円
5輌付属セット：13,440円

〔セット内容〕
■基本：クハ185-8＋モハ184-18＋モハ185-18＋サロ185-10＋サロ185-9＋モハ184-17＋モハ185-17（M）＋クハ185-108
■増結：モハ184-16＋モハ185-16
■付属：クハ185-10＋サハ185-5＋モハ184-20＋モハ185-20（M）＋クハ185-110

185系200番代 エクスプレス185／湘南色 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52047554（エクスプレス185）
52047555（湘南色）

★上野口で活躍する185系200番代の最近の姿とした製品2種がマイクロエースより登場。
★実車は1995年より座席の交換・内装の張り替えなどのリニューアル工事に伴い塗装変更されたもの。近年は踏切事故対策に伴い強化型スカートに改造。また、2010年の群馬デスティネーションキャンペーンに伴って1編成がかつての80系をイメージした湘南色に変更され異彩を放つ。
★製品は2010年にベストリニューアルされた185系製品群同様に床下は実車により近いものとなり、フライホイール動力装備。全車室内灯対応となっている。
★強化型スカートの再現のほか湘南色はクハ185-206、現行一般色はクハ185-313がマイクロカプラー装備とされ、先頭車同士の併結運転を楽しむことができる。
★ステッカーは双方ともに共通の前面・側面幕が付属、さらに湘南色には草津号50周年ヘッドマークが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌セット：各24,990円

〔セット内容〕
■エクスプレス185：クハ185-313＋モハ185-225＋モハ184-225＋モハ185-226（M）＋モハ184-226＋サロ185-213＋クハ185-213
■湘南色：クハ185-306＋モハ185-211＋モハ184-211＋モハ185-212（M）＋モハ184-212＋サロ185-206＋クハ185-206

■エクスプレス185

■湘南色

185系200番代 湘南色タイプ 〔ラウンドハウス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52064243

★ラウンドハウスから185系200番代のバリエーションとして湘南色をまとった編成が登場。
★実車は2010年10月のJR東日本「特急草津号50周年感謝キャンペーン」に合わせ、大宮総合車両センター所属OM03編成を、〈草津〉号運転開始時の80系電車の塗装に変更したもの。50周年記念列車には特製ヘッドマークを付けて運行、現在も定期列車に運用されている。
★基本的には既製品のカラーバリエーションで、実車に近年施工された強化スカートは再現されていないため「タイプ」としている。JR無線アンテナは取付済だが信号炎管はユーザー取付パーツが付属する。
★付属シールは専用品で、記念ヘッドマークをはじめ、記念列車および定期列車の方向幕、運番表示が入る。
★変換式の前面愛称幕は〈水上〉・〈草津〉・〈あかぎ〉・回送を収録している。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌セット：15,750円

〔セット内容〕
■クハ185-306＋モハ185-211＋モハ184-211＋モハ185-212（M）＋モハ184-212＋サロ185-206＋クハ185-206

■湘南色

JR東日本 E259系〈成田エクスプレス〉〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52030570(基本)
52030571(増結)

★KATOのE259系が、「ベストセレクション」シリーズとして構成を変更し再登場。
★同シリーズの通例に倣い、基本セットは紙箱入りの短編成(3輌)で安価に設定。増結セット追加で6輌の基本編成が揃い、そちらのブックケースに編成ごと収納可能。
★車番は前回の6輌セットとは異なるNE010編成としてあり、前回品とあわせて最長の12輌編成が再現できる。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌基本セット:10,710円
3輌増結セット:7,140円

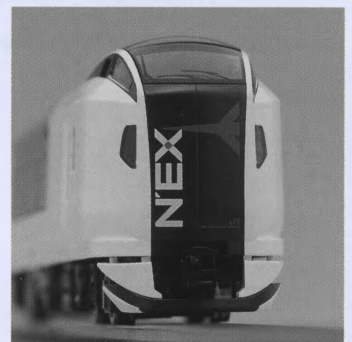
〔セット内容〕
■基本:クハE258-10+モハE259-10(M)+クロE259-10
■増結:モハE258-10+モハE258-510+モハE259-510

JR東日本E259系〈成田エクスプレス〉〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52046999(基本)
52047000(増結)
52047001(6輌)

★TOMIXより、成田空港輸送に活躍するE259系が発売された。
★実車は2009年、初代〈成田エクスプレス〉253系置き換えのために登場。全編成が6輌となっており東京〜成田空港間は2編成併結の12輌編成を基本に運転されている。
★製品は通常品となる3輌基本・増結セットの他に限定品の6輌セットも用意。基本セットでは先頭部を除き台車マウントアーノルトカプラーであるが、限定品は「Ne002編成」に設定のうえボディマウントTNカプラーが標準装備となっている。
★各種アンテナ類は出荷時点で装着済だが、避雷器はユーザー取付。前面・側面の「N'EX」ロゴマーク、JRマークは印刷済。TOMIXの標準装備と言えるフライホイール動力・新集電システム・黒色車輪を採用している。
★ヘッドライトON/OFF機構装備。増結セットには基本セット車番変更用にインレタが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌基本セット　:10,290円
3輌増結セット　:7,560円
6輌セット(限定品):20,790円

〔セット内容〕
■基本:クロE259-1(M)・モハE259-1+クハE258-1
■増結:モハE259-501+モハE258-501+モハE258-1
■6輌:クロE259-2(M)+モハE259-502+モハE258-502+モハE259-2+モハE258-2+クハE258-2

ベーシックセットSD E259〈成田エクスプレス〉〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52056730

★TOMIXのベーシックセット最廉価版「SD」に、車輌を成田エクスプレスE259系としたセットが新登場。
★車輌は通常品の基本セットと同じく、クロE259(M)+モハE259+クハE258の3輌入り。番号も同じ第1編成で、通常品の増結セットも問題なく使用できる。
★先の「マイプラン」同様、パワーユニットが新型のTCSパワーユニットN-600となったのもポイント。
★線路は今までの「SD」各セット同様、カーブ半径280mm、展開時560×1,120mmの小判型エンドレス。拡張用線路セットと合わせて自在に発展させることができる。

〔価格〕
●16,800円

▲セット付属の車輌と新採用のTCSパワーユニットN-600。

〔セット内容〕
■車輌:クロE259-1(M)+モハE259-1+クハE258-1
■レール:S140×1本・S140-RE×1本・S280×3本・C280×8本
■制御器等:TCSパワーユニットN-600・ACアダプター・D.C.フィーダーN、リレーラー

JR西日本・東海 285系0・3000番代〈サンライズエクスプレス〉 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52052484（0番代）
52052485（3000番代）

★現在も〈サンライズ瀬戸〉〈サンライズ出雲〉で活躍する285系寝台特急型電車がKATOよりリニューアル。

モハネ285-1（東芝製床下機器）

モハネ285-3001（三菱製床下機器）

★実車は1998年直流電化区間のみを走行していた〈瀬戸〉〈出雲〉寝台特急を電車化するために登場。運用区間の都合によりJR西日本所属の0番代とJR東海所属の3000番代が存在し、車番標記や一部床下機器が異なるが完全に共通運用されている。
★製品は従来発売されていたもののリニューアル品。今回より汚物タンクなどの車端部機器を台車カプラー部に取付のパーツで再現。従来同様番代による標記類や床下機器の違いも表現される。
★号車番号と〈サンライズ瀬戸〉〈サンライズ出雲〉の行先表示を収録のシールが付属、再現する列車によって使い分ける。
★ヘッドライトON／OFF機構装備。先頭部はKATOカプラー伸縮密連形が標準装備。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌セット：各19,635円

〔セット内容〕
■0番代：クハネ285-2＋サハネ285-201＋モハネ285-1（M）＋サロハネ285-1＋モハネ285-201＋サハネ285-1＋クハネ285-1
■3000番代：クハネ285-3002＋サハネ285-3201＋モハネ285-3001（M）＋サロハネ285-3001＋モハネ285-3201＋サハネ285-3001＋クハネ285-3001

JR東海 373系〈東海〉〈ムーンライトながら〉 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52046996（3輌）
52046998（6輌）

★多用途に運用されるJR東海の特急電車373系がTOMIXよりリニューアル発売。

★実車は1995年に登場、165系を置き換えるとともにそれまでの急行列車を特急に格上げした。特急〈伊那路〉〈ふじかわ〉に主に使用されているが、かつては特急〈東海〉、快速〈ムーンライトながら〉にも定期運用された。現在でも一部普通列車に運用され、東京口でも見られる。
★製品は3輌セットのほかに〈東海〉〈ながら〉を再現した限定品の6輌セットも用意。基本セットではトレインマークシールと車番インレタが付属。限定品は最終日の「東海1号」の車番が印刷済となる。編成ユニット前後にそれぞれ〈東海〉〈ながら〉のトレインマークが印刷され、ユニットを前後入れ替えることによって双方の列車を再現可能。
★前頭部はボディマウントTNカプラー(SP)、各種アンテナ類および避雷器は装着済。フライホイール動力・新集電システムに改められているが車輪は銀色である。
★ヘッドライトON／OFF機構装備。今回は非動力の増結セットは用意されない。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌セット：13,650円
6輌セット（限定品）：23,940円

〔セット内容〕
■基本：クハ372＋サハ373＋クモハ373(M)
■6輌：クハ372-1＋サハ373-1＋クモハ373-1（M）＋クハ372-12＋サハ373-12＋クモハ373-12

限定品6輌セットの先頭車

381系〈しなの〉 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52054918

★「レジェンドコレクション」第5弾として、KATOでは初製品化となる381系が発売。

★製品は1972年、実車登場時の特急〈しなの〉がプロトタイプで、JNRマーク付のクハ381 0番代を両端に配する9輌編成。
★独特の低重心車体はさすがにカッチリした出来で、複雑な形状の振り子台車も立体的に再現。普通車側窓にはブラインドのワイヤーをモールド、フラットな屋上には別パーツのベンチレーターが配され、それぞれ細密感を演出するポイントとなっている。
★既発売の383系などと同様「振り子機構」を有するのも本製品のポイント。383系と同じく、カント付線路に対応して角度は抑え目だが、通常線路でも充分実感できる。
★行先表示は「特急しなの 長野」を印刷済、変換式トレインマークは同列車の文字幕・イラスト幕が収録される。
★ヘッド・テールライト点灯。動力車はフライホイール搭載、サスペンション機構も備える。中間連結器はKATOカプラー伸縮密連形。DCCフレンドリー仕様。

〔価格〕
●塗装済完成品
9輌セット：23,310円

〔セット内容〕
■クハ381-11＋モハ381-12＋モハ380-12＋モハ381-2（M）＋モハ380-2＋サロ381-4＋モハ381-5＋モハ380-5＋クハ381-8

481系〈雷鳥〉／483系〈やまびこ〉〔マイクロエース〕

左からサロ481＋サシ481

鉄道ホビダスはこちらから！
52050285（481系基本）
52050286（481系増結）
52050301（483系基本）
52050303（483系増結）

★485系の母体となった交直流特急型電車、481・483系がプラ完成品初の製品化。
★実車は交流電化の進展と特急運転の拡大による交直両用特急車の必要から登場。後の485系は交流50Hz／60Hz両対応だが、当初は60Hz用481系、50Hz用483系がそれぞれ作られた（異なるのは電動車のみ）。
★製品の481系は、1964年〈雷鳥〉でデビュー当時の姿。先頭部の「ヒゲ」がなく（翌年以降追加）、スカートは151系と識別のため赤一色塗り。所属標記は「大ムコ」。
★483系も1965年〈やまびこ〉で初登場の頃の仕様。こちらは当初からヒゲ付で、スカートはクリーム色。所属は「仙セン」。
★ボンネット先頭車は、以前の151系よりふくよかな顔つきで好印象。各中間車の印象把握も良好で、モハの屋上配管はプラ製別パーツ多用で色分け、賑やかに仕上げている。
★両者ともサロは1等車の標記、方向幕は準備工事を模した車体色。別付のバックミラー、サボステッカー付属。
★前・尾灯点灯（消灯可）、フライホイール付。〈雷鳥〉はフル編成時2モーターとなる。

〔価格〕
●塗装済完成品
481系基本8輌セット：24,780円
481系増結3輌セット：13,440円
483系基本7輌セット：22,470円
483系増結3輌セット：10,395円

〔セット内容〕
■481基本：クハ481-2＋モハ480-3＋モハ481-3（M）＋サロ481-2・サシ481-1・モハ480-1＋モハ481-1＋クハ481-1
■481増結：サロ481-1・モハ480-2＋モハ481-2（M）
■483基本：クハ481-20＋モハ482-3＋モハ483-3（M）＋サロ481-19・モハ482-1＋モハ483-1＋クハ481-19
■483増結：サシ481-10＋モハ482-2＋モハ483-2

右端はサシ481回送用運転台

■481系〈雷鳥〉編成（奥）、483系〈やまびこ〉

485系「さよなら雷鳥」〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053802

★2011年3月改正で姿を消した北陸の名列車〈雷鳥〉が、一連の限定品「さよなら～」セットのひとつとしてリリース。
★製品では運行最終日の大阪発金沢行〈雷鳥33号〉に使用されたA1編成を再現。片側にパノラマグリーン車クロ481-2000番代を配し、初期型モハも組み込んだ9輌編成。
★現行製品の単なるアソートではなく、モハ485-504は洗面所付の車体を新規製作。Hゴムは全車とも黒色となる。
★ヘッドマークは取付済で、車番、JRマーク等もすべて印刷済。方向幕は裏側から白色印刷がなされている。屋上・床下等の別付部品は通常製品と同様。
★ブックケース2個、記念パンフレットを化粧箱に収めた特製パッケージでの発売。

〔価格〕
●塗装済完成品
9輌セット：34,650円

〔セット内容〕
■クロ481-2001＋モハ485-504＋モハ484-606＋サハ481-702＋モハ485-76＋モハ484-76（M）＋モハ485-162＋モハ484-264＋クハ481-323

485系 200番代／300番代〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52049194（200番代基本）
52049195（300番代基本）
52049196（増結M）
52049197（増結T）
52049199（サロ）
52049198（サハ）
52049200（サシ）

■200番代

★485系がTOMIXから改良再登場。
★前面貫通型の200番代、非貫通の300番代ともHG仕様として発売済で、今回外観的に大きな変更はなく、動力車へのフライホイール搭載、復元バネの強化されたTNカプラー（SP）の採用など機構的な変化。
★ライトは先の1000番代同様、プリズムの改良により前灯は電球色、愛称幕は白色に色分け。ライトユニット自体も運転室内の色を模した淡緑色に変更された。
★セット構成も、6輌だった基本セットを4輌に変更。付属の愛称表示は200番代が〈やまびこ〉（イラスト）・〈白鳥〉（文字）、300番代が〈ひばり〉（文字）・〈雷鳥〉（イラスト）で不変。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌基本セット：各16,590円
増結セット（M）：8,190円
増結セット（T）：5,985円
サロ・サハ（AU13）：各2,940円
サシ（AU13）：3,045円

〔セット内容〕
■基本セット（両番代共）：クハ481＋モハ484（M）＋モハ485（AU13）＋クハ481
■増結セット：モハ484（M付の場合M）＋モハ485（AU13）

■300番代

回送用運転台も再現されたサロ481（左）と、サシ481。

485系 1000・1500番代 (勝田電車区 K60編成タイプ)

〔マイクロエース〕

★団体・臨時用に活躍する勝田区の485系、通称イルカ塗装車6輌編成が登場。

★実車は2002年に上沼垂区より転属した1000番代・1500番代混成の窓天地拡大車6輌。2005年に白地に青とグレーの塗装に運転台側面にイルカのマーキングが施され、同塗装の4連とともに常磐線を拠点に活躍。

★模型では床下・台車はグレー成型、黒染め車輪。屋上機器はベンチレーター、クーラーはもちろん配管、ランボードまで別パーツ。動力は近年標準のフライホイール仕様。

★側面窓は全車大窓を再現しており、また、運転台上部ヘッドライトは2灯式、テールライトは外ハメタイプで1500番代の北海道時代の名残装備も再現。

★前尾灯点灯、ON／OFFスイッチ付き。前面・側面幕用のステッカーが付属する。

〔価格〕

●塗装済完成品

6輌セット：21,420円

〔セット内容〕

■クハ481-1504＋モハ484-1013＋モハ485-1013（M）＋モハ484-1011＋モハ485-1011＋クハ481-1505

「さよなら489系能登」セット

〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！

ホビダスID 52024437

★一昨年3月にボンネット型最後の定期列車として引退した489系夜行急行〈能登〉が限定品「さよなら～」セットとして登場した。

★プロトタイプは運転最終日の2010年3月12日、金沢発上野行きでH02編成。

★489系の特徴となるEF63との協調運転のために上野寄り先頭車のみに付く密自連をもTNカプラーで再現。また、逆側のクハ489-3固有の特徴だった運転台上部ヘッドライトにホイッスルカバーのない姿。

★中間車の「ラウンジ＆コンビニエンスカー」の窓の埋められた車体も新規金型によって製作。

★トレインマークは印刷済プリズムタイプで、出荷状態では〈能登〉を装着。付属交換用には光を透過しない素材でできた〈ホームライナー〉と、リバイバル運転された〈とき〉（うち一つが透過素材）が入り、ヘッドマークの非点灯を再現。

★そのほか車体は非常口、洗面所窓が撤去された状態で、車番、JRマークは印刷済、フライホイール付動力、新集電機構、黒色車輪など採用。

〔価格〕

●塗装済完成品

9輌セット：35,490円

〔セット内容〕

■クハ489-503＋モハ488-207＋モハ489-22＋サロ489-27＋モハ488-206（M）＋モハ489-21＋モハ488-2＋モハ489-2＋クハ489-3

専用パッケージと付属の小冊子

モハ489-21「ラウンジ＆コンビニエンスカー」

JR九州783系〈ハイパーにちりん〉／〈きらめき〉

〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！

ホビダスID 52047552（にちりん）

ホビダスID 52047553（きらめき）

★マイクロエースの783系に、同番編成新旧の姿をモデル化したバリエーション2種を同時リリース。

★〈ハイパーにちりん〉は、リニューアル前のシンプルな赤帯入りの姿。クロハ入りの4連は既に〈ハイパー有明〉として発売済だが、今回は屋上クーラー搭載後で、クモハ・モハの屋上高圧配線も異なる。

★〈きらめき〉は、同編成のクロハ782-7が2006年に貫通化改造されクロハ782-407となった姿。既発売の中間車改造車と同じスタイルだが、もともとクロハのため側窓形状が大きく違う。リニューアル後のブロックパターン塗装で、クロハは前面のみ緑色に「MIDORI EXPRESS」ロゴが入る。

〔価格〕

●塗装済完成品

4輌セット：各15,960円

〔セット内容〕

■ハイパーにちりん：クモハ783-15＋モハ783-115（M）＋サハ783-7＋クロハ782-7

■きらめき：クモハ783-15＋モハ783-115（M）＋サハ783-7＋クロハ782-407

■〈ハイパーにちりん〉

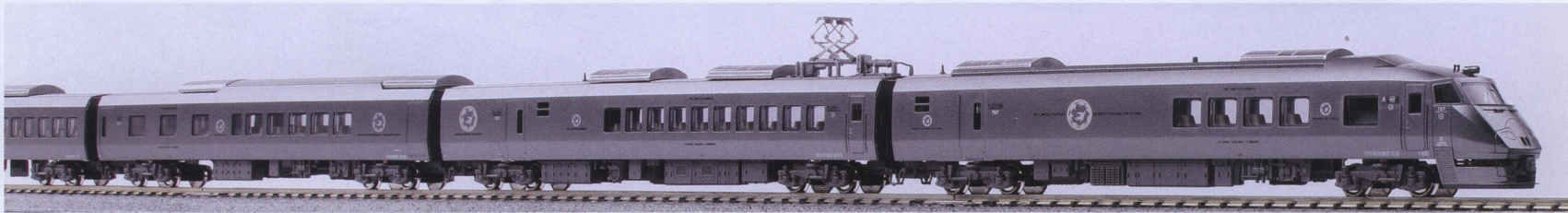
■〈きらめき〉

JR九州787系「アラウンド・ザ・九州」〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダス 52062278

★汎用特急車として第二の人生を歩む現在の787系が、KATOからリリース。
★九州新幹線の部分開業により〈つばめ〉の名を譲ってからも鹿児島本線系の〈リレーつばめ〉〈有明〉を中心に活躍した787系だが、2011年の新幹線延伸に伴う両列車の廃止・減便により運用範囲を九州全土へ拡大。車体には「AROUND THE KYUSHU」のロゴが入り、7連だった編成は6連に減車されている。
★モデルは既存の〈リレーつばめ〉をもとにロゴの変更、サハの減車で現在の姿としたもので、800系〈さくら・つばめ〉車同様のマークも精緻に印刷。行先シールも〈かもめ〉〈きらめき〉〈かいおう〉〈ひゅうが〉〈にちりん〉と現運用に即し幅広く収録される。

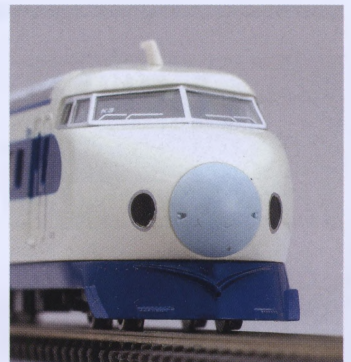
〔価格〕
●塗装済完成品
6輛セット：15,750円

〔セット内容〕
■クモロ787-10＋モハ786-304＋サハ787-210＋サハ787-12＋モハ787-19(M)＋クモハ786-10

0系1・2次車タイプ 超特急〈ひかり〉〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダス 52027984(基本)
ホビダス 52027986(増結)

★マイクロエースの0系大窓車のうち、東海道新幹線の始祖と言える1・2次車が改良品として再登場。「タイプ」の所以は、屋上ルーバー個数がプロトタイプと異なるため。
★前回品は2002年発売。12連を8＋4に分け、それぞれM車が入る構成は今回も同様だが、印刷済サボは前回の〈こだま〉から〈ひかり〉に、車番はK3編成に変更された。動力は近年標準のフライホイール付。
★普通車よりも大窓の現在のグリーン車にあたる1等車はドア縁に金色のモールを再現。塗装はかなりツヤがあり、光前頭部は車体色とは違う青味の強い色調でメリハリをもたせる。床下機器にはグレーや銀の色差しが追加され、ボンネットには21-15のみ点検蓋が印刷表現されている。前回あったサボ等のステッカーは付属しない。

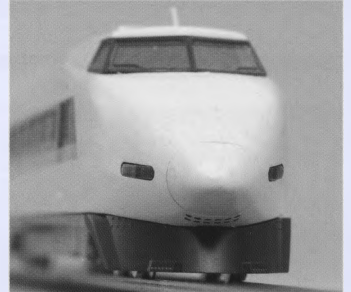
〔価格〕
●塗装済完成品
基本8輛セット：24,780円
増結4輛セット：13,125円

〔セット内容〕
■基本セット：21-15＋26-30・15-15＋16-15＋35-30(M)＋26-29＋25-30＋22-15
■増結セット：25-29＋26-229＋35-29(M)＋26-230

100系(山陽新幹線・フレッシュグリーン)〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダス 52027068

★山陽路に余生を送ったかつての「ニュー新幹線」100系。TOMIX製品がリニューアル。
★プロトタイプは新塗装化された〈こだま〉用K編成。改造先頭車2輌、車掌室設置車126-3200を含む6連。
★今回新たにパンタが昇降式となり、車端部窓ガラスを追加。足廻りではフック・リング式通電カプラーを採用、フライホイール付動力・新集電機構と合わせて近年の新製品に遜色ないスペックとなった。
★別付パーツとしてパンタカバーとガイシが付属。車番・編成番号はインレタ式。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輛セット：18,480円

〔セット内容〕
■121-5050＋126-3000＋125-3700(M)＋126-3200＋125-3000＋122-5050

ベーシックセットSD 500系〈のぞみ〉 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！

52059209

★東海道・山陽新幹線の永遠のスター、500系〈のぞみ〉4輌と線路・制御機器をワンセットにした入門セットが最新のパワーユニット「N-600」を組み込みリニューアル。
★車輌はT型パンタグラフを装備した〈のぞみ〉時代のモデル、車端部分にも窓ガラスが入る近年の仕様で1・4・5・16号車の全4輌。発売中の増結A・Bセットと単品を組み合わせ16輌編成となる。
★付属の線路は従来の「SD」各セット同様の小判型エンドレスで、同社の線路セットと組み合わせ発展が可能。

〔価格〕
●16,800円

〔セット内容〕
■**車輌**：521・528＋525（M）・522
■**レール**：S140×1本・S140-RE×1本・S280×3本・C280×8本
■**制御器**：TCSパワーユニットN-600・ACアダプター・D.C.フィーダーN・リレーラー

セット付属の車輌とグレーボディ色のTCSパワーユニットN-600

JR東海 N700系 Z編成 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！

52056788（基本）
52056789（増結A）
52056790（増結B）

★既にJR東海Z0編成、JR西日本3000番代N編成など各種のN700系をリリースしているTOMIXからJR東海の量産営業車となる0番代Z編成が登場。
★既にモデル化されているJR東海Z0編成は量産先行試作車で量産営業車とは多くの違いを持つ。今回のZ編成は量産車営業車として64本もの編成が活躍しJR西日本所属の3000番代と同じく喫煙室を持つ編成。
★N700系ではJR東海・西日本の両社所属の車輌に故障時対応のため徹底的に共通化が図られており、機能・接客面は同一であり、外見では車番および車番脇のJRマークの色が違うのみ。
★モデルではJR西日本3000番代をベースにこの小さな差を再現。それ以外の基本構成は同じものとなる。

〔価格〕
●**塗装済完成品**
基本4輌セット：13,440円
増結A4輌セット　：9,135円
増結B8輌セット　：21,840円

〔セット内容〕
■**基本**：783-53・785-353（M）・786-253・784-53
■**増結A**：786-500＋785-0・777-0＋786-700
■**増結B**：787-0・786-0＋787-400＋775-0＋776-0・785-600＋786-500・787-500

ベーシックセットSD N700系〈のぞみ〉 〔TOMIX〕

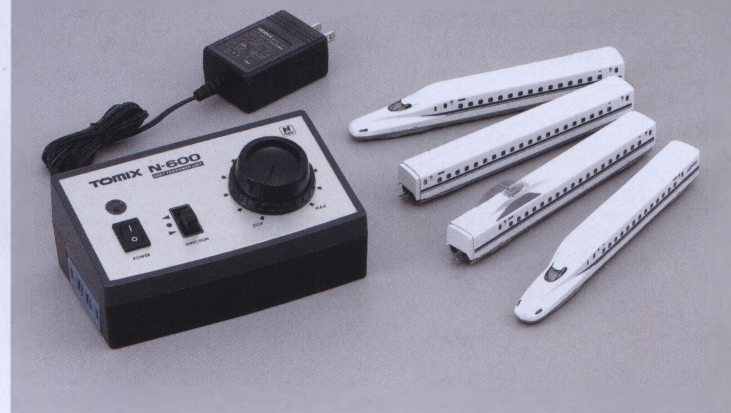
鉄道ホビダスはこちらから！

52056731

★TOMIXの入門用セットの中でも最廉価版の「SD」シリーズにN700系Z編成4輌としたバリエーションが登場。
★車輌は通常の4輌基本セットと同じ内容で、実車編成の1・5・14・16号車をチョイスしたもの。上記のN700系Z編成、増結A・Bセットを組み合わせることで実車通りの16輌編成となる。
★新たに登場した新型パワーユニット「N-600」のボディ色グレーが付属。
★付属の線路は従来の「SD」各セット同様に小判型エンドレスとなり、同社の豊富な拡張用線路セットと組み合わせ大きなレイアウトへと発展させることが出来る。

〔価格〕
●18,690円

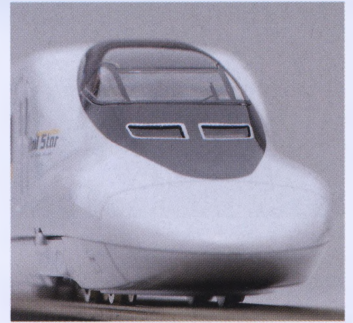
〔セット内容〕
■**車輌**：783-53・785-353（M）・786-253・784-53
■**レール**：S140×1本・S140-RE×1本・S280×3本・C280×8本
■**制御器**：TCSパワーユニットN-600・ACアダプター・D.C.フィーダーN・リレーラー

セット付属の車輌とグレーボディ色のTCSパワーユニットN-600

JR西日本 700系7000番代 山陽新幹線「ひかりレールスター」〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52024438

★TOMIX新幹線シリーズの「ひかりレールスター」に一連のリニューアルと同じく、通電カプラー搭載、フライホイール付動力ユニット、新集電、銀色車輪採用モデルが登場。
★同車はJR西日本の山陽新幹線内の到達時間の短縮と居住性向上を目的として700系をベースに2000年に導入された。
★可動幌はそのままに、車端部窓ガラスを装着、JRマーク、ロゴ印刷済。
★車番やそのほかの標記類収録のインレタが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
8輛セット:22,890円

〔セット内容〕
■723-7000+725-7600(M)+726-7500+727-7000+727-7100+726-7000+725-7700+724-7500

JR西日本・九州 N700系7000番代/8000番代 山陽・九州新幹線〔TOMIX〕

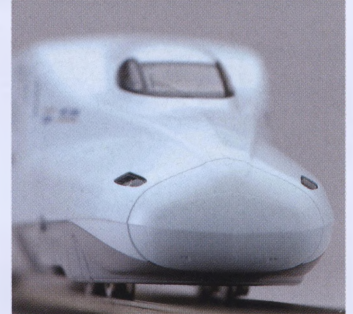
鉄道ホビダスはこちらから!
52037521(8000基本)
52037523(7000増結)

★鹿児島ルートが晴れて全通した九州新幹線の新顔が、さっそくNでリリース。
★実車は山陽・九州直通用の新製車で、JR西日本車が7000番代(S編成)、JR九州車が8000番代(R編成)を名乗るが、ほぼ同仕様。
★製品では白藍の車体色を雰囲気よく再現。既存のN700系のバリエーションと言えるが、塗り分けの違いから先頭部はパーツ分割線を変更。またオールMの8連という独自の編成のため、窓割りなど細かな差異も多い。
★S編成、R編成では印刷済のJRマークの色が違うほか、S編成セットにはS1編成のみ装備するパンタ点検窓のパーツが付属。
★S編成は8輛フルセット。R編成は基本+増結の構成で、基本セットのみ車番印刷済(R3編成)。他2セットはインレタ式。

(R2編成)限定品の専用ケース

パンタ廻りとS編成付属のパンタ点検窓パーツ

★限定品として、R2編成の車番を印刷済とした8輛セットも用意。車体色を基調とした専用インサートが奢られている。

〔価格〕
●塗装済完成品
7000番代8輛セット:23,100円
8000番代3輛基本セット:10,290円
8000番代5輛増結セット:12,810円
8000番代(R2編成)8輛セット:23,100円

〔セット内容〕
■7000番代:781-7000+788-7000(M)+786-7000+787-7000+787-7500+766-7000+788-7700+782-7000
■8000番代基本:781-8003+788-8003(M)・782-8003
■8000番代増結:786-8000+787-8000+787-8500+766-8000+788-8700
■8000番代(R2編成):781-8002+788-8002(M)+786-8002+787-8002+787-8502+766-8002+788-8702+782-8002

■8000番代

■7000番代

JR九州 N700系8000番代(R10編成)〔TOMIX〕

★上記の九州直通用N700系に、ユニークなバリエーションが限定品で登場。
★プロトタイプは2011年2月20日、3月の九州新幹線全通に向けたCM撮影用に運転された特別列車で、完成したCMが話題を呼んだのも記憶に新しい。虹色のラッピングに「祝!九州」等の文字を大書した姿はインパクト十分で、モデルでも鮮やかに再現。
★特定の一列車を再現した製品だけに、車番はもちろん印刷済。基本的な標記も入っているが、通常仕様と同じくグレードアップ用として細部標記のインレタも付属する。

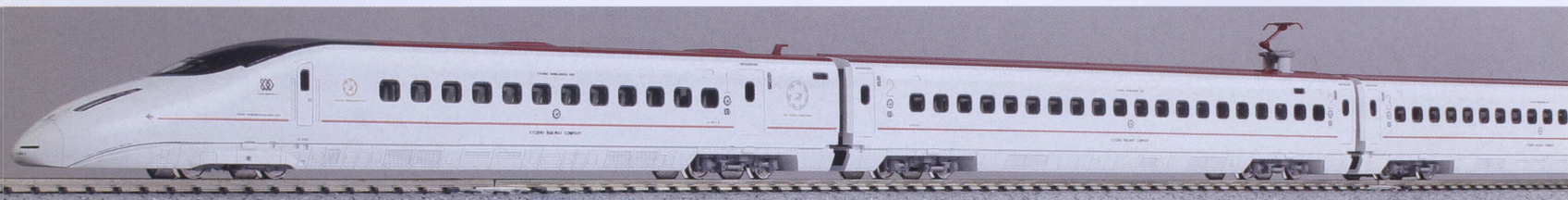
〔価格〕
●塗装済完成品
8輛セット:26,040円

〔セット内容〕
■782-8010+788-8710+788-8010+787-8510+787-8010+786-8010+788-8010(M)+781-8010

JR九州 九州新幹線800系〈さくら・つばめ〉〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダス 52056823

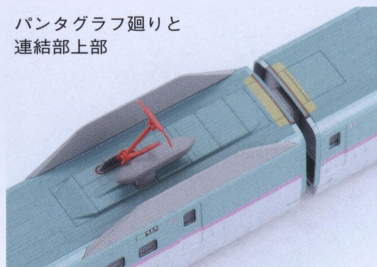
★九州新幹線の全通にあわせ、一部仕様が変更・改造された〈さくら〉〈つばめ〉用800系がKATOよりラインナップ。
★実車は2004年、九州新幹線部分開業と同時に登場。2011年3月の全通に伴い車体外部ロゴが一新され、5号車には多目的室が設置され一ヶ所の窓も閉塞された。現在は九州新幹線区間内専用で〈さくら〉〈つばめ〉運用にあたっている。
★製品は九州総合車両基地所属U003編成とされ既製品のロゴ・標記の変更、5号車の窓有無も再現されている。動力・台車は従来からのものを継続。
★側面行先表示および座席表示は現行の表記に変更されたシールが付属、ユーザーによって貼付ける。
★車端ガイシは別パーツで付属、ユーザー取付けパーツとなる。中間連結器はKATOダイヤフラムカプラー。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット：16,800円
〔セット内容〕
■821-3＋826-3＋827-3（M）＋827-103＋826-103＋822-103

JR東日本 E5系〈はやぶさ〉〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダス 52040692（基本）
ホビダス 52040693（増結A）
ホビダス 52040694（増結B）

パンタグラフ廻りと連結部上部

中間部の幌一体のカプラー

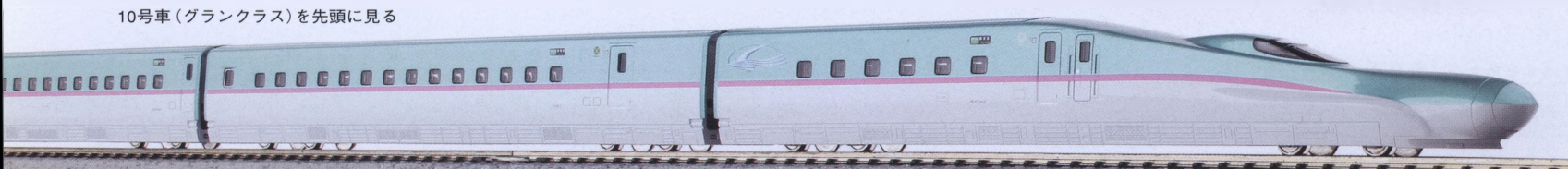
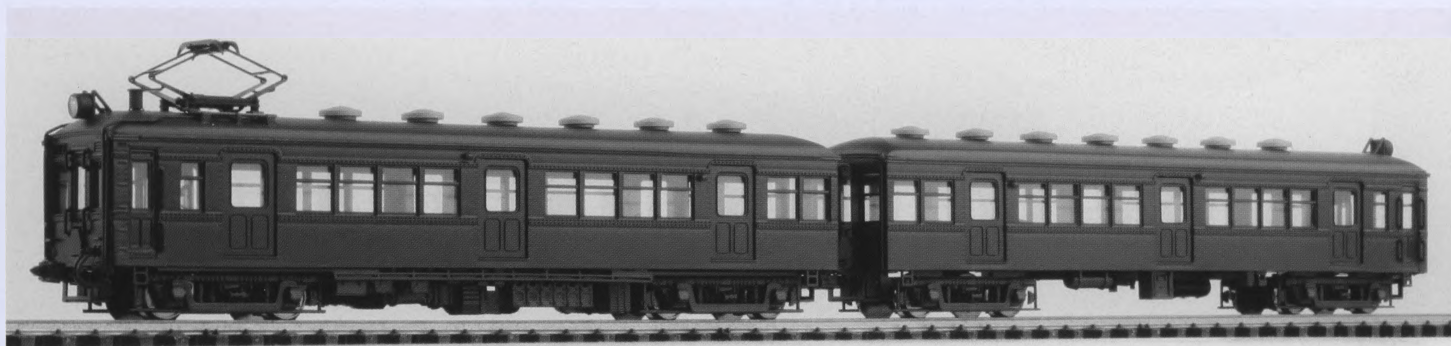
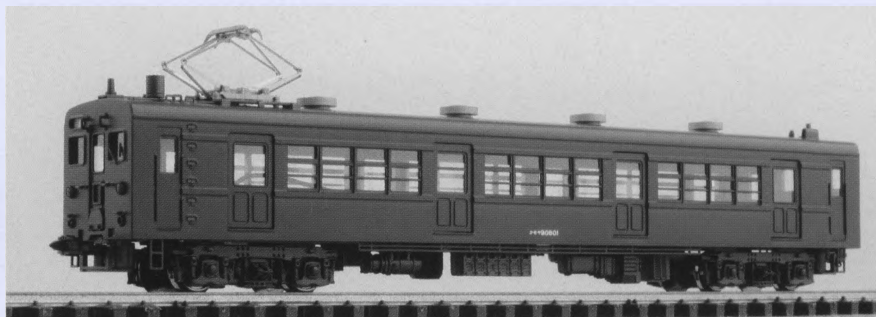
★かつての九州特急と同じ〈はやぶさ〉の名をうけた東北の新鋭新幹線が、早くも製品化。
★実車はE954系「FASTECH 360」の試験結果を踏まえ、東北新幹線における320km/hでの営業運転を目指して登場。モデルは2010年製の量産車U2編成がプロトタイプ。
★先頭車の車体半分に及ぶダブルカスプ型のロングノーズ、特徴あるパンタグラフ廻りの造形を滑らかに再現。ツヤのある塗装もフォルムを強調している。
★新青森方の先頭車E514形は「グランクラス」仕様の車内パーツに加え、併結運転に備えた先頭部カプラーを装備。カバーが一体で外れ、従来より簡便な方式となった。
★幌一体の中間部カプラーにはセンタリング機構が付き、連結が容易になっている。
★台車がスカートで覆われるため、必須のリレーラーは基本セットに同梱（ユニトラム用と同等品）。
★前・尾灯点灯、フライホイール搭載。車番と行先表示（「はやぶさ　新青森」）は印刷済で、ステッカー等は付属しない。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌基本セット：11,025円
3輌増結セットA：6,615円
4輌増結セットB：7,665円

〔セット内容〕
■基本セット：E523-2＋E525-102（M）＋E514-2（グランクラス）
■増結セットA：E525-2・E526-302・E515-2（グリーン車）
■増結セットB：E526-102・E526-202＋E525-402・E526-402

1号車を先頭に見る

10号車（グランクラス）を先頭に見る

エキスパート編

●ワールド工芸

老舗真鍮エッチングキットメーカーの同社ではプラ量産品ではカバーされない旧型国電、事業用車をリリース。金属モデルの持つシャープな質感が、ディテールフルな旧型車の中に緊張感を与えている。

▲クモハ11 400＋クハ16 400　スタンダードな17m旧国である、クモハ11＋クハ16のコンビ。木造車の鋼体化改造によるクモハ11400・クハ16400がプロトタイプ。キット：20,790円、塗装済完成品：48,825円（共に2輌セット）

▶クモヤ90801　電車区の裏方的存在の形式。801番は長野地区周辺の狭小トンネルに備え、屋根全体が低く、高運転台に腰部のヘッドライトや希少なDT14台車が特徴の異端車だった。モデルの下廻りには、同社開発の「TU動力」により室内の大半がシースルーとなる。キット：16,800円、塗装済完成品：31,500円

●α -model

一昨年、プレーンな111系一体成型未塗装プラキットを発売した同社。この111系シリーズをさらに拡充する形式としてサロ110・111が登場。

▼サロ111　サロ110とコンビを組む。こちらは純粋に111系として登場。車掌室は持たない。サロ110との未塗装2輌セット：4,830円

▲サロ110　元々急行用サロ153であった車掌室付グリーン車。冷房化改造を経て、JR東日本に受け継がれ数年間活躍した。台車の指定はTR59。下廻りにKATOまたはTOMIX製品（サロまたはサハ）を使う。サロ111との2輌セット。

● CROSS POINT

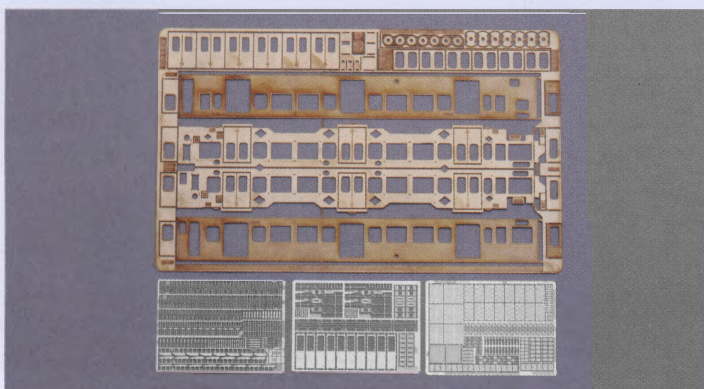
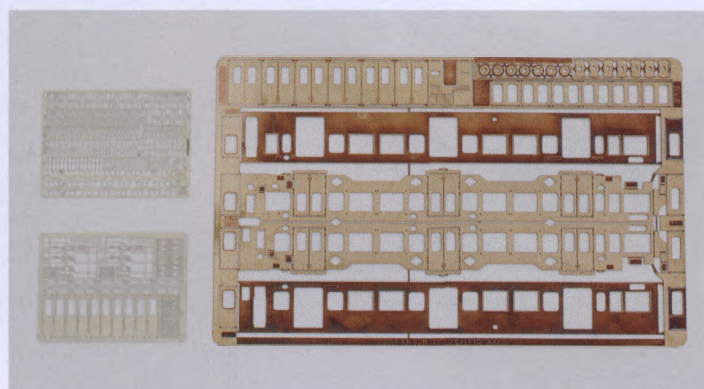
グリーマックスの直営店「グリーンマックス・ザ・ストアー」限定ブランド。通常の同社製品ではサポートしきれない特定の線区や特定編成などのキットをリリースしている。

▲103系体質改善車　羽衣支線　JR西日本の体質改善車の中で唯一の国鉄色クモハ103が含まれる3輌編成。クモハは播但線用3500番代としてリリースしていた製品の色替え。更新車のすっきりした車体と手ごろな編成が魅力。塗装済キット（3輌セット）：9,450円

●トレジャータウン

真鍮エッチングによるコンバージョンキットを展開する同社。以前から多くを手掛けてきた113・115系のバリエーションキットを展開。

◀ **113系3800番代N編成**　クモハ112は2基パンタ車で運転台助士側後部には窓がない。またクモハ113のヘッドライトは103系などと同じ国鉄通勤型のタイプ。2輌コンバージョンキット：9,240円

◀ **113系3800番代N2編成**　クモハ112が1基パンタ車で、運転台助士側後部に窓のあるタイプ。またクモハ113のヘッドライトは埋め込み型。こちらは直販・イベント限定品。2輌コンバージョンキット：9,240円

▲ **113・115系ユニットサッシ車**　113・115系のノーマルな量産冷房車としての発売。セットの構成はクハ2輌＋中間車2輌の4輌編成で113系の新製冷房車および700番代、115系300番代の4連に対応する。コンバージョンキット（4輌セット）：10,500円

▲ **115系300番代およびユニットサッシ車**　113・115系のユニットサッシ量産冷房車4輌セットのバリエーション。115系300番代3輌セット：9,240円、モハ113・112／モハ115・114ユニットサッシ車2輌セット：6,300円、クハ111・115ユニットサッシ車2輌セット：7,140円、サハ111・115ユニットサッシ車1輌：2,625円

メーカー担当者に聞く…！

2011、メーカー別モデル・オブ・ザ・イヤー グリーンマックス編

グリーンマックスでは昨年も私鉄車輌中心でしたが、京急600形や東武50000系などでショップブランドのCROSS POINTと合わせて多くのバリエーション展開が行なわれました。また、新たなストラクチャー製品として話題を呼んだ公団住宅など、これまでにない試みも注目されます。今回も昨年に続いて営業担当のNさんに、各製品のサンプルを見ながら1年間を振り返っていただきました。　まとめ：鈴木重幸

▲見た目の印象がまったく異なる近鉄特急車2系列だが、実は車体断面が共通の兄弟形式である点に製品化のカギがあった。

流線型特急車への トライ

RMM：御社に関しては、例年通りランキングなしということで、昨年の主な新製品をすべて挙げていただいていますね。NGIのランキングでは、どうしても投票と近い時期に発売された製品が有利ということもありますが、年末発売されたばかりの近鉄21020系アーバンライナーnextが1位という結果でした。実車の登場から数年経過しての製品化でしたが、そのあたりの経緯についてお聞かせいただければ。

N：昨年4月に同じ近鉄の特急車である22600系Aceを出しましたが、実はこれとアーバンライナーnextは車体の断面形状が同じなんですね。車体内側の金型が共用できるという製造上のメリットがありますから、Aceを作った段階で年内にアーバンライナーnextもやっておきたい、という計画でした。

RMM：1年の間に近鉄特急を2種類も出すのはスゴいことだと思っていましたが、形状的に兄弟車種ということで必然的な部分があったのですね。

N：アーバンライナーnextは近鉄特急の中でもひとつ格上の存在ですし、当社で完成品シリーズを始めてから10周年という節目でもあったので、ここで流線型の先頭部を持った特急車輌にトライしたい、ということもありました。

RMM：この製品では、6輌編成を2つに分けて、3輌基本セットを紙箱で販売という、他社でも最近よく見られる売り方になりましたね。

N：実はパッケージの寸法も先行する他社さんと同じなんです。メーカーが違っても寸法が同じ方が流通や陳列の際も便利ですし、お客様が収納する時もそうですよね。製品の性格や発売時期からしても、

N-gauge Informationの投票による 2011グリーンマックス製品ベスト5

（コメント：編集部）

第1位　近鉄21020系 アーバンライナーnext
…年末発売されたばかりのアイテムが堂々1位を獲得。これまでにも近鉄特急車を数々製品化してきた同社ならでは、待望の製品となりました。フラッグシップ的な系列ながら、実車登場から数年、模型界では音沙汰がなかっただけに、嬉しさもひとしおだったのかも知れません。

第2位　阪神9000系新造時
…阪神電鉄のその時代における最新系列を製品化してきたグリーンマックスですが、ここで初めて時代を遡ってのセレクトとなりました。新造時と近鉄乗り入れ改造後の2タイプが製品化されましたが、実車登場時のインパクトの大きさからか、新造時の方が支持を集めたようです。

第3位　JR211系5000番代
…新金型を投入した製品としては、2011年唯一のJR電車でした。とはいえ、JR東海管内では極めて当たり前に走っている車種だけに今までは未塗装キットしか存在しなかったのがむしろ不思議だったのかもしれません。

第4位　東武50000系50090型 TJライナー
…メーカー本社のお膝元を走る東上線の優等列車用系列。これは他社に譲るわけにはいかなかったでしょう!? 当然のごとく、50000系各タイプのバリエーションも展開され、東武ファンは嬉しい悲鳴を上げました。

第5位　東急6000系
…これまで地味な印象のあった大井町線に、急行用として初めて投入された派手な電車。既存の5000系シリーズの設計・部品を一部活用しつつ、面目を一新した外観となり、コレクション中でも目を引く仕上がりを得ました。

入門者やライトユーザーの方に少しでも買っていただきたいということもあり、基本は紙箱の3輌セットという形になりました。ただ、パッケージそのものに関しては、量販店の方からは「窓が付いて中味が見えるので陳列しやすい」という評価をいただいた反面、専門店の方からは「透明ブリスターは1万円以上する商品として高級感に欠けるのでは」というご指摘もありまして、このあたりは今後の課題としていきたい部分ですね。

「近鉄特急といえば グリーンマックス」

RMM：続いて先ほどもお話が出た、同じ近鉄特急車の22600系Aceについてもお伺いしましょう。

N：こちらは4月の発売でしたが、アーバンライナーnextに負けず劣らず好評をいただきました。近鉄の汎用特急車としては先代の22000系ACEも手がけていましたから、お客様からもご要望は多くいただいていましたね。この車輌は大きな車体断面が特徴で、他系列とつないだ時に段差ができるのが面白さのひとつなので、そのあたりのバランスには気を遣いました。

RMM：車番が印刷済になりましたね。

N：ACEの時はインレタ付属だったのですが、近鉄特急はなにしろ車番が小さいものですから。これに

グリーンマックスが考える 2011新製品ベスト8

（順位なし）

- ○近鉄21020系アーバンライナーnext
- ○阪神9000系
- ○JR211系5000番代
- ○東武50000系50090型TJライナー
- ○東急6000系
- ○東京メトロ05系13次車
- ○近鉄2610系
- ○近鉄22600系Ace

関しては、ご不満の声は特に聞かれませんでしたね。

RMM：4連と2連、基本と増結で4種類とも車番は変えてあるわけですからね。

N：パーツ類もすべて取付済にしました。当社製品もお客様の嗜好の変化に合わせて、買ってすぐ楽しめる作りにシフトさせているということですね。

エコノミーキットの リニューアル路線も継続

RMM：続けて近鉄の通勤車2610系ですが、これはNGIのランキング上位には入っていないものの、市場からすぐ消えたイメージがあります。

N：最初に塗装済キット、次に完成品という順で出したのですが、塗装済キットを組めば完成品と同等のクオリティになるという点も大分浸透してきたようで、どちらも大変好評をいただきました。

RMM：側面扉の、戸当たりゴムの部分で赤帯が途切れているのは意図的にですか？

N：そうですね、これは赤の印刷が凹みの部分に回りにくいのを逆手に取って、戸当たりの表現にしています。

主力車輌が出揃った 阪神電車

RMM：阪神9000系は、阪神の完成品シリーズとしては4系列目ですね。

N：やはり当社でシリーズ21を製品化している近鉄と相互乗り入れしている系列ですし、他社から製品化されていないこともあって、オリジナルと乗り入れ改造後の2種類で出そうということになりました。

RMM：製品としてのトピックはありますか？

N：青みがかった熱線吸収ガラスを、着色樹脂で再現しています。また、あまり型を変えることなくオリジナルと改造後の顔の違いをリアル

▲近鉄奈良線へも直通する阪神9000系。他社製品とあわせて、現行の阪神主力形式が完成品で出揃うこととなった。

▲久々のJR型となった211系5000番代。KATO313系と連結できるオプションパーツも近々発売予定。

にすっきりと表現するために、前面枠の内側を透明一体パーツにして、ガラス以外の部分を印刷表現しています。

RMM:東京メトロ10000系以来、得意とされている技法ですよね。

久々のJR型は東海の主力車輌

RMM:最近は「私鉄車輌のグリーンマックス」というイメージが強かったですが、211系5000番代は久々のJR型でしたね。

N:125系…その後塗装済キットでJR西日本の103系・201系を手がけて以来ですね。

RMM:製品化の経緯は?

N:これもエコノミーキットのリニューアルという位置付けと、211系というくくりでは以前から他社製品があるものの、中京地区や静岡地区では当たり前に走っている5000番代の完成品がなく、製品化希望の声も多かったため、ひとつウチでやってみようということになりました。

RMM:形態的には現行の仕様ということですね。

N:そうですね、シングルアームパンタでスカートが改造された現在の姿です。それと形態的には側面の行先が天地幅の狭いものと広いもの、方向幕とLEDで大別して3種類あるもので、モールドとはせず印刷表現で作り分けています。

RMM:方向幕やLEDの白地や黒地を印刷しておいて、お好みでステッカーを上に貼るという方式ですね。

N:CROSS POINTで出している塗装済キットでは印刷表現自体もなくして、より自由度の高い編成の作り分けができるようになっています。

RMM:反響はいかがですか?

N:実車が日常的に313系などと併結運転を行なっていますから、やはり「他社の313系と連結して走らせたい」というご要望が多くあります。そこでKATOさんにお声掛けさせていただいた上で、KATOの313系と連結可能にするためのアダプターを近々発売する予定です。

新たなる東武電車のスタンダード

RMM:50000系50090型TJライナーですが、これについては他の50000系各番代も含めて語っていただければ。

N:当社の地元ということもありまして、東武についてはスタンダードの8000系を長年展開させていただいたわけですが、実車の主力が移り変わっていく中で、やはり次のスタンダードを今のうちから製品化しておくべきではないかということで製品化に至りました。

RMM:長く売ることを考えれば、実車が新しくて注目されているうちに製品化した方が良いですものね。

N:そうした中、実車の方でTJライナーが登場しまして、他の50000系列とは塗装が異なるなど目立つ存在ということもあって、製品化を期待するお声が集まり、まずここから手がけてみようということになりました。

RMM:この製品では車番のほか方向幕も印刷済になりましたね。

N:これもお客様の嗜好の変化とともに、この車輌は特に前面の表示が大きくて、そこに「TJライナー」のロゴがカラフルで印象的ですので、当社の技術でこの印刷表現にトライしてみようということになりました。

RMM:既に50000系列としては他社製品が先行していたプロトタイプですが、市場の反応はいかがでしたか?

N:当社製品としては価格設定を抑えたことも功を奏してか、TJライナーはご大変好評をいただきまして、その後順調に50000型、50050型、CROSS POINTでの50070型とバリエーション展開することができました。TJライナーもタイミングを見て再生産していきたいですね。

意外に手がかかっている東急6000系

RMM:東急6000系ですが、製品も実車と同様5000系ベースなのですか?

N:実は5000系製品のプロトタイプとは違って、側扉窓周囲の凹みがないタイプですので、金型を改修しています。もちろん、従来の仕様は窓ガラスパーツの方に印刷表現をすることで対応できるのを確認した上での改修で、逆にこれによって後期型の5000系列も作れるようになります。それと、6000系の前頭部は5000系に比べて傾斜が急で、単に顔のパーツを交換するというわけにはいかないので、ひと工夫加えています。

RMM:それは生産が大変だったのではないですか?

N:はい、人手が足りないということで私も工場へ駆り出されて作業しました(笑)。といってもハンドメイドの工作とは違いますので、仕上がりは完成品として何ら問題ないクオリティです。

RMM:CROSS POINTでバリエーション違いを出されましたね。

N:完成品は角型クーラーの奇数編成で車番印刷済ですが、CROSS POINTの方は丸型クーラーの偶数編成で、車番もインレタによる選択式としており、バリエーションをお楽しみいただいております。

地下鉄シリーズ最新作

RMM:地下鉄車輌の新作として東京メトロ05系13次車を出されましたが、ツリ目の05系後期型の中でも13次車とされた理由は?

N:13次車は実車が10000系のプロトタイプとなった車輌なので、逆に当社で以前出した10000系の金型が流用できる点ですね。東西線に関しては、JRに乗り入れているのでいろいろな車輌と並べられるのと、だいぶ昔にエコノミーキットで05系初期型を予告しながら結局お蔵入りさせてしまった責任というのもありますね。

▲ジャンルとして大きな盛り上がりを見せつつある地下鉄車輌。グリーンマックスからは東西線05系13次車がリリースされた。

RMM:兄弟形式の東葉高速2000系も製品化されるのでしょうか?

N:形態的には、屋上のJR無線アンテナがないのと、ライト廻りの形態が若干違うくらいですので、ファンの皆様のお声次第では、検討させていただきたいと思います。

RMM:この後、同じ東西線の15000系が控えていますね。他社の展開も含めて、地下鉄車輌というジャンルがより発展することをユーザーとしては期待したいですね。

▶年末発売のストラクチャーとして反響が大きかった公団住宅も、実は思わぬ産みの苦しみがあった。

産みの苦しみがあった公団住宅

RMM:ストラクチャーの新作として年末に公団住宅が発売になりました。

N:最近では実物が老朽化で取り壊されていく状況で団地ブームというのもありまして、プラモデルメーカーの方からも1:150で団地を出されましたし、市場でも完成ストラクチャーが充実していく状況の中、当社として初の塗装済完成品のストラクチャーとして製品化に至りました。

RMM:市場の反響も大きかったようですが。

N:本来は10月発売の予定でしたが、製造していたタイの工場が洪水の被害に遭いまして。幸いにして成型品はでき上がっていたのでこれを日本に送ってもらい、急遽ラインを組んで組み立てました。

RMM:そんなことがあったんですか!よく2ヶ月の遅れで間に合いましたね。

N:社員総出で組立にあたりまして、なんとか当初の受注数は確保できました。市場の反応としては製品の性質上、複数買われるお客様がやはり多いようですね。発売中の「住棟番号インレタ」を使って、工夫されていらっしゃるお声も、多数いただいています。あと、鉄道模型以外のジャンルのお店にも置いていただいてますね。キャラクターモデルのジオラマ用にという需要があるようです。

RMM:今後予定されている東京モノレールですが、アイテムの選択もさることながらフジミ模型とのコラボで注目を集めました。これは御社的にはストラクチャーとしての位置付けなんですね。

N:モノレール自体は以前からご要望のお声が多く、ぜひ実現したいという話は社内にあったのですが、やはり鉄道模型は走らないと、というネックがありました。

RMM:その点、プラモデルメーカーならではの「ディスプレイモデルで良い」という割り切りがあったわけですね。先に出たフジミブランドの未塗装キットは好調な売れ行きだったそうですが。

N:当社の塗装済キットも年内発売したかったのですが、やはり未塗装と違い解決すべき問題がいろいろありまして、ようやく着色サンプルが上がってきたところです。3月には発売に漕ぎ着けたいですね。

RMM:発売の暁には、本誌でもぜひ特別記事を組ませていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

電車(私鉄) ELECTRIC CARS (PRIVATE RAILWAY)

国鉄・JR型が網羅されつつある状況も手伝ってか、私鉄車輌の製品化は2011年も活発に行なわれました。既発売形式のバリエーションや新規製品の複数アイテム展開も相変わらず盛んで、同じ鉄道の車輌が異なるメーカーから相次いで発売されることも珍しくなく、私鉄ファンにとってはまさに嬉しい悲鳴といったところ。路面電車製品の充実しも著しく、KATOからの東京メトロシリーズ発表など、地下鉄車輌もひとつのジャンルとして定着してきたようです。

ベーシック編

東武30000系（東上線）〔グリーンマックス〕

★GMから、既存の東武30000系のバリエーションとして「東上線仕様」がリリース。

★伊勢崎線〜半蔵門線乗り入れ対応車としてデビューした30000系だが、50050系の投入に伴い一部編成は地上線専用化、さらに2011年にはトップナンバー編成の31601F（6輌）＋31401F（4輌）および31611F＋31411Fが東上線へと転属。転属後は中間に入る運転台を撤去し、10輌貫通編成へと変更されているのが特徴。

★モデルでもこの運転台撤去車は見どころ。塗り潰されたライト、ワイパーのない窓、撤去されたスカートが改造中間車を主張する。これら2輌は増結4輌セットに含まれる。

★先頭部の連結器は電連が撤去されたシンプルな形態、車番はもちろん印刷済。元製品のプロトタイプの関係上一部「タイプ」性はあるが、発売済の「TJライナー」等と並べて現在の東上線を楽しむには格好の役者。

★上記変更点以外は基本的に既存品同様。

〔価格〕

●塗装済完成品
基本4輌セット：18,900円
増結4輌セット：14,175円
増結2輌セット：8,085円

〔セット内容〕

■基本4輌：31601・35601（M）・33401＋34401
■増結4輌：34601・36601＋31401＋32401
■増結2輌：32601＋33601

右はライトの埋められた運転台撤去車

東武50000系（50000型）〔グリーンマックス〕

★GMの東武50000系シリーズに、同系の端緒となった東上線用50000型が登場。

★実車は2005年登場の最新鋭車。第1編成は前面非貫通・側窓固定式で登場したが、後続編成は他線区向け車の仕様を採り入れ改良。第2編成からは前面貫通化、第3編成以降は側窓の開閉化・屋上換気装置の省略など、各部に細かな変更が加えられている。

★製品は他の各タイプと同じく前面貫通型。側窓は第3編成以降の開閉式（センターピラー付、車端部は固定式）で、屋上の強制換気装置はない。その他、基本的な仕様は既存の同系各タイプと同様。

★先に発売となった「TJライナー」との競演も楽しみたい。

〔価格〕

●塗装済完成品
6輌基本セット：19,950円
4輌増結セット：11,550円

〔セット内容〕

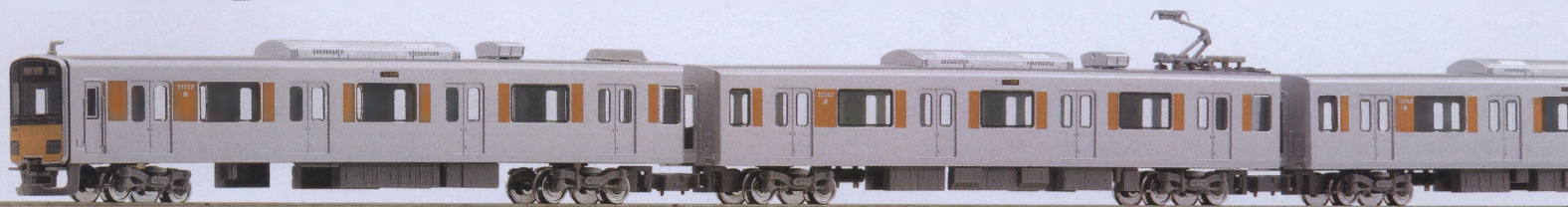
■基本：51006＋52006＋53006・55006（M）＋56006・50006
■増結：54006・57006＋58006＋59006

東武50000系 50050型／50070型タイプ 〔グリーンマックス／CROSS POINT〕

★GM東武50000系のバリエーション。
★発売は50050型がグリーンマックス、50070型がCROSS POINT。車体は共通で、車番や窓サッシなど印刷での差別化が中心。
★50050型は伊勢崎線・日光線系統の車輌で地下鉄半蔵門線～東急田園都市線にも乗り入れる。製品は51051Fがプロトタイプで、ドア間の側窓は固定式。車端部の下降窓が片エンドのみなのが50070型との違い。
★50070型は東上線および地下鉄有楽町線・副都心線直通用。今回のプロトタイプは第1編成の51071Fで、前回発売の51075Fとは側窓が固定式となる点が異なる。上記50050型とも、屋上には非常換気装置付。
★付属品は一部表示ステッカー、ユーザー取付の誘導無線アンテナ。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌基本セット：各19,950円
4輌増結セット：各11,550円

〔セット内容〕
■50050基本：51052＋52052＋53052・55052（M）＋56052・50052
■50050増結：54052・57052＋58052＋59052
■50070基本：51075＋52075＋53075・55075（M）＋56075・50075
■50070増結：54075・57075＋58075＋59075

■50050型

■50070型タイプ（CROSS POINT）

東武50000系 50090型「TJライナー」／50070型（51075F）〔グリーンマックス／CROSS POINT〕

★東上線沿線に本社を置くGMから、同線用の50000系バリエーションが製品化。前面貫通式の2タイプで、発売は50090型がグリーンマックス、50070型はCROSS POINTブランド。
★50070型は東京メトロ副都心線直通対応車。製品は51075編成がプロトタイプで、側窓は車端部が一段下降窓、ドア間は中央部を除きJR209系のような上段下降の2段窓。
★50090型は座席指定制列車「TJライナー」用の特別仕様車。ロング・クロス転換式のマルチシートを装備、窓下に青帯を巻く。側窓はドア間が2連の下降窓、車端部は固定。
★モデルは車体、床下機器（一部を除く）、台車（SS167）とも専用品で、シンプルなスタイルをよく再現。前面は一体透明パーツで、塗色・ディテールは側窓ピラーともども印刷表現される。車体は基本的に共通だが、50070型には屋上の換気装置、50090型には座席パーツ（クロス状態）を装備。
★東急8500系に続き改良型動力ユニットを採用。前・尾灯点灯、車番・社紋印刷済。一部表示ステッカーが付属する。50070型の誘導無線アンテナはユーザー取付。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌基本セット：各19,950円
4輌増結セット：各11,550円

〔セット内容〕
■50090基本：51091＋52091＋53091・55091（M）＋56091・50091
■50090増結：54091・57091＋58091＋59091
■50070基本：51075＋52075＋53075・55075（M）＋56075・50075
■50070増結：54075・57075＋58075＋59075

■50070型（東上線一般車）

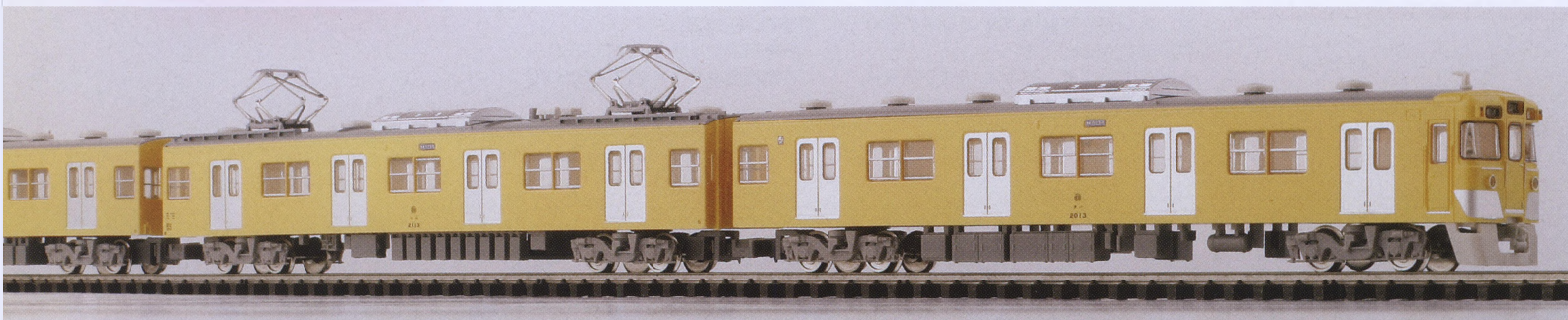
■50090型「TJライナー」

西武2000系初期車（更新車）

〔グリーンマックス〕

★グリーンマックス西武2000系に、完成品に続き塗装済キットが登場。
★側面方向幕設置後の姿で、成型品自体は完成品同様だが、パンタは菱型（PS16N）が付属。車番もインレタ式で、組立時のスカート付・なしの選択と合わせ、より多くのバリエーションに対応。

〔価格〕
●塗装済キット
4輌トータルセット（M付）：17,640円
増結用先頭車2輌セット（Mなし）：8,400円
増結用中間車2輌セット（Mなし）：7,350円

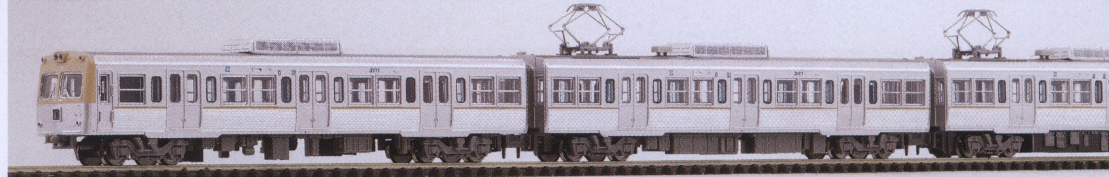
〔セット内容〕
■4輌セット：クハ2001（奇）＋モハ2101（奇・M）＋モハ2101（偶A）＋クハ2001（偶）
■先頭2輌セット：クモハ2401＋クハ2401
■中間2輌セット：モハ2101（奇）＋モハ2101（偶A）

京王3000系（側面帯入・ベージュ／ライトブルー・シングルアームパンタ）

〔マイクロエース〕

★7色のマスクで京王井の頭線のイメージを一新した「ステンプラカー」3000系がマイクロエースより登場。
★実車は1962年に登場した京王初のステンレス車で、7色あるFRPの前面窓廻りとステンレス車体から「ステンプラカー」の愛称を持つ。全29編成中、後半増備分は1996年からパノラミックウィンドウの鋼製マスク化。1000系への代替が進み、2011年に全廃となっている。
★製品はコルゲートの少ない後期車。側面に細帯が入った1990年頃の27番編成（ベージュ）、更新された現在の28番編成（ライトブルー）の2種で、前面窓、クーラー、パンタの形態やスカートの有無を作り分け。サボ受の有無、客扉手掛けの数の違いは印刷でフォローされる。
★フライホイール付動力搭載。ライトは通過表示灯を含め点灯。行先ステッカー付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
5輌セット：各18,165円

〔セット内容〕
■ベージュ：クハ3777＋デハ3127＋デハ3077（M）＋デハ3027＋クハ3727
■ライトブルー：クハ3778＋デハ3128＋デハ3078（M）＋デハ3028＋クハ3728

■側面帯入・ベージュ

■ライトブルー・シングルアームパンタ

小田急30000形EXE（ブランドマーク）

〔マイクロエース〕

★小田急ファン待望の30000形EXEがマイクロエースから登場。
★実車はそれまで観光客向けだったロマンスカーとはコンセプトを変え、ビジネス客をも対象とし、20m級ボギー車、平床運転台、6＋4連の分割編成など、従来車とは一線を画す仕様で1996年3月に登場。現在も箱根方面、江ノ島方面の特急用として活躍中。
★モデルは近年車体側面に付けられた「odakyu」の新ブランドマークが印刷され、窓緑も車体色となった現行の姿。パールブロンズの塗装もキメ細かく美しい仕上がりで、各種ロゴ、標記も微細なデザインを崩すことなく再現される。
★6連と4連との併結側先頭車は出荷状態ではダミーカプラーを装着、付属の伸縮式ボディマウントアーノルトカプラーに交換することで両車の連結が可能。この先頭車の床下にはライトON／OFFスイッチが付く。
★動力はフライホイール搭載で6輌と4輌の各編成に1輌が入る。付属品にはカプラーアダプターのほか前面の愛称と側面の行先表示シールが入る。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット：20,370円
4輌セット：15,960円

〔セット内容〕
■6輌：クハ30553＋デハ30503＋サハ30453＋サハ30353＋デハ30203（M）＋クハ30253
■4輌：クハ30153＋デハ30103（M）＋デハ30003＋クハ30053

小田急8000形 更新車 〔グリーンマックス〕 車体更新車 〔CROSS POINT〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52029377(更新車完成品6輌セット)
52029378(更新車完成品4輌セット)
52030814(更新車キット4輌トータル)
52030817(更新車キット2輌増結)

★グリーンマックスの車輌シリーズに、小田急の鋼製通勤車8000形が加わった。
★モデルはVVVF制御化、シングルアームパンタ化、行き先表示のLED化、表示窓寸法の変更、UVカットガラス化などの更新がなされた現在の形態。青帯の色調も以前より明るく、前・側面に新ロゴマークが入る。
★製品形態は完成品と塗装済キットの二本立てで、セットの構成が異なる。完成品は車番は印刷済、前・尾灯点灯(消灯可)。塗装済キットは車番がインレタ式、ライトユニットは別売(6511/ライトユニットK:2個入1,890円)。
★前面手スリや渡り板はプラ製別パーツで、完成品では屋上機器とともに取付済み。
★CROSS POINT発売の「車体更新車」は完成品のみで、プロトタイプは最初期に更新され界磁チョッパ制御で残る8251F。GM版の更新車との差異は床下機器がチョッパ仕様で黒色となる点、3号車(8400)がデハである点(VVVF車ではサハ化)、前面ワイパーの銀色表現など。その他は基本的に同様で、ブランドマーク付の現行仕様。車番は印刷済とされる。

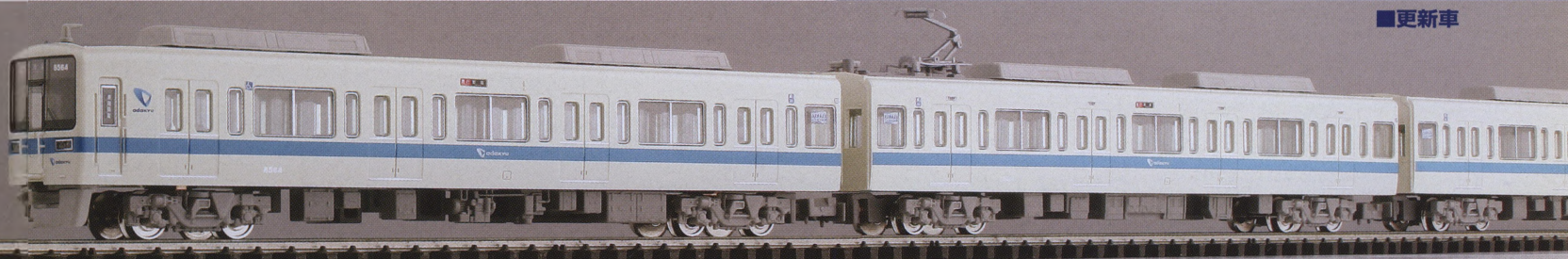
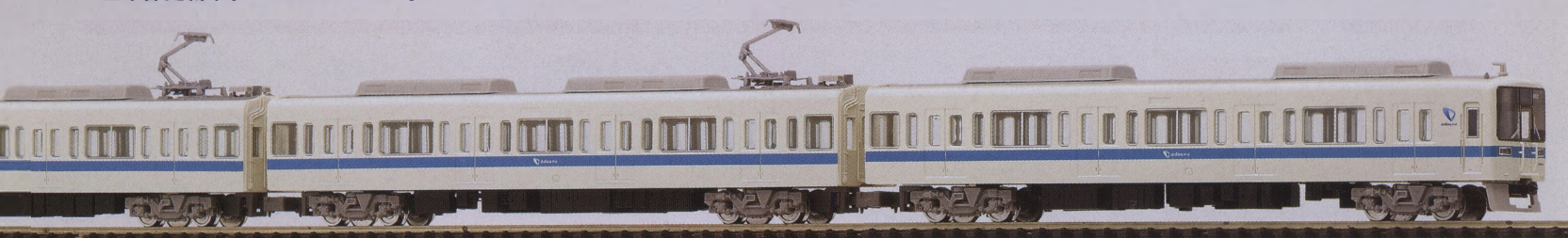
〔価格〕
●塗装済完成品(更新車)
6輌セット:24,150円
4輌セット:17,850円
●塗装済キット(更新車)
4輌トータルセット:14,700円
2輌増結セット　:5,775円
●塗装済完成品
(車体更新車・CROSS POINT)
6輌セット:24,150円

〔セット内容〕
■塗装済完成品・6輌セット:クハ8264+デハ8214+デハ8314(M)+サハ8464+デハ8514+クハ8564
■塗装済完成品・4輌セット:クハ8051+デハ8001+デハ8101(M)+クハ8151
■塗装済キット・更新車トータルセット(4連組成時):クハ8050+デハ8000+デハ8100(M)+クハ8150
■塗装済キット・更新車増結セット:デハ8200+サハ8450
■塗装済完成品・車体更新車(CROSS POINT):クハ8251+デハ8201+デハ8301(M)+デハ8401+デハ8501+クハ8551

■更新車

▲電連の有無で異なるスカート形状。

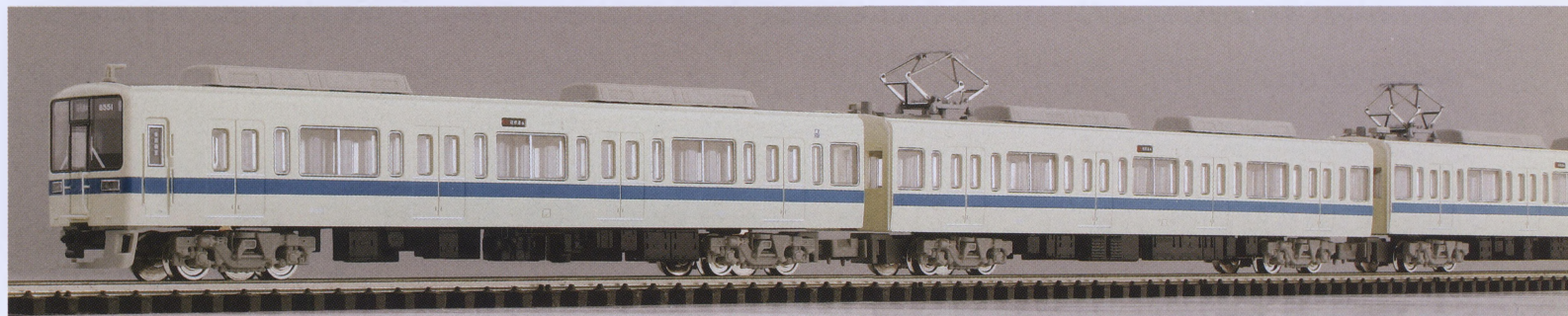
■車体更新車 (CROSS POINT)

■更新車

■車体更新車(CROSS POINT)

小田急8000形 未更新車 〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52041882(完成品6輌M付き)
52041977(完成品4輌M付き)
52041980(完成品4輌Mなし)

★先に更新車が発売されたGMの小田急8000形に、オリジナルに近い未更新仕様が追加。更新車同様に完成品と塗装済キットでの展開。
★製品ではCROSS POINT発売の「車体更新車」と同じ黒成型・界磁チョッパ仕様の床下機器を装備、パンタは菱型のPT42。ブランドマークもなく、帯色も以前の濃いロイヤルブルーとなっている。側面の行先窓も、登場時の寸法で作り分け。
★完成品と塗装済キットの仕様の違いは更新車と同様。完成品の車番は6連が8251F、4連が8058Fでそれぞれ印刷済とされている。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット(M付き):24,150円
4輌セット(M付き):17,850円
4輌セット(Mなし):15,540円
●塗装済キット
4輌トータルセット:14,700円
2輌増結セット:5,775円

〔セット内容〕
■塗装済完成品・6輌セット:クハ8251+デハ8201+デハ8301(M)+デハ8401+デハ8501+クハ8551
■塗装済完成品・4輌セット:クハ8058+デハ8008+デハ8108(M付の場合M)+クハ8158
■塗装済キット・4輌セット:クハ8050〈8250〉+デハ8000〈8400〉+デハ8100〈8300〉(M)+クハ8150〈8550〉
■塗装済キット・増結セット:デハ8200+デハ8400

東急5000系6次車（偶数編成）／横浜高速鉄道Y500系（奇数編成・登場時）

〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52060377（東急5000基本）
52060378（東急5000増結）

★マイクロエース初の東急車として、田園都市線の新鋭5000系が登場。みなとみらい線仕様のY500系も同時発売。
★傍系車とともに東急の新標準車となった5000系。製品は2009年の組み換えで6扉車3輌入りとなった田園都市線5114Fと、東横～みなとみらい線直通用の共通設計車Y500系Y511F（副都心線直通改造前の姿）。
★モデルは腰が低く破綻のないプロポーション。マイクロエースらしいハッキリしたモールドで、上すぼまりの車体断面も明らかにわかる程度に表現されている。
★5000系は偶数、Y500系は奇数編成で、クーラー（断面丸型の日立製／角型の三菱製）が異なる。他にも製造時期による客扉窓、行先・種別窓の形態差や、先頭車の車体長、クーラー脇の幅広ランボードの長さなど仔細に作り分け。5000系の6扉車は基本セットに1輌、増結セットに2輌含まれる。
★Y500系のラッピング部分には、実車通り「横浜スカーフ」の柄が印刷される。
★前・尾灯点灯、フライホイール付動力・波打車輪採用。車番・標記類は印刷済で、行先ステッカーが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
5000系6輌基本セット：22,890円
5000系4輌増結セット：12,600円
Y500系8輌セット　：27,300円

〔セット内容〕
■5000基本：クハ5114・デハ5614＋デハ5714（M）＋サハ5814＋デハ5914＋クハ5014
■5000増結：デハ5214＋デハ5314＋サハ5414＋サハ5514
■Y500：クハY511＋デハY541＋デハY551（M）＋サハY561＋サハY571＋デハY581＋デハY591＋クハY501

■東急5000系6次車

■横浜高速鉄道Y500系

東急6000系

〔グリーンマックス／CROSS POINT〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053876（6103F）

★東急大井町線に新時代を告げた急行用車輌、6000系がNゲージ完成品で初登場。
★実車は2008年3月、大井町線急行運転開始時にデビュー。5000系をベースとしながらも、スピード感を強調した独自の前面デザインと彩色で特異な存在感を放つ。
★モデルも既存の5000系をベースとしつつ、独特な前面（窓ガラス・ライト廻りは一体クリアパーツ）、赤屋根と「く」の字模様のカラーリングをシャープに再現。複層ガラスのフラットなドアも5000系と作り分けている。
★グリーンマックスから車番印刷済（6103F）で発売のほか、CROSS POINTからも車番選択式でリリース。CP版は偶数編成として、GM版とはクーラーの形状を違えている。
★前・尾灯点灯。両セットとも行先シール付。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット（6103F）：24,990円
6輌セット（偶数編成）：24,150円

〔セット内容〕
■クハ6103＋デハ6203＋サハ6303＋デハ6403＋デハ6503（M）＋クハ6603

※GM版。CP版も車輌構成は同じ。

左から6103F、偶数編成

■6103F（グリーンマックス）

■偶数編成（CROSS POINT）

東急8500系「TOQ-BOX」〔グリーンマックス／CROSS POINT〕

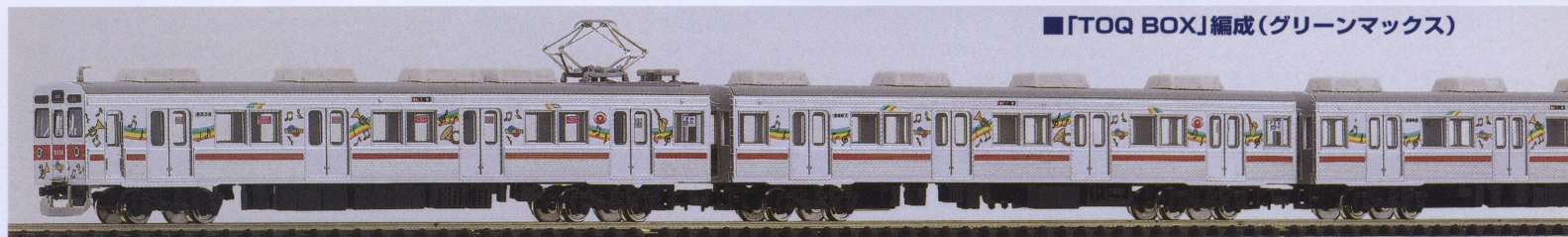
★青帯の「シャボン玉」編成に続く2種目の8500系「TOQ-BOX」仕様がリリース。
★「TOQ-BOX」は1980年代に登場した広告貸切列車。車外も装飾され、本編成(8634F)では側面に赤帯を巻き、虹や音符、楽器のステッカーが貼られた(現在は撤去)。
★GMブランドからは、側面にも装飾があった時代の姿を完成品と塗装済キットで製品化。全車にわたるステッカー装飾はシャープな印刷で再現。
★CROSS POINTからは2008年〜2010年頃の、前面と赤帯以外の装飾が撤去された仕様を発売。こちらは塗装済キットのみとなる。
★動力ユニットは同社完成品標準の2モーターだが、従来品に比べモーター同士の同調性、通電性が向上している。
★車番は完成品を含め共通品のステッカーを使用(東急マークは印刷済)。塗装済キットはライトユニット別売(品番6505)。

鉄道ホビダスはこちらから！
52062796(完成品6輌基本)
52062803(完成品4輌増結)
52039124(キット4輌トータル・GM)
52039125(キット6輌増結・GM)

〔価格〕
●塗装済完成品
基本6輌セット：25,200円
増結4輌セット：13,125円
●塗装済トータルキット
4輌セット(GM)　：16,800円
4輌セット(CP)　：12,600円
6輌増結セット(GM)：17,325円
6輌増結セット(CP)：12,600円

〔セット内容〕
■塗装済完成品・基本：デハ8534＋デハ8887・デハ8789(M)＋デハ8894・デハ8778＋デハ8634
■塗装済完成品・増結：サハ8963＋デハ8790＋デハ8886・サハ8967
■塗装済キット・トータルセット：デハ8534＋デハ8886＋デハ8789(M)＋デハ8634
■塗装済キット・増結セット：デハ8887＋サハ8968＋デハ8790＋デハ8894＋サハ8967＋デハ8778

■元「TOQ BOX」編成(CPROSS POINT)

■「TOQ BOX」編成(グリーンマックス)

東急9000系(大井町線)〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52045890

★先発の8500系に続く「大井町線シリーズ」として、9000系のニューカラーが登場。
★以前は9007Fだけだった大井町線の9000系だが、5050系増備に伴う東横線からの転属(2009年〜)で現在は8本体制。製品は前面グラデーション帯、線名ステッカー付の現行仕様で、9007Fでは2008年以降、転入車では転入当初からこの仕様となる。
★既存の5輌セットのカラーバリエーション的製品で、前面帯色変更と線名ステッカーの印刷が主な変更点。パンタは交換後のシングルアーム。クーラーは新旧2種を封入、編成による配置の違いに対応する。
★前・尾灯は別売ライトユニット(6504／ライトユニットD：2個入1,890円)・集電板組込で点灯化可能。赤帯仕様と共通の車番ステッカー、新規品の行先ステッカーが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
5輌トータルセット：17,850円

〔セット内容〕
■クハ9000＋デハ9200＋デハ9400(M)＋デハ9600＋クハ9100

相鉄10000系新塗装〔マイクロエース〕

★マイクロエースの相鉄10000系に新塗装が登場。
★同車はJR東日本のE231系をベースに開発された車輌で、ピーコックグリーン、とサフランイエローの帯を巻いて登場。
★2006年にラインカラーの改定を伴うC.I.導入により、他系列とともに順次、相鉄ブルーと相鉄オレンジの帯へ変更されている中で、モデルもこの新塗装とした姿。先頭車屋上には無線アンテナも増設されている。
★先頭車屋上では増設された無線アンテナも再現。客室窓は熱線吸収ガラスを表現する薄い青色ガラスが再現されるほか、中間の4号車、9号車にはそれぞれ「女性専用車」「弱冷房車」の標記も印刷される。
★このほか車輪はプラ輪心を付けた波打車輪を採用。動力車はフライホイール搭載、ヘッド・テールライトは点灯、ON／OFFスイッチ付き、
★付属品には前・側面の行先表示シールが入る。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌基本セット：24,675円
4輌増結セット：13,755円

〔セット内容〕
■基本セット：クハ10702＋モハ10203＋モハ10103・モハ10204(M)＋モハ10104＋クハ10502
■増結セット：サハ10604＋モハ10302＋サハ10605＋サハ10606

京急600形

〔グリーンマックス／CROSS POINT〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52071040（完成品一般色8輌・GM）
52049021（完成品ブルースカイ8輌・GM）

左から一般色、BLUE SKY TRAIN、登場時

■更新車

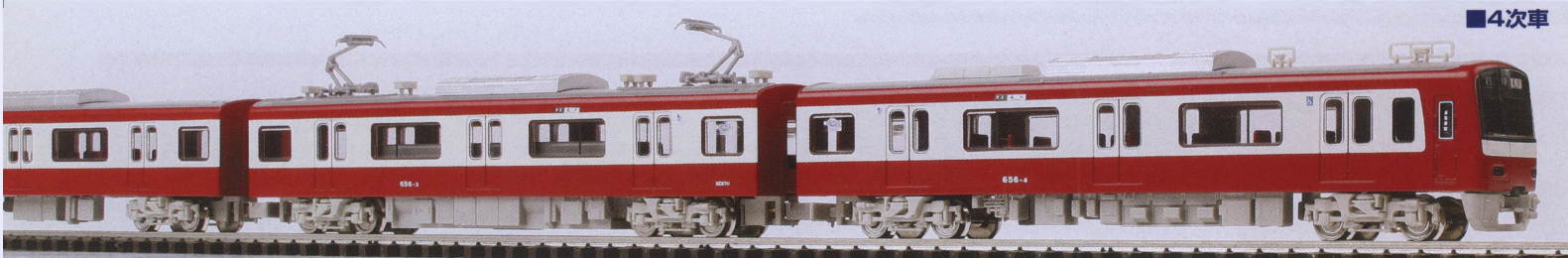
★グリーンマックスの京急600形が完全新規で再登場した。
★長らく1500形キットとの一部金型共用であったが、今回専用金型を起こし扉位置などの車体形状が正規のものとなった。
★動力車の仕様も2モーター動力の同社新水準のもの。台車は専用の軸梁式TH-600、クーラーは2種あるうちの東芝製RPU-11009を新規製作。
★実車の様々なタイプをフォローしており、一部はCROSS POINTブランドでの発売。
★製品は2・3次車をプロトタイプとした8連が一般色（603～605・607編成）と、青一色の車体が特徴のBLUE SKY TRAIN（606編成）、前面ワイパーカバーが濃いグレーで塗装された登場時仕様（603～607編成）と前面ワイパーカバーに形式名のスリッドが入った更新車。
★編成構成やパンタグラフ、床下機器の異なる4次車（8連：608編成、4連：651～656編成）も用意される。
★各タイプの製品構成や価格、仕様については下表を参照されたい。
★登場時仕様の塗装済キットは4輌基本セットのみで、8輌分のクロスシートパーツを封入。4輌増結は標準色と共用となる。
★608編成を含む4次車は3次車以前とは異なる側窓ピラー位置やシングルアームパンタが2基載るサハ車、編成中に混在する三菱と東洋の4次車用VVVF制御装置を作り分け。
★BLUE SKY TRAINと完成品は車番や「KEIKYU」標記、ロゴ類が印刷済。他セットはインレタが付属する。種別・行先等は全てシールによる選択式。
★完成品はヘッド・テールライト点灯、塗装済キットは別売りの「ライトユニットP」（2個入：1,890円）使用で点灯可能。

〔セット内容〕
●塗装済キット・4輌基本： M1c・M2（M）＋M1＋M2c
■塗装済キット・4輌増結： M2＋Tu＋Ts＋M1
■塗装済キット・4次車4輌： Muc＋T＋Tp2（M付の場合M）＋Msc
■塗装済キット・608編成増結： 608-4（Mu）＋608-5（Ms）＋608-6（T）＋608-7（Tp1）
■完成品・一般色8輌： 603-1＋603-2＋603-3＋603-4＋603-5＋603-6（M）＋603-7＋603-8
■完成品・BLUE SKY 8輌／登場時8輌（同番）： 606-1＋606-2＋606-3＋606-4＋606-5＋606-6（M）＋606-7＋606-8
■完成品・4次車4連動力付き： 656-1＋656-2＋656-3（M）＋656-4
■完成品・4次車4連動力なし： 653-1＋653-2＋653-3＋654-4
■完成品・608編成： 608-1＋608-2＋608-3（M）＋608-4＋608-5＋608-6＋608-7＋608-8

■一般色

■登場時(CROSS POINT)

標準8連	塗装済キット	一般色4輌トータルセット	14,700円
		〃　増結用中間車4輌セット	11,550円
		BLUE SKY 4輌トータルセット	15,750円
		〃　増結用中間車4輌セット	12,075円
		登場時4輌トータルセット（CROSS POINT）	14,700円
	完成品	一般色8輌セット	33,075円
		BLUE SKY 8輌セット	33,600円
		更新車8輌セット	33,075円
4次車	塗装済キット	登場時8輌セット（CROSS POINT）	33,075円
		4輌編成トータルセット	14,910円
		4輌編成基本セット	13,125円
		608編成増結用中間車4輌セット（CROSS POINT）	11,550円
	完成品	4輌編成セット（動力付き）	18,900円
		〃　（動力なし）	15,750円
		608編成8輌セット（CROSS POINT）	33,075円

■4次車

■KEIKYU BLUE SKY TRAIN

■更新車

■製品仕様分類表

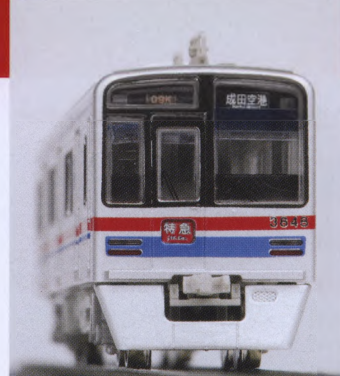
		塗装済キット			完成品	
		基本・トータル	インレタ収録	増結		増結
登場時	一般色	10326○	601、3、4、7	1104M	10323○	606
未更新	BLUE SKY TRAIN	1104T			4189	603
	608編成	1105T	606印刷済	1105M	4191	606
		1106S○	608※	10327	10324	608
	4次車4連		651～6		4193○	656
		1106S○			4194○	653
更新	一般色				4190	607

○＝座席パーツあり　※＝インレタは増結セットに付属　■グリーンマックス　■CROSS POINT

京成3700形（6次車）〔グリーンマックス／CROSS POINT〕

★現代の京成通勤車の代表選手のひとつ、3700形。GM製品に久々の新展開。★今回発売されたのは、前面ライト配置を変更、シングルアームパンタとなった後期タイプ。実車は2000年以降6次車（6連）2本、7〜9次車（8連）3本が製造された。
★製品名は「6次車」だが、GM発売品は4輌＋4輌で7次車以降向き。6連にはCROSS POINT発売の増結2輌セットを用いる。
★在来車と異なるライト廻りやパンタ車屋根、窓のない妻面は新規金型で再現。
★床下機器は先の京急600形と同じものに変更。動力ユニットも完成品標準の2モーター仕様となる。台車はグレー成型。
★LED仕様の行先ステッカー、インレタ式の「K' SEI」ロゴが新規に付属。車番は従来同様で側面がステッカー、前面がインレタ。
★基本的には既存の3700形キットに準ずる構成で、前・尾灯、室内灯には非対応。

〔価格〕
●塗装済キット
4輌セット(M付)：14,700円
4輌増結セット　：12,075円
2輌増結セット　：5,040円
(CROSS POINT)

〔セット内容〕
■4輌M付：3700［M2C］＋3700［M1］＋3700［T］＋3700［M2C］
■4輌増結：3700［M1'］＋3700［M2］＋3700［T］＋3700［M1］
■2輌増結：3700［T］＋3700［M1］

京成 AE100形〈シティライナー〉〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダス 52057820

★新AE車登場により〈スカイライナー〉の座を退いたAE100形の現在の姿がバリエーション追加。
★実車は1990年に登場し長らく空港特急専用車であったが、2011年の成田スカイアクセス開業により、京成本線の都市間連絡に重点を置いた特急〈シティライナー〉と名称を改め引き続き活躍している。
★モデルでは実車同様に「Skyliner」「AIRPORT　EXPRESS」のロゴ類の抹消および、プロトタイプの編成の変更により車番も変更されている。
★前面ライト部のカバーパーツ着脱によるリトラクタブルヘッドライトの再現、ヘッドライトON／OFFスイッチ装備、ランボードや配管類は別パーツ、フライホイール動力装備などは従来からのAE100形と同様。

〔価格〕
●塗装済完成品
8輌セット：22,575円

〔セット内容〕
■AE168＋AE167＋AE166＋AE165＋AE164（M）＋AE163＋AE162＋AE161

左からライトカバー閉、ライトカバー開。

都営5300形 初期型・ショートスカート〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダス 52050282

★2008年に発売されたマイクロエースの都営5300形に初のバリエーションとして「初期型・ショートスカート」の編成の現行の姿としたモデルが登場。
★既に発売の「初期型・ショートスカート」の車輌では登場時の姿としていたもので、変更点はイチョウマークが前面では非常扉部分に、側面では中央客扉脇（先頭車では運転台、客室間）に、車椅子スペースは中間4・5号車から両先頭車へ変更。プロトタイプは前回品が5301、5317編成としていたのに対し5309編成としている。
★模型としての改良点として黒染め波打ち車輪を採用することで足元のアクセントとしている。
★付属行先表示シールはLED標示を表すものが新規に含まれる。

〔価格〕
●塗装済完成品
8輌セット：27,930円

〔セット内容〕
■5309-1＋5309-2＋5309-3（M）＋5309-4＋5309-5＋5309-6＋5309-7＋5309-8

京急1000形 1309編成／1345+1351編成〔グリーンマックス〕

★グリーンマックスの京急1000形塗装済キットに、2種の特定編成仕様が登場。
★「1309編成」は、2008年の京急創立110周年を記念し、昭和20年代の塗装となった「ありがとうギャラリー号」。製品は通常版の塗装変更で、6輌フル編成のセット。

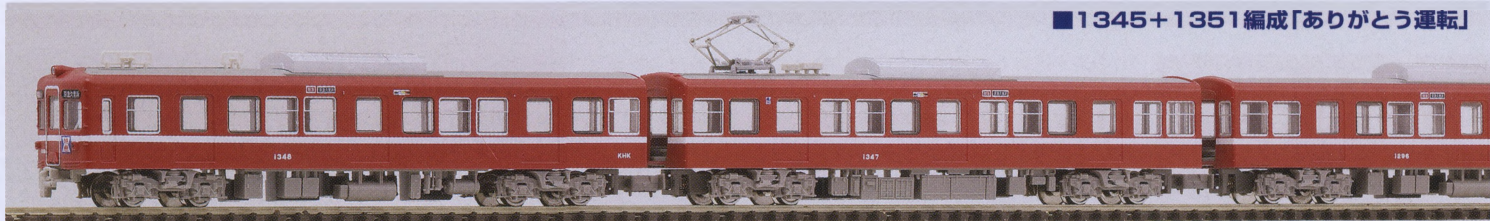
鉄道ホビダスはこちらから！
52037315（1309編成）
52037319（1345+1351編成トータル）
52037320（1345+1351編成増結）

★「1345+1351編成」は、引退を前に2010年6月27日に行なわれた「ありがとう運転」での編成。2+6の8連を、2+4の6輌セットと中間車2輌セットに分けての発売。
★両者とも車番印刷済で、各種ヘッドマークを収めたステッカーが付属。「ありがとう運転」編成には特製サボのインレタも入る。
★その他基本仕様は通常品に準じ、ライトユニットは別売（2個入1,890円）。

〔価格〕
●塗装済キット
1309F6輌トータルセット：16,800円
1345+1351Fトータルセット：19,950円
1345+1351F2輌増結セット：6,300円

〔セット内容〕
■1309F：デハ1309+デハ1310+デハ1279（M）+デハ1280+デハ1311+デハ1312
■1345F+1351F（トータル）：デハ1351+デハ1356+デハ1345+デハ1346+デハ1295（M）+デハ1348
■1345F+1351F（増結）：デハ1296+デハ1347

■1309編成「ありがとうギャラリー号」

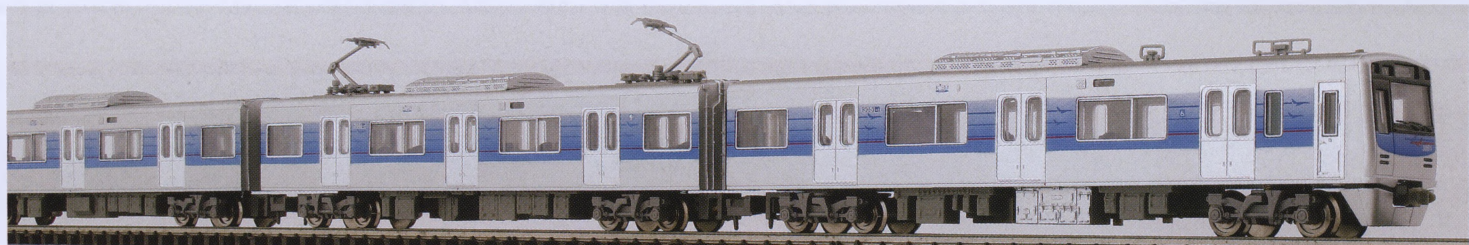
■1345+1351編成「ありがとう運転」

京成3050形〔マイクロエース〕

★京成をはじめ北総鉄道や新京成など京成グループ全体で次世代主力通勤電車として位置づけられ2002年に登場した新3000形。既にマイクロエースからは各社の形式が発売済だが、花形の成田スカイアクセス 一般特急用の3050形が登場。

★実車は2010年に北総鉄道を延長する形で開業した成田高速鉄道（京成成田空港線）を経由する空港行き一般特急用として新製されたグループで、有料特急の〈スカイライナー〉と共に空港輸送に活躍。都営地下鉄を経由し京急線内にも顔を見せる。
★車体はブルーのグラデーション基調に赤い帯と航空機のシルエットのパターンがデザインされ、これらはモデルでも破綻なく再現。先頭車では実車に合わせた床下機器とするため床板を新規金型にて再現。

★ヘッド・テールライト、行先表示の点灯のほか通過表示灯をも点灯、もちろんON／OFFスイッチが付き、動力にはフライホイールが入る。

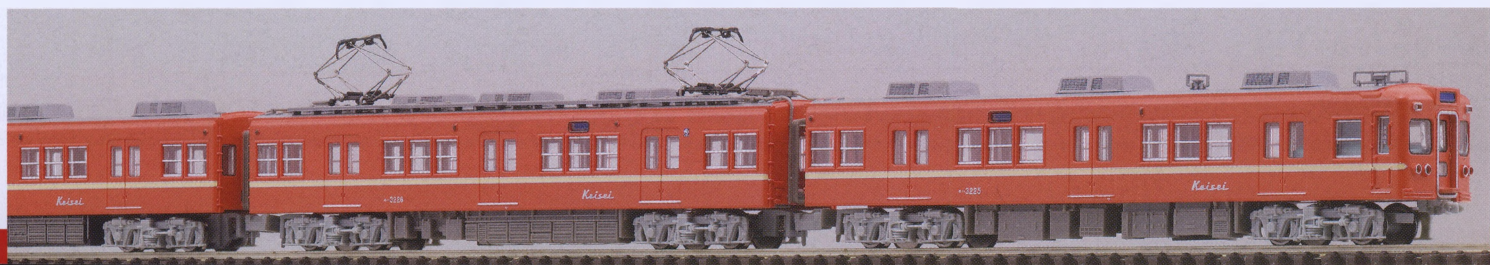
〔価格〕
●塗装済完成品
8輌セット：24,780円

〔セット内容〕
■3051-8+3051-7+3051-6+3051-5（M）+3051-4+3051-3+3051-2+3051-1

京成3200形 更新車・ファイアーオレンジ〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52057819

★京成初の両開き扉通勤車3200形。マイクロエース製品にカラーバリエーション。
★今回製品では、1980年代から1990年代前半頃まで見られたファイアーオレンジ+アイボリー帯の塗装を再現。形態的には既発売の新塗装と同じ更新車で、中間車化改造車モハ3228を含む6輌編成。
★同じ3200形でも片開き扉の3290番代では既にこの塗色を発売済。共演させて'80年代末の京成の雰囲気を楽しみたい。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット：20,790円

〔セット内容〕
■モハ3264+モハ3263+モハ3228+モハ3227（M）+モハ3226+モハ3225

東京メトロ 銀座線01系 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52056826

★KATOの「東京メトロシリーズ」第1弾、銀座線01系がいよいよ発売となった。

★実車は営団時代の1983年、雑多な旧型車が残っていた銀座線を近代化すべく登場。エッジの立ったアルミ車体に3色帯を巻く出で立ちで、同線のイメージを一新した。

★10年以上増備された01系のうち、モデルは1991年製の3次車。チョッパ制御で、新製冷房車のため屋根肩の通風口がない。

★KATOとしては今までにない題材ながら、外観はさすがに手堅い出来で、塗装・印刷もシャープ。第三軌条対応の台車も精緻なモールドで、見どころとなっている。大きな窓から目立つ運転室はシースルー。

★フライホイール・サスペンション機構搭載。KATOカプラー伸縮密連形標準装備。16m級と小型でもあり、「ユニトラム」や「ユニトラックコンパクト」も走行可。

★前・尾灯、方向幕点灯。行先シール付。地下鉄ではぜひ欲しい室内灯は「LED室内灯クリア」（167頁で紹介）に対応。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輛セット：16,800円

〔セット内容〕
■01-129＋01-229＋01-329（M）＋01-429＋01-529＋01-629

東京メトロ 05系（13次車） 〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52058576（基本）
52058578（増結A）
52058580（増結B）

★充実の度を高めるグリーンマックス私鉄電車シリーズに、東京メトロ東西線の顔・05系が仲間入り。

★プロトタイプは東京メトロ発足後の2004年に製造された05系の最終グループ・13次車（第40～43編成）。共通設計の東葉高速2000系とともに日立製作所の「A-train」鋼体を採用、標準化・コストダウンを実現した。外観上も張り上げ屋根状の肩部、角が落とされた連結面など従来車とは印象が異なる。

★製品は既発売の10000系（実車は同じくA-train規格）がベースのため一部寸法が異なる由だが、独特の「ツリ目」ライトの前面はもちろん、造作の異なる連結面や屋根などの形態もしっかり再現。

★前面ディテールは最近おなじみの一体透明パーツ＋着色で、ライト廻りは実車同様青みがかった銀。側面の3色帯やロゴの印刷も美しい。車番は第40編成で印刷済。

★前・尾灯点灯。前面行先表示は「西船橋」を印刷済。ステッカー、別付のIRアンテナパーツが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輛基本セット　：19,950円
3輛増結セットA・B：各11,550円

〔セット内容〕
■基本：05 040＋05 340（M）＋05 240＋05 140
■増結A：05 640＋05 540＋05 440
■増結B：05 940＋05 840＋05 740

営団6000系（後期型・冷房車） 〔マイクロエース〕

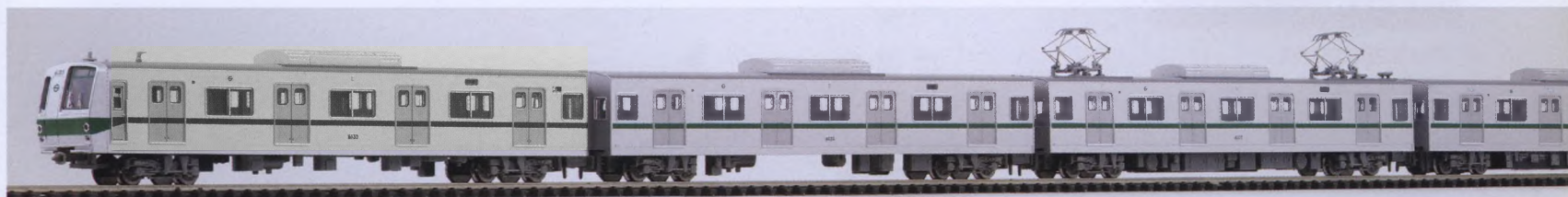
★一時期は東京の地下鉄の“顔”ともなった千代田線6000系。マイクロエースから待望の「営団仕様・冷房車」が登場。

★実車は1988年に増備された一段下降窓の編成。当初より冷房を搭載し、既発売の「後期型・冷房準備車」の時代には存在した代々木上原方先頭車のパンタグラフは本編成以後省略されるようになった。

★基本的な構成は冷房準備車に準ずるが、常磐無線アンテナは実車登場時には既になく、JRタイプのアンテナを装備。冷房装置は東京メトロ仕様（更新車）とは違い、先の7000系冷房車と同じ換装前の形態。

★足廻りには8000系から採用された波打車輪を装備、引き締まった印象となった。

〔価格〕
●塗装済完成品
基本6輛セット：23,520円
増結4輛セット：13,230円

〔セット内容〕
■基本：6133＋6233＋6333＋6433（M）＋6933＋6033
■増結：6533＋6633＋6733＋6833

伊豆急200系 分散冷房車 青編成タイプ〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダスID 52014886

★115系の譲渡車である伊豆急200系が登場。
★プロトタイプは松本電車区の115系が前身のグループ。別項のJR車同様、非ユニットサッシ・前面強化・AU712クーラー搭載。モハは全車低屋根車で、パンタはJR時代に換装したシングルアーム。
★モデルでは、JR仕様には含まれないクモハがポイント。クハと微妙に異なる車端部の窓位置も再現される。車輌ごとのHゴムの差異なども、他製品同様細かく再現。
★既発売のユニットサッシ車ベースの200系との競演も楽しみたい。

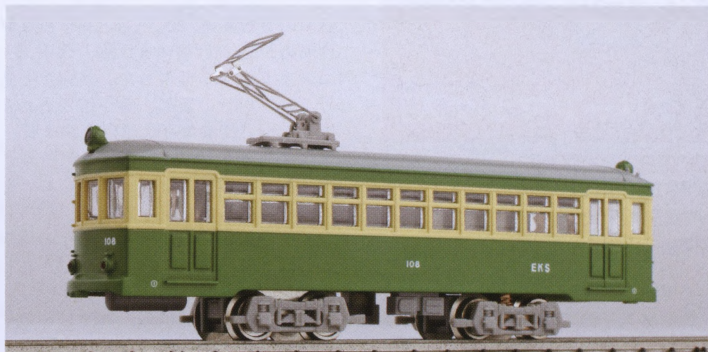
〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット: 20,790円

〔セット内容〕
■クモハ281＋モハ271＋クハ261＋クモハ282＋モハ272（M）＋クハ262

江ノ島電鉄100形（108号車）〔MODEMO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダスID 52024325

★MODEMOのNゲージ路面電車シリーズ初期の製品のひとつ、「タンコロ」こと江ノ電100形がリニューアルされて再登場。
★今回の改良の目玉は低床化。動力部を新規設計し、φ5の小径車輪（従来品はφ5.7）を採用、車高を1.4mm抑えてプロポーションを改善。ギアボックスも全長が5mm短縮され、サイドビューの違和感が抑えられている。
★併せてヘッド・テールライトも点灯式に。ヘッドライトは白色LEDで明るく点灯。
★晩年のZパンタ仕様で、車番は108が印刷済。行先板ステッカーが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品: 7,770円

江ノ島電鉄10形〔MODEMO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダスID 51976270

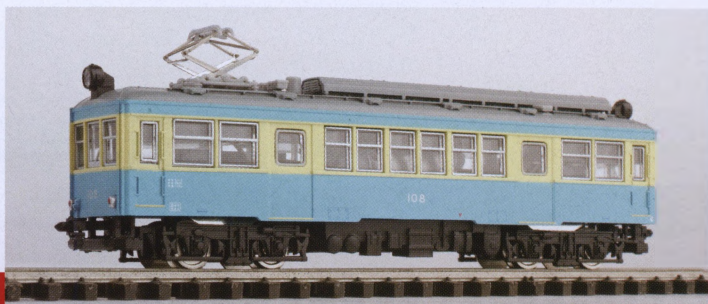
★MODEMO江ノ電シリーズで現行形式最後の穴となっていた10形が、ついに製品化。
★実車は1997年登場。欧州の古典電車やオリエント急行のイメージを取り込んだレトロ調車体が話題を呼び、構造面でも広幅車体や両開き扉が後続車に影響を与えた。
★製品は1形式1本の本車をほぼ完全新規で製作。20形と異なる前面の絞り角や、弧を描く側窓、屋上のダブルルーフ風カバーなど特徴的なディテールが再現されている。前灯・尾灯は20形と同じく点灯。
★また注目なのは、連接部の幌パーツに細かなモールドが入った点。印象は格段に向上しており、他製品への波及も期待したい。
★複雑な飾り帯やロゴも印刷を駆使した精緻な仕上がり。特徴的な隷書体の方向幕ステッカー、別付屋上パーツが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品: 11,340円

箱根登山鉄道モハ2形 108号（青塗装）〔MODEMO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダスID 52027174

★2004～08年まで、昭和20年代の塗装に復元されていた箱根登山108。その姿がMODEMOから2度目のリリース。
★今回品は1輌のみの実車に合わせ、以前の2輌セットから単品に変更。加えて先の「金太郎塗装」で新調された大型ライトカバーも採用され、雰囲気を高めている。
★ナンバーは印刷済となり、細部印刷・色入れも強化。復元塗装車用の円型サボステッカー（専用品）も付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品: 7,770円

しなの鉄道 115系 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから!
ホビダスナビ 52044821

★長野県下の地域を走るしなの鉄道カラーの115系が新仕様となって発売された。
★今回品では、実車の変化に従い車体地色をガンメタリックからダークグレーに変更、現行仕様に合わせたのが目立つ点。
★塗装以外はJR仕様の3輌セットに準じ、新集電システム、フライホイール搭載といった機構面の改良も同様。編成端はTNカプラー(SP)装備となる。
★前面幕はステッカー、車番はインレタによる選択式(いずれも専用品が付属)。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌セット: 13,650円

〔セット内容〕
■クモハ115-1000+モハ114-1000(M)+クハ115-1000

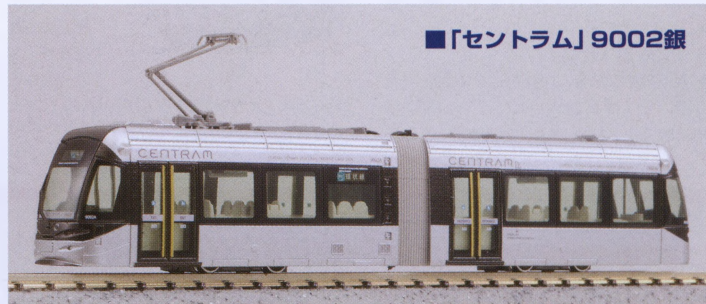
富山市内電車環状線 9002「セントラム」銀 9003「セントラム」黒 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから!
ホビダスナビ 52017181(9002・銀)
ホビダスナビ 52017182(9003・黒)

★富山の新しい足として活躍する「セントラム」こと環状線9000形。KATO製品から9001(白塗装)に続き、銀塗装の9002と黒塗装の9003が順次発売となった。
★実車もまったく同型のため、純粋な色替え品。9002のシルバーメタリックに細かなロゴを配した姿は、なかなかシックで 魅力的だ。
★現行ラストナンバーの9003はツヤのある黒の一色塗りで、ブラックアウトされた窓廻りと相まってまさに「黒ずくめ」の出で立ち。白のロゴや乗降扉の黄色ラインが効いている。

〔価格〕
●塗装済完成品: 各9,975円

■「セントラム」9003黒

■「セントラム」9002銀

富山ライトレール TLR0603(黄)/TLR0607(紫)/TLR0605「とやまグリーントラム」 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから!
ホビダスナビ 52049271(黄)
ホビダスナビ 52049273(紫)
ホビダスナビ 52049281(グリーントラム)

★カラーバリエーションが充実してきたKATOの「ポートラム」こと富山ライトレールに、ニューカラーが登場。
★アクセントカラーが赤、青、緑の既発売品に加え、黄色の0603、同じく紫の0607が追加。細かな標記やサイン類もありメリハリのある仕上がりで、既に発売済のLRVとともにユニトラム上をいっそう賑やかにしたい。
★「とやまグリーントラム」は、廃材を利用して発電をする「糸魚川バイオマス発電所」の電力を購入し、列車運行の一部に割り当てている富山県下の3つの私鉄のエコキャンペーンとして、富山北部高校・情報デザイン科の学生の手によって、同鉄道のマスコットキャラクター「とれねこ」を配したデザインを纏ったもの。2009年11月から約1ヶ月間を走った。
★車体色はホワイトにグリーンの縦帯のベース色で、「とれねこ」のイラストも破綻なく再現されている。なお、従来製品では行先表示が「富山駅北」だったものに対して終点の「岩瀬浜」を印刷。

〔価格〕
●塗装済完成品: 各9,975円

■富山ライトレールTLR0607

■「とやまグリーントラム」

■富山ライトレールTLR0603

万葉線 MLRV1000形「アイトラム」〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダスNo.52056828

★一連の富山県下のライトレール導入の先鞭ともなった万葉線の低床LRV、MLRV1000形「アイトラム」がKATOより登場。
★実車は2004年、それまでの加越能鉄道高岡軌道線が第3セクター「万葉線」に転換されるにあたり登場。同線再生の切り札となる存在で、運転間隔の最適化との相乗効果で利用者増加をもたらした。
★製品は第1編成をプロトタイプとし、真紅の車体に、窓廻りの黒色がメリハリを与える。富山ライトレールTLR0600形と同系のスタイルだが、ライト廻りの形状の違いは実車通り作り分けている。
★車体各部のロゴやレタリングは繊細に印刷され、行先表示は「高岡駅前」。
★既存のライトレール製品同様、室内を含めたフルライティング。「セントラム」で刷新された動力機構により車体の水平も正確に保たれ、小径カーブも余裕で通過する。

〔価格〕
●塗装済完成品：9,975円

豊橋鉄道 市内線 モ783「ADVAN号」〔MODEMO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダスNo.52057108

★MODEMOより豊橋鉄道市内線の横浜ゴム社の広告電車「ADVAN号」が塗装済完成品で登場。
★実車は2005年の名鉄600V線区廃止に伴い全7輌が譲渡されたモ780形。置換対象でモ3100形より全面広告車の座を受け継いでいる。
★製品は以前発売された名鉄モ780形のバリエーション製品と言える。実車同様連結器が撤去され、スカートもそれに伴い大きな開口部のないものへと改められている。
★ヘッド・テールライトは標準装備。車番マーキングは印刷済。ユーザー貼付の前面・側面の各種方向幕シールも付属している。

〔価格〕
●塗装済完成品：7,770円

名鉄モ780形〔MODEMO〕

★末期の名鉄600V線区のエースとして活躍したモ780形が、初のプラ量産品化。
★実車は1997年に登場。車体は770形連接車に準じ、岐阜市内線・揖斐線直通のため低／高床ホーム両用のステップ構造を持つ。アイボリー基調の新塗装をまとい、単行～3連運用で両線の近代化に貢献、2005年の廃線後は豊橋鉄道で活躍している。
★製品は個性的なスタイルを忠実に再現。黒いバンパーのライト廻りや賑やかな屋上機器、特徴的な連結器胴受など余すところなく再現している。ライトは前・尾灯とも点灯（尾灯は中央2灯）する。
★行先表示ステッカー、車番インレタ付属。

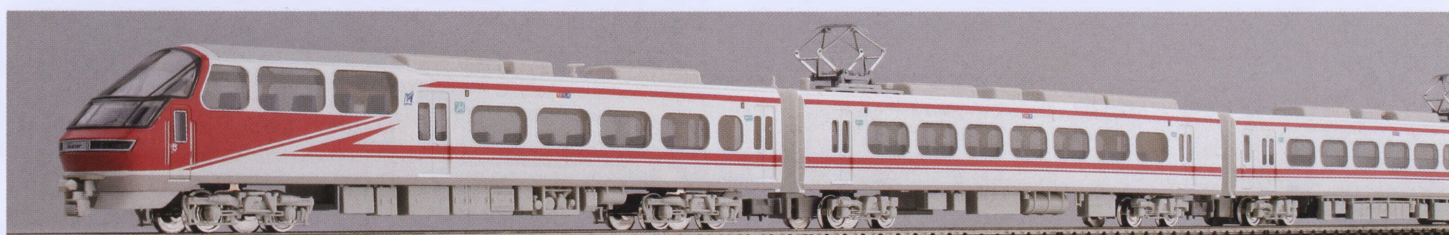
〔価格〕
●塗装済完成品
M付　：7,770円
Mなし：4,095円

名鉄1000系「パノラマsuper」（全車特別車）〔グリーンマックス〕

★グリーンマックスの名鉄1000系「パノラマsuper」が改良再生産。
★今回リニューアルされたのは、2006年に発売された全車特別車の4輌セット。実車ではすでに見られない編成だ。
★改良点としては、ボディの地色が以前の薄クリームから純白に近くなったのが最も目立つ点。また車番・標記はインレタから印刷済に変更され、M付セットが1001F、Mなしセットが1010Fとされる。行先ステッカーも新規品が付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット（M付）　：19,950円
4輌セット（Mなし）：15,750円

〔セット内容〕
■M付：ク1001＋モ1051＋モ1151＋ク1101
■Mなし：ク1010＋モ1060＋モ1160＋ク1110

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダスNo.52036358（Mなし）

名鉄1030・1230系一部特別車6輛編成〔グリーンマックス〕

★GMより現行の名鉄パノラマsuperの一部特別車編成のうち、機器流用車の1030／1230系が塗装済完成品で登場。
★実車は名古屋本線の特急車輌統一のため7500系パノラマカーの機器を再利用し車体を新造された車輛。機器流用車のためオールM車編成で、特別車と一般車が同一の台車を装着している。
★製品は1000・1200系パノラマsuperのバリエーションとして製作。実車同様に屋上配管を1000／1200系とは作り分け、床下機器もオールM車仕様として再現。
★側面の車番は1132編成としており、Mロゴマークは印刷済、ワイパーは扱いやすい印刷表現。別体パーツは取付済のためすぐに遊べる。前面行灯部分は前進時のみ白色で点灯する。増結用製品とは付属のドローバーで連結とし、他社製伸縮式カプラーには非対応。
★ヘッド・テールライトは標準装備。ユーザー貼付の前面・側面の各種方向・種別幕、号車表示などのシールも付属している。室内灯を組み込む際には別売の集電板と他社製室内灯を使用する。

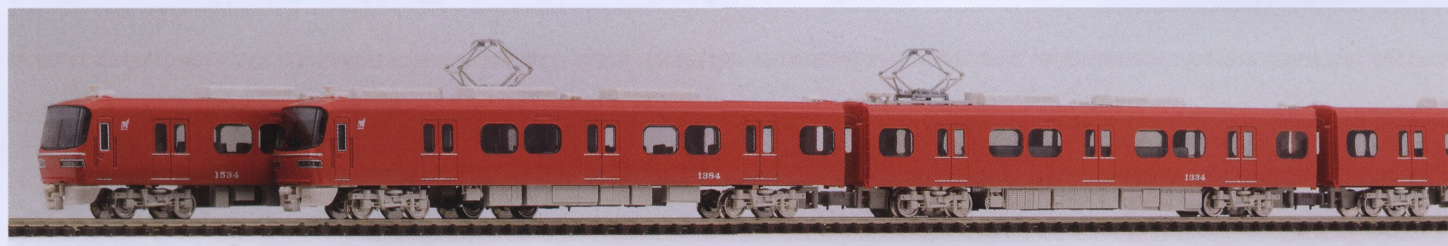
〔価格〕
●塗装済完成品
6輛セット：28,350円

〔セット内容〕
■ モ1132＋ モ1182＋ モ1382＋ モ1332（M）＋モ1582＋モ1532

名鉄1380系〔グリーンマックス〕

★充実の度を増すGMの名鉄シリーズに、個性派通勤車1380系が登場。
★実車は「パノラマsuper」1030・1230系の一般車を通勤車化したもので、特急時代のフォルムと不釣り合いな赤一色塗装が特徴的。中でもモ1384は改造先頭車のため、他車より車体が長く乗務員扉・客扉間が広く開いた特異な形態となっている。
★製品はこの異端車モ1384を専用金型で再現。既存の1200・1800系とは異なるパンタ車の屋上・妻板配管も新規製作している。
★前・尾灯点灯（消灯可）。動力は2モーターの完成品標準型。TOMIX製室内照明対応。
★車番・標記、別パーツの屋上機器は印刷・取付済。名鉄通勤車共通ステッカー、先頭部用ドローバーおよび対応スカートが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輛セット：19,950円

〔セット内容〕
■モ1384＋モ1334（M）＋モ1584＋モ1534

名鉄1850系〔グリーンマックス〕

★グリーンマックスの名鉄車輌製品に新たなバリエーションとして1850系が加わった。
★1850系は〈パノラマsuper〉1000系・1200系の増結用2連として登場。6連の1030系・1230系と同様、廃車となった7500系パノラマカーの機器流用車である。類似しつつも完全新造車の1800系との違いは、オールM車であり、パンタグラフを岐阜寄の車輛に装備するなどが挙げられる。前面の愛称表示やミュージックホーンが省略されているのは1800系同様。特急の増結以外に、単独で普通運用にも使用されている。
★製品は既発売の1800系に準じ、ヘッド・テールライト点灯、2モーター動力など同様に装備されるが、パンタ廻りの配管は作り分け、車番はM付きセットが1851編成、Mなしセットが1853編成のものを印刷。
★先頭部連結用のドローバーと、通勤車汎用の大型シールが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
2輛セット（M付）：13,650円
2輛セット（Mなし）：10,290円

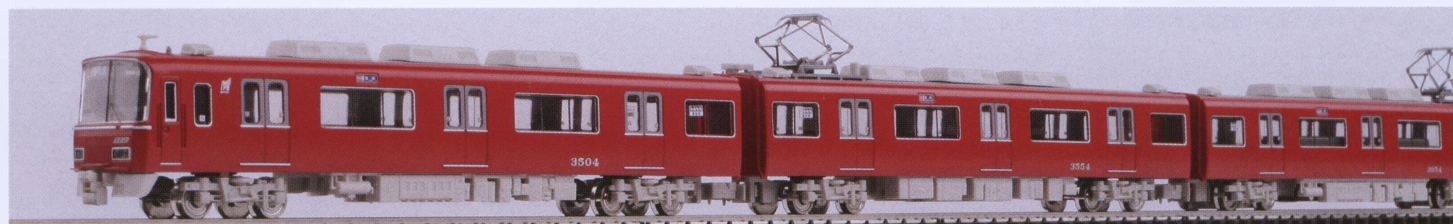
〔セット内容〕
■モ1850＋モ1950（M付の場合M）

名鉄3500系（グレードア車）

〔グリーンマックス〕

★GMの名鉄3500系に、登場時の「グレードア」仕様が追加ラインナップ。
★実車のドアの塗り分けは6500系（1984年）から、当時まだ少数派だった3扉車のアピールのため採用（当初は白／赤）。3500系もグレー／赤に塗り分けていたが、現在では2扉車の減少からグレーは省略されている。
★モデルは既存製品の色替えだが、近年の傾向に合わせアンテナ等のパーツは取付済、車番も印刷済（最後までグレードアだった2編成のもの）。行先ステッカー、スイングドローバー（増結セットのみ）付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット(M付)　：18,900円
4輌セット(Mなし)：15,540円

〔セット内容〕
■M付：ク3504＋モ3554（M）＋モ3654＋ク3604
■Mなし：ク3525＋モ3575＋モ3675＋ク3625

名鉄5000系（SS164台車編成）

〔グリーンマックス〕

★2010年に登場したグリーンマックスの名鉄5000系にバリエーションとしてSS164台車を履いた編成が加わった。
★5000系は「パノラマsuper」用1000系の主要機器を流用し、3300系に倣った車体を採用した3扉ステンレス車。今回はボルスタレス台車を履く中でも5010・5013編成をプロトタイプとし、先頭車、中間車ともに同型台車を履く。
★車番は印刷済でM付きセットのものが5010編成の車番を、Mなしセットものが5013編成の車番を印刷する。
★そのほかのディテールは発売済のボルスタ付き台車を履く編成と同様。ヘッド・テールライト点灯（ON／OFFスイッチ）、各種表示ステッカーも共通のものが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット(M付)　：18,900円
4輌セット(Mなし)：15,540円

〔セット内容〕
■ク5000＋モ5050（M付はM）＋モ5150＋ク5100

名鉄 6500系(1〜3次車) 6000系(9・10次車)

〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダス 52058583（6500系4輌M付）
ホビダス 52058584（6500系4輌Mなし）
ホビダス 52058586（6000系2輌M付）
ホビダス 52058587（6000系2輌Mなし）

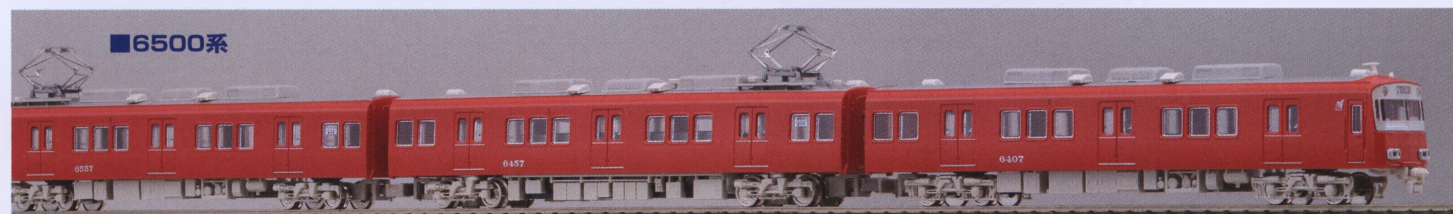
★グリーンマックスの名鉄キットシリーズに、6000・6500系のうち、非貫通型で窓天地が小さく、灰色の窓廻りに飾り帯を入れた前面から「鉄仮面」の異名を持つグループが仲間入り。
★製品のプロトタイプは、側面方向幕と乗務員扉直後の窓がない6000系9・10次車、6500系1〜3次車。
★CROSS POINTブランドの未塗装キットで発売済の形態だが、本製品は塗装済キットで靴ズリの銀、側面のMマークも印刷済。ドアが赤一色となった近年の姿としている。
★標識灯（1灯／2灯）、クーラー（丸型／角型）は選択式。動力は完成品用の2モーター仕様が付属する。車番インレタ、行先ステッカー、先頭車連結用ドローバー付。別売ライトユニットは用意されない。

〔価格〕
●塗装済キット
6500系4輌(M付)：15,540円
6500系4輌(Mなし)：12,600円
6000系2輌(M付)：10,605円
6000系2輌(Mなし)：7,455円

左から標識灯2灯タイプ、1灯タイプ

〔セット内容〕
■6500系：ク6500＋モ6550＋モ6450（M付の場合M）＋ク6400
■6000系：モ6200（M付の場合M）＋ク6000

■6000系

■6500系

近鉄10000系 〔マイクロエース〕

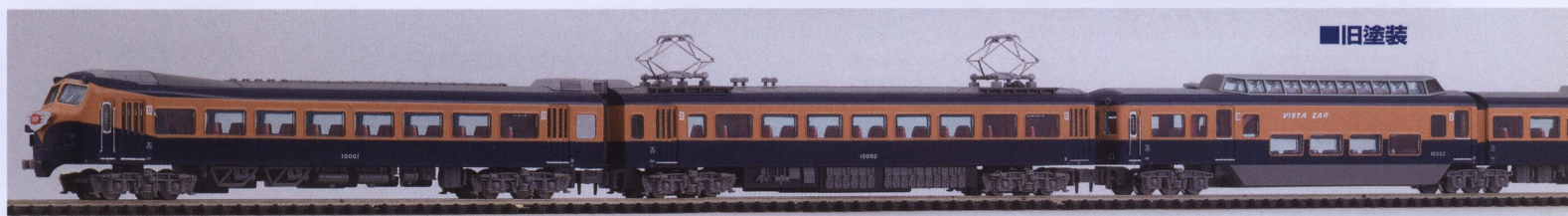
鉄道ホビダスはこちらから！
52038482（旧塗装）
52038483（新塗装）

★2007年発売の初代「ビスタカー」近鉄10000系が、一部仕様変更のうえ再登場。
★車体上下紺に窓廻りオレンジの旧塗装は前回の「登場時」に近いが、側面から「Express」マークが消えた1961年以降の姿。両先頭車の連結器も新塗装と同じく露出している。
★新塗装ではモ10007が事故復旧による貫通前面化後の姿としているのはそのままに、ク10003が中間車化されサ10003となった1970年以降の姿に変更。これは便所タンク取付に伴い、床下に余裕のないサ10004に代わって便所を設けたもの。製品ではサ10003の車体を新規製作、モ10001・10007も便所窓形態の変更・点検蓋の印刷表現がなされた。
★行先ステッカーのほか、ク10003・10005用に「特急」マークとダミーカプラーが付属（流線型先頭車の同マークは取付済）。ただし前回同様、クのライトは非点灯。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌セット：各23,100円

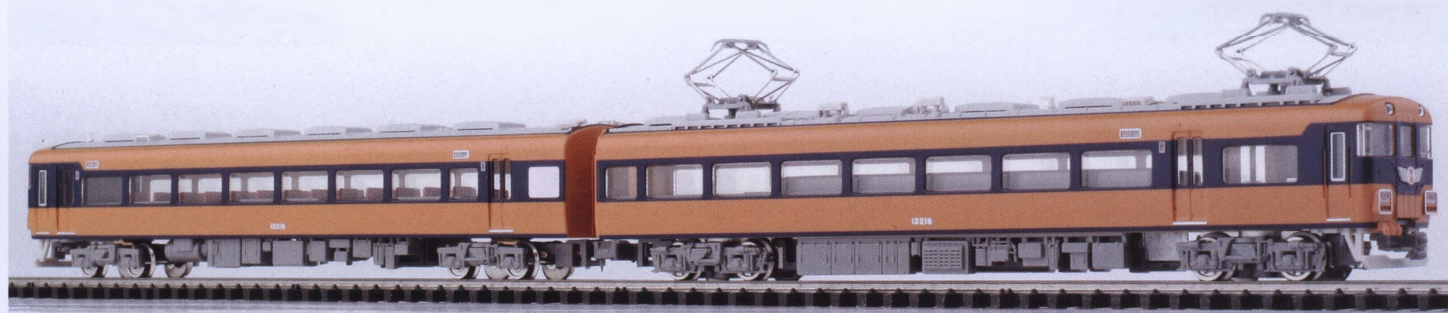
〔セット内容〕
■旧塗装：モ10001＋モ10002（M）＋ク10003＋サ10004＋ク10005＋モ10006＋モ10007
■新塗装：モ10001＋モ10002（M）＋サ10003＋サ10004＋ク10005＋モ10006＋モ10007

■旧塗装

■新塗装

近鉄12200系（未更新タイプ）スナックコーナー撤去後 〔グリーンマックス〕

★近鉄一般特急の主力形式だった12200系スナックカーに新バージョンが用意された。
★今回のプロトタイプは1974年、利用頻度の低下からスナックコーナーが廃止となり、このコーナー撤去改造が施された3編成のうち12218・12220編成。
★改造内容は一段高かった窓を客窓にそろえ、8名分の座席へと変更したことが外観上の大きな違い。その後はドアを移設する改造へ転換された。
★製品は車番、車椅子マーク、前面ガラスのワイパーおよびデフロスターが印刷済。室内座席は、動力車を除き濃赤色のクロスシートを再現。
★先頭車同士の連結のため、スイングドローバーが付属する。

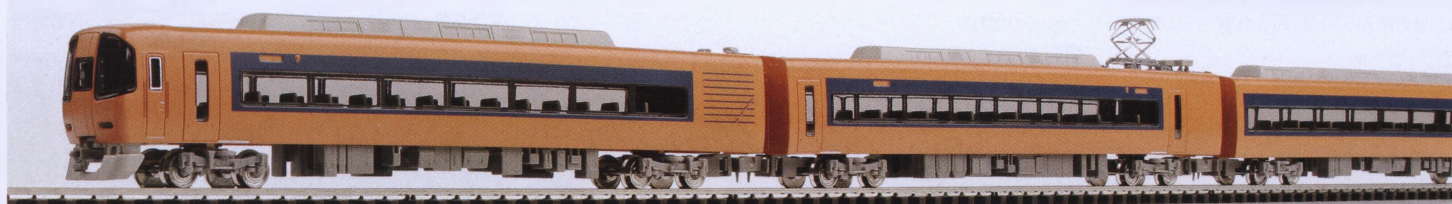
〔価格〕
●塗装済完成品
2輌セット（M付）　：13,650円
2輌セット（Mなし）：10,290円

〔セット内容〕
■M付：12218（M）＋12318
■Mなし：12220＋12320

近鉄22000系「ACE」〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52064164

★22600系「Ace」の発売に続き、一世代前の汎用特急車22000系「ACE」が再生産。それに合わせ、セットが一種追加された。
★追加となったのは4輌セットのモーターなし版。今までは2輌セットがM付・なしの2本立て、4輌セットはM付のみだったが、これによって近鉄特急らしい異形式の併結運転をより自由に楽しめるようになった。
★その他の仕様は既存のM付セットと同様で、先頭車の連結には付属のドローバーを使用。車番はインレタ選択式。

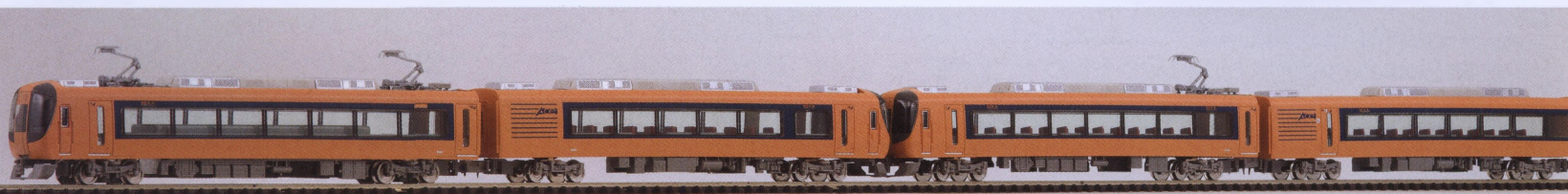
〔価格〕
●塗装済完成品
4輌増結セット：14,700円

〔セット内容〕
■モ22100＋モ22200＋モ22300＋モ22400

近鉄22600系「Ace」〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52043532（4輌Mなし）
52043533（2輌M付）

★近鉄標準軌線区の新型汎用特急車、22600系「Ace」が満を持して製品化。
★実車は「スナックカー」12200系の置換用として2009年に登場。22000系「ACE」の流れを汲み、より大きな窓と大きな曲面フォルムを持つ。車内の分煙化のため、ク22900に喫煙室を有するのも特徴。
★特徴的な前面は貫通扉と左右窓・窓下部を一体のクリアーパーツとして滑らかに再現、側面窓ピラー・靴ズリは印刷表現となる。クーラーはFRP部・ステンレス部が別部品で色分けされる。
★4連と2連をそれぞれ動力付・なしの2種ずつ用意し、柔軟な併結・組成に対応。Mなしセット付属のドローバー使用の場合、最小通過半径はR280とされている。
★前灯は白色、床下の標識灯は前進時白色・後退時赤色で点灯（2輌セットのM車以外は消灯可）。車番は印刷済で、行先、客扉の座席表示を収録したステッカーが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット（M付）　：17,850円
4輌セット（Mなし）：15,225円
2輌セット（M付）　：11,550円
2輌セット（Mなし）：8,400円

〔セット内容〕
■4輌セット：モ22600＋サ22700＋モ22800（M付セットの場合M）＋ク22900
■2輌セット：モ22650（M付セットの場合M）＋ク22950

近鉄5820系L/Cカー(大阪線・下枠交差型パンタ)〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52059702

★近鉄「シリーズ21」系列の「L/Cカー」（ロング・クロスシート両用車）、5820系に手ごろなバリエーションが追加。
★製品は大阪線用（便所付）2編成のうち5852Fがプロトタイプ。既発売の5851Fがシングルアームパンタなのに対し、こちらは下枠交差型パンタなのが相違点。
★モデルは5851Fの製品をベースにパンタの変更（PT48）、車番の違いで5852Fとしたもので、その他の仕様は不変。実車は日立製VVVFインバータ装置を搭載するが、製品は5851Fの三菱タイプが流用される。
★前・尾灯点灯、行先ステッカー付。屋上アンテナ・ヒューズ箱は取付済に改められた。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット：26,250円

〔セット内容〕
■ ク5752＋モ5852＋モ5652（M）＋サ5552＋モ5452＋ク5352

近鉄2610系（分散キセ／連続キセ／金属バネ台車／L/Cカー）近鉄2680系（鮮魚列車タイプ）〔グリーンマックス／CROSS POINT〕

★以前から板状キットが存在するGMの近鉄2610系に、完全新規の塗装済キットと完成品が登場。
★実車は1972年登場。旧参急の2200系の代替用で、4扉車ながら長距離運用に備えたトイレ付、全席ボックスシートだったが、その後の更新でトイレ前を除きロングシート化。大阪線・名古屋線で活躍している。
★製品は裾のマルーン塗装を省略した近年の姿。基本的なタイプとして、屋上クーラーキセが初期6編成の分散型か、その後の連続型かにより2種のセットを設定（キセは屋根一体成型）。
★またCROSS POINTブランドでは、付随車に2200系の台車（KD49C）を流用した編成を「金属バネ台車」と題して製品化。近似のKD47形台車がセットされる。
★バリエーションとして、L／Cカーと2680系鮮魚列車タイプを完成品で追加。
★L／Cカーとは状況に応じロングシートとクロスシートが転換可能な車輌。混雑時にはロングに、長距離運用時にはクロスに転換できる構造の座席を備えており、他社に先んじて導入された機構。
★一方、鮮魚列車とは、三重の漁港に揚がった海産物を奈良や大阪へ運ぶ行商人のために運転される専用列車。使用される2680系は2610系と類似しているが、機器に初代ビスタカー10000系のものを流用した異端車。マルーンの車体色に、前面に"ヒゲ"状の白帯が入る。
★L／Cカーは内装パーツをクロスシート仕様とし、側窓下部にはL／Cカーのロゴが印刷される。一方鮮魚列車は2610系の部品を流用しているため一部相違点がありタイプとされている。
★行先・種別ステッカー付属。室内灯および他社製伸縮カプラーにも対応。
★完成品は車番印刷済、ヘッド・テールライトは標準装備。
★塗装済完成品は車番がインレタ付属、ヘッド・テールライトは別売ユニットで点灯可能（6510／ライトユニットJ：2個入1,890円）。
★各製品形態や価格については別表を参照されたい。

〔セット内容〕
●**塗装済キット**：ク2710＋モ2660（M）＋サ2760＋モ2610
●**塗装済完成品・分散キセ**：ク2713＋モ2663（M）＋サ2763＋モ2613
○**連続キセ**：ク2715＋モ2665（M）＋サ2765＋モ2615
○**L/Cカー**：ク2726＋モ2676（M）＋サ2776＋モ2626
○**鮮魚列車**：ク2782＋モ2683（M）＋モ2684

左から連続キセ、分散キセ

左からL/Cカー、鮮魚列車

〔価格〕

2610系	塗装済キット	分散キセ／連続キセ	4輌セット	各14,280円
		金属バネ台車（CROSS POINT）	4輌セット	14,280円
	完成品	分散キセ／連続キセ	4輌セット	各17,850円
		L/Cカー	4輌セット	18,900円
2680系	完成品	鮮魚列車タイプ	3輌セット	14,700円

■分散キセ

■連続キセ

■金属バネ台車

■L/Cカー

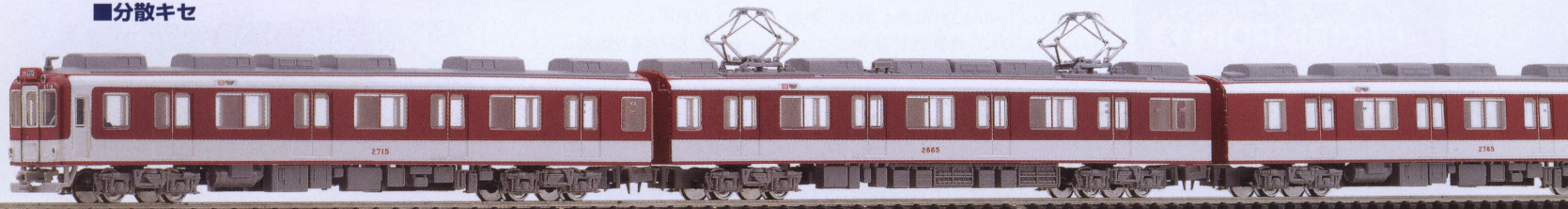
■鮮魚列車

近鉄2610系（更新車・新塗装）〔大阪プラスチックモデル〕

★前ページで紹介しているグリーンマックスの近鉄2610系に、(株)大阪プラスチックモデル40周年記念として、同社発売による限定バージョンが登場。
★今回製品は、GM発売品が窓廻りのみマルーンの現行塗装なのに対し、雨樋と車体裾にもマルーンが入る一世代前の塗装なのが一番のポイント。
★通常の行先ステッカーのほか、定期・臨時合わせて20種以上の前サボを収録したオリジナルステッカーが付属。また完成品だが、車番は付属のインレタでの選択式となる。
★その他は基本的にGM発売品と同様で、ラインナップもGM版に沿った3種を揃える。

〔価格〕
●塗装済完成品
分散・連続キセ 4輌セット：各20,475円
L／Cカー 4輌セット：21,525円

〔セット内容〕
■各仕様共通：ク2710＋モ2660（M）＋サ2760＋モ2610

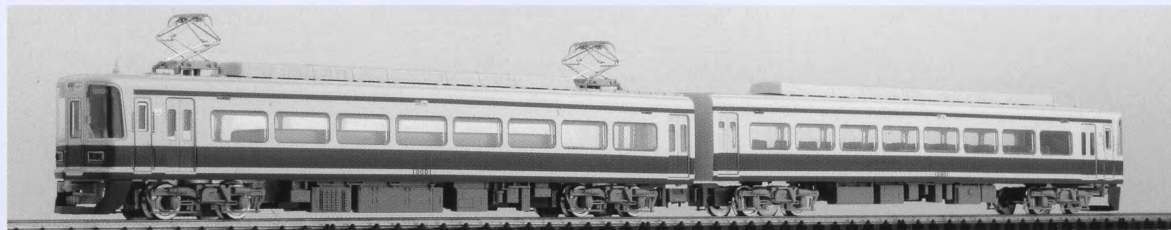
■分散キセ

南海10000系〈サザン〉（旧塗装）〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52037336（塗装済キットM付）

★グリーンマックスの南海10000系〈サザン〉に登場時の旧塗装版が登場。
★プロトタイプは新塗装導入前の'90年代初頭の仕様。濃淡グリーンの渋い塗装で、現在の4連ではなく、すべて2連で中間車は存在しなかった。

★製品は完成品、塗装済キット共、動力の有無で2種のセットが用意され、当時の2本併結の4連が可能。
★室内シートは登場時のワインレッド。車番は完成品は車番印刷・ライト組込済。塗装済キットはインレタによる車番選択式、ライトユニットが別売（6517／ライトユニットQ：2個入1,890円）。M付車のみライトが消灯非対応となる。Mなしセットには連結用ドローバーが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
2輌セット（M付）　：13,650円
2輌セット（Mなし）：10,290円
●塗装済トータルキット
2輌セット（M付き）：12,075円
2輌セット（Mなし）：8,820円

〔セット内容〕
■完成品・M付：モハ10001（M）＋クハ10901
■完成品・Mなし：モハ10003＋クハ10903
■塗装済キット：モハ10000（M付の場合M）＋クハ10900

京阪2400系 未更新車 1次車／2次車〔グリーンマックス〕

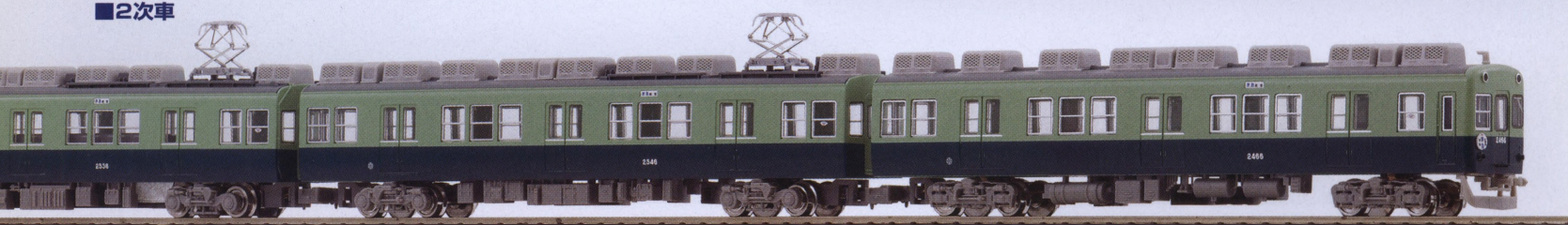
鉄道ホビダスはこちらから！
52045381（完成品1次車）
52045382（完成品2次車）

★既に1次車・2次車の更新後仕様が発売済のGM京阪2400系に、更新前の仕様が塗装済キットと完成品で追加。
★製品は既発売の1次車をベースに、1988年からの更新工事を受ける前の、方向幕なし・片側2段アルミサッシの前面を新規製作。渡り板も別パーツで立体的に表現、幌枠は撤去後の姿とされている。連結面窓にも印刷で2段サッシを表現。
★2次車は既発売の更新車同様、屋上クーラーキセの角が丸められている点、パンタグラフが下枠交差型のPT48となる点が異なる。
★車番は完成品は印刷済、塗装済キットはインレタによる選択式。ステッカーは更新車と同様のものが付属する。
★塗装済キットはライトユニット別売（6514／ライトユニットN：2個入1,890円）。

〔価格〕
●塗装済キット
4輌トータルセット：各14,700円
3輌増結セット：各9,765円
●塗装済完成品
7輌セット：各30,450円

〔セット内容〕
■塗装済キット・トータルセット：2460＋2540＋2530（M）＋2450
■塗装済キット・増結セット：2550＋2520＋2510
■塗装済完成品・1次車：2461＋2541＋2531（M）＋2551＋2521＋2511＋2451
■塗装済完成品・2次車：2466＋2546＋2536（M）＋2556＋2526＋2516＋2456

■1次車

■2次車

京阪2400系 1次型旧塗装（下枠交差パンタ／菱形パンタ）
〔グリーンマックス〕

★既に新旧塗装が発売されているGMの京阪2400系更新車に2種のバリエーション。
★今回発売の2アイテムはいずれも旧塗装。既存製品の一次型更新車・旧塗装仕様は菱形パンタ＋「KEIHAN」の新ロゴマーク入りとされていたが、今回は菱形パンタ＋新ロゴマークなし、下枠交差パンタ＋新ロゴマーク入りという仕様を用意。よりマニアックなニーズに応えるもの。
★パンタ・ロゴ印刷以外は既存品に準じ、車番はすべて印刷済。両セットともに行先ステッカーが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌セット：各31,290円

〔セット内容〕
■交差パンタ：2463＋2543＋2533（M）＋2553＋2523＋2513＋2453
■菱形パンタ：2462＋2542＋2532（M）＋2552＋2522＋2512＋2452

■下枠交差パンタ編成（奥）と菱形パンタ編成

京阪2600系（新造車・新塗装）
〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダス 52055167

★2009年に発売されたマイクロエースの京阪2600系に、新塗装仕様が登場。
★前回、旧塗装・旧社紋で発売された2630番代（2000系の車体流用でない完全新製のグループ）のカラーバリエーションで、濃緑＋白に黄緑のラインが入る新塗装。先頭車後部には新ロゴマークを印刷済。
★大阪方先頭車2833の台車は実車ではFS399Cだが、モデルでは近似のFS337で代用している由。
★塗装以外の仕様は前回品に準じ、セット形態も同様。行先ステッカーが付属する。
★既発売の5000系や8000系などと合わせて京阪の「今」を再現したい。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌セット：23,940円

〔セット内容〕
■2633＋2943＋2743＋2953＋2753（M）＋2733＋2833

京阪6000系 新塗装
〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダス 52044104（4輌トータル）
ホビダス 52044105（増結用中間車4輌）

★優等列車から各駅停車まで活躍する京阪の主力車輌の一つ、6000系塗装変更車がGM塗装済キットで登場。
★製品は既存の塗装済キットのカラーバリエーション。新塗装化によって旧ロゴマークが撤去された前面を新規製作。パンタ位置は9000系とは作り分け。6013編成の車番を印刷済としており、新ロゴマーク、ワイパーは印刷表現。行先・種別幕および優先席、弱冷房車、女性専用車の標記はステッカーに収録。
★ヘッド・テールライトの点灯機構はなく、室内灯および他社製伸縮カプラーにも対応しない。

〔価格〕
●塗装済キット
4輌トータルセット：13,650円
増結用中間車4輌セット：8,400円

〔セット内容〕
■4輌トータルセット：6013＋6513＋6763（M）＋6063
■増結用中間車4輌セット：6113＋6613＋6563＋6163

京阪5000系 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
ホビダスパーツ 52038489（新塗装）

★多扉通勤電車のパイオニア、京阪5000系が初のプラ量産品で新旧2色同時リリース。
★実車は1970年登場。ラッシュ時の乗降効率改善のため、昼間時締切のドアを2ヶ所持つ5扉車とされ、昼間時にはドア上に格納された座席を降ろし3扉車として使用される。複雑な構造と定員増による軽量化の必要から、京阪初のアルミ車となった。
★製品は1998年以降の更新による標識灯形状変更、抵抗制御から界磁添加励磁制御への変更後の形態で、メリハリの効いたディテールを持ち印象把握も良好。
★旧塗装は新ロゴマーク化前の仕様。1976年製の3次車で電動車は同社製2200系と同様エコノミカル台車（KS73）を履く。
★新塗装は1980年製の4次車で、各車に入る車椅子マークが良いアクセント。電動車の台車は同社製2600系と同じKW37。
★前・尾灯、標識灯、前面方向幕はLEDで点灯（消灯可）、動力はフライホイール付。
★室内灯は幅狭版に対応。2種で異なる行先ステッカーが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌セット：各22,785円

〔セット内容〕
■旧塗装：5555＋5155＋5255＋5655＋5105（M）＋5205＋5605
■新塗装：5557＋5157＋5257＋5657＋5107（M）＋5207＋5607

■旧塗装

■新塗装

京阪 8000系（新塗装）／8030系 〔マイクロエース〕

★マイクロエースの京阪特急2形式が、現行仕様となって再登場。
★8000系は、2008年以降の新塗装仕様。上半赤＋下半黄色に金帯を巻き、旧塗色を反転したような組み合わせだ。モデルは隠蔽力の問題か塗膜が厚い印象はあるものの、発色は鮮やか。帯やロゴの印刷も精細で美しい。
★8030系は2008年、従来の3000系が新車にその名を譲り改番されたもの。模型的には車番変更、女性専用車表示や新ロゴ化といった変化が踏まえられるほか、塗装の色調、細部の色差しにも改良が見られる。
★2形式とも、全車に波打車輪を採用。

〔価格〕
●塗装済完成品
8輌セット：各24,990円

〔セット内容〕
■8000系：8006＋8106＋8506＋8806＋8756＋8556＋8156（M）＋8056
■8030系：8531＋8131＋8231（M）＋8831＋8731＋8631＋8181＋8081

■8030系

■8000系

8030系二階建車（8831）

8000系二階建車（8806）

阪神5550系〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52047746

★阪神の新型ジェットカー、5550系が一部新金型で登場。

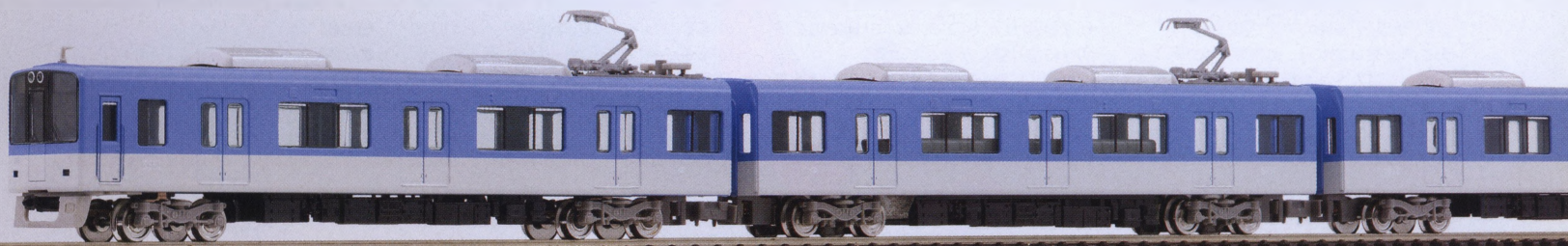
★実車は、5500系のマイナーチェンジ車として2010年に登場。車体は5500系、機器は1000系に準じており、ジェットカーとしては初のT車組込編成となる。種別・行先表示機はフルカラーLED化、パンタはシングルアームとなり配置も変更された。

★製品は車体が5500系の流用のため扉幅など細部が異なるが、パンタ配置変更に伴い各車の屋根板を新規製作。バンドン式密連廃止後の登場なので、スカートも開口部が大きいものが新調されている。中間車にはジャンパー栓、簡易運転台用ライトが別パーツ取付済で表現される。

★台車は1000系と共通のSS171。床下も同型のものを使用。

★ヘッド・テールライト点灯。車番は印刷済、行先・種別などはステッカー対応。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット：17,850円

〔セット内容〕
■5551＋5651（M）＋5652＋5562

阪神9000系（新造時）〔グリーンマックス〕

★阪神では異色のステンレス車、9000系がグリーンマックスから完成品で登場。

★実車は阪神大震災後の復興期、1996年に登場。急行用「赤胴車」系車輌では初のVVVFインバータ制御、5201形「ジェットシルバー」以来のステンレス車体を採用した。2009年の近鉄乗り入れ開始後は、対応工事とともに1000形に近いカラーに変更された。

★今回発売となったのは、赤・白の2色帯を巻く登場時の姿。前面は両側とも幌枠なしで、連結器は小ぶりなバンドン式密連を再現。

★完全新規の車体は前面ガラス・貫通扉廻りを一体クリアパーツとした近年おなじみの構成。ガラスは前面・側面とも濃いブルーで着色され、銀色のステンレス車体と好対照をなす。窓サッシ・ピラーは印刷表現。9101妻面には別体のジャンパー栓受が付く。

★床下機器は5500系と共通。動力は完成品標準の2モーター・室内灯対応型。

★ヘッド・テールライト、種別表示灯点灯（消灯可）、ライトユニットはシースルー構造。

★9201Fの車番を印刷済、行先ステッカー付属。パーツは基本的に取付済だが、床下の列車種別選定装置のみユーザー取付。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット：24,150円

〔セット内容〕
■9202＋9002＋9102（M）＋9101＋9001＋9201

阪神9000系（改造後）〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52049763

★阪神の急行用ステンレス車9000系のバリエーションとして、現行仕様が登場。

★実車は2009年3月の近鉄との相互乗り入れに際して1000系との連結対応改造がなされ、同時に貫通幌を取り付け、1000系に準じた塗色への変更が行なわれた。

★製品は旧塗装に続いての発売。イメージを一変させた塗装はもちろん、梅田方9209では1000系併結に備えた幌枠付前面を新規製作。既発売の1000系とは、付属のドローバーまたは別売のTNカプラー（TOMIX、品番0331）で併結できる。運転台はシースルー構造。

★ヘッド・テールライト点灯（消灯可）。車番印刷済、行先・種別などはステッカー。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット：24,150円

〔セット内容〕
■9200＋9000＋9100（M）＋9100＋9000＋9200

京福電鉄モボ621形「京紫塗装」

〔MODEMO〕

鉄道ホビダスはこちらから！

52052388（M車）
52052391（T車）

★「嵐電」こと京福嵐山線の新時代を告げる「京紫塗装」がNゲージで製品化。
★この塗装は2010年、嵐電開業100周年を記念して導入された新たな標準色。京都らしさを表現し、四季の景観に映える色として日本の伝統色である「京紫色」の一色塗りを採用したもので、モボ611形613を皮切りに塗り替えが進んでいる。
★モデルは既発売のモボ621形の色替え品で、鮮やかな紫の姿はなかなかのインパクト。M車・T車のラインナップ、インレタ式の車番（611～631形全車分入り）は旧塗装同様だが、ステッカーは100周年記念やラッピング電車「化け電」のマークなども収録した新規品がセットされている。

〔価格〕
●塗装済完成品
M車：7,770円
T車：4,095円

広島電鉄5000形「グリーンムーバー」

〔MODEMO〕

鉄道ホビダスはこちらから！

52038286

★かねてから予告されていたMODEMOの超低床LRV第1弾、広島電鉄5000形「グリーンムーバー」が晴れて発売となった。
★5000形は市内線～宮島線（鉄道線）直通用として1999年に登場。ドイツ・シーメンス製の超低床車「コンビーノ」を日本向けにカスタマイズした5車体連接車で、国内では熊本市電に次ぐ2例目の100％低床車。
★製品は当然ながら完全新規品で、ナンバーは空輸で搬入され話題を呼んだ第1編成。5車体（5001A＋C＋E＋D＋B）のうち台車のない5001Cにモーター・フライホイールを搭載、シャフトを介して両端台車（計4軸）を駆動。集電は6軸全てで行なう。
★走行はスローもよく利き、曲線R103で組んだS字カーブも走行可能だが、その場合は幌が少々タイトすぎるようだ。
★車体は大部分が窓という印象だが、滑らかなはめ込み窓とメリハリの効いたモールド、美しい塗装・印刷で見応えがある。車内はほぼ動力装置で占められるが、一部には座席も表現。ヘッド・テールライト点灯。
★行先ステッカー、車番変更用インレタ（全編成分）付。

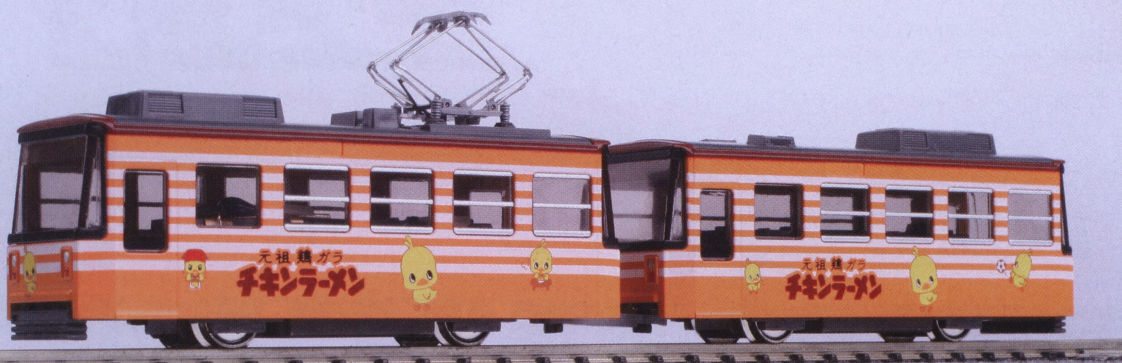
〔価格〕
●塗装済完成品：13,440円

ポケットライン チビ電 ぼくの街の路面電車 チキンラーメン号

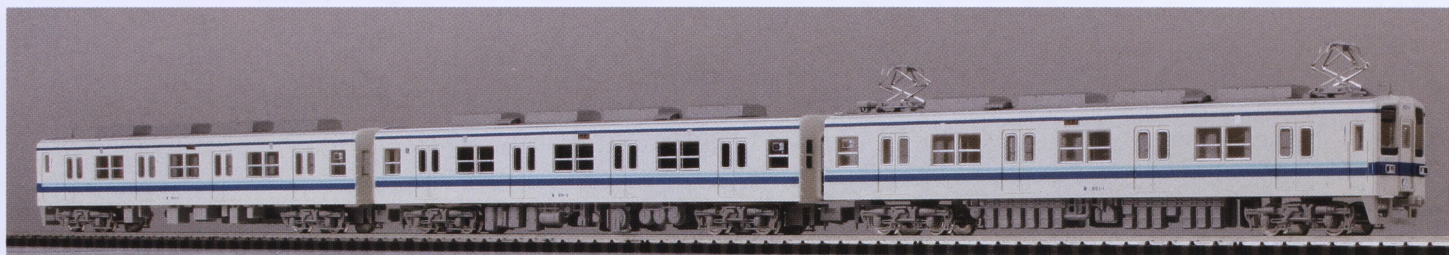
〔KATO〕

★このところカラーバリエーションを中心に再び活発な動きを見せるKATOポケットラインチビ電に、新色が登場。
★「チキンラーメン号」は近年、西日本の長崎、熊本、鹿児島、高知の各都市で見られる「日清チキンラーメン」ラッピング広告の路面電車をイメージしたもの。実在のものとスタイルは当然異なるがなかなか似合っており、レイアウトに賑やかな風を吹き込んでくれる楽しいアイテム。
★紙パッケージ入り。ユニトラム・ユニトラックコンパクトの曲線にも対応、小さなレイアウトで楽しめる。

〔価格〕
●塗装済完成品：3,570円

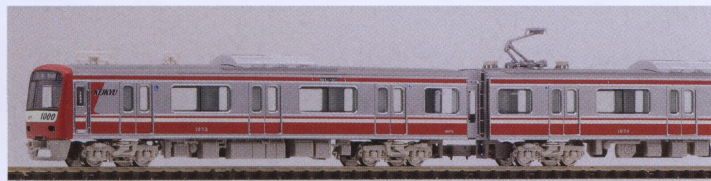
〔セット内容〕
■チビ電（M）＋チビ電

エキスパート編

●CROSS POINT

グリーンマックスのストアブランドのCROSS POINT。近年はGMブランドの新製品に合わせた仕様違いやキットバージョンを出したりするほか、メッキ仕上げで上質なステンレスの質感を再現した特製品を発売するなど、様々な取り組みが見られる。

▲**東武850系** 伊勢崎線系統のワンマン運転のため8000系編成を分割して誕生した形式。東武では異例の3輌編成。先頭車モハ850-1の前パンタ屋根が特徴的な存在。塗装済キット（3輌トータルセット）：11,550円

▲**東武8000系リバイバルカラー** 東上線90周年のイベントで復活した、登場時の塗装を再現。対象の原形前面車8108Fの車番や社紋も印刷済。塗装済キット：6輌セット9,870円

▲**東武8000系8111F** 最後の原形前面の8000系である8111Fを車番印刷済で発売。10連運転時にパートナーを組む更新前面の4連8142Fも車番印刷済で発売された。塗装済キット・8111編成6連セット：9,870円、8142編成4輌セット：7,875円

▶**東武8000系未塗装キット** 塗装済で販売されるGM製品に対して、未塗装キットとして発売。塗装を楽しみたい方に好適。未塗装キット・原形前面4輌セット：4,410円、原形／更新先頭2輌セット：各2,520円、増結用中間2輌セット：2,205円、増結用中間4輌セット：3,780円

▲**京急新1000形メッキ仕様ステンレス車** プラスティックの車体に銀メッキを施してステンレス車の質感を持たせた、こだわりの一作。赤帯はメッキの後で印刷再現されている。塗装済完成品・8輌セット：31,500円

▲**東京メトロ10000系 1次車** 8連での運転も可能な1次車を再現。前面に特徴である黄色帯とハートMマークが付く。同時に車番印刷がない2輌増結セット（GM製1次車の増結用）も発売。塗装済完成品・8輌セット：29,925円、2輌増結車番印刷済：8,190円、2輌増結車番インレタ選択：8,190円

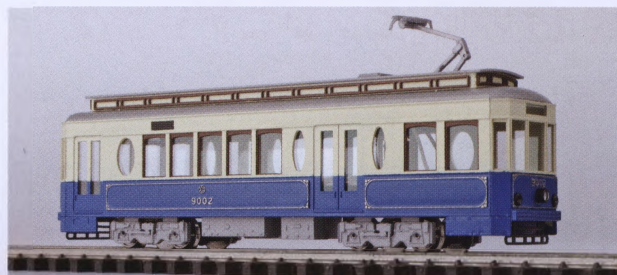
▲**京急2100形（登場時）** 正面ワイパーカバー部に当該先頭車の車番が書かれている登場時の姿。またスカートは濃いグレー塗装、下部のライトレンズはテールライトと通過表示灯が左右逆になる。塗装済完成品・8輌セット：33,390円

▲**名鉄6500系8次車・6800系6次車（グレードア）** 2010年CROSS POINTから発売された同製品の新バージョンで、前回は現行の赤一色塗装であったが、今回は側ドアの上半分がグレー塗装とされていた時代をプロトタイプとしている。その他の内容は前回製品と同様。塗装済完成品・6500系4輌セット（M付）：14,700円、6500系4輌セット（Mなし）：12,915円、6800系2輌セット（M付）：7,875円、6800系2輌セット（Mなし）：5,775円

▲**横浜高速鉄道Y500系メッキ仕様ステンレス車** GMブランド発売のY500系にメッキを施した特製品。大胆な模様塗装などもメッキ面に繊細に再現される。塗装済完成品・8輌セット：35,490円

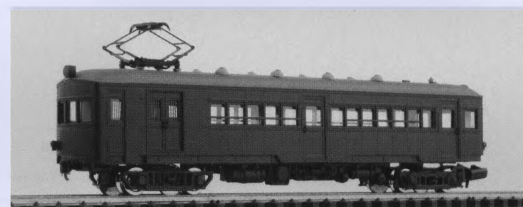
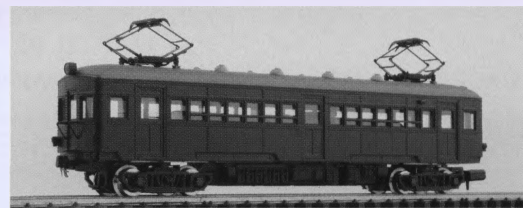
●ワールド工芸

多様な製品を毎月精力的に発売しているワールド工芸だが、昨年は私鉄電車が少なく、今回の紹介は1点のみだが、都電9000形をいち早くモデル化している。

▶**都電9000形** 都電荒川線に14年ぶりの新車で、イベント使用を考慮した「レトロ調車輌」として、最新の機器を持ちながらも丸窓や飾り二重屋根などの古風なスタイルを持たせているのが特徴。モデルは9001・9002号両方が製作可能。キット：8,925円

●ペアーハンズ

東武の名車輌を得意とするペアーハンズ。今回は懐かしき古豪たちをエントリー。

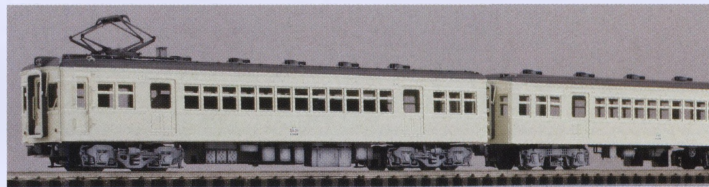
▶**東武デハ４**　東武の電化初期に大量増備された電車群のうち、1927 年に登場したセミクロスシート車。小さい窓とオワン型ベンチレーターが東武型の特徴。キット：4,935 円

▲**東武デハ７／クハユ１**　1928 年から 44 輌が製造された、東武型の代表車。原形から両運転台化された頃がモチーフとなっている。クハユの合造室部分の特徴的な窓部分も再現可能。キット：各 5,775 円

▲**東武デハニ７**　デハ４を改造した荷物合造車。戦後の改番で 3200・5400 系となった後、3000 系へと車体更新された。キット：4,935 円

●イエロートレイン

近年は東武の旧車の製品化にも意欲的なイエロートレイン。今回もそんな名車がずらりと並んでいる。

東武 5320 系（木枠原型）　工場火災による焼失車の代替として製造された２扉セミクロスシート車。クハ 550 形を電動車化して誕生したのがモハ 5320 形。A セットは前面窓が木枠の原形仕様（作例は快速色）。キット・２輌セット：11,550 円

▲**東武 5800 系（H ゴム窓）**　モハ 5320 形６輌のうち２輌は、駆動装置を直角カルダン方式に改めモハ 5800 形となったものの、不調のため 5700 形の台車を流用して旧性能化されていた。B セットは前面窓が H ゴム化された仕様。（作例は急行色）。キット・２輌セット：11,550 円

▲**東武 5800 系（昇降ステップ移設）**　晩年には屋上昇降ステップが乗務員扉の後ろ側に移設され、セイジクリーム１色でローカル運用に供された。C セットは末期のスタイルを再現。キット・２輌セット：11,550 円

▲**東武 3210 系（日車製ロングシート）**　上記デハ７形が戦後に大改番を受けた姿。印象的なツートンカラーを身に纏い、1971 年に 3000 系に更新されて姿を消すまでの永きに渡って活躍した。日車製の車輌は裾の切欠きから台枠が見えるのが特徴。キット・２輌セット：11,550 円

▲**東武 3210 系（汽車製クロスシート）**　汽車製車は裾がオーソドックスなストレートスタイル。作例車は日光線用にアコモ改善工事が施され、セミクロスシートとなって観光用とされた編成がモチーフで、屋上のガラベンが大きな相違点。キット・２輌セット：11,550 円

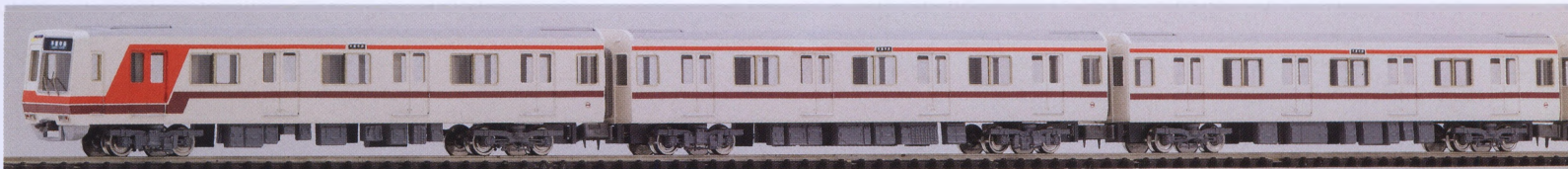
▶**京成 700 形　704 編成**　京成「青電」のうち、高抗張力鋼使用の全金車である 704-2203 編成に、「開運号」1600 形をアルミ車体に更新した中間車を組み込んだまさに異色の編成。後に行商専用車に転用された姿も印象的だった。キット・４輌セット：19,950 円

●近鉄車両エンジニアリング

近年流行りのＮゲージサイズディスプレイモデルの新作が、近鉄の関連会社からリリースされた。

▶**大阪電気軌道　デボ１**　1914 年、大阪電気軌道の開業と同時に投入された、曲線を描く５枚窓前面の木造車体にダブルルーフ、集電ポール、救助網といった大正時代当時を象徴する装備を持った名車。現在も旧デボ 14 が復元されて保存されている。塗装済ディスプレイモデル：2,000 円

●SUNWORKS

関西私鉄車輌を真鍮プレス加工中心で製品化しているSUNWORKSの新作は、千里山の足として活躍する北大阪急行の「スター」車輌。

▲**北大阪急行 8000 形**　2000 形に代わり 1986 年に登場した 8000 形。アルミ車体にアイボリーの塗装をし、オレンジ・茶色の帯色を巻き「ポールスター」の愛称で親しまれる。キット・8 輌基本セット：59,800 円、増結中間 1 輌：7,350 円。特製完成品 8 輌（登場時）：150,000 円、9 輌（中百舌鳥 - なかもず - 開業時）：170,000 円、10 輌（現行）：190,000 円

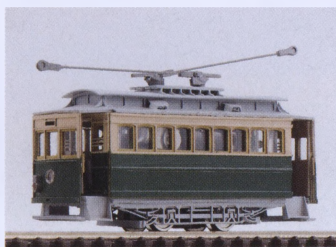
●レールクラフト阿波座

関西私鉄を得意とするレールクラフト阿波座からは、南海と山陽電鉄の新シリーズがリリースされた。

南海 2000 系　4 連　既に発売の 5 次車の 2 連の続編とした、中間車を追加した 4 連セット。近年は「大運転」の減少によって、一部が南海本線に転属して使用される。キット・4 輌セット：28,500 円

▲**山陽電鉄 5000 系「5020F、5022F」仕様**　既に発売の 4 連仕様に続き、山陽～阪神間の「直通特急」で活躍する 6 連仕様が登場。作例は「時のまち、あかし」の PR 電車を再現したもの。ラッピングのデカールのほか、この仕様での特製完成品も用意される。キット・6 輌セット：39,900 円、塗装済完成品・6 輌セットノーマル仕様：129,000 円、塗装済完成品 6 輌セットハイグレード仕様：159,800 円、ラッピング車塗装済完成品 6 輌セットノーマル仕様：139,000 円、ラッピング車塗装済完成品 6 輌ハイグレード仕様：169,800 円

●小松商店街鐵道

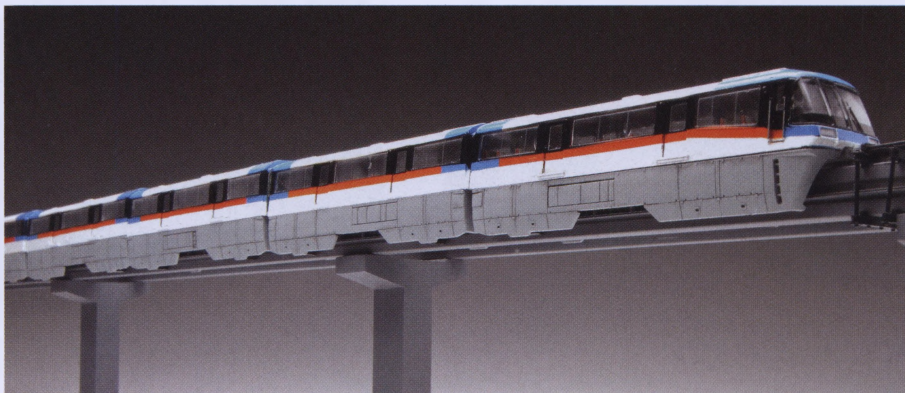
受注生産による、ペーパー製完成モデル販売という珍しいメーカー活動を行なっている小松商店街鐵道。得意の木造 2 軸電車の新作が 2 題。

◀**京都市電　N 電 27 尺車**　「日本初の電気鉄道」として名高い N 電こと「狭軌 1 形」。同社お得意のレーザーカットのペーパー製で組み立てられた N 電は、側面窓が 9 枚の「27 尺車」がプロトタイプ。前面が 3 枚窓に改装された晩年の仕様。動力装置の都合から車幅は広め。塗装済完成品：18,800 円

◀**たまでん　ポールカー**　玉川電気鉄道の「1 形」のなかでも、砧線で活躍していたデッキにドアのある「3 ～ 5 形」がプロトタイプ。モデルはレーザーカットによるペーパーをハンドメイドで組み立てた品。側面の板の目まで細かく表現されている。塗装済完成品：12,800 円

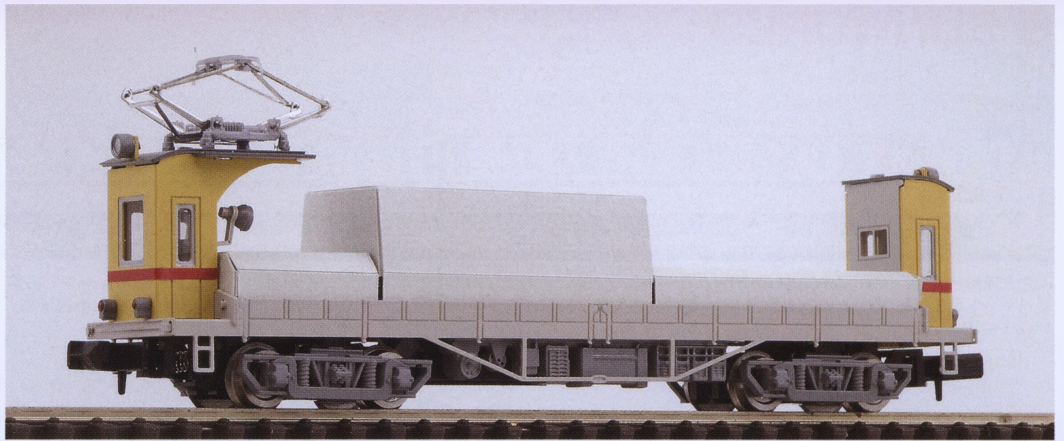
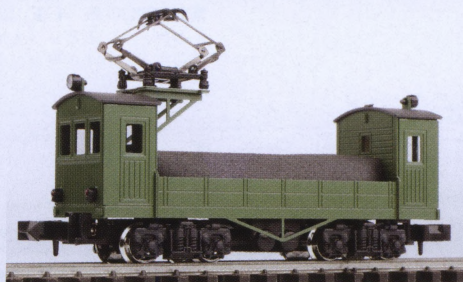
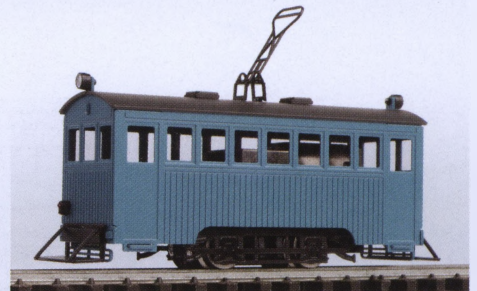
▲**デワ 3001 形　赤・青 2 色塗装**　ローカル私鉄好きには、とみに有名な秋田中央交通の電動貨車。全長 7m 足らずの木造ボディを赤と青の派手な塗装で、同色の客車を牽引する姿は今なお伝説的に語られている。塗装済完成品：16,800 円

●フジミ模型

グリーンマックスとのコラボレーション製品として注目を集めた東京モノレール 1000 形。同社は未塗装プラモデル仕様の販売を担当している。

▶**東京モノレール　1000 形**　現在、東京モノレールの主力系列。未塗装キットとして、フジミ模型から発売。モーターライズは考慮されていないディスプレイモデルで、複雑な造形の下廻りが正確に再現されている。さらには車輌を搭載する軌道も同時開発され、セットに同梱および単品売りされている点も目新しい。ディスプレイプラキット 4 輌編成＋専用レールセット：2,940 円、中間車セット 2 輌：2,100 円、直線レールセット：1,260 円、直線＆曲線レールセット：1,890 円

●アルナイン

「とて簡」シリーズが相変わらず好調なアルナイン。下廻りに使える動力ユニットも多く出回るようになり、それに適合した新規製品もどんどん発売されている。

▶**とても簡単なロングデト** 動力に鉄コレ15m級を用い、スケールに迫るセミフリー製品として送り出された意欲作。モチーフは京浜急行デト30形で、全長に渡る無蓋部分や箱型の運転室と特異な形状を巧みにまとめている。もちろん「とて簡」の売りである接着不要の組立も可能であり、手軽に楽しむことができる。キット：2,480円

▲**とても簡単な京都風デト** ロングデトに続いて、やはりセミフリーで叡電デト1001および嵐電モト1001がモチーフとなった「京都風」デトも発売。こちらは従来品同様、KATO製小型動力に対応する。同時発売で、当製品に似合う簡易ポールキットも用意されている。キット：2,480円

▲**とても簡単なデト【Bタイプ】** 細いキャブが特徴的なスタイルだった「京都風デト」から一転、車体幅と同じ広い木造運転台を持つ古めかしい仕様で、路面電車や京成などに例があったタイプ。キット：1,980円

▲**とて簡【SP】切妻の2軸市電** 過去にも発売された木造タイプの市電だが、今回は同社製動力「アルパワー」を指定した製品で、引き締まった軸距離と短躯なボディが相まって非常に好ましいスタイルとなっている。キット：1,980円

古き良き「昭和」の団地を再現！

グリーンマックスの「公団住宅」

MODELING, PHOTO & TEXT：根本貫史（RMM）

- 2701 公団住宅（公団）
- 2702 公団住宅（UR 賃貸住宅）
- 塗装済完成品：各 2,730 円（税込）
- 6802 住棟番号インレタ A
- 6802 住棟番号インレタ B
- 1 棟分対応：各 1,260 円（税込）

狭い日本の住宅事情から生まれた集合住宅「団地」は、日本の風景を再現するのには欠かせない存在です。そんな団地の最もポピュラーなスタイルのストラクチャーがグリーンマックスから登場しました！

製品は購入後すぐに楽しめる塗装済完成品で、公団時代と現在のUR都市機構の2種類があります。いずれも基本的な形状は同一ですが、外壁のカラーや時代設定によるディテールの追加などに違いを見ることができます。公団仕様は外壁がアイボリーで、昭和40年代の竣工当時といった雰囲気で、UR都市機構の仕様は、「UR賃貸住宅」として全国各地で見られる現在の姿を製品化しています。

公団住宅は、時代の変遷とともに修繕が施されており、製品も各部ディテールパーツの追加によりその変化を的確に再現しています。

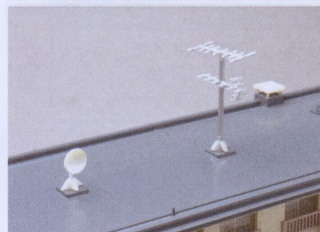
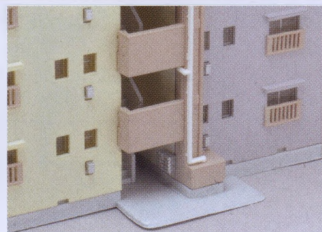
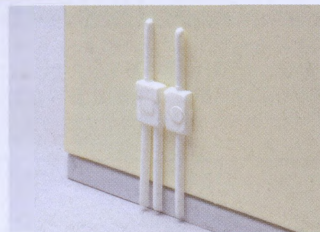
楽しみ方としては、1棟だけではなく複数棟を並べるのが最も団地らしい姿ではないでしょうか。また、ベランダに布団や洗濯物を作って配置すると生活感が出てより実感的になるでしょう。

● UR 都市機構仕様

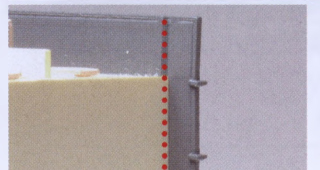
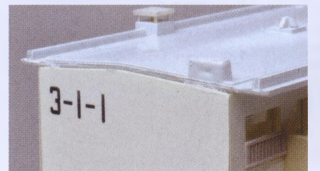
壁は公団より濃いアイボリーで、バルコニーや階段室部分がベージュ。階段室側はパープルにブロック塗装されているのが特徴。屋根は防水ブロックによる修繕後を再現した濃灰色。その他増設された給水管や配電盤、パラボラアンテナを追加表現している。

●公団仕様

壁はアイボリーでバルコニーや階段室部分がクリーム色の2色塗装。屋根は露出アスファルト防水工法を明灰色に塗装することで再現。

別パーツによるディテール表現！

▲屋上のテレビアンテナはユーザー取付パーツとして付属。UR都市機構仕様にはパラボラアンテナも付く。

▲近年の修繕工事により階段室のダストシュート側に設置された給水管を別パーツで再現。

▲団地妻面には配電盤が別パーツで取り付けられている。写真はUR公団住宅仕様で、配電盤が2基に増設されている。

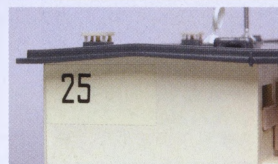
複数棟接合してロングバージョンに！

製品は屋根の端部を撤去することで、簡単に団地同士を接合することができます。製品を複数並べて大規模な団地を再現する場合、一部の住棟を下のように接合して拡大すると、単調な風景に変化を付けることができ効果的です。なお、接合の際はゴム系接着剤や両面テープを使用します。

▲屋根の裏側を見ると、妻面に接合用の切断ラインが用意されている（写真点線部分）。ここをカッターナイフで切断する。

▲接合のため屋根の一部を撤去した状態。妻面は撤去せずに妻面同士をゴム系接着剤で接着または両面テープで接合する。

▲2棟を接合すると、長手方向の長さはおよそ400mm。ストラクチャーとしては非常に大きく迫力もある。

住棟番号を変えるには…

団地を複数並べる際に気になるのが妻面に書かれた住棟番号。製品はあらかじめ「3-1-1」と印刷されていますが、これを変更するための専用インレタが別売で用意されています。インレタには住棟番号のほか、元の印刷を消すためのマスク（壁と同色）が含まれています。

◀まずはインレタに含まれる壁と同色のマスクを転写し、元の番号を消す。マスクの色は壁とほぼ同色なので違和感はなく、元の番号が透過することもない。

◀続いてマスクの上からお好みの住棟番号を転写。マスクの上から転写のほか、住棟番号の位置そのものを変更する場合にも使用できる。

トミーテックの1/150ワールド

鉄道コレクション

SCALE 1：150／9mm
TEXT：RMM
PHOTO：青柳　明(RMM)、羽田　洋、トミーテック

●製造・発売元：株式会社トミーテック
（事業者特注品の発売元は各事業者による）

「バスコレ」に始まるコレクションアイテムの真打ちとも言うべきシリーズとして、2005年に姿を現した「鉄道コレクション」。第1弾リリースからすでに6年余り。既存製品の穴を補完しながら常に意外性を含んだプロトタイプ選定に、すっかり魅せられてしまったファンも多いことでしょう。またそのディテールレベルも今や「鉄道模型」としても遜色ないもの。Nゲージャーにとって、その存在感は日々増すばかりです。

※「鉄道コレクション」は、トミーテックの製造によるNゲージサイズのディスプレイモデルで、各車輌製品には一部を除き展示専用のダミー線路が付属します。別売専用部品の購入によりNゲージ鉄道模型としてレール上を走行させることが可能となります。
※掲載商品には、すでにメーカーまたは各事業者にて在庫切れとなったものも含まれますので、あらかじめご了承ください。

20m級私鉄気動車勢揃い

■鉄道コレクション第13弾

シリーズ2度目の気動車編として、カラフルかつひと癖ある私鉄20m級気動車がリリース。ライトは透明レンズ入り、精緻なエンジン廻りの造形も見応えがある。
◎ブラインドパッケージ（全10種＋シークレット1種）
◎2011年3月発売／1個735円

●留萌鉄道 キハ1001

北海道、留萌本線から分岐していた私鉄の湘南顔気動車。前面窓下のオヘソライトがチャームポイント。

●茨城交通 キハ1001

留萌キハ1001が、廃線後に茨城交通（現・ひたちなか海浜鉄道）へ転じた姿。元羽幌炭鉱鉄道車に合わせたエンジ色塗装時代。

●島原鉄道 キハ4501

ヒゲ付の急行塗装も凛々しい、九州の湘南顔気動車。留萌の車とともに、顔は違えど国鉄キハ10系を基本とした設計である。

●雄別鉄道 キハ49200Y1

こちらも北海道、釧路を走った炭鉱鉄道の気動車。国鉄キハ20系（バス窓タイプ）類似の車体だが、足許は古典的な菱枠台車。

●津軽鉄道 キハ24021

ストーブ列車で有名な津軽鉄道では、キハ20と22の中間のスタイルの自社発注車が活躍。素朴で暖かみのある塗色も魅力的だ。

●同和鉱業小坂鉄道 キハ2101

いわゆる「日車標準車体」の気動車版と言うべきもの。後に弘上鉄道や弘南鉄道黒石線へ転籍し、ほぼそのままの姿で使われた。

●鹿島臨海鉄道 キハ2001

大洗鹿島線開業時に国鉄キハ20を譲り受けたもの。前面の改造、同社オリジナルのキハ6000同様の塗装で見事に変身している。

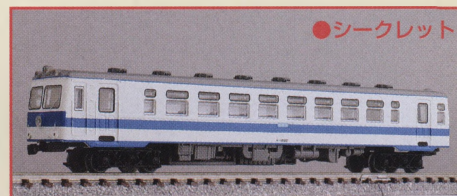
●茨城交通 キハ201

鹿島臨海キハ2000形は、自社発注車の増備が進むと茨城交通へ譲渡。少し前の湊線と言えばこの斜めストライプ塗装だ。

●小湊鉄道 キハ213

昭和ムードが人気の小湊鐵道で、今なお現役バリバリのキハ200形。キハ20タイプだが自社発注。製品はユニットサッシの後期型。

●関東鉄道 キハ751

かつて小田急が御殿場線乗り入れ用に造ったキハ5000の譲受車。原車は片側1扉のため、豪快に外吊り式で3扉化されていた。

●シークレット

●茨城交通 キハ1002

シークレットは、キハ1000形晩年の白十青ストライプ塗装。同僚であった元国鉄キハ11も用意してやりたくなる。

各地の運輸省規格型電車

■鉄道コレクション第14弾

第14弾では、戦後復興期に統一規格で大量に造られた「運輸省規格型電車」から、名鉄3800系譲渡車を中心に比較的近年まで見られた面々をセレクト。「規格型」ながら、度重なる改造もありディテールは各車各様。
◎ブラインドパッケージ(全10種+シークレット1種)
◎2011年8月発売／1個735円

●大井川鐵道モハ3829

更新で不要となった名鉄3800系の車体を譲受、既存車の足廻りと組み合わせたもの。第4弾で発売の元西武車とも組んで走った。

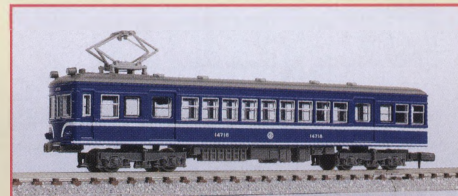
●大井川鐵道クハ2829

モハ3829の相方。この2輌は、名鉄時代の更新工事で側面のウィンドウシルが消滅している。車内の座席はクロスシート。

●豊橋鉄道モ1721

こちらも名鉄3800系の車体を譲受したもので、旧型国電の台車や機器を用いて600V用のM+M編成に仕立てられている。

●豊橋鉄道モ1771

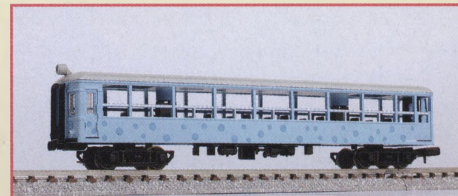
豊橋の2輌は名鉄時代に高運転台化済で、独特の表情。モデルは貫通扉付だが、実車は後年非貫通化されさらに風貌が変わった。

●富山地方鉄道モハ14718

14輌とまとまった数の3800系が入線した富山地鉄。入線後の更新で非貫通化、カタツムリの眼のような2灯ヘッドライトとなった。

●富山地方鉄道クハ18

モハ14718の相方。1980年代前半ごろの姿で、のち実車は右のモハ14753と同じ新塗装に塗り替えられている。

●富山地方鉄道モハ14753

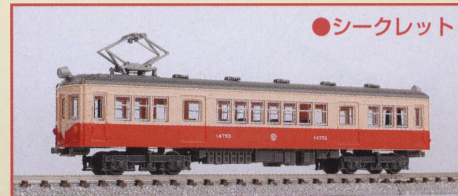
規格型ながら名鉄とはスタイルの異なる両運車。更新され新塗装となった晩年の姿で、新性能車に伍して平成の世まで生き残った。

●大井川鐵道クハ861

大井川に渡った元名鉄3800系がオープンカーに改造されたもの。1輌のみの存在で、主に電車の牽引によって使用された。

●長野電鉄モハ1003

富山の14750形と近似の好ましい両運車。現在も1輌が保存されているほか、同系のモハ1500形も1990年代まで活躍していた。

●京福電気鉄道モハ1003

名鉄車に似た外観だが、京福福井鉄道部(現・えちぜん鉄道)の自社発注車。第5弾シークレットのMC1101形は本形式の更新車。

●シークレット

●富山地方鉄道モハ14753(旧色)

上掲の同ナンバーのバージョン違いで、1980年代までのツートンカラー。1灯ライトなど時代による形態差も抜かりなく再現。

広がるバリエーション

■専用動力ユニット

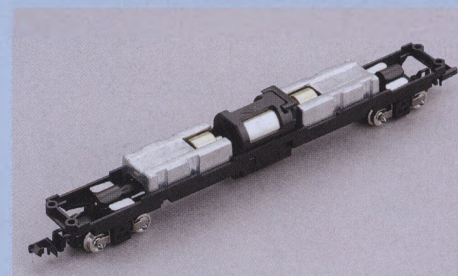
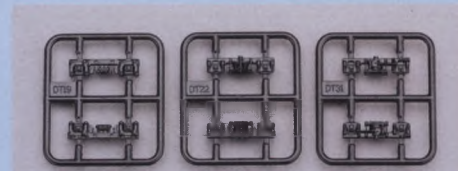
鉄コレのラインナップが回を重ねるごとにそのバリエーションも増えてきた鉄道コレクション用のNゲージ化動力。動力化する車輌に対応した台車枠や床下機器の装着が可能であるなど、独自の特徴と豊富なバリエーションを持つことから好評を博している。

2011年には通常の鉄道車輌用動力が4種(路面電車用は114頁参照)発売された。そのうちTM-14は、20m級でもオーバーハングの短いJR201系などに用いるもの、TM-15とTM-16はエンジンなど気動車用の床下機器が装着可能なもので、車体長さに合わせて2種、TM-17は20m級旧型国電用として、車輪径が通常のφ5.6からφ6.0へ変更されている。

●TM-14　動力ユニット20m級用A2
◎軸距約14mm、台車間距離約93mm
◎台車枠3種(DT21・DT32・TS316)各黒色
◎2011年1月発売／価格：2,940円

●TM-15　動力ユニット20m級用A3
◎軸距約14mm・台車間距離約91mm
◎台車枠3種(DT19・DT22・TR29)各黒色
◎2011年3月発売／価格：2,940円

●TM-16　動力ユニット20.5m級用A
◎軸距約14mm・台車間距離約95mm
◎台車枠3種(DT19・DT22・DT31)各黒色
◎2011年3月発売／価格：2,940円

●TM-17　動力ユニット20m級用B2
◎軸距約16mm・台車間距離約90mm・車輪径6mm
◎台車枠3種(DT12・DT13・DT17)各黒色
◎2011年10月発売／価格：2,940円

▲写真はTM-16(上は付属の動力台車枠)。

日本初の超低床路面電車がリリース

■ライトレール

これまでに発売された富山ライトレール以下の最新型LRVに続き、1997年に登場した日本の超低床電車の始祖、熊本市電9700形がリリースされた。通常塗装に加え、熊本県警のラッピングカーも用意されている。

◎オープンパッケージ(2種)
◎2011年4月発売/各1,680円

●熊本市交通局9700型1次車(9701)

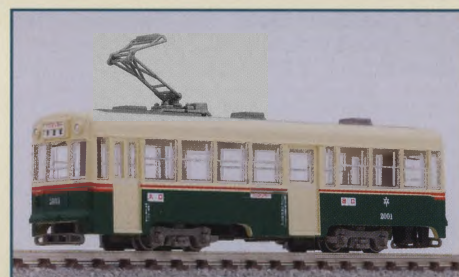
●熊本市交通局9700型3次車(9704)

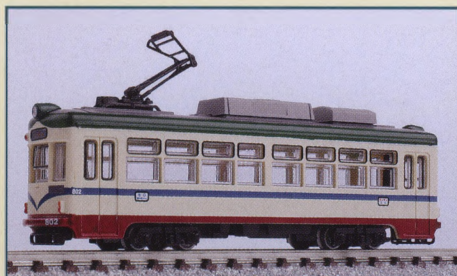
2011年注目の新展開

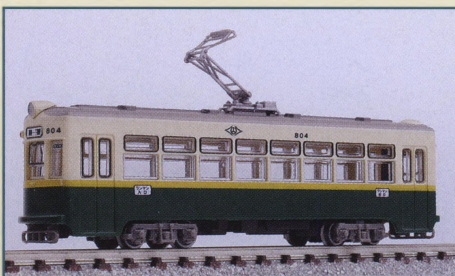
■路面電車シリーズ

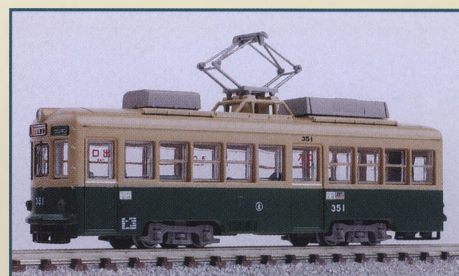
盛況のライトレールシリーズに続いて新たに登場した「路面電車シリーズ」では、ノスタルジックな昭和生まれの電車を新旧の仕様でラインナップ。プラ製ながら繊細で昇降可能なパンタ、路面電車らしい腰の低いプロポーションもファンを唸らせた。
◎オープンパッケージ(5種)

●伊予鉄道2000形

愛媛の伊予鉄道へ渡った元京都市電2000形で、今も5輌全車が現役。伊予鉄仕様への改造、冷房化を経た近年の姿を再現。
◎2011年4月発売/価格:1,470円

●京都市交通局2000形

左掲の伊予鉄2000形の前身。京都市電初のワンマンカーで、当初は連結運転も行なわれた。2段式の方向幕が独特の雰囲気。
◎2011年4月発売/価格:1,470円

●土佐電気鉄道800形

山口県の下関を走っていた山陽電気軌道の800形が、廃線後高知へと転じた姿。冷房化後の現行仕様で、塗色は土佐電標準塗装。
◎2011年11月発売/価格:1,680円

●山陽電気軌道800形

左の土佐電800形の前身。側面の「バス窓」をはじめHゴムを多用した窓廻り、丸みの強いフォルムが昭和30年代を感じさせる。
◎2011年11月発売/価格:1,680円

●広島電鉄350形

1958年の就役から、半世紀以上を広島で働く生え抜き車輌。鉄道線である宮島線への直通にも使われた。製品は冷房付の現行仕様。
◎2011年11月発売/価格:1,680円

■路面電車専用動力

▲鉄コレの路面電車にワンタッチで取付可能。

新シリーズの路面電車用に専用動力「TM-TR01」が発売開始された。小径車輪の採用でプロポーションを崩すことなく動力化が可能で、台車枠は付属品のほか、車輌製品のものを抜き取って装着できる点は目新しい。床下スペーサー、ウェイト2種が付属する。

●TM-TR01 鉄コレ動力 路面電車用

台車の軸距は約9.2mm、台車中心間距離は付属の台車間隔固定ピンの差し込みによって約36mm/38.6mm/41.2mmの3段階に可変が可能。台車枠はKL11、日車C型、FS78(いずれもグレー)が各1輌分付属。
◎2011年4月発売/価格:3,150円

▲台車中心間隔が3段階に調整可能。

単行電車から通勤型編成まで

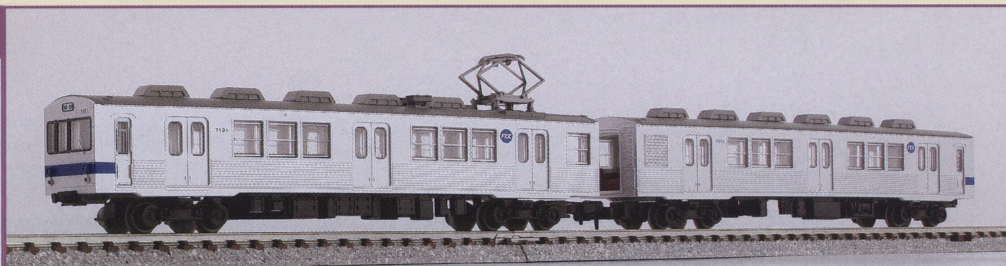
■車輌セットシリーズ

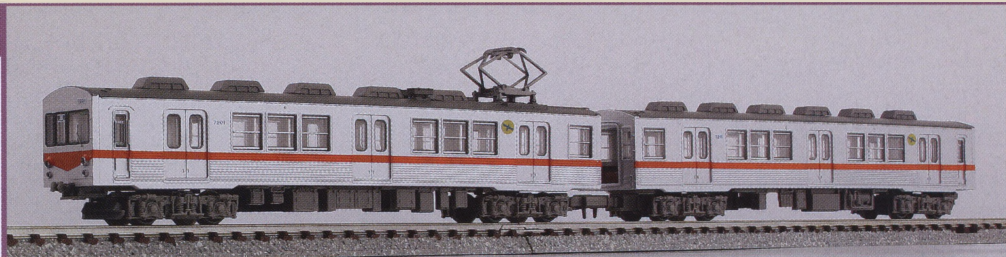
中身のわからないブラインドパッケージの通常シリーズと並んで、もう一本の柱としてすっかり定着したオープンパッケージ製品。セットの強みを生かして、バラ売りでは展開しにくい編成モノも積極的にリリース。ますます目が離せない存在となっている。

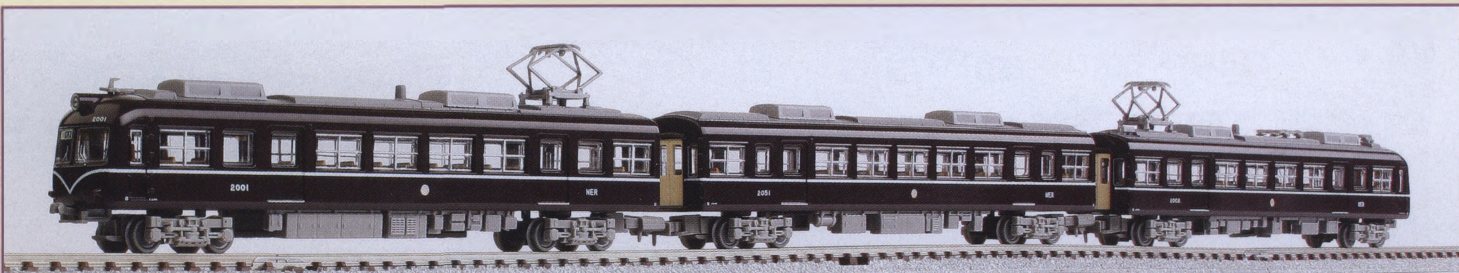
●銚子電鉄デハ1002（鉄子カラー）

通常版第8弾でリリースされたデハ1000形の塗装バリエーション第2弾。漫画「鉄子の旅」とのタイアップにより、2007〜2011年までこの塗色で運行された。
◎2011年12月発売／価格：1,260円

●福島交通7200系 2輌セット

1991年の飯坂線1500V昇圧時に就役した、元東急7000系。先頭車化改造による扁平な顔つき、床置き式クーラー設置に合わせ一部の窓がルーバーとなったのが特徴。
◎2輌セット（7101＋7202）
◎2011年3月発売／価格：1,890円

●北陸鉄道7200系 2輌セット

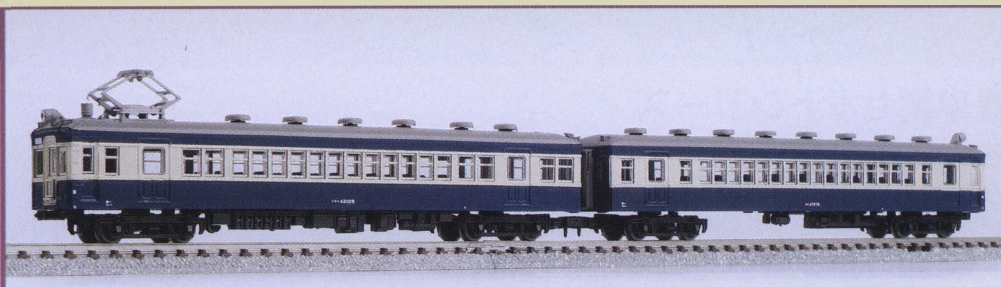
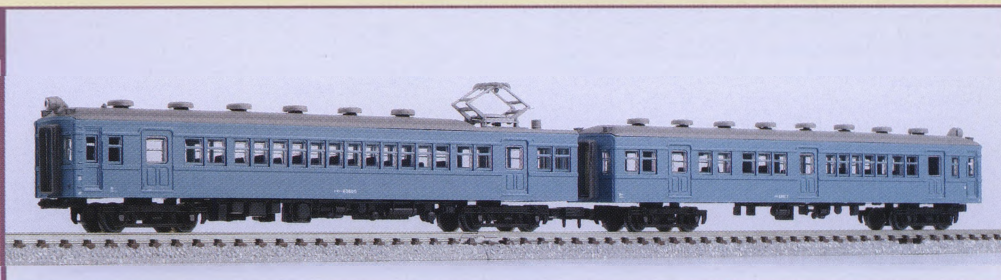
同じく元東急7000系で、1990年に移籍。福島交通と似ているが、ライト形状や方向幕の有無、交換された台車、スノープラウなど形態差は仔細に作り分けられている。
◎2輌セット（7201＋7211）
◎2011年3月発売／価格：1,890円

●長野電鉄2000系A編成 3輌セット

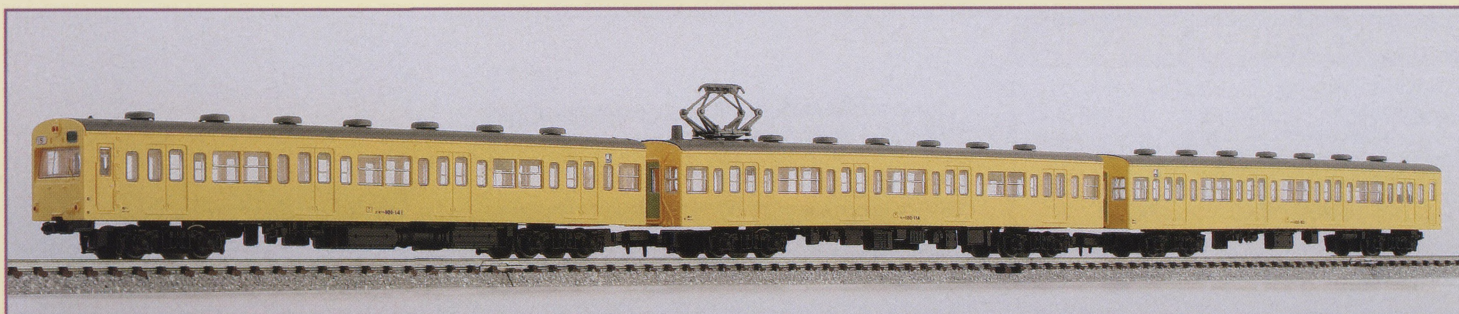
通常版第5弾で非冷房時代、オープンパッケージで冷房付・新塗装と製品化されてきた2000系の第3弾。引退を前に登場時のマルーン塗装に復元されたA編成を再現
◎3輌セット（モハ2001＋サハ2051＋モハ2002）
◎2011年2月発売／価格：2,835円

●長野電鉄2000系D編成 3輌セット

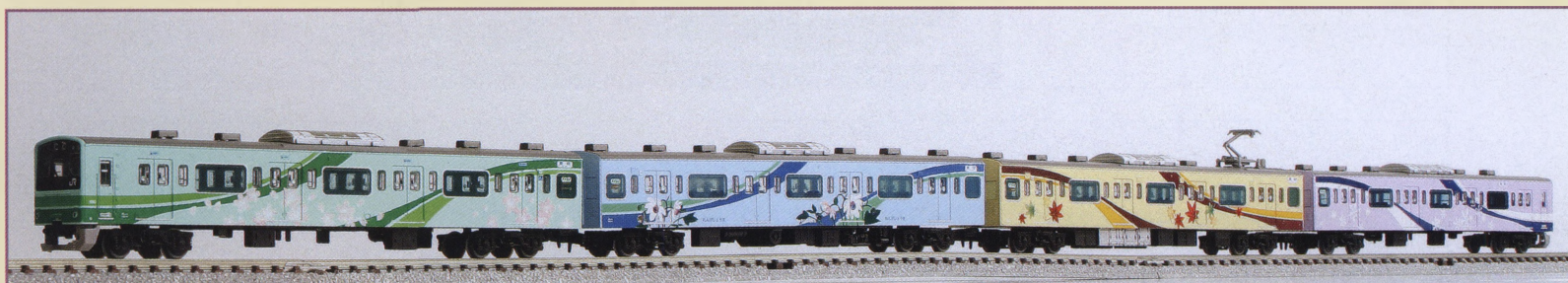
A編成と同じく復刻塗装として、いわゆる「りんごカラー」の旧塗装とされたD編成。台車や屋上機器、スカートなど、A編成との形態差をモデルでも追うことができる。
◎3輌セット（モハ2007＋サハ2054＋モハ2008）
◎2011年7月発売／価格：2,835円

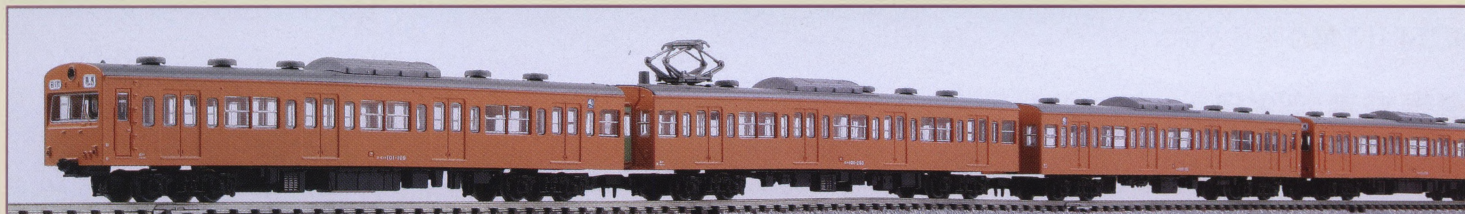
●国鉄42系飯田線 2輌セット

戦前派旧型国電の雄・42系が、緻密なリベット表現も鮮やかに鉄コレに登場。飯田線仕様は原形の面影を残すクモハ43と、横須賀線用32系をルーツとするクハ47の2輌。
◎2輌セット（クモハ43009＋クハ47070）
◎2011年10月発売／価格：2,310円

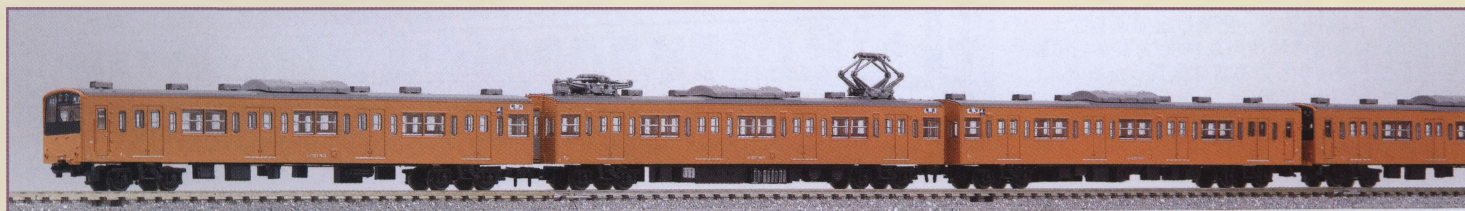
●国鉄42系大糸線 2輌セット

スカイブルーの大糸線仕様は、かつて身延線用に低屋根化されたクモハ43800、2／3等合造車クロハ59改造のクハ68017の2輌。窓ガラスは全てはめ込み式となっている。
◎2輌セット（クモハ43800＋クハ68017）
◎2011年10月発売／価格：2,310円

●国鉄101系 鶴見線 3輌セット

中央線に続き、コンパクトな3輌編成の鶴見線仕様が発売。シールドビーム化されたライトにはレンズが入り、扉窓の形状が修正されるなど細やかな改良もうれしい。
◎3輌セット（クモハ101-141＋モハ100-114＋クハ100-83）
◎2011年4月発売／価格：2,835円

●JR201系 四季彩 4輌セット 旧塗装

2001年、青梅線のイメージアップ用に201系から改造された眺望電車。カラーは四季をテーマに1輌ずつ異なっていた。大型化された側窓、座席配置の変更もしっかり再現。
◎4輌セット（クハ201-134＋モハ201-263＋モハ200-263＋クハ200-134）
◎2011年7月発売／価格：5,040円

●JR201系 四季彩 4輌セット 新塗装

2005年～2009年引退時までの新塗装。ベースカラーを統一した代わり、四季を表すラッピングはより華やかさを増した。なお、大型の側窓は熱線吸収ガラスを模して塗装済。
◎4輌セット（クハ201-134＋モハ201-263＋モハ200-263＋クハ200-134）
◎2011年7月発売／価格：5,040円

●国鉄101系 中央線試作冷房車 5輌セットA 5輌セットB

すでに101系化されていた中央線快速の冷房化を促進するため、同線配置の101系に冷房化改造を試みた初期の40輌で、クーラー搭載位置が車体中央からズレているのが特徴。

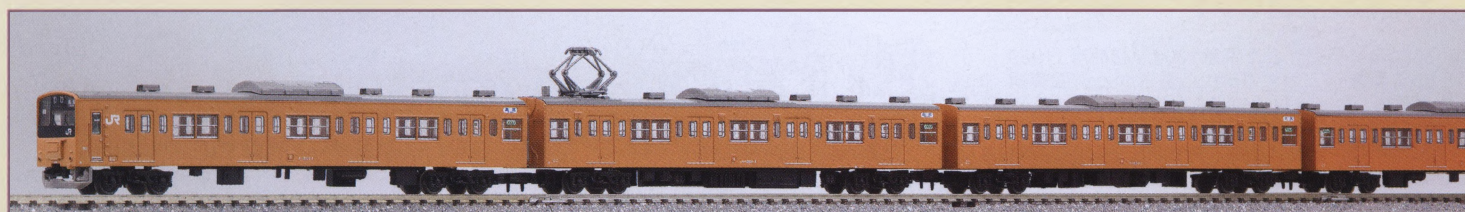
◎5輌セットA（クモハ101-199＋モハ100-253＋サハ101-131＋サハ101-300＋クハ100-73）
◎5輌セットB（クモハ101-206＋モハ100-260＋サハ101-132＋モハ101-258＋クモハ100-187）
◎2011年4月発売／価格：各4,725円　◎パンタグラフ可動・展示用レールなし

●国鉄201系中央線試作車 5輌セットA 5輌セットB

103系に代わる新時代の通勤電車として、チョッパ制御採用による省エネルギーを掲げて1979年に登場した、201系試作車の2個パンタも凛々しい登場当時の姿をモデル化。

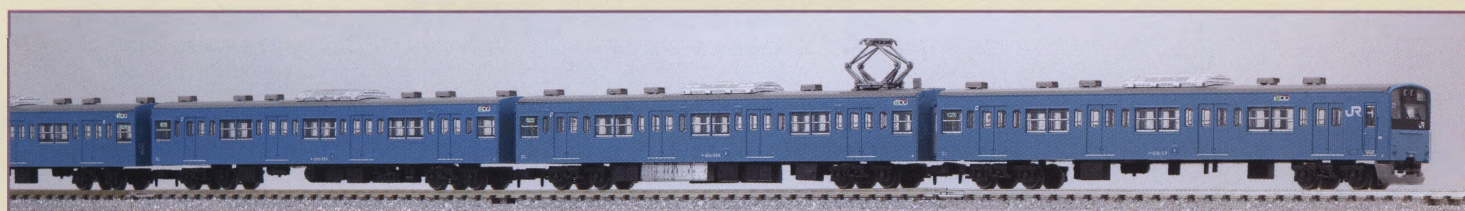
◎5輌セットA（クハ201-901＋モハ201-901＋モハ200-901＋モハ201-902＋クモハ200-901）
◎5輌セットB（クハ201-902＋モハ201-903＋モハ200-902＋モハ201-904＋クモハ200-902）
◎2011年1月発売／価格：各4,725円　◎パンタグラフ可動・展示用レールなし

●JR201系中央線H7最終編成 5輌セットA 5輌セットB

1981年より量産型が中央線快速や総武緩行線などに投入された201系は、製造コスト高などからステンレス製の205系へと増備が移行し、2010年には古巣の中央線から姿を消した。

◎5輌セットA（クハ201-128＋モハ201-254＋モハ200-254＋モハ201-255＋クハ200-128）
◎5輌セットB（クハ201-129＋モハ200-255＋モハ201-256＋モハ200-256＋クハ200-129）
◎2011年1月発売／価格：各4,725円　◎パンタグラフ可動・展示用レールなし

●JR201系中央線H1編成 5輌セットA 5輌セットB

上記の最終期を模したH7編成同様、H1編成の晩年の姿を再現したモデル。実車の製造年度の違いからクーラーキセが鋼製であるなど、両者の差異を再現している。

◎5輌セットA（クハ201-1＋モハ201-1＋モハ200-1＋モハ201-2＋クハ200-1）
◎5輌セットB（クハ201-2＋モハ200-2＋モハ201-3＋モハ200-3＋クハ200-2）
◎2011年12月発売／価格：各4,725円　◎パンタグラフ可動・展示用レールなし

●JR201系京葉線K4+54編成 5輌セットA 5輌セットB

中央・総武緩行線を引退した201系の一部は京葉線へと移り、京阪神緩行線を思わせるスカイブルーの塗色で注目を集めたが、2011年を最後に引退、首都圏から姿を消した。

◎5輌セットA（クハ201-113＋モハ201-228＋モハ200-228＋モハ201-229＋クハ200-113）
◎5輌セットB（クハ201-114＋モハ200-228＋モハ201-230＋モハ200-230＋クハ200-114）
◎2011年12月発売／価格：各4,725円　◎パンタグラフ可動・展示用レールなし

■事業者特注品

私鉄各社やその系列会社により、オリジナルグッズとして発売される事業者特注版の鉄道コレクション。2011年も東西の大手私鉄を中心に11種のモデルが発売された。最近の製品ではトミーテック直接発売のものに準じて、適応動力や走行化パーツなどNゲージ化の際の使用パーツについてもパッケージに記述する例も増えてきている。

●東武鉄道6050系(登場時)2輌セット

1986年の第3セクター野岩鉄道開通を控え、その前年より東武の快速用車輌6000系を同線直通快速などで使用するため車体更新したもの。
◎2輌セット(モハ6150＋クハ6250)
◎2011年12月発売／価格：2,200円
◎発売：東武商事

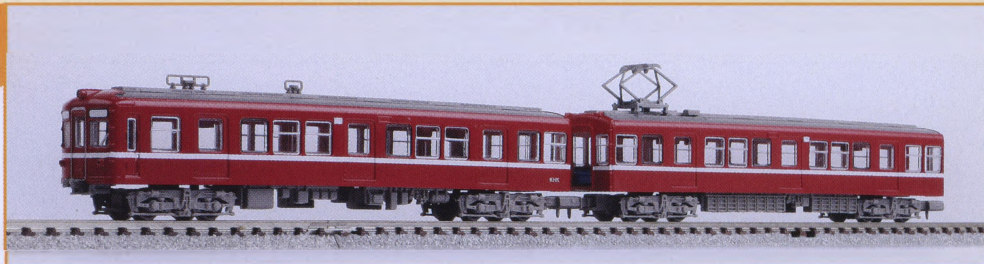
●野岩鉄道6050系(登場時)2輌セット

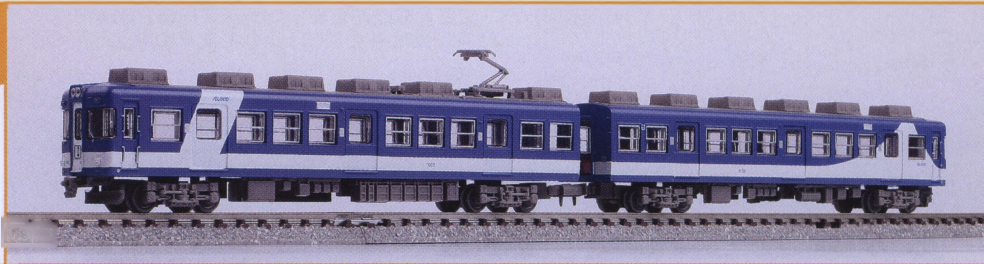
野岩鉄道の開業時に、前述の東武6000系からの更新車だけでは不足する分を同仕様で新製し、野岩鉄道所属車とされた。
◎2輌セット(モハ61100＋クハ62100)
◎2011年12月発売／価格：2,200円
◎発売：東武商事

●小田急キハ5000形(新塗装)2輌セット

小田急が当時非電化であった御殿場線に乗り入れるために新製した準急用気動車。御殿場線電化により後年、関東鉄道に転出した。
◎2輌セット(キハ5001＋5002)
◎2011年7月発売／価格：2,300円
◎発売：小田急電鉄

●京急1000形(非冷房)2輌セット

2010年に発売された京急1000形初期車(1959～60年製造)の、1970年代に見られた前面貫通化改造後かつ非冷房時の姿を再現。
◎2輌セット(1000形先頭車＋中間車)
◎2011年12月発売／価格：2,300円
◎発売：京急百貨店

●富士急1000系分散冷房車2輌セット

富士急1000系の標準色は鉄コレ第11弾でも登場しているが、今回の富士急特注品はクーラーが集中式でなく分散冷房とされたもの。
◎2輌セット(モハ1002＋モハ1102)
◎2011年10月発売／価格：2,200円
◎発売：富士急行

●京阪電車2000系2次車2輌セット

1959年登場の京阪初の高性能車で、その高加減速性能から「スーパーカー」の愛称で親しまれたが、1983年の昇圧を前に姿を消した。
◎2輌セット(2000系先頭車＋先頭車)
◎2011年9月発売／価格：2,000円
◎発売：京阪電鉄

●阪急3000系2輌編成（初期冷房改造車）

阪急今津線の西宮北口駅〜宝塚駅間が開通90周年を迎えるのを記念したモデル。4連が組めるよう、パンタなし中間車の屋根が付属。
〜阪急今津線（西宮北口駅〜宝塚駅間）開通90周年記念〜
◎2輌セット（3000系先頭車＋中間車）
◎2011年10月発売／価格：2,600円
◎発売：阪急電鉄

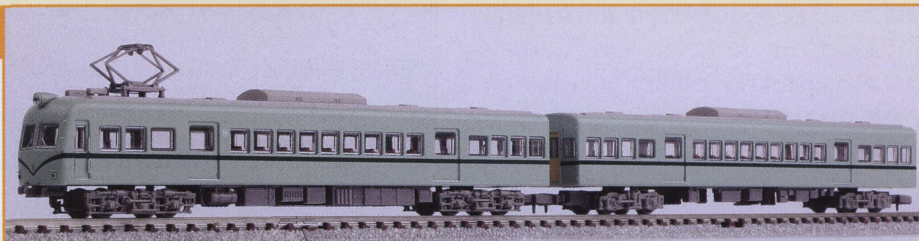
●阪神5311形 2輌セット

各停用の青胴車のうち、角ばったボディを持ち阪神で最後まで残った前面方向板使用車の5311形をモデル化。
◎2輌セット（先頭車＋先頭車）
◎2011年10月発売／価格：2,200円
◎発売：阪神電気鉄道

●大阪市交通局 20系2輌セット

2011年の大阪市営地下鉄特注鉄コレは、中央線開業50周年を記念してグリーンラインも美しい同線の20系をモデル化。
〜地下鉄中央線開業50周年記念〜
◎2輌セット（2900形＋2200形）
◎2011年10月発売／価格：2,000円
◎発売：大阪市交通局

●南海1000系2輌セット

南海（旧）1000系は、1950年代より製造された前面2枚窓・2扉の特急車11001系が1973年の昇圧改造で再編されたもの。
◎2輌セット（1001＋1801）
◎2011年9月発売／価格：2,500円
◎発売：南海電鉄

●下津井電鉄モハ103／クハ24 2輌セット

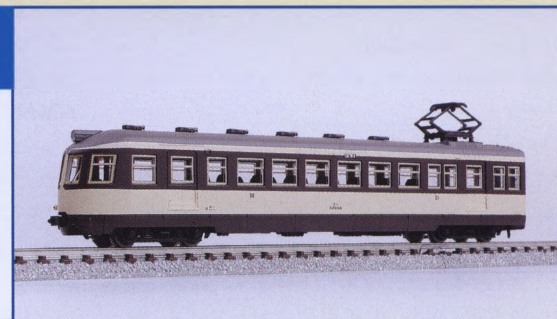
「鉄コレ」始まって以来の762mm軌間ナローゲージのモデルが登場、軌間は5.1mmとされ、現在のところ専用動力や線路はない。
◎2輌セット（モハ103＋クハ24）
◎2011年11月発売／価格：2,500円
◎発売：下津井電鉄

来館記念のお土産に

■発売場所限定品

鉄道関連の博物館の来館記念用として発売される「鉄コレ」も見逃せない。

●リニア・鉄道館展示車両 モハ52形

2011年3月にオープンしたJR東海による車輌展示館「リニア・鉄道館」に保存されている戦前の関西急電の名車・モハ52004を、博物館に保存されている形態で模型化。
◎1輌入（モハ52004）
◎2011年8月発売／価格：1,260円
◎発売：JR東海エージェンシー

活発化するパートワーク

■メディア付録

毎号の付録で鉄道模型レイアウトを作る雑誌にも「鉄コレ」が同梱されることがある。

●講談社『鉄道模型少年時代』付録 里山交通キハ1501（フリー）

講談社刊『鉄道模型少年時代』。の75巻付録として、第10弾の羽後交通キハ3をベースとした正面2枚窓のフリー気動車が登場。
◎2011年3月発売／商品付録（1輌）
◎発売：講談社

メーカー担当者に聞く…！

2011、メーカー別モデル・オブ・ザ・イヤー MODEMO編

小型車に特化したラインナップで、Nゲージ界に確固とした地位を確立したMODEMO／ハセガワ。清潔感のあるモールドは同社ならではの作風です。2011年は少々抑え目の開発ペースでしたが、100作を越えたラインナップで、新たな境地を突き進む同社の、鉄道模型部門に関わる皆さん(以下M)にお話を伺いました。

（まとめ：編集部）

N-gauge Informationの投票による 2011 MODEMO製品ベスト5

（コメント：編集部）

第1位 広島電鉄 5000形 "グリーンムーバー"
開発が難航したようで発売は年末近くまで遅れましたが、見事1位を獲得。とにかくプロポーションとディテールは最高の仕上がり。同社初のLRVにふさわしいものでした。

第2位 江ノ島電鉄 10形
…江ノ電現有形式で最後の未発売形式だった10形。塗装・印刷が極めて冴えており、江ノ電の大トリを飾る看板車にふさわしいモデルだったと言えるでしょう。

第3位 江ノ島電鉄 100形 "108号車"
…MODEMO・NTシリーズの初期作である江ノ電タンコロが改良品となって登場。下廻りが落ち着いた印象になり、可愛らしさ満点です。

第4位 箱根登山鉄道モハ2形 "青塗装 108号車"
…数年前に「夢の2輌編成」として発売された「青塗装」が、初めて正規の1輌単体で発売。大型ライトが再現されたのが嬉しいポイント。

第5位 京福電鉄 モボ621形 "京紫塗装"
…非常に人気の高い京都・嵐電に登場した新標準塗装。模型でもその美しさを見事に再現してありました。

MODEMOが考える 2011新製品ベスト5

第1位	江ノ島電鉄 10形
第2位	広島電鉄 5000形 "グリーンムーバー"
第3位	江ノ島電鉄 100形 "108号車"
第4位	京福電鉄 モボ621形 "京紫塗装"
第5位	箱根登山鉄道モハ2形 "青塗装 108号車"

RMM：まずは、昨年一年間のNゲージ市況の、御社なりの分析などをお聞かせください。

M：震災の発生で市況が大きく冷え込み、その余波は鉄道模型業界にも少なからず影響を及ぼしていると言わざるを得ません。海外生産が主な弊社としても、円高の恩恵よりも原材料の高騰や現地の人件費の度重なる値上がり等の問題もあり、複合的な諸問題に対応する難しい状況です。

RMM：なるほど、そんな中でも印象的な新製品が数々ありましたが、NGIでのユーザーランキングではダントツの1位となった広電グリーンムーバーが、御社では2位となっているのが不思議と言えば不思議ですが…。

M：大型アイテムであるグリーンムーバーの開発難航の影響が中盤以降に大きく影響したことは否めません。その意味があって弊社のランキングでは敢えて2位と致しました。

RMM：それでは、御社が1位に挙げられた江ノ電10形からお話を伺います。

M：NTシリーズ内でも看板シリーズと言える江ノ電車輌ですが、この10形の発売で現行形式は全てコンプリートできたので、弊社としても感慨深い製品となりました。特徴ある車体色と細密な印刷、定評のある連接構造による走行性能といった要素を高いレベルでまとめることができ、おかげさまで好調なセールスも記録しました。

RMM：それでは、次に難産であったグリーンムーバーですが…。

M：弊社NTシリーズでは初のLRV車輌で、なおかつ5車体の連接構造という全てにおいて新しい試みとなった製品ですが、予想以上に開発は難航し、発売日も度重なる延期になったことをこの場をお借りして深くお詫び申し上げます。過去に例のない5車体4連接、中間車体は吊り下げ式という特異な編成のため、構成する部品が多い分生産時の個体差が大きく出てしまい、品質管理と生産スケジュールに多大な影響を及ぼしました。この点、想定外だったことが悔やまれます。

外観は近代車輌らしい精密でシャープな彫刻とスタイルを目指し、塗装印刷にもこだわった内容となっています。走行面でも、R140のS字カーブも通過可能です。ただ、カーブ走行性能と、編成の直線への復元というのは相反する要素で、何とかバランスを取りましたが、量産時に個体差が出やすく、出荷した製品にも走行性能や外観のばらつきが出てしまったことが今後の課題として残りました。

RMM：それでも、多連接車体で例えばS字カーブを走る姿などはとても魅力的でしたね。果敢に挑まれた御社の姿勢は高く評価されると思います。

M：そして3位の江ノ島電鉄100形ですが、単行の小型車輌こそMODEMOのスタンダードという自負のなかで、従来製品もリニューアルしていきたいという方針で開発したアイテムです。近年の技術で車輪や足廻りの小型化と各種ライトの点灯という要素を盛り込むことができました。

次いで4位は京福電鉄の"京紫塗装"で、これは実車の車体色がリニューアルされたことにより、弊社のラインナップでも再現したいという狙いです。実車は深みのある微妙な色合いの京紫と言われる車体色で、模型でその雰囲気を再現することに苦労しましたが、実車取材も併せて行なうことにより上手く再現することができました。

最後、5位は箱根登山鉄道モハ2形"青塗装"で、これは箱根登山単行車輌シリーズの第2弾として発売しました。両側点灯式のヘッドライトは大型のものを新規部品で追加して実車の雰囲気を充分に伝えるものとなっています。

RMM：今後の新製品についてですが、都電9000形の登場が予告されています。

M：都電9000形はもはやNTシリーズのスタンダードになりつつある小径車輪を採用して実車さながらの車高を再現し、更にフライホイールを装備して走行性能の向上を図った製品となります。

RMM：路面電車以外のNTシリーズ、もしくは何か新展開などの予定はありますか？

M：NTシリーズ以外の展開は現状において手一杯感がありますが、2012年内に何かしらの発表ができると思います。現状はNTシリーズで新規開発アイテムを順次投入するなかで、年間アイテム数もなるべく改善して増やしていき、従来ラインナップの拡充と今までに製品化していない路面電車路線の製品化の2本立てで進めていきます。

RMM：大手2社から相次いだ路面電車用レールシステムは、NTシリーズの展開に影響を与えているでしょうか。

M：路面電車用レール等が他社様から発売になることは、ジャンルの裾野を広げるという意味で追い風になっていると思いたいところです。どちらかといえばレトロな路面電車に関しては長年続ける中でギミック・外観ともにこだわりを持ち定評のある弊社製品には一定の需要があると思います。従来製品も近年のスタンダードに合わせたリニューアルを積極的に行なっていきますので、今後もMODEMOブランドをよろしくお願い致します。

RMM：本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。

▲NTシリーズ内でも屈指の大型アイテム、広島電鉄5000形"グリーンムーバー"。

気動車 DIESEL CARS

各メーカーによって、新旧さまざまな形式が送り出されている気動車モデル。2011年は特にキハ40系列の製品化がメーカー問わず賑やかで、最後の多数派国鉄型一般気動車として注目度が上がってきていることと、多彩なバリエーションを持つ車輌だけに、これらを追いかけるかのように、様々な形態・塗装の製品花ざかりとなりました。また定番的形式のリニューアル品も登場するなど、常に動きのある魅力的なジャンルとも言えそうです。

ベーシック編

キニ28　首都圏色／キユニ28　首都圏色

〔マイクロエース〕

52053289（キニ28）

★国鉄郵便・荷物輸送の晩年を飾った、キハ40系スタイルの気動車2形式のモデル。
★キユニ28・キニ28は老朽化した郵便・荷物気動車の代替のため、余剰のキロ28の足廻りを流用しキハ40系タイプの車体を新造したもの。1970年代末から登場したが、1986年の郵便・荷物輸送廃止で姿を消した。
★キニ28は既発売のキニ58（2エンジンのキロ58改造車）に近い形態だが、一部窓配置の異なる側面は専用金型で、もちろん床下は1エンジン仕様。キユニ28は2004年発売の標準色（クリーム＋朱色）に続くカラーバリエーション。いずれもM＋Tの2輌入。
★側面にはタブレットキャッチャーが別部品で取付済。方向幕シール付属、ヘッド・テールライト点灯（ON／OFFスイッチ付）。

〔価格〕
●塗装済完成品
2輌セット：各10,815円

〔セット内容〕
■キニ28：キニ28 1（M）＋キニ28 2
■キユニ28：キユニ28 10（M）＋キユニ28 22

■キユニ28

■キニ28

キハ37（登場時）／キハ37+38（新久留里色）

〔マイクロエース〕

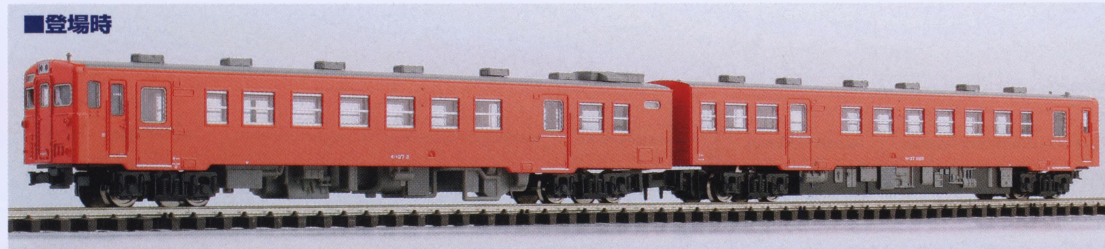
52017897（登場時）

★国鉄末期の一般型DCキハ37。1983年、地方線区の低コスト・高効率化のため登場するも量産には至らず、現在は久留里線に3輌のみ残る。この異端児が2種の姿で製品化。
★「登場時」は0番代＋1000番代（差異は便所の有無）の同形式2連。非冷房で、車体は首都圏色と似て非なる赤11号（急行型の窓廻り色）の一色塗り。
★「新久留里色」は細かなストライプの入る現行塗装で、台車はグレー。こちらは冷改済の1000番代とキハ38（同塗色で発売済だが、番号を違えてある）のセット。
★製品は裾絞りなし高運転台の特異な車体をよく再現。キハ30との混結も楽しみたい。
★前・尾灯は全車装備（消灯可）。フライホイール搭載。各々異なる行先ステッカー付。

〔価格〕
●塗装済完成品
2輌セット：各10,290円

〔セット内容〕
■登場時：キハ37 2＋キハ37 1003（M）
■新久留里色：キハ37 1002（M）＋キハ38 3

■新久留里色

■登場時

キハ40 700番代+ナハ29000「バーベキュー列車」〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52028093

★北海道のキハ40系の中でも異色の存在のひとつ、車内でバーベキューを楽しめる「バーベキュー列車」が製品化。
★製品はワキ10000改造の「バーベキューカー」ナハ29000と専用塗色のキハ40×2の3輌編成。ナハは側面客扉がなく窓の大きい29001で、平滑な大窓、別パーツの側面レリーフなど小さいながら見どころある仕上がり。尾灯は非点灯ながらクリアーレンズ入。内装は茶色の成型色なので、適宜手を加えたい。
★キハ40は既存の酷寒地向け車の塗装変更。屋上水タンクは撤去された状態。
★キハの前・尾灯が点灯(消灯可)。同社製室内灯・マイクロカプラーはキハのみ対応。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌セット：14,175円

〔セット内容〕
■キハ40 1792(M)＋ナハ290 01＋キハ40 1796

キハ40「四代目鬼太郎列車」「新・ねずみ男列車」〔マイクロエース〕

★「妖怪の町」境港へと走る境線の象徴「鬼太郎列車」。新たに現行仕様2種が製品化。
★実車は「ゲゲゲの鬼太郎」作者・水木しげる氏が鳥取県境港市出身なのにちなみ、境線の気動車に装飾を施しているもの。1993年初登場以降、数度の絵柄変更を経ている。
★キハ40 2118「四代目鬼太郎列車」は2009年10月にお目見え。朱色の地を残していた先代に対し、全体に青ベースの絵柄をラッピング、前面窓廻りは黒とされてまったく異なるイメージとなった。
★キハ40 2115「新・ねずみ男列車」は2010年3月からの姿。「鬼太郎」と同系のデザインで、こちらは黄色基調。
★いずれも発売済の先代と同番・同形態ながら、より細かくなったラッピングで存在感は充分。既存の歴代「鬼太郎列車」と併せてコレクションしてみても面白いだろう。いずれもM車で、行先ステッカーが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品：各7,245円

■四代目鬼太郎列車

■新・ねずみ男列車

キハ47 JR四国色タイプ／九州色タイプ〔マイクロエース〕

★JR各社で活躍し、エンジン換装や冷房化などの改造によりさまざまなバリエーションが存在するキハ47。同形式を各種発売してきたマイクロエースのラインナップに新たに2種が追加された。
★JR四国色タイプは冷房改造された姿で、トイレ付き0番代2輌、トイレなし1000番代と1500番代各1輌からなる4輌セット。このうち国鉄時代に新潟地区から転属した寒冷地用1500番代は空気バネ台車のDT44・TR227を履いており異彩を放つ。
★一方の九州色タイプは0番代の300PSエンジン換装型である8000番代、寒冷地用1500番代をエンジン換装の後に2軸駆動化した希少車4500番代を含む4輌セット。ベンチレーター撤去やクーラー放熱器から伸びるダクト(8000番代)など、原形と異なる屋上が見どころ。4500番代の台車は四国色セットの1500番代とは外観の異なるDT44A・TR227A。
★製品名に「タイプ」とあるのは、金型共用の関係で実車の改造による形態変化が一部再現されないため。
★全車のヘッド・テールライト、行先表示が点灯(ON／OFFスイッチ付)。動力はフライホイール付き。先頭車のダミーカプラーは左右にジャンパー栓が表現されており、中間先頭車用のダミーカプラー化とステッカーが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット：各17,850円

〔セット内容〕
■四国色：キハ47 117＋キハ47 1088(M)＋キハ47 115＋キハ47 1504
■九州色：キハ47 8087＋キハ147 53(M)＋キハ47 8088＋キハ47 4509

■JR四国色タイプ

■九州色タイプ

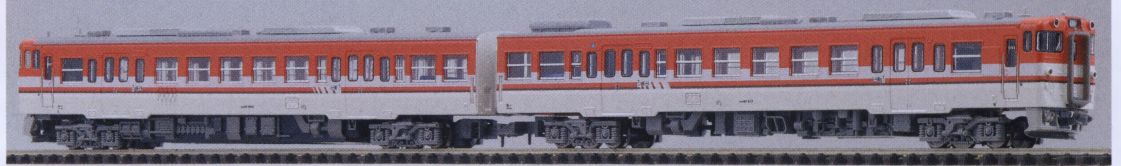
キハ40 1000番代(烏山色+標準色)キハ47 500/1500番代(新・新潟色)

〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52050201(新潟)

■烏山色+標準色

■新・新潟色

★豊富なカラーバリエーションが身上のキハ40系から、また新たな塗色が製品化。
★烏山線用の便所撤去車1000番代は、「風っ子」セット収録の首都圏色に続く製品。同線標準の緑ストライプ塗装と、2010年に登場した国鉄気動車一般標準色風(新製時は首都圏色で、復元ではない)塗装の2輌セットで、グレー台車の現行仕様。側面ルーバーなど一部ディテールは印刷表現。サボや各種表示、七福神のマークも印刷済。
★キハ47「新・新潟色」は、1999年に採用、近年の新潟地区の更新車に用いられている赤系塗色。製品化済の新潟色とは並存しており、混結も自然。寒地仕様の500・1500番代で、屋上に付くクーラーとダクトがポイント。
★各セットとも、2輌編成時の端部にはジャンパー栓等を表現したスカート、ダミーカプラーを装備(交換用アーノルトカプラー付属)。

〔価格〕
●塗装済完成品

烏山2輌セット:12,075円
新潟2輌セット:10,815円

〔セット内容〕
■烏山:キハ40 1001(M)+キハ40 1003
■新潟:キハ47 517+キハ47 1515(M)

キハ40系(旧JR北海道色)

〔TOMIX〕

■単品(M車)

▲緑色タイホン(左)とグレータイホン

★TOMIXのキハ40系にカラーバリエーション。爽やかなJR北海道色が発売された。
★製品の塗色は、窓下の2色の帯が離れており、幕板の帯が緑色の旧バージョン。1990年代初頭に見られた姿だ。
★基本的には既発売の酷寒地向け車の塗装変更。レギュラー製品のキハ40単品(M車のみ)のほか、キハ48 300番代を含む3輌セットも限定品として発売。
★別パーツのタイホンは、塗り分けにかかるためグレー・緑の2色入り。好みで選択する。こだわる向きは実車通り塗り分けてもいいだろう。車番インレタも新規品が付属。

〔価格〕
●塗装済完成品

3輌セット :16,590円
キハ40 100番代:7,350円

〔セット内容〕
■3輌セット:キハ48 300(M)+キハ48 300+キハ40 100

■限定3輌セット

キハ47 0番代 首都圏色/「アクアライナー」

〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから!
52054926(首都圏M)
52054927(首都圏T)
52054925(アクア)

★ロングセラーのKATOキハ40系に、初の新規金型による追加バリエーションとして0番代が登場。
★既発売の1000番代と異なる便所付の車体、水タンク付の屋根が新規品だが、ディテールレベルや装備は既存製品を踏襲しており違和感なく編成へ組み込める。別付の列車無線アンテナが付属(要開口)。
★所属標記は伝統の「関スイ」から「福フチ」に変更。同時再生産となるキハ40系各製品も各地の標記に変更される(価格は不変)。
★併せて、2008年に登場した香椎線用「アクアライナー」塗色も2輌セットで発売。通風器撤去後の屋根が専用に起こされ、以前の「アクアエクスプレス」を思わせるロゴもシャープに印刷。各種表示シールが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
首都圏色M付:4,200円

首都圏色Mなし :1,785円
アクアライナー2輌セット:6,300円

〔セット内容〕
■アクアライナー:キハ47 78(M)+キハ47 79

■首都圏色

■「アクアライナー」

キハ40000

〔津川洋行〕

★1998年に動力なしのアクセサリー車輌として発売された津川のキハ40000が、自走できる動力車となってカムバック。
★動力は両台車にそれぞれ小型モーターを直結し、各1軸を駆動。先の銚子デキ3の動力を2個付けた格好で、両台車は結線されず独立して駆動する。動力は分売もされる(動力ユニットTU-KIHA40000:5,250円)。
★車体はアクセサリー版と同様で、新製時のぶどう色、国鉄旧標準色(青)、標準色(朱)の3色を発売。以前のぶどう色製品に入っていた赤帯はなくなった(実車も当初から無し)。

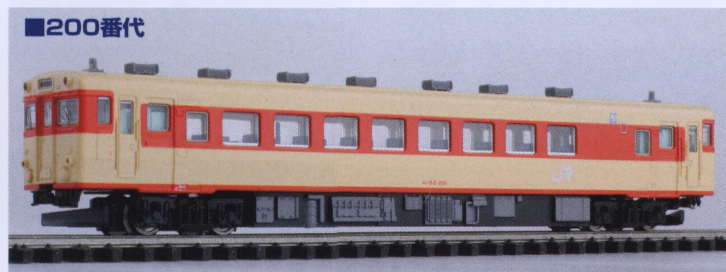
〔価格〕
●塗装済完成品:各7,980円

■鉄道省色、旧標準色、標準色

キハ53 200番代(東日本)/500番代(北海道)/1000番代(西日本)

〔マイクロエース〕

★急行型改造タイプの2エンジン両運車・キハ53がプラ完成品で初登場。
★製品はキハ53のうち、急行型キハ56・58の両運化で誕生したもの。キハ58改造の東日本向け200番代・西日本向け1000番代、キハ56改造の北海道向け500番代の3タイプ。
★意外にも、平窓スタイルの純粋な「キハ58顔」は同社初。いずれも国鉄急行色で、JRマークと無線アンテナの付く仕様。
★細部の作り分けには力が入っており、種車による窓寸法の差、冷房の有無や屋上機器配置、窓埋め箇所の違い、尾灯やタイホンの形態差など、各車専用ボディで再現。ジャンパーホースは別パーツで取付済。
★前・尾灯点灯、フライホイール搭載動力。カプラーは両側ともダミーで、交換用アーノルトタイプ1個付き(マイクロカプラー対応)。
★車番・標記は印刷済。方向幕・サボステッカーは3種共通。

〔価格〕
●塗装済完成品:各6,930円

■500番代

■200番代

■1000番代

JR東日本 キハE130/キハE131・E132

〔マイクロエース〕

■キハE130

■キハE131・E132

★マイクロエースからキハE130系がNゲージ完成品として初の製品化。
★実車は2007年に登場したJR東日本の新世代一般型気動車。車体はE231系ベースの軽量ステンレス製で、通勤通学輸送にも配慮した片側3扉。形式は両運転台のキハE130と片運転台のキハE131+キハE132があり、両者で側面のカラーリングが異なるのも特徴。各形式13輌全車が水郡線に投入され、従来からのキハ110系を置き換えた。
★製品構成はキハE130 2輌セットとキハE131+キハE132 2輌セットの2種。キハE130の連結面側はスカートの形状を損なわないよう車体マウントのアーノルトカプラーを装備している。
★車体のステンレスは部位による表面処理の違いも再現、窓ガラスは客窓部を熱線吸収の青色ガラスとし、床下機器は消音器を銀に塗り分け、消火器には赤字のレタリング入り。
★各運転台上部のヘッド・テールライトのほか行先表示部も点灯。動力車、付随車問わず運転台毎にON/OFFスイッチが付き、動力はフライホイール搭載。
★付属品としてLED表示用シールと、ダミーカプラー交換用のボディーマウント伸縮式アーノルトカプラーが付属。

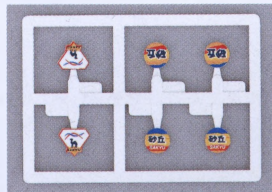
〔価格〕
●塗装済完成品

キハE130・2輌セット　:10,500円
キハE131・E132・2輌セット　:10,290円

〔セット内容〕
■キハE130:キハE130-8+キハE130-9(M)
■キハE131・E132:キハE131-5(M)+キハE132-5

キハ58 急行〈砂丘〉 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52040379

★TOMIXキハ58シリーズのひとつ、急行〈砂丘〉セットが現在の水準へと改良され再登場。
★急行〈砂丘〉は津山・因美線経由の岡山〜鳥取間の陰陽連絡急行として活躍。1997年に智頭急行の開業によって登場した特急〈いなば〉に発展する形で廃止となった。
★今回の改良は既に発売のキハ58一般型同様のもので、前面種別幕が差し込み式(「急行」表示で2種類を用意)に変更されているのが大きなポイント。
★動力はフライホイール搭載となり、標準装備のボディマウントTNカプラーはSPタイプを装備。
★半室グリーン車のキロハ28 100の室内は2色で再現。側面にシンボルマークを印刷。キハ65では運転台後部ドア窓の塞がれた様子を再現。
★〈砂丘〉ヘッドマークは3種類が付属。
★初回限定特典としてトミーテック「部品模型シリーズ」の信号機テコ(おもりあり黄)が付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット：19,950円

〔セット内容〕
■キハ58 7200＋キロハ28 100＋キハ65＋キハ58 7200

▶付属ヘッドマーク。

キハ58系「あそ1962」 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053188

★九州地区のキハ58系のラストを飾った「あそ1962」がTOMIXから限定品で登場。
★実車は2006年、〈SLあそBOY〉運転終了の後を受けて登場。列車名は編成中のキハ58 139の製造年(1962年)が由来で、内外装は昭和30年代ムードを指向し大幅改装された。2010年引退時点では、九州地区最後の現役キハ58系であった。
★黒に近い焦げ茶という暗い色調ながら、製品ではツヤのある塗装と金帯・ロゴの精緻な印刷でノーブルな美しさを演出。座席パーツは茶色、床下機器・台車は濃灰色成型。
★既存のHGキハ58系がベースだが、JR九州らしく平窓車ながらスカートが付く。キハ28用の通風器なし屋根板、床下のトイレタンクは新規品。
★車番は印刷済、前面愛称幕やアンテナも取付済で、付属品は幌枠・排障器ぐらい。

〔価格〕
●塗装済完成品
2輌セット：11,550円

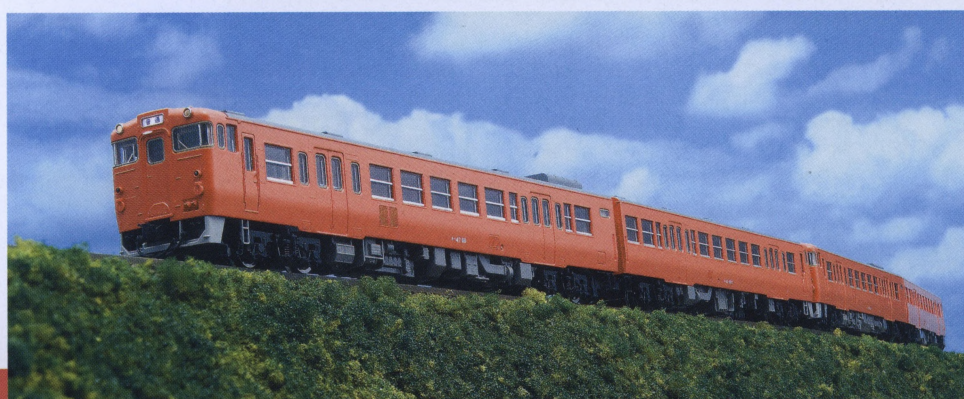
〔セット内容〕
■キハ58 139(M)＋キハ28 2401

JR九州キハ71系〈ゆふいんの森〉 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52017885

★マイクロエースの〈ゆふいんの森〉に、「4連＋更新前」バージョンが加わった。
★年代的には4連化後の1990年代初頭の設定。ミニギャラリーがあったため窓の少ないキハ70 2がポイントで、モデルでは同車の車体が新調された。
★他車は2006年発売の3連仕様から大きな変化はないが、スカート廻りの色差しの追加、動力ユニットカバーのブラックアウトなど細かな改良点も見られる。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット：16,275円

〔セット内容〕
■キハ71 1＋キハ70 2＋キハ70 1(M)＋キハ71 2

キハ65 800·1800番代「エーデル北近畿」タイプ／700·1700番代〈だいせん〉

〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52022358（エーデル）
52022361（だいせん）

★マイクロエースの「エーデル」シリーズに新アイテムが追加。
★800·1800番代「エーデル北近畿」は、「エーデル丹後」「エーデル鳥取」に続くエーデル第3編成。「鳥取」車に似ているが塗色と側窓の縁形状が異なり、連結器は3編成中唯一密連化されなかった。製品は「鳥取」車の車体流用で、側窓が実車と異なるため「タイプ」を冠する。
★大阪～米子間の夜行急行〈だいせん〉は、1999年の気動車化から廃止までエーデル車で運行。「北近畿」車も使われたが製品は「鳥取」車で、片側展望車の変則編成がポイント。
★いずれもヘッドマークやサボ等はすべて印刷済で、付属品は特にない。

〔価格〕
●塗装済完成品
「エーデル北近畿」4輛セット　：16,800円
〈だいせん〉4輛セット　：17,850円

〔セット内容〕
■「エーデル」：キハ65 801＋キハ65 1811（M）＋キハ65 811＋キハ65 1801
■〈だいせん〉：キハ65 1711（M）＋キハ65 711＋キハ65 721＋キハ65 1701

■〈だいせん〉

■「エーデル北近畿」

JR九州 キハ200「ハウステンボス色／赤い快速／なのはな」

〔グリーンマックス〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52058569（ハウステンボス·M）
52058570（ハウステンボス·T）
52059721（なのはな·M）
52059719（赤い快速·M）

■ハウステンボス色

■なのはな

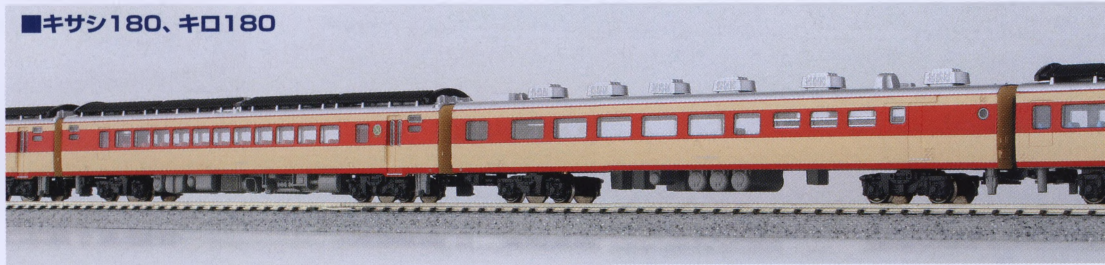
■赤い快速

★話題を呼んだキハ200のニューカラー「ハウステンボス」塗装がグリーンマックスからリリース。
★実車は快速〈シーサイドライナー〉に使用される長崎運輸センター所属の2輌で、2011年2月、前年に塗り替えられたキハ66·67に続いてこの塗色で出場。青を基調とした同所のキハ200の中にあって、白＋オレンジのツートンカラーが異彩を放っている。
★製品は既存のキハ200のカラーバリエーションで、何と言っても「HUIS TEN BOSCH」ロゴの精緻な印刷が魅力。実車は1編成しかないため車番印刷済で、既存のシーサイドライナー色との併結を考慮してかM付·Mなしの2種を用意。
★以前の製品では足廻りがTOMIXのOEM供給だったが、今回品から自社製（キハ150用）に変更。これにより先頭部はTNカプラー標準装備から、ドローバーと対応スカート同梱に変更となる。既存の「赤い快速」、「なのはな」についても、今回同仕様でリニューアル再生産されている。

〔価格〕
●塗装済完成品
ハウステンボス色2輛セット（M付）　：13,650円
ハウステンボス色2輛セット（M無し）　：11,550円
赤い快速／なのはな　2輛セット（M付）　：各12,600円
赤い快速／なのはな　2輛セット（M無し）　：各9,975円

〔セット内容〕
■ハウステンボス：キハ200-14（M付の場合M）＋キハ200-1014
■赤い快速／なのはな：キハ200（M付の場合M）＋キハ200-1000

キハ181系 〔KATO〕

★2010年ついに定期運用から撤退したキハ181系が、KATOとしては初めて製品化。
★製品は〈やくも〉などに活躍した1978年頃の姿で、1971年製のグループ。キサシを含む7輛セットのほか、キサシ以外は単品も用意され、柔軟な編成に対応。
★前面は窓枠一体はめ込みの流麗なパノラミックウィンドウ、交換式の幌・幌枠は同社製キハ82同様。腰部ライトケースは別パーツ。
★本系列の見せ場である屋上の自然通風式ラジエーターは、繊細かつメリハリの効いたモールドで見ごたえある仕上り。
★台車は改造後のDT40B。車輪はディスクブレーキ表現のある新幹線のものを採用。
★全車ボディマウントKATOカプラー(伸縮密自連形)装備。先頭部は別パーツの電連付。
★前・尾灯、ヘッドマーク点灯(消灯可)。マークは交換式で、セットは〈やくも〉〈しなの〉〈つばさ〉〈はまかぜ〉〈しおかぜ〉、単品は〈あさしお〉〈まつかぜ〉〈おき〉〈南風〉および無地が付属。フライホイール搭載。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輛セット　:18,585円
キハ181　:3,150円
キハ180(M) :4,515円
キハ180(T) :1,575円
キロ180　:1,575円

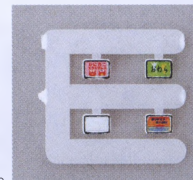
〔セット内容〕
■キハ181-45+キハ180-76+キロ180-13+キサシ180-13+キハ180-77(M)+キハ180-79+キハ181-47

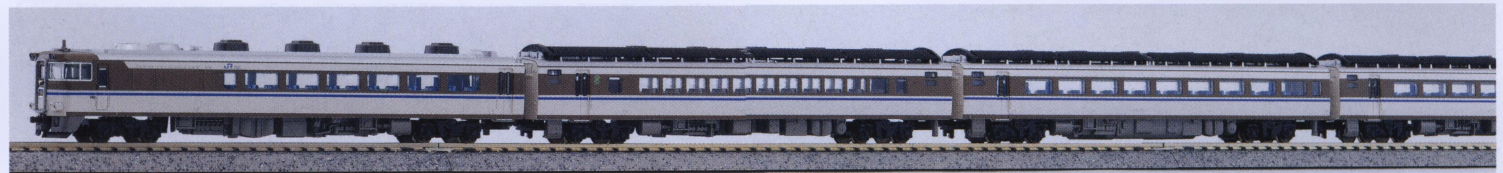
■キサシ180、キロ180

キハ181系〈はまかぜ〉 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52049256

★国鉄色に続き、KATOのキハ181系にJR西日本所属車の晩年の姿を再現したセットが登場。
★実車は1998年より国鉄特急色から塗装変更され、同形式の引退が相次ぐ中最後まで特急仕業で活躍、晩年は〈おわら〉〈かにカニはまかぜ〉などの臨時列車でも活躍したが、2010年にキハ189系に交代する形で定期運用より撤退、2011年2月運転の〈ありがとうキハ181〉をもって引退した。
★製品は屋上のATS-P配管や中間の大型貫通扉窓、非常口閉鎖など晩年の改造部分を新規造型で再現している。
★信号炎管・排気管・電気連結器・無線アンテナはユーザー取付け。前面ホロも選択パーツで付属する。
★ヘッドマークは〈はまかぜ〉の他に〈おわら〉〈かにカニはまかぜ〉「ありがとうキハ181」が付属。ステッカーも対応する側面方向幕のほか、種別サボと号車標記、「ありがとうキハ181」のバリエーションヘッドマークが付属する。
★ヘッドライトON／OFF機構装備。黒色車輪及びフライホイール動力、KATOカプラー密自連形を採用している。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輛セット:17,010円

〔セット内容〕
■キハ181-22+キロ180-12+キハ180-22(M)+キハ180-49+キハ180-36+キハ181-47

▶交換式ヘッドマーク。

JR西日本 キハ187系500番代 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52056794

★2004年に初製品化、カメラカーでもお馴染みのキハ187系に新バリエーション。
★今回製品は、智頭急行経由の特急〈スーパーいなば〉用に作られた500番代がプロトタイプ。既存製品の10番代(〈スーパーおき〉等に使用)とは搭載ATSの関係で一部の窓・扉配置が異なり、実車では智頭急行線内での高速運転用に足廻りも強化されている。
★モデルはこの窓配置の違いを再現。その他は基本的に10番代と変わらず、銀色車輪、中間部アーノルト・先頭部ダミーカプラー(TNカプラー交換対応)、M・T共通の下廻り成型品などシンプルな仕様で低価格に抑えている。
★前・尾灯点灯(常点灯対応、ヘッドマーク非点灯)。屋上アンテナパーツと車番・側面ロゴインレタ、ヘッドマークステッカーが付属する(内容は10番代と共通)。

〔価格〕
●塗装済完成品
2輛セット:7,875円

〔セット内容〕
■キハ187-500(M)+キハ187-1500

長良川鉄道 ナガラ300形

〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52040405（301）
52040406（304）

★樽見鉄道ハイモ295に続く同型の軽快気動車、長良川鉄道ナガラ300形がラインナップ。

★実車は開業時のナガラ1形の代替用に1998年から7輌が登場。ワインレッドの新塗色に彩られ、同線の主力となっている。
★先発の樽見と同型車のため、モデルも同じ金型のカラーバリエーション。室内灯装備、両側ダミーカプラーといった仕様も同様。
★製品では301・304の2種を用意。印刷済の車番のほか車体に描かれた花（301：水仙、304：ツツジ）、行先、別付屋上機器の色が異なる。いずれもM車で、貫通扉に社章が入った近年の姿とされている。

〔価格〕
●塗装済完成品：各6,405円

▲手前から301、303。

智頭急行 HOT7000系〈スーパーはくと〉（1次車／5次車）

〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52042262（1次車）
52042263（5次車）

★近畿と山陰を最高130km/hで結ぶ気動車特急〈スーパーはくと〉HOT7000系。2006年発売のマイクロエース製品が改良再販。
★前回同様、1次車登場時のモノクラス編成と半室グリーン車入りの5次車を用意。
★1次車はナンバーをHOT7001以下トップナンバー中心のものに変更。
★5次車は前回と同番だが、実車のリニューアル（2007～2009年）を反映。座席の色を変更、指定席車はロールカーテン化で設置されたカーテンレールを印刷表現している。
★両者とも動力ユニットは下面がフラットなものに変更。床下のカバーも機器モールド部以外のブラックアウトが施された。車体の銀塗装もよりメリハリが付けられている。
★2セット共通の行先ステッカーが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
1次車6輌セット：23,100円
5次車6輌セット：22,260円

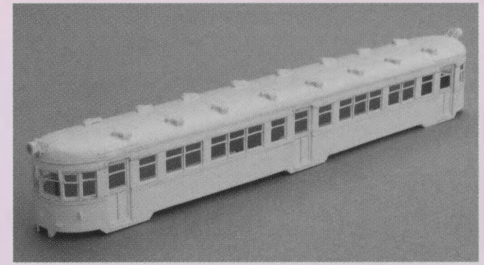
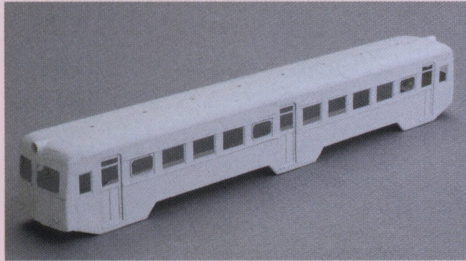
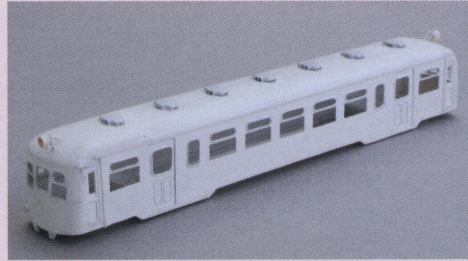
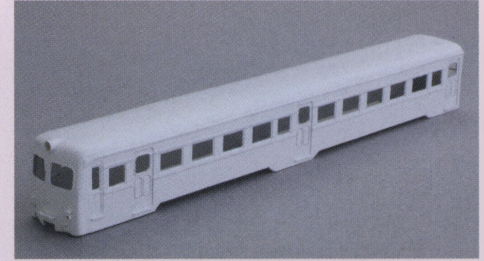
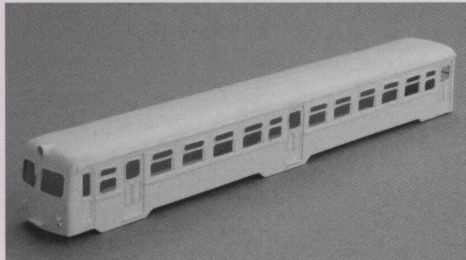
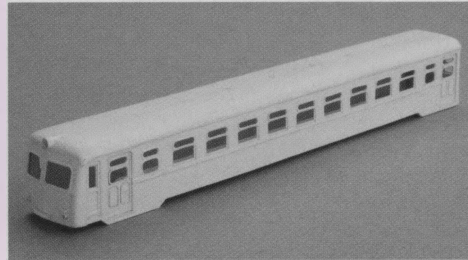
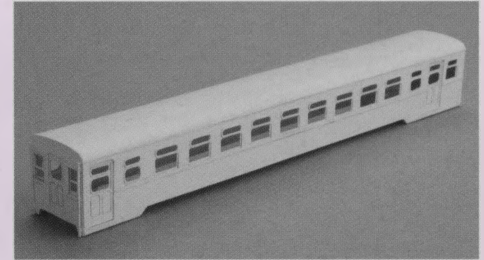
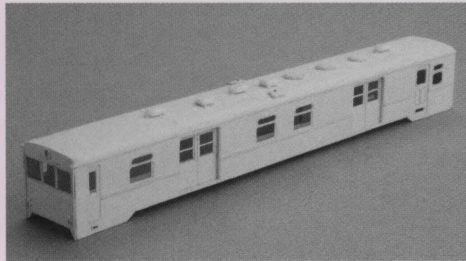
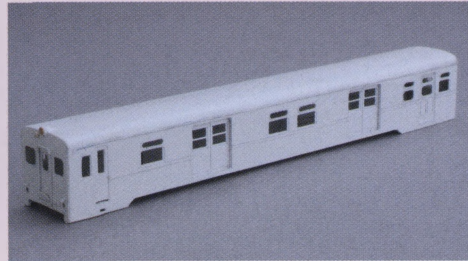
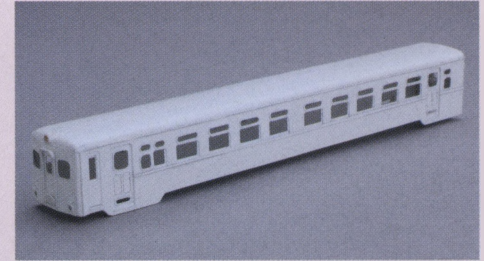
〔セット内容〕
■1次車：HOT7001＋HOT7041（M）＋HOT7031 ＋HOT7021＋HOT7032＋HOT7011
■5次車：HOT7005＋HOT7056＋HOT7046＋HOT7047（M）＋HOT7036＋HOT7015

■5次車

■5次車

エキスパート編

●CAB

自分で切り抜く「ペーパーシート(型紙)」という、工作派ならば腕が鳴る製品を展開するCAB。購入は同社ホームページでの通販対応とされている。

▲キハ42000　楕円形の前面を形どるのがカギ。型紙1,050円

▲有田鉄道キハ250　山鹿温泉鉄道の注文流れ車。型紙1,050円

▲岡山臨港鉄道キハ5001　バス窓のHゴムの切り抜きが要経験。型紙1,050円

▲キハ44000　旧客のような側面が特徴。型紙1,050円

▲キハ44004　キハ44000のバス窓タイプ。型紙1,050円

▲キハ44100　その後の10系気動車に通ずるデザイン。型紙1,050円

▲キハ44200　キハ44100の中間車バージョン。型紙1,050円

▲キニ15　キロハ18改造の郵便車。切妻3枚窓が特徴。型紙1,050円

▲キニ19　キハ19改造の荷物車。気動車スタイルながら切妻の前面が面白い。型紙1,050円

▲キハ17　完成品もある形式だが、ペーパー工作の楽しさを味わいたい。型紙1,050円

▲江若鉄道キニ9　琵琶湖のほとりを走った江若鉄道の、ずらりと並ぶ窓が印象的な1輌。写真は完成見本で、正確な窓抜きとパーツ利用でこれだけのクオリティを出せる。型紙1,050円

▲キハ22　こちらももちろん完成品やキットが発売されているが、シンプルな北海道型の小窓車なので、窓抜きの練習にもよさそう。型紙1,050円

▲キハ43000　1937年に試作され、戦災で先頭車2輌を失った悲運の電気式気動車。3輌編成は圧巻だが、窓抜きの数もまた膨大な量に及ぶ。腰を据えて取り掛かりたい逸品である。型紙3輌セット:2,600円

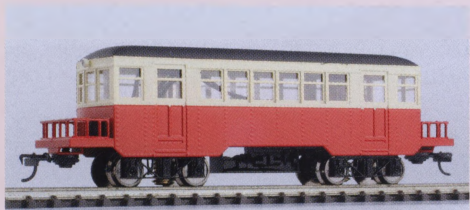
●あまぎモデリングイデア

地方私鉄車輌の真鍮エッチング製キットを得意とする、あまぎモデリングイデアから、私鉄気動車の名車といえる存在が登場。

▶**鹿島参宮鉄道キハ42200タイプ** 東急の名車・キハ1形を出自とした、鹿島参宮鉄道(後の鹿島鉄道)の名物流線型気動車。ホワイトメタル一体で形成された流線型前面の造形が実に見事。キット5,565円

●ワールド工芸

小型モーターを利用した小型車輌の製品化に意欲的なワールド工芸。その可能性を追求した「Nナロー」シリーズとして、軽便気動車の名車が続々と製品化された。いずれも軌間6.5mmとなっている。

▲**静岡鉄道キハD5(Nナロー)** 旧中遠鉄道で1935年にキハ3として製造された同車は、全長11mの平凡なスタイルながら両エンドに備わった荷物台が最大の特徴。キット7,140円、塗装済完成品15,225円

▲**尾小屋鉄道キハ2(Nナロー)** 1938年日立製。両エンドに備わった荷物デッキが目をひく存在のいかにも軽便らしい雰囲気の車輌。同線廃止後は保存会の手により動態保存されている。キット7,140円、塗装済完成品14,490円

▲**西大寺鉄道キハ5(Nナロー)** 自動車の機構をそのまま利用した、機械式2軸ガソリン動車「単端」の代表格。単行はもちろん、トレーラーを牽引する姿も見られた。キット5,775円、塗装済完成品13,125円

▲**頸城鉄道ホジ3(Nナロー)** 1932年に客車の改造にて誕生したその特異な姿は、まさに軽便鉄道を代表する存在。廃車後に人知れず保存され、奇跡の里帰りを果たしたという波乱の生涯もまた注目である。キット5,250円、塗装済完成品14,490円

メーカー担当者に聞く…！

2011、メーカー別モデル・オブ・ザ・イヤー　TOMIX編

国鉄型の車輌に絶対的な強みを持つTOMIX。2011年も蒸機、電機、電車、気動車、客車と各ジャンルの車輌が充実しました。そしてJR型車輌でも新幹線や成田エクスプレスなど、画期的な製品の多い一年でもありました。総合的なホビーメーカーとしてますます輝きを強めている同社の展開について、例年通り企画開発を担当するSさんにお話を伺いました。　まとめ：編集部

N-gauge Informationの投票による 2011 TOMIX製品ベスト5

（コメント：編集部）

第1位　14系「さよなら北陸」セット
…昨年は惜しくも2位となった「さよなら能登」セットのリベンジ!?　見事「さよなら北陸」が1位獲得。同社必殺のさよならシリーズだけに今回も見どころ一杯で、〈北陸〉ならではの個室車も初登場ですし、EF64 1000番代も本セットからの登場となりました。

第2位　N700-8000系山陽・九州新幹線（R10編成）セット
…通常製品を上回って、一度も営業運転には就いていない特殊なラッピング仕様がこれだけ票を集めました。「人と人を結ぶ絆」を象徴するようなあのCMは、震災という悲劇の後だったからこそさらに感動を呼ぶものだったと言えるのでしょう。それをタイムリーにすくい取った企画の勝利。

第3位　C57形蒸気機関車（1号機）
…135号機に続く新生TOMIX蒸気機関車シリーズの第2弾。バリエーション展開とはいえ上廻りなどはほぼ新規製作という手間のかかったもの。専用客車と合わせ、復活蒸機として既に老舗と言える〈やまぐち〉号を再現できるとあって、高い反響を集めました。

第4位　旧型客車（高崎車両センター）セット
…イベント運転に用いられて、若いファンにもなじみのある姿で旧型客車が製品化。スハ43系は同社初登場でもありました。安心して見ていられる完成度だけに、次はC61 20の製品化が待望されます。

第5位　485系「さよなら雷鳥」セット
…485系使用列車として最も長い歴史を誇った〈雷鳥〉。その最後の姿を記録したセットです。通常製品と異なる特定ナンバー車を収録したところが見どころでした。

TOMIXが考える2011 新製品ベスト5

第1位	N700-7000／8000系山陽・九州新幹線通常商品＋R10編成
第2位	189系あさま・GUあさま
第3位	E259系成田エクスプレス
第4位	14系「さよなら北陸」セット
第5位	EF66＋ワム80000（35輌セット）
別　枠	三陸鉄道36形（応援商品）

今や鉄板的人気、「さよなら」シリーズ

RMM：今回も、NGIでのユーザーランキングと御社の挙げるランキングでは、同じものもあり、違うものもあり、それぞれのスタンスでのものの見方があると思いますが、まずは順番に、「さよなら北陸」から詳しいお話を伺いたいと思います。

S：これの目玉はEF64 1000、当社としては昔々に発売していた形式ですが、これを完全新規としてやり直しをしました。もちろん動力も最新式のフライホイール搭載のものとし、これによって同寸法であるEF81の動力もフライホイール化致しました。これらは当然、この後出た単品製品などにも反映されています。客車も、短い編成とはいえB個室、シャワー付きB個室、A個室という〈北陸〉ならではの形式を新開発して含めています。

RMM：なにしろこれらの個室車はモデラーが自作するにしてもなかなか難しい形態のため、〈北陸〉という列車自体の製品化がなにより大きなインパクトでした。

S：お蔭様で販売は非常に好調でした。「さよなら」シリーズも円熟の域に入ってきて、特に新しい機軸というのはそうはないのですが、お客様には安心して楽しんでもらえる、そういうシリーズになってきたと思っています。

RMM：確かに「持っていれば一生モノ、間違いない」という感じがします。毎回言っていることかもしれませんが、「ありもの」をパッケージングするだけでなく、万全の取材体制と可能な限りのリソース投入によって、大変魅力ある商品になっていると言うことができますね。それでは、「さよなら」つながりで「雷鳥」セットのお話も伺いましょう。昨年の3月に最終運転があり、9月に発売だったということは、比較的短期間で製品化に至ったことになります。

S：最終日の最終の大阪発〈雷鳥〉を再現すべく数日前から取材を重ねていました。お客様からすれば、クロ481-2100、広窓のパノラマグリーン車を含めていればもっとインパクトがあったのかもしれませんが、実際には比較的通常製品に近い形態の編成が最終編成として運用されました。関西や北陸に取材に行って感じたことは、大阪における〈雷鳥〉の存在というのは非常に大きなものがあるということです。だからこそ最終大阪発の編成で出すことにこだわりました。新金型として作ったボディはモハ485-500用の1輌分で、洗面所窓付き、非常口なしという形態が特徴でした。あとはシートの色も、1輌だけ違うものがあったことが判明したので、成型色を違えています。485（489）系の「さよなら」シリーズもこれで3作目で、ブルトレとはまた別のスタイルを確立できたかなと感じています。

RMM：今年も残念ながら3月ダイヤ改正では大きな動きがありますが…当然視野に入っている？

S：もちろん検討していますが、全部はできませんので、人気のあるところからやっていこうと思っています。

▲同時に「さよなら」となった北陸行き夜行列車、〈北陸〉〈能登〉。完成度の高い2本の「さよならセット」が相次ぎ、ファンには永久保存版となった。

▲485系使用の最古の特急〈雷鳥〉も「さよなら」となった。通常製品として発売済のため、比較的短期間で発売に至ったのが嬉しいところ。

▲限定品としてR10編成（レインボーカラー）が発売となり、印象的なCM映像と音楽が、模型を走らせるたびによみがえる思いの方も多いことだろう。（写真の車輌は通常製品をベースに加工したもので、製品のR10編成ではありません）

▲復活蒸機として既に30年を超える運行年数となったC57 1〈やまぐち〉。TOMIXの新世代SLシリーズの第2弾となった。

人と人の絆を感じさせたR10編成

RMM：それでは山陽・九州新幹線に話を振りまして、なぜあのように開業とタイムリーに発売できたのか、あるいはしようと思ったのか。そのあたりをお願いします。

S：九州新幹線全通と、東北新幹線の延伸と両方の話があって、そのどちらをやるかという段階になった時、N700系自体は既に東海道・山陽用でベースがあるものですから、開業にも間に合うという見込みも立ち、製品化に至りました。例のCM撮影列車の話も聞き、まだ製品化するかどうか何も決まっていない段階でとりあえずスタッフが取材に行ったのですが、その時「非常にいい感じ」だったという感触を得ました。見た目もきれいですし、ロゴのインパクトも大きかったので、製品化が決定したのです。結果的に震災があってCM自体はほとんど放映されなかったのですが、YouTubeで話題になってDVDも発売されて、九州新幹線になじみのない人にとっても、ある意味あのレインボー編成が象徴的な存在になったので、それが商品化できたことは大きかったと思います。

充実の国鉄型ラインナップ

RMM：では次にC57の1号機。135号機につづく第2弾で、〈やまぐち〉号客車も同時に発売となりました。

S：上廻りなどは完全新規ですし、「TOMIXのSL」というブランドイメージを確立していければと思っています。続いて180号機「ばんえつ物語」号も発売が間近で、だいたい1年に1種類くらいのペースでやっていきたいと思います。こちらも専用客車を合わせての展開です。

RMM：次は高崎の旧型客車。実はこの時に、御社として初めてスハ43系が含まれることになりました。つまり新規性の非常に高いセットでしたね。

S：スハフ32もリベットの違う新ボディでしたしね。今どきの旧型客車ということで、いろいろな機関車に牽かせて楽しめるものとして商品化しました。TOMIXの旧型客車も、ここ数年で急速に、オハ61系、スハ32系、オハ35系、スハ43系と充実してきました。スハ43系はこの後、ブルー塗装で単品発売も予定されています。もちろん時代設定は国鉄時代になるので、形状は作り分けています。

RMM：それでは次に大物189系について。583、485系に続くHGシリーズの国鉄特急型電車ということになりますね。

S：そうですね、14〜5年前の横軽ブームの時も、189系が欲しいという声は多数いただいていながら、当社では出していませんでした。今回碓氷峠をもう一度盛り上げるにあたり、目玉アイテムとして189系に取り組んでみました。同じ〈あさま〉でもグレードアップ編成と通常編成の2種の製品をラインナップしました。最晩年の姿ということで、パンタは1基になり、票差しがなくなり、という姿を再現しています。相棒のEF63も今年になって発売されたので合わせて遊んでいただければ。

RMM：それではそのロクサンのお話もお聞きしましょう。初回発売は1996年、ついこの間のような気もしますが、もうリニューアルの時期なんですね。

S：そうですね、この間動力もフライホイール付きが標準になっていますし、電球色LEDもまだなかった時代でした。今回はそれらを採用し、また外観的にも誘導手スリを別体化しました。前回同様、前面クリーム色部分は別パーツですが、C'無線アンテナ用の穴の有無で2種類のパーツが含まれています。解放テコも別パーツ化です。これらのアップデートによって、また最高クオリティの製品として楽しんでいただけるようになったと思います。

RMM：前回、パンタ下に露出していたライトスイッチを、車体内部に格納しましたね。

S：前回は運転本位で、線路上でも操作できるという感じにしていましたが、今はどちらかというとディテール本位ですし、以前の方法はボディにキズを付ける恐れもあったため、ボディを一度外して操作していただく形に改めました。

RMM：M＋Tの2輌セットという発売形態は以前同様ですね。

S：連結する電車・気動車で1M、機関車で1Mで合計2Mという考え方ですね。次に18・19号機の茶色セットが発売される予定ですが、こちらは青仕様でのクリーム色部分をボディ一体とし、継ぎ目が出ない茶色仕様専用ボディとなります。電車でも489系〈白山〉が続きますので、しばらく横軽関係で楽しんでいただければと思います。

RMM：こうなるとEF62の復活も期待したいですね。

ユニークな展開、いろいろと

RMM：次にE259系、成田エクスプレスはいかがでしたか？

S：残念ながらお客様のランキングにはあまり上位

▲TOMIXでは意外にも初登場となった189系。写真は「グレードアップあさま」で、もちろん今後183系1000番代グループもバリエーション展開されることだろう。

▲90年代後半、実物の廃止と前後したNゲージ界の横軽ブーム。その発端となったのがTOMIXのEF63だったが、早くもリニューアルの時期を迎えた。

▲三陸鉄道応援商品として、売り上げの一部を寄付する形をとった36形ディーゼルカー。パッケージには「鉄道むすめ」のキャライラストもあしらわれ、愛すべきコレクターズアイテムとなった。

に入っていませんでしたが、他社さんが先行していたので、無理もないかもしれません。ただ、TOMIXとして新型特急電車を手掛けたのは非常に久しぶり、確か373系以来のことでしたので、当社としては非常に大きな位置づけの商品だったのです。基本セットを3輌にするというのがまずあり、クロ＋モハ＋クハという構成になるのですが、普通だったらモハを動力車にするところ、諸条件を鑑みてクロを動力車にしてみました。もちろん、推進運転での動力性能も全く問題ありません。

RMM：クロと言っても床下は比較的詰まった形状ですし、元より車内には影響しない方式でしたから、外観上は全く支障はないのですよね。

次にロクロクとワムハチのセットですが…。

S：当時すでにワムがなくなるのではないか、という話がありまして、関西〜中京で走っているワム列車をイメージしたセット構成としました。ロクロクも更新車の塗装ですが今までのものとは違うタイプです。ワムハチのナンバーは、実際に取材に行った時に運用されていたものからセレクトしていますので、少なくとも極めて最近まで生き残っていたナンバーと言えると思います。

RMM：お互いのランキング外の製品について、ED61・62がありました。以前、「ボディはまだ新しいし、展開したい」とお聞きしましたね。

S：動力を共通で使うED75の展開が一段落したので、やってみることにしました。前回製品で共通としていたスカートも専用部品化しましたし、手スリ・解放テコも別体化しました。そしてちょうどクリーニングカーセットも刷新時期だったので、茶色のED61を含めることにしました。D級でフライホイールが大きく走りがいいことも決め手です。こちらのセットに含まれるボディは、手スリも一体の、古い方のボディです。

RMM：同じ電気機関車で、EF60という展開もありました。

S：こちらも動力を共用できるEF65の展開が一段落したところで、出すべきタイミングが来たという感じでした。今も高崎にいる19号機と、国鉄時代の青と茶色の3種類をラインナップしました。19号機は今ライト形状が復元されて1灯になっていますが、当社では国鉄仕様との差別化の意味もあって2灯シールドビームの姿としています。

RMM：ノスタルジックビュートレインで、ノーマルの50系も新しくなりましたね。

S：DE10を新しくした流れの中で、ノスビューが計画線に上がり、展望車はまだ金型が新しかったのですがオハフ50については金型が古く、かえって生産が大変だったため、新しくすることにしました。その流れで通常の50系も、マニ50を含めて刷新することになりました。

届け、東北へ。私たちの思い

RMM：3月の大震災、御社にとって影響はあったでしょうか。

S：計画停電の影響が大きかったですね。成型機や金型の工作機械は途中で止められないので、あらかじめ止めておくしかなく、それで生産計画が後にずれるということがありました。

RMM：なるほど、そんな中、御社では直販形式で三陸鉄道支援モデルを製作し、大きな反響を集めましたね。

S：三陸36形は実車登場直後に製品化したロングセラーですし、私が担当するようになってからも色違いなどの展開があってお付き合いがありました。また、当社の鉄道むすめでもコラボがあったりして、それぞれの担当が三陸鉄道さんに対して何かできないか模索していった中ででき上がった商品です。幸い、初回は想定を超える受注をいただき、年末にかけて追加生産もしています。これで三陸鉄道さんへの多少の支援になれば、非常に意義のあったことだと思っています。

RMM：被災地のことを忘れない、思い出すよすがとして立体物が手元にあるというのは大切なことだと思うので、こういう企画はとても良かったという気がしています。

2012年の展望

RMM：車輌の今後の予定について、お聞きしたいと思いますが。

S：久しぶりの第三セクター鉄道として、北近畿タンゴ鉄道のタンゴディスカバリーを出します。これは意外性のある車輌でしょう。以前のキハ187系の流れに近いもので、ある意味割り切った構成でちょっと価格を抑えた仕様となります。王道的なアイテムでは583系の現在の仕様や、ブルトレの〈日本海〉などが予定されています。

ますます充実、ファイントラック

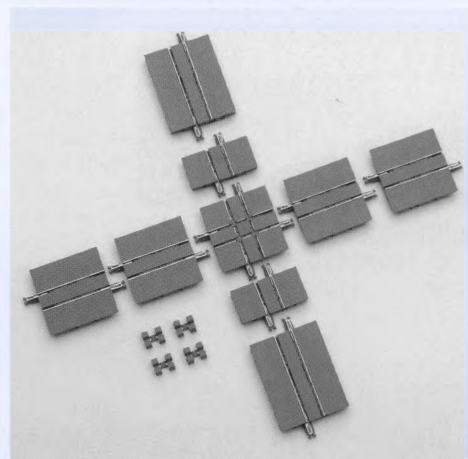
RMM：レール関係では、ワイドPC、ワイドトラムの周辺展開が見られました。

S：ワイドPCでは、より小さなカーブ半径であるR280・317や、ポイントなどに使える付属パーツなどが出ました。今度色灯式信号機も出ますので、より充実していきます。トラムの方ではバス用道路の単品売りも始まり、これと合わせていろいろなことができるようになりました。設計者の頭の中では、もっと多彩なことができるよう考えられているようなので、今後を楽しみにしていてください。近いところでは、複線トラス鉄橋の長いタイプや、コンクリート鉄橋という展開があります。長編成をカッコ良く走らせるのにふさわしいレールとなりますよ。また踏切も新しい仕様で出すことになりました。ワイドPCにも対応可能となります。

RMM：パワーユニットの一番ベーシックなタイプも昨年新しくなりましたね。

S：従来のN-1というタイプから、N-600というタイプになりました。出力も1.0Aと向上して、N-1001に近づいてきています。電源はアダプター方式を採用しました。というのも、トランスが部品として入手しづらくなりつつあるのです。またN-1のワンハンドルタイプのハンドルは使っているうちに緩くなる傾向があったため、今回はダイヤル方式を採用しました。

RMM：なるほど、車輌からレール、制御器まで、マルチに進化するTOMIXですね。本日はありがとうございました。

▲ワイドPCレール用バラストキットの発売により、既存のポイントをワイドPCレール群の中で活用できるようになった。

▲ワイドトラムレールにもクロッシングレールが加わって、プランの自由度が大幅に増した。

▲パワーユニットのベーシックレンジを受け持っていたN-1が、新たにN-600に世代交代。電源がアダプター方式になり、ハンドルはダイヤル式に。

客車 PASSENGER CARS

今春ついに〈日本海〉の廃止が決定するなど、ますますその歴史が風前の灯火となってしまっている寝台客車。一般客車も廃車が進み、いまや「客車列車」自体が希少種となっている感もあります。

一方、模型の世界では現実の反動からか、昨年も多くの形式がリリースされました。特に寝台客車については、長年ロングセラーとして発売され続けた形式を、現代の水準にリニューアルした製品の発売や、メーカーを問わず列車ごとにモデル化したこだわりの製品など、今が黄金期と言っても過言ではない勢いを見せています。

ベーシック編

10系寝台急行〈妙高〉

〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52043138（基本）
52043143（増結）

★同社のEF62前期型にぴったりマッチする客車列車が、KATOから発売。
★〈妙高〉は上野～直江津間を信越本線経由で結んだ寝台急行。モデルは1968年～1978年の間に運行された10系寝台車と43系旧型客車、郵便荷物車で構成された編成。
★新規金型によりスロ60改造タイプのキノコ型切妻を持つマニ37が初登場、屋上ベンチレーターは別パーツとなりメリハリのある屋上を再現。
★オユ10では機関車側妻面のみとなるが点灯式テールライトを初装備。オハフ33では通常品の「茶・戦後型」を青色塗装として組込。通常品のオハネフ12では銀色屋根のものをグレーとし、オロネ10の屋根と濃さを違えている。
★行先・種別・愛称・号車の各サボは印刷済で郵便荷物車には荷物車運番も印刷される。
★付属品には「上野行」行先サボに寝台等級表示シール、基本セットにはナックルカプラーが入る。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌基本セット：11,025円
4輌増結セット：7,245円

〔セット内容〕
■基本セット：オユ10 2572・オロネ10 2073＋オハネフ12 2073・オハ47 2097＋オハ47 2172＋オハフ33 2523
■増結セット：マニ37 2020・オハネフ12 2070＋オハフ33 2550＋オハ47 2026

61系（北海道型）

〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053295

★マイクロエースから、鋼体化客車61系の北海道仕様（62系）が改良再登場。
★2001年発売のセットの改良品で、オハ62・オハフ62・スハユニ62・マニ60（新製車）の4形式からなる6輌セット。車種構成、車番とも前回とまったく同様である。
★仕様は2008年発売の62系4輌セットに準じ、集電板改良による車輪の転がり向上、屋根の黒→濃灰色化、全車の便所窓の白塗り化、標記の書体改良などの変更が見られる。
★大型蓄電池箱など北海道型特有の形態は再現されないが、同社の北海道型蒸機などと合わせて雰囲気を楽しみたいモデル。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット：18,270円

〔セット内容〕
■オハフ62 8＋オハ62 29＋オハ62 32＋オハ62 43＋スハユニ62 1＋マニ60 243

スハ44系〈はつかり〉

〔マイクロエース〕

★復活運転で話題のC61 20の現役時代（東北型重装備）を改良再生産したマイクロエースから、牽引列車として好適なスハ44系〈はつかり〉も再リリースとなった。
★実車は1958年に登場した東北本線初の特急列車で、1960年にキハ81系へ置き換えられるまで、上野～仙台間（常磐線経由）はC62、仙台～青森間はC61牽引によるスハ44系客車で運行された。製品は食堂車がマシ35からオシ17に変更された1959年以降の姿を再現している。
★仕様は概ね前回製品に準ずるが、製品構成は前回の牽引機C61を含む基本7輌と増結2輌から、客車のみの8輌セットに改められ、車番も一部変更。
★側面のサボ、号車札は印刷済。最後尾のスハフ43はテールライト点灯、印刷済のテールマーク（非点灯）を装着。

〔価格〕
●塗装済完成品
8輌セット：16,170円

〔セット内容〕
■スハニ35 7＋スハ44 32＋スハ44 31＋スハ44 26＋オシ17 11＋ナロ10 26＋ナロ10 31＋スハフ43 1

スハ43系／スエ78・スハフ32・オハニ36（JR東日本イベント用客車）〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52055162（スハ43系）
52055163（スエ78ほか）

★様々なイベントや臨時列車で広く活躍する、高崎車両センターの旧型客車を集めたセットがマイクロエースから登場。
★実車は国鉄末期に動態保存用として高崎に集められ、各種イベントに活躍している一群。うちスエ78は戦災復旧客車として最後まで稼働した車輌だったが、老朽化により稼働不能になり2007年に解体された。
★スハ43系は、新規車体を起こして各車の形態差を表現。床下機器も細密化され、オハ47には新規品のTR23台車が奢られる。オハニ36も同じく金型を改修。
★スハフ32・スエ78は新規製作。ウィンドウシルの1段リベットやスハフの大型蓄電池箱、スエの戦災復旧車独特の2段窓や特異な窓配置、屋根の造作も良好な造形。
★後尾車妻面には、現代独特のディテールである妻面に張り出した無線アンテナを再現。近代化車体と三等標記の併存する様子も保存車らしさを醸し出す。
★各後尾車のテールライトはON／OFFスイッチ装備。所属標記「高タカ」をはじめ車体・床下機器に各種標記を印刷済。後尾車用の反射板、各種サボシール付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
スハ43系5輌セット：15,435円
スエ78・スハフ32・オハニ36・3輌セット：12,600円

〔セット内容〕
■スハ43系：スハフ42 2234＋オハ47 2266＋オハ47 2261＋オハ47 2246＋スハフ42 2173
■スエ78・スハフ32・オハニ36：スエ78 15＋スハフ32 2357＋オハニ36 11

■スエ78・スハフ32・オハニ36

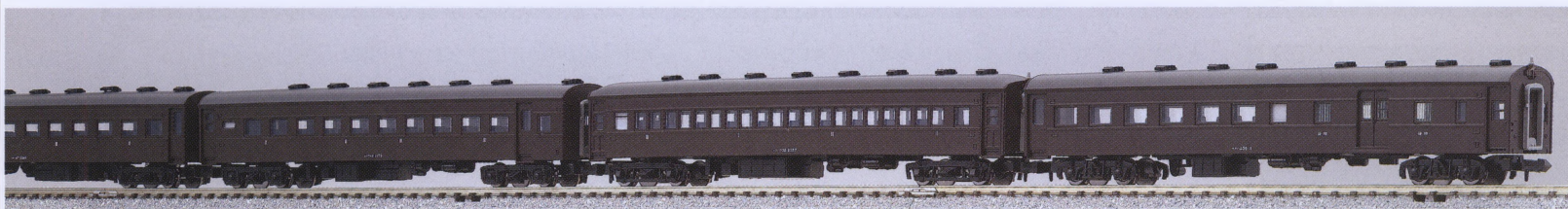
■スハ43系

高崎車両センター旧型客車〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053797

★TOMIXからも様々なイベントや臨時列車で広く活躍する高崎車両センターの現役旧型客車を集めたセットが登場。
★実車は国鉄末期にイベント用としてぶどう色2号を再現した姿で高崎に配属され、蒸機および旧型電機牽引のリバイバル列車で広く活躍。2011年のC61復活に合わせて扉の自動化・便所の近代化・デジタル無線取付などの工事を受け今後の使用にも備えている。
★製品はドア表示灯や汚物処理装備のない少し以前の姿を再現。スハフ32 2357の1段リベットシルやスハフ42 2173のHゴム支持化された便所窓、客扉窓の大小の違いも作り分け、オハ47用のTR23コロ軸受タイプおよび各車のドア窓の大小を作り分けたパーツも新規に製作。
★屋上のベンチレーターは黒色、ホロ枠は灰色で表現。
★スハフ32用の貫通路柵、後部車用の赤色反射板が付属パーツで用意。また、デジタル無線用のアンテナが車体加工用の治具とともにユーザー取付パーツとしてセット。
★後尾車輌の各車掌室側にはON／OFFスイッチ付きの尾灯装備。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌セット：17,850円

〔セット内容〕
■オハニ36 11＋スハフ32 2357＋スハフ42 2173＋オハ47 2246＋オハ47 2261＋オハ47 2266＋スハフ42 2234

お召列車 1号編成（昭和仕様）〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52037577

★KATOのDD54 初期型（お召機）に合わせ、それに従える同社のお召編成が発売。
★今回品は「昭和仕様」と銘打ち、以前発売された平成仕様（1999年改造後の姿）の新1号編成をマイナーチェンジ。基本的な形態は不変だが、供奉車の屋根が布張りを模した濃灰色となり、編成両端の460・461が履く3軸台車TR73が平軸受へと金型変更されている。
★合わせて編成両端の連結器は、KATOカプラーからアーノルトへ変更された。交換用にダミーカプラーも付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
5輌セット：13,650円

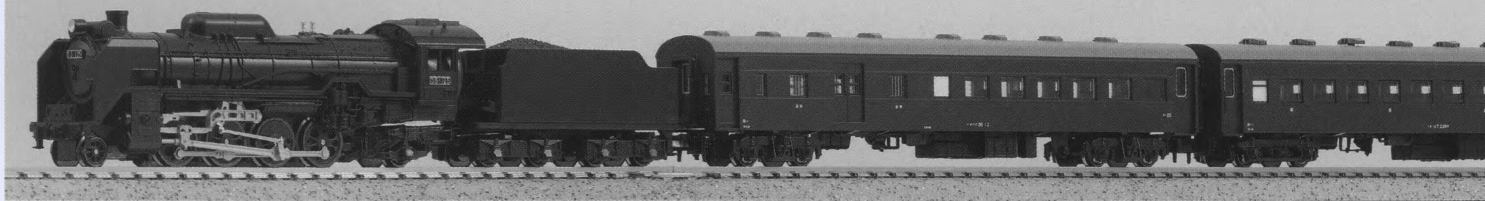
〔セット内容〕
■461＋330＋御料車1号＋340＋460

SL列車セット
〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52040851

★現代の復活蒸機のイメージを手軽に味わえる廉価なセットが登場。
★紙箱入りのセットの内容は標準型D51（従来品）＋旧客3輌。「スターターセット・スペシャル」付属車輌としてリリースされていたバージョンで、車輌単体での発売は初。
★基本的に既存アイテムのアソートで、特定番号を追究したものではないが、客車は更新後の形態でぶどう色、3等標記が入り現代のイベント車らしく演出されている。
★D51のナンバーは選択式。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット：12,390円

〔セット内容〕
■D51（M）＋オハニ36 10＋オハ47 2260＋スハフ42 2233

50系5000番代 快速〈海峡〉
〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52044302

★マイクロエースから、50系5000番代が久々の改良再生産となった。
★実車は1988年の青函トンネル（津軽海峡線）開業に合わせ、料金不要の快速〈海峡〉用に在来の50系、51系客車の改造により誕生。1997年にはカラオケカー・カーペットカーが増結され、2002年の東北新幹線八戸開業によるダイヤ改正まで活躍した。
★前回とはカーペット車オハ50 5004とカラオケ車オハフ50 5010を除き車番を変えてあり、このうちオハ51 36は塗装のみ変更した非冷房車で今回初登場。またオハ50 5005とオハ51 5004は空気バネのTR217交換車で、車輌のバラエティが楽しめる。
★このほか、AU13クーラーの形状を改良。セット構成は前回の6輌基本・2輌増結から8輌セットに改められている。

〔価格〕
●塗装済完成品
8輌セット：18,900円

〔セット内容〕
■オハフ50 5009＋オハ51 5004（カーペット車）＋オハフ50 5010（カラオケ車）＋オハ50 5005＋オハ51 5001＋オハ50 5007＋オハ51 36＋オハフ50 5012

DE10＋50系「ノスタルジックビュートレイン」
〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053794

★「リゾートしらかみ」以前の五能線観光列車であった「ノスタルジックビュートレイン」。TOMIXから2000年に発売されていた製品がリニューアル再登場。
★50系客車は従来品の3輌入りから4輌入りに。オハが抜かれた代わりに展望車が両端につく編成となった。今後発売予定のリニューアル仕様の一般車に先んじての新仕様で、Hゴムがガラス側となり、ベンチレーターも展望車を含め別パーツ化される。
★展望車のロゴは印刷済となり、雨樋の赤色などの色差しも追加された（車番はインレタ式で、ヘッド／テールマークはステッカー）。尾灯は展望車のみ装備。
★DE10もリニューアルを受けた現行製品がベース。スノープラウ・旋回窓装備、扇風機カバーなしの形態で、ナンバーは112・1186・1187・1204が付属。
★各車とも新集電、黒色車輪仕様。ミニカーブ通過対応。機関車には各種別付部品のほか、交換用TNカプラーも付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
5輌セット：17,430円

〔セット内容〕
■DE10 1000（M）＋オハフ50 2500＋オハフ50 2000＋オハフ50 2000＋オハフ50 2500

12系〈やまぐち〉号 レトロ風客車 〔TOMIX〕

★蒸気機関車編で紹介のC57 1〈やまぐち〉号とペアを組むレトロ風客車が登場。
★実車は1988年に12系客車をベースに、旧型客車をイメージして側窓を小型化、シル・ヘッダー風の飾り帯を貼り付け。各車明治、大正、昭和、欧風、展望とテーマを持たせ、車体塗装から内装まで1輌ごとに異なるレトロ調編成として登場。
★新山口寄りオハフ13 701はオープンデッキタイプの展望車化。津和野寄りのオハ12 703にものち密閉型の簡易展望室が付き、2005年のリニューアルで全車ぶどう色2号に白帯の姿に統一され現在に至る。
★モデルは2005年以降の姿とし、オハフ13 701の展望デッキ部の細かな柵も透明プラ一体成型で再現。また旧型車の雰囲気を出すため取り付けられた側窓上下の飾り帯も再現される。
★床下廻りはグレー成型とされ、オハフ13 701の展望側は出荷状態でTNカプラーを装備、アーノルトカプラーと連結するための交換台車も付属する。またオハ12 703にはテールライトのON／OFFスイッチが付く。ワンタッチ取付タイプの〈やまぐち〉号の愛称マークが付く。

〔価格〕
●塗装済完成品
5輌セット：14,490円

〔セット内容〕
■オハフ13 701＋オハ12 701＋オハ12 702＋スハフ12 702＋オハ12 703

12系700番代「ゆうゆうサロン岡山」／「パノラマライナー・サザンクロス」 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52047549（ゆうゆうサロン）
52047550（サザンクロス）

★国鉄～JR移行期に登場した、12系改造による欧風客車2種が同時リリース。
★昨年ラストランを迎えた「ゆうゆうサロン岡山」は、切妻に近いシンプルな展望室が特徴。モデルはJR西日本継承後、延命工事で新塗装となった1990年代半ばの姿。
★「パノラマライナー・サザンクロス」はJR九州発足時に就役するも、同社のジョイフルトレイン全廃を受け7年で引退した短命の車輌。鮮烈なメタリックレッドの塗色で、展望室は平面ガラスながら柔和な表情。
★2編成で全く異なる展望車は、実車の印象をよく捉えた仕上がり。車輌による車内設備や窓・屋上配置の差も細かに作り分けられ、凝った塗装・印刷も乱れなく良好。
★両者とも編成端の尾灯が点灯。テールサインと方向幕は「ゆうゆうサロン」は印刷済、「サザンクロス」はステッカーが付属。端部交換用ダミーカプラーも同梱される。
★別項の専用牽引機も参照。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット：各16,590円

〔セット内容〕
■**ゆうゆうサロン**：スロフ12 703＋オロ12 707＋オロ12 709＋オロ12 708＋オロ12 710＋スロフ12 704
■**サザンクロス**：スロフ12 705＋オロ12 711＋オロ12 712＋オロ12 713＋オロ12 714＋スロフ12 706

■「ゆうゆうサロン岡山」

■「パノラマライナー・サザンクロス」

14系500番代＋スハシ44＋ヨ3500〈SLすずらん号〉 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053300

★SL列車用に整備された北海道の「茶色い14系」がマイクロエースから製品化。
★実車は1999年、〈SLすずらん号〉用に登場。14系500番代を中心に旧〈SLニセコ号〉用スハシ44、後には元〈ノロッコ号〉のヨ3500も組み込んだ賑やかな編成で、塗装は旧客調の茶＋赤帯。〈すずらん号〉運行終了後も道内でイベント列車に活躍中。
★製品はヨ3500追加後の5連。既存アイテムの色替えがメインでスハシ44などはタイプ性が高いが、後端に出るため改造されたオハ14 519の妻面はしっかりと再現（尾灯は非点灯）。スハシの屋根は通風器なし。
★独特なテールマークステーも再現、〈SLすずらん号〉〈SL函館大沼号〉のマークが付属。スハフ・ヨの尾灯は点灯。
★別項の、牽引機のC11も参照。

〔価格〕
●塗装済完成品
5輌セット：17,325円

〔セット内容〕
■オハ14 519＋オハ14 526＋スハシ44 1＋スハフ14 505＋ヨ4350

14系寝台客車「さよなら北陸」セット 〔TOMIX〕

★引退列車の最終日の編成を再現するTOMIX恒例の「さよなら」シリーズの新作として寝台特急〈北陸〉が登場。
★モデルは2010年3月12日上野発、金沢行き最終下り列車をプロトタイプとし、14系寝台車8輌編成と当日、上野～長岡間で先頭に立ったEF64 1052、長岡～金沢間の先頭に立ったEF81 151の牽引機2種からなるセット。
★背部に列車後部のイラストをあしらったブックケース2個と小冊子が、運転区間の名場面を印象的に描いた化粧箱に納められる豪華仕様。
★編成中、B寝台個室車のスハネ14（700・750番代）とA寝台個室車のオロネ14（700番代）は新規品となる。特徴的な車内インテリアも再現され、名物だったシャワー室のマークも印刷される。
★スハネフ14には上級者向けの取付加工の必要な無線アンテナも付属パーツで用意。最終列車の後部を飾った赤色反射板も付属。
★牽引機のEF64 1052は同社としては十数年ぶりの再登場となるEF64 1000番代で完全新規品。前面誘導員手スリ、解放テコ、ジャンパ栓、信号炎管、ホイッスルなどユーザー取付パーツで立体的。
★そのほかフライホイール動力、プラ製のパンタグラフ、シースルーの運転台など現在の同社電機モデルの水準に合致する。
★個体としては黒Hゴム、パンタ下部屋根、モニター黒色、ATS-P標記、長岡の区名札が塗装および印刷され、長岡機関区所属機の特徴を捉えている。
★EF81 151は上記EF64と同等のディテールを持ち、特徴として前面ヒサシ付、ランボードはグレー、TNカプラーによる双頭式連結器を両エンドに装備する。動力もフライホイール化。
★客車の各車番と機関車含めJRマークは印刷済、編成端部のトレインマークはガラス内側に印刷済となる。JRマークも印刷済。

〔価格〕
●塗装済完成品
10輌セット：37,800円

〔セット内容〕
■EF64 1052（M）・EF81 151（M）・スハネフ14 30＋オハネ14 91＋スハネ14 752＋スハネフ14 27＋スハネ14 756＋オロネ14 703＋スハネ14 701＋スハネフ14 20

24系〈トワイライトエクスプレス〉 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52059548（基本）
52059549（増結）

★現代日本を代表する豪華列車のひとつ〈トワイライトエクスプレス〉が、KATOから同社現行ブルトレ製品のレベルで新登場。
★客車のプロトタイプは第3編成。第1・2編成に対し、両者ではスロネフ・スロネの通路側窓割りが大幅に異なるほか、オハ（サロンカー）・スシも種車の違いによりクーラーをはじめ細部に差がある。スロネフは妻面水切り付の現行仕様。
★客車・機関車（電気機関車の項参照）とも銀の細帯が入ったリニューアル塗装。車体色は明るめの表現。
★カプラーは客車の編成中間部がKATOカプラー伸縮密自連形、編成両端と機関車はアーノルト（交換用ナックルカプラー付）。
★尾灯・愛称幕点灯。ヘッドマークはEF81に同機用、客車にDD51用が各2点付属。客車の各種標記・行先（札幌行）は印刷済。
★DD51用のヘッドマークが2点、基本セットに付属。
★初回版限定で、基本セットに実物紹介の小冊子が付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
基本6輌セット：14,700円
増結4輌セット：9,450円

〔セット内容〕
■基本：カニ24 10・オハネ25 513・オハネ25 525＋オハ25 553＋スシ24 3＋スロネフ25 503
■増結：オハネフ25 503＋オハネ25 563・オハネ25 526・スロネ25 503

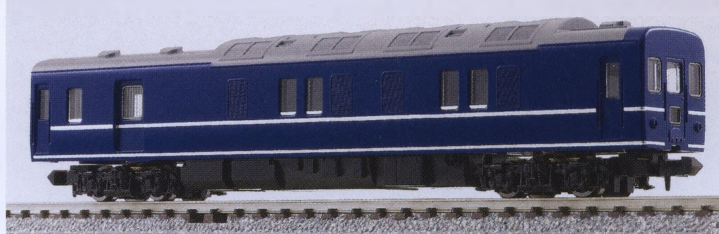
24系24形／カニ24 100番代（M付）

〔TOMIX〕

★多くの仲間を持つ24系客車の第1陣、24形がTOMIXからリニューアル再登場。
★7輌セットと単品の2本立ては従来同様。以前はセットが黒HゴムでJRマーク付、単品が灰色Hゴムの国鉄仕様だったが、今回はセットも後者に統一、JRマークはインレタとなった。ドア部の白帯は省略後の姿。
★セットの電源車は、カニ24からTOMIX初のカヤ24に変更。現行品のカニと同じく室内の発電用エンジンも再現、繊細な屋上ファンとともに見応えがある。
★オハネ・オロネは14系流用だった車体を作り直し、車端の手スリが正規の位置となった。またオハネフ含めクーラーの別体化、車内の2段寝台も表現。
★同時に、カニ24 100番代にM付仕様が登場。先の0番代同様、勾配走行などに備えた補助動力車で、速度は機関車に合わせて調整可能。外観は銀帯車。
★セットとオハネフ・カニに車番インレタ、テールマークシール（セットは機関車用マークも）、ダミーカプラー等が付属。マークと尾灯は中間組込車を除きLEDで点灯。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌セット　：15,015円
オハネフ24：2,625円
オハネ24　：1,680円
オロネ24　：1,680円
カニ24 100(M)：5,250円

〔セット内容〕
■7輌セット：オハネフ24＋オハネ24＋オハネフ24＋オハネ24＋オハネ24＋オロネ24＋カヤ24

■カニ24 100

24系24形〈富士〉（基本セット）

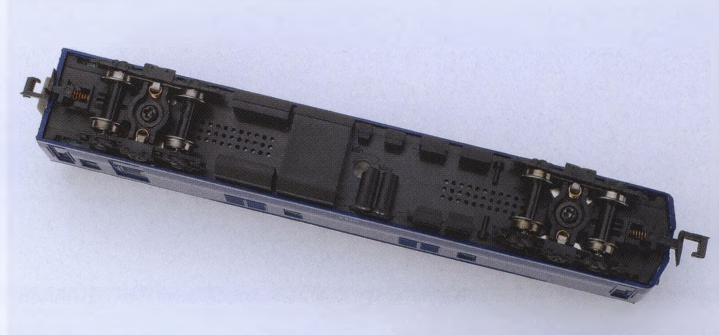
〔マイクロエース〉

鉄道ホビダスはこちらから！
51977954（基本）

★先行して発売されたマイクロエースの〈富士〉増結セットに続き、サウンドシステムが搭載されたカニ24の付属する基本セットが発売された。
★本セットも全車プレーンな白帯・灰色Hゴム。オシ24 0番代は新規品で、室内テーブルに差された白が良いアクセント。
★同じく新規のカニ24（マイクロスカート付初期車）には、新しい試みとしてサウンドシステムを搭載。床下に音量調節スイッチとスピーカーを2基設け、走行用電流を利用して電源車のエンジン音を再生する。
★車番に加え、床下にも各種標記を印刷。文字のみの愛称幕、行先ステッカーが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌基本セット：20,790円

〔セット内容〕
■カニ24 2＋オロネ24 7＋オハネ24 18＋オハネ24 62＋オハネ24 9＋オシ24 3＋オハネフ24 3

カニ24床裏面のスピーカー（左右）と音量ボリューム（中央）

24系25形 100番代〈瀬戸〉

〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52056795

★東京～高松間に運転された寝台特急〈瀬戸〉を再現したセットがリニューアル登場。
★実車は1989年以降にロビーカーや個室A寝台を組み込み、旅客需要の変化に対応した編成。
★製品は電源車組み込みの編成を再現。ロビーカーのオハ25と個室のオロネ25以外は近年のリニューアル製品に準じた室内の2ピースパーツ化が行なわれたもの。
★全車、台車は新集電機構に改められており、床板はTNカプラー対応となっている。
★〈瀬戸〉〈あさかぜ〉のヘッドマーク、車番インレタ、ダミーカプラーおよび交換台車枠、ジャンパ栓および取付治具が付属。増結には25形の単品発売品を使用する。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌セット：15,540円

〔セット内容〕
■オハネフ25 100＋オハネ25 100＋オハネ25 100＋オハ25 300＋オロネ25 300＋オハネフ25 100＋カニ24 100

24系25形 寝台特急〈富士〉

〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52046418（基本）
52046419（増結）

★EF81 300番代、EF65 1000番代とペアを組んだ九州ブルトレの華、24系25形が〈富士〉として完全リニューアル。
★実車は1976年に100番代として登場。オハネフ25の車掌室側が切妻化され、寝台は固定式2段とし寝台部側窓は天地を小型化、同時にA個室寝台のオロネ25も登場している。
★モデルは1970年代後半の〈富士〉をプロトタイプとし、室内には寝台ハシゴや上下寝台を再現。銀帯はモールドの上に銀塗装で表現。車体長もスケール通りに長く改良されている。
★電源車は新規製作のカニ24基本番代。また、浅い後退角の付くオハネフ25の200番代も新規で用意。
★テールライト・愛称幕は7・12号車以外の車掌室端部が点灯。変換式愛称幕は〈富士〉〈はやぶさ〉を文字幕・イラスト幕の2種ずつ収録。側面方向幕は西鹿児島・大分行きの印刷済パーツがはめ込まれる。中間車はKATOカプラー密自連形で編成端部はアーノルトが通常装備。
★その他付属品として機関車用の〈富士〉〈はやぶさ〉クイックヘッドマーク、交換用ナックルカプラー、ジャンパ栓パーツも含まれる。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輌基本セット：14,490円
7輌増結セット：14,175円

〔セット内容〕
■基本：カニ24 17＋オロネ25 6＋オハネ25 119＋オハネ25 137＋オハネ25 122＋オハネ25 129＋オハネフ25 110
■増結：オハネフ25 206＋オシ24 103＋オハネ25 112＋オハネ25 106＋オハネフ25 115＋オハネ25 104＋オハネフ25 113

■増結セット（左からオハネフ25 206とオシ24 103）

■基本セット

24系25形〈北斗星〉混成編成〉

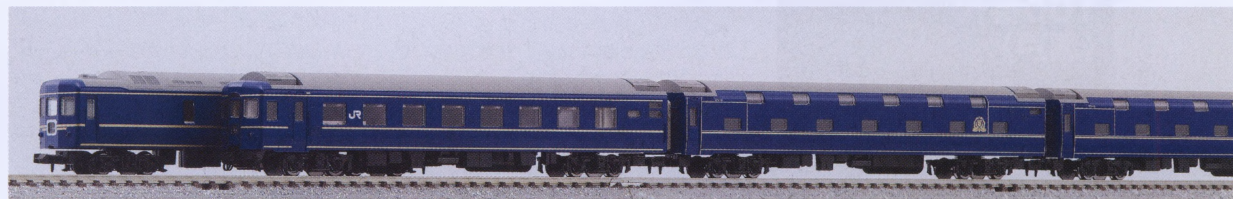
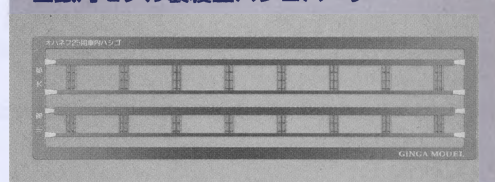
〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52024351（基本）
52024352（増結）

★EF510 500番代の牽引によって注目度の上がる、対北海道列車のスター〈北斗星〉の現行編成がTOMIXからも登場。
★JR東日本、JR北海道それぞれに所属する車輌の混合編成で、個室寝台車中心の豪華編成。
★編成中6号車に位置する半室ロビーカーのスハネ25 500は種車の窓形状が残り、同社〈北斗星〉「北海道セットⅡ」に入る501番とは帯デザインが異なる502番がプロトタイプ。
★ランプシェードの点灯するスシ24は調理室窓一ケ所が埋められた現在の姿。
★ブレーキシリンダーが台車側に取り付けられたTR217も実車通り。またHゴムは各車異なる黒・グレーも再現。
★近年TOMIXのブルートレインに施されるリニューアル事項を踏襲し、カニ24のエンジン、オハネフ25は2段ベッドを2ピースのパーツで再現。車体マウントTNカプラー対応の床板と新集電機構、黒色車輪を採用。
★JRマーク、エンブレムなどは印刷済、車番はインレタによりユーザー貼付、屋上無線アンテナが付属する。
★初回生産限定付属品として銀河モデル製、オハネフ25用寝室ハシゴパーツが付く。

〔価格〕
●塗装済完成品
5輌基本セット：13,020円
7輌増結セット：15,540円

〔セット内容〕
■基本：オハネフ25 0＋オハネ25 560・スシ24 500＋オロネ25 500・カニ24 500
■増結：オハネ25 560＋オハネ25 560＋オハネ25 550＋スハネ25 500・オロハネ25 500＋オロハネ25 550＋オハネフ25 200

■銀河モデル製寝室ハシゴパーツ

ベーシックセットSD トワイライトエクスプレス 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52037483

★TOMIXのベーシックセット最廉価版「SD」に新たなパックが登場。
★今回品では付属の車輌が〈トワイライトエクスプレス〉3輌に。車輌の仕様は通常の3輌基本セットと同様で、増結セットで長編成化できる。
★線路配置は従来の「SD」と同じ1,120×560mmの小判型エンドレスで、もちろん現行ファイントラック。

〔価格〕
●15,750円

〔セット内容〕
■車輌：EF81＋オハネフ25 501＋カニ24 10
■レール：S140×1本・S140-RE×1本・S280×3本・C280×8本
■制御器等：TCSパワーユニットN-1・ACアダプター・D.C.フィーダーN・リレーラー

左からEF81、オハネフ25、カニ24。

JR東日本 E26系〈カシオペア〉 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52027095（基本）
52027112（増結A）
52027113（増結B）

★KATOのEF510 500番代〈カシオペア〉塗装登場に合わせ、E26系客車もリニューアル再登場。
★今回よりE26系客車はKATOのレギュラー商品に冠する「ベストセレクション」製品として刷新。機関車込みの4輌セットが編成の基本となり、各増結セットで発展する構成。
★印刷・塗装の仕上がりも向上、ステンレス部と鋼製部、ドア縁といった質感差を再現。5色の帯もより鮮やかな発色に。トイレタンクも台車枠取付のパーツが追加されボリューム感も増す。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌基本セット　：15,540円
3輌増結セットA：7,875円
6輌増結セットB：13,860円

〔セット内容〕
■基本セット：EF510 500（M）＋カハフE26 1・スロネE27 401・スロネフE26 1
■増結セットA：スロネE27 201＋スロネE27 301・マシE26-1
■増結セットB：スロネE27 1＋スロネE27 202＋スロネE27 302＋スロネE27 402＋スロネE27 101＋スロネE26 1

マニ44（標準色／ユーロライナー）〔グリーンマックス／CROSS POINT〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52057671（1輌）
52057670（2輌）
52057669（4輌）
52057672（ユーロ）

★グリーンマックスから、国鉄末期の近代的な荷物客車マニ44が完全新規製作でリリース。
★実車は1978～83年に製造。総開き構造のパレット輸送対応車で、先のスニ40などと同様、有蓋貨車に通じる外観が特徴的。標準形式として量産されたが荷物輸送廃止により数年で用途を喪失、一部はJR東海に継承されたが既に全廃されている。
★製品は既存の板状キットとは全くの別物で、一体ボディ・全はめ込み窓、プロポーションも見直されている。床板・台車は集電には非対応。
★グリーンマックス発売の完成品は、標準色である青15号仕様が1・2・4輌の各パッケージ、晩年〈カートレイン名古屋〉に使われたユーロライナー色が4輌セットで発売。いずれも車番・標記類は印刷済。ユーロ色には〈カートレイン〉ロゴ・テールマークシールが付属。
★併せてCROSS POINTブランドから未塗装版も発売。窓サッシは印刷済で、台車（TR50）・車番インレタ（GM製No.6311）は別売。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット　：9,240円
2輌セット　：4,830円
1輌単品　：2,625円
4輌（ユーロライナー）：14,700円
●未塗装キット
2輌セット：2,730円（CP）

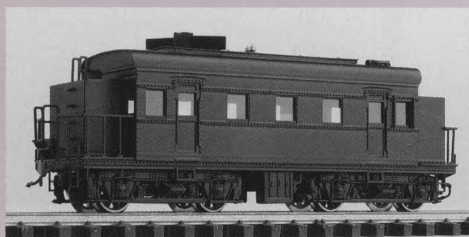
〔セット内容〕
■4輌（標準およびユーロ色）：マニ44 2025＋マニ44 2027＋マニ44 2029＋マニ44 2050
■2輌：マニ44 2132＋マニ44 2136
■1輌：マニ44 2141

■標準色

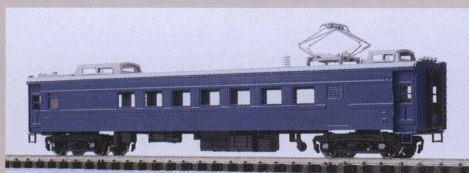
■ユーロライナー

エキスパート編

●ワールド工芸

あらゆるジャンルの製品を送り続けるワールド工芸。客車では特殊な形態の事業用車が多くラインナップされる。

▲**オヌ33 0番代** 東海道本線用に製造された暖房車。同形態のスヌ31よりもボイラー容量が増えている。キット7,140円、塗装済完成品15,750円

▲**オヌ33 100番代** 進駐軍に接収された際に、空気圧縮機の搭載改造を受けた唯1輌の異端車。キット7,140円、塗装済完成品16,275円

▲**マヌ34** 2120形蒸機のボイラーを活用して製造された、大容量の長距離用暖房車。キットは炭庫の高さ違い2種、完成品はさらに製造時モデルを用意。キット各9,240円、塗装済完成品各17,640円

▲**オヤ36 2051** オハ35の改造で誕生した架線検測車。旧客そのままの車体にパンタが載る光景はまさに異色の存在。キット8,925円、塗装済完成品19,950円

▲**マニ34** 脈々と続いてきた「現金輸送」初代専用客車。埋められた扉窓や、貫通路の無い妻面などが特殊性を伺わせる。キット8,190円、塗装済完成品19,950円

▲**マニ30(前期車)** マニ34を改装して誕生。さらに窓が埋められ、窓のない大型扉が備わるなど、異様さがさらに増した存在。キット8,190円、塗装済完成品19,950円

●イエロートレイン

電車系ではトータルキットを手がけるイエロートレインだが、客車では市販完成品のコンバージョンキット製品も多く発売している。

▲**マニ32(張上げ屋根)** 戦前から戦後にかけて新造された鋼製荷物車。1～17番までは張上げの屋根が特徴。キット2,625円

▲**マニ32(折妻)** 35～70番までは戦後増備されたタイプで、妻面は折妻スタイル。張上げ車同様、KATO製オハ35の部品を利用するコンバージョンキット。キット2,625円

▲**マニ72** 1輌ずつの差異が目立つ戦災復旧車。こちらはマニ72のうちでも車体両端部の裾が下へ広がり妻面に繋がっているスタイル。キット4,200円

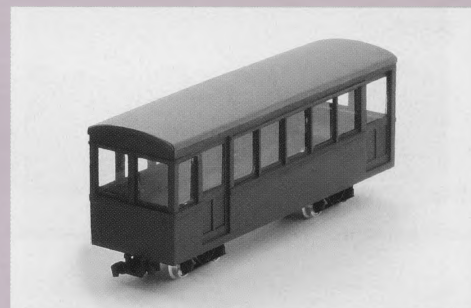
▲**マニ74** 3位側に便所が付く仕様。マニ72・74は共に屋根一体のトータルキットで、計5パターンが作り分けられている。キット4,725円

▲**マシ38** 戦前の特急〈燕〉〈富士〉用に1936～1938年にかけて6輌が改造された。当時の鉄道省初の冷房装置を搭載した車輌。KATO製オハ35と3軸台車が別途必要。キット2,625円

▲**マロネフ59** 皇族、貴賓専用車のマイロネフ37290形として登場した、当時の最高設備を持った寝台車。後にマイロネフ38形、スイロネ37形を経て1955年にマロネフ59形となった。キット2,520円

●南洋物産

アクリル製キットで、様々なマイナー車を中心に製品展開する南洋物産。今回は「Nナロー」の変わり種も同時に紹介。

▲**雄別鐵道ナハ11** 国鉄ナハ22000形を出自とする木造客車で、末期は派手な装いで気動車の相手も勤めた。アクリルの特性を生かし、窓枠とガラスが一体に仕上げられている。キット2,625円

▲**木曽森林B14号客車タイプ(Nナロー)** 木曽森林鉄道、北見営林署・上松営林署で活躍し、現在は丸瀬布いこいの村で動態保存されているB14号客車がプロトタイプ。レーザーカット加工のペーパー製で、屋根はMDF材にルーフィングサンドを塗布したもの。キット2,310円

メーカー担当者に聞く…！

2011、メーカー別モデル・オブ・ザ・イヤー マイクロエース編

例年に比べれば、2011年は目立つ派手な製品はそれほど多くなかったマイクロース。それでも発売点数の多さは相変わらずの勢いでした。今回は企画部のKさんをメインに、製品にまつわるお話などを、同Hさん、Oさん、Fさん、そして有井社長にも去年〜今年の状況、その先の展望などのお話を伺いました。　まとめ：編集部

東急発売で 大手私鉄制覇の2011年

RMM：NGIのマイクロエース製品ベストの上位5位までが別表でご覧のような結果となりました。御社の方でもあらかじめ2011年発売製品の中から何点かベスト製品を決めていただいているかと思いますが…。

H：いっぱいあり過ぎて、すぐ忘れちゃいますね。何がいつ出たんだか(笑)。

RMM：メーカーの方の場合、実際の発売後よりも製造中、企画中の時期の方が印象に残っているというのもありますよね。そこがユーザーサイドと違うところだと思います。

K：それはともかく、2011年は大手私鉄を当社だけで全部制覇できた年でした。東急の発売で…。

O：震災の影響だけじゃないと思いますが、厳しい状況だと実感しています。何を出せばお客様に喜んでいただけるか、そればかりを考えています。

F：業界全体を見渡すとその中でポイントポイントで売れている商品がないわけではないので、お客様の見る目が今非常に厳しくなってきていると感じています。お客様の琴線に触れるものを出せば、まだやれる余地はあるとは思うので、ざっくばらんに何となくやっているのではダメなんだと認識しています。

2年連続1位、 小田急!!

RMM：さて、今回1位は小田急EXEということですが、実は去年のランキングでも1位は小田急9000形でした。2年連続1位ということで、やはり小田急の人気は圧倒的ですね。EXEは実車の人気が今ひとつとも言われていましたが…。

K：実車が地味というのは確かにあると思いますけど、製品化のリクエストは多かったんですよ。車輌としてはオーソドックスに20m級の車輌ですから、弊社のスタンダードな造りです。強いて言えば色が難しかったですね。数案作って、その中から決めました。

RMM：ほかに大変だった点やこだわりなどはありましたか。

K：ガラスが連続窓で車体全体にわたっているので、それをいかにボディとツライチにするかが技術的な難しさでした。一見しただけではそうした苦労は見えづらいと思いますが…。

▲横浜高速鉄道Y500系(写真左)と東急5000系。マイクロエースで初となる東急電車となり、これで同社では大手私鉄全16社から最低1車種は発売されていることになった。

N-gauge Informationの投票による 2011 マイクロエース製品ベスト5

(コメント：編集部)

第1位 小田急30000形 EXE ブランドマーク
…なんと去年の9000形シングルアームパンタにつづく、小田急車の連続1位となりました。小田急の特急車として最大多数でありながら、ファンの間での人気は今ひとつとも言われていた系列ですが、やはりなくてはならない役者として、満を持して登場した格好。製品の仕上がりも文句なしだったと思います。

第2位 DD53-2 ロータリー除雪機関車 改造後
…異色の大型除雪用DLが待望の製品化。実車は3輌しか存在せず、ナンバーや時代によって形態が違うという、製品化にはハードルの高いアイテムだったと思いますが、こういうアイテムをこともなげにリリースするあたりがマイクロファンにはたまらないところと言えましょう。

第3位 京阪5000系 3次車 リニューアル 旧塗装
…同社ではすでに京阪電車を複数リリースしており、バリエーションがさらに充実した形。特徴ある5扉車は模型としても見栄えがし、欲しくなる魅力を持った製品となっていました。また実車で塗り替えが進んでいる新塗装と旧塗装を同時に発売し、奇しくも過渡期の現状がちょうど模型でも表現できたあたりに愉快さが感じられました。

第4位 東急5000系 6次車 偶数編成 6扉車増強編成
…同社で初の東急車となり、これでなんと大手私鉄コンプリート達成！　もちろんNゲージ史上初の快挙です。同時発売の横浜高速Y500系とはきちんと差異を表現してあり、口うるさい東急ファンも納得でしょう。

第5位 京成3050形
…前年発売の3000形のバリエーションですが、ちゃんと床下などを作り分けた上、やはり実物での成田スカイアクセス開業から間もなくというタイムリーな発売が評価された所以かと思います。今年発売となった新AE形と合わせ、リアルタイムの京成の雰囲気が楽しめたという点で嬉しい製品化でした。

ジョイフル トレインの 名車たち

K：「ゆうゆうサロン岡山」と「パノラマライナー・サザンクロス」、これらは以前専用機関車だけで出したのを覚えていますか？　EF65は10周年記念製品として、またED76は通常の単品で。当時、なんで客車を出さないのかと言われたので、今ようやくそうした声に応えられたのが良かったと思いますね。

RMM：なるほど。救済企画といった側面もあったんですね。

K：偶然なんですが、ゆうゆうサロンは実車の引退の発表に重なり、タイミングも良かったです。

▲ビジネス志向であまり非日常性を感じさせないなどとも言われた小田急30000形EXE。しかしやはり小田急の人気は盤石だった(写真の車輌には加工が施されています)。

マイクロエースが考える 2011新製品ベスト5

(順位なし)

- ◎DD53
- ◎小田急30000形 EXE ブランドマーク
- ◎東急5000系 6次車 偶数編成 6扉車増強編成
- ○クモユニ81+クモハ60 スカイブルー 大糸線
- ○12系客車 「パノラマライナー・サザンクロス」

2011年の傑作！ DD53

RMM：DD53は素晴らしい題材でしたね。

K：DD53は私どもとしても去年気になった商品のひとつです。実車で2号機が「ばんえつ物語号」の客車を牽引してから1年くらいというタイミングの良さもありました。組立上、別部品の数がすごく多かったのですが、それらがバランス良く組み付けられました。

RMM：1号機(新庄機関区)の方は昔の時代での設定でしたが、細かいところを調べたりするのは大変だったのではないでしょうか。

K：大変でしたね。古い資料を集めたり、横川の碓氷峠鉄道文化むらの保存車を撮影したりして形にしました。

▲DD53は2つの仕様を作り分け。ロータリーヘッド部は見るからに工数の多い構成となっている。実物になじみがなくとも、所有する喜びを感じさせるモデルの典型例だろう。

楽しい商品、続々!

K:他に去年の製品で気になったのは、24系サウンドカー(ディーゼルエンジンの音)です。これは他の商品と比べてかなり特徴的だと思います。回収でご迷惑をお掛けしたことを除けば、普通にレールに載せるだけで特殊な機器を必要とせず、臨場感を手軽に演出できる、すごく楽しい商品です。音の魅力はなかなか伝わりにくのですが、展示会などで実際に聴いていただくと関心を持ってくださるお客様が多かったです。

RMM:続いて京阪5000系はどうでしたか?

K:車輌としてはオーソドックスな構造なのですが、難しい形をしています。そういえばこの車輌、取材に苦労しました。ラッシュ対策用の電車なので、土休日や日中にはあまり走らないんですよ。編成ごとに細かな差があるので、目当てのナンバーが来るまで平日早朝からひたすら粘りました。

RMM:次に京成3050形はいかがでしたか?

K:側面にグラデーションがあって、そこに飛行機の模様がストライプ状に入っているのですが、そのあたりの印刷が難しかったです。床下も調査の上で作り分けています。お客様の期待に応えてきちんとやってますということをお伝えしたいですね。

▲多扉車の元祖的存在である京阪5000系。他の京阪車ともまったく共通性のないボディはモデルとして見どころいっぱい(写真の車輌には加工が施されています)。

RMM:その他手短に伺いますが、大糸線の旧型国電は。

K:最近旧型客車や旧型電気機関車などの古い車輌の人気があります。当時を知るお客様が昔を懐かしく思い集められているのではないでしょうか。

▲京成3000形のバリエーションとして発売された3050形。成田スカイアクセス経由の空港行きで運用されるだけに飛行機を描いたグラフィックが見どころだった。

社長に聞く、今後の展望

RMM:2011年、有井社長にとってはどんな1年だったでしょうか。

A:成績からいくと、そう大きな変化があったわけではありませんでした。若干、少ないなぁという程度。ただし、ひとつの品物の生産数が、だんだん減ってきているのは事実。

RMM:震災の影響はどうでしたか。

A:全くないとは言いませんが、そんなに大きな影響ではなかったと思います。

RMM:影響が少なかったという点では、比較的景気とかそういう状況に左右されにくい鉄道趣味の底堅さを感じさせますね。

A:そう、他業種から比べれば、鉄道模型業界はいい方なのです。安定しているとも言えます。

RMM:なるほど。社長の中では印象的だった製品というのはあったでしょうか。

A:新型京成スカイライナー。これは去年ではなく今年出るのですが、久々のヒット商品ですね。

RMM:タイミングも新しいし、まとまりもほど良く、他に競合するものが全くなく、スター性もあるし、ヒットして当然という感じがしました。期待通りの結果といった感じですね。

ところで、せっかく社長にお話を聞けるいい機会ですのでズバリお聞きしますが、最近の全般的な傾向として、価格が上がってきてなかなか買いづらくなっていますね。

A:そうですね…、中国のコストがぐんぐん上がってきているのです。まず人が足りません。その中でこれだけの生産をしていこうとなると、給料を良くしなければ人が集まらないのです。その他材料代なども含めいろいろな面で大変な値上がりをしているのが実情です。そこでウチは何を考えるか。大手がやらないところをやろうというのが基本となります。たまにぶつかるのはしょうがないですが。隙間を狙うアイテムということで数は少なくなります。それで価格が高くなってしまうのです。小ロットで、マイペースでいい。

RMM:そんな状況ではありますが、2012年これから先の展望としてはいかがでしょうか。

A:まぁとりあえず今年は去年同様に、敵を作らず、あまり競争相手や業界を気にしないで、2011年と同じ戦法で行きます、少量生産で。ただこれから中国の状況も変わっていくでしょうから、2013年は何か変化が出てくるだろうと思ってますよ。実は来年からまた新金型アイテムが増えることになっています。新金型新製品となると数が出ますから、品種は減らすことができるでしょう。

RMM:そうすると、2013年以降は価格がまた少し抑えられるかもしれない?

A:そういう場合もありますね。とにかく今年は去年と同じペースで継続しますが、今年がピークでしょう。ピークを乗り越えれば楽勝だと思っています。

RMM:この時期をしのげば、その先に新たな境地が待っているかもしれないということですね。

スタッフの2012年の抱負

RMM:2012年の抱負などはいかがですか。

K:そうですね、ちょっと変化球で今年もいきたいです。去年からやっていますが、見てワクワクするような路線で攻めていきたいですね。

H:去年も言ったのですけど、製品が予定通り上がってくることが第1の目標です。

O:やっぱり、お客様に喜んでもらえる商品を作りたい。それしかないです。

F:そうですね。選ばれる商品を作っていけるように、頑張りたいと思います。

RMM:今年の新製品にも大いに期待しています。本日は皆さん、長い時間ありがとうございました。

貨車 FREIGHT CARS

近年はコンテナ車とタンク車が大半を占め、編成も整ったものが多くなっている貨物列車。モデルでもそうした近代貨車製品が目白押しですが、黒貨車を中心に雑多に組まれた旧来の貨物列車編成もまだまだ人気です。2軸貨車のラインナップを急速に増強したTOMIXや、ひと味違う特殊な貨車群を製品化するマイクロエースはもちろん、貨車にとことんこだわるメーカー・河合商会の存在は常に注目の的です。

ベーシック編

ワム70000 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52030807

★いわゆる「黒貨車」のラインナップを拡充するTOMIXから、ワム70000が発売。
★実車は1958年に登場した有蓋貨車で、戦前の設計を引き継ぐワム90000に代わり、プレス鋼板による軽量化やフォークリフトに対応した広幅側扉などの新規軸を採用。その設計思想は後続のワム60000やワラ1にも引き継がれている。
★モデルは屋上リブの形状が変化した後期型（71410〜）。車番は71968を印刷済。
★ミニカーブ走行可、TNカプラー（自連SC）交換対応。

〔価格〕
●塗装済完成品：735円

ツム1000／カ3000 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52056792（カ3000）
52056793（ツム1000）

★TOMIXの2軸貨車シリーズに国鉄時代の黒貨車2種が追加登場。
★ツム1000形は15t積み通風車ツム1形を2段リンク化し75km／h走行に対応させたもの。青果物輸送のため全国各地で使用された。
★カ3000形は牛馬などの家畜を生きたまま輸送するために用意されていた家畜車。輸送形態の変化により1977年までに廃車となった。
★製品は近年の同社2軸貨車に準じてミニカーブ通過対応の首振りカプラーを装備、一方床下のテコやステップを精密に再現している。車輪は銀色車輪を採用。ツム1000は側面通風ルーバーをモールドで再現。カ3000は特徴的な側面スリットが繊細に再現される。
★車番・標記は印刷済。

〔価格〕
●塗装済完成品：各735円

■ツム1000

■カ3000

レ12000 〔TOMIX〕

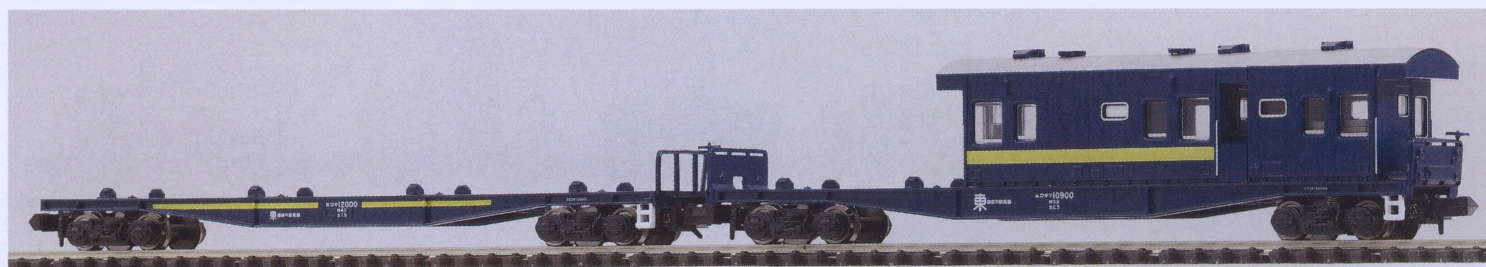
鉄道ホビダスはこちらから！
52046987

★TOMIX2軸貨車製品に新たに冷蔵車レ12000が登場。
★実車は1954年登場。レ10000に続いて鋼製車体を採用、2段リンク式に改良し最高運転速度を75km／hに向上させたもので、レ10000からの編入車も含め1481輌が活躍した。
★製品は床下テコおよびステップ類を再現している。近年のTOMIX2軸貨車同様ミニカーブ対応であり、小半径レールでの運転が楽しめる。
★車番は印刷済。銀色車輪使用。

〔価格〕
●塗装済完成品：各735円

コキ12000＋コキフ10900 〔マイクロエース〕

★マイクロエースのコキ10000系に、JR移行初期に活躍した改造車が追加。
★コキ12000は寒地向けコキ10000の20ftコンテナ積載改造車。暖地向け11000番代との識別のため、台枠側面に黄帯が入る。
★コキフ10900はコキフ10000を性能測定用試験車に改造したもの。コキフ50000の車掌室を2輌分繋いだ測定室が異様な印象。
★コキフの測定室はコンテナ同様のツメで支持され、実車どおり着脱可（実車の緊締装置の配置とは異なる）。
★テールライトはコキフ車掌室側のみ点灯。コキ用反射板付属。コンテナは含まない。

〔価格〕
●塗装済完成品 2輌セット：2,835円

ホキ2500 〔KATO〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52054924

★ED16の被牽引車に好適なホキ2500がリリース。
★実車は1967年に登場した国鉄の石灰石用35t積ホッパ車。側開き式で、コキと同じ赤3号塗色が印象的。同型の私有車ホキ9500(本形式からの編入含む)がある。
★製品は、奥多摩駅常備で青梅～南武線の石灰石輸送に使われた姿。ED16が牽引していた1975年頃の仕様で、「西」の管理局標記が入る。形態的には1969年度製の後期型。
★妻面をはじめ、メリハリの効いたモールドで見応えある仕上がり。ホッパ上端の手スリは車体と一体だが、ちゃんと浮いている。枕バネが覆われたTR213台車は新規品。
★製品状態では石灰の砕石を模した積荷が載っているが、ワンタッチで取り外して空荷での使用も可能。またホッパ内のディテールも抜かりなく再現されている。

【価格】
●塗装済完成品
8輌セット：10,080円

〔セット内容〕
■ホキ2653＋ホキ2634＋ホキ2685＋ホキ2643＋ホキ2648＋ホキ2661＋ホキ2647＋ホキ2561

ホキ6600（前期／後期・サッポロビール） 〔マイクロエース〕

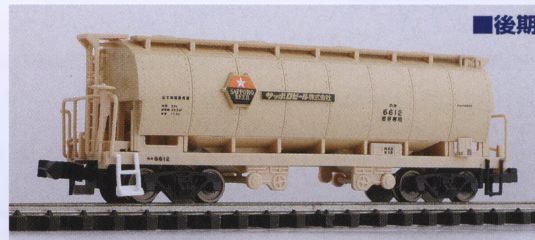
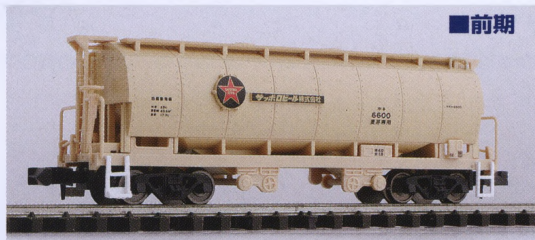
鉄道ホビダスはこちらから！
52030944（前期）
52030945（後期）

★ビールメーカーの麦芽輸送用という特異な貨車が製品化された。
★実車は1963年、日本麦酒（後のサッポロビール）が麦芽輸送用に製造した25t積のホッパ車。当初は東北本線白岡駅、のちに高島貨物線山下埠頭駅に常備され、1989年の麦芽輸送終了まで活躍した。
★製品は手スリ形状の異なる前期型・後期型を作り分け。いずれも1978年以降のクリーム塗装で、前期型はサッポロビールマークが円形の旧タイプで白岡駅常備、後期型は六角形の新マークで山下埠頭駅常備とされている。複雑な車端手スリ廻りや側面のリベットなど、明るい塗色でディテールが引き立ち、なかなか魅力的。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット：各4,515円

〔セット内容〕
■前期：ホキ6600＋ホキ6602
■後期：ホキ6612＋ホキ6613

■前期

■後期

セラ1・セフ1 黄帯入石炭輸送列車 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52047551

★別項の9600九州仕様と共に、北九州の石炭輸送の象徴である2軸石炭車もまとまった輌数のセットが用意された。
★製品はセラ1×11、セフ1×4の15輌セットで、ヨン・サン・トウ以降の黄帯（軸受が1段リンク式のため65km/hの速度制限がかかるのを示す）入り。車番は全車異なるものを印刷済。
★黄帯車はセラ・セフ各×1の2輌セットのみだった従来品と比べ、無駄なく長編成が組めるのが嬉しい。
★着脱可能な積荷パーツ、ダミーの尾灯など仕様はほぼ変わらないが、例によって標記印刷や色入れは増強され、特にセフのステップの白塗りはよく目立つ。

【価格】
●塗装済完成品
15輌セット：13,125円

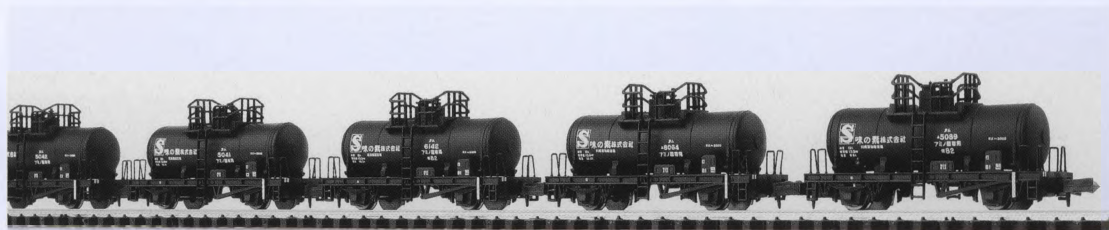
〔セット内容〕
■セフ285＋セラ509＋セラ1511＋セラ2131＋セラ1075＋セラ841＋セラ601＋セフ291＋セラ2181＋セラ1788＋セラ2195＋セフ128＋セラ913＋セラ2010＋セフ170

タム5000（味の素） 〔マイクロエース〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52044315

★2000年に発売された「味タム」こと味の素所有のタム5000が新たなセットで登場。
★前回の2輌セットから一挙に15輌セットとなったが、モデル自体も台枠廻りへの印刷の追加、「味の素株式会社」「アミノ酸専用」等の文字が正確な書体になるなどの改良が施されている。
★車番は全て異なるほか、常備駅標記は塩浜操駅、1990年改称後の川崎貨物駅の2種（前者が多い）。車番左側の「▼」や積荷の種別を表す「侵82」標記の有無、検査級別の違いと合わせ、都合6種の標記パターンがある。形態的には特に作り分けはない。
★セットだけでも立派な編成になるが、貨物列車中に1輌～数輌を組み込むのも楽しい。

【価格】
●塗装済完成品
15輌セット：14,175円

〔セット内容〕
■タム6142＋タム5089＋タム5094＋タム6087＋タム5051＋タム6043＋タム6122＋タム5096＋タム5063＋タム6235＋タム6185＋タム5041＋タム5042＋タム6064＋タム6167

貨車各種

〔河合商会〕

★懐かしの国鉄時代の貨車を含めた各種が新登場。
★タキ1900は今回より新規金型に変更。より的確なフォルムとなったほか、手スリなどは所有会社ごとにそれぞれ違う実車に即して金属線も使い再現。セメントターミナル（以下：C.T.）所有車は青海駅常備と郡山貨物ターミナル常備の2種を用意。
★トキ25000は河合としては初登場。リブのない近代的なアオリ戸を持つ後期型を再現。
★ク5000はJR以降に塗装変更された車輌のなかで青・赤の2色塗装を施したもの。
★タキ1900C.T.の西浜松駅常備の10輌セットや、タキ12200・ホキ5700などを含むチチブセメントのセメント専用車9輌セットも用意。
★そのほか既存製品の塗装および所有者名変更によるバリエーション。

【価格】
●塗装済完成品

タキ1900(秩父セメント)3輌セット	：3,780円
タキ1900(明星セメント)3輌セット	：3,780円
タキ1900(日立セメント)3輌セット	：3,780円
タキ1900(AセットC.T.青海) 3輌セット	：3,780円
タキ1900(BセットC.T.郡山)3輌セット	：3,780円
タキ1900(大阪セメント)3輌セット	：3,780円
ク5000(2色塗装)乗用車なし2輌セット	：3,045円
タキ35000(シェル石油)2輌セット	：2,625円
トキ25000　3輌セット	：3,129円
レ2900(連合軍専用冷蔵車)2輌セット	：1,575円
タキ1900(セメントターミナル)10輌セット	：12,600円
タキ12200(×3輌)+ホキ5700(×3輌)+タキ1900(×3輌)セメント専用車 9輌セット	：11,760円

■セメント専用車9輌セット(秩父セメント)

■タキ1900(秩父セメント)

■タキ1900(明星セメント)

■タキ1900(日立セメント)

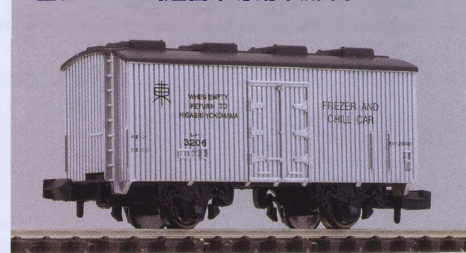
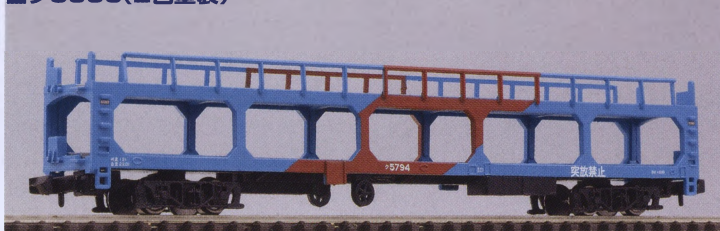
■タキ1900(大阪セメント)

■タキ1900(セメントターミナル・青海)

■タキ1900(セメントターミナル・郡山)

■タキ1900(セメントターミナル)10輌セット(編成後部)

■タキ35000(シェル石油)

■レ2900(連合軍専用冷蔵車)

■ク5000(2色塗装)

■トキ25000

タム500タイプ（グレー／ホワイト）〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52043745（グレー）
52043746（ホワイト）

★短い貨物列車編成のアクセントや小型レイアウトにも似合うTOMIXの2軸タンク車タム500に新たに2色のバリエーションが加わった。
★タンク体色グレーは液化石油ガス（LPG）輸送専用貨車を、タンク体色ホワイトは液化アンモニア輸送専用貨車をそれぞれイメージしたもので、車体標記も各輸送物に合わせたものとしている。
★所有者名は両車とも架空の「トミー興産」で既に発売済のイエロー、シルバーの2色と同じくフリーランスとしている。
★カプラーは近年同社2軸貨車では標準仕様となったミニカーブ対応。

■ホワイト

■グレー

【価格】
●塗装済完成品：各735円

ヨ6000〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053809

★ヨ8000に続くTOMIXの車掌車として、ヨ6000が製品化された。
★モデルは耐寒装備のない標準的な形態。最新製品らしくはめ込み窓（窓枠はガラス側）、床下モールドも細密で、手ブレーキハンドルは別パーツ。
★テールライトは点灯式。集電・導光の仕組みはヨ8000に準じ、妻板裏側の導光部が目立たないよう形状を工夫している。
★所属標記は「大スイ」。側面には石油ストーブ車を表す白線が印刷される。
★同社のミニカーブレール走行に対応。

【価格】
●塗装済完成品：
2,520円

トキ21100＋トキ21500「コイル鋼管号」〔マイクロエース〕

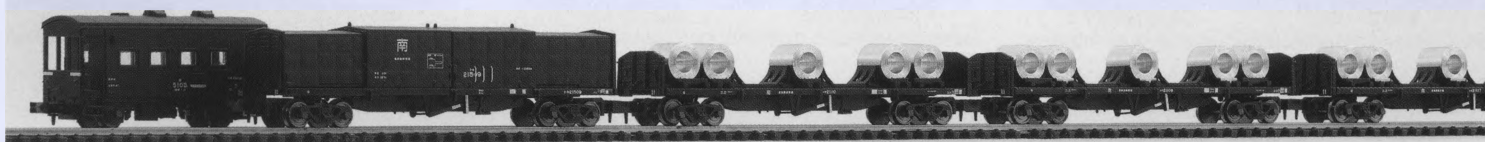
鉄道ホビダスはこちらから！
52050224（12輌セット）

★異色の無蓋車、トキ21100・21500形がマイクロエースから製品化。
★トキ21100は1968年、熱延コイル鋼板輸送用にトキ15000のアオリ戸を撤去、受台を設けた改造車。トキ21500は冷延コイル鋼板用で、水濡防止カバーが追加されている。
★2輌セットのトキ21500は、同形式31輌中2008年まで残存した2輌。民営化後の姿で、「海」「笠寺駅常備」の標記が入る。
★12輌からなる「コイル鋼管号」は、上記2形式が当初投入された塩浜操～籠原間のコイル専用列車。製品はトキ21500×1、トキ21100×10にヨ5000を加えた12輌で、トキは「南」の管理局標記が入り、塩浜操駅常備となる。
★トキ2形式の台枠はウェイトを兼ねたダイキャスト、積荷のコイルも金属製（取り外し可）で、無蓋車ながら重量がある。
★トキ21500のカバーは中央部が開閉可能。実物の凹凸を表現してか、ピラミッド模様のようなモールドを施している。トキ21100では一部車輌にスポーク車輪を使用。
★「～鋼管号」には後部赤色円板が付属。ヨのテールライトは両側とも点灯式。

■トキ21500・2輌セット

【価格】
●塗装済完成品
トキ21500・2輌セット：6,930円
コイル鋼管号・12輌セット：41,055円

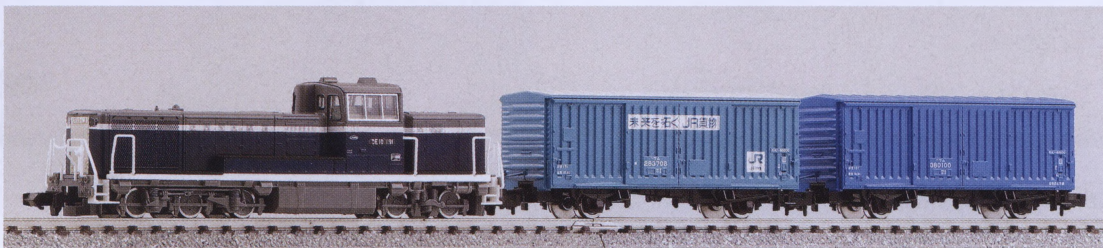
〔セット内容〕
■2輌セット：トキ21510＋トキ21511
■12輌セット：トキ21509＋トキ21110＋トキ21109＋トキ21107＋トキ21100＋トキ21104＋トキ21106＋トキ21111＋トキ21143＋トキ21116＋トキ21132＋ヨ5108

■「コイル鋼管号」12輌セット

DE10＋ワム80000貨物列車セット〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52049090

★以前にも発売されていたDE10＋ワム80000の3輌セットが新仕様で再登場。
★昨年のDE10完全リニューアルを反映した機関車の新仕様化が最大のポイント。以前同様、セット限定の青系更新色で、形態的にも単品とは異なる暖地仕様。ナンバーは1181・1191・1575・1581号機が付属。
★ワム80000もミニカーブ対応の新仕様に。これもセット限定のキャッチコピー入り青塗装（コピーは前回と異なる「未来を拓くJR貨物」）、コロ軸受の380000番代（通常品と車番違い）が各1輌セットされる。

【価格】
●塗装済完成品
3輌セット：7,875円

〔セット内容〕
■DE10 1000（M）＋ワム283708＋ワム380100

JR貨物 EF510+コンテナ列車セット 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053792

★TOMIXの入門者向け3輌セットに、日本海縦貫線の貨物列車で活躍、旅客用500番代の登場も相まって注目度の高いEF510「レッドサンダー」牽引のコンテナ列車が登場。
★EF510は通常品とは異なり、初心者向けに別付パーツをナンバー（2・3・4・5号機選択式）とホイッスルカバーのみとした専用金型品（前面手スリは省略）。パンタもシューが2本のタイプで、通常品と違えている。
★ディテール表現はやや簡略化しているが、フライホイール付動力、常点灯ライト基板など機構面では通常モデルに遜色ない。
★コンテナ車はコキ50000×2。JR化以降のグレー台車仕様で、コンテナは20ftの30A。コンテナの番号は6個すべて異なり、側面に「エコレールマーク」が入るのも既存品と異なるポイント。入門者だけでなく、コレクター心も刺激するセットだ。

【価格】
●塗装済完成品
3輌セット：9,975円

〔セット内容〕
■EF510-0番代（M）＋コキ52867＋コキ51938

EF66+ワム380000 専用貨物列車セット 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52027066

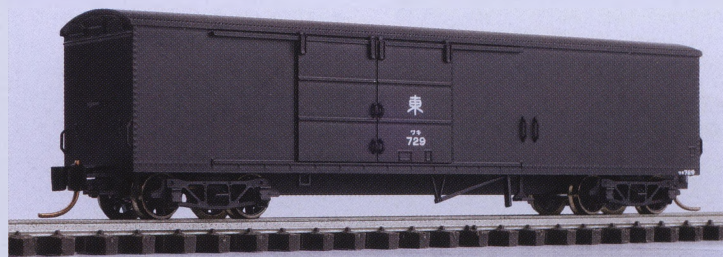
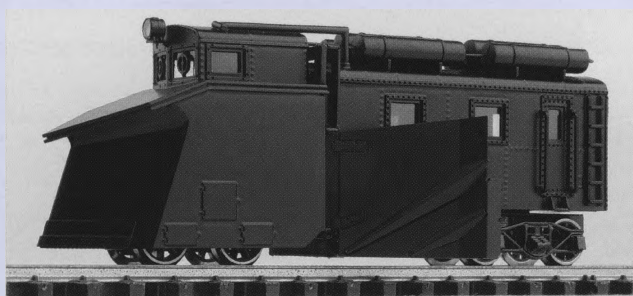
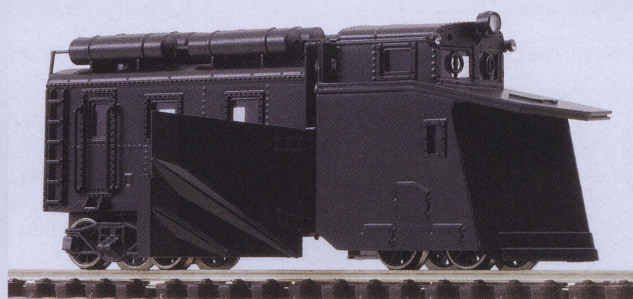
★国鉄から引き継がれた有蓋貨車「ワムハチ」最後の職場のひとつである、東海道線の紙輸送列車を再現したセットが登場。
★製品は東海道線を走る「紙列車」の現代の姿を模し、牽引機は新更新色のEF66。この塗装タイプでは初の製品化となる、裾に白色の細帯を巻く16号機を特定ナンバーで再現。貨車はコロ軸受・青塗装のワム380000が実に34輌含まれており、並べるだけでも壮観。
★ワム380000は基本的に通常品と同様だが、車番は全車異なる番号を印刷済み。編成最後部に付く反射板も付属（要穴開け）。
★機関車はクリアケース入りで、貨車はブックケース入り。写真入りの紙箱に収納。

【価格】
●塗装済完成品
35輌セット：34,230円

〔セット内容〕
■EF66 16（M）＋ワム380125＋ワム380448＋ワム380381＋ワム380419＋ワム380495＋ワム380496＋ワム380314＋ワム380372＋ワム380235＋ワム380133＋ワム380309＋ワム380472＋ワム3801492＋ワム380363＋ワム380487＋ワム380313＋ワム380467＋ワム380379＋ワム380245＋ワム380288＋ワム380398＋ワム380158＋ワム380124＋ワム380049＋ワム380127＋ワム380460＋ワム380014＋ワム380246＋ワム380466＋ワム380266＋ワム380344＋ワム380163＋ワム380007＋ワム380226

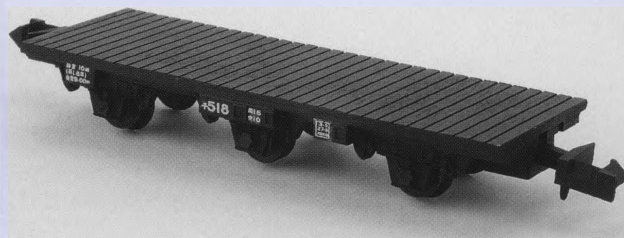
エキスパート編

●ワールド工芸

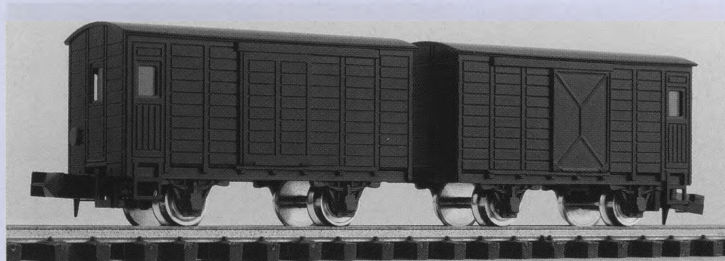
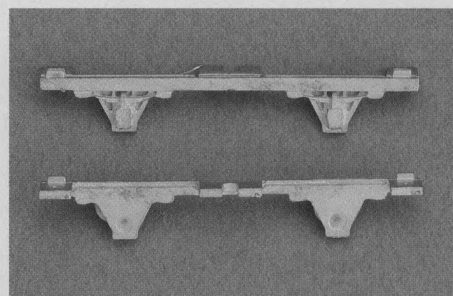
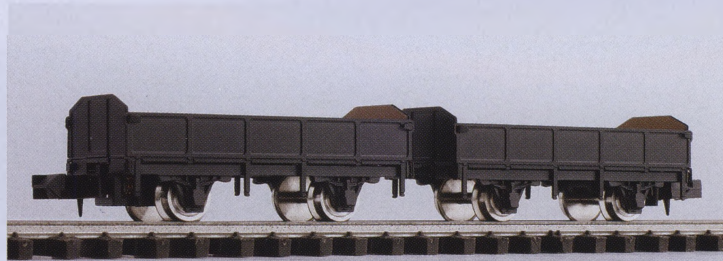
金属素材を巧みに利用し、ハイレベルな製品展開を続けるワールド工芸。とりわけ今回のキ100形は、メカニカルな外観がシャープに再現できる金属製品の魅力が最大限に発揮された逸品と言えよう。

▲ワキ700　戦時中に魚雷などの爆弾を輸送する目的で1943年に製造された有蓋車。新製時以来のTR24台車を履いたグループ。キット：6,825円、塗装済完成品：13,650円

▲キ100　1928年から194輌が製造された、国鉄初の鋼製除雪車。先頭ラッセル部が直線で、操縦室が二枚窓の標準的なスタイル、左右に広がる除雪翼や屋上のエアータンクなどが見所。キット：9,660円、塗装済完成品：22,050円

▲キ100(鋤形プロウ改装タイプ)　前頭部が平面スタイルの「延鋤形」で製造されたグループを、後年に後期車同様の直線型に改装した仕様。車体裾部やウイング部分は、外観重視の低位置と走行に配慮した高位置の作り分け可能。キット：9,660円、塗装済完成品：22,575円

●モリタ

ホワイトメタル鋳造によるパーツ類をメインに活動するモリタからは、Nゲージでは異色な存在であるホワイトメタルキットも手がけている。

▶チ500　3軸無蓋車トキ900形のアオリ戸を撤去して誕生した長物車。大型貨物輸送の控車の用途などにも使用された。床板及び外側軸受とカプラーポケット、カプラーがホワイトメタルで成型され、それにプレス製の内側軸受とプラ製車輪を組み合わせる構成。中間軸の車輪はフランジレスとなる。キット・2輌セット：2,625円

●アルナイン

手軽に金属工作ができる真鍮キット入門者向けキットの側面を持ちつつ、その製品は独特な世界観を持つ展開が魅力のアルナイン。貨車製品も地方私鉄にいそうな、ひと味違った製品となっている。

▶2軸貨車シリーズに使用される、ホワイトメタル製軸受けパーツは別売りもされる。2輌分700円。

▲とても簡単な貨車(ワフAタイプ)　前回の木造「ワ」に続き、同じく木造の「ワフ」が登場。シリーズ共通である、折り曲げるだけで簡単に組立可能な構造は今回ももちろん健在。キット・2輌セット：2,280円

▲とても簡単な貨車(トBタイプ)　こちらも前回木造「ト」が発売されていたが、今回はアオリ戸が鋼製となったタイプを製品化。2輌セットでの販売で、両者をドローバーで簡易連結したスタイルとできるのも前回同様。キット・2輌セット：1,980円

コレクタブルアイテム2012

Collectable item

1/150

TEXT：RMM
PHOTO：青柳　明（RMM）、羽田　洋、トミーテック

2000年代の初頭に大流行したいわゆる「食玩」の販売方法をNゲージレイアウト上のアクセサリー類に採り入れ、「買って箱を開けるまで、何が入っているかわからない」というブラインドパッケージ商法で各社より展開されたコレクタブルアイテム各種ですが、近年では品質の向上とともに価格も上昇したことで「自分に必要なものだけが欲しい」という志向も高まり、ほとんどの製品が事前に中身を選べるオープンパッケージの製品として生まれ変わりました。さらに各社が参入したこの分野の中でも、TOMIXという鉄道模型ブランドを持つトミーテックの勢力は圧倒的で、特にこれらの1:150製品に「ジオコレ」（ジオラマコレクション）の総称が与えられてからは、より一層その傾向が強まっています。Nゲージレイアウトに今や欠かせない存在となったそれら「ジオコレ」を中心に、Nゲージサイズのコレクタブルアイテムを紹介します。

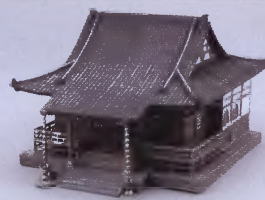
TOMYTEC　ジオラマベース B「寺院」

2010年にその第1弾として「温泉街の情景」を発売し、予想以上の人気を集めたジオラマベースAの続編として、「寺院」がジオラマベースBとして登場。プラスティック製のしっかりしたA4サイズのベース上に、別売の建物コレクション「お寺」A～Cなどを並べていくもので、お寺周囲の塀やキット状の樹木15本、フィギュア2体がベース側に含まれる。また、ジオラマベースB発売と同時に、「お寺」3種も色替えリニューアル発売されている。

▲▶製品の内容。プラスティック製ベースに塀各種、樹木キット15本（フォーリッジ含む）、フィギュア2体（必ずしも写真と同じものではない）が含まれる。別売の建物コレクション「お寺」3種と組み合わせて、完結したお寺のジオラマを製作することが可能だ。

※写真は組立見本で、製品に「お寺」3種は含まれません。また樹木など製品内に含まれない色のものも一部含みます。

ジオラマベースB　～寺院～
◎オープンパッケージ（キット形式）　◎ 2011 年 10 月発売／ 7,140 円

「お寺」3種 リニューアル再生産

お寺 A2（本堂）
◎ 2011 年 10 月発売　2,625 円

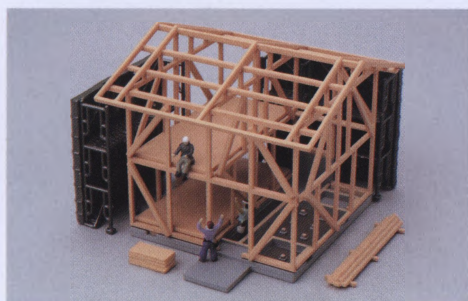
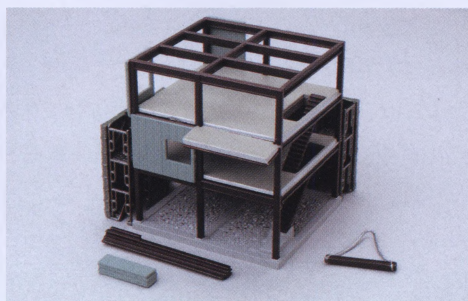
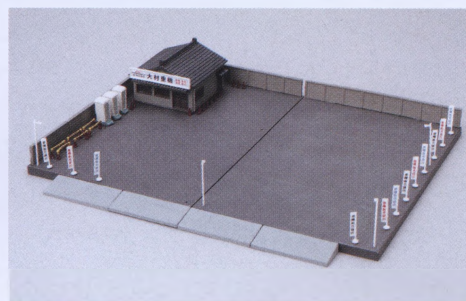
お寺B2（鐘楼・楼門）
◎ 2011 年 10 月発売　2,625 円

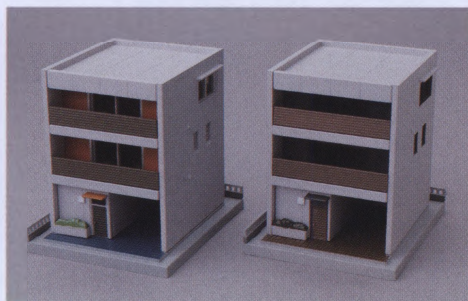
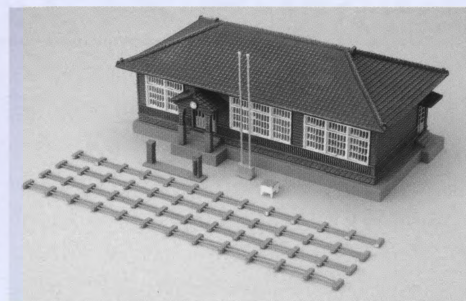
お寺C2（五重塔）
◎ 2011 年 10 月発売　3,675 円

TOMYTEC 建物コレクション（新規製品）

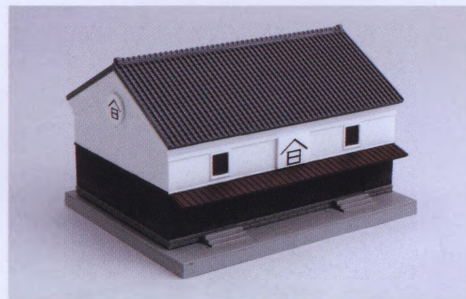
トミーテックより2004年に「街並みコレクション」（通称「街コレ」）の名称で発売開始されたブラインド販売のストラクチャーモデルに端を発し、2006年よりオープンパッケージ販売へと模様替えしたのが「建物コレクション」である。当初はすべて「街コレ」とは別ラインナップの新規製品とされ、好きな建物を選んで購入できる製品として、レイアウトを製作する人の強い味方となった。

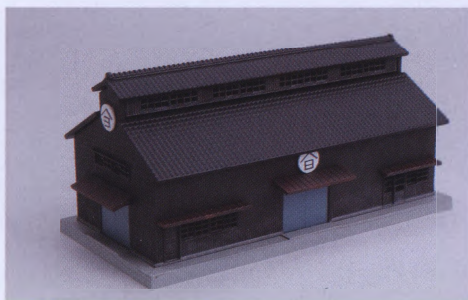
◎オープンパッケージ（キット形式）

タクシー営業所
◎ 2011 年 3 月発売　1,785 円

建築中の建物A ～木造～
◎ 2011 年 3 月発売　1,365 円

建築中の建物B ～鉄骨造～
◎ 2011 年 3 月発売　1,365 円

建機レンタル屋B　～昭和風～
◎ 2011 年 2 月発売　1,260 円

建売住宅C ～木造～
◎ 2011 年 4 月発売　2 棟入 1,575 円

建売住宅D ～鉄骨造～
◎ 2011 年 4 月発売　2 棟入 1,575 円

小学校
◎ 2011 年 4 月発売　1,575 円

消防署B
◎ 2011 年 7 月発売　1,890 円

酒蔵A　～店蔵・まかない処～
◎ 2011 年 12 月発売　2,100 円

酒蔵B　～仕込み蔵～
◎ 2011 年 12 月発売　1,680 円

酒蔵C　～貯蔵庫～
◎ 2011 年 12 月発売　1,890 円

酒蔵D　～加工場・積み出し場～
◎ 2011 年 12 月発売　1,890 円

酒蔵E　～炉・塀～
◎ 2011 年 12 月発売　1,785 円

TOMYTEC 建物コレクション（リニューアル製品）

ここで採り上げる製品は、従来からの建物コレクションを再生産するにあたり、色替えリニューアルを施した製品と、かつて「街コレ」としてブラインド販売されたもののオープンパッケージへの販売方法変更品の2種が柱となる。

◎オープンパッケージ（キット形式）

写真中の線路は製品に含まれません。

駅前セット（駅舎、ホーム、詰所）
◎ 2011 年 1 月発売　1,680 円

駅前バス待合所
◎ 2011 年 1 月発売　819 円

駅前タクシー営業所
◎ 2011 年 1 月発売　819 円

駅前ビル
◎ 2011 年 1 月発売　819 円

中華屋・劇場
◎ 2011 年 9 月発売　2 軒入 1,365 円

喫茶店・カフェ
◎ 2011 年 9 月発売　2 軒入 1,365 円

雑貨ビル・バー
◎ 2011 年 9 月発売　2 軒入 1,365 円

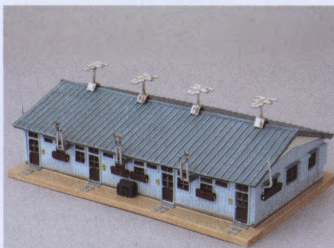
小料理店・パチンコ店
◎ 2011 年 9 月発売　2 軒入 1,365 円

喫茶店・角ビル
◎ 2011 年 9 月発売　2 軒入 1,365 円

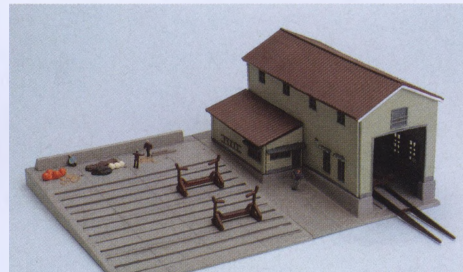
雑居ビル・ラウンジ
◎ 2011 年 9 月発売　2 軒入 1,365 円

狭小住宅A3
◎ 2011 年 7 月発売　2 軒入 1,029 円

狭小住宅B3
◎ 2011 年 7 月発売　2 軒入 1,029 円

集合住宅B2（モルタルアパート）
◎ 2011 年 5 月発売　1,575 円

集合住宅C2（木造長屋）
◎ 2011 年 5 月発売　1,575 円

漁港A2（水揚げ場・漁協事務所）
◎ 2011 年 5 月発売　3,780 円

漁港B2（魚市場・食品加工場）
◎ 2011 年 5 月発売　3,360 円

漁港C2（造船所・陸揚げ場）
◎ 2011 年 5 月発売　3,360 円

TOMYTEC 情景コレクション 情景小物

建物ではないがレイアウト製作に役立つ小道具として2007年に登場したのが「情景小物」である。踏切、屋台など製作するのにちょっと手間の掛かる小道具を中心に、リニューアル品を含めるとおよそ90種類もの点数におよぶ一大ラインナップとなった。

◎オープンパッケージ(キット形式)

080 ボート乗り場
◎ 2011 年 7 月発売　1,365 円

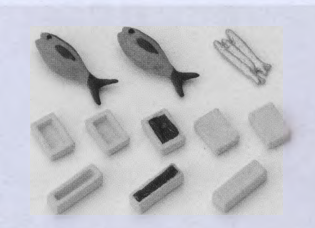
081 給水塔・給炭台A 〜レンガ脚〜
◎ 2011 年 9 月発売　1,890 円

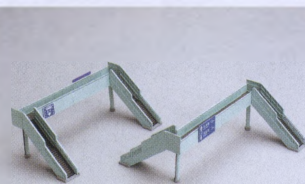
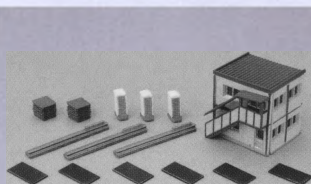
082 給水塔・給炭台B 〜コンクリート脚〜
◎ 2011 年 9 月発売　1,890 円

068 自販機A 〜現代風〜
◎ 2011 年 1 月発売　819 円

083 自販機B 〜昭和のドライブイン〜
◎ 2011 年 10 月発売　1,155 円

070　農機小屋と農機A
◎ 2011 年 3 月発売　1,260 円

071　農機小屋と農機B
◎ 2011 年 3 月発売　1,260 円

079 マグロと白箱
◎ 2011 年 5 月発売　609 円

030-2　祭の櫓(フィギュア14体入)
◎ 2011 年 6 月発売　1,575 円

045-2 歩道橋2
◎ 2011 年 7 月発売　2 個入 1,260 円

051-2 工事現場A2(現場事務所と小物)
◎ 2011 年 2 月発売　819 円

052-2 工事現場B2(ゲートと塀)
◎ 2011 年 2 月発売　819 円

情景小物053-2 工事現場C2(作業足場)
◎ 2011 年 2 月発売　819 円

TOMYTEC 情景コレクション ザ・人間

リーズナブルな価格とともに、特定の服装やポーズに特化していることからレイアウトやジオラマ上にドラマを演出することができるとして好評の「ザ・人間」。2011年も建物コレクションなどと連動して、たくさんの種類が発売された。ほとんどの製品が、同一の体型に対し複数の色違い版が用意されている。

◎オープンパッケージ
◎12体入　各609円
(049〜 051は11体+三脚3個入で各525円)

049〜 051 撮る人々
◎2011年1月発売 (写真は049、他は色違い品)

052〜 054 住宅街の人々
◎2011年4月発売 (写真は052、他は色違い品)

055〜 057 小学生と先生
◎2011年4月発売 (写真は055、他は色違い品)

058〜 059 消防署の人々
◎2011年7月発売 (写真は058、他は色違い品)

060〜 061 温泉街の人々
◎2011年10月発売 (写真は060、他は色違い品)

062 酒蔵の人々
◎2011年12月発売

「情景小物」史上、最大の大物

コンビナート

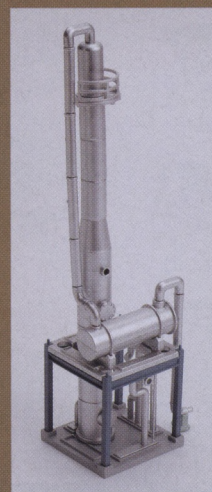
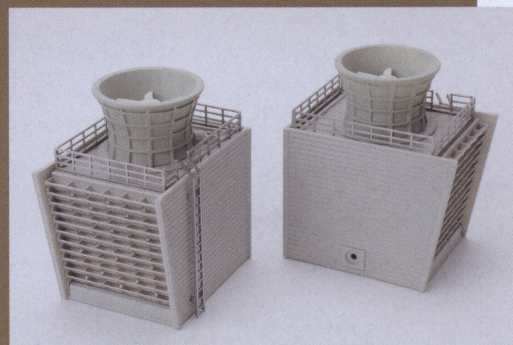
TOMYTEC製
情景コレクション 情景小物

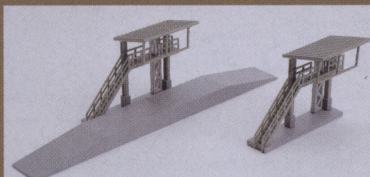
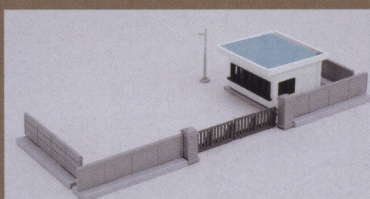
KOMBINAT

いま、工場に熱い視線が注がれている。機能本位でメカニカルな外観が人々の注目を浴び、工場の外観を巡る見学ツアーまでもが催行されている昨今であるが、中でも無機質な塔や配管が複雑に入り乱れるコンビナートは、その頂点とも言えるだろう。そんな中、トミーテックから発売された情景小物「コンビナート」は、もちろんこれまでの情景小物の中でもとびきりの「大物」。個々の装置のほか、各製品をセットにした「コンビナートセット」も用意され、1セットでおよそA3サイズのコンビナートの情景が製作可能だ。ちなみに、このセットで製作可能なのは石油精製コンビナートのうち、LPGを精製・貯蔵・搬出するガス精製工程。複数購入や他社製品をプラスするなどして、巨大プラントを製作する楽しみも捨て難いであろう。

▲工場と言えばぜひやってみたいのが夜景シーンだろう。作例はコンビナートセットを中心に、他社製品も含む鉄道模型用品やLEDを使って再現している(製作:根本貫史)。RM MODELS194号(2011年10月号)に作例写真を掲載している。

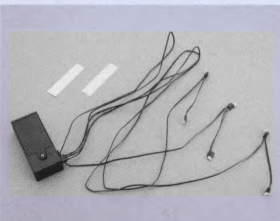
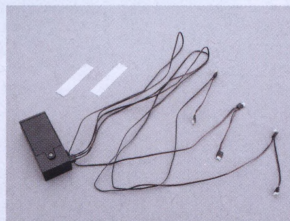
▲コンビナートセットを中心に、煙突など他社製品も含めて再現したコンビナートジオラマ。「理に適った配置」にこだわり、実際のガス精製工程を想定した配置や配管のつながりに力を入れている(製作:黒見暁文)。RM MODELS 195号(2011年11月号)に作例と配管図を掲載。

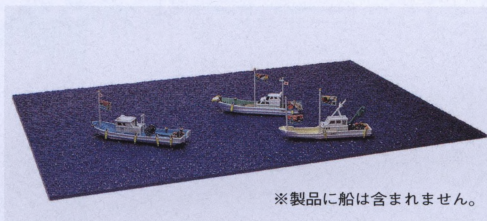
コンビナートセット 15,540円
コンビナートのA～F各1セット(AとCは2セット)に加え、追加のパイプを同梱したセット販売。写真中、ベースや線路、貨車、自動車は含まれない。

コンビナートA 蒸留塔 1,680円

コンビナートB 冷却塔 2個入 1,680円

コンビナートC ガスホルダー 2,625円

コンビナートD 積み出し所 1,680円

コンビナートE 守衛所・ゲート 924円

※写真は製品内容の一部です。
自動車は含まれません。

コンビナートF パイプセット 1,680円

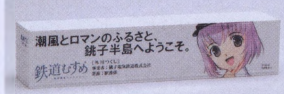
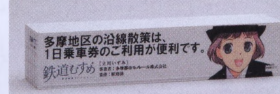
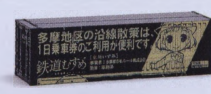
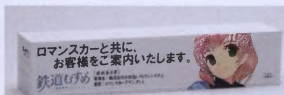
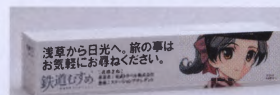
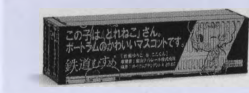
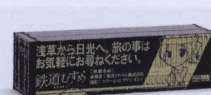
TOMYTEC 情景コレクション その他

電飾キットD 電球色タイプ
◎ 2011年7月発売　1,260円

電飾キットE 白色タイプ
◎ 2011年7月発売　1,260円

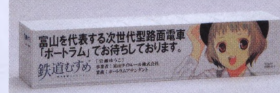
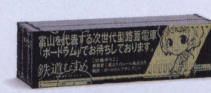
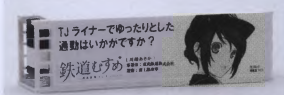
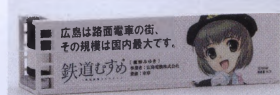
※製品に船は含まれません。

ジオラマプレートA　〜海面〜
◎ 2011年6月発売　1,365円

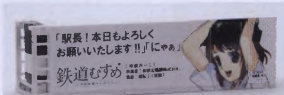
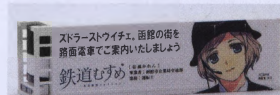
サウンドユニットA
◎ 2011年3月発売　1,890円

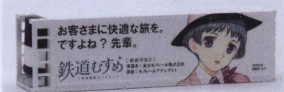
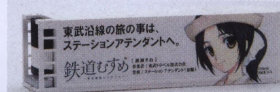
TOMYTEC 鉄道むすめ　コンテナコレクション

◎ブラインドパッケージ
（各12種＋シークレット2種）
◎各483円

Vol.5
40ft コンテナ×1個
または 31ft×1個入
◎ 2011年6月発売

▲銚子電鉄　駅務係「外川つくし」・40ft／31ft

▲多摩都市モノレール　駅務係「立川いずみ」・40ft／31ft

▲キャラクター集合・40ft

▲小田急レストランシステム　ロマンスカーアテンダント「渋沢あさぎ」・40ft／31ft

▲東武トラベル　ステーションアテンダント「渡瀬きぬ」・40ft／31ft

▲富山ライトレール「岩瀬ゆうこ」&「ここくん」・31ft

▲鉄道警察隊「門田さくら」・40ft／31ft

▲富山ライトレール　ポートラムアテンダント「岩瀬ゆうこ」・40ft／31ft

Vol.6
31ft 冷蔵コンテナ×1個
または 20ft コンテナ×2個入
◎ 2011年11月発売

▲東武鉄道／東上線車掌「川越あさか」・31ft冷蔵／20ft

▲広島電鉄／車掌「鷹野みゆき」・31ft冷蔵／20ft

▲キャラクター集合・31ft

▲和歌山電鐵／運転士「神前みーこ」・31ft冷蔵／20ft

▲函館市企業局交通部／運転士「松風かれん」・31ft冷蔵／20ft

▲昇仙峡ロープウェイ・20ft

▲東京モノレール／モノレールアテンダント「羽田みなと」・31ft冷蔵／20ft

▲東武トラベル／ステーションアテンダント「渡瀬きぬ」・31ft冷蔵／20ft

日本テレビサービス 「ALWAYS 三丁目の夕日'64」情景フィギュア'64

表題の映画公開に合わせて発売が開始された、1:150建物5種と1:80自動車3種の8種からなるブラインド販売のグッズ。ここでは建物のみ写真を示す。

◎ブラインドパッケージ（全8種）
◎2012年1月発売、各672円

▲鈴木オート（第1作版）

▲鈴木オート'64

▲リハツカワイ

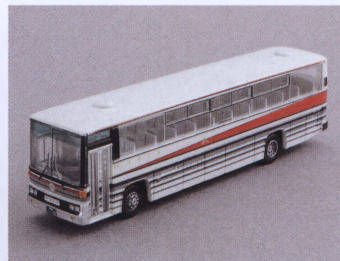
▲茶川商店（やまふじVer.）

▲万亀堂

TOMYTEC ザ・バスコレクション

第17弾

ブラインド版第17弾は観光・高速バス編として、いすゞガーラ(1996~2005年製造・販売)と日野ブルーリボンRU638AA(1982~1985年製造・販売)が製品化された。

◎全12種+シークレット1種
◎2011年9月発売:各630円

▲【シークレット】日野ブルーリボンRU638AA(折戸)奈良交通

▲いすゞガーラⅡ 国際興業バス

▲いすゞガーラⅠ 京成バス

▲いすゞガーラⅢ はとバス

▲いすゞガーラⅠ 川崎鶴見臨港バス

▲いすゞガーラⅠ 三重交通

▲いすゞガーラⅡ 奈良交通

▲いすゞガーラⅠ 京都市交通局

▲いすゞガーラⅠ 広島電鉄

▲日野ブルーリボンRU638AA(スイングドア)岩手急行バス

▲日野ブルーリボンRU638AA(スイングドア)東京空港交通

▲日野ブルーリボンRU638AA(折戸)京王帝都電鉄

▲日野ブルーリボンRU638AA(折戸)伊予鉄道

TOMYTEC ザ・バスコレクション 5台セット

西日本鉄道高速バス 5台セット

◎オープンパッケージ
◎2011年2月発売 3,675円

西日本車体工業のネオロイヤルSD-Ⅱ(スーパーハイデッカー)をモデル化。左よりはかた号・どんたく号カラー—02MC、ムーンライトカラー—92MC、桜島カラー—02MC、桜島専用カラー—92MC、フェニックスカラー—92MC

西日本車体工業96MCノンステップバス5台セットA2

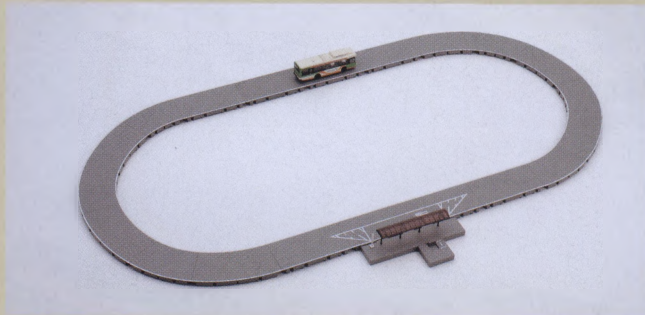
◎オープンパッケージ
◎2011年11月発売 3,675円

左から東京都交通局・川崎市交通局・京都市交通局・大阪市交通局・佐世保市交通局の5種。2010年に発売されたAのナンバー違い。

今度はバスが走り出した！
トミーテックの「バスコレ走行システム」

これまでは鉄道車輌だけが走っていた鉄道模型レイアウトに、今度はバスが走り出した。バスに動力と電池を入れ、コースとして組まれた道路上を走る…。文字で書くと簡単だが、これを誰もが簡単に使えるようにシステム化したものがトミーテックの「バスコレ走行システム」である。

バスコレに専用動力を収め、別売の電池を挿入してスイッチを押せばスタートする。走行する道路はTOMIXのワイドトラムレールと共通の規格で、あたかもTOMIXの線路をつなぐようにコースを組めば、道路の下に埋め込まれた鉄線に導かれてバスが走る。それだけではない。バスはカーブで実物のようにステアリングするほか、バス停が近付けば減速し、幅寄せして停車するなど、実物さながらの走行が楽しめるのだ。まずは基本セットを購入し、必要に応じて別売パーツを買い足して楽しみを広げていきたい。

▲路面電車だけでなく並行するバスも走る時代に。 バスコレ走行システムの道路はTOMIXのワイドトラムレールと共通の規格であるため、 このように両者を並べて走らせることが可能だ。

▲セット一式を組み立てたもの。 小判型の道路一周とバス停、 それにバス（塗装済・未塗装各1台）とバス組込用動力が同梱される（バス走行用のアルカリボタン電池は別売）。

▲オールインワンのパッケージ。 あと走行用に必要となるのは別売のボタン電池のみだ。

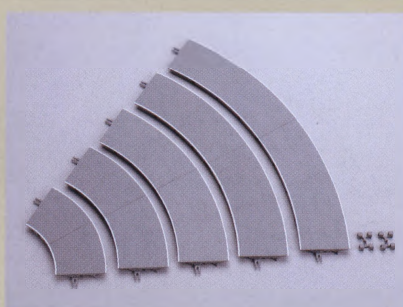
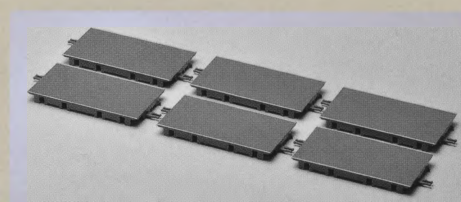
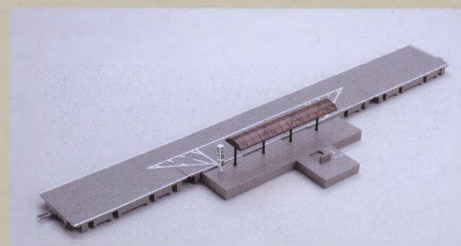
バスで選べる２種の基本セット

バスコレ走行システム
基本セットA　東京都交通局仕様
◎ 2011 年 3 月発売　8,190 円
※写真は同梱のバス（日野ブルーリボン シティハイブリッドバス 東京都交通局仕様）です。

バスコレ走行システム
基本セットA2　大阪市交通局仕様
◎ 2011 年 11 月発売　8,190 円
※写真は同梱のバス（日野ブルーリボン シティハイブリッドバス 大阪市交通局仕様）です。

専用動力ユニット

BM-01 専用動力ユニットA
ホイールベース32mm
◎ 2011 年 11 月発売　3,780 円
※ステアリングストッパー 1 個、スペーサーパーツ 3 枚、BU04 用ゴムタイヤ付属。
※ LR44 電池は別売。
※既発売のバスコレには対応しない車種もあります。

道路パーツ

C-001 道路パーツ C66-30-RO　987 円
C-002 道路パーツ C103-30-RO　1,029 円
C-003 道路パーツ C140-30-RO　1,029 円
C-004 道路パーツ C177-30-RO　1,029 円
C-005 道路パーツ C214-30-RO　1,155 円
◎ 2011 年 11 月発売・各 6 本入

S-001道路パーツS70-RO
◎ 2011 年 8 月発売　6 本入 945 円

BS-001 バス停ユニットセットA
◎ 2011 年 11 月発売　2,100 円

TOMYTEC ザ・バスコレクション 2台セット

2011年は、オープンパッケージ版の2台セットが4種発売された。特に自由型塗装は、地域を限定しないレイアウトの製作者には待望の製品と言えるだろう。

◎オープンパッケージ(2台セット)
◎価格: 各1,470円

都営バス2台セットA
◎ 2011 年 6 月発売

バスコレ2台セットA　いすゞ BX352・BA741(自由型塗装)　◎2011年4月発売

バスコレ2台セットB　日野BH15・BD33(自由型塗装)　◎2011年4月発売

JR東北バス2台セットA　みずうみ号／おいらせ号
◎2011年8月発売

TOMYTEC ザ・トラックコレクション 2台セット

2011年から新しく始まったザ・トラックコレクションのオープンパッケージ 2台セットシリーズ。今まで発売されてきたトラコレのうち、人気があったものや他の情景製品と合わせて展開が可能なものを2台ずつ選りすぐってセットにしたもの。シーンに合わせて活用したい。

◎オープンパッケージ(2台セット)
◎価格: 各1,470円

E 三菱ふそう 新型スーパーグレートパネルバン・スーパーグレート活魚輸送車(各フリーカラー)　◎2011年6月発売

A 日野スーパードルフィン
(ダンプカー・ミキサー車)
◎ 2011 年 2 月発売

B いすゞニューパワー
(ダンプカー・ミキサー車)
◎ 2011 年 2 月発売

C いすゞ TXポンプ車・
日野TCはしご車
◎ 2011 年 5 月発売

D いすゞギガ・日野プロフィア
(ガスタンクローリー)
◎2011年5月発売

TOMYTEC ザ・トレーラーコレクション 2台セット

こちらも2011年より発売開始された、オープンパッケージのトレーラー 2台セットシリーズ。それぞれ同一運送会社同士の40フィートドライコンテナと冷蔵コンテナを組み合わせたもの。

◎オープンパッケージ(2台セット)
◎2011年3月発売: 各1,680円

日本郵船2台セット
日野プロフィア

商船三井2台セット
いすゞギガ(ハイルーフ仕様・ノーマル)

川崎汽船2台セット
日産ディーゼルクオン(ハイルーフ仕様・ノーマル)

TOMYTEC ザ・カーコレクション

Vol.13

「70年代の街角編」と称して、懐かしい商用車をセット。
◎ブラインドパッケージ(12種+シークレット4種)
◎同一車種色違い2台入、2011年2月発売　各630円

▲【シークレット】三菱ふそうキャンターパネルバン水色、トヨタダイナ　レッカー車

▲【シークレット】トヨタランドクルーザー(赤／白)・トヨタカローラ30バン(トヨタ西東京カローラサービス)

▲トヨタカローラ30バン(緑・茶・白)

▲トヨタランドクルーザー(道路公団・緑／白・茶／白)

▲トヨタダイナ(レッカー青・平荷台黄・平荷台青)

▲三菱ふそうキャンター(薄緑・薄青・薄黄幌付)

Vol.14

'90年代から現代までの軽自動車を網羅。
◎ブラインドパッケージ(12種+シークレット4種)
◎同一車種色違い2台入、2011年6月発売　各630円

▲【シークレット】Hondaトゥデイ(埼玉県警)・スズキワゴンR(赤)

▲【シークレット】ダイハツハイゼットカーゴ(警察車輌)・三菱i-MiEV(神奈川県警)

▲Hondaトゥデイ(赤・水色・白)

▲スズキワゴンR(黒・銀・青メタ)

▲三菱i-MiEV(白・銀・赤／白)

▲ダイハツハイゼットカーゴ(白・銀・警視庁)

TOMYTEC カーコレ・基本セット

E3

左よりトヨタハイエース(白/茶)、いすゞエルフ清掃車(グレー)、トヨタダイナ(青緑)、三菱ふそうキャンター(スリーエフ)の4台をセット。
◎2011年9月発売　1,470円

F3

左よりマツダデミオ(黒)、Hondaフィット(パールホワイト)、トヨタヴィッツ(自主防犯車)、日産マーチ(道路公団車)の4台をセット。
◎2011年1月発売　1,344円

TOMYTEC トップリフター

「コレクションアクセサリー」という新タイトルで、現代の物流に欠かせないトップリフター2種が新規に登場。

◎オープンパッケージ
(1台入・コンテナ付属)
◎2011年5月発売　各1,575円

トップリフターA　TCM FD430 カタログ仕様

トップリフターB　TCM FD430 NYTT仕様

TOMYTEC 建設機械コレクション

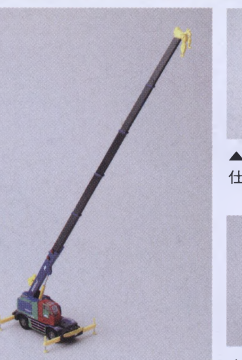
Vol.2

VOL.2は1970年頃に活躍した油谷ショベルTY45と三菱ふそうローボーイを新規にモデル化。

◎ブラインドパッケージ(全8種+シークレット2種)
◎2011年3月発売　各735円

▲三菱ふそうローボーイ(走行中仕様／黄色)

▲三菱ふそうローボーイ(作業中仕様／緑色)

▲コベルコ PANTHER X250クレーン車
左より黄色、株式会社ミック各作業中仕様

▲日立ZX480LCK-3バックホウ仕様(オレンジ)

▲日立ZX480LCK-3バックホウ仕様(ブルー)

▲【シークレット】日立ZX480LCK-3バックホウ仕様(日立建機レック仕様)

▲油谷ショベルTY45 (オレンジ)

▲油谷ショベルTY45 (水色)

▲【シークレット】コベルコ PANTHER X250クレーン車

バラエティ編 VARIETY

Nゲージのスケールやレール幅を基準とした製品は、車輌だけにとどまりません。この章では、既存のカテゴリーに当てはまらないアイテムをピックアップして紹介いたします。

マルチレール クリーニングカー 〔TOMIX〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52053804（ED61セット）

★湿式・乾式・吸引ファンの3種の清掃方式を選択できるTOMIXのマルチレールクリーニングカー。過去にも数種のカラーが発売されているが、今回新たに2種が登場。
★「マルチレールクリーニングカーセット」は、牽引機ED61とクリーニングカーの2輌セット。塗装はいずれもぶどう色（クリーニングカーは赤帯入）。ぶどう色のED61はこのセットのみの限定品。動力はフライホイール付だが、車体は旧製品同等のもの。
★「35周年記念カラー」は、2011年でTOMIXが35周年を迎えた記念として、白・青・朱の塗り分けに「35th」「Since 1976」等のロゴを配したもの。こちらは1輌単品。

〔価格〕
●塗装済完成品
クリーニングカーセット：10,500円
35周年記念カラー：4,725円

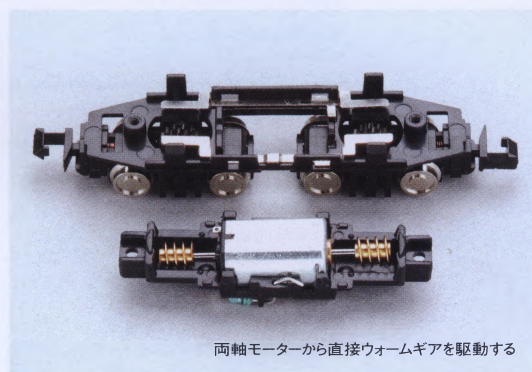
■35周年記念カラー

■クリーニングカーセット

Bトレインショーティー 動力ユニット3・4 〔バンダイ〕

鉄道ホビダスはこちらから！
52064601（動力ユニット3）
52064600（動力ユニット4）

★バンダイBトレインショーティーの専用動力としてバンダイが製造・発売する動力ユニットに新たに2種の動力ユニットが加わった。
★従来品との変更点は4軸全軸駆動になったことで、牽引力と勾配区間での登坂力が向上。
★メカの設計見直しにより頑丈かつコンパクトに刷新。既存のほとんどのBトレ電車・気動車に取付可能。
★車輪は内側の軸受のため、台車枠はBトレ付属のものが取付可能。
★構造は両軸モーターから直接ウォームギアを駆動するシンプルな構造。過電流防止のヒューズも追加されている。
★黒色成型で電車・気動車用の「動力ユニット3」とグレー成型で路面電車用の「動力ユニット4」の2種を用意。構造はどちらも同じだが、路面電車用にはアーノルトカプラーは付かない。

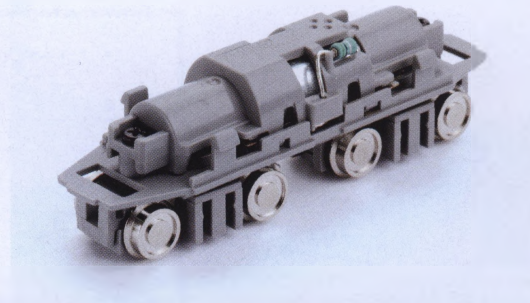
両軸モーターから直接ウォームギアを駆動する

軸受が内側のため台車枠の差し替えはワンタッチ

★それぞれ好みに応じで載せるウエイトが4個付属する。

〔価格〕
●各2,625円

■電車・気動車用の「動力ユニット3」

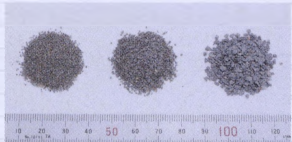
■路面電車用の「動力ユニット4」

パーツ＆アクセサリー編 Parts & Accessories

会津砕石

■RMM198号掲載

会津バラスト

ズバリ「本物のバラスト」を模型に使用できる、異色の製品が登場した。発売元の会津砕石有限会社は、石質試験に合格したバラストをJR東日本に納入しているまさに本物のメーカーで、主に磐越西線や只見線にて使われているものと同じ石を細かく砕き、今回模型用としての販売となった。細かさによってS(Z〜N)・M(N〜HO)・L(HO〜O)の各タイプに分けられており、本物の石ならではのリアルな質感が見事である。各200g入りで、現在のところだいおらま各店及びF-MODELSでの取扱となる。

オープン価格

▲左からS、M、Lの各サイズのバラスト。MはNゲージ用としては少し大きめか。

▲「がんばろう東北」の文字が入ったパッケージ(絵柄は変更される)。

アオシマ文化教材社

■RMM189号掲載

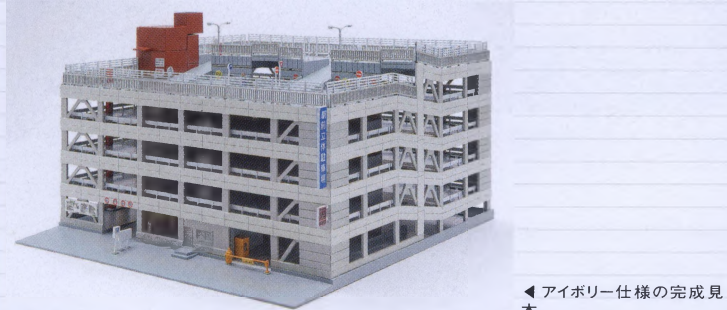
コンテナ2種

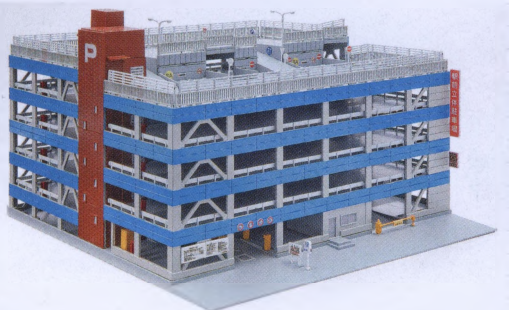
アオシマから、Nゲージ貨車積載対応のプラ製コンテナが2種発売。

○088913／U55A(日本通運)…日通の31ftウィングルーフコンテナ。スカイブルーに大きな「55 BIG ECO LINER 31」のロゴが入る。同塗色の31ftコンテナは他社からもリリースされているので、微妙な差異を見比べるのも面白い。2個入。 1,260円

○088920／V19B(JR貨物)…JR貨物の通風コンテナ。TOMIX製と同タイプだが、通風スリットは「開」状態を思わせるモールド表現で、エコレールマークはなし。扉廻りの細かな標記も見どころ。3個入。 1,050円

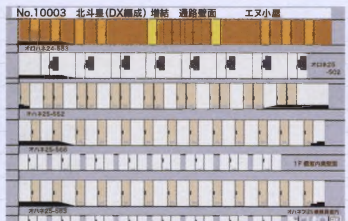
▲U55A(日本通運)。細部の色入れはかなり賑やか。

▲V19B(JR貨物)。スリットの開／閉は実物の列車内でも混在している。

◀アイボリー仕様の完成見本。

▶ブルー仕様の完成見本。側面には赤色のエレベーター棟が付き、外観上のアクセントになっている。
P(すべて)：アオシマ文化教材社

■RMM195号掲載

立体駐車場

話題をさらった「団地」に続くアオシマのプラ製1:150ストラクチャーキット「建築ロマン堂」シリーズとして、またも大物、「立体駐車場」が発売。平面寸法213×226mmと幅、奥行きともに堂々たるもので、1階から屋上まで約180台の乗用車を収容可能。どこに置いても主役級の存在感を発揮しそうだ。パーツは彩色済で、駐車スペースを示す白線は印刷で表現、各種標識・標示はデカールが付属。壁面の色によりアイボリー、ブルーの2種が用意される。 各4,620円

▲駐車スペースの白線はタンポ印刷。付属のデカール・アクセサリーの配置だけでもかなり賑やかになる。

ACIトイズ(香港)

■RMM193号掲載

20・40ft ISO海上コンテナ

●発売元：ブリスターダイレクト

香港のトイメーカー・ACIトイズによる1:150プラ製海上コンテナ。底板表現があり扉が開閉式という点が日本型Nゲージコンテナにはない特徴。ノーマルバージョンのほか、それぞれウェザリング済仕様も用意される。

○40ftコンテナ…所有会社によりマースクシーランド、中国鉄路、ヒュンダイ、CMA CGM、P&O、エバーグリーン、P&Oネドロイド、ハンブルグ・スードの8種。

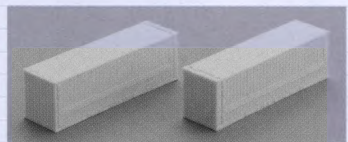
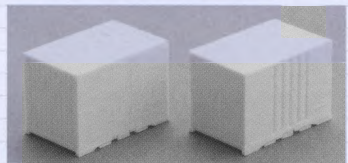
○20ftコンテナ…40ft同様のバリエーションに、CCNI仕様を加えた9種。 各1,200円

▶マースクシーランド仕様の扉を開けた状態。チラリと見えている通り、床板も付いている。

▲20ftコンテナのラインナップ。9種が用意され、日本でよく見かけるものもある。

▲40ftコンテナのラインナップ。こちらはウェザリング済版を示す。 P(すべて)提供：ブリスターダイレクト

■RMM192号掲載

無塗装コンテナ3種

アオシマから、以前発売されたN用コンテナ3種が白色未塗装仕様で発売された。塗装済より割安で、自作デカール使用に好適。

○092569／31fウイングタイプコンテナ(無塗装)…「U55A型コンテナ(日本通運)」として発売されたものと同型。2個入。

○092552／12f側妻二方開き通風コンテナ(無塗装)(増結A)…JR貨物V19Bの白色仕様。通風スリットは凹モールド。3個入。

○092576／12f両開きコンテナ(無塗装)…JR貨物20Dの白色仕様。3個入。

各630円

▲092569：31fウイングタイプコンテナ。

▲092552：12f側妻二方開き通風コンテナ。

▲092576：12f両開きコンテナ。

エヌ小屋

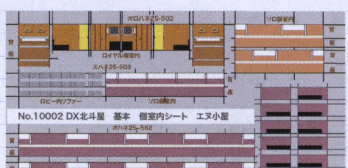
■RMM187号掲載

24系用室内シート

プラ製車輌の室内パーツに貼り付けるだけのお手軽内装表現シートの新作。今回はすべてKATO製品用。 各630円

○10001／北斗星DX編成(基本)個室・食堂壁面…製品の基本セットに合わせた構成の壁面シート。こちらは通路側。

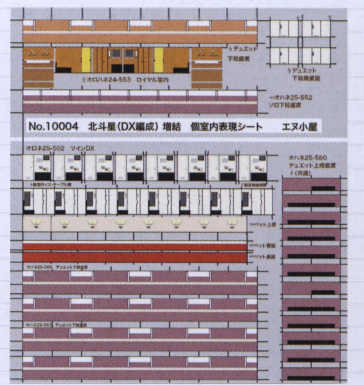
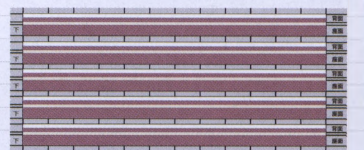
○10002／北斗星DX編成(基本)個室内壁面…同じく個室内部用。

○10003／北斗星DX編成(増結)個室通路壁面…製品の増結セット用の通路側壁面。

○10004／北斗星DX編成(増結)個室内壁面…同じく個室内部用。

○10650／B寝台シート・ワインレッド(3輌分)…開放B寝台用のモケットシート。

▲10003／北斗星DX編成(増結)個室通路壁面。

▲10001／北斗星DX編成(基本)個室・食堂壁面。

▲10002／北斗星DX編成(基本)個室内壁面。

▲10004／北斗星DX編成(増結)個室内壁面。

▲10650／B寝台シート・ワインレッド。

■RMM188号掲載
〈北斗星〉用室内シート各種

市販プラ製品に内装表現を行なうステッカー。今回はTOMIXの24系〈北斗星〉（北海道・東日本混成）用の各種。　　各630円

○10005／北斗星（混成編成対応）基本　通路壁面…製品の基本セットに対応したオロネ・オハネの個室外通路、スシの調理室脇通路、カニ・オハネフ乗務員室内の壁面。

○10006／　〃　基本　個室表現シート…同じくオハネ・オロネ個室内壁面、モケット等。

○10007／　〃　増結　通路壁面…こちらは増結セット対応の通路壁面。スハネ25 500のロビー内自販機なども収録。

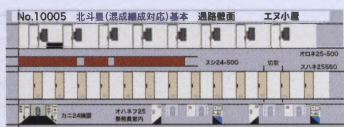
○10008／　〃　増結　個室内表現シート…同じく個室内用。ロビー室用ソファーも収録。

○10009／夢空間車輌用壁面・室内シート…〈北斗星〉併結で運行された「夢空間」用の車内シート。オロネ・オシの壁面のほか、オハフのカーテンを表現する窓パーツも付属。

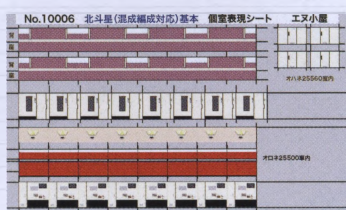
▲10005／基本セット用通路壁面。

▲10006／基本セット用個室内シート。

▲10007／増結セット用通路壁面。

▲10008／増結セット用個室内シート。

■RMM189号掲載
客車用室内シート各種

市販プラ製客車の室内に貼り、インテリア表現とするシート。24系用はTOMIX製品を想定、他は各社製品に対応。　　各630円

○10011／24系〈北斗星北海道編成・基本〉個室内用…製品の〈北斗星〉北海道編成のうち、基本セット分を収録。

○10012／24系〈北斗星北海道編成・増結〉個室内用…同じく増結セット分を収録。

○10021／24系〈北斗星東日本編成〉個室内用…こちらは東日本編成用。

○10700／汎用座席表現シート（ボックスシート用）…青いモケットの標準的なボックスシート。210席分を収録。

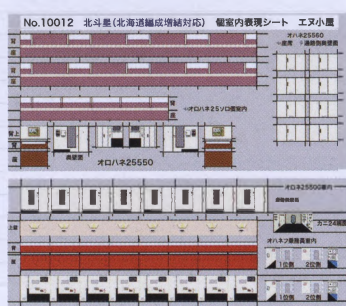
○10701／オハ35系列デッキ・室内出入ドア表現シート（ペンキ塗）…デッキ仕切扉廻りを表現するもの。客室側・デッキ側とも含む。これは客室側がペンキ塗り潰しのもの。

○10702／　〃　（ニス塗）…同じく、客室側がニス仕上げのもの。

○10705／汎用座席表現シート（ボックスシート用）カバー付…上記のボックス席シートに白色のカバー表現を加えたもの。

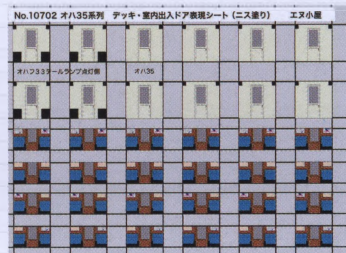
○10706／12系用室内出入ドア表現シート…旧客用同様、デッキ内外の仕切扉を表現するもの。12輌分を収録。

▲10009／「夢空間」壁面・室内シート。

▲10011／〈北斗星〉北海道編成用（基本）。

▲10012／〈北斗星〉北海道編成用（増結）。

▲10021／〈北斗星〉東日本編成用。

▲10700／汎用ボックスシート（カバーなし）。

▲10701／35系用デッキドア（ペンキ塗）。

▲10702／35系用デッキドア（ニス塗）。

▲10705／汎用ボックスシート（カバー付）。

▲10706／12系用デッキドア。

■RMM190号掲載
室内シート各種

Nゲージ客車用インテリア表現ステッカーの新作。　　各630円

○10093／TOMIX製「サロンエクスプレス東京」通路壁面…現在は絶版となっているTOMIX製品用の通路内壁面。フル編成分。

○10094／　〃　個室内壁面…同じく個室内用。壁面のみでモケット等は含まないので、各自色入れを補えばより引き立つだろう。

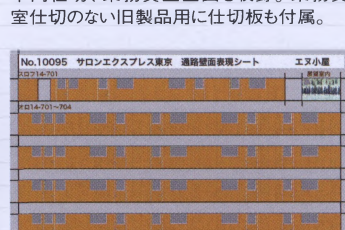
○10095／KATO製「サロンエクスプレス東京」通路壁面…こちらはKATO製品の寸に合わせた通路内壁面。フル編成分。

○10096／　〃　個室内壁面…同じく個室内壁面。

○10041／〈富士・はやぶさ〉室内表現シート…TOMIX製「さよなら 富士・はやぶさセット」対応の個室車室内、乗務員室等の壁面。

○10105／TOMIX24系25形対応室内表現シート…オロネ25、オハネ25 1000番代「ソロ」の通路・個室内壁面、オハ24「ロビーカー」車内仕切、乗務員室壁面を収録。乗務員室仕切のない旧製品用に仕切板も付属。

▲10093／TOMIX「サロンエクスプレス東京」通路壁面。

▲10094／同左・個室内壁面。

▲10095／同じくKATO製品用通路壁面。

▲10096／同左・個室内壁面。

▲10041／〈富士・はやぶさ〉室内表現シート。

▲10105／TOMIX24系25形室内シート。

■RMM191号掲載
室内シート各種

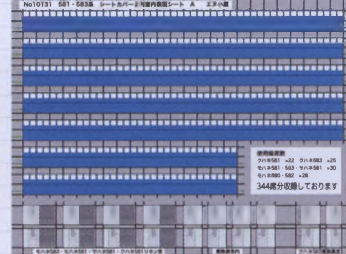
市販プラ製車輌向けの室内表現用シート。貼付対象は583系のみKATO・TOMIXの両製品、他はTOMIX製品を推奨。品番10031・10101・10102には乗務員室仕切パーツが付属する。　　各630円

○10031／トワイライトエクスプレス個室内（基本・増結B）…車輌のセット構成に合わせた個室壁面・モケット等のシート。これは基本および増結Bセット用。

○10032／　〃　（増結A）…同じく増結Aセット用。

○10101／下関あさかぜ・瀬戸通路個室内表現（青緑）…晩年の〈あさかぜ〉〈瀬戸〉用の青緑色モケットの室内シート。

○10102／　〃　（橙）…同じく橙色モケット。両製品ともロビーカーの内装も収録。

○10131／581・583系室内表現シート（カバー2列）…両系の座席状態のモケットと一部壁面のシート。モケットが青色で、枕カバーは2列に分かれたタイプ。14輌分。

▲10131／581・583系室内シート（カバー2列）。

▲10031／〈トワイライト〜〉個室内用（基本・増結Bセット用）。

▲10032／〈トワイライト〜〉増結Aセット用。

▲10101／〈あさかぜ〉・〈瀬戸〉通路・個室内用（青緑モケット）。

▲10102／同・橙色モケット。

■RMM192号掲載

室内シート各種

今回はTOMIX製「さよなら北陸」セットに合わせたもので、いずれも同社製品に適合。

○10110／14系「さよなら北陸」個室壁面…〈北陸〉個室車用の通路側壁面。談話室、乗務員室内のものも収録。

○10111／14系「さよなら北陸」個室内壁面…同じく個室内側壁面を収録。

○10527／14系B寝台用シート（オレンジ・カバーなし）…開放B寝台用の橙色モケット（枕カバーなし）。3輌分収録。カバー付としたい場合は品番10525を使用のこと。**各630円**

▲10110／14系「さよなら北陸」通路用。

▲10111／「さよなら北陸」個室内用よりスハネ14 700・スロネ14 700用。

▲10527／14系B寝台用（オレンジ・カバーなし）。

▲10111／「さよなら北陸」個室内用よりスハネ14 750用。

■RMM193号掲載

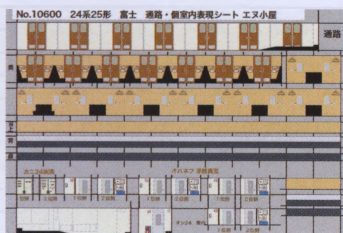
室内シート各種

今回はKATO製〈富士〉国鉄仕様に対応したもの。

○10600／24系〈富士〉A個室・食堂車壁面・ドアパーツ…オロネの個室内外壁面・モケット、カニ・オハネフ乗務員室壁面、各車デッキ仕切扉。個室内壁面は茶、モケットは紺。

○10601／24系初期〈富士〉A個室・食堂車壁面・ドアパーツ…品番10600の色違いで、初期の個室壁面アイボリー・オレンジモケットという仕様。

○10660／24系B寝台用シート（青）…開放B寝台用青色モケット。下段のみ3輌分入。**各630円**

▲10660：B寝台用シート（青）。

▲10600より個室・食堂車・乗務員室壁面および寝台モケット。

▲同じく10601より。デッキ仕切扉は別個に付属する。

■RMM194号掲載

客車用室内シート・カーテン

○10051／TOMIX製14系〈なは・あかつき・彗星〉個室内壁面…N車輌の室内表現用シートの新作。「ソロ」、「シングルDX」、「デュエット」といった各個室車の室内壁面、乗務員室内壁面を収録。 **630円**

◎カーテンパーツ…新シリーズとして、客室窓裏に貼り付けるカーテンが発売。レーザー加工・両面着色済。

○10751／KATO製24系25形〈富士〉基本用（全閉）…表題製品の基本セット用。ロールカーテンとオロネ個室内用の横引きカーテンがあり、横引きはシワを刻んでリアルに再現。こちらは全て閉じた状態で、ユーザー側で好みにカットするのに好適。 **693円**

○10752／　〃　増結用（全閉）…全て閉じたタイプの増結セット用。 **693円**

○10753／KATO製24系25形〈富士〉基本用（開閉）…基本セット用。窓ごとに開状態、閉状態、半開きなどランダムにカットされ、そのまま貼っても自然な感じ。 **756円**

○10754／　〃　増結用（開閉）…ランダムタイプの増結セット用。 **756円**

▲10051／〈なは・あかつき・彗星〉個室内壁面。

▲10751：〈富士〉用カーテン（基本用・全閉）。

▲10754／〈富士〉用カーテン（増結用・開閉）。

■RMM195号掲載

室内シート・カーテン・窓ガラス用フィルム

市販車輌を車内側からグレードアップする各種シート・パーツの新作。

◎室内シート…市販車輌の室内パーツに貼り付ける内装表現シート。 **各630円**

○10132／TOMIX製583系〈きたぐに〉車内シートパーツ…実車の状態に応じて座席状態・寝台状態双方のモケットを収録。

○10133／TOMIX製581・583系下段寝台状態車内パーツ…寝台状態のモケット・背ズリ部、各種仕切扉を収録。

○10134／KATO製583系下段寝台状態車内パーツ…同内容のKATO製品対応版。

◎カーテンパーツ…レーザー加工で切抜・シワ表現のなされた客室カーテン。

○10755〜10758／KATO製14系〈さくら〉用…7輌分の長崎編成用、6輌分の佐世保編成用にそれぞれ全閉状態、ランダム開閉状態が用意され都合4種。 **693円〜882円**

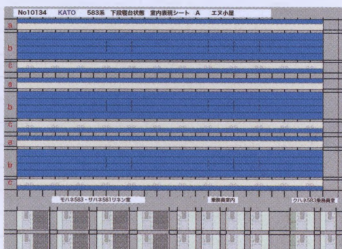
○10759〜10762／KATO製24系〈ゆうづる〉用…5輌分の基本セット用、6輌分の増結セット用を発売。こちらも全閉・ランダム開閉が用意され都合4種。 **577円〜756円**

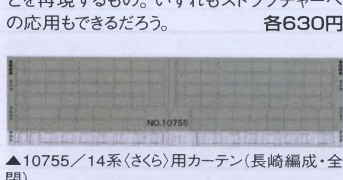
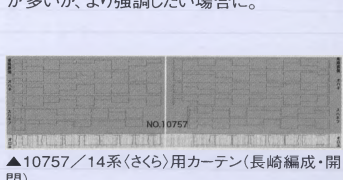
◎窓ガラス用フィルム…今回からの新企画で、ガラスパーツに貼り付けて色付きガラスなどを再現するもの。いずれもストラクチャーへの応用もできるだろう。 **各630円**

○10210／スモークフィルム…〈成田エクスプレス〉等スモークガラスの車輌に。

○10310／ミラーフィルム…〈スーパーはくと〉智頭急行HOT7000系等に見られるハーフミラーガラスの再現に。

○10400／グリーンフィルム…近年一般的になった緑色の熱線吸収ガラスを再現するもの。これは市販完成品でも表現される場合が多いが、より強調したい場合に。

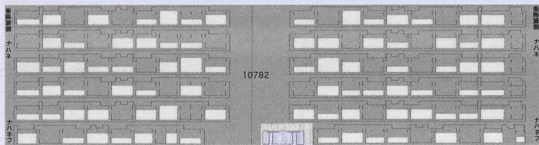
▲10133／581・583系下段寝台シート（TOMIX用）より。

▲10134／583系下段寝台シート（KATO用）より。

▲10132／〈きたぐに〉車内シート。

▲10755／14系〈さくら〉用カーテン（長崎編成・全閉）。

▲10757／14系〈さくら〉用カーテン（長崎編成・開閉）。

▲窓ガラス用グリーンフィルム使用見本。

▲窓ガラス用ミラーフィルム使用見本。

▲窓ガラス用スモークフィルム使用見本。　P(3点):エヌ小屋

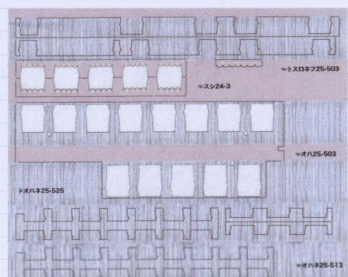
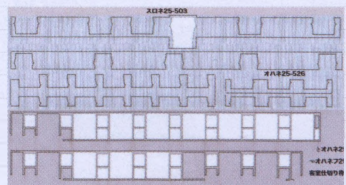
■RMM197号掲載
カーテンパーツシリーズ

▲10782:「さよなら20系」「ホリデーパル」用他(開閉)の内容。モノクラス編成用のためほぼ緑色のロールカーテンだが、製品により白のロールカーテン、白・赤の横引きカーテンも色分けして再現される。

市販車輌の車内に貼り付ける着色・レーザーカット済カーテン。新たに、KATO製20系に対応したものが各種登場。
○10781・10782／「さよなら20系」「ホリデーパル」用他…表題製品対応のナハネ×5、ナハネフ×1輌分。車掌室の横引きカーテンも収録。全閉、ランダム開閉状態の2種。
全閉:693円　開閉:756円
○10783～10785／20系セット用…ナロネ・ナシ入りの、原色仕様7輌セット対応品。全閉、ランダム開閉のほか、開閉状態でナロネのみ全開としたものがあり計3種。
全閉:693円　開閉:各756円
○10789・10790／ナハネ20…ナハネのみ4輌分の増結用。全閉、ランダム開閉の2種。
全閉:462円　開閉:504円
○10791～10793／ナハネ×3・ナロネ21×1…上記品の1輌分をナロネとしたもの。原色セット用と同様、ナロネ全開を含む3種。
全閉:462円　開閉:各504円
○10786～10788／〈さくら〉用…座席車3輌を含む〈さくら〉7輌セット対応品。全閉、ランダム開閉、全開閉状態の3種。
全閉:693円　開閉／全開:各756円
○10794～10796／ナロネ20・22…増結用。ナロネ20×1、22×3輌分。同じく3種。
全閉:462円　開閉／全開:各504円
○10797～10799／ナロネ21・ナロ20…増結用。ナロネ×3、ナロ×1輌分。同じく3種。
全閉:462円　開閉／全開:各504円

■RMM198号掲載
〈トワイライト〜〉用内装シート・カーテン／室内灯用フィルム

KATO製〈トワイライトエクスプレス〉を車内からグレードアップするアイテムが各種発売。新たに室内灯用マテリアルも登場。
◎室内表現パーツ　各630円
○10035／トワイライトエクスプレス(基本)通路壁面…製品の基本セットに対応。木目調の個室車通路壁面のほか、カニ用も収録。
○10036／　〃　(増結)通路壁面…同・増結セット用。Bコンパート用モケット入。
○10037／　〃　(基本)個室内壁面…基本セット用の個室およびロビーカー内装。
○10038／　〃　(増結)個室内壁面…同・増結用。「スイート」のベッド等も収録。
◎カーテンパーツ
○10771・10772／基本用…基本セット用のカーテン。スロネフ端面・スシ用はレーザー彫刻済で立体的。全開状態と個室車をランダム開閉状態としたものの2種。　各735円
○10773・10774／増結用…同じく増結セット用。Bコンパート用の仕切枠も入っている。基本用と同じく2種。　各588円
◎室内灯用フィルム　各630円
○10410・10415・10420・10425…白色LED室内灯の色調・光量調整用フィルム。スシ24など一部だけ色調が異なる場合にも便利。色変え用の「オレンジ」「濃オレンジ」、減光用の「ダーク」「濃ダーク」があり、「濃」は通常品の2倍の濃度。各100×125mm。

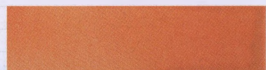
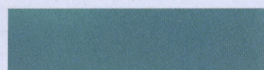
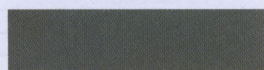
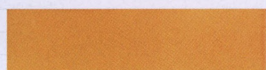
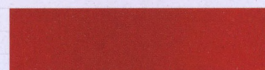
▲10035／〈トワイライト〜〉基本セット用通路壁面。

▲10037／同・基本セット用個室内壁面。

▲10771／〈トワイライト〜〉基本セット用カーテン(全開)。

▲10773／同・増結セット用カーテン(全開)。下はBコンパート用仕切枠。

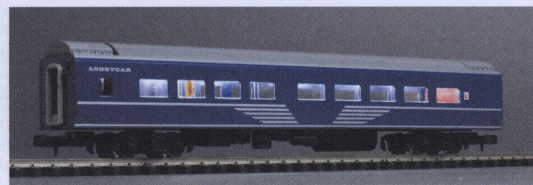
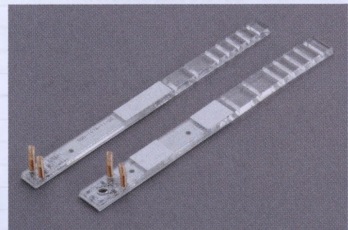
F-MODELS

■RMM189号掲載
FARBE　鉄道カラー

●製造:ガイアノーツ
F-MODELSのオリジナル塗料「FARBE」。以前紹介した「コンテナレッド」「床下グレー」以降、汎用性のある国鉄車体色が各種登場している。各15ml入。　各273円
○003／京浜ブルー…京浜東北線のステンレス車、関西圏の205系の帯色(青24号)。
○004／とび色2号…ワム80000等の車体色。
○005／黄色1号…EH10の帯色や初期の修学旅行用電車、総武線用205系の帯等に。
○006／朱色1号…中央快速線系統および関西圏の新性能国電、一部の旧国の車体色に。
○007／黄緑6号…103系以降の山手線はじめ、通勤型電車の車体色などに。
○008／青色22号…103系以降の京浜東北線はじめ、通勤型電車の車体色などに。
○009／青緑1号…常磐快速・緩行線の車体色・帯色、JR化後の加古川線の車体色に。
○010／青15号…20系客車や近代化旧客の車体色、スカ色の幕板・腰板に。
○011／青20号…新幹線の窓廻り、24系客車の車体色などに。
○012／ぶどう色2号…昭和30年代以降の旧客、旧国、電機の車体色に。
○013／緑2号…湘南色の幕板・腰板などに。
○014／黄かん色…湘南色の窓廻りなどに。
○015／クリーム4号…国鉄特急色や気動車標準色、交直流急行色などに。
○016／赤2号…国鉄特急色の窓廻り、50系客車等の車体色に。

▲003／京浜ブルー
▲004／とび色2号
▲005／黄色1号
▲006／朱色1号
▲007／黄緑6号
▲008／青色22号
▲009／青緑1号
▲010／青15号
▲011／青20号
▲012／ぶどう色2号
▲013／緑2号
▲014／黄かん色
▲015／クリーム4号
▲016／赤2号

■RMM190号掲載
illumi(室内灯)

「illumi」と銘打たれた本製品は、中央部にLEDを組み込んでプリズムで導光、一般的な完成品メーカーの室内灯と互換性のある構造で、それらに比して安価な価格設定が魅力。編成モノを楽しむ向きには心強い存在となるだろう。幅狭(約9mm幅)・幅広(約12mm幅)があり、全長はいずれも約130mm。それぞれ白色、電球色(橙)が用意される。
○F5005／白・狭
○F5006／白・広
○F5007／橙・狭
○F5008／橙・広
単品:各588円／10本入:各5,250円

▶幅狭(奥)、幅広(手前)の各製品。一般的な車輌用室内灯の外観だ。

▲白色・幅広タイプの使用例(TOMIX　オハ25)。

▲白色・幅狭タイプの使用例(TOMIX N700系動力車)。

ガイアノーツ

■RMM195号掲載
ガイアノーツカラー

ガイアノーツ鉄道模型用塗料に、JR貨物のコンテナカラー2種が追加となる。いずれも15ml入。　各294円
○1021／コンテナブルー…JR貨物移行初期のコンテナに使われた明るい青色。
○1022／コンテナレッド…現在の「JRF」ロゴ入りコンテナに使われる暗赤色。

◀コンテナブルー(左)とコンテナレッドのボトル状態。

■RMM187号掲載
国鉄色塗料各種

2009年に発売されたステンレスシルバーに続く、ガイアノーツの鉄道模型用塗料。今回は汎用性の高い5色が登場。　各263円

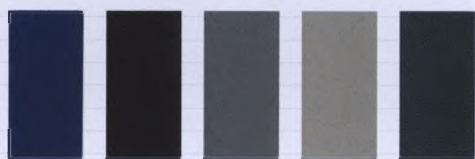
○1003／青15号…20系や近代化旧客、スカ色など車体の基本色として。

○1004／ぶどう色2号…昭和30年代以降の国電、旧客、電機などの車体色に。

○1005／ねずみ色1号…屋根・床下色に。

○1005／灰色9号…屋上機器、帯色などに。

○1006／ダークグレー…屋根色などに。

▲ボトル状態。

▲1003／青15号　▲1004／ぶどう色2号　▲1005／ねずみ色1号　▲1006／灰色9号　▲1007／ダークグレー

■RMM197号掲載
モデリングツール各種

○G-12／マイクロセラブレード…プラキットのバリ取りやパーティングライン処理に便利なペン型ツール。刃はセラミック製で片側ずつ直線・山型となっている。　1,260円

○G-10・G-11a～d／スーパースティック砥石・スペア砥石…同じくセラミック製の極細(0.9×0.9mm)研磨用砥石。基本となるセットには400、800、1200番の砥石(各1本)とペン型ホルダーが入り、3本入スペア砥石(240、400、800、1200番)も用意。

セット：2,310円

スペア砥石：各1,575円

○G-09r／マスキングコートR…塗装作業用のマスキング剤。以前からあった「マスキングコート」の改良品で、カット性・剥離性がアップされている。35ml入。　630円

▲G-10：スーパースティック砥石。奥のシャープペン状のものがホルダー、手前のケースに入ったものが砥石。

▲G-12：マイクロセラブレード。直線状の刃を装着した状態。

▲G-09r：マスキングコートR。瓶入りの形態は従来と同様。P：ガイアノーツ

KATO

■RMM187号掲載
『KATO Nゲージ・HOゲージ鉄道模型カタログ2011』

●A4判・252頁・1,260円

KATO鉄道模型の総合カタログ最新版。車輌ページに関しては昨年に続き、全製品を整然と並べる以前のような形にとらわれず、アピールポイントを明確に押し出した構成となっているのが特徴(巻末の価格表のみで本文掲載のない製品もある)。カタログ頁以外にも、開業から現在までの新幹線車輌の変遷、ブルートレインを模型で楽しむポイントなど、初心者にもやさしい小記事・コラムを掲載。

■RMM188号掲載
人形

○24-281／ブルートレイン食堂車乗務員・紺…国鉄時代の食堂車のコック・ウェイトレス・ウェイター。既存製品の別カラーで、ウェイトレスの制服が紺色となっている。6体＋料理プレート2枚入。　998円

○24-240／出前・配達2…酒屋を思わせる人形2体と台車・バイク・配達車各1台のセット。車は前回の「出前・配達」ではトラックタイプだったが、今回はバン。　1,680円

▲24-281：ブルートレイン食堂車乗務員・紺。

▲24-240：出前・配達2。

■RMM188号掲載
地方郵便局(ブラウン)

○23-454B…ジオタウンの「地方郵便局」にニューカラーが登場。前回(品番23-454)は薄ピンクの明るい塗装だったが、今回は濃茶色で窓枠が明茶色、ベースの成型色も渋くなり、より古い時代を思わせる姿となっている。付属ステッカーは23-454と同様。　2,520円

▲他製品についてもカラーバリエーションが予定されており、ジオタウンで再現できる時代も幅が広がりそうだ。

■RMM189号掲載
通運会社営業所・ブラウン

○23-457B…郵便局に続き「通運会社営業所」にもニューカラーが登場。こちらも前回のイエローに対してグッと落ち着いた濃茶色の壁(裏手の平屋部は明茶色)に明茶色の窓枠、濃灰色の瓦という姿。より古い情景にも似合う仕様となった。付属ステッカーは前回品同様。　2,520円

▶平滑なモルタル壁なので、ウェザリングでメリハリを付けてやりたいところだ。

■RMM189号掲載
アクセサリー各種

KATO「ジオタウン」用アクセサリーに、小変更によるバリエーションが3種登場。

○24-248／人形 和服の人々2・浴衣…花火大会や縁日に似合う浴衣の人々。既発売の「和服の人々1・浴衣」の色違い版。　998円

○24-250／人形 祭り2・神輿(紺)…祭りのシーンを象徴する神輿。製品は既存の「祭り1・神輿」の色替え品。法被が紺色、神輿は金色に着色されている。　2,625円

○23-508／軽バン・軽トラ…Nスケールフィギュア・ミニカーのセット「出前・配達」、「出前・配達2」の車のみをセット化したもの。軽バン、軽トラ各2台の4台入で、それぞれ色違いで塗装済。　1,260円

▲24-248：和服の人々2・浴衣。祭りの情景では人数が欲しいだけに、バリエーションは嬉しい。

▶24-250：祭り2・神輿(紺)。これで「喧嘩神輿」も再現できる!?

▲23-508：軽バン・軽トラ。白の軽トラ以外はオリジナルカラー。

■RMM190号掲載
複線駅構内線路各種

○20-874／V15 複線駅構内線路セット…ユニトラックの複線線路間に同社の島式ホームを組み込む新たな線路配置のセット。内容は複線間隔を広げる拡幅線路、ホームを挟む単線線路(124、248mm各×4)で、展開時の全長は1,364mm。全てPC枕木で統一されている。そのほか複線ワイドアーチ架線柱、ホーム端部に接続しスペーサーなどに用いるベースが各2個付属。　4,515円

○20-875／複線構内延長線路248mm(S248PC)…セットのものと同様のPC枕木の単線線路。4本入。　840円

○20-051／複線拡幅線路 左(WA310PC-L)…セットと同様の複線間隔変更用線路で、左方向へと広がるもの。　予価1,260円

○20-052／複線拡幅線路 右(WA310PC-R)…同じく右方向へ広がるもの。　予価1,260円

▲「V15」のセット内容を展開したところ。ホームには同社製の近郊型島式ホームが推奨されている。

▲「V15」パッケージ外観。

▲複線拡幅線路WA310PC-L(左)・R(右)。従来製品では作れなかった線形だ。

▲構内延長線路S248PC。駅構内もPC枕木で統一可能になった。

■RMM190号掲載
複線ワイドラーメン架線柱

○23-063…複線線路の展開に伴い、充実度を増しつつあるKATOの架線柱に新製品。存在感ある鋼製トラス構造のものが発売となった。製品は銀色成型で、2ピース構造によりトラスの内側も潰れず抜けており細密感は満点。堂々たる幹線線路の再現には絶好の役者となるだろう。規格は以前から発売されているコンクリートポールの「複線ワイド架線柱」と同一で、カント付複線線路に対応。張力調整装置(4個)も同様に付属する。6個入。　1,575円

▶複線線路に設置した複線ワイドラーメン架線柱。写真のサンプルでは、付属の張力調整装置を取り付けている。

■RMM191号掲載
役場(ブラウン)

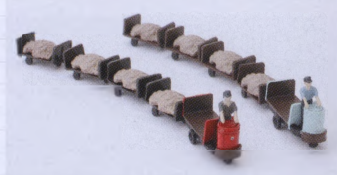
○23-459B…KATOの「ジオタウン」対応ストラクチャー「役場」のカラーバリエーション製品。先の郵便局や通運会社営業所同様、ノスタルジックなイメージを強調した「ブラウン」仕様が登場した。屋根が赤、羽目板部が濃茶、窓枠等が明茶という塗り分けで、他のブラウン仕様製品とあわせ、古びたトーンの街並みを作るのに好適な製品。　2,940円

▲ダークな色合いで、既存バージョンとはかなり印象が変わっている。

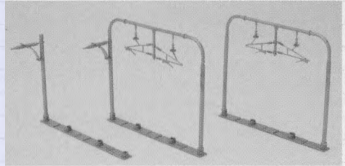
■RMM192号掲載
ターレット式駅構内運搬車(荷物・郵便)

円筒型の動力部がチャーミングな構内運搬車「ターレット」がKATOから発売された。ターレットは現在も市場や倉庫などで構内運搬用に活躍しているが、製品は国鉄時代、貨物駅やターミナル駅で荷物運搬に使われた姿。荷台付きターレットトラック(円形ライトのいわゆる「丸目」)のほか運転士、台車・荷物各×4、標記デカールが付属。　各1,050円

○24-263(荷物)…手小荷物用。ターレットは水色、台車は焦げ茶色の塗装。

○24-264(郵便)…郵便用。ターレットは赤、台車は黒塗装。

▲実際に連結はできないが、台車をいくつも連ねて賑やかに配置したい。

■RMM192号掲載
複線ワイドアーチ架線柱

○23-062…ユニトラック複線線路に対応したワイド架線柱の新バリエーション。現代的な鋼管架線柱を模しており、曲線を描くすっきりした形状は「ジオタウン」との相性も良さそう。規格は既存の「複線ワイド架線柱」と同様で、カント付線路にも対応。架線支持部の形態違いでタイプA(6本)、タイプB(4本)の2種計10点がパッケージされるほか、張力調整装置・同支柱各2点、地上設置用のベース11個が付属する。 1,260円

▲地上線用ベース使用状態を示す。左は張力調整装置。

■RMM194号掲載
人形

KATOのN用フィギュアに、現代的なシーンを彩る4種の新製品。

○24-277／アテンダント(寝台特急・準備)…〈カシオペア〉など現代の寝台列車のアテンダント。こちらは出発前、準備中の姿。4体十台車1台付。 1,155円

○24-278／アテンダント(寝台特急・乗務)…同じく、乗務中の姿としたもの。6体十ワゴン1台付。 1,155円

○24-241／携帯電話1…通話する、メールを打つ、写真を撮るなど、携帯電話を使う男女7体。「ジオタウン」との相性も良いだろう。こちらは立った姿勢。 1,050円

○24-242／携帯電話2…同じく座った姿勢7体。画面を見ているものが多い。1,050円

▲24-241:携帯電話1。現代の街中の再現には欠かせない役者。

▲24-242:携帯電話2。乗客としても使えそうだ。

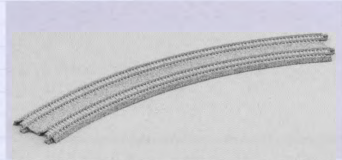
▲10-278:アテンダント(寝台特急・乗務)。

▲10-277:アテンダント(寝台特急・準備)。

▲V16・外側複線線路セットのパッケージ。展開時のプラン寸法は2,560×1,432mmとなる。

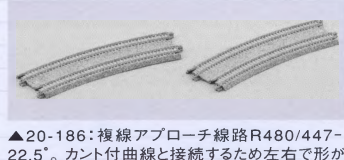
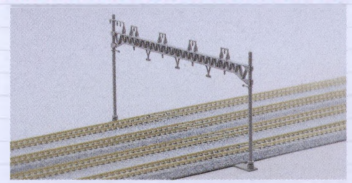
■RMM195号掲載
ユニトラック外側複線線路ほか

KATOの複線カント付線路に、複々線を構成するための外側曲線が追加となった。

○20-185／複線曲線線路R480/447-45°…既存のR414/381の外側に付く曲線。今まで複々線にはR315/282(内側複線)で対応していたが、より本線級の車輌にふさわしい大カーブが再現可能になった。 1,155円

○20-186／複線アプローチ線路R480/447-22.5°…直線と上記曲線線路を仲介する線路。左右の別があり、各1本入。 1,365円

○20-876／V16外側複線線路セット…上記2種の線路を含む、既存の「V11 複線線路セット」の複々線化セット。 9,975円

○23-064／4線式ワイド架線柱…カント付複々線に対応した、コンクリートポール十トラスビームの広幅架線柱。10点入、設置ベースと張力調整装置が付属。 1,575円

▲20-185:複線曲線線路R480/447-45°。

▲20-186:複線アプローチ線路R480/447-22.5°。カント付曲線と接続するため左右で形が異なる。

▲4線式ワイド架線柱。天地の狭いトラス構造のビームは、少し古めの車輌にも似合う。2種類の形態があり、中央に柱のある右のタイプには張力調整装置を取付可能。

■RMM196号掲載
LED室内灯クリア

KATOでは以前から白色LED室内灯(品番11-209・11-210)を発売しているが、その改良型と言える新製品が登場。車端のLEDからプリズムで導光する構造は同様だが、輝度を60%アップ、明るさのムラを低減しているほか、プリズムが薄くなり、東京メトロ01系など小断面の車輌でも目立ちにくくなった。従来の白色室内灯対応車にはそのまま取付可能で、電球色表現用のフィルターも同様に付属する。

▲製品は組立式。右側のパーツが発光部で、左が薄型のプリズム。

○11−211／1個単品 756円

○11−212／6個セット 3,780円

▲同社製E257系への組込例。

■RMM196号掲載
ユニトラックコンパクト

KATOユニトラックに、近年盛んなNゲージのミニレイアウトに好適な小径曲線が登場した。TOMIXの「ミニカーブレール」同様、既存の各種線路の規格に対応したもので、ユニトラックユーザーにはプランニングの幅を大きく広げるものとなるだろう。

○20-172／曲線線路R183-45°…ユニトラックの複線間隔33mmにおいて、従来の最急曲線R216の内側に入る曲線。45°刻みで、8本で円となる。4本入。 672円

○20-174／曲線線路R150-45°…R183の内側に入る曲線。同じく4本入。 672円

○20-890／CV-1 エンドレス基本セット…R150-45°×8、S124×3、S62×1、S62F×1による小判型エンドレスのセット。リレーラー付属(制御機器はなし)。 2,310円

▲「CV-1 エンドレス基本セット」のプラン。ポケットラインシリーズの走行にもうってつけの舞台となるだろう。

◀曲線線路R183-45°(外側)、R150-45°(内側)。

P:KATO

■RMM197号掲載
ユニトラム拡張セット V51／V52

KATOの路面軌道システム「ユニトラム」に、2種の拡張セットが登場。待望のクロッシングも再現可能となった。

○40-801／路面軌道拡張セットV51…スターター(または基本)セットに追加することで、交差点でのダイヤモンドクロッシングを含む8の字型のプランへと拡張するセット。基本セット同様、道路や角地のプレート、道路上のアクセサリーも付属。 14,700円

○40-802／直線拡張セットV52…全長124mmを4本、186mmを2本と、異なる2種の直線路面軌道をセット、レイアウトの奥行きを深められるセット。線路と対になる分の建物ベース部分も付属。 8,925円

◀拡張セットV51を組み立てたところ。中央の交差点にクロッシングが組み込まれている。

▶拡張セットV52を、434mm分の直線2本に組んだ例。

P(2点):KATO

■RMM197号掲載
フィギュア各種

充実の度を増しつつあるKATOのNゲージ人形に、8種のニューアイテム。いずれも現代的なシーンによく似合う。

○24-243／通学1…いかにも現代の高校生といった感じの、制服をまとった通学生徒。立ち姿の男女6体セット。 1,050円

○24-244／通学2…同じく制服姿。こちらは座ったもの3体を含む7体。 1,050円

○24-245／通学3…ランドセルを背負った小学生5体、手を引く母親1体。 1,050円

○24-246／通勤1…スーツ姿を中心としたサラリーマン・OLのセット。こちらは歩く姿で、6体入。 1,050円

○24-247／通勤2…こちらは座った姿の勤め人たち。同じく6体セット。 1,050円

○24-249／和服の人々3 訪問着…和服は和服でも既存の「浴衣」とは趣を異にする、正装に身を包んだ人々。6体入。 1,050円

○24-279／グリーンアテンダント(準備)…首都圏普通列車のグリーン車ではお馴染みのアテンダント。こちらはキャリーバッグを持った乗務前の姿。6体入。 1,155円

○24-280／グリーンアテンダント(乗務)…同じく乗務中の姿。6体入。 1,155円

▲24-243:通学1。

▲24-244:通学2。

▲24-245:通学3。一体は制服。

▲24-246:通勤1。

▲24-247:通勤2。

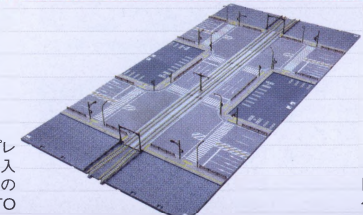
▲24-249:和服の人々3(訪問着)。

▲24-279:アテンダント(準備)。

▲24-280:アテンダント(乗務)。カゴも付属。

■RMM198号掲載
ユニトラムV53

KATOの路面軌道システム「ユニトラム」拡張用セット。「鉄道乗入れ拡張セット」と銘打ち、路面軌道と通常のユニトラック線路を接続するもの。プレートはT字交差点を直線に貫いて専用軌道へと入っていく形で、専用軌道の導入部で複線間隔を調整(ユニトラム:25mm→ユニトラック:33mm)する役割も持つ。セット内容は同型のプレート2枚、信号機など各種アクセサリー。専用軌道から併用軌道への直通、車庫へのアプローチなど様々に応用できよう。 9,975円

▶セット内容の組立状態(2枚のプレートを接続したところ)。専用軌道入口には、路面軌道とは異なる門型の架線柱が立つ。 P:KATO

▶セットのパッケージ外観。

CASCO

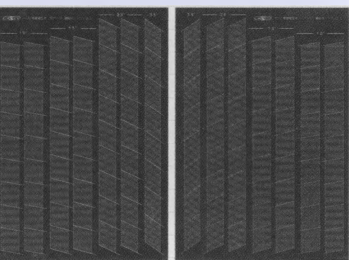
■RMM188号掲載
傾斜ネットフェンス

透明塩ビ板にフェンスのパターンを印刷することで、一見抜けているような効果を持たせたCASCOのフェンスキットシリーズ。2010年発売の6種に続き、斜面設置用など3種が新登場。　各399円

○YP-307／ネットフェンス(グレー)…前回グリーンのみだった網状フェンスのグレー版。近年、鉄路柵としてよく使われているタイプで、現代的なレイアウトに最適。高さ9.5mm・12.5mmの2タイプが含まれる。2枚入。

○YP-308／傾斜ネットフェンス(グリーン)…前回発売のネットフェンス(グリーン)と同形態で、斜面用に傾斜をつけたもの。右向き・左向きでそれぞれ角度10°・15°・25°を2本ずつ、35°を1本収録。

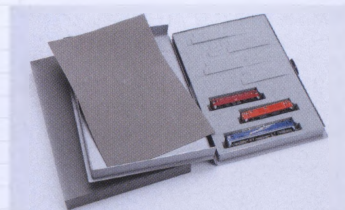
○YP-309／傾斜ネットフェンス(グレー)…YP-308のグレー版で、YP-307と接続して使用可能。

▲YP-307：ネットフェンス(グレー)。

▲YP-308：傾斜ネットフェンス(グリーン)。傾斜が付くため、右向き・左向きの各1シートセットとなる。

■RMM193号掲載
車輌ケース各種

CASCOのN用車輌ケース・ウレタンに、新たに「機関車用」が登場。機関車は単品売りが基本だけに、編成でなく単体でコレクションする場合にはその整理の一助となろう。今回製品は「新型電機用」とされ、国鉄・JRの新型電機を7輌収納(箱型DL等も可)。全長の差に対応し、ウレタンは細かにカットしてある。また今回からウレタン下面に加え上面にも保護シートが付くようになった。

○YP-027・028／機関車用ウレタンA(ライトグレー・ダークグレー)…ウレタン単体での販売。CASCOのスペアケースおよびKATO製ケースに対応。　各840円

○YP-529・530／機関車用車輌ケースA(シルバー・ブラック)…同社製ブックケースに上記ウレタンを収めたもの。　各1,890円

▲YP-530：車輌ケースA(ブラック)の収納見本。蓋の裏に載っているのが保護シート。

■RMM197号掲載
12輌用車輌ケース(21m級対応)

○YP-531・532…CASCOのNゲージ用ブックケースの新製品。同社では既に12輌用ケースを発売しているが、今回品ではケース本体とウレタンを専用設計とし、最大21m級までの車輌を収納可能(従来品は19m級まで)としたのがポイント。JRの特急車など、大柄かつ長編成の車輌には嬉しい製品だ。ケース本体はシルバー・ブラックの2色が用意される。　各2,100円

▶収納見本。新設計となり収納部分は若干拡大しているが、ケース外寸はこれまでのケースと変わらないのはありがたい。

銀河モデル

■RMM187号掲載
寝台車　昇降ハシゴ

寝台車の窓際に設置された昇降用梯子。多くの製品で省略されているこのディテールを表現するエッチングパーツが登場した。いずれもt0.2ステンレス製で、TOMIX製品対応。いずれも2個(2輌分)入。　各1,050円

○N-851／寝台昇降ハシゴ(全開・オハネフ25他)…全ての梯子を両側に引き出した状態。以下製品名「オハネフ25他」のものは14系や14系15形、24系24形にも使用可能。

○N-852／寝台昇降ハシゴ(全閉・オハネフ25他)…全ての梯子を収納した状態。

○N-853／寝台昇降ハシゴ(ランダム・オハネフ25他)…収納、片側引き出し、両側引き出しの各状態をランダムに配置したもの。

○N-854／寝台昇降ハシゴ(全開・オハネ25)…N-851と同タイプのオハネ25用。

○N-855／寝台昇降ハシゴ(全閉・オハネ25)…N-852と同タイプのオハネ25用。

○N-856：寝台昇降ハシゴ(ランダム・オハネ25)…N-853と同タイプのオハネ25用。

▲N-851／寝台昇降ハシゴ(全開・オハネフ25他)。

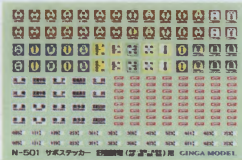
▲N-853／寝台昇降ハシゴ(ランダム・オハネフ25他)。

▲N-855／寝台昇降ハシゴ(全閉・オハネ25)。

■RMM187号掲載
Nゲージサボ・標記シール各種

Nゲージ用各種表示ステッカーの新作。いずれも透明シートへの印刷。　各525円

○N-501／サボステッカー 旧型国電(中央・青梅・五日市・山手・総武・南武・鶴見)用…各線の行先、運番、山手線の誤乗防止表示を収録。N-501・502は同番旧製品の改良。

○N-502／サボステッカー 旧型国電(京浜東北・常磐・横浜・仙石線)用…各線の行先、運番、京浜東北線の誤乗防止表示を収録。

○N-504／窓表示ステッカー 首都圏通勤型用…優先席表示(大／小)、ドアステッカーを収録。201、205、209、E231系などに。

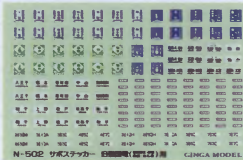
○N-505／窓表示ステッカー 地下鉄用…東京メトロ6000・7000系など、首都圏地下鉄のドア窓・客窓用ステッカー。

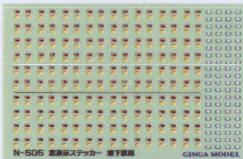
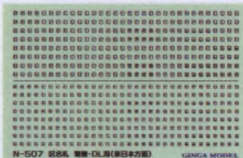
○N-506／運行番号表示 急行・近郊型電車用…113系・115系などの列車番号表示。関東・甲信越・中部地区各線用、伊豆急譲渡車用も。

○N-507／区名札 電機・DL用(東日本方面)…東北～関東地区の各機関区の区名札。32種×大・小各8点ずつ収録。

▶N-501／サボステッカー 旧型国電(中央・青梅・五日市・山手・総武・南武・鶴見)用。

▶N-502／サボステッカー 旧型国電(京浜東北・常磐・横浜・仙石線)用。

▶N-504／窓表示ステッカー 首都圏通勤型用。

▶N-505／窓表示ステッカー 地下鉄用。

▶N-506／運行番号表示 急行・近郊型電車用。

▶N-507／区名札 電機・DL用(東日本方面)。

■RMM191号掲載
ブルトレ用ステッカー・パーツ各種

TOMIXから発売の「さよなら北陸」セットおよび〈北斗星〉編成に対応するステッカー・パーツが発売された。KATO製品には加工次第で使用可能。

○N-531／行先ステッカー(北斗星用)…現行〈北斗星〉用11輌分。　525円

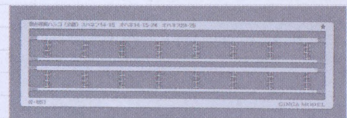
○N-532／行先ステッカー(さよなら北陸用)…最終期の〈北陸〉編成8輌分の側面方向幕・号車番号・寝台表示等を収録。　525円

○N-857・858／寝台ハシゴセット(さよなら北陸用)…側窓内側の寝台昇降ハシゴ(ステンレスエッチング製)4輌分と上記〈北陸〉用ステッカーのセット。ハシゴはN-857が全開状態、858はランダム。　各2,100円

○N-859・860／寝台ハシゴセット(北斗星用)…こちらは寝台昇降ハシゴ2輌分と上記〈北斗星〉用ステッカーのセット。ハシゴはN-859が全開、860がランダム。　各1,260円

▶N-531：〈北斗星〉用行先ステッカー。

▶N-532：〈北陸〉用行先ステッカー。

▲寝台ハシゴパーツ〈北陸〉用から、全開状態のもの。

▲〈北斗星〉用(既に単品発売もしているパーツ)から、全開状態。

▲同じくランダム。

▲同じくランダム。

▲N-118：空転検知ケーブル(EF65用)。

▲N-119：空転検知装置(新系列電機用)。

▲N-120：速度記録装置(初期型電機用)。

▲N-140：高圧引込回路(EF16用)。

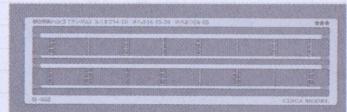
▲N-139：高圧引込回路(EF15用)。

▲N-160：保護棒(カニ24用)。

■RMM198号掲載
車輌用金属パーツ各種

電機用を中心としたディテールアップパーツ各種。電機用の台車廻りパーツは近年のファインスケール化傾向に合わせ、従来品より小さめに作られている。

○N-118／空転検知ケーブル(EF65用)…軸箱はめ込みタイプで、エッチングのケーブル部分のみ。2輌分入。

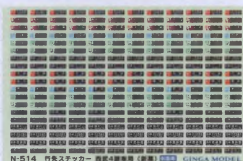
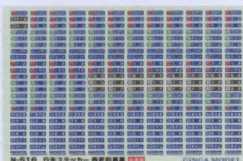
○N-119／空転検知装置(新系列電機用)…EF65以外の新系列機に。本体(挽物)+ケーブルのセット。取付穴ϕ0.6、6組入。

○N-120／速度記録装置(初期型電機用)…EF62、63等に使用の旧型タイプ。構成はN-119同様。取付穴ϕ0.6、6組入。

○N-139・140／高圧引込回路…パンタ脇の高圧引込線。KATO製品用で139はEF15、140はEF16用。取付穴ϕ0.5、各2輌分。

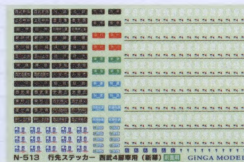
○N-160／保護棒(カニ24用)…荷物室部分の窓サイズに合わせたエッチング保護棒。今回は本品のみ塗装済(淡緑色)。4輌分。

N-160：525円　他5種：各420円

■RMM198号掲載
西武用行先ステッカー各種

新旧の西武用行先ステッカー。N完成品やキット組立品、鉄コレ改造品などに。
○N-512／新101系用(現行仕様)…現行の英字入り黒幕。優先席表示、伊豆箱根・三岐・上信・流山用も収録。側面用は各4点。
○N-513／2000系用(現行仕様・前面)…同じく英字入り黒幕。前面用行先のほか、優先席表示、現行ドアステッカー等を収録。
○N-514／　〃　(現行仕様・側面)…同じく側面用、19種各12点入。
○N-515／新101・2000系用(旧黒幕・前面)…英字表記のない旧幕。101系、2000系用の前面幕、シルバーシート表示等を収録。
○N-516／2000系用(旧黒幕・側面)…旧仕様の英字なし青地幕。23種各12点。
○N-517／旧型車用(351・451・571系用)…旧型の白地幕。吊下式、埋込式双方のサイズを収録。上信・上毛・流山・伊豆箱根・大井川・三岐・一畑・近江用も含まれる。
○N-518／ステッカーセット(2000系用・現行)…N-513・514をセットとしたもの。
○N-519／　〃　(2000系用・旧黒幕)…N-515・516をセットとしたもの。
単品:各630円　セット:各1,050円

▶N-512:新101系(現行仕様)。

▶N-513:2000系(現行仕様・前面)。

▶N-514:2000系(現行仕様・側面)。

▶N-515:新101・2000系(旧黒幕・前面)。

▶N-516:2000系(旧黒幕・側面)。

▶N-517:旧型車(351・451・571系)。

グリーンマックス

■RMM195号掲載
車番インレタ201系

○6306…GM自身でも発売している201系をはじめ、国鉄車輌の切り抜きナンバーを各種収録した銀文字インレタ。以前の#63-6のリニューアル版にあたるもので、旧版では全体に比して少なかった201系用を増量、試作車用も収録。EL・DL用やクロ157、12系「白樺」、20系一部形式、大小のJNRマークも含まれている。
1,260円

▶GMキットはもちろん、鉄コレ201系の加工・車番変更にも好適。

■RMM195号掲載
車両ケース各種

近年のGM製完成品に見られる2輌用・8輌用ケースの単品販売が開始された。
○8702／2輌用…VHS用ハードケースを利用した半透明のもの。ジャケットは差し替え容易なので、いろいろ自作しても面白いだろう。18〜21m車に対応。
787円
○8703〜8708／8輌用…編成モノに使われるブック型ケース。通常のグレーに加えレッド、イエロー、グリーン、ブルー、マルーンと6色が用意され、車輌のイメージに応じて使い分けできる。こちらも18〜21m車に対応。背面ラベルは市販VHSテープのものが使用可能。
各1,890円

▶VHSケース利用の2輌用ケース。小パーツなどを入れるスペースもある。

▲8輌用ケースの外装色は6色用意される。

▶8輌用のブックケース。ウレタンは小刻みにカットされ、車体長の差に対応。

コスミック

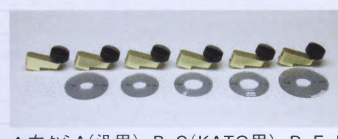
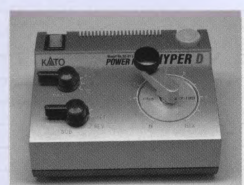
■RMM187号掲載
小型車輌用駅舎

先に発売された「ホーム端駅舎」に続く、コスミックのショーティストラクチャー「小都物語」の新作。いずれも白色アクリル製未塗装組立キットで、屋根は取り外し可能。
○BS-71FK／陸屋根の駅舎…平らな陸屋根を持つ、昭和中期的な雰囲気の質素な駅舎。w70×d45×h25mm。スロープで既発売のホームと接続可能。
3,150円
○BS-90TK　三角屋根の駅舎…背の高い三角屋根を持つ駅舎。遊覧鉄道のようなシチュエーションにも似合いそうだ。w90×d45×h45mm。ホームには階段で接続。3,360円

▶BS-90TK　三角屋根の駅舎。
P(2点):コスミック

◀BS-71FK／陸屋根の駅舎。

■RMM198号掲載
**パワーパック用交換
マスコン型ハンドル**

市販パワーパックの速度調整ダイヤルを交換し、実車の運転台の雰囲気を味わうパーツ。以前からあった製品のリニューアル版で、ハンドルを真鍮から錫合金＋真鍮メッキに変更、重量感を保ちつつ低価格化を図っている。各社製品に対応した6種類を発売。
○A(CP-18C)…コスミック製「CP-073」・「CP-173」、その他φ6シャフトのパワーパックに対応した汎用品。
○B(CP-18KH)…KATO製「ハイパーD」・「KC-1」に対応。以下5種はダイヤル部の穴埋めパネル(アクリル製)付。
○C(CP-18KS)…KATO製「スタンダード」・「スタンダードS」対応品。
○D(CP-18T1)…TOMIX製「N-1000-CL」・「N-1001-CL」対応品。
○E(CP-18T6)…TOMIX製「N-400」(セット付属品)・「N-600」対応品。
○F(CP-18TW)…TOMIX製ワイヤレスパワーユニット「N-WL10-CL」対応品。
A:2,100円　B〜F:各2,520円

▲左からA(汎用)、B・C(KATO用)、D・E・F(TOMIX用)の各ハンドル。

◀Bタイプの KATO製「ハイパーD」への取付見本。

◀Dタイプの TOMIX製「N-1001-CL」への取付見本。
P(すべて):コスミック

■RMM193号掲載
パワーパックMINI

○CP-160…Zゲージ用超小型パワーパック「ZII」に続いて同規格のNゲージ向けモデルが登場。ケースはほぼ同型で、50×72×37mm(突起除く)のミニサイズ。電圧可変トランジスタ式、最大電流0.5Aといったスペックも同様だが、車輌出力を直流0〜12V弱(ZIIは0〜9V弱)に、電源はAC100V用アダプターのみ(乾電池非対応)に変更されている。フィーダーは付属しない。
7,350円

◀製品の背面。「ZII」にあった電池ケースは付属せず、電源はACアダプターのみとなっている。

▲タバコの箱と変わらないサイズは、市販パワーパックでは最小クラス。電池駆動式ほどの自由度はないとはいえ、レイアウトとともに持ち運ぶには便利だ。
P(2点共):コスミック

■RMM198号掲載
タワーパーキング2種

これまで鉄道関連施設がほとんどだったコスミックのストラクチャーキットに、街中の建物として自動昇降式のタワー型駐車場が登場。白色アクリル製の未塗装組立キットで、窓のないのっぺりした外観は都市部の情景のワンポイントとなってくれそうだ。いずれも「P」マーク等のステッカー付。
○NS-91K／タワーパーキング20…20台収納タイプ。回転場は屋外。w50×d100×h134mm(＋ベース厚2mm)。
2,310円
○NS-92K／タワーパーキング30…30台収納タイプ。回転場内蔵型。w50×d90×h200mm(＋ベース厚2mm)。
2,730円

▶NS-92K:タワーパーキング30。ターンテーブル内蔵型。

◀NS-91K:タワーパーキング20。ターンテーブルは屋外。
P(2点共):コスミック

CROSS POINT／ジーエムストアー

■RMM187号掲載
ホームドア(塗装済)

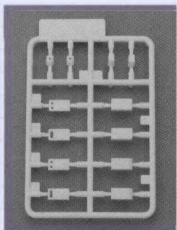
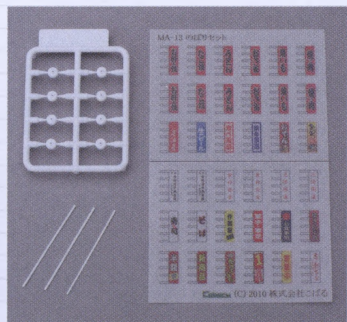
○5701／紺色
○5702／桃色
○5703／銀色
…GMから発売されているホームドアパーツを塗装済としたもので、店舗限定のCROSS POINTブランドで発売となる。20m級4扉車用10個入り。
各892円

▲3色が用意されている。

こばる

■RMM187号掲載
Nゲージ用情景小物各種

既存製品のスキ間を突いたアクセサリーを続々リリースするこばるから、3種の新製品。
○MA-05／ゴミ箱…駅のホームでよく見る縦長のゴミ箱。プラ製2ピース構造で、内部はちゃんと空洞になる。内容は空き缶用・燃えるゴミ用がそれぞれ2形態で計4個、加えて町中で自販機の脇によくある小型の空き缶用ゴミ箱が2個。 420円
○MA-13／のぼりセット…店先や神社仏閣に立つ幟。製品はプラ製台座8個と竿用のプラ棒(φ0.5×約30mm)10本、旗(27種36枚を1シートに印刷)のセット。 840円

▶MA-05／ゴミ箱のパーツ状態。

○MS-05／のぼり専用のぼり旗…のぼりセットと組み合わせて使う交換用の旗。4枚のシートに75種320枚の旗が印刷されている。のぼりセット付属品ともどもトレーシングペーパーのような薄手の紙への印刷で、裏が透けて見えるのが実感的だ。 630円

▲MA-13／のぼりセットのパーツ状態。

▲MS-05／のぼり専用のぼり旗は4シート入り。

▲のぼりセットの使用例。 P:こばる

▲ゴミ箱の使用例。 P:こばる

■RMM189号掲載
フレキシブル階段

○MA-08・MA-09…既存製品にないアクセサリーを精力的に展開するこばるから、一風変わった「階段キット」が登場した。製品は1段1段が短冊状に分かれたプラ成型品で、必要な段数をユーザーが組み立てる仕組み。裏面にはガイドの突起があり、それに合わせて組めば幅36mmの直線階段となるが、強みなのは段ごとに分かれているため曲線部にも対応できること。地形に合わせた敷設が可能で、「フレキシブル」たる所以だ。直線組立時の傾斜によって45°タイプ(MA-08)、30°タイプ(MA-09)の2種があり、それぞれ1ランナー16段×3セット入。 各714円

▲MA-08(45°タイプ)。左が上面、右が下面。

▲自作ストラクチャー等と組み合わせた作例。ご覧の通り、曲線部の製作も可能だ。

▲同じくMA-09(30°タイプ)。

■RMM192号掲載
バイクフィギュア4種

「鎌倉湘南ギャラリー」シリーズの一環として、ちょっと派手なバイクが各種登場。
○MV-04／ゾクっとバイク(1)…少々古いタイプの改造バイク2台セット。
○MV-05／ゾクっとバイク(2)…こちらも昔風の改造バイク2台。1台は風防付。
○MV-06／大型スポーツバイク…フルカウルの現代的な大型バイク2台セット。
○MV-07／BIGスクーター…こちらも現代シーン向きの大型スクーターの2台セット。 各1,470円

▲MV-05：ゾクっとバイク(2)。流線型の風防がいかにもな感じ。

▲MV-06：大型スポーツバイク。今回の製品はいずれもライダーフィギュア付。

▲MV-04：ゾクっとバイク(1)。ライダーの出で立ちも時代を感じさせる。

▲MV-07：BIGスクーター。

■RMM195号掲載
20ftコンテナ倉庫ほか

近年各地で見られるコンテナ利用の貸し倉庫と、その関連アクセサリーが発売された。
○MC-01～MC-04／ハローコンテナ…エリアリンク社による実在の貸コンテナ「ハローコンテナ」を模した20ft級のコンテナ。入口の位置と数で4種(妻面1枚、側面3・4・5枚)あり、5枚タイプのみ開き戸、他はシャッター。妻面にはロゴを印刷、看板ステッカーも付属する。各2個入。 各1,680円
○MP-04／タラップ…2段積みになったコンテナの上段へ上がるためのタラップ。ステンレスエッチング・未塗装、1基入。 777円
○MP-06／立て看板セット…上記コンテナ付属のステッカーに対応した大小5種、計18枚の野立て看板。これもステンレス製。本製品にも各種看板シールが付属。 777円

◀タラップの組立見本(未塗装状態)。ステンレスエッチング製。

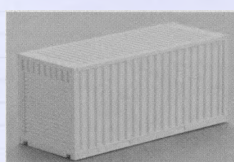
▲立て看板セットの組立例。コンテナ付属のステッカーも使用可能。

▲タラップとコンテナ倉庫はこのように組み合わせて使用。

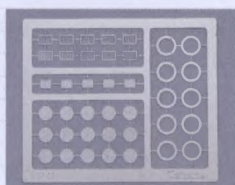
▲看板セットには工事区域の表示なども含まれる。 P(使用例写真4点)：こばる

◀MC-02：ハローコンテナ・側面3ヶ所開きタイプ。

◀MC-03：同・側面4ヶ所開き。

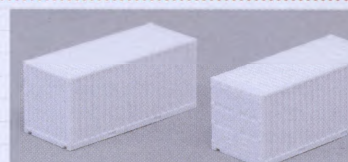
◀MC-04：同・側面5ヶ所開き。これのみシャッターでなくドア。

◀MC-01：同・妻面1ヶ所開きタイプ。コンテナはコキにも積載可能(!)。

■RMM197号掲載
情景用小物

こばるのNゲージ情景用アクセサリー「マイスターシリーズ」に2点の新アイテム。
○MP-02／マンホールと側溝のフタ…マンホール蓋3種各5枚、その枠10枚、消火栓蓋5枚、グレーチング(格子状の鋼製側溝蓋)10枚のセット。素材はt0.15の極薄ステンレス板で、道路表面への貼付だけでも違和感なく仕上がりそうだ。 777円
○MP-03／塔婆セット…こんなものまで！と驚かされる「墓地のアクセサリー」。こちらもt0.15ステンレス製で、塔婆40本、塔婆立て(2種)計5個のセット。 777円

◀MP-02：マンホールと側溝のフタ。道路に埋め込めばよりリアル。

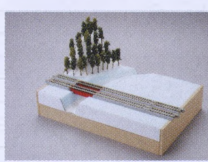
◀MP-03：塔婆セット。こうなると、書かれた文字も再現したいところだが…

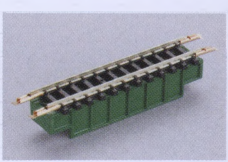
■RMM197号掲載
20ft海上コンテナ

○MC-05／20ft海上コンテナ(未塗装)…先にコンテナ倉庫という一風変わった題材を製品化したこばるから、新たに通常の輸送用コンテナも製品化。片妻面開きの標準的な20ft海上コンテナで、無地の白色仕様。スチロール樹脂製で、市販のラッカー塗料等で塗装できる。概寸w16×d40×h17mm、各社のコンテナ貨車に積載可能。2個入。 840円

▲実在のプロトタイプに仕立てるもよし、フリーランスやイベント等でのアピール用に使うもよし、想像力を刺激する白コンテナ。

小松商店街鐵道

■RMM196号掲載
路面モジュール用パネル／デッキガーダー橋

ペーパー製路面電車等をリリースする小松商店街鐵道によるレイアウト用品2点。同社が関わる製作体験イベントで使用しているもので、その会場および通販での発売。詳細はWeb(http://www.tetsu-ko.com/)参照。
○路面モジュールベースパネル…路面モジュール直線規格対応の組立済パネル。外枠はパーティクルボードだが、接続部を除き上部がスタイロフォーム(約28mm厚)敷きで、川などの掘り下げが容易にできる。外部寸法308×210×60mm、高さ調節用ボルト・ナット付属。 4,000円
○デッキガーダー橋ペーパーキット(62mm)…全長62mmの小型ガーダー橋。ペーパーのレーザーカットによる組立キットで、KATO製フレキシブル線路(要組立)、ジョイント付。HOナローにも流用できよう。 1,000円

▲路面モジュールベースのスタイロフォーム部に川を掘り、デッキガーダーを組み込んだ作例(樹木は別売)。

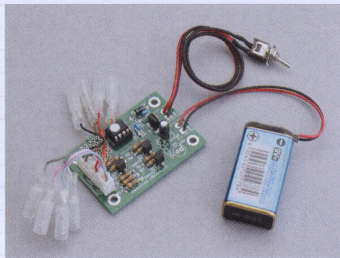
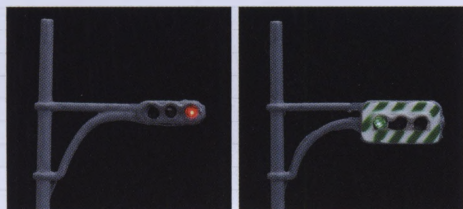
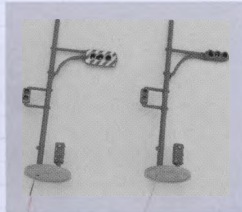
▲ベースパネル(付属のボルト・ナットを付けた状態)。上の白い部分がスタイロフォーム。

▲デッキガーダーの完成見本。線路は未カットのレール1本と枕木パーツ、ジョイントが入り、ユーザーが組み立てる。

さかつうギャラリー

■RMM188号掲載
光る！交通信号機

Nゲージレイアウトに動きを加える、実際に点灯・作動する交通信号機が発売された。トミーテック「ジオコレ」の信号機にLEDを組み込んだもので、付属の制御基板で青15秒→黄3秒→赤15秒と切り替わる。リード線・コネクター付、電源は9V角型乾電池を別途用意。2本入。 各9,734円

○2600／A（レトロタイプ）…ジオコレ「信号機A」ベースの、ゼブラ模様の入った旧型の信号機。切り替わるタイミングは2本とも同じで、向かい合わせに使用するのが素直だろう（より複雑な切替ができるタイプも予定されている）。歩行者用信号は非点灯。

○2601／B（近代タイプ）…「信号機B」ベースの、今でも見かける'90年代風の信号機。形状以外のスペックはA同様。

▲リード線・コネクター付の制御基板。電源となる乾電池は別途購入が必要。

▲近代タイプ（左）、レトロタイプのそれぞれの点灯状態。

▲左からA（レトロタイプ）、B（近代タイプ）。極小LEDにより、元製品の形態を崩さず点灯化されている。

■RMM194号掲載
椰子の木・針葉樹

レイアウト・ジオラマ製作に便利な完成樹木。幹・枝葉ともプラ成型品で、三つの樹種と2～3ずつのサイズがある。15～20本入の徳用セットも用意される。

◎椰子（マニラヤシ）…太くごつごつした幹のマニラヤシ。

○7600…40mm高、3本入。 714円
○7601…75mm高、3本入。 956円
○7650…40mm高、20本入。 3,896円
○7651…75mm高、15本入。 3,959円
○7700…バラエティパック（40mm×12、75mm×8）。 4,442円

◎椰子（ココヤシ）…すらりとした幹のココヤシ。ヤシ2種はHO以上が好適か。

○7602…70mm高、3本入。 809円
○7603…120mm高、3本入。 956円
○7652…70mm高、20本入。 4,379円
○7653…120mm高、15本入。 3,959円
○7701…バラエティパック（70mm×12、120mm×8）。 4,736円

◎針葉樹…モミなどのような針葉樹。小さなものは小スケールや遠景用にも使えそう。

○7604…30mm高、5本入。 893円
○7605…50mm高、3本入。 651円
○7606…70mm高、3本入。 872円
○7654…30mm高、20本入。 2,919円
○7655…50mm高、20本入。 3,570円
○7656…70mm高、20本入。 4,704円
○7702…バラエティパック（30mm×7、50mm×10、70mm×3）。 3,518円

▲ココヤシ。左から70、120mm高。

▲マニラヤシ。左から40、75mm高。

◀針葉樹。左から30、50、70mm高。

■RMM188号掲載
人形

○7800…レイアウトやジオラマを作る上で、人形のコストが馬鹿にならない…という悩みはつきものだが、それに応える廉価版Nゲージフィギュアが登場した。1体あたり約20円という超リーズナブルな価格で、「約100体」を重量でパッケージするため内容や入数は袋ごとに異なる。人形はいずれも普段着のイメージで、塗装済。仕上がりは値段相応だが、「質より量」を求められるシーンでは強い味方となるだろう。 2,100円

◀珍しい「量り売り」のNフィギュア。都会など人口の必要なレイアウトではうれしい製品だ。

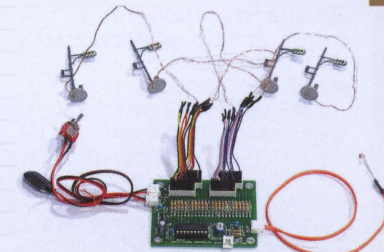
■RMM192号掲載
光る！交差点信号機／LED組込済街灯

さかつうギャラリーによる、夜景に彩りを添える「光モノ」のニューアイテム。

○2602／光る！交差点信号機A…188号で紹介の「光る！交通信号機」に続き、上位版とも言える「交差点信号機」が登場。ジオコレベースの完成品で、交差点1ヶ所分の4本入。2本ずつペアで、一方が赤になれば一方が青に…と連動する（点灯時間は青23秒、黄3秒、赤30秒）ほか、前回ダミーだった歩行者信号も点くのは魅力的。また周囲を暗くすると点滅信号となるギミックも仕込まれている（常時ON／OFFも可）。付属の制御基板の定格入力は直流9～12Vで、9V角型乾電池使用を推奨（コネクター付）。「A」はゼブラ模様の入る旧型タイプ。

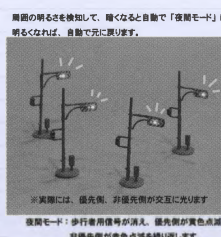
○2603／ 〃 B…同じく、スッキリした外観の新型タイプ。 各18,900円

○7850／LED組込済街灯（2本セット）…白色LED点灯式の街灯。支柱は金属製で高さ71mmと、N用としては長めなのでHO／16番にも応用できよう。LEDの定格入力は直流3V・20mAだが、付属の抵抗をハンダ付けすることで直流6～12Vに対応。 1,470円

○7851／ 〃 （10本セット）…上記の街灯の徳用10本セット。 6,300円

▲付属の制御基板。接続はコネクター（幅8mm）による。

▲交差点信号機Aの動作見本（通常時）。

▲交差点信号機Bの動作見本（通常時）。

▲今回初めて点灯式となった歩行者信号。

▲周囲が暗くなると点滅信号となり、ペアの2本がそれぞれ黄・赤で点滅する（歩行者信号は消灯）。

▲LED組込済街灯とNスケール建物との比較。N用としては高めと言える。

▲街灯の先端部外観。金属製でスリムに仕上がっている。

P（すべて）：さかつうギャラリー

GSIクレオス

■RMM194号掲載
Mrルーペ（LED付）

○LP01…ディテール工作や色差しなど、細かな作業を助けてくれる拡大鏡。本製品は着脱式のスタンドが付属し、机上に置いての使用、手持ちでの使用ともに対応した2WAYタイプ。レンズは直径130mmのアクリル製、拡大率は2倍。フレームレス構造、LEDライト付（単3乾電池×2使用）で手元も見やすい。作業の能率を上げるためにも、備えておいて損はないアイテムだ。 1,890円

◀付属のスタンドを使えば接地型となり、両手を使って作業できる。

▲スタンドを外し、小回りの利く手持ちでの使用も可能。

■RMM198号掲載
Mr.メタリックカラーGX

おなじみ「Mr.カラー」のメタリック塗料にハイクオリティ版が各種登場。 各294円

○GX201～207…基本的な7色のメタリックカラー（ブラック・レッド・イエロー・ブルー・グリーン・パープル・バイオレット）で、高精細顔料により従来品より発色を向上。

○GX208／GXラフシルバー…模型の写真撮影時により映えるよう、あえて従来品より粒子を粗めにした「写真映えする」銀色。

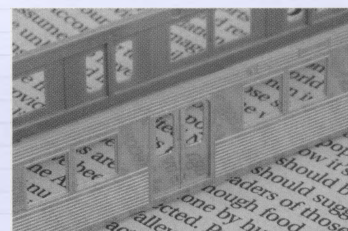
○GX209／GXレッドゴールド…赤みがかった金色。ラフシルバーとは逆に粒子を極限まで細かくし、滑らかな塗装面を実現。

○GX210／GXブルーゴールド…同じく青みがかった金色。なお、この2色は銅粉を用いている関係で皮脂や水分に反応し緑青を発する場合があり、コーティングは必須。

▲色鮮やかなラインナップが出揃ったメタリックカラーGX。

■RMM194号掲載
メッキシルバーNEXT

○SM08…原料の製造終了に伴い生産中止となっていたクレオスのメッキ調塗料「メッキシルバー」が再登場。今回品では、希釈に同社の水性ホビーカラー用うすめ液を使用でき、以前のような専用シンナーは付属しない（粘度が低いため通常は希釈不要、希釈する場合も20%が限度）。通常のMr.カラーとの混合、クリアーコートはNG。下地仕上げによって光沢の度合いは変化するので、うまく利用すれば金属の質感の違いも表現できよう。銀色塗装の選択肢のひとつとして、ぜひ考慮しておきたい塗料だ。18ml入。 945円

▲製品の瓶（右）と外箱。塗料単体になり、箱もスリムになった。

▲塗装見本。バックの文字がはっきり写り込むほど反射が強い。

■RMM198号掲載
木製ベース付きアクリルケース

○DB105…既発売の品番DB104「木製ディスプレイベース（角型）」に、防塵用の透明アクリルケースを加えたセット（ケースの単品ではない）。アクリルは紫外線による褪色を抑えるUVカット仕様。ベース天面の寸法は270×148mmで、車輌作品などをそのまま飾ってもよし、ちょっとしたジオラマも作れそうなサイズだ。 3,780円

▲防塵・UVカットで、作品を美しく保つディスプレイケース。大きさにも余裕があり、どう使うかはユーザー次第。演出モデルは16番のEF64。

■RMM198号掲載
GSIクレオスホビー部総合カタログ 2011／2012

●A4判・52頁・1,050円

本欄でも多くの製品を紹介しているGSIクレオス・ホビー部の最新カタログ。おなじみ「Mr.カラー」以下の豊富な塗料群をはじめ、エアブラシ・コンプレッサー等の塗装ツール、ヤスリ・バイス等の工具・補助器具、1:144熊本城キットが話題を呼んだ「VANCE PROJECT」ブランドなど、現行の同社製品を網羅した内容。各種製品の使用法についても丁寧な解説がある。オールカラー。

■RMM198号掲載
Mr.精密彫刻刀

Mr.ホビーから、プラキットの組立・加工等に便利な精密彫刻刀と各種替刃が発売。

○GT75／Mr.精密彫刻刀…ペン型、刃先差替式（固定はチャック式ネジ）の彫刻刀本体。刃先は平型がセットされている。 2,520円

○GT-75A／Mr.精密彫刻刀用替刃 平刃…刃渡り2mm。モールド削除、ゲート処理等に。

○GT-75B／ 〃 細平刃…刃渡り1mmと先が細く、より狭い箇所や細密な加工向け。

▲GT75：Mr.精密彫刻刀本体。ホルダーは持ちやすいペン型。

○GT-75C／ 〃 斜刃…刃渡り2.5mm。厚みがあり、ヨレないため素材に食い込みにくい。精密パーツ加工向け。

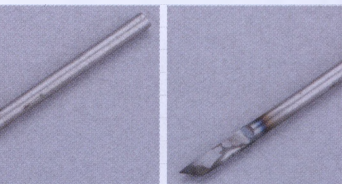
○GT-75D／ 〃 V型刃…先端がV字型。パーティングライン削除や溝彫り等に。

○GT-75E／ 〃 丸刃…先を円く斜めにカット。表面仕上げやモールドの削り込みに。

○GT-75F／ 〃 きさげ（スクレイパー）…先端が三角錐型。パーツの穴拡げ用。

GT-75A・E：840円 B～D・F：945円

▲替刃各種。左からGT-75A：平刃、GT-75B：細平刃、GT-75C：斜刃。

▲同じく左からGT-75D：V型刃、GT-75E：丸刃、GT-75F：きさげ（スクレイパー）。

さんけい

■RMM187号掲載
なつかしのジオラマシリーズほか

Nゲージサイズのペーパーストラクチャーキット「なつかしのジオラマシリーズ」、情景用小物「ジオラマオプションキット」の新作。

○MP03-67／ラーメン屋…切妻屋根・モルタル壁の地味な出で立ちのラーメン屋。2階の窓の欄干に特徴がある。w39×d51×h50mm、自販機・立て看板等が付属。 1,470円

○MP04-61／野立て看板…道路脇につきものの野立て看板。幅広・幅狭、看板の天地寸法の差で4種入。脚部含めw15×h41／w24×h41mm。 420円

▲MP03-67／ラーメン屋。

▲MP04-61／野立て看板。

▲野立て看板の裏面のディテール。

P（3点）：さんけい

■RMM188号掲載
なつかしのジオラマシリーズほか

Nサイズのペーパーストラクチャー「なつかしのジオラマシリーズ」、情景小物「ジオラマオプションキット」の新作。

○MP03-68／露店セットA…輪投げ、焼きそば、冷やしラムネなど6種の露店。お祭りのシーンをはじめ、多くの人形とともに賑やかなシーンを作ってやりたい。 1,785円

○MP03-69／露店セットB…Aとは異なる6種の露店。かき氷機など各露店を特徴づけるアイテムも抜け目なく再現、小屋掛けの骨組みもシャープな出来栄えだ。露店はいずれも20mm四方に収まるサイズ。 1,785円

○MP04-62／テントA（物産展）…屋外の物産展会場の白いテント。幟や出展物など小物も付属、北海道・沖縄どちらかの物産展を選べる。他種のイベント会場にも使えよう。w25×d20×h19mm、2組入。 672円

○MP04-63／自動販売機A…角張った古風なものから見慣れた現代的なものまで、7種の自販機のセット。市販チップLEDを組み込めば遮光処理不要で点灯化可能。 357円

▲MP03-68：露店セットA。

▲MP03-69：露店セットB。

◀MP04-62：テントA（物産展）。

▲MP04-63：自動販売機A。 P（すべて）：さんけい

■RMM189号掲載
なつかしのジオラマシリーズ他

Nサイズのペーパーストラクチャーキット「なつかしのジオラマシリーズ」、情景用小物「ジオラマオプションキット」の新作。

○MP03-70／食堂B…裾に石積みを持つ重厚な食堂。1:80製品「街角のお店-6」と同じスタイルで、w52×d64×h50mm。ゴミ箱・立て看板が付属する。 2,415円

○MP03-71／中華料理屋…こちらも1:80製品のスケールダウン版で、「街角のお店-7」と同型の陸屋根を持つ2階建。w45×d46×h47mm。付属の小物は立て看板・床机・幟・自動販売機と豊富。 1,470円

○MP04-64／自動販売機B…新旧の自動販売機7個セット。厚紙製の本体は先の「A」と同様で、表面に貼るシートの印刷内容が異なる。市販LEDで点灯化に対応。 357円

○MP04-65／野立て看板B…既存の「A」より大きく頑丈な造りの看板。高さ×奥行きは各40×13mm、幅は34mm（大）・25mm（中）・15mm（小）の3種。 609円

▲MP04-64：自動販売機B。

▲MP04-65：野立て看板B。

▲MP03-70：食堂B。現代の観光地にも似合いそうだ。

◀MP03-71：中華料理屋。テントの屋号は自作してみても面白い。

P（すべて）：さんけい

■RMM190号掲載
ジブリシリーズ「グーチョキパン店」

○MK07-02…スタジオジブリのアニメ作品中の建物をNサイズで再現する「ジブリシリーズ」。第1弾の「サツキとメイの家」に続き、1989年のジブリ作品『魔女の宅急便』から「グーチョキパン店」が模型化された。製品は通常のさんけい製品と同じカラー硬質紙の組立キットで、ハーフティンバーの外壁やドーマー窓、裏手の階段など作中の建物を忠実に再現。外寸w90×d90×h72mm、街灯やオート三輪など小物も豊富。欧州の建物であり、日本型ジオラマへの取り込みは難しそうだが、単体でも充分に存在感のある製品だ。 4,578円

▶裏手から見た組立見本。

▲キット内容。 P（2点共）：さんけい

■RMM190号掲載
なつかしのジオラマシリーズ他

さんけいのペーパー製Nストラクチャー・アクセサリーの新作。近年充実しだした工事現場のアイテムが同社からも登場した。

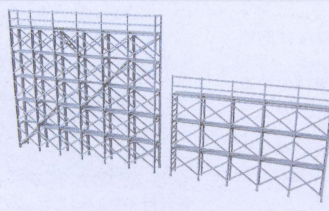
○MP03-72／プレハブ小屋A…工事現場に限らずよく見かける2階建てのプレハブ小屋。屋根は水色。1階の出入口はシャッターとなっている。w39×d50×h43mm。ゲート、仮設トイレ、脚立が付属。 1,575円

○MP03-73／枠組足場セット…大きな建物の建設・解体現場には欠かせない鋼材組みの足場。大（w75×d7×h65mm）、小（w60×d6×h42mm）各1個入。 1,785円

○MP04-66／工事用フェンスA…ゼブラ模様に「安全第一」の文字入りの工事用フェンス。製品状態では5個のフェンスが繋がっている（w60×h8mm）。 294円

○MP04-67／工事現場小物…工事表示板7種、バリケード2種8個、矢印板3個、マンホール工事時の屏風、マンホール蓋、シャベル2個、鉄板7枚、カラーコーン＋バー4組のセット。 588円

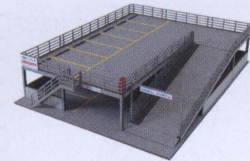
◀MP04-67：工事現場小物。

◀MP04-66：工事用フェンスA。

▲MP03-73：枠組足場セット。

▲MP03-72：プレハブ小屋A。 P（すべて）：さんけい

■RMM190号掲載
なつかしのジオラマシリーズほか

Nサイズのペーパーストラクチャー「なつかしのジオラマシリーズ」、情景用小物「ジオラマオプションキット」の新作。

○MP03-74／歩道橋…大規模な道路には欠かせない歩道橋。これといって特徴のない一般的なスタイルで、階段の向き、脚の位置は選択可能。立て看板2個が付属。組立時寸法w130×d85×h55mm。 2,520円

○MP03-75／駐車場A…街中にありがちな2層式の駐車場。鋼材組みの無骨な外観がそれらしい。w92×d122×h27mm。 2,520円

○MP04-68／道路標識A…道路脇を賑わす標識群。指示標識11種、規制標識48種、警戒標識27種、補助標識49種、消火栓標識2本を収録。高さ各21～38mm。 651円

○MP04-69／道路フェンスA…縦に格子の入った簡素なフェンス。大（60×6mm：約20mm長を3個連ねた形）・小（6×6mm）各2点。道路以外にも応用範囲は広そう。 315円

▲MP03-75：駐車場A。

▲MP03-74：歩道橋。

▲MP04-69：道路フェンスA。

◀MP04-68：道路標識A。 P（すべて）：さんけい

■RMM195号掲載
なつかしのジオラマシリーズほか

ペーパーストラクチャー・情景用小物の新作。脇役ながら都市には欠かせない「歩道」が3種発売。

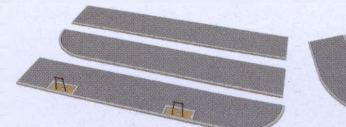
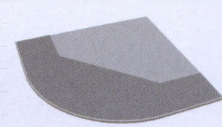
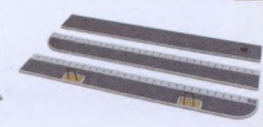
○MP03-76／歩道A-1…幅広なタイル張りの歩道。長さ123mm×幅21mm。 1,155円

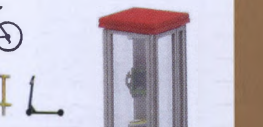
○MP03-77／歩道A-2…A-1と同系形状で、大きな交差点向け。87×87mm。 756円

○MP03-78／歩道B…幅狭なアスファルトの歩道。長さ125×幅16mm。 1,470円

○MP04-70／自転車A…新旧、大小4種の自転車と三輪車の計5台セット。 294円

○MP04-71／自転車B…こちらは一輪車やホッピング、キックボードも含む7台セット。 294円

○MP04-72／電話ボックス…今でも見かけるガラス張り、赤屋根の電話ボックス。w7×d7×h15mm、4個入。 420円

▲MP03-76：歩道A-1。

▲MP03-77：歩道A-2。

▲MP03-78：歩道B。

▲MP04-70：自転車A／MP04-71：自転車B。各自転車は未彩色のグレーで、塗り分けはユーザーが行なう。

▶MP04-72：電話ボックス。 P（すべて）：さんけい

■RMM191号掲載
航空情景シリーズ

○MK08-01／管制塔type-A…各種スケールでペーパーストラクチャーを発売するさんけいから、新展開として「航空情景シリーズ」が登場。スケールは市販飛行機モデルに適合し、Nゲージとも近似の1:144。過去の同社製品同様、彩色・レーザーカット済組立キットである。今回のアイテムは「管制塔」。規模は小さく、空港と言うよりは小さな飛行場、自衛隊の基地などに似合う手ごろなサイズだ。完成時寸法w92×d72×h152mm。管制室コントロールパネル、椅子4脚入。 3,045円

▲外部からもよく見える管制室内には、パネルと椅子が用意される（人形は別売）。

◀組立見本。 P（2点共）：さんけい

■RMM195号掲載
ジブリシリーズ「ハッター帽子店」

○MK07-03…さんけいのジブリシリーズ第3弾として、「ハウルの動く城」から主人公・ソフィの働く「ハッター帽子店」がモデル化された。ハーフティンバー様式でカラフルな壁、うろこ型の瓦が異国情緒を醸し出す。サイズw67×d133×h85mm、中庭に立つ樹木と各種小物（床だけになった「動く城」と案山子の「カブ」も！）が付属。 5,985円

◀作中では裏手を線路が通っていたので、それを再現したセクションなども面白いかも。

■RMM196号掲載
航空情景シリーズ「管制塔type-B」

○MK08-02／管制塔type-B…市販の1:144飛行機モデルに適合し、Nゲージレイアウトでも使用できるペーパーストラクチャー「航空情景シリーズ」第2弾。前回に続く管制塔だが、今度は少し古い時代のタイプで、塔と言うよりは小さなビルの風情。簡素な外観ながら、屋上の手すりと外階段、桟の細かな木枠窓がよいアクセント。w57×d57×h66mm。軽グライダー3機付。 3,045円

◀大規模な「空港」は難しくとも、こうした小型ストラクチャーならレイアウト・ジオラマにも組み込みやすい。 P：さんけい

■RMM197号掲載
なつかしのジオラマシリーズほか

Nゲージサイズのペーパーストラクチャー「なつかしのジオラマシリーズ」、情景用小物「ジオラマオプションキット」の新作。

○MP03-79／診療所…2階建ての小規模な診療所。1:80で発売の「診療所」と似ているが、こちらは陸屋根となっている。w43×d65×h44mm、看板・駐輪所付。 1,680円

○MP03-80／小さな公園…ブロック塀と柵で囲われた町中の公園。各種遊具は自由に配置できる。w103×d79×h13mm。 1,995円

○MP04-75／遊具C…上記の公園には含まれないジャングルジム、バネ式の遊具（×3）、廃タイヤ遊具（×3）のセット。 525円

○MP04-73／自動販売機C…大・中・小3サイズ、新旧交えた自動販売機7個セット。w4.5～9×d3.5～4.5×h12mm。 357円

○MP04-74／自動販売機D…サイズの内訳はCと同じでデザイン違い。チップLEDの使用で、遮光なしで点灯可能。 357円

▲MP03-80：小さな公園。人形の置き方にもこだわりたいところ。

▲MP03-79：診療所。

▲MP04-73：自動販売機C。

▲MP04-74：自動販売機D。

▲MP04-75：遊具C。 P（すべて）：さんけい

ジオマトリックス・デザイナーズ・インク

■RMM187号掲載
新幹線用方向幕ステッカー

ジオマトリックスから新幹線用行先表示ステッカーが2種登場。 各1,050円

○J8115／000系／100系…国鉄時代の0系・100系新幹線の方向幕。〈こだま〉フリークエンシー化で新設された行先、博多南線の幕も網羅している。指定席・自由席表示も収録。

○J8117／100系3000,7000番代／800系…100系「グランドひかり」V編成や現在の〈こだま〉編成、九州新幹線〈つばめ〉の行先表示。800系はTOMIX／KATO双方に対応。

▶J8115／000系/100系用。右上は一部拡大したもの。

◀J8117／100系3000,7000番代/800系用。

■RMM187号掲載
113系方向幕ステッカー各種

こちらは113系用2種。各1,050円

○J8121／113系横須賀線-総武線…両線直通時代の113系の各行先。〈青い海〉〈白い砂〉をはじめ、ヘッドマークも各種収録。

○J8122／113系房総各線…色分けされた前面幕が印象的な房総ローカル用の行先表示。

▶J8121／113系横須賀線-総武線（右上は部分拡大したもの）。

◀J8122／113系房総各線。

■RMM188号掲載
方向幕ステッカー各種

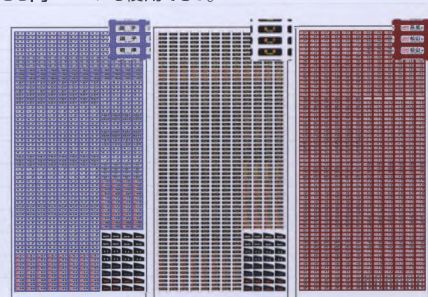
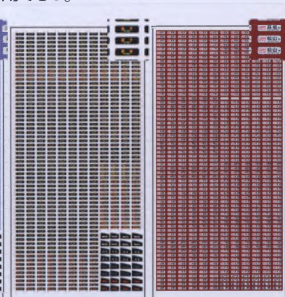
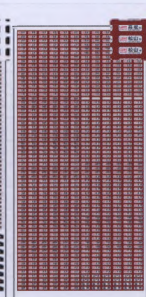
新作のNゲージ用行先表示ステッカーを各種紹介する。 各1,050円

○J8123／E217系横須賀線-総武線（字幕）…更新前、方向幕時代のE217系の行先表示。前面用はTOMIX用／KATO用の2種入。

○J8124／E217系横須賀線-総武線（LED）…同じく更新後のLEDタイプ。収録内容は方向幕版に準ずる。

○J8501／キハ181系（初期）…「～行」の書式がとられた初期の幕を中心に、東北から四国まで各行先を収録。オマケとして実際には使われなかった〈ひだ〉も入っている。

○J8502／キハ181系（山陰）…両行先を1コマに収めた矢印表記が珍しい山陰特急の方向幕。2002年のリバイバル列車も収録。

○J8503／キハ181系（四国）…四国特急の方向幕を網羅的に集めた内容。キハ185系にも使用できる。

▲J8123：E217系用（字幕）。

▲J8124：E217系用（LED）。

▲J8501：キハ181系用（初期）。

■RMM195号掲載
阪急／大阪市交用車番・行先ほか

ジオマトリックスから、関西の2事業者に対応したシール、インレタ等が各種発売。

○E908／阪急電鉄3000系…事業者限定鉄コレで発売される3000系の車番、社紋、ドアコック位置表示のインレタ。 1,050円
○阪急電鉄3000系(阪急電鉄オリジナル版)…10月8・9日の鉄道フェスティバル(日比谷公園)では、3000系用インレタと方向幕・標識板ステッカーをセットにしたイベント限定版が販売される。 1,200円
○H1-001／大阪市交通局各種ステッカー…優先座席表示、ACCCマーク、VVVFマーク、順位表示、呼称表示、車椅子表示(大／小)を収録したインレタ。 945円
○H1-908／大阪市交通局20系…30番代含め全編成分入の車番インレタ。1,050円
○H1-909A／大阪市交通局20系中央線更新車…更新改造後の白線が入った帯のデカール、行先ステッカーのセット。1編成分＋予備分を収録。 2,310円
○H1-909B／大阪市交通局20系谷町線…谷町線時代の30番代車の帯デカール、行先ステッカーのセット。こちらも1編成分＋予備あり。 2,310円

◀E908：阪急3000系用インレタ。

◀イベント限定の阪急ステッカー＋インレタセットに含まれるステッカー。

▲大阪市交20系用車番インレタ。

■RMM196号掲載
インレタ各種

ジオマトリックスの新作Nゲージ用インレタを各種ご紹介する。

○H1-002・003／ドアステッカー[A]・[B]…大阪市交のドア注意表示。Aは1980・90年代のもの(各両開き24扉分)、Bは現行品(36扉分)と迷惑行為防止表示(32点)を収録。両開きドアのピッチに合わせてあり、位置決めが楽なのが嬉しい。 各945円
○M002・003／南海電気鉄道ロゴサイン(旧・新)…「旧」は品番M001の改良品で、初代(いわゆる「羽車」)・2代目社章。「新」は赤＋オレンジの現行ロゴ。 各840円
○M902／南海電気鉄道21000系/22000系…既存品(品番M901)の価格改定・再生産版。車番・社紋・銘板、製品の印刷を隠すマスクインレタを収録。 1,260円
○M903／南海電気鉄道1000系…11000系・1000系の車番・社紋、銘板を収録。先般発売の鉄コレ1000系に最適。 1,260円

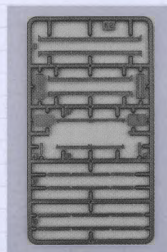
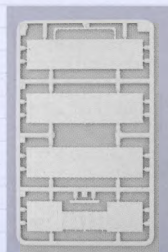
◀M902：南海21000系/22000系用。

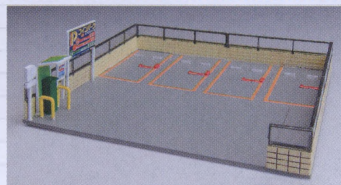
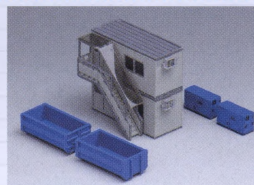
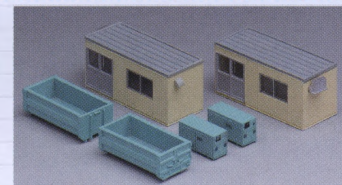
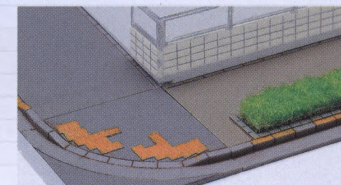
◀M903：南海1000系用。

スタジオ ミド

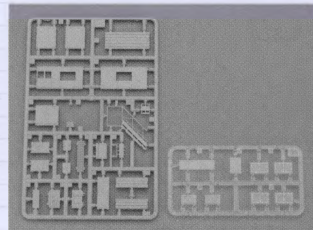
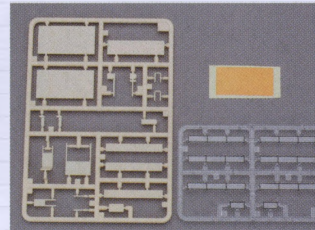
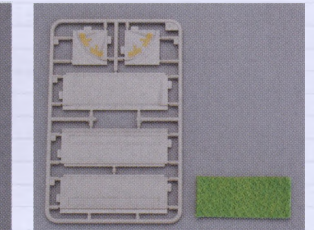
■RMM189号掲載
工事現場ストラクチャー

ゴム動力の飛行機や潜水艦などを扱うメーカーから、「ビルドシリーズ」と題した1:150ストラクチャーが登場。現代的な工事現場が模型化された。いずれもプラキットで、各2色の成型色が用意され無塗装でも組立可能。日々姿を変えていく都会の情景を再現するには絶好のアイテムだ。 各1,575円
○BD-01／クライミングクレーン(小型)…円柱型のマストを持つタワークレーン。マスト高さは2種あり、組立後の全高はそれぞれ118mm、163mm。成型色は赤または黄で、カラーコーンと小型フェンスが付属。
○BD-02／H鋼 重量鉄骨…大規模な建設現場を象徴する鉄骨。1セットで箱型に組むとw60×d72×h54mmの基本形ができ、複数用いて拡張も可能。色は茶またはグレー。自販機・簡易トイレが付属。
○BD-03／工事現場用フェンス…街中でよく見る鋼板製の仮囲い。長手方向78mm分を1枚とし、扉のないもの4枚、折戸付のもの2種各2枚が含まれ自由に組み合わせ可能。色はベージュまたはグレー。防護ネット付。

◀クライミングクレーン(赤)のランナー状態。

◀H鋼 重量鉄骨(茶)のランナー状態。

◀工事現場用フェンスのランナー状態。右は付属の防護ネット。

▲3種の製品を組立・塗装のうえ組み合わせた完成例。実物をよく観察し、効果的に配置したい。
P:スタジオ ミド

▲コインパーキングの塗装・完成例。ベースの手前部分(駐車エリア外)はキットには含まれない。

▲ユニットハウスの塗装・完成例(付属の階段を使用し2階建としたもの)。

▲ユニットハウスは平屋2棟にも組める。手前は付属の集積器・発電機。

◀歩道セットの塗装・完成例。展示ブロックの黄色は着色済。
完成見本P(4点)：スタジオ ミド

■RMM196号掲載
ビルドシリーズ

189号掲載の工事現場用アイテムに続く、プラ製Nストラクチャー「ビルドシリーズ」の新製品。いずれも組立キットで、各2種の成型色が用意され無塗装でも使える。
○BD-04／ユニットハウス…工事現場の詰所等に好適なプレハブ小屋。実物のように接続して拡張可能で、小屋と集積器、発電機が各2個入る。2階建て用の外階段も付属。成型色はグレー・ベージュ。各1,890円
○BD-05／コインパーキング…街中でよく見かける時間貸駐車場。駐車スペース(20×40mm)が4台分バラで入り、自由に配置できるのが特徴。塀や小物パーツ(発券機等)付、区切り線用黄色シールが付属。成型色はグレー・ベージュ。 各1,890円
○BD-06／歩道セット…舗装道路向きの整備された歩道。内容は基本の直線部分(80×27mm、路肩含む)×6、角部(27×27mm)×4、植え込み用素材。成型色はグレー・アッシュグレー。 各1,575円

▲BD-04：ユニットハウスのキット内容。窓ははめ込み式。

▲BD-05：コインパーキングの内容。右上はライン用のステッカー。

▲BD-06：歩道セットの内容。右下は植え込み用の素材。

シモムラアレック

■RMM197号掲載
ハイパーカットソー／ピンセットBILL

○AL-K21／ハイパーカットソー0.2エリートS1…話題を呼んだ超薄刃ノコ「ハイパーカットソー」に、「鉄道模型専用」と銘打った新設計品が追加となる。「0.2エリートS1」はプラ・レジン・木工向けで、「断ち切り」に特化し鋸板上部の背金をなくしたのが大きな特徴。刃厚0.2mm、歯ピッチ0.6mm、刃渡り60mm。 3,465円
○AL-K22／ハイパーカットソー0.15エリートS2…こちらも鉄道模型用だが、洋白・アルミ・真鍮・銅など軽金属向け。刃厚0.15mm・歯ピッチ0.4mm、刃は力の入れやすい押し切り用。カットソー2種は12月中旬の発売予定となっている。 3,780円
○AL-K09・10／精密ピンセットBILL(先細・先平)…ステンレス製の精密ピンセット。最厚部2.2mmの硬いボディで、しなりを抑え確実な保持を可能としている。先端幅0.5mmの先細タイプ、1.3mmの先平タイプの2種が用意される。 各2,100円

模型関連の卸しはプラッツ扱い。

◀AL-K21：ハイパーカットソー0.2エリートS1の鋸板部分。背金がないのが特徴。先太りの形状も、スムーズな力の移動を期したもの。

◀AL-K22：こちらは軽金属用0.15エリートS2の鋸板部分。押し切り用のためS1とは刃の向きが異なる。

◀AL-K09：精密ピンセットBILL(先細)。2.2mm厚のボディが頼もしい。

◀AL-K10：精密ピンセットBILL(先平)。細部のデカール貼りやマスキングに好適なタイプ。

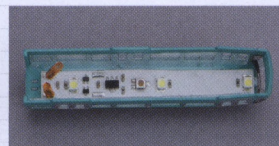
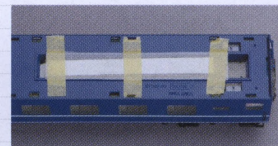
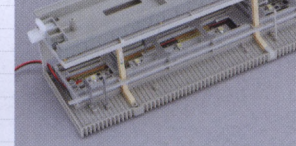
T・カンパニー

■RMM190号掲載
激光室内灯

Nゲージ用LED室内灯のニューアイテム。「激光」の名を冠した本製品、その名の通り高輝度白色LEDによってかなり明るく点灯するが、それ以上に、基板に調光用ボリュームが組み込まれ、照度約2000lux～完全消灯までを任意に調整できるのが大きな特徴。安定化回路によって、速度による照度の変化も抑えられている。本体は100×8mmのフレキシブル基板にチップLEDを4点組み込み、厚みは最厚部で2.2mm。車輌に合わせたカットも自在にできる。DC6V以下の低電圧から点灯、DC14V・調光MAX時で10mAと消費電流が少ないのも魅力だ。通電用スプリングが付属、定格電圧DC15V。取付時は交換などの便を考慮し、屋根裏面に直接ではなく各自取付ベースを用意して貼るのがよい。

1本入:1,260円／6本入:7,140円
タム・タム各店などで取扱。

▲TOMIX製209系への組込例。一度取付ベースに貼り付けてから、通常の室内灯のように取り付けている。

▲製品の外観。左寄りに見えるプラスドライバー用の溝が入ったパーツが調光用ダイヤル。

▲MODEMO製東急300系への組込例。基板をカットし、LED3個仕様としている。

▲TOMIX製14系(16番)への組込例。本製品はNに合わせたサイズではあるが、16番にも充分応用可能。

▲KATO製ホームへの組込例。極薄のフレキシブル基板なので、ストラクチャー用としても利用価値が高い。

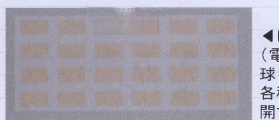
■RMM196号掲載
激光室内灯用パーツ

190号で紹介した、チップLED使用の高輝度・調光式室内灯「激光室内灯」用のオプションパーツが発売。いずれもタム・タム全店舗、インターネット通販で取扱。

○LEDフィルム(電球色)…発光色調整用フィルム。「激光室内灯」の白色LEDに貼って電球色を再現できるほか、重ね貼りもでき(3枚程度までを推奨)、室内灯の調光機能と併せてより柔軟な光の演出が可能。ヘッドライトや建物照明への応用も効果的だ。24枚(室内灯6本分)入。 420円

○スプリング…室内灯取付部の交換用スプリング。TOMIX・マイクロエース製室内灯にも使用可能。10本入。 350円

▲TOMIX製209系への組込例。

▲KATO製対向式ホームへの組込例。

◀LEDフィルム(電球色)。電球色以外にも各種カラーを展開する由。

▶スプリング。他メーカー製品にも使えるので、予備として持っておくと便利。

▲右半分だけ、LEDフィルムを貼って電球色としたサンプル。 P:T・カンパニー

ディオ グラフィックス

■RMM195号掲載
パノラマWシリーズ「トクトク・パック」

パノラマWシリーズ
トクトク
パック

ディオ グラフィックスの長尺背景画「パノラマWシリーズ」に廉価版が登場。画像を一枚の長い紙に刷るのではなく、90cmスパンで区切って印刷し、ユーザー側での継ぎ合わせとすることでコストダウンを図ったもの。塗り足しを設け、合わせ位置を示すなど隙間なく繋げられるよう配慮されている。

○180cm幅(2スパン) 6,700円
○270cm幅(3スパン) 10,500円
○360cm幅(4スパン) 14,500円

■RMM189号掲載
背景画「山並み・富士」

日本の風景をテーマとした背景画を多数発売するディオ グラフィックスの新製品。真打ちとも言える「富士」が登場した。いずれもなだらかな山並みの背に富士がそびえる絵柄で、実写風景のCG加工によるリアルなもの。フリースケールだが、N以上のスケールでの使用を推奨。

○パノラマシリーズNo.33 山並み・富士…サイズ900mm×310mm。 6,720円
○パノラマWシリーズNo.4w W・富士…さらに広い幅が必要な場合に。
最小幅1,000mm(10,900円)、+100mmごと900円。最大幅3,600mm(34,300円)。

▲ワイドなパノラマWシリーズ版(フルサイズ)。

TOMIX／トミーテック

■RMM187号掲載
『トミックス総合ガイド(2010-2011年版カタログ)』

●A4判・440頁・1,890円

旧来の総合カタログの流れを引き継ぐ「総合ガイド」の最新版。見やすくオーソドックスにまとめたカタログ頁以外にも、折しも完全リニューアルされたDE10の実車解説、話題の新製品ワイヤレスパワーユニット・ワイドトラムレールの特徴や使い方といった特集記事を掲載。近年の製品数の増大もあり400頁超の大ボリュームで、ずっしり手に応える一冊となっている。

■RMM187号掲載
『トミックスパーツカタログ2010-2011』

●A4判・36頁・630円

TOMIXの車輌製品(N／16番)用分売パーツが一堂に会した「パーツカタログ」の新版が発行された。前号同様、全アイテムがカラー写真入りで紹介され、総合ガイドではリストで文字のみ掲載となっているパーツも明瞭に姿がわかるのはうれしい。保有車輌の補修やメンテナンスのためにも、あるいはパーツを応用した改造・工作の参考にも、備えておいて損はない一冊と言えよう。

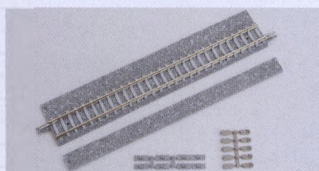
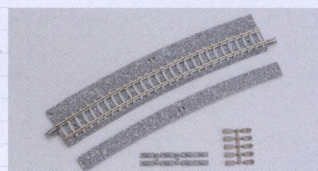
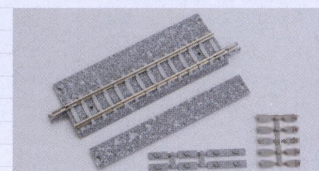
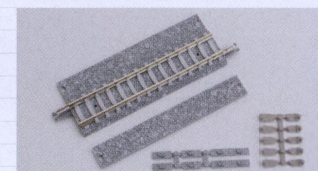
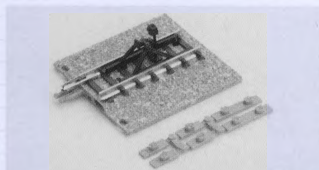
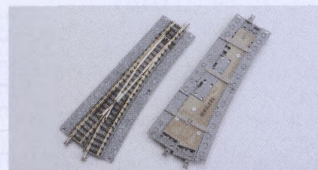
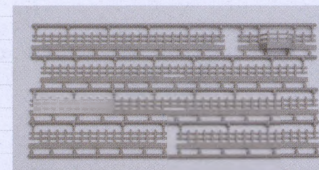
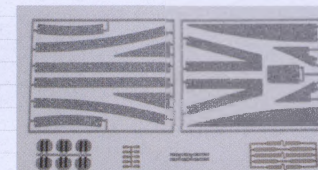
■RMM187号掲載
『キロポスト93』

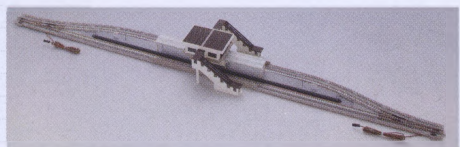
●A4判・32頁・525円

2011年冬号。巻頭記事は旅客用500番代の登場で話題をさらったEF510と、その牽引する寝台特急〈北斗星〉〈カシオペア〉。発売予定の同機・同列車製品も、最近の新製品、2011年春頃までの発売予定品とともに細部写真入りで紹介されている。また新規展開中のワイドトラムレール関連では、同製品や「ジオコレ」製品などを使用した路面電車レイアウトの製作記事を掲載する。

■RMM188号掲載
ワイドPCレール関連製品各種

広い道床とカント構造、PC枕木が特徴のTOMIXのワイドPCレール。今月は5種の線路と2種の関連パーツが登場。品番1733～1740はいずれも分岐部での使用を考慮し、干渉する片側のバラストが着脱式となる。

○1424／ワイドエンドレールE-WI(F)…ワイドレール用の車止め付線路。全長40mm、枕木は木製のモールド。 336円
○1733／ワイドPCレールS72.5-WP(F)…全長72.5mmの直線。2本入。 420円
○1734／　〃　S70-WP(F)…全長70mmの直線。2本入。 420円
○1739／　〃　S140-WP(F・ポイント分岐用)…全長140mmの直線、S140-WP(品番1731)の分岐部対応型。2本入。 462円
○1740／　〃　C541-15-WP(F)…半径541mm、15°の曲線線路。2本入。 504円
○3034／ワイドレール化バラストキット(F)…通常のファイントラックのポイントをワイドレール化するバラスト。PR／PL541-15、PR／RL280-30、PX280に対応。 1,890円
○3055／ワイドレール用柵(F)…ワイドレールの脇に設置する鉄路柵。上記品番1424・1733・1734・1740および、バラストキットでワイド化したポイントにも対応。 714円

▲1739:S140-WP(F・ポイント分岐用)。

▲1740:C541-15-WP(F)。

▲1734:S70-WP(F)。

▲1733:S72.5-WP(F)。

▲1424:エンドレールE-WI(F)。

▲バラスト(PR／PL541-15用)の取付見本。

▲3055:ワイドレール用柵の製品状態。

▲3034:バラストキットの製品状態。

■RMM188号掲載
ワイドレール待避線駅セット
○91012／レールパターンCB…ラインナップを拡大するワイドPCレールに、駅施設をひとつに収めたセットが登場。従来のファイントラックにおける「パターンB」と同じ電動ポイントを用いた待避線状の配置で、線路をワイドPCレールに置き換えた格好（電動ポイントは木枕木＋ワイド化バラスト）。島式ホーム（近代型・大型車輌用）、橋上駅舎（近代型）、ポイントコントロールボックスも付属し、通常品を買い揃えるより割安な価格設定となっている。 12,075円

◀製品のパッケージ外観。

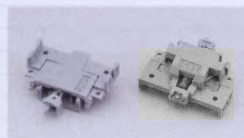
▲セット内容の配置見本。このほかポイントコントロールボックスも付属。ホームは端部カーブの緩い大型車輌用なので、車輌を選ばない。 P:TOMIX

■RMM188号掲載
V19Bコンテナ
○3138…実物は12ft級の通風コンテナで、通風スリットが直線状の細いものとなり、凹凸の多い従来型と比べスマートになったのが特徴。モデルは新規金型で、スリットは白色印刷で閉じた状態を再現。中央に入ったJRFロゴが編成のアクセントとなるだろう。スローガン・エコレールマーク印刷済。異番号3個入。 735円

▲JRFの赤いコンテナも種類が豊富になり、混載が楽しめるようになってきた。側面左右に見える白線が通風スリット。

■RMM189号掲載
31ft私有コンテナ
○3143／U54A-30000（西濃運輸）…TOMIX製N用コンテナの新製品。実物は北海道西濃運輸所有の31ftコンテナで、主として北海道～関東間の輸送に活躍（コキ50000積載禁止）。モデルは類似形態のUV54A-30000と同金型のカラーバリエーションで、濃紺地に映える2本のクリーム帯、「カンガルー便」ロゴもくっきり印刷している。 1,050円

▲大きな体躯に暗色系の塗装で、どっしりした趣き。

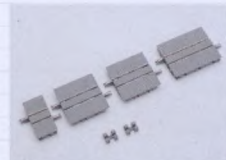
■RMM190号掲載
密連形TNカプラー（SP・グレー）
○0337…復元バネのコイルバネ化により復元機構が強化された「SP」に順次リニューアルされているTNカプラー。今回新たに、新型電車に好適な密連形・グレー成型のものが発売された。以前の品番0335に準ずる形状で、同社製品では207系・373系に対応する。6個入。 1,575円

◀同社製373系のリニューアルに先立ち、カプラーも新仕様となった。

■RMM191号掲載
ワイドトラム 鉄道模型運転セット2
以前、通常道床のミニカーブレールで発売されたTOMIXの「鉄道模型運転セット」に、「ワイドトラムレール」仕様が登場した。内容はC140-60（WT）×6、S140（WT）×2による420×280mm（線路中心基準）のエンドレス線路、パワーユニットPU-N400、D.C.フィーダーで、既存セットのミニカーブレールをワイドトラムレールに置き換えた格好。折しも登場した鉄コレ路面電車の走行用としてもうってつけのセットだ。 6,615円

▲線路展開時の全景。内周に「バスコレ走行システム」を組み合わせることも可能だ。

■RMM191号掲載
キロポスト94号
●A4判・30頁・525円
2011年春号。巻頭実車＋モデルガイドでは、〈さくら〉〈みずほ〉の愛称名の復活とともに登場したN700系7000・8000番代、復活蒸機の代表選手のひとつであるC57 1〈やまぐち〉号を特集。以下、最近の新製品および今夏までの発売予定品もN・16番ともに掲載。「ネクスト・ネオ製品の研究」コーナーでは、前回に続き「ワイドトラムレール」を使用した路面電車レイアウトの製作工程を紹介する。

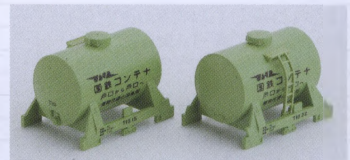
■RMM192号掲載
ワイドトラムレール各種
TOMIXの「ワイドトラムレール」に、待望のクロッシング線路ほか各種新製品。
○91088／ワイドトラムミニレールセット十字クロスセット（レールパターンMX-WT）…基本セットとの併用で8の字型の配置とするセット。下記のクロッシングと端数線路、半周分のカーブ等で構成。 2,835円
○1798／ワイドトラム端数レールS18.5・S37・S47.5-WT（F）…18.5、37、47.5mm長の端数線路のセット。37mmのみ2本、他は各1本入。 672円
○1799／ワイドトラムクロッシングレールX37-90-WT（F）…37mm長の線路を90°で交差させた形のもの。端数線路（37mm×4、18.5・47.5mm各2本）付。 1,722円

◀1799：X37-90-WT（F）と付属の端数レール。

◀端数線路各種。左からS18.5、S37×2、S47.5。

○5568／TCSワイドトラムセンサーレールS37-WT-SE（F）…37mm線路に車輌検知用センサーを組み込んだもの。既存の自動運転ユニット等の使用に。2本入。 3,360円

◀5568：S37-WT-SE（F）。左側は裏面。

◀91088：十字クロスセットの内容。

■RMM192号掲載
T10形タンクコンテナ
○3132…国鉄が製作した最初期のタンクコンテナ、T10が製品化。T10は1964年に形式400として登場した10ftコンテナで、淡緑色にJNRマークや「国鉄コンテナ」の文字が入った外観は近年のタンクコンテナとは趣を異にする。実物は24個と少数派だったが、国鉄仕様のコンテナ列車の好ましいワンポイントとなりそうだ。2個入。 1,050円

▲角の張った簡素な外観も黎明期らしい。

■RMM194号掲載
マイプランLT Ⅲ
○90947／マイプランLT Ⅲ（F）…車輌の付属しない、線路と制御機器のみの入門セット「マイプラン」の最廉価版「LT」がリニューアル。ベーシックセット「SD」に相当する小判型エンドレス（曲線半径280mm、展開時寸法560×1,120mm）が組める内容で、今回品ではパワーユニットがワンハンドルマスコン風「N-1」からダイヤル式の新規品「N-600」（出力：直流1.0A／車輌走行用0～12V）に変更された。 7,350円

▲パッケージ。どんな車輌と組み合わせるかはユーザー次第。

▲セット内容。奥のパワーユニットが今回のミソ。電源部はアダプターとなっている。 P:TOMIX／トミーテック

■RMM194号掲載
『キロポスト95』
●A4判・30頁・525円
2011年夏号。巻頭実車ガイドでは、Nで発売されたばかりのE259系「N'EX」、リニューアル再登場となるED61・62、その母体となったED60を取り上げる。今冬までの新製品・発売予定品情報も掲載。連載「ネクスト・ネオ製品の研究」では、線路や構造物に関する実物観察・解説記事がスタート。第1回の今回はレール、枕木、道床といった線路廻りの仕組みについて解説している。

■RMM194号掲載
ワイドレール用側壁・手スリ他
TOMIXファイントラック「ワイドPCレール」に対応したパーツ・アクセサリー。
○3056／ワイドレールてすり（F）C541・S72.5・S70・E・ワイド化PR（L）541（280）・PX280…既発売の#3055「ワイドレール用柵」同様、ワイドPCレール・ワイド化バラストの側面に付けるアクセサリー。かつての同社製高架線路に見られたような手スリの形態。ランナー8枚（計48本）入。 714円
○3057／ワイドレール側壁（F）C541・S72.5・S70・E・ワイド化PR（L）541（280）・PX280…同じく、高架線での使用に好適な側壁タイプ。構成は#3055・3056同様。 756円
○3099／ワイドレール用単線橋脚ベースC541・S72.5・S70・E…表題に書かれた各規格のワイドレール下面に装着、単線橋脚に対応させるパーツ。上記側壁などと合わせ高架線用に。各規格2本ずつの8本組。 630円

▲3056：ワイドレールてすり。このランナーが8枚入る。

▲3057：ワイドレール側壁。こちらも8枚入。

▲3099：単線橋脚ベース。フィーダーやセンサーの取付にも対応。

■RMM194号掲載
コカ・コーラコンテナ（U18A）
○3141／私有U18A形コンテナ（コカ・コーラ塗装）…コーラの原液・香料等輸送用として1993年に10個製造された「コカ・コーラコンテナ」がモデル化された。紅白の派手な塗り分けにお馴染みのロゴをドカンと配置した外観は強烈で、つい塗装に目が行きがちだがコンテナ自体も新規金型が起こされている。3個入、番号は全て異なる。 1,050円

◀小柄な12ftコンテナながら存在感は抜群。列車上でもコンテナヤードでも目を惹く存在となろう。

■RMM195号掲載
マルチ複線トラス架線柱
○3007…TOMIX線路対応の架線柱にニューアイテム。最近の各製品と同じく組立キットだが、左右2ピース構成の複線架線柱（複線間隔37mm）を基本に、付属の延長用ビームの使用で55.5mm間隔の複線（島式ホーム対応）、3線、複々線など自在に組み分けできるのが「マルチ」たる所以。最大で複々線用が12点組め、支柱はコンクリート・鉄骨の2種が半々ずつ。ビーム形状も既存品とは異なるトラス型で、N用架線柱のバリエーションが増えた点でも喜ばしい。 1,050円

◀1枚のランナーに、鉄骨柱仕様・コンクリート柱仕様各1点分のパーツが含まれる。

▲付属の延長用ビームによって組み分けた組立見本。左端の複線（37mm間隔）用が最小のパターンとなる。

■RMM195号掲載
車輌ケース（18輌用・ワム80000サイズ）
○6218…182号で紹介の「ワラ1サイズ」に続く2軸貨車用ブックケース。ワム80000やトラ70000などワラ1より大型の貨車は「ワラ1サイズ」でも6輌まで収納できたが、今回はすべての収納スペースをワム80000対応とし、18輌の収納が可能（ウレタンの切り込みにより小型車にも対応）。ケース外形寸法、デザインは既存品と変わりない。 1,785円

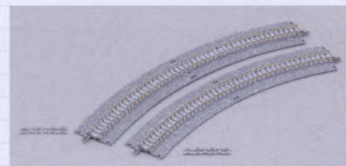
◀「ワムハチ」などはやはり数が欲しい形式だけに、ブックケース発売は朗報。

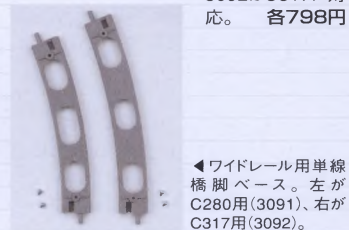
■RMM197号掲載
カント付小円レール・関連パーツ各種
TOMIXのワイドPCレールに、小径のカント付曲線線路が登場。既存のC354の内側に複線を構成でき、ワイドレールのみで複々線の敷設が可能になった。併せて対応する側壁、橋脚取付用ベースも発売。
○1741／ワイドPCカーブレールC280-45-WP(F)…半径280mm、45°分の曲線線路。エンドレス敷設時は、本品3本と下記アプローチレールR／L各1本で半円を組む。2本入。 525円
○1742／　〃　C317-45-WP(F)…同じく半径317mmのもの。2本入。 525円
○1751／ワイドPCアプローチレールCR(L)280-22.5-WP(F)…上記曲線線路と、カントのない直線の接続用。半径280mm、22.5°分。左右1組のセット。 399円
○1752／　〃　CR(L)317-22.5-WP(F)…同じく半径317mm版。1組入。 399円
○91010／カント付レール小円セット（レールパターンCA-S）…上記C280・C317を使用した変形小判型エンドレスのセット。既存のカント付レール基本セットの内側に敷設できるほか、本セット×2でC280／317の複線、基本セット×2と合わせて複々線エンドレスとなる。リレーラー、ワイドレール用D.C.フィーダー付。 4,305円
○3081・3082／ワイドレール用壁…道床脇に付く壁、手スリ、柵のセット。それぞれ22.5°分が8枚ずつ入る。品番3081はC280の内側、3082はC280・C317間に対応。線路付属のジョイントとは併用不可。 各672円
○3091・3092／ワイドレール用単線橋脚ベース…上記ワイドレールに別売の単線用橋脚を付けるためのアダプターパーツ。1本あたり22.5°分、8本入。品番3091はC280、3092はC317に対応。 各798円

▲91010：カント付レール小円セットのパッケージ。

レール配置図（レールパターンCA-S）
1268mm
685mm
レイアウト寸法 1268mm×685mm

▲小円セットの線路配置（レールパターンCA-S）。

◀ワイドレール用壁。上がC280・317間用（3082）、下がC280内用（3081）。

▲セットにも含まれる小円カント付曲線。左がC317-45-WP(F)、右がC280-45-WP(F)。脇にあるのは接続用ジョイント。

▲カント付曲線と直線を繋ぐアプローチレール。左がCL317-22.5-WP(F)、右がCL280-22.5-WP(F)。それぞれ逆向きとの2本セットとなる。

◀ワイドレール用単線橋脚ベース。左がC280用（3091）、右がC317用（3092）。

■RMM197号掲載
TCSパワーユニットN-600
○5507…先にベーシックセット同梱にてお目見えしたTOMIXの新パワーユニット「N-600」が単品で発売。同社の入門者向け製品としてワンハンドル型の「N-1」（生産中止）に代わるもので、出力は直流1A（走行用0～12V、TCS用・ポイント用各12V）にアップ。速度調節はダイヤル式、電源部はACアダプターとなった。フィーダー（1系統）用・TCS用・ポイント用の各コネクターはN-1同様に装備、常点灯非対応。 6,090円

▲TOMIX制御機器の新たなスタンダードが登場。左は付属のACアダプター。

■RMM197号掲載
ガソリンスタンド
従来よりENEOS、JOMO、出光の3種が存在するTOMIXのガソリンスタンドに、2種のバリエーションが加わった。なお、成型品自体は従来の3種と同様。ベースの白線、屋根・側壁のロゴは印刷済で、他はステッカーが付属する。 各2,310円
○4068／ガソリンスタンド（コスモ石油）…青色基調に「COSMO」ロゴの現行デザイン。事務所部分の建物は赤色成型。
○4069／ガソリンスタンド（キグナス石油）…こちらも現行の、黄色メインに白鳥をかたどったマーク入り。給油機はグレー。

▲4068：コスモ石油（ステッカー貼付後）。

▲4069：キグナス石油（ステッカー貼付後）。2種とも歩道部分が付属する。

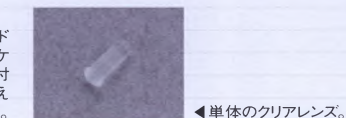
■RMM197号掲載
『キロポスト96』
●A4判・30頁・525円
2011年秋号。巻頭実車ガイドでは新仕様で展開の始まったEF64 1000番代を特集、同機のモデルももちろん解説する。最近の新製品および秋・冬以降の発売予定品についても、試作品写真や実車写真を交えて紹介。また連載「ネクスト・ネオ製品の研究」では、鉄道線路・構造物観察記事の2回目として「架線・架線柱」を取り上げ、実物の構造、マルチ複線トラス架線柱の使用法などを解く。

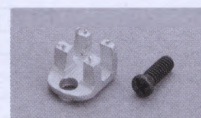
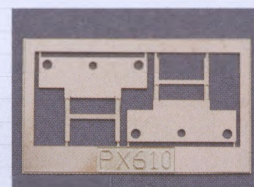
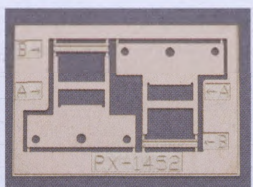
タヴァサホビーハウス

■RMM188号掲載
タイホンパーツ
○PX046／タイホン…旧型国電の床下に取り付けられていたラッパ型のタイホン。製品は真鍮挽物のタイホン本体に洋白エッチングの取付座の組み合わせで、床板にφ0.4の取付穴を開け、取付座の脚を差し込み接着する。既発売の釣合空気ダメなどとともに、車端部の床下を彩ってくれるパーツだ。 252円

◀上のエッチングパーツが取付座、下がタイホン本体。

■RMM197号掲載
201系用シールドビーム
○PX047／201系用シールドビーム…201系のブラックフェイスのアクセントとなるヘッドライト。リム表現のないKATO製品のディテールアップ用で、ライトケースは真鍮ニッケルメッキの銀色パーツ（取付穴φ1.5）。レンズ付、2組（1輌分）入。 347円
○PX047-1／201系用シールドビームレンズ…上記製品に含まれるレンズの単品。透明アクリルφ1.3。2個（1輌分）入。 231円

◀PX047：201系用シールドビームの内容。左がライトケース、右がレンズ。リム表現付の鉄コレ201系と表現を揃えたい向きにも便利なパーツだ。

◀単体のクリアレンズ。

■RMM190号掲載
カプラー関連パーツ
素のままではTNカプラー化できない車輌をTN化するためのポケット・胴受パーツ。
○PX006S／TNカプラー用ポケット（短柄）…台車マウント型TNカプラーを床板マウントとするポケット。既存品（品番PK006）同様ホワイトメタル製で、床板にビス止め（φ1.4ナベネジが付属）して首を振らせるものだが、今回品では柄を0.8mm短縮。通常のボディマウントと比べ連結器が飛び出ないように工夫されている。10組入。 546円
○PX610／TNカプラー対応胴受（気動車・私鉄用）…上記ポケットの取付座を兼ねた胴受。こちらはKATO製をはじめTN非対応の気動車、私鉄車輌に対応。真鍮エッチング製、取付用φ1.4ビス付。2組入。 357円
○PX1452／TNカプラー対応胴受（旧国用）…同じく旧型国電用。胴受下部が別パーツの構成となる。通常のボディマウント式では動力台車と干渉してしまう「鉄コレ」旧国用動力ユニットにも取付可能。2組入。 399円

▲PX006S：TNカプラー用ポケット（短柄）。右は固定用ネジ。

▲PX610：TNカプラー対応胴受（気動車・私鉄用）。

▲PX1452：TNカプラー対応胴受（旧国用）。

トレジャータウン

■RMM187号掲載

パーツ各種

Nゲージ電車用ディテールパーツの新作。いずれも真鍮ロスト製。

○TTP105A／KE64ジャンパ栓受・ホースなし…165系、201系、205系をはじめ広く使われた車体側栓受。こちらはホースなし。取付穴はホース付ともφ0.5。2個入。　630円

○TTP105B／KE64ジャンパ栓受・ホースあり…こちらはホース付。2個入。　840円

○TTP151-01／ATS車上子#1(S型2本足)…旧国、急行型製造終了頃までの新性能電車で多用されたタイプのATS-S車上子。取付穴φ0.6(3.5mm間隔)。2個入。　1,050円

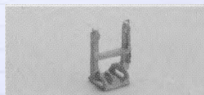
○TTP151-02／ATS車上子#2(S型4本足)…昭和40年代中盤から現在まで採用が続いているタイプのATS-S車上子。取付穴φ0.6(2.6×2mm間隔)。2個入。　1,050円

○TTP151-03／ATS車上子#3(P型)…国電の床下最前部で存在感を放ったATS-P車上子。φ0.6(3mm間隔)。2個入。　1,050円

▲TTP105A／KE64ジャンパ栓受・ホースなし。

▲TTP105B／KE64ジャンパ栓受・ホースあり。

▲TTP151-01／ATS車上子#1(S型2本足)。

▲TTP151-02／ATS車上子#2(S型4本足)。

▲TTP151-03／ATS車上子#3(P型)。

■RMM187号掲載

インレタ各種

Nゲージ車輌用インレタの新作が各種登場。すべて白単色刷り。　各840円

○TTL801-01／復活湘南色標記…JR化後、他色に塗り替えののち再度湘南色に復元された車輌の標記を集めたもの。165系カヌM2・M3／シマS9〜S11編成、169系S52編成、113系幕張車、111系高松車、加えて原色復帰した119系E4編成について全標記を収録。ほか湘南色の185系・OM3編成、117系S11編成の一部標記、クヤ153／165の標記も。

◎ドア注意ステッカーインレタ…ドア窓に貼られる注意喚起ステッカーをインレタで再現したもの。単色印刷だが雰囲気は充分。種類によって5〜32輌分入り。

○TTL081A／汎用指さし…私鉄で古くから見られる円形＋左右指差しマークのタイプ。

○TTL082A／汎用四角…近年多い、広告ステッカーと組み合わせられた角型のタイプ。

○TTL083A／手のひら…京急で見られる、円枠の上側に手の平が描かれたタイプ。

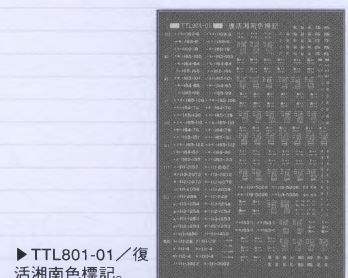
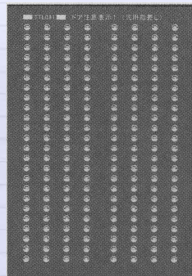
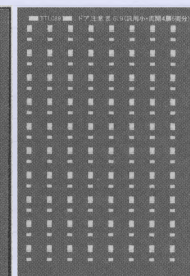
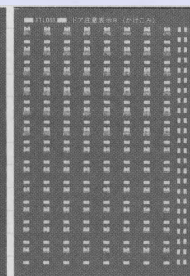
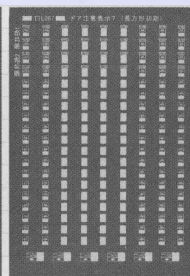
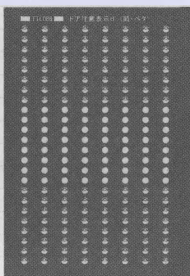
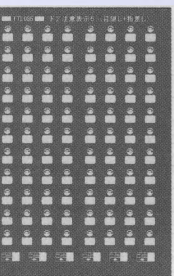
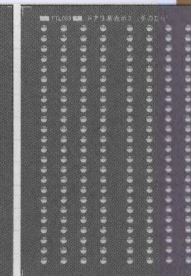
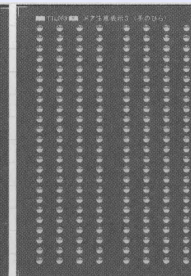
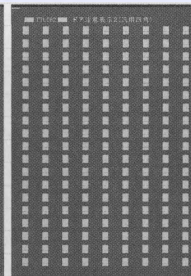
○TTL084A／目隠し大泣き…昭和50年代東横線で見られた、ガラスを隠す大型シール。「大泣き」の絵は車内側でインレタにはない。

○TTL085A／目隠し十指差し…同年代、田園都市線で見られた指差しマーク併用タイプ。

○TTL086A／顔ベタ…同年代、東急旧型車で見られた円枠上部に顔が描かれるタイプ。

○TTL087A／長方形初期…円型→角型切替初期に東急で見られた広告一体の縦長タイプ。

○TTL088A／かけこみ…近年の、外側にも駆け込み防止表示のある角型タイプ。

○TTL089A／四角・小…広告と組み合わせた角型タイプ。西武で見られる小型のもの。

▶TTL801-01／復活湘南色標記。

▲左からTTL081A、TTL082A、TTL083A、TTL084A。

◀左からTTL085A、TTL086A、TTL087A、TTL088A、TTL089A。

■RMM188号掲載

パーツ各種

トレジャータウンから、先月に続くATS車上子など各種Nパーツが発売。各2個入。

○TTP147E／209系スカート(房総)…房総地区の209系が装備するスカート。TOMIX製品に無加工で取付可。　840円

○TTP148B／キハ48水タンクB・2個入…側面・妻面全周のリブが特徴のキハ48用水タンク。　840円

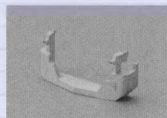
○TTP148C／キハ47水タンクC・2個入…妻面に点検蓋の付くキハ47用。　840円

○TTP151-04／ATS車上子#4(P型90度)…先の#3と同型で、脚の向きが90°異なる。取付穴φ0.6(3mm間隔)。　1,050円

○TTP151-05／ATS車上子#5(P型カプラーマウント)…#3と同型で、TNカプラー・KATOダミーカプラー直下に取り付けるタイプ。取付穴φ1(#6も同)。　1,050円

○TTP151-06／ATS車上子#6(P型カプラーマウント・90°)…#04のカプラー直下取付用。　1,050円

○TTP151-07／ATS車上子#7(P型ATC転属車用)…ATC線区からの転属車用。取付穴φ1.2(11.5mm間隔、#8も同)。　1,260円

○TTP151-08／ATS車上子#8(P型ATC転属車用・90°)…#7と同型で、脚の向きが90°異なるタイプ。　1,260円

◀TTP148C：キハ47水タンク。

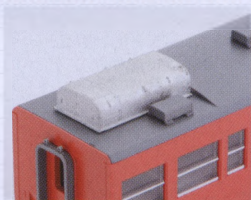
▲TTP147E：209系房総用スカート。

▲TTP151-04：ATS車上子#4。

▲TTP151-05：ATS車上子#5。

▲TTP151-06：ATS車上子#6。

▲TTP151-07：ATS車上子#7。

▲TTP151-08：ATS車上子#8。

◀TTP148B：キハ48水タンク。

■RMM189号掲載

エッチングパーツ各種

トレジャータウンの新作エッチングパーツ。今回も国鉄・私鉄、バスまで幅広い内容だ。いずれも洋白製で、豊富なおまけパーツが収録されるのも嬉しい。

○TTP207-01／京急1000形手スリセット…標題の1000形(先代)をはじめ、京急全般に応用できる各種手スリパーツ。　630円

○TTP207-02／京急1000形行先表示・幌枠セット…GM塗装済キットのディテールアップに好適な行先標示枠や幌枠など。630円

○TTP261／国電用縦樋・113-3800番代前面鉄板…汎用縦樋(幅広・幅狭)、配管支え、避雷器台座。113-3800キットから分売のため前面補強板も含む。　630円

○TTP246改／キハ183系貫通扉…愛称幕が幕式となった近年の形態。500・550番代、100番代用を収録。　630円

○TTP264B／妻板キャンバス押さえ通勤型国電用…101・103系など、裾絞りのない新性能通勤型国電に対応。800番代低屋根車用も含まれる。　630円

○TTP265-01／AU712ランボード(113・115系用)…AU712冷改、SIV給電対応車用。配管用治具も収録。　945円

○TTP265-02／AU712ランボード(クハ115-2000新潟用)…ランボード寸法が異なる元AU75向け冷房準備車用。上記TTP265-01と組み合わせて使用。　945円

○TTP291-11／バス用パーツ集＃11…ニューエアロスター用冷房・エンジングリル、新型ノンステップ車用扉パーツ。　630円

▲TTP265-01(上)／02(下)の取付見本。ランボード寸法が異なる。

▲TTP207-01：京急1000手スリセット。渡り板や琴電用アンテナも収録。

▲TTP207-02：京急1000行先表示・幌枠。京成リース車用パーツも。

▲TTP261：国電用縦樋・113-3800番代鉄板。

▲TTP246改：キハ183貫通扉。キハ56お座敷車ルーバーも含む。

▲TTP264B：妻板キャンバス押さえ(通勤型国電用)。

▲TTP265-01：AU712ランボード(113・115系用)。

▲TTP265-02：AU712ランボード(クハ115-2000新潟用)。

▲TTP291-11：バス用パーツ集＃11。

■RMM189号掲載
ブックケース用ウレタン

ブックケース用詰め替えウレタンの新製品。市販ケースではウレタンの製造時にガスが生じ、出荷後も残存する場合が多いが、本製品ではガスの発生しない素材を採用。開封時の独特の臭いがなく、車輌への影響も未然に防ぐことができる。収納力も高く、手持ちの車輌の整理にも役立つだろう。TOMIX製現行新ケースでの使用を推奨。　各1,029円

○TTT511-01／なかじき1号…18〜18.5m級車輌用、12輌収納。19m級もモノによっては可。車輌収納時に抜き取る部分は、端部が切り離しできスペーサーとして利用可能。

○TTT511-03／なかじき3号…バスコレなどの1:150標準尺路線バス用、25台収納。端部に来る4台分は少し長めになっており、多少大きいバスも収納できる。

▲TTT511-01：なかじき1号（18〜18.5m級）。

▲TTT511-03：なかじき3号（標準尺バス用）。

■RMM190号掲載
205系東海道線新色帯デカール

○TTD9324…RMM190号「なる早モデリング」でも取り上げている、新色で東海道に復帰した205系だが、トレジャータウンから早速デカールが発売された。製品には窓下の3色帯、戸袋の紺色部のほか窓上の帯を隠す銀色デカールも含まれ、KATO製小窓車ベースに貼付だけで新色を再現できる。ただしMDプリンタ使用の自家製作デカールで、印刷面がデリケートなので取扱には注意。フル編成7輌分、予備なし。　2,940円

▲早くもデカール化された205系新色。下が幕板帯の目隠しデカール。購入は同社通販にて。

■RMM190号掲載
東急用インレタ

○TTL038B2／車番標記 銀文字（東急8500）…8500系以降の東急ステンレスカーで、前面赤帯内に入る車番のインレタ。既に白文字仕様が発売されているが、今回8500系登場時〜'90年代まで見られた銀文字バージョンが追加された。内容は白文字版と同じで、8500系全編成に加え9000、1000、2000系、池上線の異端車として知られた7700系7915F用の車番、汎用検査標記を収録。　735円

▶今なお現役の8500系。その「昭和」の姿を再現するアイテムだ。

◀KATO製ケースでの使用例。長手方向に余裕がないため、アーノルトよりはTNやKATOカプラーに換装した車輌に好適。

■RMM194号掲載
ブックケース用中敷（10輌用）

○TTT511-05／なかじき5号…製造過程でガスの発生しない素材を使用、市販ケースのウレタンにある独特の臭いをなくした交換用中敷。189号で紹介の「1号」「3号」に続き、20m級×10輌用の「5号」が登場した。ケースを横向きに使い、10輌が同じ向きに入る配置も特徴で、見た目も美しく運搬時の負荷の点でも有利。TOMIX製現行ケースに適合（KATO製も可）、切妻の通勤型電車を想定した設計となっている。　1,029円

■RMM194号掲載
113・115系西日本地域色用車番（黒文字）

JR西日本の鋼製車で進行している単色塗装のうち、広島・岡山地区の黄色塗装に対応した黒文字の車番・細部標記インレタ。いずれも既存品と同版下の色違い。　各840円

○TTL064B／115系広島N30・113系福知山標記 黒…#TTP064A（茶色）の色違い。N30用の新書体標記が黄塗装に対応。

○TTL075D／115系標記（広島地区）黒…#TTL075A（白色）・B（青20号）の色違い。115系のほか、113系の車番も含まれる。

○TTL077B／113・115系N40・N30・3800番代標記 黒…#TTL077A（茶色）の色違い。更新車用の新書体標記が中心。

▲TTL064B：115系（広島N30）等用。

▲TTL075D：115系（広島地区）標記。

▲TTL077B：113・115系（N40・N30）ほか。

■RMM194号掲載
TNカプラーアダプター（幅狭）

○TTP122B／TNカプラーアダプターB（狭）…床板上に取り付けることで、アダプターとカプラーポケットで床板を挟み込む形でボディマウントTNカプラーを固定するアダプター。従来の幅広ポケット対応のタイプ（今回「#TTP122A TNカプラーアダプターA（広）」に名称変更、504円に価格改定）に加え、キハ10・20系用や旧型客車用といった狭幅ポケットに対応するタイプが発売された。この規格には並型自連タイプも含まれ、鉄コレ等のTN化にも威力を発揮するだろう。軟質プラ製のため脱着にも強い。6個入。　504円

▲パーツ状態（右）と、鉄コレ床板への取付見本。自連型カプラーが使えるのは魅力。

■RMM195号掲載
ステッカー・インレタ各種

トレジャータウンのインレタ・ステッカーに各種新製品が追加された。TTS351-01のみステッカー、他はインレタ。

○TTS351-01／「中央線沿線のバス」行先ステッカー…バスコレ16弾の関東バスに対応。武蔵野・青梅街道系が中心。　504円

○TTL802-01／京急1000形渡り板車番標記・琴電検査標記（京急譲渡車）…渡り板の車番は1:80にも対応。琴電は30・1070・1080形用。旧型貨車車番入。白文字。　735円

○TTL802-02／琴電30・1070・1080車番標記＋京急貨車車番…京急貨車は1000形からの改造車に好適。メタリック銀。　840円

○TTL804-01A〜D／乗務員室立入禁止標記…東武の乗務員扉脇に入る標記。約60輌分。白、ミディアムブルー、ライトブルー、マルーンの4色あり。　各840円

○TTL806-01A〜D／汎用広告シールインレタ…扉窓、戸袋窓等に。白、黄緑、青、アイボリーの4色。各171点。　各840円

○TTL806-02A・D・E／私鉄用妻窓広告シールインレタ…京成・京急・東武等の妻窓に見られるもの。白、アイボリー、ライトブルーの3色。各128点。　各840円

○TTL856-01〜03／ドア注意シール・優先席表示…ドア窓、優先席窓のシールを表現するカラーインレタ。首都圏用、東武線用、九州（電車）用の3種。　各1,050円

○TTL801-10／113系関西線・キハ58系修学旅行標記…朱色3号の車番・標記各種。従来のTTL056の内容を充実させ、新たに小牛田の復活修学旅行色等も収録。　840円

○TTL801-11A・B／キハ58標記（九州北部）…従来の九州用（TTL055）を南北に分離、内容を充実。北部用は小倉工場担当車が中心。青23号・赤11号の2種。　各840円

○TTL801-12A・B／キハ58標記（九州南部）…こちらは熊本・鹿児島地区向け。同じく青23号・赤11号の2種。　各840円

▲TTS351-01：関東バス行先ステッカー。

▲TTL801-10：113系関西線ほか朱色3号標記。

▲TTL801-11：キハ58標記（九州北部）。

▲TTL801-12：キハ58標記（九州南部）。

▲TTL802-01：京急1000形渡り板車番ほか。

▲TTL802-02：琴電／京急貨車車番・標記。

▲TTL804-01：東武用立入禁止標記。

▲TTL806-01：汎用広告シール。

▲TTL806-02：私鉄用妻窓広告シール。

▲TTL856-01：ドア注意・優先席表示（首都圏）。

▲TTL856-02：ドア注意・優先席表示（東武）。

▲TTL856-03：ドア注意・優先席表示（九州）。

▲TTP161-25：吊下型A（導光準備）。 ▲TTP161-26：吊下型A（形状優先）。 ▲TTP161-27：吊下型B（導光準備）。 ▲TTP161-28：吊下型B（形状優先）。 ▲吊下型A・Bのレンズ。 ▲TTP161-30：吊下型C。 ▲吊下型Cのレンズ。 ▲TTP161-32：気動車内はめ型。

■RMM196号掲載
テールライト各種

Nゲージ用の真鍮ロスト製尾灯。点灯化デバイスが豊富な昨今らしく、導光も考慮されている。いずれもレンズ付、2個入。
○TTP161-25・26／吊下型A…戦前期の車輌に好適な円筒型。後部にパイプ状の取付足が付き、レンズ穴を貫通させた「導光準備」版、穴を貫通させずプロポーション重視の「形状優先」版の2種が用意される。
○TTP161-27・28／吊下型B…蒸機に見られる上部取っ手付のもの。同じく導光準備版・形状優先版の2種を発売。
○TTP161-30／吊下型C…現在でも旧型車輌に見られる、いわゆる「ドクロテール」。導光準備版のみ。取付穴φ1.3。
○TTP161-32／気動車内はめ型…キハ58系、20系等に見られた内バメ式尾灯。導光準備版のみ。取付穴φ1.4。
各1,134円

▲気動車用のレンズ。

■RMM196号掲載
パーツ・デカール

○TTP203-02／新性能国電側扉…フチなしの金属支持窓を持つ両開き扉。4扉車1輌分の8枚入で、西日本体質改善車用貫通扉と福知山線113系用グロベン台座（TOMIX製対応）も含まれる。 630円
○TTD9323B／313・211系前面ステップ滑り止め…両系列の前面ステップ上面に付く滑り止めのデカール。211系はTOMIX・GM、313系はKATO・MODEMO製に対応。直販およびイベント限定品。 504円

▲313・211系用滑り止めの使用見本。直販・イベント限定品となる。

◀TTP203-02：新性能国電側扉。下の小パーツはグロベン台座。

▲TTD9323B：313・211系前面ステップ滑り止め。合計14～15編成分収録。

▲側扉の使用見本。汎用品だが、ご覧のα-model製111・115系キットには特にマッチする。

■RMM197号掲載
細切りテンプレート

マスキングテープ・プラ板などを細く、均一な幅で切り出すためのお助けアイテムが登場。市販の15cm定規に揃えた長さのステンレス板の両側に、切り出し幅に応じた切り欠きを設けたもので、定規と突き合わせる形で使用する。0.2～1.5mmまで各種寸法が用意されるほか、定規を使わず2枚を組み合わせれば表示外の寸法にも対応可能。
○512-01S／基本5枚セット…切り出し幅0.2／0.7mm用、0.3／0.8mm用、0.4／1.0mm用、0.5／1.2mm用、0.6／1.5mm用の5枚セット。 2,940円
○512-01／0.2-0.7…上記セット中の0.2／0.7mm用の単品販売。1枚入。 840円
○512-04S／お好み4枚セット…メーカーのネット通販限定で、製品から4種（重複可）を指定しセットで購入できる。 2,625円

▲左から0.2／0.7mm、0.3／0.8mm、0.4／1.0mm、0.5／1.2mm、0.6／1.5mm用のテンプレート。

▲基本的な使用方法。定規の部分を別のテンプレートに置き換えれば、表示外の寸法も出すことができる。 図：トレジャータウン

■RMM198号掲載
小ネジ各種

車輌の組立、ボディマウントカプラーの取付など何かと便利なナベネジ各種。少量での販売が少ない小ネジだけに、必要なものを必要なだけ買えるのはありがたい。純正品の予備用としても、持っておくと便利に使えそうだ。いずれも12本入、黒色。
○521-1420／φ1.4・L2.0
○521-1440／φ1.4・L4.0
○521-2020／φ2.0・L2.0
○521-2040／φ2.0・L4.0 各231円

◀目立たない黒色なのも車輌工作では好都合と言えよう。

■RMM198号掲載
ドア注意・優先席標記インレタ

窓ガラスに貼付される表示類のフルカラーインレタ。ステッカーのように厚みが目立たず、スッキリした仕上がりが期待できる。
○TTL856-04／ドア注意・優先席標記（東海）…313系や119系、キハ40系などJR東海の普通列車全般に。ドア注意表示は半自動表示も含め数種のバリエーションを収録、優先席は現行のオレンジ系の表示。ワンマン表示も含まれる。57頁掲載のGM製211系のグレードアップにも格好のアイテムだ。
○TTL856-05／ドア注意・優先席標記（地下鉄）…こちらは営団／東京メトロの各形式に対応。表題の内容のほか、KATO製品向けの銀座線01系行先表示（幕・LED各3種1枚ずつ）が入るのも見逃せない。
各1,050円

▲TTL856-04：ドア注意・優先席標記（東海）。 ▲TTL856-05：ドア注意・優先席標記（地下鉄）。

▲TTL856-04の貼付見本（313系）。優先席表示は現行のオレンジ系でよく目立つ。

▲TTL856-05の貼付見本（01系）。オマケの行先表示は1枚ずつのため、両側に貼るにはインレタが2枚必要。

■RMM191号掲載
方向幕デカール各種

LEDによる車輌用照明を専門とし、市販車輌への照明組込加工などを行なっているブライトチップス。一般販売用のLED製品も発売しているが、今回そのラインナップの一環としてデカールによる行先方向幕が登場した。室内灯取付時、ステッカーでは厚みや光の透過性に難があるところを、フィルムが薄く透過性も良いデカールの採用で解決しようというもの。以前より特注での製作は行なっていた由だが、新たに一般販売（直販のみ）を開始したものだ。今回到着したサンプルはJR世代の特急電車用で、651系〈スーパーひたち〉（旧デザイン：上野十仙台、原ノ町十いわき、新デザイン：上野、仙台、いわき、原ノ町）、E351系〈スーパーあずさ〉（南小谷十新宿、松本十東京）、681・683系〈サンダーバード〉（大阪、金沢、富山、和倉温泉）、〈はくたか〉（福井、上野、和倉温泉、金沢、越後湯沢）、〈しらさぎ〉（和倉温泉、金沢、名古屋）という内容。1～2種の行先ごとに1シートと細分化されており、681・683系用車体ロゴ（サンダーバード、はくたか、同北越急行車、しらさぎ）も用意されている。ラインナップにないカスタムデザインも発注可能（デザイン料4,000円～）とのこと。 予価各1,000円

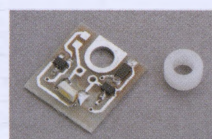
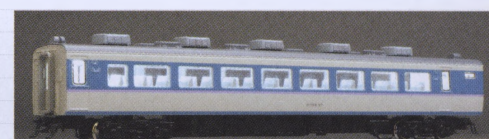
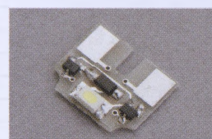
▲651系用から、新デザイン・仙台行を示す。

▲E351系用から、新小谷十新宿行を示す。

▲681・683系〈サンダーバード〉用から富山行を示す。号車・指定席／自由席表示も含んでいる。

ブライトチップス

■RMM192号掲載
LED室内灯　ターボシリーズ

従来から高品質のLED照明を発売してきたブライトチップスだが、今回性能アップを図ったニュータイプが登場した。いずれも新仕様のCRD（定電流ダイオード）によって従来品より駆動電流値を20％向上し、輝度をアップ。基板もt0.2の薄型とし省スペースを実現している（抵抗使用の従来品は生産中止となる）。製品は取付法、輝度、点灯色により9種あり、基板部単体での販売。導光材は従来品同様のフラットリフレクター（5種、各525円）を使用する。各2個入。
○BC350CWT・BC450CFT・BC650CWT…標準的なKATO製車輌用の、車内端部に差し込むタイプ。点灯色・光度（参考）は順に白色・370mcd、電球色・500mcd、白色・600mcd（以下2タイプも同様）。各1,890円
○BC370CWT・BC470CFT・BC670CWT…車体妻面裏に取り付けるタイプで、各社製車輌に使用可。 各1,890円
○KT351CWT・KT451CFT・KT651CWT…KATOの室内灯標準装備車に対応するネジ止めタイプ。 各1,995円

▲ネジ止めタイプの製品外観。

▲BC670CWT使用例。

▲妻面取付タイプの製品外観。

▲KT651CWT使用例。

フローベルデ

■RMM191号掲載
情景アクセサリー各種

以前個人ブランドとして発売されていた「模型工房パーミル」製品が、会社組織の(株)フローベルデに移行。新製品も発売されているほか、従来品にも小変更が加えられた。

○曲弦トラス鉄橋キット…日本型では希少な曲弦トラス橋。ペーパー製未塗装キットで、カット済の骨組は非常に繊細。歪みが出ないよう留意したい。完成後寸法570×34mm×98mm。橋脚・線路は別売。　3,990円

○高圧線兼用架線柱キット…架線支持用に加えてもう1本のビームを持ち、高圧線の鉄塔を兼ねる架線柱。こちらもペーパー製キットで、架線柱付近のみ再現したダミー電線・架線が付くのも特徴。全幅78mm・全高125mm、架線柱ビーム高さ63mm。1個入。　683円

○昭和のベンチキット…背もたれに広告の入る、地方私鉄の駅などで見かけるベンチ。エッチングキット、形態違い2種入。　368円

○子供用自転車…小型の自転車や一輪車、三輪車計8台を収めたエッチング板。ハンドル等をよじって組み立てる。　368円

○洗濯物セット…ハンガーに懸かった洗濯物(洋服)を含む、物干し用具一式のエッチングパーツ。　473円

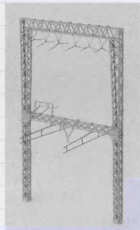
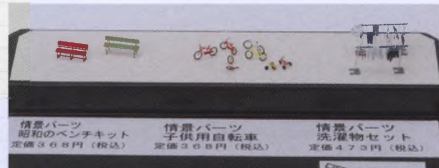
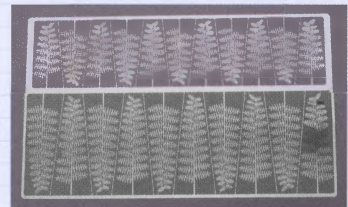
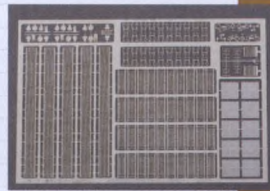
○竹の木　大(完成品)…ステンレスエッチングで細部まで抜き、フレーク状の葉をまぶして仕上げられた竹。「大」は高さ94mm。2本入。　735円

○竹の木　小(完成品)…同じく高さ65mmのもの。3本入。　788円

○竹の木ベースキット…上記完成品同様の竹の木だが、得用の無塗装エッチング板として販売。大10本、小11本入。　4,620円

○団地グレードアップパーツ…アオシマ製団地キット発売当時にリリースされたエッチングパーツだが、今回一部のパターンが変更されて再登場となった。　3,885円

▲竹の木ベースキット。

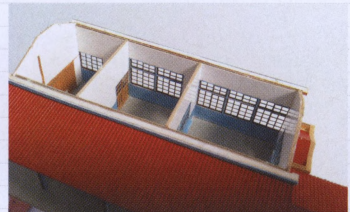
▲曲弦トラス鉄橋の完成見本(塗装し、線路を設置したもの)。構造物の関係で、パンタを高く上げた車輌は接触する恐れがあるので注意。

◀高圧線兼用架線柱の完成見本。架線柱前後のみのダミー架線・送電線を使用した状態。

▲左からベンチ、子供用自転車、洗濯物セットの完成見本。

▲竹の木・大(左)と小(右)。

▲一部パターンが変更された団地グレードアップパーツ。

■RMM192号掲載
上田電鉄別所温泉駅・中塩田駅

フローベルデから、上田電鉄(旧・上田交通)の駅舎をプロトタイプとしたN用ペーパーストラクチャーが2点登場。いずれもレーザーカット済の未塗装キットで、窓ガラス用のプラ板／塩ビ板は別途用意する。引き違い窓の段差も貼り重ねで表現、室内仕切壁も付属し、完成すればなかなかの細密感となろう。時代設定は600V時代末期とのこと。

○00301／別所温泉駅キット…高い天井と半切妻屋根、立派な車寄せを持つ別所線の終着駅。長く延びたホーム上屋も木組みまで細かに再現。別棟のトイレが付属する。

○00302／中塩田駅キット…別所温泉と共通する半切妻のスタイルだが少し小ぶりで、上屋も短い。対向ホームの待合室が付属。　各4,935円

▲00302：中塩田駅の組立見本。壁の「NAKASHIODA STATION」の文字も再現してみたい。

▲室内壁面も表現されるので、人形や小物で演出してやるのもいいだろう。

(中塩田駅写真2点：フローベルデ)

▲00301：別所温泉駅のジオラマ組込見本。ホーム側から見たところで、左側のトイレも製品に付属する。

▲駅舎入口側から見た別所温泉駅。印象的なホーム屋根の看板も再現される。

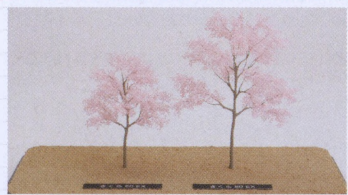
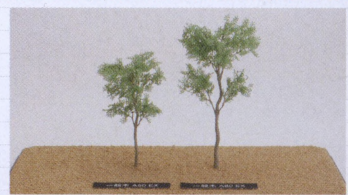
■RMM192号掲載
ハイグレード樹木

フローベルデから「竹の木」に続く樹木として2種(高さ違いで計4種)が登場。葉(「さくら」では花)がフォーリッジ等ではなく樹脂成型品なのが特徴で、針金でできた幹・枝に付け、「葉っぱが一枚一枚見える」リアルな外観に仕上げている(いずれも完成品)。高価ではあるが、ジオラマ上のハイライトとなり得る製品だ。

○さくら60EX…満開となった桜の木。高さ約60mm。　2,678円

○さくら80EX…同・約80mm。　3,413円

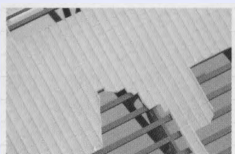
○シナの木A60EX…緑色の葉が一杯についている広葉樹。高さ約60mm。2,079円

○シナの木A80EX…同・約80mm。　2,678円

▲さくら60EX(左)、80EX。ちゃんと花の形の成型品が付いている。

▲シイの木A60EX(左)、80EX。

■RMM194号掲載
丸山変電所・八木沢駅

フローベルデのペーパーストラクチャーに続編が登場。いずれもレーザーカット済の未塗装組立キット。

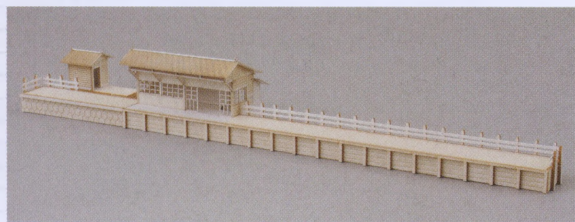
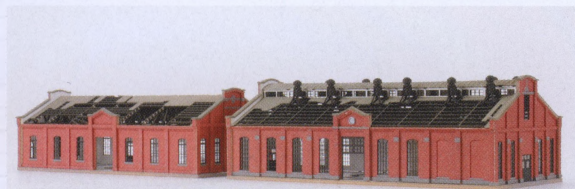
○00303／日本の名駅シリーズ　上田交通(上田電鉄)八木沢駅…前回の中塩田駅、別所温泉駅に続き、同じ上田の八木沢駅が登場。1面1線の小さな中間駅で、駅舎は前回の2駅とは異なる下見板張り。ホーム側を欠き取ったような独特の形状をしている。キットには駅舎のほかホームも付属。　4,148円

○00304／碓氷峠シリーズ　丸山変電所…めがね橋と並んで碓井峠を象徴するストラクチャーのひとつ、レンガ造の旧丸山変電所。製品は変電所棟・蓄電池棟のセットで、屋内の蓄電池も付属。付属のカット用型紙の使用で、整備されたノーマルな姿と横軽末期の廃墟状態とを作り分けられる。製作所要時間は6時間程度との由。　9,975円

▲レーザー加工による精密な彫刻がこれらのキットの魅力。これは丸山変電所の屋根(廃墟仕様として一部カットした状態)。

▲丸山変電所壁面のレンガのパターンもしっかり彫られている。

▲側壁の木目、上面のざらつきが表現された八木沢駅ホーム。

▲八木沢駅ホームの石積み部分も立体的に再現。

▲八木沢駅(未塗装状態)を駅前側から見る。右は便所。

◀八木沢駅の全景。ホーム改修前の姿で、600V時代の旧型車も似合う。

◀廃墟仕様として組んだ丸山変電所の全景。廃墟らしいウェザリングで情景に溶け込ませたい。

■RMM197号掲載
公営住宅

フローベルデのN用ペーパーストラクチャーに、鉄道以外の一般の建物が登場。いずれもカット済の未塗装組立キット。塗装仕上げや小加工次第で、昭和～平成の情景に広く利用可能なストラクチャーだ。

○00305／公営住宅(平屋建)…昭和の香りが漂う長屋型の公営住宅。4軒続き、モルタル塗りのイメージ。ブロック塀で仕切った庭部分も含まれ、そこへ配置するプレハブ、物置が付属。　3,360円

○00306／公営住宅(2階建)…コンクリート造2階建て、長屋型ながらモダンな趣の公営住宅。6軒続きで、こちらも庭部分とプレハブ・物置が付属。　3,675円

▲「2階建」の組立・塗装見本を庭側から見る。さらに樹木を追加したり、数棟を並べるとより雰囲気が増しそうだ。

▲同じく庭側から見た「平屋建」の完成見本。物置など小物も付属するので、狭い空間を有効に使う工夫をモデルでも再現したい。

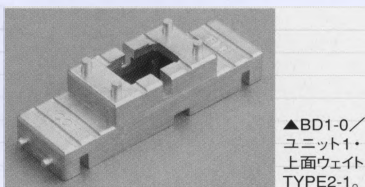
(2点共)：フローベルデ

PRO-HOBBY／アイコム

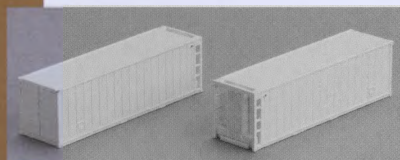
■RMM187号掲載
Bトレ用台車メタルウェイト

Bトレインショーティーの Nゲージ化の際、走行・牽引性能を増強するためのウェイト。
◎台車枠…Bトレ純正の台車枠と同形態でホワイトメタル製としたもの。バンダイ製動力・トレーラー台車にそのまま取付可能。今回は以下の11種が同時リリースされた。1輌分(計4g)入。 各630円
○BD2-1／私鉄車輌用1
○BD2-2／特急・急行用(DT32形)
○BD2-3／E231・209系(DT61/TR246形)
○BD2-4／私鉄車輌用2
○BD2-5／103・113系(TR62形)
○BD2-6／103系(DT33形)
○BD2-7／205系(TR235形)
○BD2-8／205系(DT50形)
○BD2-9／私鉄車輌用3
○BD2-10／113系(DT21形)
○BD2-11／旧型電車用(DT13形)
◎機関車用
○BD1-0／ユニット1・上面ウェイトTYPE2-1…機関車用2軸動力の上部に収めるブロック状ウェイト(約20g)。ルーターでのカットなど調整加工も容易な材質。 840円

▲BD1-0／ユニット1・上面ウェイトTYPE2-1。

▲BD2-1／私鉄車輌用1。
▲BD2-2／特急・急行用(DT32形)。
▲BD2-3／E231・209系(DT61/TR246形)。
▲BD2-4／私鉄車輌用2。
▲BD2-5／103・113系(TR62形)。
▲BD2-6／103系(DT33形)。
▲BD2-7／205系(TR235形)。
▲BD2-8／205系(DT50形)。
▲BD2-9／私鉄車輌用3。
▲BD2-10／113系(DT21形)。
▲BD2-11／旧型電車用(DT13形)。
▲裏面のボスなどはBトレと全く共通。

■RMM194号掲載
光る冷凍コンテナシリーズ

冷凍機の作動ランプをLEDで点灯式とした「光る冷凍コンテナ」の新作。事業者バリエーション(番号・標記デカール付)のほか無地コンテナも発売。各2個入。
○MGL-104／31ft 園田陸運1 …白地に大きくロゴの入ったUF46A-39500。 2,940円
○MGL-105／31ft 園田陸運2…イルカのイラストが入ったUF46A-38000。 2,940円
○MGL-106／31ft 廣川運送…緑と青の波模様を配したUF47A-39500。 2,940円
○MGL-107／31ft 無地…上記31ftコンテナと同型の白色無塗装版。 2,520円
○MGL-202／20ft 松浦東部農協1…妻面の「東」マークが印象的なUF25。 2,625円
○MGL-203／20ft 三八五流通…「COOL EXPRESS」ロゴ入のUF25。 2,625円
○MGL-204／20ft 無地…上記2アイテムと同型の白色無塗装版。 2,310円
○MGL-302／12ft 日本石油輸送(くま)…2色の熊の絵が入ったUF16A。 2,625円
○MGL-303／12ft 高知通運…野菜や果物のイラストを配したUF16A。 2,625円
○MGL-304／12ft 無地…上記2アイテムと同型の白色無塗装版。 2,310円

▲MGL-104:31ft・園田陸運1。
▲MGL-105:31ft・園田陸運2。
▲MGL-106:31ft・廣川運送。
▲MGL-107:31ft・無地。
▲MGL-202:20ft・松浦東部農協1。
▲MGL-203:20ft・三八五流通。
▲MGL-204:20ft・無地。
▲MGL-302:12ft・日本石油輸送(くま)。
▲MGL-304:12ft・無地。
▲MGL-303:12ft・高知通運。

■RMM192号掲載
LNGタンクコンテナ

○UT26C(LNG専用)タンクコンテナキット「JAPEX」タイプ…ペアーハンズから、30ft級タンクコンテナUT26CのLNG(液化天然ガス)専用タイプが製品化。長大なタンク体を枠で囲った姿は存在感大だ。ホワイトメタル十洋白エッチング製、デカール付。今回はキットのみ発売。イベント会場および直販・特約店限定。 1,000円

▲30ft級の堂々たる外観。JAPEX(石油資源開発)のロゴが入る。

■RMM193号掲載
車輌用回転灯

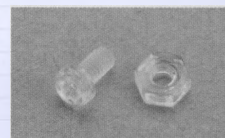
○AP-6…鉄道でも保線車など特殊車輌に見られる回転灯。自動車にも利用できるだろうし、形状自体は単純なので回転灯以外への応用も考えられる。取付穴ϕ0.5、高さ2mm強。ホワイトメタル未塗装、6個入。 420円

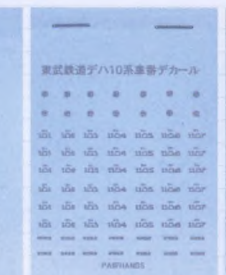
◀小指のツメの先ほどもない極小パーツ。使い道は様々。

ペアーハンズ

■RMM193号掲載
小型モーター他

ペアーハンズから、小型車輌等の動力自作に重宝するモーター・ギアなどが発売。
○HA-004／小型片軸モーター810S…定格電圧6V、最大電圧9Vの小型モーター。幅10mm×長さ12.5×高さ8mm、軸径1mm。こちらは片軸版で、軸長は7.5mm。 945円
○HA-005／小型両軸モーター810W…810Sの両軸版で、軸長(両側軸端間)は27.5mm。片軸／両軸以外の仕様は同一。 945円
○HA-006／ウォームギアセット…ウォーム、ヘリカル各1個入のギアセット。ウォームは径3.5・長さ4.0mm、軸穴ϕ1.0。ヘリカルは外径3.9・厚さ1.5mm、軸穴ϕ1.5。モジュールはいずれも0.3となっている。上記モーターとの組み合わせに。 525円
○NP-095／ポリネジ…絶縁用などに便利な透明ポリ製ネジ。ネジ(M2×4)、ナット各6点入。 525円

▲小型モーター2種。左が片軸の810S、右が両軸の810W。
▲ウォームギアセット。1セットにつき1組入。
▲ポリネジ。透明で金属ネジとの判別もしやすく、見た目も美しい。

■RMM193号掲載
東武鉄道車番デカール

先般発売されたNゲージ東武旧型車シリーズ専用の車番デカールが発売。いずれも車番のほか社紋、「東武鉄道」標記入。
○PD-001／デハ4、デハニ1車番デカール…デハ1形17・18・21・32・35、デハニ1形4～6の車番。白色。 525円
○PD-002／デハ10系車番デカール…デハ・クハともに10～12形の各登場時の番号(101～103、1104～1107)。戦後の改番まで使われていた特殊字体を再現。銀色。 840円
○PD-003／5310系車番デカール…10系を改番したモハ5440・クハ400形(5440～5442・400～402)、改造後のモハ5310・クハ350形全車分。白色。 525円
○PD-004／デハ7、クハユ1車番デカール…今月号掲載の2形式用の車番。白色。 525円

▲PD-001:デハ4、デハニ1車番デカール。
▲PD-002:デハ10系車番デカール。
▲PD-003:5310系車番デカール。

■RMM194号掲載
UT26C形コンテナ(東北天然ガス)

○NC-002/UT26C-LNGタンクコンテナ「東北天然ガス」…192号でJAPEXバージョンを紹介したペアーハンズ製UT26C形タンクコンテナにバリエーションが登場。今回の製品は東北天然ガス仕様で、JAPEXと似たデザインだが下半が緑色、タンク体には「TNG」のイニシャルが入る。ホワイトメタルのタンク体と洋白エッチングの枠による未塗装キットで、デカール付。 1,470円

▲完成見本。細かな標記や黄帯はデカールで含まれている。

PENGUIN MODEL

■RMM187号掲載
Nゲージ用ヘッドマーク・行先ステッカー

○188/E233系/京葉線1…TOMIXから製品化されたE233系5000番代用の行先表示。各種別合わせ側面14種、前面15種に加え、運番表示(現行)も収録。10輌フル編成をカバーできる。製品純正パーツは他バージョンに合わせてか表示が横長のため、こだわる向きには印象を正すことにもなろう。 525円

▶188/E233系/京葉線1。

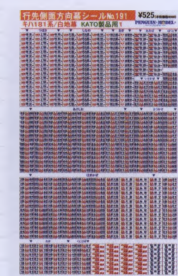
○HM58/181系気動車用…KATOキハ181系用。TOMIX用として発売済のもののリサイズ版で、文字幕・イラスト含め56種を収録、様々な時代のキハ181系を再現できる。 683円

◀HM58/181系気動車用。

■RMM188号掲載
キハ181系用方向幕

先月紹介のヘッドマークに続く、KATO製キハ181系用ステッカー。既存のTOMIX用ステッカーとは寸法が異なる。 各525円

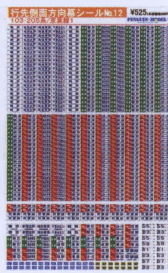
○191/キハ181系/白字幕　KATO製品用1…東は〈つばさ〉から西は〈いそかぜ〉まで、本州を走ったキハ181系の方向幕を収録。〈シュプール〉や「試運転 回送」幕も含む。

○190/キハ181系/白字幕　KATO製品用2…こちらは〈しおかぜ〉〈南風〉〈いしづち〉など四国の列車を中心に〈やくも〉も収録。2種とも、各列車のフル編成に合わせて必要充分な数が収録される。

◀191:KATO製品用1。先に発売のヘッドマークと合わせ、往時の活躍を再現したい。

■RMM189号掲載
京葉線方向幕シール各種

N用行先ステッカーシリーズから、京葉線向けの2種が改良再登場。実物幕の取込による新規データに刷新された。 各525円

○No.12/103・205系/京葉線1…103系・205系用の白地幕。1998年製品のリニューアルで、「京葉線」表示を含め27種の行先表示を収録。前面行先および運番表示・編成番号は103系用のみ。

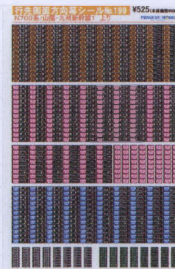
○No.51/201系/京葉線1…201系の中央・総武緩行線からの転入当初、前面・側面とも白地だった時代の方向幕。2001年製品のリニューアルで、「快速」や「通勤快速」、〈マリンドリーム〉も含め23種の行先表示、運番表示・編成番号を収録。KATO製品向け。

▶No.12:103・205系用。現在は線名入りの新側面幕が採用されている。

◀No.51:201系用。前面はブラックフェイスながら白地幕であった。

■RMM191号掲載
N700系山陽・九州新幹線用方向幕

TOMIXから発売のN700系7000・8000番代のドレスアップに最適な行先ステッカー。いずれも〈みずほ〉〈さくら〉〈つばめ〉の行先表示、自由席・指定席表示を英語表示も含めてフル編成分収録。 各525円

○199/N700系/山陽・九州新幹線1 上り…上り列車用の新大阪、博多、新下関、川内行。

○200/N700系/山陽・九州新幹線2 下り…下り列車用の鹿児島中央、熊本行。

▶199/上り列車用。鮮烈な色合いの〈さくら〉用などは編成の良いアクセントになりそうだ。

■RMM190号掲載
Nゲージ各種方向幕

○193/キハ181系/黒地幕 KATO製品用3…KATO製品発売以降、ステッカーも製品化の活発なキハ181系。今回は新塗装の〈はまかぜ〉に好適な黒地幕がリリースされた。〈はまかぜ〉の他〈いなば〉〈いそかぜ〉等も収録。別売のヘッドマーク(HM58/181系気動車 KATO製用)と合わせて。

▶193:キハ181系/黒地幕(KATO用3)。

○194/205系/武蔵野線…以前の品番21「103系/武蔵野線」から205系用の方向幕を独立させたもので、各社の205系製品に対応可能。側面幕が中心で、〈しもうさ号〉〈むさしの号〉幕も収録。前面用は品番F7「205系/中央総武緩行線・武蔵野線」を併用されたい。各525円

◀194:205系/武蔵野線。

■RMM192号掲載
Nゲージ方向幕シール

○195/209系500番代武蔵野線…2010年に京葉線から転属した、武蔵野線用209系500番代向け行先表示ステッカー。サイズはTOMIX製品合わせだがKATO製にも使用可能。線名表示や快速〈むさしの号〉〈しもうさ号〉等も含め22種の表示、運番表示、編成番号札を収録。 525円

▶195:209系500番代(武蔵野線)用。

○197/E5系東北新幹線〈はやぶさ〉…KATO製E5系の行先変更用。実車は〈はやぶさ〉専用のためステッカーも「団体」表示以外すべて〈はやぶさ〉で、1号から6号までをそれぞれ日本語・英語の2種ずつ、加えて未登場の新函館行や、英語表示時の座席表示も収録。KATOのE5系は元々行先印刷済でもあり、これはこだわり派のためのアイテムと言えそうだ。 525円

◀197:E5系東北新幹線〈はやぶさ〉用。

弁天堂模型本舗

■RMM188号掲載
近鉄行先板

○N-530/近鉄名古屋線行先板…近鉄名古屋線・鈴鹿線・湯の山線の代表的な行先板のステッカー。改軌前のものなども含め66種を収録、〈飛鳥路号〉や臨時列車の絵入りサボも含まれている。グリーンマックス製2410・2610系をはじめ、各形式に使用可能。販売は通販のみ。 1,050円

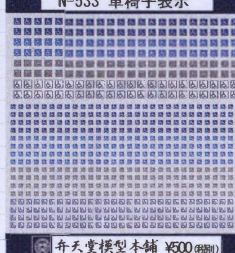
◀マルーン一色時代の近鉄電車を彩る、カラフルな行先サボを各種収録。

■RMM189号掲載
Nゲージ用ステッカー

JR・私鉄問わず関西圏の車輌用ステッカーを各種展開する弁天堂模型本舗の新作。

○N-531/おおさか東線方向幕…城東貨物線の改良による新旅客線区、おおさか東線の行先表示。103・201系用の方向幕、直通快速用223系のLED表示/種別幕のほか、開業時のヘッドマークも収録。 945円

▲N-531:おおさか東線方向幕。

○N-533/車椅子表示…車椅子対応車のドア脇などに貼られる車椅子マーク。濃青地・薄青地・灰色地・白地の4デザイン、それぞれ大(約1.3mm四方)44点、小(約0.9mm四方)120点ずつ収録。 525円

◀N-533:車椅子表示。バスなどにも応用できそうだ。

■RMM190号掲載
485系〈雷鳥〉方向幕

○N-521…関西ネタのステッカーを続々リリースする弁天堂から、先般惜しまれつつ活躍を終えた485系〈雷鳥〉の方向幕ステッカーが発売。側面方向幕は10種各11輌分で、通常の〈雷鳥〉のほか大阪花博アクセス用に運転された〈エキスポ雷鳥〉も収録。そのほか種別サボ・列車名サボ、和式車「だんらん」サボ、またオマケとして非貫通先頭車用のイラストマークも入っている。 1,260円

▶市販完成品のメイクアップに好適なステッカー。姿を消した名列車も、これからは机上で再現したい。

◀N-535:京阪本線行先板。GMの2400系未更新車などに。

▶N-534:京津線行先板。お別れ運転時の装飾が目を引く。

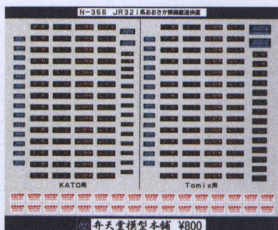
■RMM191号掲載
京阪行先板2種

弁天堂の行先ステッカーの新作は、方向板時代の京阪の行先表示2種。

○N-534/京津線行先板…京津線部分廃止以前の方向板、種別サボや「ミシガン」等の副標識板を中心に、三条〜御陵間廃止時のヘッドマーク・側面表示も収録。 1,050円

○N-535/京阪本線行先板…京阪本線系統をほぼ網羅する行先方向板、開業100周年記念をはじめ各種の副標識板や、側面種別サボ、「女学生専用車」等の表示板を収録。 1,470円

■RMM193号掲載
321系用行先表示ステッカー

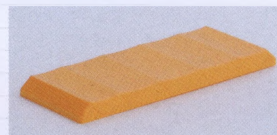
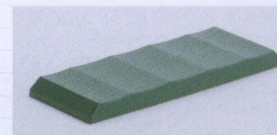
○N-536/JR321系おおさか東線直通快速…弁天堂の行先ステッカーシリーズの新作。TOMIX用・KATO用の2サイズが収録されており、それぞれ「直通快速」の種別幕、「尼崎」「奈良」の行先表示(側面用は経由表示の有無で都合4種)、列車番号表示5種を収録。TOMIX用は207系にも使用可能。女性専用車ステッカーも2輌分入る。 840円

◀おおさか東線直通快速には従来223系が用いられていたが、2011年3月改正から4扉車の207系・321系に変更されている。

HOGARAKADOU

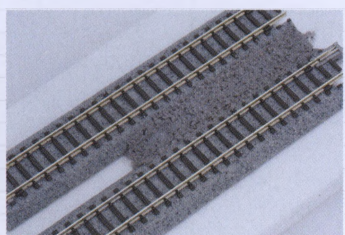
■RMM189号掲載
無蓋コンテナ及びカバー各種

朗堂の新作として、特殊鋼用20ft無蓋コンテナUM14Aと、その鋼材運搬時に被せられるカバーが各種発売された。全て3個入。
◎UM14Aタイプコンテナ
○C-2701…白色無塗装版。実物同様、4個まで積み重ねての積載が可能。 788円
○C-2702～2705…青塗装の大同特殊鋼仕様。側面に入る運送会社名(知多通運・中越通運・名古屋臨海鉄道・MARUTA)の違いで4種が用意される。 各1,995円
◎UM14A用シートカバー(コイル鋼材用)
○P-2701…鋼材輸送時用のシートカバー。線材コイル用の背の高いタイプで、本品は無塗装版(成型色は黄色)。 788円
○P-2702…成型色より若干濃い黄に塗装したもの。標記は入らない。 1,050円
○P-2703～2705…同じく標記入りのタイプ。これも社名により3種(大同特殊鋼・知多通運・MARUTA)を用意。 各1,260円
◎UM14A用シートカバー(バー鋼材用)
○P-2711…こちらもシートカバーだが、バー鋼材用の平たいタイプ。本品は無塗装版(成型色は黄色)。 788円
○P-2712…P-2702同様の黄色に塗装したタイプ。標記は入らない。 1,050円
○P-2713…こちらは濃緑色に塗装したタイプ。同じく標記は入らない。 1,050円

▶C-2701:UM14A無塗装。

▲C-2702:UM14A大同特殊鋼/知多通運。
▲C-2703:同・中越通運。
▲C-2704:同・名古屋臨海鉄道。
▲C-2705:同・MARUTA。
▲P-2702:コイル鋼材用カバー(黄塗装)。
▲P-2703:同・大同特殊鋼ロゴ入。
▲P-2704:同・知多通運ロゴ入。
▲P-2705:同・MARUTAロゴ入。
▲P-2712:バー鋼材用カバー(黄塗装)。
▲P-2713:同・緑塗装。

ホビーセンターカトー

■RMM190号掲載
ペースト状バラスト(ユニトラックタイプ)

あらかじめ硬化剤が練り合わされ、「撒布」ではなく「塗布」するタイプのバラストが登場した。製品はバラスト入りのアクリル塗料といったようなもので、塗布に使った工具は水洗い可能。固着に要する時間は1日程度、保存は密閉状態で約5年間可能とされている。ホビーセンターカトーオリジナル商品としての発売で、バラスト自体は既存の「ユニトラックタイプ」と同じもの。従来バラスト撒布に難渋していた向きには朗報だろう。
○100ml入 840円
○600ml入 3,150円

▲ユニトラック単線線路への使用見本。

◀100ml入の製品状態。異なる色調のリリースも期待したい。

■RMM198号掲載
クリーニング綿棒

レイアウトの「保線」、レールクリーニングに特化した綿棒が2種発売。 各126円
○087HC001/線路クリーニング綿棒…持ちやすい木製柄付きの長めのもの。線路に当たる頭の部分は、繋ぎ目でほつれないよう特殊加工が施されている。2本入。
○087HC002/先端シャープクリーニング綿棒…線路の内側やポイントなど狭い箇所の清掃用に、先端部を尖らせたもの。変形を防ぐため、巻きも一般の綿棒より強い。10本入。

▶右が線路クリーニング綿棒(玉部分の直径は約20mm)、左が先端シャープクリーニング綿棒。

■RMM194号掲載
塗装変更用デカール・ステッカー

細かいロゴ等が増え、塗装だけでは再現しづらい最近の塗装変更車を再現するデカール・ステッカーが2種発売。
○クモヤ145訓練車ステッカーセット…JR東日本八王子支社の訓練センター(新秋津)に常駐するクモヤ145の、黄帯入りの現行塗色を再現するもの。帯以外の塗装は不要のため、GM製品等に貼るだけでよい。3本入(実車は片側面のみ貼付)。 1,000円
○キハ183あそぼーい!デカールセット…この6月にデビューした豊肥本線の特急〈あそぼーい!〉用キハ183系1000番代を再現するもの。マイクロエース製品をベースに塗り替えの上で使用することになろう。ロゴや犬のキャラクター「くろちゃん」の絵柄、車番などフル編成4輌分一式を収録。説明書を兼ねた実車画像CD-Rが付属。 2,000円

クモヤ145訓練車 Nゲージステッカーセット 模型工房たぶれっと
EASTJAPAN RAILWAY COMPANY HACHIOJI Training Center

▲クモヤ145用帯ステッカー。同センターにはオレンジ帯の209系訓練車も常駐している。

◀〈あそぼーい!〉用デカール。貼り込みには根気が要りそうだが、付属CD-Rには貼付作業の画像も含まれるので、参考にしつつじっくり取り組みたい。

■RMM196号掲載
21m級動力ユニット

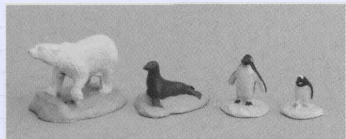
マイクロエースの完成品用動力ユニットが、アフターサービスの一環として分売されることとなった。発売されたのはいずれも21m級で、バリエーションの多い2車種用。1モーターからシャフトを介した両台車駆動で、フライホイール搭載。 各4,200円
○E0001/DT32・黒…485系に対応。黒色のDT32台車を装備、モハ484・485用床下機器パーツと青成型の座席パーツ付。
○E0003/DT22・黒…キハ40(更新車)に対応。黒色のDT22台車、機器部グレー塗装の床下機器パーツ付。室内パーツは座席表現のない赤成型品とされる。

ポポンデッタ

■RMM190号掲載
動物フィギュア

●製造:アイコム

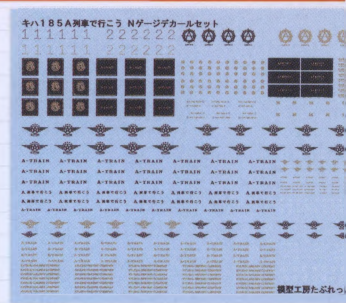
アイコム×ポポンデッタのコラボレーションフィギュア第3弾として、「動物園」をテーマとした動物セットが登場。ジオラマでは動物園のシーンに限らず、イミテーションの設定で使うのもアリだろう。通常のアイコム製品と同じピューター製塗装済。ポポンデッタ各店および同社通販で取扱。 各1,000円
○PO-015/動物園A…ゾウ・パンダ・カンガルー・ゴリラ各1体のセット。
○PO-016/動物園B…キリン・ライオン(雄・雌)・シマウマのセット。
○PO-017/動物園C…シロクマ・オットセイ・ペンギン(×2)のセット。
○PO-018/動物園D…カバ・トラ・アルパカ各1体と、スワンボート1艘のセット。

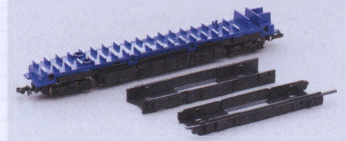
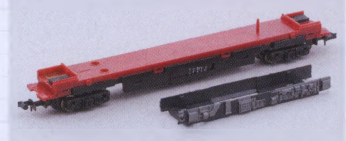
▲PO-015:動物園A。
▲PO-016:動物園B。
▲PO-017:動物園C。
▲PO-018:動物園D。

模型工房たぶれっと

■RMM198号掲載
キハ185 A列車で行こうデカールセット

○MTR050…マイクロエース製キハ185系をベースに、JR九州の特急〈A列車で行こう〉を再現するデカール。実物は2011年10月にデビューしたばかりで、三角線を走り天草諸島への観光ルートの一翼を担う同線初の特急。デカールには細部ロゴや車番のほか、塗り分けの難しい金の細帯も収録。 2,000円

キハ185A列車で行こう Nゲージデカールセット
模型工房たぶれっと

▶各種ロゴ・車番のデカール。かなり微細なものが多く、2輌編成とはいえ貼り込みには根気が要りそう。

▶金帯デカールの一部。ロゴとともに、下地の黒・金色をあらかじめ塗り分けてから貼り付ける。

マイクロエース

▲E0001:DT32・黒。座席パーツのカバー部は白で色入れ済。
▲E0003:DT22・黒。床下カバーは機器部以外ブラックアウトされている。

もけいや松原

■RMM187号掲載
ヘリポートシート

○22-021～22-030…レイアウト・ジオラマの地面表現シート「貼るダケシリーズ」の新作としてヘリポートが登場。ひと口にヘリポートと言っても様々で、大小規模の公共用・非公共用、積雪地用の黄色標示のもの、患者輸送用・ドクターヘリ用、ビル屋上用、増設用の駐機場など全10種が発売された。いずれもA4サイズ紙製。細部標示追加用の「ヘリポート追加標示シート」も本年下半期に発売予定。

各210円

▲食玩などの近似スケールのヘリがよく似合う。 P:もけいや松原

◀写真は代表で22-021、大規模公共用を示す。

■RMM188号掲載
滑走路シート各種

道路・地面表現用ペーパーシート「貼るダケシリーズ」の新作。今回のテーマは「滑走路」で、市販飛行機モデルに合わせたサイズ分けがなされている。鉄道模型との併用なら1:144がN用に使えるほか、スケールを問わず遠景として使う手も考えられる。いずれもA4サイズ。追って「追加標示シート」も発売予定。

各210円

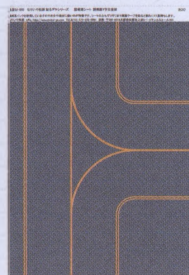
○22-031～22-040…1:144／1:200モデルの配置を想定したもの。幅狭（1:144で約30m幅）・幅広（同じく約45m幅）の2種あり、それぞれ通常の滑走路、末端標識、過走帯標識、接地帯標識、主接地帯標識の5種ずつを用意。適宜組み合わせて使用する。

○22-061～22-070…1:400／1:500モデルを想定した小型のもの。1:144／1:200版と同様のバリエーションに加え、積雪地域用の黄色標示、滑走路中央標識も用意されている。

▲22-033：滑走路末端標識（幅狭タイプ）の使用見本（飛行機は別売）。 P:もけいや松原

◀同製品の製品状態。横断歩道状の標示が滑走路の末端、数字が方位を示す。

■RMM189号掲載
空港誘導路シート各種

○22-041～050・22-071～080…先月紹介の「滑走路シート」に続き、空港シーンの拡張に対応した「誘導路シート」が発売。基本となる直線・曲線の誘導路シートのほか、誘導路同士のT字交差部、誘導路から滑走路への進入部といった各種標示がA4サイズの紙に印刷されている。滑走路同様、1:144・1:200用、1:400・1:500用（小型）に大別され、前者はさらに空港の規模の違いに対応して幅広・幅狭が存在。全体では20種のラインナップとなっている。

各210円

◀22-050：誘導路T字交差部。使用法など詳細は同社HP（http://home-page3.nifty.com/mokei-ya/）も参照されたい。

■RMM190号掲載
空港駐機場シート各種

○22-051～060・22-081～090…路面表現用ペーパーシート「貼るダケシリーズ」の新作。滑走路、誘導路に続く空港モノとして「駐機場」が各種発売された。市販飛行機モデルに合わせ、1:144・1:200モデル向け、1:400・1:500モデル向け（小型）の2種が用意されるのは今回も同様で、コンクリート舗装のエプロン部、誘導路と接続する分岐部・直線部などをラインナップ。一部アイテムはアスファルト・コンクリート舗装の双方があり、1:144・1:200版には大阪・八尾空港をモデルとした小型～中型機用の駐機部もラインナップされている。

各210円

▶22-055：駐機部（舗装タイプ）。

◀22-086：駐機場分岐部。

▲市販飛行機モデルとの組み合わせ見本。 P:もけいや松原

■RMM191号掲載
白色LED電柱灯B

○18-054…もけいや松原の「光るダケシリーズ」新製品。NサイズのLED点灯式街灯の第4弾で、以前発売されたGM製品ベースの電柱灯に対し、KATOの「ジオタウン」用電柱をベースとしたものだ。110mm余りと背が高めのため、街中でも存在感を発揮するだろう。ベース製品のモールドにより3種（トランスの有無など）あり、各1本ずつの3本入。ランプは白色チップLEDにより明るく点灯する。配線時は別売アダプターユニット（1,050円）が便利。

4,200円

▲製品に含まれる3本の電柱と、点灯時の様子（左下）。これだけ形態を崩さず点灯化を実現しているのは魅力的だ。 P:もけいや松原

■RMM192号掲載
貼るダケシリーズ
駅前ロータリーシート

○22-091～22-095…このところ「空港モノ」が続いたもけいや松原の地面表現シート「貼るダケシリーズ」だが、今月の新アイテムは「駅前」。既存の「駅前ターミナルシート」より小規模（バスターミナルが付属せず、バス停が1～2ヶ所）な駅前ロータリーで、1シート（ほぼA4判）に2点ずつ（標示等に差異あり）印刷。その割り方によって横型（ほぼA5判）・縦型（短冊状の細長い長方形）・変形（三角形）の3タイプに分かれ、さらにバス停・タクシー乗り場の数や配置の差で計5種（1枚に2種収録のため都合10種）が用意される。グレードアップ用の追加標示シートも秋ごろまでには発売予定。

各210円

▶22-093：縦形タクシー待機所つき仕様。

◀22-095：変形仕様。

▲「陸上トラック」へのフィギュア配置見本。駅や街中とはまた違った「動き」の演出が可能だ。 P:もけいや松原

■RMM193号掲載
貼るダケシリーズ「グランドシート」

Nゲージ用地面表現ペーパー「貼るダケシリーズ」の新作。各種スポーツのコート・トラック等のシートで、A4サイズに1面または2面入った手頃なサイズ。公園や河川敷、校庭など、使用できるシーンは様々だ。

○22-101／硬式テニスコート…実物換算24×11mの硬式用コート。2面入。

○22-102／ソフトテニスコート…同じく、ラインの引き方の異なる軟式用コート。

○22-103／小型フットサルコート…実物では最小規模の25×15mのコート。2面入。

○22-104／大型フットサルコート…国際試合対応の40×25mの全天候型コート。

○22-105／バレーボールコート…6人制の国際規格18×9mの全天候型コート。2面入。

○22-106／陸上トラック…トラック部が赤色舗装されたグラウンド。1周90m相当。

○22-107／舗装グランド…同じくトラックを印刷したグラウンド。こちらはトラックまで全体が緑で、直線コースが斜めに入る。

○22-108／ソフトボール場（内野部のみ）…一般的な芝生のソフトボール場。芝生での整地がされない場合が多い外野部は含まず。

各210円

▲22-101：硬式テニスコート。

▲22-103：小型フットサルコート。

▲22-106：陸上トラック。

■RMM194号掲載
貼るダケシリーズ　プール

○22-111～22-118…地面表現用シート「貼るダケシリーズ」の新作。前回のスポーツ施設各種に続き、夏らしい「プール」がリリースされた。A4ペーパーにプールサイドとプール底が印刷されており、プール底の部分を切り抜いて周囲を嵩上げ、プラ板などで水面を作るとリアルになる。25mプール2面が入るもの、25m1面と小児用プール2面のもの、大型の流れるプールと小児用1面を収めたものがあり、それぞれ公営風・民営風・レジャー施設風など色調・形態違いを用意して全8種をラインナップ。

各210円

▲22-111：学校用25mプールの使用見本（プールサイドの嵩上げや水面表現を追加したもの）。 P:もけいや松原

▶22-118：レジャー施設風流れるプール&小児用プール。

◀22-114：民営風25mプール&小児用プール。

■RMM195号掲載
電飾用機器各種

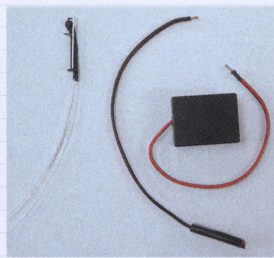
もけいや松原のLED照明関連製品「光るダケシリーズ」に2種の新アイテム。
○10-007B／スイッチ付給電用ACアダプターII…同社製電飾キットはパワーパックからの給電を基本とするが、対応するパワーパックがない場合などに、家庭用コンセントから給電するためのACアダプターが発売。出力12V／1A、ON／OFFスイッチ付。付属の端子ボックスには同社製各種ユニットを13個まで接続可。 2,520円
○12-051トミーテック電飾キット用アダプターユニット…「ジオコレ」の電飾キットを、乾電池でなくパワーパック、線路、ACアダプター等の外部電源で点灯させるアダプターコード。TOMIX・KATO製パワーパック、線路への接続にも対応。 525円

▲10-007B：スイッチ付給電用ACアダプターII。

▲12-051：トミーテック電飾キット用アダプターユニット。

▲今回の2製品を使い、コンセント給電で電飾キットを点灯させた様子。 P(すべて)：もけいや松原

■RMM196号掲載
中継信号機セットII

○13-015B…「光るダケシリーズ」で以前から発売されていたLED点灯式中継信号機がリニューアル。変更点は、従来は進行現示のみの点灯だったものが、パワーパックの進行方向切替に応じて進行（縦一列点灯）・停止（横一列点灯）と切り替わるようになった点。信号機（加工済）・LEDユニット・給電ケーブルのセットで、電源（同社製ACアダプター、TOMIX・KATO製パワーパック等）を用意すればすぐレイアウトに組み込める。 2,980円

◀セット内容。左が信号機本体、右がLEDユニットとケーブル。信号機から伸びる光ファイバーをLEDユニットに接続して導光する。

▲横一列の「停止」現示。

▲縦一列の「進行」現示。 P(すべて)：もけいや松原

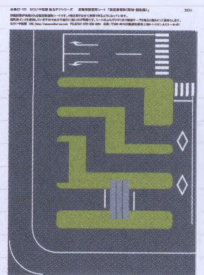
■RMM197掲載
電球色LED電灯

○18-055…LEDによる光の演出をシステマティックに展開する「光るダケシリーズ」の新作。木の電柱から傘付きの白熱電球を下げた古風な街灯で、LEDをクリアオレンジで着色し電球色としている。完成品でリード線も取付済だがコネクター等は付かないので、同社製各種ケーブルとの接続にはアダプターユニットを使用する。1本入。 1,575円

▲点灯状態。郷愁を誘う電球色は、昭和ノスタルジーの香り満点。 P(2点共)：もけいや松原

◀リード線取付済の製品状態。

■RMM198号掲載
貼るダケシリーズ「自動車教習所」

○22-121～130…ペーパー製地面表現シートの新作。教習所の技能教習用コースを再現するもので、広いスペースを要するため数枚に分割（各A4サイズ）しての発売。実物の規模の違いにより、指定教習所（公安指定の一般的な教習所。製品は4～5枚構成）、届出教習所（敷地面積など設置場の制約が少ない代わり、卒業後には試験場での技能試験が必要。3枚構成）、指定外教習所（正式な教習所ではなくいわゆる練習場。2枚構成）の3種を用意、シートは計10種。 各210円

◀22-121：「指定教習所（踏切・屈折路）」。指定教習所は全5枚（1枚は二輪車コース＋駐車場で新設置可）で構成。

▲「指定教習所」シート各種の配置見本（シート以外は別売）。標識や植え込みなど、作り込んで立体的に仕上げるとより楽しいだろう。もちろん「教習車」も！ P：もけいや松原

レールクラフト阿波座

■RMM188号掲載
近鉄・京都市交 平城遷都1300年記念ラッピングデカール

2010年の平城遷都1300年祭にあわせて施された各種ラッピングがデカール化。いずれも特製完成品（受注生産）も用意される。
○RCA-D06／近鉄9830F用…GM製9820系に対応。奈良の風景写真やマスコットキャラ「せんとくん」イラストなど6輌分一式が含まれる。専用車番インレタ（945円）も用意。 7,770円 特製完成品59,800円
○RCA-D07／京都市交通局10系用…阿波座製キット（1.2次車）に対応。平城京大極殿の線画や仏像・寺院の写真など6輌分一式。7,770円 特製完成品189,800円
○RCA-D08／奈良交通バス用…バスコレ15弾の阪急バス・広島バスに対応。デカールの他、後輪カバーのエッチングパーツも付属。 1,680円 特製完成品3,980円

▲近鉄シリーズ21平城遷都1300年祭ラッピング電車デカール貼付見本。

▲京都市交10系平城遷都1300年祭ラッピング電車デカール貼付見本。

▲バス用の後輪カバーパーツ。

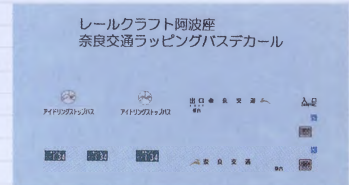
▲RCA-D08：奈良交通バス用デカール貼付見本（厳密には実車と型式が異なる）。

▲RCA-D07：京都市交10系用の大極殿イラスト。

▲同じく京都市交用の各種ラッピング・車番など。

2010年 平城遷都1300年祭ラッピングバスデカール 奈良交通株式会社商品化許諾済

◀バス用のラッピングデカール。

レールクラフト阿波座 奈良交通ラッピングバスデカール

▲バス用の前面エンブレムやナンバー、社名標記など。

rca rail craft awazo RCA-000 非売品 奈良交通『せんとくんバス』方向幕

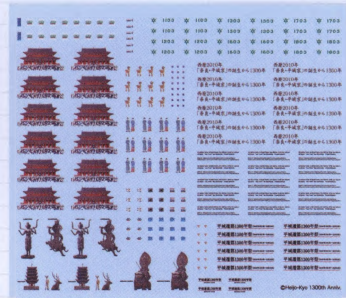
▲バス用の行先方向幕。これはステッカー。

2010年 平城遷都1300年祭ラッピング電車デカール 近畿日本鉄道株式会社商品化許諾済

▲RCA-D06：近鉄9380F用のうち先頭車用の「せんとくん」デカール（規定によりスケールサイズより多少大きい）。

1両目・6両目

▲同じく近鉄先頭車用の帯デカール。

平城遷都1300年祭 ラッピング電車 レールクラフト阿波座 近畿日本鉄道株式会社商品化許諾済 春車両 2両目

▲近鉄中間車用の風景写真デカール。これは2輌目の「春」をテーマとしたもの。

RMM195号掲載
阪急6300系改造パーツほか

住み慣れた京都線を離れ、4連化のうえ嵐山線で活躍を始めた阪急6300系。同車に関連して加工用パーツが各種発売。

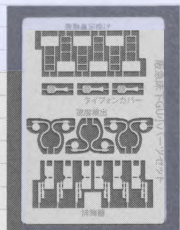
○RCA-013／阪急6300系嵐山線仕様改造パーツセット…KATO製品をベースに嵐山線仕様化するパーツセット。エッチング主体で、大窓化された客扉は内張りが設けられ、塗装・磨き出し後に接着可能。追設された小窓の窓開け治具や車内・車外の各種ディテールパーツも収録、車番・社紋インレタや各種ステッカーも付属する。9,450円

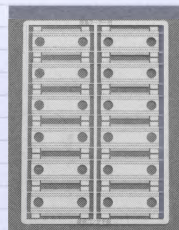
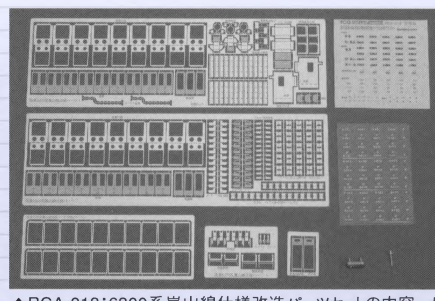
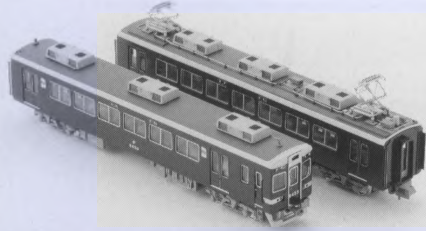
○RCA-P021／阪急用先頭車床下機器パーツセット…上記セットから、汎用性の高い乗務員足掛け、タイホンカバー、速度検出器、排障器を抜き出したもの。3輌分。630円

○RCA-P022／阪急用3基クーラー（原形）パーツセット…6300系等に載るクーラーの細密パーツ。本体はホワイトメタル、ファン・メッシュは洋白エッチング製。取付脚はGM完成品に適合。4輌分。2,625円

○RCA-P023／阪急用3基クーラー（原形）吊り下げフックパーツ…上記クーラー用のフック。キセ側面のザグリ穴をϕ0.3ドリルで拡げて取り付ける。4輌分。525円

○RCA-P024／阪急電車用3基クーラー（原形）取付台座パーツ…KATO製品に上記クーラーを付ける際、元のクーラー切除後の穴埋め・取付位置決めを同時に行なえるパーツ。4輌分。630円

▲RCA-P022：3基クーラー（原形）のセット内容。

▲RCA-P021：先頭車床下機器のセット内容。

▲RCA-P023：クーラー用フックパーツ。

▲RCA-P024：クーラー取付台座パーツ。

▲RCA-013：6300系嵐山線仕様改造パーツセットの内容。セミクロス化されたシート用のパーツも収録。一部部品にはホワイトメタルを使用している。

▲今回掲載の各パーツを使用した6300系嵐山線仕様の完成見本。特製完成品（4輌セット98,000円）も用意される。

RMM196号掲載
南海6100系用ステッカー

マイクロエース製南海6100系に対応した方向幕ステッカーが3種発売された。いずれも方向幕は前面・側面共通で6輌分＋α。高野線用女性専用車シール、弱冷車・優先席表示、車椅子マークも含む。各840円

○RCA-S11／特急・快急・区急編…特急6種・快急7種の行先、臨時・回送幕を収録。

○RCA-S12／急行・準急編…急行5種・準急10種の行先表示を収録。

○RCA-S13／各停編…黒地の各駅停車の方向幕14種を収録。

▶RCA-S11：特急・快急・区急編。他2種もほぼ同様のレイアウトで、14～15種の幕が含まれる。

RMM197号掲載
近鉄ラッピング電車用デカール2種

阿波座から、近鉄のラッピング電車を再現するデカール4アイテムが新発売。

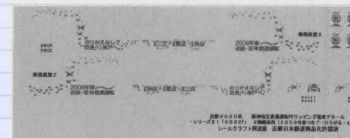
○RCA-D10a・D10b／近鉄9020系阪神相互直通運転PRラッピング電車デカール…阪神なんば線との相互乗り入れ開始前、PR用に施されたラッピング。品番D10aとD10bでは一部の文字（D10aは貼付当初、D10bは開業日が決定し書換後のもの）が異なり、またそれぞれ異なる車番インレタ（D10aは9032F、D10bは9033F）が付属する。ベースはGM製を指定。各3,360円

○RCA-D09a・D09b／近鉄3220系KYOTO～NARAラッピング電車デカール…京都市交烏丸線直通急行の登場を記念し、2000～2011年まで施されていたもの。こちらも種車はGM製を指定（下枠交差パンタ化が必要）。地色の緑・ピンクは各自調色する。こちらも車番インレタ（D09aは3122F、D09bは3123F）付属。各5,040円

▲3122F用ラッピングデカール（先頭車用、赤系）。

▲3122F用ラッピングデカール（先頭車用、緑系）。

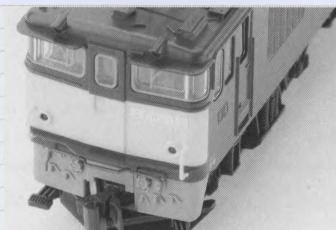
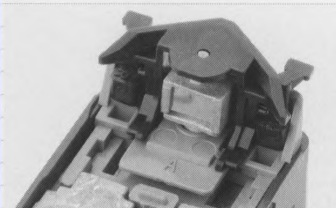
▲9032F用ラッピングデカール（貼付当初の仕様）。

▲3220系KYOTO～NARAラッピングの完成見本。絵柄が映えるよう、下地色の調色は慎重に行ないたい。特製完成品（65,000円）も用意。

▲9020系阪神相互直通PRラッピングの完成見本。奥が貼付当初、手前が書換後のもので、腰板に書かれた文字が異なっている。特製完成品は19,800円（T）、23,000円（M）。

イエロートレイン

RMM192号掲載
カプラーアダプター（機関車用）

○MP301…TOMIX製電気機関車にKATO製ナックルカプラーを取り付けるためのアダプター。2ピース構成で、上側のパーツのボスをカプラー根元の穴に通し、挟み込んで固定する。復元用の板バネは別途KATO製を用意、4.9mm幅に調整のうえ組み込む。近年のTOMIX製機関車には無加工で取付可能で、カプラーを統一したい向きには嬉しい製品だろう。2組入。840円

▲部品状態（ナックルカプラーと板バネは別売）。

▲EF64への取付見本。

▲スカート裏から見る。機関車側には特に加工の必要はない。

RMM198号掲載
カプラーアダプターディーゼル機関車用

○MP701／TOMIX製機関車にKATO製ナックルカプラーを付けるためのアダプターパーツで、前回発売の電気機関車用に続き、ディーゼル機関車用が発売となった。

材質も同じくロスト製で、カプラーをはさんで組み立てた後、カプラーポケットに装着する仕組み。DD51やDE10などに対応。2組入り。840円

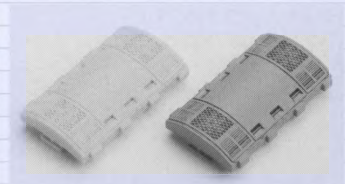
▲DD51への取付見本。カプラーを統一したい向きには重宝するパーツだろう。

◀2ピース一組のパーツ状態。

▲元製品の構造を利用し、無理なくカプラーを交換することが可能。

α-model

RMM197号掲載
AU75H（プレスルーバー・フック広）

○185…国鉄の代表的なクーラーのひとつ、AU75。α-modelではメーカー・製造時期により変化のある同形を各種製品化しているが、今回新たに1種が登場、AU75H（日立製）が4種揃った。今回の製品は四角メッシュのファンを持つHタイプのうち、ファン脇のルーバーがプレス製で、肩部のフックが幅広のもの。取付脚・ツメはKATO用・TOMIX用ともモールド、取付対象によりユーザー側で切り取って使用する。4個入。735円

▲左が製品状態、右は塗装・スミ入れを施したもの。肩部のフックとルーバーがポイント。

エコーテック

RMM198号掲載
超音波カッターZO-40

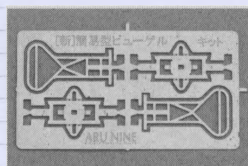
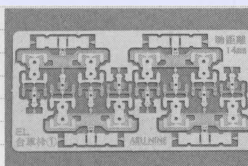
●製造：本多電子

RMM197号でも紹介した、超音波の振動により対象物を切断できる「超音波カッター」に、さらに模型用として改良が加わった新製品が登場した。主な改良として、プラスティックの切断時に盛り上がりが出る（溶けたプラによるもの）のが、振動モードの変更により少なくなるようになり、さらに出力は同等ながらも、刃先の横方向のブレが抑えられてより作業性が向上したことがあげられる。その他本体サイズもコンパクトになり、コードもカール仕様からストレートに変更されるなど、ユーザーの意見による細かな改良も施されているのが嬉しい。多くの作業をこなすモデラー諸氏の、大いなる手助けアイテムとなるであろう。白・黒2色あり。各38,640円

▲よりコンパクトに、かつ使いやすくなったニューモデルが登場。無彩色でまとめた外観もクールだ。

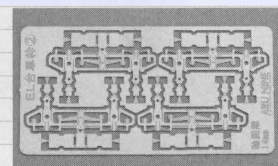
P：エコーテック

アルナイン／アルモデル

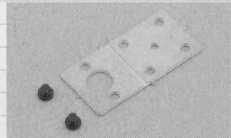
■RMM188号掲載
台車枠・ビューゲル
アルモデルから、台車枠・ビューゲルパーツが各種発売。HOナロー用としても使用できる。
○EL台車枠1…バンダイ製Bトレ用動力ユニットに対応した台車側枠パーツ。「1」はゴツい板台枠仕様。「とて簡」シリーズのグレードアップに。1輌分。 500円
○EL台車枠2…同じく、華奢な棒台枠仕様。2種とも真鍮エッチング。1輌分。 500円
○新・簡易型ビューゲルキット…真鍮エッチング製のビューゲル。同社製HO用同様の構造を採り、以前のN用ではできなかった折り畳みが可能になった。2個入。 300円

▲新・簡易型ビューゲルキット。

▲EL台車枠1(板台枠)。

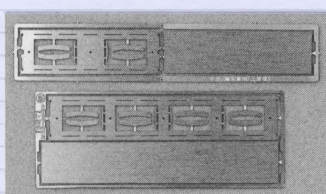
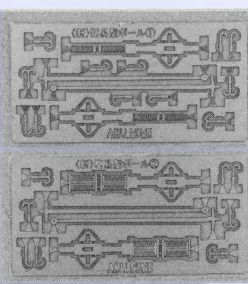
▲EL台車枠2(棒台枠)。

■RMM192号掲載
砲弾型ヘッドライト
○砲弾型ヘッドライト(小型)…全長4mm弱、直径約1.5mmの小さな砲弾型ヘッドライト。シールドビームを模して2灯並べての配置など、汎用的に使えそうだ。ホワイトメタル製、4個入。 300円

◀極小の流線型ライト。使い方次第ではZなどにも使えるかも?

■RMM192号掲載
アルモーター
○アルモーターRS-0811S／W…小型車などの動力化に便利なミニモーター。外形寸法はw10×d11×h8mmと、従来から同社製小型動力に使用のものよりさらに小型化。ケースは黒となり車内に置いても目立たない。定格電圧は9V(12V程度まで使用可能)となった。「S」が片軸(軸径1.0、軸長7.0mm)、「W」が両軸(軸長8.2mm)で、ウォームギアは別売。
RS-0811S:900円 RS-0811W:950円
○RS-0811(S、W)用取付板…上記モーター用の取付板(真鍮エッチング製)。1枚入、M1.4×1.5ネジ2本付。 200円

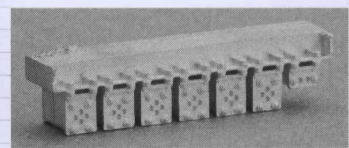
▲アルモーターRS-0811W(両軸)。

▲アルモーターRS-0811S(片軸)。

▲RS-0811S／W用取付板。

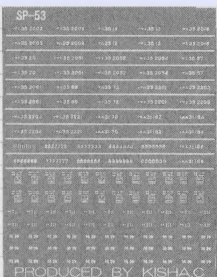
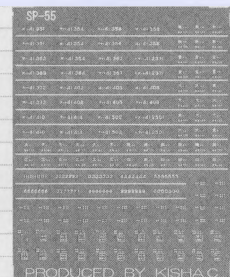
■RMM193号掲載
とて簡パーツ各種
「京都風デト」などの同社製キット対応のエッチングパーツが発売。
○[新]簡易型ポール①キット…従来から発売されている簡易ポールキットの上級版。従来ポール部分と一体だったスプリングが台座側に付き、細密感が増すとともに、より見慣れたポールの姿に近づいている。従来同様昇降が可能で、2本入。①はスプリング1本のタイプ。 300円
○[新]簡易型ポール②キット…こちらはスプリングが2本のタイプ。2本入。 300円
○デワ用『更新妻板』…「とても簡単なデワ」の交換用妻板。福井鉄道デキ11のようなノーシル・ノーヘッダーの鋼板張り、Hゴム支持3枚窓のデザイン。1輌分入。 300円
○木造2軸客車用『上屋根』…「とても簡単な木造2軸客車」をダブルルーフ化するためのモニター屋根。1輌分入。 300円
○木造ボギー客車用『上屋根』…同じく「〜木造ボギー客車」用。2軸用とも羽目板張りの妻板が付属。1輌分入。 300円

▲上屋根2種。上が2軸客車、下がボギー客車用。折曲はユーザーが行なう。

◀[新]簡易型ポールキット。上がスプリング1本、下が2本のタイプ。

▶デワ用「更新妻板」。いかにも戦後の更新らしい飾り気のない面構えだ。

モリタ

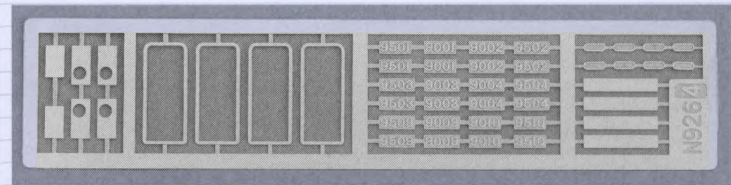
■RMM188号掲載
旧型国電用主抵抗器
○248／旧型国電用主抵抗器B…以前発売された戦前型に続き、73系や80系など戦後型旧国用の主抵抗器がモリタから発売。材質は前回同様ピューターで、取付脚やガイシまで精密に成型。目立つパーツだけに、キットのディテールアップなどには効果を発揮しよう。2個入。 336円

▲繊細なモールドの抵抗器。色差しやスミ入れで存在感を出してやりたい。

キシャ会社

■RMM191号掲載
客車用インレタ
キシャ会社から旧客用インレタが3種発売。それぞれ既存車の改造で造られた形式だ。いずれも白文字。 各893円
○SP-53／マニ35用(スハニ31・32・35改造車)…マニ35中、表題に示すグループの車番インレタ。荷物、検査、換算の各標記も併せて収録。
○SP-54／マニ36用(オロ35/36/スハニ35改造車)…ほぼ同構成のマニ36用。SP-53とも、組み合わせる所属標記は既存の同社製No.25・29・30を推奨。
○SP-55／オハ41用(スロ51・52改造車)…通勤輸送用にロングシート化されたオハ41のナンバー。検査標記の他、一般車と定員が異なるため主要所属標記も収録。

▶SP-53:マニ35(スハニ31・32・35改造車)用。

◀SP-55:オハ41(スロ51・52改造車)用。

工芸社

■RMM194号掲載
南海6300・6100・9000系ナンバー
工芸社から南海ステンレス車用ナンバーが各種発売。いずれも洋白エッチングで、塗装後の磨き出しでリアルな金属感が得られる。同社通販のみでの発売。
○6100系ナンバー(A〜D)…マイクロエース製6100系用。Aが6125F＋6131F、Bが6127F＋6145F、Cが6105F、Dが6111Fの車番(いずれも6輌分)。 各1,500円
○6300系ナンバー(A〜D)…6100系の台車交換車6300系用。Aが6321F＋6333F、Bが6322F＋6336F、Cが6311F、Dが6312Fの車番を収録(各6輌分)。 各1,500円
○9000系ナンバー(4輌用・6輌用)…工芸社でキットを発売中の9000系用。4輌用が9501F・9503F・9509F、6輌用が9511F・9513F。車番以外にも幌枠等のパーツが含まれる。 各2,000円

▲6100系ナンバー(A)。

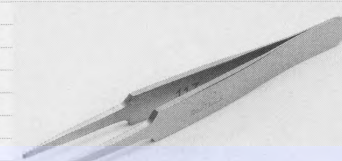
▲6300系ナンバー(B)。

▲9000系ナンバー(4輌用)。

タミヤ

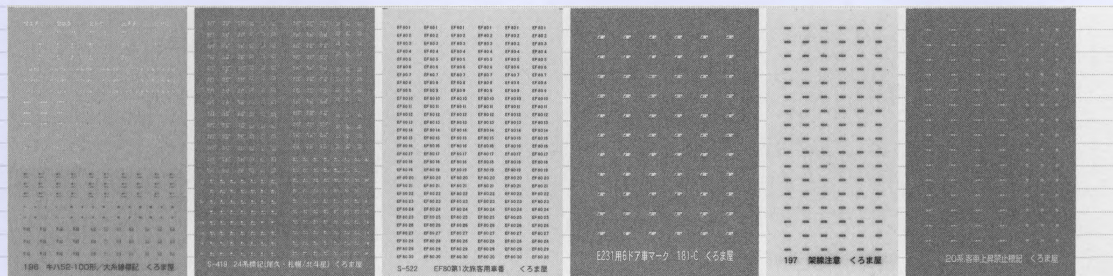
■RMM188号掲載
『タミヤカタログ2011(スケールモデル版)』
●255×260mm・85頁・1,260円
自動車・飛行機・艦船などのスケールモデルをはじめ、現行のタミヤ製品を網羅した最新版カタログ。多くの製品が鮮明なカラー写真入りで紹介され、眺めるだけでも楽しい。鉄道模型においても、工具や接着剤のラインナップ、塗料のカラーチャートなどが一望できるのは大いに役立つだろうし、他ジャンルの製品からモデリングのヒントを探してみるのも面白い。

■RMM197号掲載
モデラーズナイフ、精密ピンセット
2011年12月上旬〜中旬発売の、タミヤ製ツールのニューアイテム。
○モデラーズナイフ(蛍光ピンク)…従来からあるモデラーズナイフの色違いで、グリップを蛍光ピンク成型としたもの。色以外は従来品同様。キャップ、使用済刃収納ケース、替刃25枚付。12月10日発売。 777円
○精密ピンセット(先丸)…ステンレス製の精密ピンセット。ものを掴む先端部分をR1.5に丸めることで、パーツ等にキズを付けにくくするとともに先端部の強度を向上させている。鶴首タイプ、ストレートタイプの2種が発売される。12月17日発売。 各1,260円

▲モデラーズナイフ(蛍光ピンク)。これまでの黒色グリップに加えて、予備に持っておけば気分転換(?)にも役立つかも?

▲精密ピンセット(先丸)ストレートタイプ。細くて少々わかりづらいが、先端部が丸く整形されている。

▲精密ピンセット(先丸)鶴首タイプ。こちらも先端が丸めてある。 P(すべて):タミヤ

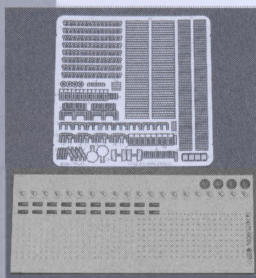
くろま屋

■RMM188号掲載
インレタ各種
くろま屋から、バラエティ豊かな新作インレタが6種発売された。
○196／キハ52 100/大糸線標記…大糸線で最近まで活躍したキハ52用の各種標記。車番（115、125、150）のほか所属、形式、検査、エンド標記など一式。白文字に加え、大糸線色用の赤文字標記も収録。 840円
○197／架線柱意インレタ…汎用的に使える「架線柱意」標記の4色刷インレタ。精細で文字も判読できる。102点入。 1,050円
○198／20系客車上昇禁止標記…20系の妻面に入る黄色1号の標記。「上昇禁止」を60点、「危」を45点収録。 525円
○181-C／E231用6ドア車マーク…サハE230の扉上に入る「6DOORS」マーク。他系列にも応用できよう。66点入。 630円
○S-419／24系標記（尾久・札幌/北斗星）…〈北斗星〉用24系の妻面標記。所属・形式・検査など一式を収録。白文字。 735円
○S-522／EF80第1次旅客用車番…前灯が埋込式の1次型EF80のうち、旅客用の1～30号機全機の車番を収めたもの。メタリック銀文字、各6点。 735円

▲196：キハ52 100/大糸線標記。
▲S-419：24系標記（尾久・札幌/北斗星）。
▲S-522：EF80第1次旅客用車番。
▲181-C：E231用6ドア車マーク。
▲197：架線柱意インレタ。
▲198：20系客車上昇禁止標記。

■RMM198号掲載
50系用Hゴムインレタ
○206／オハ50・オハフ50 方向幕準備窓/臭気窓Hゴム…TOMIX製50系で車体一体表現となっている方向幕準備窓、臭気抜き窓のHゴムにグレーを入れるインレタ。臭気抜き窓28点、方向幕窓56点入。使い方によって50系以外にも流用できそう。 525円

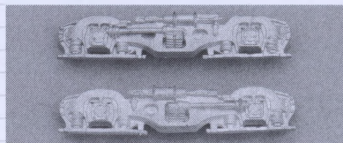
◀赤い車体によく目立つグレーのHゴムは、手軽で効果の高い色入れポイント。長編成で数が多い場合など、スッキリ仕上げられるインレタはありがたい存在。

湘南電車／ジル

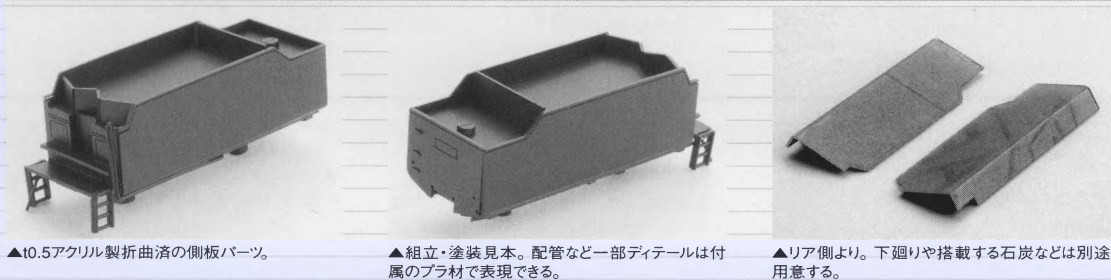
■RMM193号掲載
201系・小田急5000/5200形用グレードアップパーツセット
キハ82・181系用に続く、細密化用エッチングパーツ＋シルクスクリーンデカールがセットになった製品。両者とも実車の「さよなら運転」の再現に対応しているのも特徴。
○STM-TFP013／小田急5000/5200形用グレードアップパーツセット…パーツは手スリやワイパー、ライトリムと先頭車用を中心に、靴ズリなども収録。デカールは新ロゴマークやドアステッカーを中心に、10輌最終運行時のヘッドマークや方向幕も含まれている。
○STM-TFP014／201系用グレードアップパーツセット…こちらも先頭車用を中心に、手スリや靴ズリ、ワイパー、ルーバーといった基本的なディテール、中央線の種別表示器などを収録。デカールは松本まで足を伸ばした中央線車さよなら運転に対応したもの。 各1,890円

▶201系用パーツセットの内容。靴ズリなどは数が多いだけに、均一な貼付には神経を遣いそうだ。

◀小田急5000/5200形用パーツセットの内容。エッチングパーツにはヘッドマークベースも入っている。

モデルワム／オレンジベージュ企画

■RMM193号掲載
東武5700系用台車枠（FS106）
○NTR-010…往年の東武特急車、5700系が履いたゲルリッツ式台車・FS106。今回発売となった台車枠は2009年発売の「鉄コレ」事業者限定品用で、同製品に動力ユニット用台車枠が付属しなかったのを補完するもの。真鍮ロスト製で、鉄コレ用動力ユニット「TM-13」適合として取付ピンを成型。差込（個体差によっては要微調整）で取付が可能である。未塗装、1輛分入。 1,260円

▲鉄コレ純正のT台車と並べて違和感ないディテールを備える。

天賞堂

■RMM196号掲載
『Tenshodo Book 2000-2010』
●A4横開き判・112頁・6,930円
2009年をもって模型部創業60周年を迎えた天賞堂から、2000～2010年、11年間に発売された新製品を1冊にまとめた記念誌が出版された。創業から50年間を扱った『Tenshodo Book 1949-1999』に続くもので、それに比べ収録年代は5分の1ながら、プラスティック・ダイキャスト素材やカンタムサウンドの採用、N・Zゲージへの進出など、従来からの高級志向にとどまらない多様な製品群を展開した11年だけあり、そのボリュームはかなりのもの。各製品とも美しいカラー写真で紹介、価格等を含む製品リストも付され、カタログとしても役立つだろう。

南洋物産

▲t0.5アクリル製折曲済の側板パーツ。

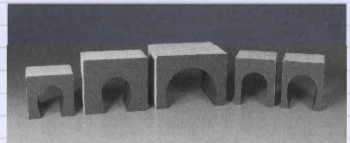
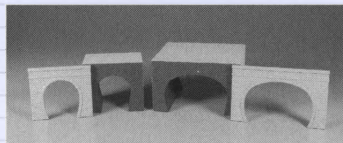
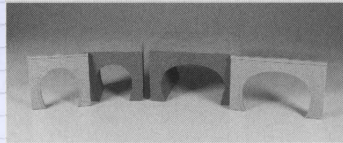
▲組立・塗装見本。配管など一部ディテールは付属のプラ材で表現できる。

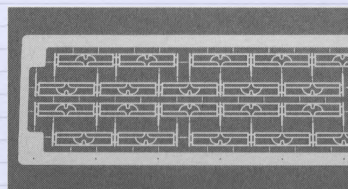
▲リア側より。下廻りや搭載する石炭などは別途用意する。

■RMM194号掲載
D51（DT650）戦時型船底テンダー
戦時型D51に使用された船底テンダーが発売。南洋物産得意のアクリルを主体とした本キットは、元は台湾向けの同型機DT650用に作られたもので、あくまで各自アレンジの上で組む「素材」という位置付け。t0.5・1.0のアクリルパーツのほか、ディテール用のプラ材なども付属。台車（TR41）、連結器、解放テコ、ブレーキシリンダー、後部ステップは別途購入となる。「各自工夫」の要素の強いキットで、どう利用するかは作者の腕の見せ所だ。 2,625円

モーリン

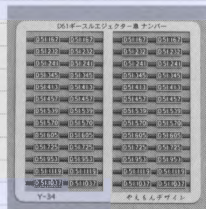
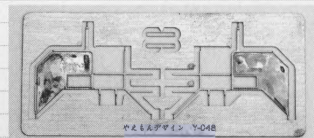
■RMM189号掲載
トンネルライナー
トンネルポータル部はレイアウトでも見せ場のひとつとなるが、その裏側を固める素材が発売された。素材はスタイロフォームで、直方体をポータル開口部に合わせて切り欠いた形状。ポータルの裏に設置することで、外から見える断面形状も整い、内部は黒塗装済なので「暗さ」も表現できるというわけ。市販ポータルに対応した5種類、各2個入（TL-13のみ1個入）。奥行きはTL-13のみ89mm、他は50mm。
○TL-11／GM非電化用…グリーンマックス製単線ポータル（非電化）用。 840円
○TL-12／GM電化用…同じく単線ポータル（電化）用。 945円
○TL-13／GM複線用…同じく複線ポータル（電化）用。 840円
○TL-21／TOMYTEC直用…ジオコレ情景小物のポータル（直線）用。 840円
○TL-22／TOMYTEC曲用…同じく曲線用に対応。 840円

■RMM193号掲載
トンネルライナー
トンネルポータル内側に設置することで断面形状を整え、内部構造を隠すことのできるスタイロフォーム製部品「トンネルライナー」。既存の各メーカー用に加え、津川洋行のポータルに合わせたものが発売された。
○TL-31／TGW単線用…品番LA-33（石積）に対応。w78×d50×h68mm。2個入。
○TL-32／TGWレンガ単線用…品番LA-88に対応。w76×d50×h70mm。2個入。
○TL-33／TGW複線用…品番LA34（石積）に対応。w117×d100×h71mm。1個入。
○TL-34／TGWレンガ複線用…品番LA116に対応。w115×d100×h69mm。1個入。 各945円

▲左からTL11～13、21、22。スタイロフォーム製のため軽量で強度も充分。手軽に使えるアイテムだ。 P：モーリン

▲石積ポータルに対応した2製品。左からTL-31、33。ポータルは別売り。

▲レンガ積ポータルに対応した2製品。左からTL-32、34。 P（2点共）：モーリン

■RMM197号掲載
ガードパイプA
○P1001…モーリンから、Nサイズの情景用アクセサリー「ガードパイプ」が登場。いわゆるガードレールのパイプ製のもので、都道に見られるイチョウをかたどったタイプを製品化している。ステンレスエッチング（t0.15）製未塗装、取付脚は約20mm間隔（ランナーは取付穴開け用テンプレートも兼ねる）。都バスの走る道に似合いの小道具だ。 1,995円

▲自作には面倒な形だけに、道路廻りのディテールにこだわる向きには朗報だろう。下側のランナーにある小穴は、取付時の穴開けガイドとなるもの。

やえもんデザイン

■RMM189号掲載
D51など蒸機パーツ各種

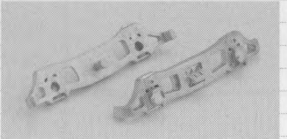
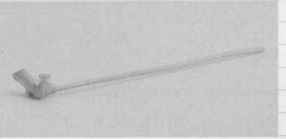
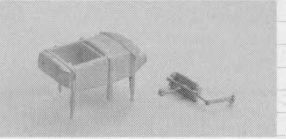
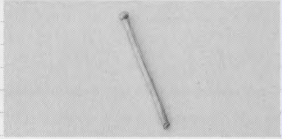
ラインナップ拡大中のやえもんデザイン製N蒸機用パーツを、一挙10点紹介する。
◎ナンバー(真鍮エッチング)　各819円
○Y-034／D51ナンバー ギースルエジェクター車…167、232、241、345、413、457、539、570、605、725、953、1119、1037号機の13輌分。別売煙突パーツと合わせて。
○Y-035／　戦時型1000番以降…1001、1002、1008、1013、1021、1038、1044、1052、1072、1100、1108、1150、1160号機。
◎デフ(真鍮エッチング)　各630円
○Y-047／新製後藤デフG-3…奇しくも競作となった後藤デフ。本製品ではデフ側面中央のマークがエッチング表現される。
○Y-048／標準デフ点検窓角D51用…KATO新製品加工用。角型点検窓の標準的なデフ。
○Y-049／長工デフN-2角 D51用…長野工場式の改良デフ。これらのデフはいずれも貼り重ねにより、裏側の骨組も再現される。
◎テンダー台車枠(真鍮ロスト)　各1,890円
○Y-057／テンダー台車 D51、C57(1次型)、C55用…市販プラ製品の台車側枠をカットし、交換するパーツ。1輌分4個入。
○Y-059／テンダー台車 D51船底タイプ用…同じく戦時型D51用。1輌分4個入。
◎その他
○Y-014／新製鷹取型集煙装置(6本足薄型タイプ)…D51 498に2010年春から装備されたタイプの集煙装置。真鍮ロスト製。開閉レバー(ベリリウム銅製)付属。　1,260円
○Y-020／逆止弁(標準タイプ)…φ0.4丸棒(約20mm長)一体の逆止弁。真鍮ロスト製、1個入。　525円
○Y-058／つかみ棒…ベリリウム銅製の掴み棒。取付穴φ0.4。2本入。　399円

▲Y-035:D51ナンバー(戦時型・1000号機〜)。

▲Y-034:D51ナンバー(ギースル機)。

▲Y-049:D51長工デフN-2角。

▲Y-047:後藤デフG-3。

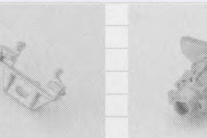
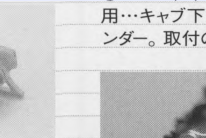
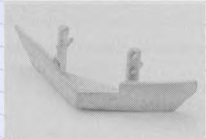
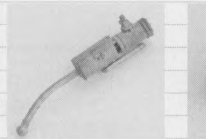
▲Y-048:D51標準デフ(点検窓角)。

▲Y-059:テンダー台車(D51船底タイプ用)。

▲Y-057:テンダー台車(D51、C57・1次、C55用)。

▲Y-020:逆止弁。

▲Y-014:鷹取型集煙装置。

▲Y-058:つかみ棒。

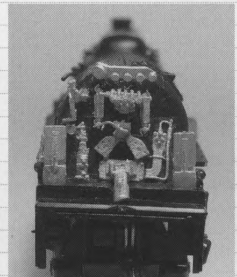
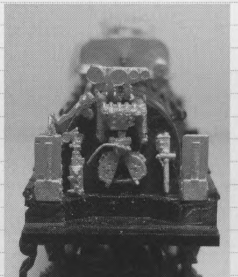
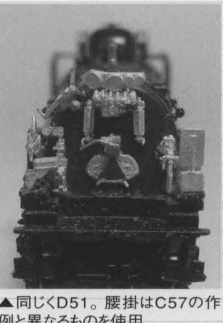
■RMM193号掲載
蒸機用パーツ各種

国鉄大型蒸機のディテールアップに好適なロストパーツ各種。KATO新C62等各製品に。
○Y-060／ブレーキシリンダー テンダー用…テンダー台車間に付くシリンダー。船底型テンダーでは特によく目立つ。　714円
○Y-061／手動ブレーキ テンダー用…テンダー前妻の手ブレーキ装置。　630円
○Y-062／連結器座 舟底型テンダー用…後妻に付く逆台形の連結器取付座。　525円
○Y-063／ストーカー座 テンダー用…テンダー前部から出るストーカー座。　714円
○Y-070／スノープラウ 東北タイプ…連結器廻りに欠き取りのある東北型スノープラウ。端梁に直接取付ける形態。　683円
○Y-071／動力逆転機 カバー付タイプ…箱型カバー付の動力逆転機。　714円
○Y-072／オイルポンプ箱 ランボード上用…ランボード上側に付けるタイプの給油ポンプ箱。　525円
○Y-073／火格子揺シリンダーC62+C59用…キャブ下に付く動力火格子装置のシリンダー。取付の異なる2機種用各1個。　945円
○YS-2／C62用キャブ内パーツセット…圧力計、蒸気分配箱、加減弁ハンドル、水面計、ブレーキ圧力計、焚口(開閉式)、ノズル分配弁、注水器、逆転機レバー、速度計、ブレーキ台座、腰掛の12点。　6,300円
○YS-3／D51、C57用キャブ内パーツセット…ノズル分配弁がない以外C62用と同構成の11点(運転士側腰掛は2種)。　5,250円

▲Y-060:ブレーキシリンダー(テンダー用)。

▲Y-061:手動ブレーキ(テンダー用)。

▲Y-062:連結器座(舟底型テンダー用)。

▲Y-063:ストーカー座(テンダー用)。

▲Y-070:スノープラウ(東北タイプ)。

▲Y-071:動力逆転機(カバー付)。

▲Y-072:オイルポンプ箱ランボード上用)。

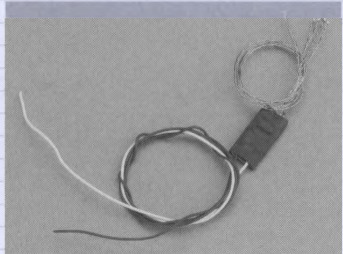
▲Y-073:火格子揺シリンダー(C62+C59用)。

▲YS-2:C62用キャブ内パーツセット取付見本。

▲YS-3より、C57へのパーツ取付見本。

▲同じくD51。腰掛はC57の作例と異なるものを使用。

取付見本P(3点):やえもんデザイン

のぞみ工房／YAMA模型

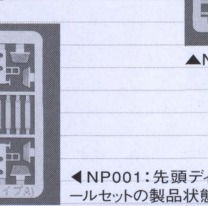
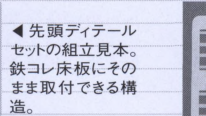
■RMM195号掲載
LEDヘッド・テールライトモジュール

●製造:Model Cedar

以前より9種のラインナップがあった、のぞみ工房のLED前・尾灯モジュール。同ブランドを引き継いだYAMA模型により、新たに3種が追加された。いずれも基板に超小型チップLED、リード線を取付済。16番のほか、Nにも充分使用できるサイズだ。
○Jタイプ…両運転台車用。片側ごとにヘッド・テールが1灯ずつ付く。　3,392円
○Kタイプ…片運転台車用。ヘッド4灯、テール2灯の構成で、Lタイプとともに通過表示灯などにも応用できそう。　3,150円
○Lタイプ…同じく片運用。ヘッド3灯、テール2灯の構成。　2,940円

▲Kタイプ(片運用、ヘッド4灯・テール2灯)の外観。黒テープで覆われているのが基板部、右上に付いているのがLED。

レイルロード

■RMM188号掲載
阪急用パーツ

レイルロードからNゲージ用パーツが発売。いずれも阪急用のディテールアップパーツで、洋白エッチング製。
○NP001／先頭ディテールセット(阪急A)…鉄コレやGMキットなど汎用的に使える、先頭部床下ディテールパーツ。胴受やジャンパーホース、ステップなどが一体でエッチングされ、組み立てれば鉄コレ床下にはスナップで取付可能。編成両側用各1個のほか、貫通路渡り板、2扉710・810・1010系などに用いる側面札差しが付属。　840円
○NP002／阪急2000系他歩み板A(非冷房)…2000〜3000系のパンタ廻りランボード。車端に付く枕木方向のものは神宝線・京都線の2タイプ入。Mc-T-M-Tcの4連分、Aは上面に帯状表現がある非冷房車用。　1,050円
○NP003／阪急2000系他歩み板B(冷房)…NP002と同じ構成で、上面が平板の冷房車用。　1,050円

◀先頭ディテールセットの組立見本。鉄コレ床板にそのまま取付できる構造。

◀NP001:先頭ディテールセットの製品状態。

▶NP003:歩み板B(冷房)の製品状態。

▲NP002:歩み板A(非冷房)の製品状態。

▲歩み板Aの取付見本。繊細な脚が細密感を盛り立てる。　取付見本P(2点):レイルロード

▲先頭ディテールセットの塗装・取付見本。

ワールド工芸

■RMM193号掲載

9mm小型汎用動力

最近のワールド製車輌に見られる、台車装架型の動力ユニットが単体リリース。台車枠に超小型モーターを縦向きに固定、ウォームギアを介して2軸を駆動するもので、車輪はピボット軸での外側支持。付属のボルスターで床板(回転を考慮し、取付部はt0.3以下とする)に取り付ける。モーターの特性上8V程度での使用が限度だが、一種の9mm版パワートラックとして興味をそそられる製品。

○TU-13S…軸間距離13mm(1:150の場合、実車換算で2,010mm相当)。

○TU-14S…軸間14mm(2,100mm相当)。

○TU-16S…軸間16mm(2,245mm相当)。 各3,990円

▲左からTU-13S、14S、16S。超小型モーターゆえ長編成には向かないが、通常の動力では難しい無蓋電動貨車など活用の途は多いはず。

◀軸間16mmのTU-16S。フレームはt0.3洋白。手前は取付用のボルスターとネジ。

◀伝動はウォームギア(モジュール0.2、1:22)+平ギアによるシンプルなもの。

レボリューションファクトリー

■RMM187号掲載

各種標記・車番・銘板インレタ

Nゲージ機関車・気動車・貨車用標記インレタの新作。

○1647／キハ47 0インレタ…TOMIX製品に好適な白文字標記。車番10種のほか所属・検査標記なども収録。暖地向け便所付の0番代用。840円

◀1647／キハ47 0インレタ。1648～1650も同様。

○1648／キハ47 500インレタ…同じく寒地向け便所付の500番代用。 840円

○1649／キハ47 1000インレタ…同じく暖地向け便所なしの1000番代用。 840円

○1650／キハ47 1500インレタ…同じく寒地向け便所なしの1500番代用。 840円

○1651／キハ183-0車番インレタ…こちらもTOMIX製品に。車番のみ19種入、900番代用も収録。メタリック銀文字。 840円

○1652／製造銘板インレタ 東芝…長方形の東芝の銘板。メタリック銀文字。 473円

○1653／製造銘板インレタ 日立…同じく日立の銘板。 473円

○1654／製造銘板インレタ 川崎…同じく川崎の銘板。銘板3種は各28点入。 473円

▲1651／キハ183 0車番インレタ。

▲1652／製造銘板インレタ 東芝。

▲1653／製造銘板インレタ 日立。

▲1654／製造銘板インレタ 川崎。

■RMM189号掲載

機関車ナンバー・パーツ

洋白エッチングによるNゲージ電機・DL・蒸機用パーツの新作。1665以外は塗装済。

○1655／EF81ナンバーTOMIX3 赤13号…TOMIX製品の車番変更用。101、106、107、108、129、142、146、148、406、410号機。

○1656／EF81ナンバーTOMIX4 赤13号…同じく22、25、26、27、28、33、39、115、116、404号機。

○1657／EF81ナンバーTOMIX5 赤13号…同じく117、118、119、120、122、123、124、125、126、411号機。

○1661／DD51ナンバーTOMIX1…TOMIX製品用ナンバー(白地)。835、837、852、853、855、881、882、896、899、1188号機。

○1662／DD51ナンバーTOMIX2…同じく白地ナンバーの856、857、889、890、891、892、893、1028、1179、1802号機。

○1663／DD51ナンバーTOMIX3…側面ナンバーが朱地となる750、820、822、831、832、844、847、851号機、4枚とも朱地の825(更新後)・1029号機。

以上6点 各840円

○1664／DD51ナンバーTOMIX4…白地・クリーム地併用(更新色)の856、875、889、890、893、1165、1166号機。 735円

○1665／D51デフ 後藤工G-3タイプ…JR東日本のD51 498が2010年春から装備している切取式デフ。KATOの498号機への使用を想定したもの。要折曲。 525円

▲1657:EF81ナンバー・TOMIX5。

▲1661:DD51ナンバー・TOMIX1。

▲1663:DD51ナンバー・TOMIX3。

▶1665:D51デフ(後藤工G-3)。

◀1664:DD51ナンバー・TOMIX4。

■RMM188号掲載

インレタ各種

○1658／24系25形〈北斗星〉混成編成車番インレタ…TOMIX発売の北海道・東日本混成編成に好適な車番。メタリック銀文字。1658・1659ともフル編成対応。 840円

○1659／24系25形〈北斗星〉混成編成妻面インレタ…「東オク」「札サウ」の各所属標記、形式・検査標記など。白文字。 473円

○1660／DE10標記類インレタ2 新更新用…TOMIXから改良再登場したDE10の、新更新色対応の細部標記。検査標、ATS標記、端梁のBP管標記など。白文字。 473円

▲1658:〈北斗星〉混成編成用車番。

▲1659:〈北斗星〉混成編成用妻面標記。

▲1660:DE10(新更新車)用標記類。

■RMM189号掲載

貨車各種表示

TOMIX製ワム380000用のインレタが4種発売。合わせてトラ70000用も登場した。全て白文字。

○1666／ワム380000車番インレタ2…製品の車番変更用。380005～380119の間から16種類のナンバーを収録。 840円

○1667／ワム380000車番インレタ3…380131～380231から16種。 840円

○1668／ワム380000車番インレタ4…380254～380499から16種。 840円

○1669／ワム380000標記類インレタ…形式をはじめとする細部標記。製品の印刷済標記に揃えた内容で、塗色変更用に。 840円

○1670／塩積専用インレタ トラ70000用…本牧～渋川間の工業塩輸送に使われた車輌の「塩積専用」標記。9輌分。 473円

○1671／トラ70000車番インレタ…上記「塩積専用」車に適合する車番8種。 473円

▲1666:ワム380000車番インレタ2。

▲1669:ワム380000標記類インレタ。

▲1670:トラ70000塩積専用インレタ。

◀1671:トラ70000車番インレタ。

▶1688:EF62ナンバーインレタ1。

▲1694:タキ1000車番インレタ1。

▶1698:〈北陸〉用14系妻面インレタ。

◀1699:所属インレタ「金トヤ」。

■RMM192号掲載

インレタ各種

○1688／EF62ナンバーインレタ1…EF62 1～12号機の切り抜き文字風ナンバー。メタリック銀文字。 840円

○1689／EF62ナンバーインレタ2…同じく13～24号機。 840円

○1694／タキ1000車番インレタ1…車番と、隣接する「ガソリン専用」標記を一体としたもの。番号はランダムに10種。 840円

○1695／タキ1000車番インレタ2…同上、番号違い。 840円

○1696／タキ1000車番インレタ3…同上、番号違い。3種とも白文字。 840円

○1697／タキ1000 ENEOS社名ロゴ消しインレタ…側面の「ENEOS」マーク下にある「新日本石油」の字を消す白の目隠しインレタ。20輌分。写真は82頁掲載の1:80版801を参照。 630円

○1698／14系寝台用妻面インレタ〈北陸〉用…TOMIX製「さよなら北陸」のグレードアップに好適な妻面標記一式(検査、形式、換算、所属など)。白文字。 473円

○1699／所属インレタ「金トヤ」キハ58/28用…キハ58系最後の定期運用として脚光を浴びた高山線を受け持つ富山地域鉄道部の標記。定員・エンド標記入。白文字。 473円

○1701／50系ドアレール/クツズリインレタ…TOMIX製品対応のメタリックインレタ。ドアレール・靴ズリのほか、ドア取っ手も収録。3輌分。 473円

▶1701:50系ドアレール/靴ズリインレタ。

■RMM191号掲載

各種インレタ

今月のレボリューション新製品はいずれもインレタ。16種類を紹介する。

○1672／113系1500番代インレタ1…1500番代のみで組成された幕張区S64編成6輌の車番・細部標記一式。 840円

○1673／113系1500番代インレタ2…同じく幕張区S68編成用。 840円

○1674／113系2000番代インレタ1…同じく2000番代で組成された幕張区117編成用の車番・標記一式。 630円

○1675／113系2000番代インレタ2…シートピッチ非拡大車(クハ111-535)を含む幕張区115編成用。 630円

○1676／115系800番代インレタ…中央線向けクモハ115-11＋モハ114-811＋クハ115-185とモハ115-23の車番、各種標記。所属標記は「西ミツ」。 630円

○1677／所属インレタ 千マリ…横須賀・総武快速線、房総各線の113系に好適な幕張区の所属標記。50点入。 473円

○1678／所属インレタ 西ミツ…国鉄時代の中央線系統に適した三鷹区の所属標記。同じく50点。以上の製品は白文字。 473円

○1679／製造銘板インレタ 東洋／汽車…東洋電機・汽車会社連名の機関車用銘板。以下各製品はメタリック銀、28ヶ入。 473円

○1680／製造銘板インレタ 日車／富士…同じく日本車両・富士電機連名。 473円

○1681／製造銘板インレタ 東洋／川重…同じく東洋電機・川崎重工。 473円

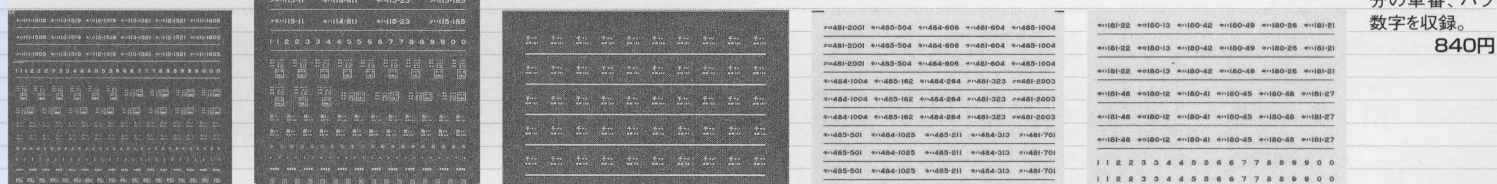
○1682／製造銘板インレタ 川重／富士…同じく川崎重工・富士電機。 473円

○1683／製造銘板インレタ 三菱DL用…同じく三菱重工単独のもの。 473円

○1684／製造銘板インレタ 汽車…同じく汽車会社単独のもの。 473円

○1685／製造銘板インレタ 日車…同じく日本車両単独のもの。 473円

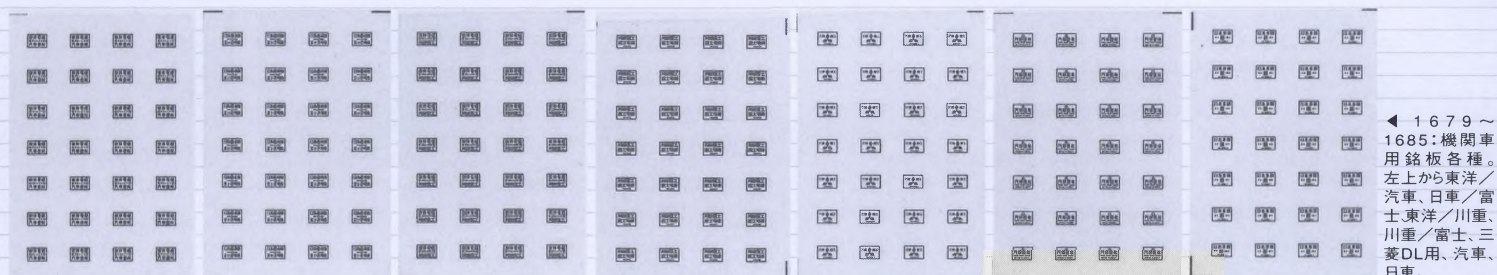
○1686／485系車番インレタ 雷鳥用…晩年のパノラマグリーン車入り編成、京都所A01編成(9連)・A03編成(6連)の全車番を収録したもの。 840円

○1687／キハ181系車番インレタ はまかぜ用…〈はまかぜ〉運用末期まで残存した12輌分の車番、バラ数字を収録。 840円

▲1672：113系1500番代インレタ1(マリS64編成)。

▲1676：115系800番代インレタ。

▲1677：所属インレタ(千マリ)。

▲1686：485系〈雷鳥〉車番(キトA01・A03編成)。

▲1687：キハ181系〈はまかぜ〉車番。

◀1679～1685：機関車用銘板各種。左上から東洋／汽車、日車／富士、東洋／川重、川重／富士、三菱DL用、汽車、日車。

■RMM194号掲載

車輌パーツ各種

今回もNゲージ各種車輌用ディテールパーツ、インレタが多数リリース。

◎機関車用金属ナンバー…いずれもt0.2洋白エッチング・塗装済。 各840円

○1690・1691／EF62ナンバー1・2…KATO用。1が1～12号機、2が13～24号機。

○1692・1693／DD51ナンバー 迂回…東日本大震災後の磐越西線迂回タンカー牽引機9輌分。品番順にKATO用・TOMIX用。

○1702／EF64 1000ナンバーTOMIX…1012、1016、1030～1032、1041、1048、1051～1053号機を収録。国鉄色。

○1703／EF81ナンバーTOMIX6…134、136～141、149～151号機。赤2号。

◎製造銘板…旧型電機用。いずれもt0.2真鍮エッチング、ぶどう色2号塗装済。各16枚収録。 各473円

○1704～1706…丸型製造銘板。品番順に汽車会社、KSK(汽車会社の略称)、東芝。

○1707・1708…角型製造銘板。順に川崎車輌、日立。

◎その他エッチングパーツ

○1700／キハ58/28エアタンクガード…タンク側面の保護柵。t0.2洋白製。 473円

◎各種インレタ

○1709／70系インレタ 新ナカ 4輌用…新潟色4連用の車番・各種標記。 630円

○1710／ 〃 新ナカ 6輌用…同じく6連用の車番・各種標記。 840円

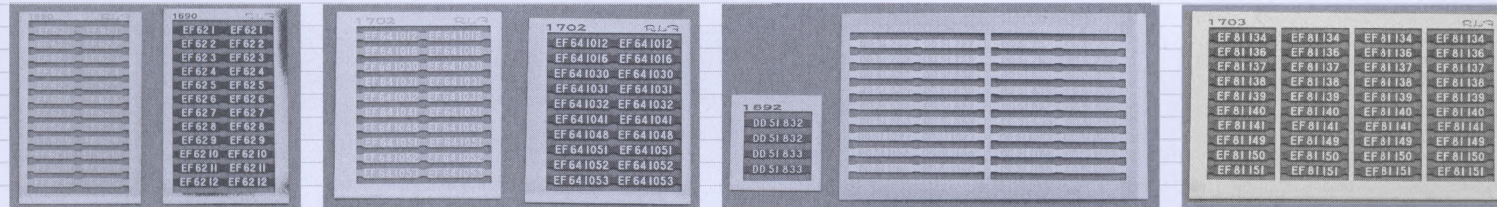
○1712／ 〃 高シマ 4輌用…スカ色の4連用車番・各種標記。 630円

○1711・1713／所属インレタ(70系用)…#1711が新ナカ・新ナカニ、#1713が高シマ。各50点入。 各473円

○1714／73系インレタ1 富山港線…末期の全金車編成用。車番・各種標記。 840円

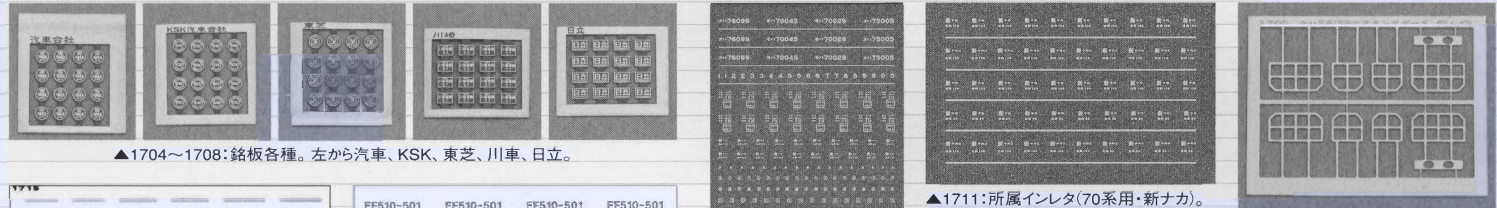
○1715／24系25形ドアレールインレタ…引戸装備車用。3サイズ×14輌分。 840円

○1716／485系ドアレールインレタ…こちらも3サイズ×14輌分。 840円

○1722／EF510 500ナンバーインレタ…501～508、511～515号機の車番。 840円

▲1690：EF62ナンバー1(1～12号機)。

▲1702：EF64 1000ナンバー(TOMIX用)。

▲1692：DD51ナンバー・迂回(KATO用)。

▲1703：EF81ナンバー(TOMIX用・6)。

▲1704～1708：銘板各種。左から汽車、KSK、東芝、川車、日立。

▲1709：70系インレタ(新ナカ・4輌用)。

▲1711：所属インレタ(70系用・新ナカ)。

▲1700：キハ58/28エアタンクガード。

▲1715：24系25形ドアレールインレタ。

EF510-501	EF510-501	EF510-501	EF510-501
EF510-502	EF510-502	EF510-502	EF510-502
EF510-503	EF510-503	EF510-503	EF510-503
EF510-504	EF510-504	EF510-504	EF510-504
EF510-505	EF510-505	EF510-505	EF510-505
EF510-506	EF510-506	EF510-506	EF510-506
EF510-507	EF510-507	EF510-507	EF510-507
EF510-508	EF510-508	EF510-508	EF510-508
EF510-511	EF510-511	EF510-511	EF510-511
EF510-512	EF510-512	EF510-512	EF510-512
EF510-513	EF510-513	EF510-513	EF510-513
EF510-514	EF510-514	EF510-514	EF510-514
EF510-515	EF510-515	EF510-515	EF510-515

EEFF11223344556677889900

▲1722：EF510 500ナンバーインレタ。

▲1728：車外スピーカー(角型)。

▲1733：455系インレタ(仙台)。

▲1734：169系インレタ(長野)。

■RMM197号掲載

インレタ／パーツ各種

Nゲージ用パーツ・標記インレタが各種リリース。今回は所属標記インレタが中心。

◎洋白エッチングパーツ(t0.2)

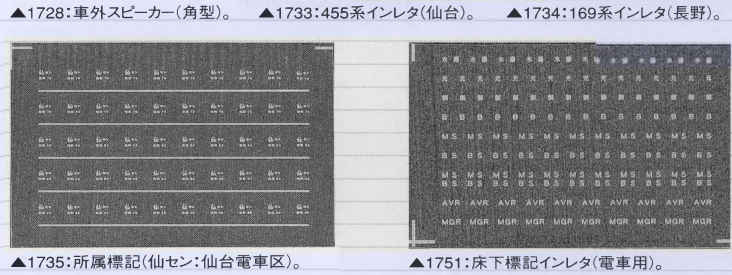
○1728／車外スピーカー(角型)…長方形で表面がメッシュ状の車外スピーカー。汎用部品として使えよう。30点入。 420円

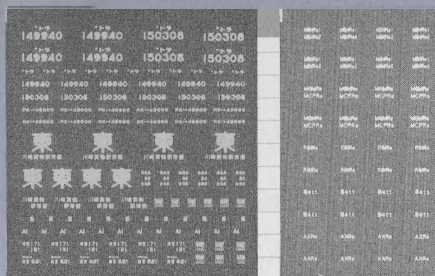
◎インレタ

○1733／455系インレタ(仙台)…1980年代の〈まつしま〉等を想定した12輌分の車番、各種標記を収録。白文字。 840円

○1734／169系インレタ(長野)…1980年代の〈信州〉、〈妙高〉を想定した11輌分の車番、各種標記。白文字。 840円

○1735～1743／所属インレタ…品番順に仙セン、長ナノ、西トタ、新ニイ、長モト、北マト／東マト、南コツ／横コツ、南フナ／東フナ、金サワ。単独のものは各50点、2種入は50～56点(1種につき20～30点)収録。白文字 各473円

○1751／床下標記インレタ 電車用…床下機器に入る小さな白字標記。MGR、AVR、MS、BS、B、制、元、水揚を収録。 630円

▲1735：所属標記(仙セン：仙台電車区)。

▲1751：床下標記インレタ(電車用)。

▲1731：トラ145000インレタ(東)。　▲1717：EF62床下標記インレタ。

■RMM196号掲載
ナンバー・インレタ・パーツ各種

今月も、電機・DL・客車・貨車用のパーツ・インレタが多数リリース。

◎インレタ(すべて白文字)

○1717／EF62床下標記インレタ…床下機器側面に入る標記各種。 420円

○1731／トラ145000インレタ 東…川崎貨物駅常備の事業用車の標記一式。630円

○1732／床下標記インレタ1…24系客車などに対応した床下機器標記。蓄電池、整流器、空気圧縮機など。 630円

◎洋白ナンバー・パーツ(すべてt0.2)

○1719／DE10新更新用ナンバー TOMIXサイズ…1189、1664、1667、1673、1675、1676、1723、1727、1730、1750号機。 840円

○1720・1721／EF510 500用ナンバー…501～515号機中、青色塗装の13輌分。TOMIX用・KATO用の2種。 各840円

○1723／吊り金具 旧型用…旧型電機に見られるJ型の吊り金具。88点入。 420円

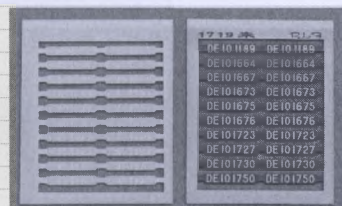
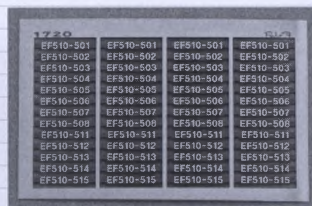
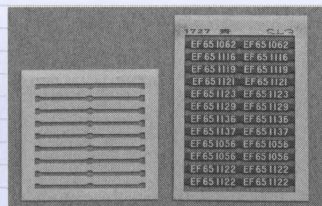
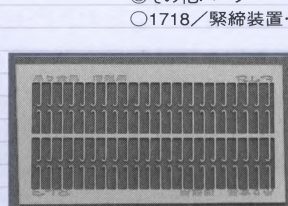
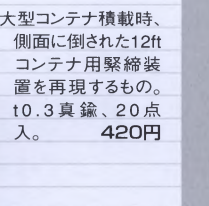
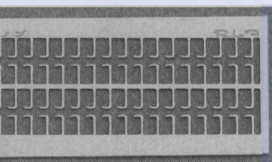
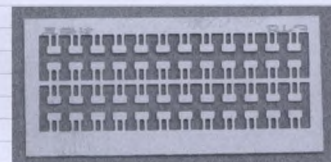
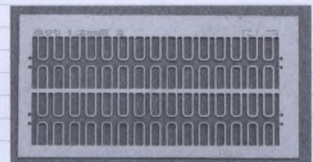
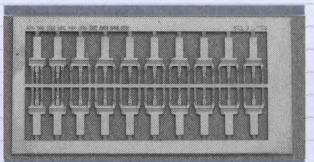
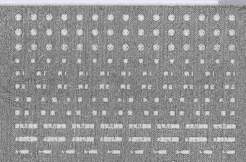
○1724／ドアノブ…乗務員扉など汎用的に使えるドアノブ。72点入。 420円

○1725／足掛け 旧客など妻用…スハフ42やオハフ61等、旧客の妻面昇降ステップ最下段に付く足掛け。48点入。 420円

○1726／手すり1.2mm…電機屋上等に付く角のRが緩い手スリ。60点入。 420円

○1727・1729・1730／EF65 1000ナンバー3種…KATO製品(品番3061-1)用。「後期ナンバー1」(1056、1062、1116、1119、1121～1123、1129、1136、1137)、「同・2」(1100、1102～1107、1109、1124、1135)、「赤ナンバー3」(1064、1072～1075、1077～1079、1081、1082)の3種。 各840円

◎その他パーツ

○1718／緊締装置…大型コンテナ積載時、側面に倒された12ftコンテナ用緊締装置を再現するもの。t0.3真鍮、20点入。 420円

▲1719：DE10新更新ナンバー(TOMIX用)。

▲1720：EF510ナンバー(TOMIX用)。

▲1727：EF65 1000後期ナンバー1。

▲1723：吊り金具(旧型用)。

▲1724：ドアノブ。

▲1725：足掛け(旧客等妻面)。

▲1726：手スリ(1.2mm)。

▲1718：緊締装置。

▲1732／床下標記インレタ1。

■RMM198号掲載
電機用パーツ・電車用インレタ各種

国鉄電機用エッチングパーツ、電車用の車番・標記インレタ。

◎エッチングパーツ(t0.2洋白・着色済)

○1744・1745／ED61ナンバー1・2…TOMIX製品(一般色)用。品番1744が1～9、1745が10～18号機のナンバー。 各840円

○1746・1747／ED62ナンバー1・2…ED61と同様1～9・10～18号機をそれぞれ収録。TOMIX製品(一般色)用。 各840円

○1748／ED62タブレット保護柵…青15号の側窓タブレット保護柵1輌分。 735円

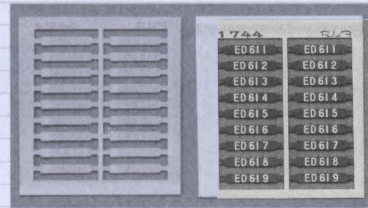
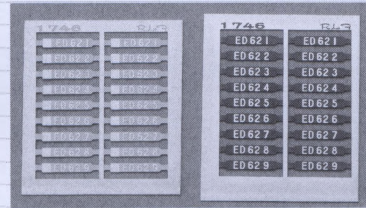
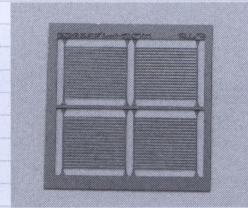
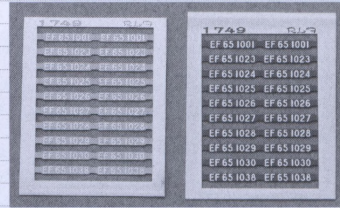
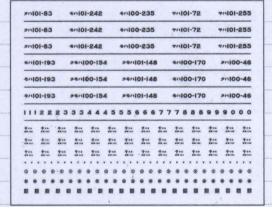
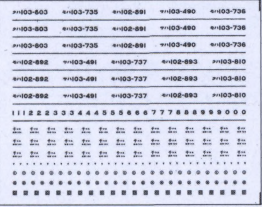
○1749／EF65 1000前期ナンバー1…最新のTOMIX製品(特急色)用。1001・1023～1030・1038号機を収録。 840円

○1750／EF65 1000前期貨物更新ナンバー1…同じく貨物更新機用。1002～1004・1006・1009・1034～1037・1039号機。 840円

○1757／101系車番インレタ1…国鉄時代の津田沼電車区(千ツヌ)所属車用。車番10輌分と各種標記。黒文字。 840円

○1758／103系車番インレタ1…同じく千ツヌの103系用。10輌分、黒文字。 840円

○1759・1760／205系車番インレタ1・2…京葉電車区(千ケヨ)車用。品番1759が武蔵野線(8輌分)、1760が京葉線(10輌分)で、各種標記も収録。黒文字。 各840円

○1761／所属インレタ(千ケヨ 黒)…上記205系車番にも含まれる「千ケヨ」の所属標記。50点入、黒文字。 473円

▲1744：ED61ナンバー1。

▲1746：ED62ナンバー1。

▲1748：ED62タブレット保護柵。

▲1749：EF65 1000前期ナンバー1。

▲1757：101系車番インレタ1(千ツヌ10輌分)。

▲1758：103系車番インレタ1(千ツヌ10輌分)。

▲1759：205系車番インレタ1(千ケヨ8輌分)。

▲1761：所属インレタ(千ケヨ・黒)。

各社車輌製品再生産品リスト
（2011年1月～2011年12月）

品番	品目	税込価格	発売時期
■KATO			
3031	ED79	¥6,300	2010年12月
7011-1	DE10　耐寒形	¥6,615	1月
7011-2	DE10　暖地形	¥6,615	1月
3021-8	EF81 ヒサシ付 JR東日本色	¥6,615	1月
10-822	24系寝台特急「あけぼの」　6両基本セット	¥12,600	1月
10-823	24系寝台特急「あけぼの」　3両増結セット	¥5,250	1月
2011	C55	¥9,030	2月
5127-3	オハ35　茶　戦後形	¥1,470	2月
5127-4	オハ35　ブルー　戦後形	¥1,470	2月
5128-3	オハフ33　茶　戦後形	¥1,785	2月
5128-4	オハフ33　ブルー　戦後形	¥1,785	2月
8013	タキ43000　ブルー	¥840	2月
8013-1	タキ43000　黒	¥840	2月
8013-5	タキ43000　日本石油輸送色	¥1,050	2月
8026	スユ44	¥525	2月
10-578	E231系500番台山手線基本セット(4両)	¥11,130	3月
8016	ホキ2200	¥735	3月
8040	タキ1900<三菱鉱業セメント>(2両入)	¥1,890	3月
3036-1	EF200　新塗色	¥7,035	3月
10-395	583系 7両基本セット	¥16,065	3月
10-396	583系 2両増結セット	¥3,045	3月
4084-1	サシ581	¥1,260	3月
4086-1	サハネ581	¥1,260	3月
10-173	651系「スーパーひたち」7両基本セット	¥18,900	3月
10-174	651系「スーパーひたち」4両増結セット	¥10,290	3月
6041-2	キハ52 首都圏色(M)	¥5,355	3月
6042-2	キハ52 首都圏色	¥2,520	3月
10-050	阪急6300系 4両基本セット	¥8,190	3月
10-051	阪急6300系 4両増結セット	¥4,725	3月
8017	トキ25000	¥525	4月
8022	ヨ8000	¥525	4月
8030	ワフ29500	¥1,470	4月
10-857	E5系新幹線「はやぶさ」　基本セット(3両)	¥11,025	4月
10-858	E5系新幹線「はやぶさ」　増結セットA(3両)	¥6,615	4月
10-859	E5系新幹線「はやぶさ」　増結セットB(4両)	¥7,665	4月
3020-7	EF58 初期形小窓　特急色	¥6,510	4月
10-367	20系「さくら」7両基本セット	¥13,020	4月
5086-1	ナロネ21	¥1,470	4月
5087-1	ナハネ20	¥1,470	4月
3065-1	EF510 500 北斗星色	¥7,350	5月
10-833	EF510 + E26系カシオペア 基本セット(4両)	¥15,540	5月
10-834	E26系カシオペア 増結セットA(3両)	¥7,875	5月
10-835	E26系カシオペア 増結セットB(6両)	¥13,860	5月
10-500-1	チビロコセット　たのしい街のSL列車	¥4,725	5月
10-510	500系新幹線「のぞみ」4両基本セット	¥11,760	6月
10-511	500系新幹線「のぞみ」4両増結セット	¥8,400	6月
10-512	500系新幹線「のぞみ」8両増結セット	¥13,650	6月
10-354	100系新幹線<グランドひかり> 6両基本セット	¥14,700	6月
10-355	100系新幹線<グランドひかり> 6両増結セット	¥9,450	6月
10-356	100系新幹線<グランドひかり> 2両増結セット	¥3,150	6月
10-453	0系2000番台新幹線 8両基本セット	¥17,115	6月
10-454	0系2000番台新幹線 8両増結セット	¥13,650	6月
2016-1	D51 498	¥11,550	6月
10-005	KATOスターターセットスペシャル D51　SL列車セット	¥18,900	6月
10-549	N700系新幹線「のぞみ」8両増結セット	¥14,700	6月
10-245	コキ106　19Dコンテナ積載 2両セット	¥3,465	7月
10-550	キハ82系 6両基本セット	¥16,800	7月
6061-3	キハ82	¥3,150	7月
6062-3	キロ80	¥1,470	7月
6063-3	キハ80　(M)	¥4,410	7月
6064-3	キハ80　(T)	¥1,470	7月
10-528	189系国鉄色「あさま」　5両基本セット	¥15,750	7月
10-529	189系国鉄色「あさま」　7両増結セット	¥12,810	7月
8032	セキ6000 (2両入)	¥1,890	7月
10-288	883系<ソニック>リニューアル車 7両セット	¥20,685	8月
3020-1	EF58 後期形大窓 ブルー	¥6,195	8月
8046-1	ヨ5000	¥1,680	8月
6018	キハ40 2000　(M)	¥4,515	8月
6019	キハ40 2000	¥2,205	8月
6021	キハ47 1000	¥1,785	8月
6022	キハ48 0	¥1,785	8月
10-345	681系 <サンダーバード> 6両基本セット	¥16,275	8月
10-326	681系 <サンダーバード> 3両増結セット	¥8,295	8月
10-588	313系2300番台 2両セット	¥7,875	9月
8001	トキ15000	¥525	9月
8002	コキ10000	¥525	9月
8003	コキフ10000	¥578	9月
10-401	キハ85系「ワイドビューひだ」5両基本セット	¥14,700	9月
3047	EF66　後期形	¥6,825	9月
8018-2	ク5000　　乗用車付	¥1,575	9月
8018-3	ク5000　　トリコロールカラー	¥1,050	9月
8037-2	タキ1000　日本石油輸送色	¥1,260	9月
8037-4	タキ1000　日本オイルターミナル色　矢羽マーク付	¥1,365	9月
8037-5	タキ1000　日本オイルターミナル色(帯なし・エコレールマーク付)	¥1,260	9月
10-865	800系新幹線「さくら・つばめ」6両セット	¥16,800	9月
10-457	西武新101系新塗色 4両基本セット	¥9,555	10月
10-458	西武新101系新塗色 4両増結セット	¥6,195	10月
10-459	西武新101系新塗色 2両先頭車セット	¥5,775	10月
5001	オハ31	¥840	10月
5002	オロ30	¥840	10月
5003	オハニ30	¥840	10月
5015	オハ12	¥1,260	10月
5016	スハフ12	¥1,470	10月
5017	オハフ13	¥1,470	10月
10-225	185系0番台「踊り子」新塗色2両増結セット	¥2,678	10月
2002	C11	¥5,775	10月
10-292	E4系<Max> 4両基本セット	¥13,125	10月
10-358	E351系 <スーパーあずさ> 8両基本セット	¥20,685	11月
10-359	E351系 <スーパーあずさ> 4両増結セット	¥9,240	11月
4100-4	クモハ115 1000 湘南色	¥1,785	11月
4101-4	モハ115 1000 湘南色	¥1,155	11月
4102-4	モハ114 1000 湘南色 (M)	¥3,780	11月
4103-4	クハ115 1000 湘南色	¥1,785	11月
4104-4	サハ115 1000 湘南色	¥1,155	11月
4105-4	モハ114 1000 湘南色	¥1,260	11月
4106-4	クハ115 1100 湘南色	¥1,785	11月
4021	クモニ143	¥1,995	11月
■ラウンドハウス			
10-921	223系2500番台タイプ「関空・紀州路快速」4両セット	¥15,750	2月
10-917	秩父鉄道「パレオエクスプレス」タイプ5両セット	¥17,325	3月
■TOMIX			
2176	ED79-0	¥6,720	1月
92204	キハ181系特急ディーゼルカー(はまかぜ)基本	¥13,650	2月
2435	キハ180(はまかぜ)	¥1,890	2月
92240	EF81　トワイライトエクスプレス基本3両セット	¥9,870	2月
92241	トワイライトエクスプレス増結セットA	¥10,290	2月
92242	トワイライトエクスプレス増結セットB	¥6,615	2月
8514	スシ24(トワイライト)	¥2,730	2月
2170	EF66(後期型・JR貨物新更新車)	¥6,720	3月
92319	名鉄7000系パノラマカー(2次車)白帯車セット	¥17,640	4月
92320	名鉄7000系パノラマカー(2次車)基本セット	¥16,800	4月
92321	名鉄7000系パノラマカー(2次車)増結セット	¥5,460	4月
92291	名鉄8800系パノラマDXセット 3両	¥9,975	4月
92318	長野電鉄1000系ゆけむり4両セット	¥9,975	5月
8520	オハ61	¥1,785	5月

品番	品目	税込価格	発売時期
8521	オハフ61	¥2,310	5月
92264	700 3000系 のぞみ基本セット	¥9,345	6月
2147	EH500(2次形・GPS付)	¥10,290	6月
2720	チ1形タイプ(木材付)	¥735	6月
2721	チ1形タイプ(土管付)	¥735	6月
2725	トラ145000	¥735	6月
2726	トラ145000(木材付)	¥840	6月
2775	タキ5450	¥1,050	7月
2702	ヨ8000	¥2,520	7月
2718	コム1形タイプ(コンテナ付)	¥735	7月
2719	コム1形タイプ(冷蔵コンテナ付)	¥735	7月
2772	ソ80・グリーン(チキ7000付)	¥3,150	7月
2774	チキ7000	¥945	7月
92411	N700 8000系山陽・九州新幹線基本セット	¥10,290	8月
92412	N700 8000系山陽・九州新幹線増結セット	¥12,810	8月
92134	南部縦貫鉄道キハ10形レールバスセット	¥7,140	8月
92156	キハ01形レールバスセット2両	¥7,350	8月
92157	キハ02形レールバスセット2両	¥7,350	8月
92158	キハ03形レールバスセット2両	¥7,350	8月
92341	207-1000系通勤電車(新塗装)基本4両セット	¥15,540	8月
92342	207-1000系通勤電車(新塗装)増結3両セット	¥9,135	8月
2214	DD51-1000	¥6,300	8月
2779	コキ250000(コンテナ無し)	¥1,050	8月
2780	コキ350000(コンテナ無し)	¥1,050	8月
2785	コキ50000(グレー台車)	¥1,050	8月
8534	オハネフ25-100(銀帯)	¥2,625	10月
8535	オハネ25-100(銀帯)	¥1,680	10月
92142	キハ187-10系基本セット2両	¥7,875	10月
2454	キハ187 10(増結用)	¥1,680	10月
2111	EF65 1000(東京機関区・PS22B搭載車)	¥6,615	10月
92279	九州新幹線800系つばめ基本3両セット	¥10,290	10月
92280	九州新幹線800系つばめ増結3両セット	¥8,820	10月
90155	ベーシックセットSDトワイライトエクスプレス	¥15,750	11月
92306	500系新幹線のぞみ基本セット	¥9,345	11月
92307	500系新幹線のぞみ増結セットA	¥9,345	11月
92308	500系新幹線のぞみ増結セットB	¥9,240	11月
8835	526(528)形増結用	¥1,785	11月
8836	527-700形増結用M	¥4,725	11月
2756	コキ10000(コンテナ付)	¥1,680	12月
2757	コキ10000(コンテナなし)	¥1,050	12月
2758	コキフ10000(コンテナなし)	¥2,205	12月
2212	DD51-500ディーゼル機関車	¥6,300	12月
2215	DD51(JR北海道色)ディーゼル機関車	¥6,510	12月
■マイクロエース			
A8570	シキ600+ヨ8000 3両セット	¥16,590	1月
A2690	113系7000番台 40N体質改善工事施工車 8両セット	¥22,575	3月
A2270	485系 お座敷列車「華」6両セット	¥18,375	5月
A2271	485系 お座敷列車「やまなみ」4両セット	¥14,490	5月
A2272	485系 お座敷列車「せせらぎ」4両セット	¥14,490	5月
A5380	167系 湘南色 冷房車 8両セット	¥19,950	5月
A5931	キハ400系・14系急行「利尻」5両セット	¥16,590	5月
A3861	京急2100形 8両セット	¥24,780	5月
A8254	キハ183系5200番台 ノースレインボーエクスプレス 5両セット	¥16,800	5月
A0803	国鉄181系 特急「とき」 基本8両セット	¥23,415	5月
A0804	国鉄181系 特急「とき」 増結4両セット	¥13,440	5月
A3390	E491系 「East i-E」3両セット	¥13,650	6月
A3391	キヤE193系 「East i-D」3両セット	¥13,650	6月
A0840	789系 特急「スーパー白鳥」 基本5両セット	¥16,800	7月
A0843	789系 特急「スーパー白鳥」 増結3両セットB	¥8,925	7月
A0844	789系1000番台 快速「エアポート」 5両セット	¥18,690	7月
A3950	485系 「シルフィード」+DE10-1701 4両セット	¥17,850	8月
A3952	485系700番台 「NO・DO・KA」 3両セット	¥13,650	8月
A0984	785系 更新車タイプ 特急「すずらん」 5両セット	¥18,690	8月
A8673	キハ261系1000番台 特急「スーパーとかち」5両セット	¥18,165	8月
A5944	14系500番台 改良品 急行「はまなす」 7両セット	¥17,640	9月
A2560	国鉄キハ23/45/53 標準色 3両セット	¥16,800	9月
A2561	国鉄キハ23/45/53 首都圏色 3両セット	¥16,800	9月
A2293	419系 新北陸色 両端切妻編成 基本3両セット	¥11,550	9月

品番	品目	税込価格	発売時期
A2295	419系 新北陸色 貫通扉埋込編成 増結3両セット	¥9,660	9月
A9536	D51-498 動力改良	¥10,395	10月
A1305	EF55-1・改良品	¥8,190	10月
A2991	四国8000系 旧塗装 特急「しおかぜ」 5両セット	¥17,115	10月
A2992	四国8000系 旧塗装 特急「いしづち」 3両セット	¥12,600	10月
A2993	四国8000系 リニューアル 特急「しおかぜ」 5両セット	¥17,115	10月
A2994	四国8000系 リニューアル 特急「いしづち」 3両セット	¥12,600	10月
A0538	103系 西日本更新車 岡山色 4両セット	¥14,490	10月
A0542	103系 瀬戸内色・高運転台 4両セット	¥14,490	10月
A8190	国鉄 DF40-1 ブルー	¥7,140	11月
A8196	国鉄DF91-1 貫通型・朱色	¥7,140	11月
A6059	名鉄5500系 特別整備後 スカーレット 基本4両セット	¥15,960	11月
A6060	名鉄5500系 特別整備後 スカーレット 増結2両セット	¥7,245	11月
A0053	301系 東西線青帯 冷房車 基本5両セット	¥16,275	11月
A0055	301系 東西線青帯 冷房車 増結5両セット	¥12,600	11月
A2979	東京メトロ5000系・冷改車 基本6両セット	¥18,375	11月
A2980	東京メトロ5000系・冷改車 増結4両セット	¥10,500	11月
A1190	国鉄70系・スカ色・登場時 基本7両セット	¥20,895	11月
A1191	国鉄70系・スカ色・登場時 増結5両セット	¥17,115	11月
A1196	国鉄70系・新潟色 6両セット	¥19,740	11月
A2280	国鉄キハ42500・旧塗装 2両セット	¥10,290	12月
A2288	国鉄キハ07系200番台・標準色・樽見線 4両セット	¥17,850	12月
A2069	秩父鉄道 デキ200型 茶色	¥6,510	12月
A2075	秩父鉄道 デキ300型 青	¥6,510	12月
A2086	秩父鉄道石灰石輸送列車 ヲキ100・ヲキフ100型 10両セット	¥13,650	12月
A3031	テム300 2両セット	¥1,313	12月
A3041	テラ1 2両セット	¥1,313	12月
A3051	ワム70000 2両セット	¥1,313	12月
A3052	ワム70000 急行 2両セット	¥1,313	12月
A3061	レ5000 冷蔵車 2両セット	¥1,313	12月
A3062	レ6000 冷蔵車 2両セット	¥1,313	12月
■グリーンマックス			
1015T	国鉄キハ23形(首都圏色)2輛トータル 塗装済 ※仕様変更(GM製成型品スカート付属)	¥8,925	1月
1016T	国鉄キハ23形(一般色)2輛トータル 塗装済 ※仕様変更(GM製成型品スカート付属)	¥9,975	1月
4110	名鉄1800系 2輛編成セット(動力付き)	¥13,650	1月
4111	名鉄1800系 2輛編成セット(動力無し)	¥10,290	1月
1078T	京阪9000系(新塗装)4輛編成トータルセット	¥13,650	1月
4106	近鉄9820系 6輛編成セット(動力付き)	¥26,250	2月
4107	近鉄9020系 先頭車2輛セット(動力付き)	¥13,650	2月
4108	近鉄9020系 先頭車2輛セット(動力なし)	¥10,290	2月
1014T	京王6000系(新塗装)4輛編成トータルセット	¥11,550	2月
1014C	京王6000系(新塗装)増結用先頭車2輛	¥4,725	2月
1014M	京王6000系(新塗装)増結用中間車2輛	¥3,780	2月
4109	名鉄1000/1200系パノラマSuper一部特別車 (B編成)6輛編成セット(動力付き) ※仕様変更(一般車の妻面窓サイズを変更)	¥28,350	4月
405	西武101系 基本4輛	¥2,520	4月、12月
405-1	西武101系 増結用中間車2輛	¥1,470	4月、12月
407A	阪急通勤車 基本4輛 ※9月 社紋デカールをインレタに変更、 12月 社紋マークを新規ステッカーに変更	¥3,150	4月、9月、12月
407B	阪急通勤車 増結用中間車4輛	¥2,520	4月、12月
1084T	東武10000系未更新車6輛トータルセット(動力付き)	¥18,900	5月
1084C	東武10000系未更新車増結用先頭車2輛セット(動力なし)	¥8,190	5月
1084M	東武10000系未更新車増結用中間車4輛セット(動力なし)	¥11,550	5月
1058T	小田急3000形 3次車 4両編成 動力付トータルセット ※最終生産	¥14,280	6月
1058M	小田急3000形 3次車 増結用中間車2両セット ※最終生産	¥4,830	6月
4128	東京メトロ10000系 基本4輛編成(動力車付)	¥18,900	6月
4129	東京メトロ10000系増結中間車6輛(動力車なし)	¥20,790	6月
150	クモハ41形制御電動車 1輛	¥840	6月
151	クハ55形制御車 1輛	¥840	6月
402	JR201系 4輛編成セット	¥2,100	7月
402-1	JR201系 増結用中間車2輛セット	¥1,050	7月
410	西武5000系レッドアロー6輛セット	¥2,940	7月

品番	品目	税込価格	発売時期
409	京成3500形 4輌編成セット ※仕様変更(ステッカー収録内容が縮小)	¥2,520	7月
412	阪神通勤車 4輌編成セット ※仕様変更(ステッカー収録内容が縮小)	¥2,940	7月、12月
1012T	東武8000系新前面4輌編成トータルセット　塗装済	¥12,600	7月
1012C	東武8000系新前面増結用先頭車2輌セット　塗装済	¥3,780	7月
1012M	東武8000系新前面増結用中間車4輌セット　塗装済	¥6,720	7月
1013T	東武8000系旧前面4輌編成トータルセット　塗装済	¥12,600	7月
1013C	東武8000系旧前面増結用先頭車2輌セット　塗装済	¥3,780	7月
1013M	東武8000系旧前面増結用中間車2輌セット　塗装済	¥3,360	7月
408	京浜急行 旧600形 4輌編成セット	¥2,520	7月
436A	京浜急行2000形 4輌編成セット	¥2,730	7月
436B	京浜急行2000形 増結用中間車4輌セット	¥2,310	7月
1004T	京急1500形 4輌 トータルセット ※仕様変更(パンタグラフPT43へ)	¥10,290	8月
1004M	京急1500形 増結用中間車4輌 ※仕様変更(パンタグラフPT43へ)	¥6,510	8月
4078	近鉄5200系4輌編成セット(動力車付)	¥18,900	8月
4089	阪急7000/7300系6輌編成基本セット(動力車付)	¥24,990	8月
4090	阪急7000/7300系増結用中間車2輌セット	¥8,400	8月
4091	阪急7000/7300系増結用先頭車2輌セット	¥10,290	8月
4131	近鉄3220系6輌編成セット(動力付き)	¥26,250	8月
4127	JR119系5000番代リバイバルカラー2輌編成(動力車付)	¥13,440	8月
4023	近鉄22000系ACE基本4輌編成セット(動力付き)　完成品	¥18,900	8月
4024	近鉄22000系ACE基本2輌編成セット(動力付き)　完成品	¥13,650	8月
4025	近鉄22000系ACE増結2輌編成セット(動力なし)　完成品	¥9,450	8月
4087	東急5000系6扉基本6輌編成セット(動力車付)	¥24,990	9月
4088	東急5000系6扉増結用中間車4輌セット(動力車無)	¥14,490	9月
417	京王6000系 基本4輌 ※ステッカー変更	¥2,730	9月
404	小田急5000形 基本4輌	¥2,310	9月
416	東武10000系 基本4輌 ※ステッカー変更	¥2,940	9月
416-1	東武10000系 増結用中間車2輌	¥1,470	9月
423	京急1000形 基本2輌	¥2,310	9月
435	JR103系(低運転台) 基本4輌	¥2,730	9月
415	JR103系(高運、非ATC) 6輌	¥3,570	10月
417-1	京王6000系 増結用中間車 2輌	¥1,470	10月
418A	東急8500系 5輌基本	¥3,675	10月
418B	東急8500系 増結用中間車5輌	¥3,150	10月
420	営団6000(7000.8000)系 基本4輌	¥3,360	10月
420-1	営団6000(7000.8000)系 増結中間2輌	¥1,575	10月
423-1	京急1000形 増結用中間車2輌	¥1,470	10月
427	近鉄2600(2430)系 4輌	¥2,940	10月
428	近鉄2410(1810)系 4輌(2連×2)	¥3,150	10月
435-1	JR103系(低運転台)増結中間車2輌 ※吊り袋に変更	¥1,575	10月
439	西武新2000系 4輌基本 ※ドアデカール廃止	¥3,150	10月
439-1	西武新2000系 増結用中間車2輌 ※ドアデカール廃止	¥1,575	10月
118	オユ10(クーラー付)	¥840	11月
126	オハネ12	¥840	11月
127	オハネフ12	¥840	11月
133	スハフ43	¥840	11月
137	オロネ10	¥840	11月
140	オユ10	¥840	11月
159	モハ72+サハ78(原形)	¥1,680	11月
182	クモハユニ44	¥1,575	11月
185	JR123系(身延線+可部線)	¥1,575	11月
102	小荷物専用列車 5輌 ※共通箱へ変更	¥2,940	11月
103	寝台急行列車 5輌 ※共通箱へ変更	¥2,940	11月
104	ローカル普通列車 5輌 ※共通箱へ変更	¥2,940	11月
105	特急「はつかり」客車 5輌 ※共通箱へ変更	¥2,940	11月

品番	品目	税込価格	発売時期
107	ローカル列車 PartⅡ 5輌 ※共通箱へ変更	¥3,150	11月
108	夜行急行列車 5輌 ※共通箱へ変更	¥3,150	11月
109	帰省臨時急行 5輌 ※共通箱へ変更	¥3,150	11月
603	京阪500・600形 2輌トータルセット ※ステッカー簡略化	¥5,565	11月
306	国鉄クモハ11 400 + クハ16 400　2輌セット	¥1,575	12月
307	名鉄5500系 2輌	¥1,575	12月
308	国鉄クモハ12+クモニ13	¥1,575	12月
309	東急旧5000系 2輌編成セット	¥1,575	12月
138	オロハネ10	¥840	12月
163	クモユニ81 1輌	¥840	12月
■河合商会			
KP-259B	ホキ10000太平洋セメント(石炭専用)10両セット	¥15,750	2月
KP-259C	ホキ10000太平洋セメント(三岐)10両セット	¥15,750	2月
KP-269	ホキ9500 奥多摩工業10両セット	¥16,380	2月
KP-270	ホキ9500 矢橋工業10両セット	¥16,800	2月
KP-261	三岐鉄道貨車7両セット	¥5,250	2月
KP-189	トラ25000/3両入	¥2,415	2月
KP-214	トラ145000/3両入	¥2,415	2月
KP-237	タキ12200(大阪セメント)/3両入	¥4,200	2月
KP-283B	タキ7750(保土谷化学工業)/3両入	¥3,465	2月
KP-283D	タキ7750(東ソー)/3両入	¥3,465	2月
KP-286B	ホキ8500(三菱マテリアル)/3両入	¥4,830	2月
KP-277	タキ35000 コレクターズセット/6両入	¥7,875	3月
KP-278	ホキ9500 コレクターズセット/5両入	¥8,190	3月
KP-275	古典客車開拓使号タイプ/4両入	¥5,040	3月
KP-276	古典客車(ブラウン)/4両入	¥5,040	3月
KP-253	トラ40000(コレクターズ)/5両入	¥4,305	3月
KP-254	トラ45000(コレクターズ)/5両入	¥4,305	3月
KP-212	ワフ25000/2両入	¥1,680	3月
KP-215	ワフ29000/2両入	¥1,680	3月
KP-230	ホキ9300(伏木海陸運送)/2両入	¥3,045	3月
KP-258	急行貨物11両セット	¥10,500	7月
KP-290D	ク5000/トリコロール塗装/2両入	¥2,625	8月
KP-143A	タキ35000/日本オイルターミナル(ブルー塗装)/2両入	¥2,625	12月
KP-144A	タキ35000/日本石油/2両入	¥2,625	12月
KP-160	Cタイプディーゼル(イエロー)/3両入	¥6,720	12月
KP-161	Cタイプディーゼル(ブルー)/3両入	¥6,720	12月
KP-292	ワム80000 CGC塗装(北廻り)/3両入	¥2,205	12月

※MODEMOは再生産なし
【参考資料】各社HP、N-Gauge Information他

日本型車輌モデル　総索引2011.1～2011.12

※PREMIUM掲載号の項目でRMM掲載号以外のものは以下に示す。
「EF66」＝別冊『鉄道名車 モデル&プロフィール EF66 0&100番代』
※1＝PREMIUM掲載ではないが、有用な記事が掲載されているRM MODELSの通巻。
ガイド1＝別冊『Nゲージ・プレミアムガイド Vol.1』

Parts & Accessories メーカー別索引(五十音順)

取材協力各メーカー問い合わせ先リスト

アイコム：048-282-8477(代)
会津砕石：ジェイアライアンス(03-3687-9829)へ
青島文化教材社：054-263-2461
あまぎモデリングイデア：FAX 03-5936-7129
α-model：取扱店へ
アルモデル：FAX 048-641-3650
イエロートレイン：0474-71-8798
エコーテック：0532-65-5158
F MODELS：03-6206-0180
エヌ小屋：イメージングラボ浜松(053-468-0251)へ
大阪プラスチックモデル：072-339-7851
ガイアノーツ：048-456-6851
KATO：ホビーセンターカトー(03-3954-2171)へ
河合商会：03-3859-1881
キシャ会社：FAX 03-3783-1680
CASCO：03-5626-5268
CAB：048-226-0234
銀河モデル：042-562-6763
近鉄車両エンジニアリング：〒543-0001
大阪市天王寺区上本町6-5-13へ
グリーンマックス：03-5943-1715
CROSS POINT：ジーエムストアー秋葉原店
(03-3526-7180)へ
くろま屋：0463-95-6935
工芸社：0724-82-6168
コスミック：06-6396-8011
こばる：048-625-8418
小松商店街鐡道：0761-22-3923
さかつうギャラリー：03-3949-2892
さんけい：075-312-9889
SUNWORKS：eメール
(sunworks@agia.eonet.ne.jp)
GSIクレオス：03-5211-1844
ジオマトリックス・デザイナーズ・インク：
〒251-0052　神奈川県藤沢市藤沢572-609へ
湘南電車(ジル)：0466-33-6091
スタジオ ミド：03-5845-3463
タヴァサホビーハウス：03-3371-2482
タミヤ：054-283-0003
津川洋行：0426-25-8409
T・カンパニー：050-5205-2437
ディオ グラフィックス：TEL/FAX 06-6958-2030
天賞堂：03-3562-0025
トミーテック：03-3695-3161(代)
トレジャータウン：FAX 03-5629-3237
南洋物産：045-713-7342
バンダイ ナビダイヤル：0570-041-101
フジミ模型：054-286-0346
ブライトチップス：048-521-7882
プラッツ：0543-45-2047
ブリスターダイレクト：03-5643-2170
フローベルデ：045-624-9234
PENGUIN MODEL：FAX 0270-20-5331
弁天堂模型本舗：Eメール mail@ben10domokey.com
HOGARAKADOU：0849-43-3711
ホビーショップペアーハンズ：0276-46-1462
ホビーセンターカトー東京：03-3954-2171
ポポンデッタ：03-5297-5530
マイクロエース：048-444-2944
模型工房たぶれっと：090-4498-4134
モーリン：03-3624-5736
もけいや松原：072-338-9991
MODEMO(ハセガワ)：054-628-8241
モデルワム：03-5692-7444
モリタ：0276-89-0056
やえもんデザイン：050-7577-0140
YAMA模型：0575-33-0780/090-4447-8148
リアル・ライン：048-271-9288
レールクラフト阿波座：06-6535-5539
レイルロード：郵便にて(広告参照)
レボリューションファクトリー：047-445-0481
ワールド工芸サービスセンター：048-687-7193

鉄道模型

Nゲージ大図鑑2012

★編集後記★

ご多分に漏れず私個人も厳しい経済状況の中ですが、それだけに2011年、ちょっと嬉しかったアイテムはKATOのKOKUDEN・103系でした。今回のメーカーインタビューの中で企画担当の方もおっしゃっていましたが、昔の金型だからこそ安く出せる、しかも決して悪いものではない、いやむしろ初期型103系のデッサンとしては今でも秀逸と言えるモデルです。私自身もNゲージキャリアのかなり早い段階で手にして（当然今とは異なる旧動力のもの）、加工したり、メンテしたり、様々に楽しんだ思い出があります。今の若い人にも味わってもらいたい…と思うのですが、やっぱり「銀色の電車」じゃないとダメなのだそうで、私と同世代以上の方にばかりウケてしまったのは喜んでいいのか、悲しむべきなのか。といいつつ、LOCAL-SENも楽しみにしています。　(羽)

昨年のNゲージの製品展開の動向を見ると、各社新分野への挑戦が感じられます。グリーンマックスの公団住宅やモノレール、KATOの東京メトロシリーズ、TOMIX・トミーテックのバスコレ走行システムなどなど、もはや出ていないジャンルを探すのが大変なくらいのNゲージ塗装済完成品の世界。メーカー各社も1：150スケールの特性を生かしつつ、今までにないモデルで新たな分野に果敢に挑戦をしているのですね。数年後、これらのモデルが花開き、Nスケールの世界に新しい遊びの潮流を作り出していくと思うと楽しみです。一方車輌の走行性能も、驚くほど滑らかな低速走行が可能なモデルも出てきており、今一度「運転を楽しむ」という原点を思い出させてくれます。連結・解放が遠隔操作できる装置なんてものもそう遠くない将来可能になるのかもしれませんね。　(瀧)

STAFF
編集進行：羽山　健（RMM）
編集スタッフ：水野宏史（RMM）
：瀧口宜慎（RMM）
協力ライター：鈴木重幸
：佐藤哲朗
：佐藤武志
：山下貴久雄
写　真：青柳　明（RMM）
：羽田　洋
デザイン：遠藤鳥旺
：浜中美智代
：筒井純子
：佐藤安弘
：根本貫史（RMM）
：高橋　隆（RMM）
広告スタッフ：佐々木基博
：小林理恵
営業スタッフ：村川卓司
：菊田智博
：飛鳥孝徳
：戸羽康輔
：大渕俊輔

Rail Magazine3月号増刊　RM MODELS ARCHIVE
鉄道模型 Nゲージ大図鑑 2012
レイルマガジン第29巻第4号

発行人：中西一雄
編集人：牧窪真一
発行所：株式会社ネコ・パブリッシング
〒153-8545　東京都目黒区下目黒2-23-18 目黒山手通ビル
TEL：03-5745-7802（営業部）／03-5745-7801（広告部）／03-5745-7815（編集部）
FAX：03-5745-7812（営業部）／03-5745-7811（広告部）／03-5745-7823（編集部）
印刷：大日本印刷株式会社

受注&カスタマーセンター
TEL：048-449-6031
FAX：048-421-5006
日本最大級の鉄道専門サイト「鉄道ホビダス」http://rail.hobidas.com
趣味の総合ポータルサイト「ホビダス」　http://www.hobidas.com

月刊レイルマガジン三月号増刊 第二十九巻第四号 二〇一二年三月一日発行 株式会社ネコ・パブリッシング 東京都目黒区下目黒二丁目二十三・十八 目黒山手通ビル 郵便番号一五三・八五四五 電話（〇三）五七四五・七八〇二（営業部）

雑誌19646-03
定価1,600円 本体1,524円
Ⓛ2012 4/2
Printed in Japan

4910196460327
01524